

岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 217

百間川今谷遺跡 4

旭川放水路（百間川）改修
工事に伴う発掘調査Ⅷ

2009

国土交通省岡山河川事務所
岡山県教育委員会



調査地全景（西上空から）

巻頭図版 2



1 調査区西半（北上空から）



2 弥生時代中期掘立柱建物群（北から）



1 水田 1 (北東から)



2 水田 1 畦畔断面 (南から)



3 水田 2 (北東から)



4 水田 2 畦畔断面 (南西から)

巻頭図版 4



1 溝10・11・12 断面 (東から)



2 水田3・水田5・溝8 断面 (西から)



1 溝12 出土遺物



2 溝32 出土遺物

卷頭図版 6



1 井戸4 出土遺物



2 溝8 出土木製品 (W8)



3 溝15 出土銅鏃 (M5)



4 玉類

序

百間川は、承応3年（1654）の大洪水を契機に岡山城下を洪水から守るため、当時岡山藩の政治顧問であった熊沢蕃山が考案した「川除の法」をもとに、後の郡代津田永忠が設計・施工を行い、貞享3年（1686）に完成したといわれる旭川の放水路です。

その後、幾多の洪水から岡山のまちを守ってきました。しかし、一方で百間川沿川では通水能力が小さく、また、堤防が弱いことから幾度となく氾濫に見舞われてきました。

このため、国土交通省（旧建設省）では地元の方々をはじめとする関係者のご理解とご協力を賜り昭和49年（1974）から百間川の本格的改修に着手し、百間川を横切る水路、道路の整備から築堤、低水路掘削、排水機場建設などにより百間川の景観が一新しました。また、支川の砂川の改修も平成17年度には完了し、改修事業により新たに生み出された河川敷は、スポーツ・レクリエーション・自然観察の場として憩いの場を創出し、市民の方々に広く利用されています。

今後は、放水路の主目的である旭川の洪水を確実、かつ安全に流下させるため、河口水門の増築、分流部の改修及び河道掘削を行うこととしています。

百間川の遺跡群は、通称大曲と呼ばれている岡山市米田の百間川中流部（江戸期以前の海岸線）より、岡山市原尾島にある百間川橋梁の上流までの広い範囲に点在しています。

百間川の遺跡調査は、改修工事により改変する部分について文化財保護法に基づき、昭和52年から岡山県教育委員会に委託し、実施してきました。

本書に係わる調査は平成13・14・16年度に実施され、報告書作成作業は平成19年度に行われたものです。発掘された出土品は、縄文時代から近世まで幅広い時代にわたっており、この地が古代から営々と連なる人々の活動の場であり、人間活動に適した豊かな風土であったことを物語っています。

本書は、百間川遺跡群の報告書としては18冊目、百間川今谷遺跡としては4冊目にあたります。本書が埋蔵文化財に対する理解の推進と、学術、文化等に資するため、広く活用されることを期待します。

最後に発掘調査並びに本書の編集にあられた岡山県教育委員会をはじめとする関係各位に対し、謝意を表します。

平成21年3月

国土交通省 中国地方整備局

岡山河川事務所長 光 成 政 和

序

岡山県のほぼ中央部を南北に貫流して児島湾に注ぐ旭川は、その下流域に広大な沖積平野を形成し、肥沃な穀倉地帯を生みました。この岡山平野と平野を望む周囲の各丘陵には、地域の歴史を物語る縄文時代から近世に至る数多くの遺跡が知られています。

また、江戸時代の初め頃に岡山城下を洪水から守るため、人工的に旭川の左岸から放水路を分岐させ、操山丘陵の北裾から東端を南下させて児島湾に注ぐように築造された百間川は、広く知られているところです。

この旭川放水路（百間川）の本格的改修工事は、当時の建設省によって昭和49年度から着手されていますが、岡山県教育委員会は河川敷内に所在する遺跡の取り扱いについて建設省岡山河川工事事務所（現国土交通省岡山県河川事務所）と事前に保存協議を重ね、やむをえず破壊される部分については記録による保存措置を執ってまいりました。

発掘調査は、昭和51年度の確認調査に引き続いて翌年度から本調査に着手し、平成16年度まで29年間もの長期にわたって実施しました。この間の調査結果は、県内は言うに及ばず全国的にも注目されています。これらの成果は順次報告書にまとめ、昭和55年から刊行・公開しております。

本書は、百間川遺跡群の報告書として18冊目に当たり、百間川今谷遺跡では4冊目になります。本書に収録した調査区では、弥生時代中期中葉のガラス工房とも考えられる掘立柱建物群の北端を確認しました。また、弥生時代後期の集落、弥生時代後期末の洪水砂によって埋没した水田と水路などの発見が注目されます。

本報告書が文化財の保護・保存に活用されるとともに、地域の歴史研究の一助となれば幸いです。

発掘調査の実施及び報告書の作成にあたりましては、旭川放水路（百間川）改修工事に伴う埋蔵文化財保護対策委員会の先生方から数々の御教授と御指導を賜り、また国土交通省岡山河川事務所をはじめ関係各位から多大な御協力をいただきました。記して厚くお礼申し上げます。

平成21年3月

岡山県古代吉備文化財センター
所長 藤川 洋二

例 言

- 1 本書は、岡山県教育委員会が旭川放水路（百間川）改修工事に伴い、建設省中国地方建設局（現国土交通省中国地方整備局）と岡山県の委託契約に基づき、平成13（2001）年度、平成14（2002）年度および平成16（2004）年度に発掘調査を実施した、百間川今谷遺跡の発掘調査報告書である。契約事項は文化課（現文化財課）が行い、発掘調査および報告書作成は岡山県古代吉備文化財センターが担当した。
- 2 本報告書は、百間川遺跡群の報告書としては18冊目、百間川今谷遺跡の報告書としては4冊目に当たる。
- 3 百間川今谷遺跡は、岡山市今谷に所在する今谷遺跡のうち、百間川の河川敷にかかる遺跡範囲をさす。
- 4 発掘調査は、平成13年度に高田恭一郎・小嶋善邦・藤田裕文、平成14年度に高田恭一郎・大熊美穂・藤田裕文、平成16年度に浅倉秀昭・澤山孝之・物部茂樹・和田剛が担当して実施した。調査面積は合計5,975.02㎡である。詳細は、本文の表1に示す通りである。
- 5 発掘調査及び報告書の作成にあたっては、旭川放水路（百間川）改修工事に伴う埋蔵文化財保護対策委員会を設け、次の方々に委員を委嘱した。対策委員各位からは、終始有益な御指導と御助言を賜った。記して深く感謝の意を表す次第である。
池葉須藤樹（元中学校校長）
亀田修一（岡山理科大学）＜平成14年度から＞
近藤義郎（岡山大学名誉教授）
出宮徳尚（岡山市教育委員会）
西川 宏（岡山理科大学非常勤講師）＜平成13年度＞（2007. 1 逝去）
松本直子（岡山大学）＜平成15年度から＞
水内昌康（元岡山県文化財保護審議会委員）＜平成14年度まで＞
山本悦世（岡山大学）
- 6 本報告書の作成は、平成19（2007）年度に岡山県古代吉備文化財センター物部茂樹・團奈歩が担当した。
- 7 本文の執筆は、調査と整理を担当した物部、調査を担当した高田・小嶋・和田、整理を担当した團が分担して行い、文責は各項目あるいは遺構ごとの文末に示した。
- 8 本報告書の編成は、調査関係者の意見をもとに整理担当者が分担して行い、全体編集は物部が担った。
- 9 本報告書に係る遺物のうち、一部について鑑定・同定あるいは分析を次の諸氏に依頼し、有益な御教授を得るとともに、そのいくつかについて報文をいただいた。記して厚くお礼申し上げる。
ガラス滓の成分分析 木戸一博（株式会社ニコン）
土器の胎土分析 白石 純（岡山理科大学）
動物遺存体の分析 富岡直人（岡山理科大学）

石材鑑定

鈴木茂之（岡山大学）

- 10 本報告書に関係する遺物のうち、一部について鑑定・同定あるいは分析を次の機関に委託した。
花粉分析・植物珪酸体分析・土壌理化学分析 パリノ・サーヴェイ株式会社
放射性炭素年代測定・樹種同定 株式会社 古環境研究所
- 11 本報告書に関係する遺物のうち、一部について保存処理を次の機関に委託した。
木器・漆製品の保存処理 財団法人 元興寺文化財研究所
- 12 遺物写真については、江尻泰幸氏の協力と援助を得た。
- 13 本書に関連する出土遺物および図面・写真・マイクロフィルム等は、岡山県古代吉備文化財センター（岡山市西花尻1325-3）に保管している。

百間川兼基・今谷遺跡グリッドの座標

点名	グリッド座標（基準点300A）		日本測地		世界測地		標高
	X	Y	X	Y	X	Y	
百間川距離標 左岸9.000k	285.2888988	43.5584077	-147603.3129710	-32578.6817780	-147259.6704	-32825.6001	7.562
百間川距離標 右岸9.000k	285.2056107	-175.6715975	-147821.1002060	-32553.5715730	-147477.4513	-32800.4953	7.457
302 II A (302AA)	520.000	-40.000	-147659.346	-32335.923	-147315.7064	-32582.8447	
302 II B (302BB)	540.000	-40.000	-147657.048	-32316.056	-147313.4089	-32562.9778	
301 II B + 10 (301BB + 10)	550.000	-20.000	-147636.031	-32308.420	-147292.3926	-32555.3414	

凡 例

- 1 百間川遺跡群の各報告書は、基本的に小字名を基にし調査区名を設定している。本報告書の対象範囲は「大地調査区」である。
- 2 百間川兼基・今谷遺跡は遺跡全体に20m方眼を組んでおり、南北方向の軸線に数字を、東西方向の軸線にアルファベットを付している。遺構の位置などを示す場合、各方眼の北西角の軸線交点に区を付して、たとえば301 Z区、302 II B区と呼ぶ。
- 2 本報告書の遺構全体図および各遺構図の北方位は基本的に磁北であり、遺跡付近の磁北は西偏7° 6′を測る。
- 3 本報告書に使用した高度は、すべて海拔高度である。
- 4 本報告書の遺構ならびに遺物実測図の縮尺率は次のとおり統一しているが、例外については縮尺率を図示または明記している。
遺構 堅穴住居：1/60、建物・柱穴列：1/80、井戸・土壙・溝断面：1/30
遺物 土器・瓦：1/4、石器・石製品：1/2・1/3、木器・木製品：1/4・1/6・1/8
金属製品：1/2、土製品：1/3 ガラス製品 1/1
- 5 本書の遺構全体図に示す遺構名は、下記に示す略称を用い、土壙名は番号のみで表記した。
堅穴住居：住 建物：建 井戸：井 柵列状遺構：柵 土器溜まり：溜
「鳥状高まり」遺構：鳥
- 6 遺構番号は、全体にわたって遺構の種類ごとに1から通し番号を付した。
- 7 遺物番号のうち土器・瓦以外のものについては、その材質を示すため番号の頭に次に示す略号を付した。なお、遺物番号は各種類ごとに通し番号とした。
石器・石製品：S、木器・木製品：W、金属器・金属製品：M、土製品：C、ガラス製品：G
- 8 土器実測図のうち中軸線の左右に白抜きのあるものは、小破片のために口径の推定が困難なものである。
- 9 遺構図における、被熱範囲や炭の分布範囲などについては下記のトーンで表現し、そのほかのものに関しては、個別に掲載している。



- 10 土層断面図等に使用した土色は、『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色標監修）によるものもあるが、各調査者の記述に従った。
- 11 本報告書第2図に掲載した地図は、国土地理院発行1/25,000地形図の備前瀬戸・西大寺・岡山北部・岡山南部を複製・縮小し、加筆したものである。
- 12 以前の調査で検出された遺構や遺物を説明する場合、掲載報告書名を以下のように略している。
遺構の場合 「百間川今谷遺跡1掘立柱建物23」→「百今谷1建物23」
遺物の場合 「百間川今谷遺跡1土器溜まり1-1870」→「百今谷1-1870」

- 13 「ガラス溶滓」・「ガラス」と呼ばれる遺物について、本書では「ガラス滓」の名称を使用する。
- 14 本報告書の時代・時期区分は一般的な政治史区分に準拠し、それを補うために世紀などを併用している。また、弥生時代から古墳時代前半期の時期区分は、「百間川原尾島1」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』39で採用した土器編年に基づき、百・後・Ⅱなどの略称も使用している。

編年対比表

時代		遺跡	百間川	雄町 ^(註1)	上東・川入 ^(註2)	
弥生時代	前期	津島	百間川前期Ⅰ			
		門田	百間川前期Ⅱ	雄町 1		
			百間川前期Ⅲ	雄町 2 船山 3		
	中期	南方	百間川中期Ⅰ	高田 雄町 3		
		菰池	百間川中期Ⅱ	船山 5 菰池		
				雄町 4		
		前山Ⅱ	百間川中期Ⅲ	前山東 雄町 5		
				雄町 6	上東・鬼川市0	
		後期	上東	百間川後期Ⅰ	雄町 7 雄町 8	上東・鬼川市Ⅰ
	雄町 9 雄町 10				上東・鬼川市Ⅱ	
	グランド上層		百間川後期Ⅲ	+	上東・鬼川市Ⅲ	
	酒津		百間川後期Ⅳ	雄町 11 雄町 12	才の町Ⅰ 才の町Ⅱ	
				雄町 13	下田所	
	古墳時代	前期	王泊六層	百間川古墳時代Ⅰ	雄町 14	亀川上層
				百間川古墳時代Ⅱ	雄町 14	-
百間川古墳時代Ⅲ				雄町 15	川入・大溝上層	

註1 正岡陸夫「雄町遺跡－弥生式土器、土師器－」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』1 岡山県教育委員会 1972年 PP.110～113

註2 柳瀬昭彦「川入・上東－川入・上東道遺跡の弥生式土器及び古式土師器について－」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』16 岡山県教育委員会 1977年 PP.171～181

目 次

巻頭カラー図版

序 文

例 言

凡 例

目 次

第1章 地理的・歴史的環境	1
第2章 発掘調査および報告書作成の経緯と経過	5
第1節 調査にいたる経緯	5
第2節 調査の経過	6
第3節 調査の体制	7
第4節 日誌抄	8
第5節 報告書作成の経過と体制	10
第3章 発掘調査の概要	13
第1節 遺跡の概要と調査区	13
第2節 弥生時代中期以前の遺構・遺物	16
1 概要	16
2 掘立柱建物	22
3 柱穴列	29
4 井戸	29
5 土壌	30
6 溝	39
7 水田	47
8 その他の遺構	51
第3節 弥生時代後期の遺構・遺物	52
1 概要	52
2 竪穴住居	57
3 掘立柱建物	62
4 柱穴列	74
5 井戸	75
6 土壌	78
7 溝	88
8 水田	115
9 洪水砂埋没遺構	120
10 その他の遺構	127

第4節	古墳時代の遺構・遺物	128
1	概要	128
2	竪穴住居	133
3	掘立柱建物	147
4	柱穴列	148
5	井戸	148
6	土壌	152
7	溝	157
8	柵列状遺構	175
第5節	古代以降の遺構・遺物	176
1	概要	176
2	土壌	181
3	溝	182
4	その他の遺構	183
第6節	包含層出土遺物	184
第4章	まとめ	187
第1節	遺構について	187
1	弥生時代以前の河道の復元	187
2	洪水砂埋没水田と水路の状況	188
3	弥生時代後期水田の開田の時期とその広がり	190
4	弥生時代の遺構の変遷（水田・水路を中心に）	191
5	「百間川兼基遺跡1杭列」の再検討	195
6	弥生時代の竪穴住居の位置について	196
7	植物珪酸体分析結果から	197
第2節	遺物について	198
付載	自然科学分野における鑑定・分析	201
付載1	百間川今谷遺跡出土ガラス滓	201
付載2	百間川今谷遺跡出土土器の胎土分析	206
付載3	百間川今谷遺跡出土動物遺存体の分析	211
	遺構一覧表	217
	遺物観察表	220
	新旧遺構対照表	231
	写真図版	
	報告書抄録	

目 次

第1図	遺跡位置 (1/2,000,000)	1	第37図	土壙7 (1/30)	34
第2図	百間川周辺遺跡分布 (1/50,000)	2	第38図	土壙8 (1/30)・出土遺物 (1/4)	35
第3図	設定グリッドと調査区位置 (1/8,000)	6	第39図	土壙9 (1/30)・出土遺物 (1/4)	35
第4図	百間川今谷遺跡の調査区と掲載報告書 (1/4,000)	11	第40図	土壙10 (1/30)・出土遺物 (1/4)	35
第5図	ト地点出土縄文土器 (1/4)	13	第41図	土壙11 (1/30)・出土遺物 (1/4)	36
第6図	百間川兼基・今谷遺跡 調査区位置図 (1/7,500)	14	第42図	土壙12 (1/30)	36
第7図	土層断面位置図 (1/2,000)	14	第43図	土壙13 (1/30)・出土遺物 (1/4)	37
第8図	イ～チ地点 土層断面位置図 (1/60)	15	第44図	土壙14 (1/30)・出土遺物 (1/4)	37
第9図	百間川兼基・今谷遺跡 弥生時代中期以前の 遺構全体図 (1/1,000)	17	第45図	土壙15 (1/30)・出土遺物 (1/4)	37
第10図	弥生時代中期以前の遺構全体図① (1/400) -西部- (昭和53年度調査区を含む)	19	第46図	土壙16 (1/30)・出土遺物 (1/4)	38
第11図	弥生時代中期以前の遺構全体図② (1/400) -中央部～東部-	21	第47図	土壙17 (1/30)	38
第12図	掘立柱建物1 (1/80)	22	第48図	土壙18 (1/30)	38
第13図	掘立柱建物2 (1/80)・出土遺物 (1/4)	22	第49図	溝1・2と水田1 (1/400)	39
第14図	掘立柱建物3 (1/80)・出土遺物 (1/4)	23	第50図	溝1 (1/30)・出土遺物 (1/4)	39
第15図	掘立柱建物4 (1/80)	23	第51図	溝2 (1/30)・出土遺物 (1/4・1/2) および 水田1との取り付き部 (1/100)	40
第16図	掘立柱建物5 (1/80)	23	第52図	溝3 (1/30)・出土遺物 (1/4)	40
第17図	掘立柱建物6 (1/80)・出土遺物 (1/4)	24	第53図	溝4 (1/30)・出土遺物 (1/4)	41
第18図	掘立柱建物7 (1/80)・出土遺物 (1/4)	25	第54図	溝5 (1/30)・出土遺物① (1/4)	41
第19図	掘立柱建物8 (1/80)・出土遺物 (1/4)	26	第55図	溝5出土遺物② (1/3・1/2)	42
第20図	掘立柱建物9 (1/80)	26	第56図	溝6 (1/30)	42
第21図	掘立柱建物10 (1/80)	27	第57図	溝7 (1/30)・出土遺物 (1/4)	42
第22図	掘立柱建物11 (1/80)・出土遺物 (1/4)	27	第58図	溝8 (1/400・1/40) ・出土遺物① (1/4)	43
第23図	掘立柱建物12 (1/80)	28	第59図	溝8出土遺物② (1/4)	44
第24図	掘立柱建物13 (1/80)・出土遺物 (1/4)	28	第60図	溝8出土遺物③ (1/6・1/4)	45
第25図	掘立柱建物14 (1/80)	28	第61図	溝8出土遺物④ (1/4)	46
第26図	柱穴列1 (1/80)	29	第62図	溝9 (1/30)・出土遺物 (1/4)	46
第27図	柱穴列2 (1/80)・出土遺物 (1/4)	29	第63図	水田1① (1/1,000・1/60)	47
第28図	柱穴列3 (1/80)・出土遺物 (1/4)	29	第64図	水田1② (1/400・1/60)	48
第29図	井戸1 (1/30)	29	第65図	水田1畦畔 (1/30)	49
第30図	土壙1 (1/30)・出土遺物 (1/4)	30	第66図	水田2 (1/400)	49
第31図	土壙2 (1/30)・出土遺物 (1/4)	31	第67図	水田2断面① (1/60)・出土遺物 (1/4・1/2)	50
第32図	土壙3 (1/30)・出土遺物 (1/4)	32	第68図	水田2断面② (1/60)	51
第33図	土壙4 (1/30)・出土遺物 (1/4)	32	第69図	窪み (1/40)・出土遺物 (1/4)	51
第34図	土壙5 (1/30)	33	第70図	百間川兼基・今谷遺跡 弥生時代後期の 遺構全体図 (1/1,000)	53
第35図	土壙5出土遺物 (1/4)	34	第71図	弥生時代後期の遺構全体図 (1/400)	55
第36図	土壙6 (1/30)・出土遺物 (1/4)	34	第72図	竪穴住居1 (1/60・1/30) ・出土遺物 (1/4)	57
			第73図	竪穴住居2 (1/60)	59

第74図	竖穴住居 2 変遷 (1/200)	60	第119図	土壙28 (1/30)・出土遺物 (1/4)	82
第75図	竖穴住居 2 柱穴断面 (1/60)	60	第120図	土壙29 (1/30)・出土遺物 (1/4)	83
第76図	竖穴住居 2 出土遺物 (1/4・1/3・1/2)	61	第121図	土壙30 (1/30)・出土遺物 (1/4)	83
第77図	竖穴住居 2 排水溝出土遺物 (1/4)	62	第122図	土壙31 (1/30)・出土遺物 (1/4)	84
第78図	掘立柱建物15 (1/80)・出土遺物 (1/4)	62	第123図	土壙32 (1/30)・出土遺物 (1/4)	84
第79図	掘立柱建物16 (1/80)・出土遺物 (1/4)	63	第124図	土壙33 (1/30)	84
第80図	掘立柱建物17 (1/80)	63	第125図	土壙34 (1/30)・出土遺物 (1/4)	85
第81図	掘立柱建物18 (1/80)・出土遺物 (1/4)	64	第126図	土壙35 (1/30)・出土遺物 (1/4)	85
第82図	掘立柱建物19 (1/80)・出土遺物 (1/4)	64	第127図	土壙36 (1/30)・出土遺物 (1/4)	86
第83図	掘立柱建物20 (1/80)	65	第128図	土壙37 (1/30)	86
第84図	掘立柱建物21 (1/80)	65	第129図	土壙38 (1/30)・出土遺物 (1/4)	87
第85図	掘立柱建物22 (1/80)	66	第130図	土壙39 (1/30)・出土遺物 (1/4)	88
第86図	掘立柱建物23 (1/80)	66	第131図	溝群 (1/400) -西部-	88
第87図	掘立柱建物24 (1/80)	67	第132図	溝10~12 (1/40)	88
第88図	掘立柱建物25 (1/80)	67	第133図	溝群 (1/400) -中央部-	89
第89図	掘立柱建物26 (1/80)	67	第134図	溝10~12 (1/40)	89
第90図	掘立柱建物27 (1/80)	67	第135図	溝群 (1/400) -東部-	90
第91図	掘立柱建物28 (1/80)	68	第136図	溝10~14 (1/40)	90
第92図	掘立柱建物29 (1/80)	68	第137図	溝10出土遺物 (1/4)	91
第93図	掘立柱建物30 (1/80)・出土遺物 (1/4)	69	第138図	溝11出土遺物 (1/4・1/2)	91
第94図	掘立柱建物31 (1/80)	69	第139図	溝12出土遺物① (1/4)	92
第95図	掘立柱建物32 (1/80)・出土遺物 (1/4)	70	第140図	溝12出土遺物② (1/4)	93
第96図	掘立柱建物33 (1/80)・出土遺物 (1/4)	70	第141図	溝12出土遺物③ (1/4)	94
第97図	掘立柱建物34 (1/80)	70	第142図	溝12出土遺物④ (1/4・1/3・1/2)	95
第98図	掘立柱建物35 (1/80)	71	第143図	溝12東部出土遺物 (1/4)	95
第99図	掘立柱建物36 (1/80)・出土遺物 (1/4)	71	第144図	溝12南岸土器集中部出土遺物① (1/4)	96
第100図	掘立柱建物37 (1/80)	72	第145図	溝12南岸土器集中部出土遺物② (1/4)	97
第101図	掘立柱建物38 (1/80)	72	第146図	溝12南岸土器集中部出土遺物③ (1/4)	98
第102図	掘立柱建物39 (1/80)・出土遺物 (1/4)	73	第147図	溝12南岸土器集中部出土遺物④ (1/4・1/3・1/2)	99
第103図	柱穴列 4 (1/80)・出土遺物 (1/4)	74	第148図	溝13出土遺物① (1/4)	100
第104図	柱穴列 5 (1/80・1/30) ・出土遺物 (1/4)	74	第149図	溝13出土遺物② (1/4)	101
第105図	井戸 2 (1/30)・出土遺物 (1/4)	75	第150図	溝13出土遺物③ (1/4)	102
第106図	井戸 3 (1/30)・出土遺物 (1/4)	75	第151図	溝13出土遺物④ (1/4・1/3)	103
第107図	井戸 4 (1/30)・出土遺物① (1/4)	76	第152図	溝15 (1/60)	104
第108図	井戸 4 出土遺物② (1/4)	77	第153図	溝15出土遺物① (1/4)	105
第109図	土壙19 (1/30)・出土遺物 (1/4)	78	第154図	溝15出土遺物② (1/4)	106
第110図	土壙20 (1/30)・出土遺物 (1/4)	78	第155図	溝15出土遺物③ (1/4・1/3・1/2)	107
第111図	土壙21 (1/30)・出土遺物 (1/4)	79	第156図	溝15出土遺物④ (1/4)	108
第112図	土壙22 (1/30)・出土遺物 (1/4)	79	第157図	溝16 (1/30)	109
第113図	土壙23 (1/30)・出土遺物 (1/4・1/2)	80	第158図	溝17 (1/30)	109
第114図	土壙24 (1/30)・出土遺物 (1/4)	80	第159図	溝18 (1/30)	109
第115図	掘立柱建物20と土壙25・26 (1/120)	81	第160図	溝18出土遺物① (1/4)	110
第116図	土壙25 (1/30)・出土遺物 (1/4)	81	第161図	溝18出土遺物② (1/4)	111
第117図	土壙26 (1/30)・出土遺物 (1/4)	81	第162図	溝19 (1/30)・出土遺物 (1/4・1/3)	111
第118図	土壙27 (1/30)・出土遺物 (1/4)	82	第163図	溝20 (1/30)・出土遺物 (1/4)	112

第164図	溝21 (1/30)・出土遺物 (1/4) ……………	112	第204図	竪穴住居5 方形土壙 (1/30) ・出土遺物 (1/4・1/3) ……………	137
第165図	溝22 (1/40)・出土遺物 (1/4) ……………	113	第205図	竪穴住居6 (1/60)・出土遺物 (1/4) ……………	138
第166図	溝23 (1/30) ……………	113	第206図	竪穴住居7 (1/60)・変遷 (1/200) ……………	139
第167図	溝24 (1/30)・出土遺物 (1/4) ……………	113	第207図	竪穴住居7 <古> (1/60) ・出土遺物 (1/8・1/4) ……………	140
第168図	溝25 (1/30) ……………	113	第208図	竪穴住居7 <新> (1/60) ・出土遺物 (1/4・1/2) ……………	141
第169図	溝26 (1/30) ……………	114	第209図	竪穴住居8 (1/60)・出土遺物 (1/4) ……………	142
第170図	溝27 (1/30) ……………	114	第210図	竪穴住居9 (1/60) ……………	143
第171図	溝28 (1/30) ……………	114	第211図	竪穴住居9 下部構造と排水溝 (1/60) ……………	144
第172図	溝29 (1/30) ……………	114	第212図	竪穴住居9 出土遺物 (1/4・1/2) ……………	144
第173図	溝30 (1/30) ……………	114	第213図	竪穴住居10 (1/60)・出土遺物 (1/4) ……………	145
第174図	溝31 (1/30) ……………	114	第214図	竪穴住居11 (1/60)・出土遺物① (1/1) ……………	146
第175図	水田3 (1/400・1/60) ……………	115	第215図	竪穴住居11出土遺物② (1/4) ……………	147
第176図	水田3 出土遺物 (1/4) ……………	116	第216図	掘立柱建物40 (1/80) ……………	147
第177図	水田4 (1/400) ……………	116	第217図	柱穴列6 (1/80) ……………	148
第178図	水田4 断面 (1/60) ……………	117	第218図	井戸5 (1/30)・出土遺物 (1/4) ……………	149
第179図	水田4 大畦 (1/60) ……………	117	第219図	井戸6 (1/30) ……………	149
第180図	水田4 と溝11～14・16の取り付き部 (1/150) ……………	118	第220図	井戸7 (1/30) ……………	149
第181図	水田4 下部溝 (1/30) ……………	118	第221図	井戸8 (1/30)・上層出土遺物 (1/4) ……………	150
第182図	水田4 出土遺物 (1/4) ……………	118	第222図	井戸8 下層出土遺物 (1/4) ……………	151
第183図	水田4 下部溝状遺構(1/60)・出土遺物(1/4) ……	119	第223図	井戸9 (1/30)・出土遺物 (1/4) ……………	151
第184図	水田4 島状高まり盛土部分 (1/60) ・出土遺物 (1/4) ……………	119	第224図	井戸10 (1/30)・出土遺物 (1/4・1/3) ……………	152
第185図	水田5、水路1～3 (1/400) ……………	120	第225図	竪穴住居3 と土壙40・41 (1/120) ……………	153
第186図	水路1 (1/40)・出土遺物① (1/4) ……………	120	第226図	土壙40 (1/40)・出土遺物 (1/4) ……………	153
第187図	百間川兼基・今谷遺跡 洪水砂埋没遺構全体図 (1/1,000) ……………	121	第227図	土壙41 (1/30)・出土遺物 (1/4) ……………	154
第188図	水路1 出土遺物② (1/2) ……………	123	第228図	土壙42 (1/30) ……………	154
第189図	水路1・3 合流部 (1/40) ……………	123	第229図	土壙43 (1/30) ……………	154
第190図	水路2 (1/40) ……………	123	第230図	土壙44 (1/30)・出土遺物 (1/4) ……………	155
第191図	水路3 (1/40)・出土遺物 (1/4) ……………	124	第231図	土壙45 (1/30)・出土遺物 (1/4) ……………	155
第192図	水路3 と水田5 (1/40) ……………	124	第232図	土壙46 (1/30)・出土遺物 (1/4) ……………	155
第193図	水田5 土手 (1/40) ……………	124	第233図	土壙47 (1/30)・出土遺物 (1/4) ……………	156
第194図	水田6 (1/400・1/60・1/30) ……………	125	第234図	土壙48 (1/30)・出土遺物 (1/4) ……………	156
第195図	水田6 稲株痕 (1/80) ……………	126	第235図	土壙49 (1/30) ……………	156
第196図	焼土集中部出土遺物 (1/4) ……………	127	第236図	溝32～36 (1/300) ……………	157
第197図	土器溜まり (1/20)・出土遺物 (1/4) ……………	127	第237図	溝32 (1/100) ……………	158
第198図	百間川兼基・今谷遺跡 古墳時代の遺構全体図 (1/1,000) ……………	129	第238図	溝32杭群① (1/60) ……………	159
第199図	古墳時代の遺構全体図 (1/400) ……………	131	第239図	溝32杭群② (1/60)、 杭 (1/8)、推定復元図 ……………	160
第200図	竪穴住居3 (1/60) ……………	133	第240図	溝32落ち (1/60)・出土遺物 (1/4) ……………	161
第201図	竪穴住居3 出土遺物 (1/4・1/3・1/2) ……………	134	第241図	溝32出土遺物① (1/4) ……………	162
第202図	竪穴住居4 (1/60) ・出土遺物 (1/8・1/4) ……………	135	第242図	溝32出土遺物② (1/4) ……………	163
第203図	竪穴住居5 (1/60) ・出土遺物 (1/8・1/4) ……………	136	第243図	溝32出土遺物③ (1/4) ……………	163
			第244図	溝32出土遺物④ (1/4) ……………	164
			第245図	溝32出土遺物⑤ (1/4) ……………	165

第246図	溝32出土遺物⑥ (1/4・1/3・1/2・1/1) ……	166	第271図	土壙52 (1/100) ……	182
第247図	溝32出土遺物⑦ (1/4) ……	167	第272図	土壙53 (1/30) ……	182
第248図	溝32出土遺物⑧ (1/6・1/4) ……	168	第273図	溝46 (1/30) ……	183
第249図	溝32出土遺物⑨ (1/8・1/6) ……	169	第274図	溝47 (1/30) ……	183
第250図	溝32出土遺物⑩ (1/6) ……	170	第275図	溝48 (1/30) ……	183
第251図	溝33 (1/60)・出土遺物 (1/4) ……	171	第276図	溝49 (1/30) ……	183
第252図	溝34 (1/40)・出土遺物 (1/6・1/4) ……	172	第277図	溝50 (1/30) ……	183
第253図	溝35 (1/30) ……	172	第278図	包含層出土遺物① (1/6・1/4) ……	184
第254図	溝36 (1/30) ……	172	第279図	包含層出土遺物② (1/4) ……	185
第255図	溝37 (1/30)・出土遺物 (1/4) ……	173	第280図	包含層出土遺物③ (1/4・1/3・1/2・1/1) ……	186
第256図	溝38 (1/30) ……	173	第281図	弥生時代以前の河道復元 (1/8,000) ……	187
第257図	溝39 (1/30) ……	173	第282図	弥生時代後期末洪水砂埋没遺構と 推定水田域 (1/4,000) ……	189
第258図	溝40 (1/30) ……	173	第283図	洪水砂埋没水田に先行する水田の 確認地点 (1/8,000) ……	190
第259図	溝41 (1/30) ……	174	第284図	百・前・I～Ⅲ期の遺構 (1/6,000) ……	191
第260図	溝42 (1/30) ……	174	第285図	百・中・I期の遺構 (1/6,000) ……	191
第261図	溝43 (1/30)・出土遺物 (1/4) ……	174	第286図	百・中・II期の遺構 (1/6,000) ……	192
第262図	溝44 (1/30) ……	174	第287図	百・中・III期の遺構 (1/6,000) ……	192
第263図	溝45 (1/30) ……	174	第288図	百・後・I期の遺構 (1/6,000) ……	193
第264図	柵列状遺構 1・2 (1/60) ・出土遺物 (1/4) ……	175	第289図	百・後・II期の遺構 (1/6,000) ……	193
第265図	柵列状遺構 3 (1/60)・出土遺物 (1/4) ……	175	第290図	百・後・III期の遺構 (1/6,000) ……	194
第266図	土壙出土遺物 (1/2) ……	176	第291図	百・後・IV期の遺構 (1/6,000) ……	194
第267図	百間川兼基・今谷遺跡 古代以降の 遺構全体図 (1/1,000) ……	177	第292図	百・中・I期の遺構〈微高地西部〉 (1/600) ……	196
第268図	古代以降の遺構全体図 (1/400) ……	179	第293図	類例と関連遺物 (1/10・1/6) ……	199
第269図	土壙50 (1/100) ……	181			
第270図	土壙51 (1/100) ……	181			

表 目 次

表1	百間川今谷遺跡調査一覧 (本報告分) ……	6	表9	土壙 ……	218
表2	文化財保護法に基づく提出書類一覧 ……	9	表10	溝・水路 ……	219
表3	旭川放水路 (百間川) 改修工事に伴う 発掘調査報告書一覧 ……	11	表11	土器 ……	220
表4	イネ科イネ属珪酸体分析結果 ……	197	表12	石器 ……	229
表5	竪穴住居 ……	217	表13	金属器 ……	230
表6	掘立柱建物 ……	217	表14	土製品 ……	230
表7	柱穴列 ……	218	表15	木器 ……	230
表8	井戸 ……	218	表16	ガラス製品 ……	231
			表17	新旧遺構対照表 ……	231

写真目次

写真1	埋蔵文化財保護対策委員会 ……	10	写真2	掘立柱建物群 (西から) ……	16
-----	-----------------	----	-----	-----------------	----

写真3	水田1畦畔(東から).....	16	写真20	水田6足跡.....	126
写真4	水田2(北東から).....	16	写真21	土器溜まり(西から).....	127
写真5	土壙4出土ガラス滓.....	32	写真22	溝32(西から).....	128
写真6	土壙5出土ガラス滓.....	33	写真23	溝32(南西から).....	128
写真7	溝5出土ガラス滓.....	42	写真24	溝32杭群(西から).....	128
写真8	掘立柱建物18(北から).....	52	写真25	竪穴住居3炭化材断面.....	134
写真9	溝11・12(南東から).....	52	写真26	竪穴住居3炭化材.....	134
写真10	水田6(北東から).....	52	写真27	竪穴住居5(北東から).....	136
写真11	井戸4(南から).....	76	写真28	竪穴住居5方形土壙上層遺物 出土状況(南西から).....	137
写真12	溝15流木出土状況(北から).....	104	写真29	竪穴住居7<古>P1(西から).....	140
写真13	溝15鍬(W14)出土状況(西から).....	104	写真30	竪穴住居7<新>(南西から).....	141
写真14	溝15出土モモの種.....	108	写真31	竪穴住居10・11(西から).....	145
写真15	溝16断面(東から).....	109	写真32	井戸8上層出土製塩土器.....	150
写真16	溝22(西から).....	113	写真33	溝46と土壙(北西から).....	176
写真17	水田4下部溝状遺構出土モモの種.....	119	写真34	土壙50(北西から).....	176
写真18	水田5稲株痕(南西から).....	124	写真35	土壙52(西から).....	176
写真19	水田6鳥状高まり2(西から).....	126			

図版目次

巻頭図版1	調査地全景(西上空から)	図版3	1 溝2断面(南東から)
巻頭図版2	1 調査区西半(北上空から)		2 溝5(北東から)
	2 弥生時代中期掘立柱建物群(北から)		3 溝8木製品(W8) 出土状況(南西から)
巻頭図版3	1 水田1(北東から)		4 溝8(東から)
	2 水田1畦畔断面(南から)	図版4	1 水田1(東から)
	3 水田2(北東から)		2 水田1調査風景(北東から)
	4 水田2畦畔断面(南西から)		3 水田2畦畔検出状況(南東から)
巻頭図版4	1 溝10・11・12断面(東から)		4 水田2(北から)
	2 水田3・水田5・溝8断面(西から)	図版5	1 竪穴住居2(南から)
巻頭図版5	1 溝12出土遺物		2 竪穴住居1・掘立柱建物23(北から)
	2 溝32出土遺物	図版6	1 掘立柱建物15(南西から)
巻頭図版6	1 井戸4出土遺物		2 掘立柱建物16(北東から)
	2 溝8出土木製品(W8)		3 掘立柱建物18(北東から)
	3 溝15出土銅鏃(M5)		4 掘立柱建物22(南西から)
	4 玉類		5 掘立柱建物20・21、土壙25・26(南東から)
図版1	1 弥生時代中期掘立柱建物群(東から)	図版7	1 掘立柱建物24(北東から)
	2 掘立柱建物8(東から)		2 掘立柱建物25・26(西から)
	3 掘立柱建物10(北から)		3 掘立柱建物27(北から)
	4 掘立柱建物11(北東から)		4 掘立柱建物30(北東から)
図版2	1 土壙1(北から)		5 掘立柱建物39(北から)
	2 土壙5断面(南から)	図版8	1 掘立柱建物36(南東から)
	3 土壙4・土壙5・溝3(北から)		2 井戸2(南から)
	4 土壙11(東から)		3 井戸4土器出土状況(東から)
	5 土壙15(北から)		

	4 土壙22 (南から)		6 土壙41 (北から)
	5 土壙23 (南から)		7 土壙49 (北から)
	6 土壙28 (東から)		8 溝34 断面 (南西から)
	7 土壙32 (東から)	図版17	1 溝32 (北から)
	8 土壙38 (北から)		2 溝32 木製品W29出土状況 (北東から)
図版9	1 溝10・11・12 -西部- (東から)		3 溝32 木製品W30出土状況 (北東から)
	2 溝10・11・12 -中央部- (東から)		4 溝32 木製品W34出土状況 (北から)
図版10	1 溝11・12 -東部- (北東から)		5 溝32 木製品W35出土状況 (東から)
	2 溝22 (東から)	図版18	1 溝32 杭群 (西から)
	3 溝15 (北西から)		2 溝32 杭群 断面 (西から)
	4 水路1 (南西から)	図版19	弥生時代中期以前の土器
	5 水路1・3 合流部 (北西から)	図版20	竪穴住居2・井戸4 出土土器
図版11	1 溝12 南岸土器集中部 (北から)	図版21	土壙22・溝12 出土土器
	2 溝13 土器出土状況 (北から)	図版22	溝12 南岸土器集中部出土土器①
図版12	1 水田4 調査風景	図版23	溝12 南岸土器集中部出土土器②
	2 水田4 溝状遺構 (東から)	図版24	溝12 南岸土器集中部出土土器③、 溝13 出土土器①
	3 水田4 鳥状高まり盛土部分 (南から)	図版25	溝13 出土土器②
	4 水田6 -西半- (南東から)	図版26	溝13 出土土器③
	5 水田6 -東半- (北東から)	図版27	溝13 出土土器④、 溝15 出土土器、溝18 出土土器①
図版13	1 竪穴住居3 炭化材検出状況 (北から)		溝18 出土土器②、水路1・土器溜まり・ 竪穴住居7・井戸8・井戸10 出土土器
	2 竪穴住居3 土壙40・41 (北から)	図版28	溝32 出土土器①
	3 竪穴住居5 (北東から)		溝32 出土土器②、溝33 出土土器、 包含層出土土器
図版14	1 竪穴住居6：前 竪穴住居7：奥 (北東から)	図版29	石器①
	2 竪穴住居7 (北東から)	図版30	石器②
	3 竪穴住居8 (北西から)	図版31	石器③、ガラス製品
図版15	1 竪穴住居9 (南から)	図版32	金属器、土製品
	2 竪穴住居10 (北西から)	図版33	木器①
	3 竪穴住居11 (北西から)	図版34	木器②
図版16	1 竪穴住居11 土器出土状況 (東から)	図版35	木器③
	2 井戸6 (北から)	図版36	木器④
	3 井戸7 (西から)	図版37	
	4 井戸8 (南から)	図版38	
	5 井戸10 (南から)		

第1章 地理的・歴史的環境

百間川は、岡山城下を洪水から守るため、江戸時代初めの寛文9（1669）年から貞享4（1687）年にかけて旭川の放水路として造られた人工の河川である。その流程は約7～8km（現在は13km）に及び、旭川東岸に形成された沖積平野である旭東平野の南端に位置する。百間川遺跡群は、この百間川の河床下に位置する縄文時代から近世にかけての複合遺跡群であり、上流から百間川二の荒手遺跡、百間川原尾島遺跡、百間川沢田遺跡、百間川兼基・今谷遺跡、百間川米田遺跡の6遺跡からなる。

中国山地に源を發し瀬戸内海に注ぐ旭川は土砂を運び、河口付近に沖積平野を形成した。現在でもいくつかの旧河道の痕跡が認められ、かつての旭川が大小に枝分かれしていたことをうかがわせる。旧河道の長年の堆積作用により形成された旭東平野は、西を旭川、北を竜の口山丘陵、東を芥子山および山王山丘陵、さらに南を操山丘陵によって囲まれた、まとまりをもった地域である。

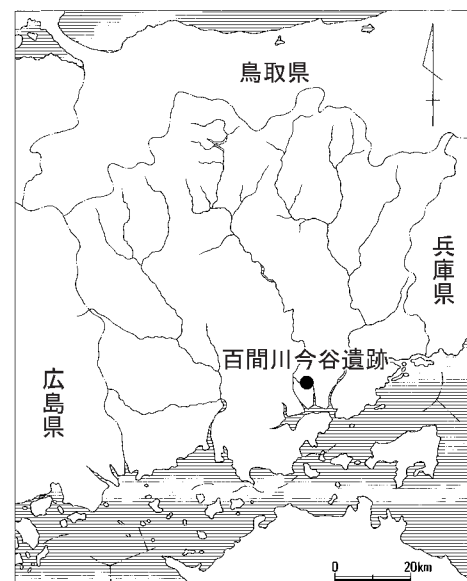
旧石器時代 旭東平野における旧石器時代の遺物はほとんど知られていないが、操山丘陵の旗振台古墳北部遺跡でナイフ形石器が採集されている⁽¹⁾。

縄文時代 遺構・遺物が増加するのは後期になってからである。百間川原尾島遺跡では微高地上で後期後葉の焼土面と土器溜まりがみつき、百間川沢田遺跡で、後期後半の多くの土器や石器とともに貯蔵穴や炉床・貝塚が見つかる。晩期になるとさらに遺跡数が増加し、百間川遺跡群全体と雄町遺跡⁽²⁾で遺物が出土している。中でも百間川沢田遺跡では晩期後半の土器とともに石鍬や太形蛤刃石斧・石包丁状石器が見つかり、これらの遺物から農耕を行っていた可能性が指摘されている。

弥生時代 弥生時代前期の遺構は、百間川原尾島遺跡・百間川沢田遺跡・百間川米田遺跡などで確認されている。百間川沢田遺跡の微高地上では、南北約95m、東西90mの楕円形と推定される前期中頃の環濠集落が見つかり、その内部で竪穴住居6軒、円形周溝墓2基等を確認している。また、環濠集落と旧河道を挟む東側には、土壙墓と木棺墓で構成される前期末の墓域があり、同様の墓域が百間川沢田（市道）遺跡でも確認されている⁽³⁾。前期の水田は百間川原尾島遺跡と百間川沢田遺跡で検出し、いずれも微高地上の凹部が縁辺部に立地し、畦畔による水田区画が長方形を呈するなど、地形に規制された様子がうかがえる。

中期の遺跡は、百間川遺跡群、雄町遺跡⁽²⁾、赤田遺跡⁽⁴⁾、乙多見遺跡⁽⁵⁾などが知られる。百間川兼基・今谷遺跡の中期中葉の大形の掘立柱建物群はガラス滓を多く出土し、単なる集落遺跡とは性格を異にするといえる。操山丘陵の谷部に立地する兼基鳥坂遺跡からは3個の銅鐸が出土している⁽⁶⁾。雄町遺跡からも銅鐸が出土しており⁽⁷⁾、銅鐸を保有する拠点的な集落であったと考えられる。中期の水田は百間川原尾島遺跡、百間川沢田遺跡、百間川兼基・今谷遺跡で検出しており、前期の水田上で検出した例も多い。

後期の遺跡数は飛躍的に増加し、加えて集落規模の拡大



第1図 遺跡位置 (1/2,000,000)

化が顕著となる。百間川遺跡群では、百間川原尾島遺跡が拠点的な集落と考えられ、また百間川遺跡群では後期末の洪水によって堆積した砂によって集落や水田が覆われ、当時の景観を復元するのに良好な資料である。弥生墳丘墓には唐人塚東弥生墳丘墓⁽⁸⁾が知られているのみである。百間川米田遺跡や備前国府推定地（南国長）遺跡⁽⁹⁾といった平地部の調査で特殊器台が散見されている。



- | | | | |
|-------------------|--------------|--------------|------------|
| 1 百間川兼基・今谷遺跡 | 2 百間川原尾島遺跡 | 5 中島遺跡 | 6 唐人塚古墳 |
| 3 百間川沢田遺跡 | 4 百間川米田遺跡 | 9 備前車塚古墳 | 10 居都廃寺 |
| 7 賞田廃寺 | 8 浄土寺 | 13 北口遺跡 | 14 成光廃寺 |
| 11 宍甘山王山古墳 | 12 備前国庁跡 | 17 中井・南三反田遺跡 | 18 雄町遺跡 |
| 15 備前国府推定地（南国長）遺跡 | 16 ハガ遺跡 | 21 幡多廃寺 | 22 赤田遺跡 |
| 19 乙多見遺跡 | 20 原尾島遺跡 | 25 網浜茶白山古墳 | 26 操山109号墳 |
| 23 赤田東遺跡 | 24 網浜廃寺 | 29 金蔵山古墳 | 30 沢田大塚古墳 |
| 27 湊茶白山古墳 | 28 旗振台古墳北部遺跡 | 32 兼基烏坂遺跡 | 33 正木城跡 |
| 31 明禪寺城跡 | | | 34 妙見山城跡 |

第2図 百間川周辺遺跡分布（1/50,000）

古墳時代 古墳時代の集落は、百間川遺跡群をはじめ雄町遺跡、赤田東遺跡⁽¹⁰⁾、原尾島遺跡⁽¹¹⁾などの遺跡が、弥生時代の集落に引き続いて営まれる。原尾島遺跡で中期末に白玉の生産が、原尾島遺跡と北口遺跡⁽¹²⁾で7世紀前半に製鉄関連作業が、北口遺跡では土師器生産も行われ、一定の集落で手工業生産を行っている状況が明らかになってきた。百間川兼基・今谷遺跡では、5世紀前半代に、竪穴住居とそれを上回る数の総柱建物で構成される集落が見つかり、この集落を貫く大溝が、集落と消長をほぼ同じくしていることから、遺跡南側の丘陵上に位置する金蔵山古墳⁽¹³⁾を造営するための物資を運搬する運河と考えられている。さらに集落については、古墳造営のキャンプ的機能を部分的に担っていたとする指摘もある⁽¹⁴⁾。百間川原尾島遺跡や赤田東遺跡では、7世紀代にそれまでの竪穴住居から掘立柱建物主体へと集落構造の変化が認められる⁽¹⁰⁾。

この平野をとりまく丘陵上には数多くの古墳が築造され、平野の北側の竜の口丘陵には、前期前半の前方後円墳である備前車塚古墳⁽¹⁵⁾、続いて東側の山王山丘陵に宍甘山王山古墳⁽¹⁶⁾が築かれている。また、平野の南側の操山丘陵には、特殊器台形埴輪を伴う操山109号墳⁽¹⁷⁾や網浜茶白山古墳⁽¹⁸⁾、そして継続的に金蔵山古墳⁽¹³⁾、湊茶白山古墳⁽¹⁹⁾という大形の前方後円墳が築かれる。一方、後期古墳としては竜の口古墳群や操山古墳群があり、いずれも小規模な円墳に横穴式石室を有する丘陵上の群集墳である。また、巨石を用いた大形石室を持つ唐人塚古墳⁽²⁰⁾が築造される。唐人塚古墳は後述する賞田廃寺に隣接するように築かれており、深い関連性があると考えられる。刳り抜き式石棺には、兵庫県の竜田山製の凝灰岩（竜山石）が使用されている点が注目される。平野部では中井・南三反田遺跡⁽²¹⁾において、墳丘が削平されて周濠のみとなった群集墳も見つかっている。

古代 旭東平野北西部には備前国府があったことが想定され、備前国庁跡が県指定史跡となっているが、その実態はよくわかっていない。近年、周辺での調査が進み、ハガ遺跡⁽²²⁾で官衙関連遺跡が見つかるなど、徐々に明らかとなってきているといえよう。具体的に国府の正庁の位置を成光廃寺の位置とする指摘もある⁽²²⁾。古代寺院としては賞田廃寺⁽²³⁾、成光廃寺、居都廃寺、幡多廃寺⁽¹⁴⁾、網浜廃寺が知られており、このうち賞田・幡多両廃寺については発掘調査が行われ、いずれも盛期の奈良時代に畿内中央でも有力寺院にしか用いない凝灰岩製の壇上積基壇を採用し、賞田廃寺は二塔式伽藍であることなど、中央寺院に匹敵する内容が判明している。これらの二寺と古都廃寺は、上道郡を本貫地とする上道氏の氏寺と考えられ、この上道氏の勢力地の中心に備前国府が選地されたことは、政治的な意図があったと解釈される。周辺の国府に関連する遺跡には百間川遺跡群があり、百間川米田遺跡では、船曳き道や運河、倉庫群などが見つかり、遺物として「上三宅」墨書須恵器、「市」墨書土師器、「官」逆字押印須恵器、帯金具などの公的性格を示すものがあり、国府との位置関係からいって、国や郡が建設を行った国府津と理解できる。百間川原尾島遺跡では、平安時代初頭の大溝から墨書土器とともに人形や齋串などの木製模造品が出土し、律令的祭祀である大祓の品々の一部と考えられ、このことから遺跡周辺に備前国府の祓所が存在したと考えられる。

中世～近世 中世の集落は、百間川原尾島遺跡や百間川米田遺跡、ハガ遺跡⁽²²⁾、などがある。百間川原尾島遺跡では鎌倉時代の屋敷墓に輸入陶磁器や鏡を副葬するものがあり、また、室町時代の屋敷地は溝や堀や道路で区画されていて、条里制地割による規制と考えられる。ハガ遺跡からは15世紀前後と考えられる土器焼成窯が見つかり、集落における手工業生産の一端がうかがえる。百間川米田遺跡では、中世を通しての集落とその南側に掘割（運河）が検出された。さらに、遺跡の北側に推定される河川には、長さ約1km内の3箇所の中世の橋梁3本と近世の橋梁1本が架けられていた。このう

ち最大となる中世の橋梁は全長40m、幅3m前後を測る。これらは再三の補修・改修の痕跡が認められ、長期間にわたる橋の維持・管理がなされていた。このうちの一つの橋梁の基礎から東大寺瓦⁽²⁴⁾が出土していることなどから、橋梁の築造工事には、浄土寺を拠点に活躍した俊乗房重源が関わっていた可能性が考えられる。以上の百間川米田遺跡の遺構群のあり方は、水上交通と陸上交通の接する要衝の地として栄えた港湾施設を想起させる。

戦国時代には大・小の山城が築かれ、永禄10(1567)年、前年に操山丘陵に築かれた明禪寺城の攻防を巡って宇喜多直家と三村元親が戦った「明禪寺崩れ」と呼ばれる当時の備前で最大の合戦が行われた際に、宇喜多直家に味方したとされる中島大炊の本拠地である中島城の比定地周辺(中島遺跡)が、近年発掘調査された⁽²⁵⁾。この調査で大規模な溝で区画された館跡が見つかり、これが中島城である可能性が強まった。この調査においては周辺で中世～近世にかけての集落とともに耕作地や墓域なども確認されており、長期的な変遷を追うことができる。

近世遺構としては、百間川築造に関連する遺構がある。百間川二の荒手遺跡では、洪水調整の要として設けられた越流堤とその両端の導流堤が見つまっている。一方、百間川原尾島遺跡では大規模な土取り跡が見つかり、築堤に伴うものと推定されている。

以上、本章は百間川遺跡の既刊各報告書の第1章「地理的・歴史的環境」を参考に、一部加筆して執筆した。(團)

註

- (1) 鎌木義昌「岡山市域の無土器時代遺跡と遺物」『岡山市史・古代編』岡山市 1962
- (2) 「雄町遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』1 岡山県教育委員会 1972
- (3) 『百間川沢田(市道)遺跡発掘調査報告』岡山市教育委員会 1992
- (4) 『幡多庵寺発掘調査報告』岡山市教育委員会 1975
- (5) 「岡山市乙多見における溝改修工事に伴う出土土器」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』3 岡山県教育委員会 1973
- (6) 鎌木義昌「岡山県兼基遺跡」『日本農耕文化の生成』1961
- (7) 高橋護「岡山市雄町遺跡の銅鐸」『考古学雑誌』第75巻第4号 1990
- (8) 宇垣匡雅「特殊器台・特殊壺」『吉備の考古学的研究』(下) 1992
- (9) 「備前国府推定地(南国長)遺跡」『岡山県埋蔵文化財調査の概要1996(平成8)年度』岡山市教育委員会 1998
- (10) 『赤田東遺跡』岡山市教育委員会 2005
- (11) 「原尾島遺跡(藤原3丁目地区)」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』139 岡山県教育委員会 1999
- (12) 「北口遺跡」『岡山市埋蔵文化財調査の概要1999(平成11)年度』岡山市教育委員会 2001
- (13) 西谷真治・鎌木義昌『金蔵山古墳』倉敷考古館 1959
- (14) 高田浩司「吉備南部における古墳社会形成期の様相」『環瀬戸内海の考古学』下巻 2002
- (15) 近藤義郎・鎌木義昌「備前車塚古墳」『岡山県史』第18巻 岡山県 1986
- (16) 宇垣匡雅「吉備の前期古墳Ⅱ 宍甘山王山古墳の測量調査」『古代吉備』第10集 1988
- (17) 宇垣匡雅「網浜茶白山古墳・操山109号墳の測量調査-吉備の前期古墳Ⅲ-」『古代吉備』第12集 1990
- (18) 『神宮寺山古墳 網浜茶白山古墳』岡山市教育委員会 2007
- (19) 『湊茶白山古墳-第1次調査現地説明会資料-』岡山市教育委員会 2008
- (20) 「唐人塚古墳石室の測量調査」『岡山市埋蔵文化財調査の概要1999(平成11)年度』岡山市教育委員会 2001
- (21) 「中井・南三反田遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』92 岡山県教育委員会 1994
- (22) 『ハガ遺跡』岡山市教育委員会 2004
- (23) 『史跡賞田廃寺跡』岡山市教育委員会 2005
- (24) 「史跡万富東大寺瓦窯跡」『瀬戸町埋蔵文化財発掘調査報告』1 瀬戸町教育委員会 2003
- (25) 『発掘/高島のむかし』岡山県古代吉備文化財センター 2005

百間川遺跡群の報告書については、第2章第5節の表に挙げる報告書一覧を参照されたい。

第2章 発掘調査および報告書作成の経緯と経過

第1節 調査にいたる経緯

岡山平野を南北に貫流する旭川の東岸には多くの遺跡が存在する。百間川の川床下にも「百間川遺跡」が存在することは、昭和25（1950）年頃から周知され、昭和40（1965）年度に岡山県教育委員会が発行した『岡山県遺跡地図』には、百間川A遺跡と同B遺跡として記載されている。前者は旧国道付近から上流側の祇園用水付近まで、後者は国道250号の百間川橋付近の範囲が示されている。昭和43年（1968）年、岡山県教育庁文化課は、建設省（現国土交通省、以下同）が旭川放水路（百間川）の改修工事を計画していることを知り、建設省岡山河川工事事務所に対し、以下の説明と要望を行った。その内容は、改修工事計画予定地には文化財保護法に基づく周知の遺跡である「百間川遺跡」が存在すること。事業者である建設省は、文化財保護法に基づく措置、特に昭和32（1957）年6月11日閣議了解になった「文化財保護に関する関係官庁間の連絡強化について」の趣旨にそって、事前に文化財の保護に遺漏のないように計らうこと。以上大略二点である。これに対して建設省は、当時河川内の土地買収交渉及び工事施行の調査計画を進めている段階であるとの回答であった。

その後建設省は、計画に沿って地元耕作者と土地買収交渉に入り、昭和49（1974）年に決着をみたことから、翌昭和50（1975）年10月には河川敷に工事用道路を施行するなどして、本格的工事に入る姿勢を示した。岡山県教育委員会は、このような百間川改修事業の状況をふまえ、直ちに協議を申し入れ、実情の聴取と改修事業に伴う百間川遺跡の取り扱いについて協議した。その結果、基本的には埋蔵文化財包蔵地の範囲が確定したならば、当該地は発掘調査が終了した後に改修工事を施工することで合意した。また、建設省に対しては文化財保護法第57条の3（現第49条）に先立つ事前協議の文書の提出を求める一方、この協議の基礎資料となる百間川遺跡（関連遺跡を含む）の範囲確認調査計画概要を建設省に提出した。やがて昭和51（1976）年4月になって、建設省中国地方建設局（現国土交通省中国地方整備局）岡山河川工事事務所長名で、事前協議の文書が岡山県教育委員会に提出され、これに基づいて協議を重ねた。そして同年9月1日付で同局長から確認調査の依頼文書が提出され、同年11月1日から確認調査を実施するに至った。

確認調査（第1次調査）は、低水路部分の遺跡の確認と古地形の復元を主に、一部新田サイフォン部分の全面調査で、翌年3月31日まで実施した。その結果、岡山市原尾島（第1微高地）、同沢田（第2微高地）、同兼基・今谷（第3微高地）の3か所に大規模な微高地が広がり、そこに遺跡が存在することが判明した。

昭和52（1977）年度からは、確認調査の成果を基に建設省の工事計画にそって発掘調査を進め、平成16（2004）年度までの28年間という長期にわたって実施してきたが、現在は休止している。この間調査の進展とともに各微高地間にも弥生時代後期の水田が存在することや、新たに岡山市米田一帯にも遺跡が広がることが判明した。さらに、弥生時代の生活面から深い位置で縄文時代の遺構・遺物が発見され、発掘調査の対象範囲や調査深度は当初よりも著しく増すこととなった。（高田）

第2節 調査の経過

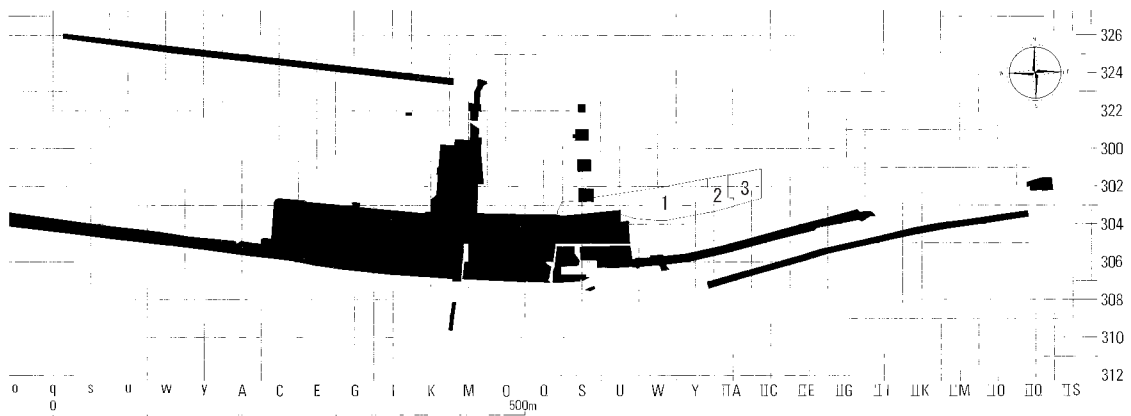
百間川今谷遺跡の調査は、昭和53年度から実施した。昭和53～55年度には、掘削予定幅80mの中央低水路のうち幅40m部分と今谷橋橋脚部分、昭和58～61年度には中央低水路のうち、調査終了した部分の南側、平成2年度には右岸側の高水敷護岸基礎部分幅約5m、長さ350mを工事行程に沿って、調査を進めた。

本書に掲載する調査区は、中央低水路の左岸側にあたり、平成13・14・16年度に調査を行った。この低水路左岸側法線は設計変更があり、本書に係わる箇所での低水路幅は80m以上である。平成13年度の調査は、百間川原尾島遺跡の調査終了後、今谷橋の西側上流部から開始した。その後は、随時東側へと調査を進め、グリッドのYラインから東へ10mまで行った。平成14年度は13年度の東側を調査し、Zラインと一部II Aラインまで行なった。平成16年度は14年度調査区の東側を調査した。弥生時代後期末の洪水砂埋没水田とそれに先行する水田層、さらに島状高まりの中に弥生時代中期以前の水田層を確認し、グリッドのII Bラインから東へ10mの南北ライン（II B+10）で調査を終了した。

百間川遺跡群の発掘調査は、国土交通省の旭川放水路改修工事の見直しに伴い、平成16年度をもって中断されることとなった。百間川兼基・今谷遺跡グリッド数点の日本・世界測地を例言の最後に掲載しておく。
(物部・高田)

表1 百間川今谷遺跡調査一覧（本報告分）

番号	調査地区	調査担当者	調査期間	調査面積	遺構数	遺物数
1	302・303-Q～Y	高田恭一郎・小嶋善邦・藤田裕文	H13. 5. 1～H14. 3. 31	4,138.50	175	340
2	301～303-Y・Z	高田恭一郎・大熊美徳・藤田裕文	H14. 4. 1～7. 8	736.52	29	36
3	301～303-Z～II A	浅倉秀昭・澤山孝之・物部茂樹・和田剛	H17. 1. 1～3. 31	1,100.00	23	14
			計	5,975.02㎡	227	390箱



第3図 設定グリッドと調査区位置 (1/8,000)

第3節 調査の体制

発掘調査は、岡山県教育委員会が建設省中国地方建設局（現国土交通省中国地方整備局）から委託を受け、昭和52（1977）年度から平成16（2004）年度まで実施している。

本報告書に記載した百間川今谷遺跡は、平成13（2001）・14（2002）・16（2004）年度に発掘調査を実施した範囲を対象としている。いずれの調査も調査員3～4名の1班体制で組織されている。

岡山県教育委員会は、発掘調査と報告書の作成事業の遂行にあたり、遺跡の保護・保存ならびに調査・報告書作成の専門的な指導および助言を得るため、岡山県遺跡保護調査団の推薦を受けた方々に「旭川放水路（百間川）改修工事に伴う埋蔵文化財保護対策委員会」の委員を委嘱している。

旭川放水路（百間川）改修工事に伴う埋蔵文化財保護対策委員会委員

池葉須藤樹（元中学校校長）
 亀田修一（岡山理科大学）＜平成14年度から＞
 近藤義郎（岡山大学名誉教授）
 出宮徳尚（岡山市教育委員会）
 西川 宏（岡山理科大学）＜平成13年度＞
 松本直子（岡山大学）＜平成15年度から＞
 水内昌康（元岡山県文化財保護審議会委員）＜平成14年度まで＞
 山本悦世（岡山大学）

平成13年度

岡山県教育委員会

教育長 宮野 正司

岡山県教育庁

教育次長 國貞 忠克

文化課

課長 松井 英治

課長代理（埋蔵文化財係長） 松本 和男

課長代理 藤井 守雄

主任 奥山 修司

岡山県古代吉備文化財センター

所長 正岡 陸夫

次長 能登原 巧

＜総務課＞

課長 安西 正則

総務係長 田中 秀樹

主任 小坂 文男

＜調査第三課＞

課長 柳瀬 昭彦

課長補佐（第一係長） 下澤 公明

文化財保護主査（調査担当） 藤田 裕文

文化財保護主査（調査担当） 高田恭一郎

文化財保護主事（調査担当） 小嶋 善邦

平成14年度

岡山県教育委員会

教育長 宮野 正司

岡山県教育庁

教育次長 三浦 一男

文化課

課長 西山 猛

課長代理（埋蔵文化財係長） 松本 和男

課長代理 宮田 正彦

文化財保護主任 尾上 元規

第2章 発掘調査および報告書作成の経緯と経過

主 事	浜原 浩司	文化財課	
岡山県古代吉備文化財センター		課 長	芦田 和正
所 長	正岡 睦夫	参 事	田村 啓介
次 長	藤川 洋二	総括副参事(埋蔵文化財班長)	平井 泰男
<総務課>		主 任	小林 利晴
課 長	安西 正則	主 事	秋山 良樹
課長補佐(総務係長)	田中 秀樹	岡山県古代吉備文化財センター	
主 任	小坂 文男	所 長	正岡 睦夫
<調査第三課>		次 長(総務課長)	内田 猛
課 長	柳瀬 昭彦	参 事	松本 和男
課長補佐(第一係長)	下澤 公明	参 事	伊藤 晃
文化財保護主査(調査担当)	藤田 裕文	<総務課>	
文化財保護主査(調査担当)	高田恭一郎	総括副参事(総務班長)	笈本 弘忠
主 事(調査担当)	大熊 美穂	主 任	小坂 文男
		主 任	小川 紀久
平成16年度		<調査第三課>	
岡山県教育委員会		課 長	柳瀬 昭彦
教育長	宮野 正司	総括副参事(第一班長)(調査担当)	浅倉 秀昭
岡山県教育庁		主 査(調査担当)	澤山 孝之
教育次長	釜瀬 司	主 任(調査担当)	物部 茂樹
		主 事(調査担当)	和田 剛

第4節 日誌抄

平成13年度

- 平成13年5月1日(火) 調査開始(Q～Y301～303区)
- 8月21日(火) 旭川放水路(百間川)改修工事に伴う埋蔵文化財保護対策委員会開催
- 11月26日(月) 旭川放水路(百間川)改修工事に伴う埋蔵文化財保護対策委員会開催
- 11月28日(水) 航空写真撮影実施
- 平成14年2月12日(火) 旭川放水路(百間川)改修工事に伴う埋蔵文化財保護対策委員会開催
- 3月31日(日) 調査終了(Q～Y301～303区)

平成14年度

- 平成14年4月8日(月) 調査開始(Y・Z301～303区)
- 7月8日(月) 調査終了(Y・Z301～303区)

平成16年度

- 平成17年1月4日(火) 発掘調査開始(Z～ⅡB301・302区)
- 2月1日(火) 航空写真撮影実施
- 2月8日(火) 旭川放水路(百間川)改修工事に伴う埋蔵文化財保護対策委員会開催
- 3月31日(木) 調査終了(Z～ⅡB301・302区)

表2 文化財保護法に基づく提出書類一覧

平成13年度

埋蔵文化財発掘調査の報告（法第58条の2）

文書番号 H付	種類及び名称	所在地	面積(m ²)	原因	報告者	担当者	期間
岡吉調 第20号 H13.4.9	集落跡・水田 百間川原尾島遺跡 今谷遺跡	岡山市原尾島 ・今谷	4,680	旭川 放水路 改修	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	藤田裕文 高田恭一郎 小嶋善邦	H13.4.1～ H14.3.31

遺物発見通知（法第59条）

文書番号 H付	物件名	出土地	出土年月日	発見者	土地所有者	現保管場所
教文埋 第4号 H14.4.1	土器（弥生土器・土師器。須恵器）、陶 器（備前焼ほか）、玉類（ガラス玉）、 石製品（双孔円盤・石鏃・石斧ほか）、 金属製品（古銭、不明鉄器ほか）、土製 品（鉢）、木製品（鋤・鍬・機織り具・ 建築部材ほか）、骨（獣骨）、ガラス滓 計344箱	岡山市原尾島 百間川原尾島遺跡 岡山市今谷 百間川今谷遺跡	H13.4.1～ H14.3.26	岡山県教育委員会 教育長 宮野正司	国土交通省	岡山県古代 吉備文化財 センター

平成14年度

埋蔵文化財発掘調査の報告（法第58条の2）

文書番号 H付	種類及び名称	所在地	面積(m ²)	原因	報告者	担当者	期間
岡吉調 第36号 H14.4.4	集落跡・水田 百間川今谷遺跡	岡山市今谷	390	河川 工事	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	藤田裕文 高田恭一郎 大熊美穂	H14.4.1～ H14.5.10

遺物発見通知（法第59条）

文書番号 H付	物件名	出土地	出土年月日	発見者	土地所有者	現保管場所
教文埋 第10号 H15.4.1	土器（弥生土器・土師器。須恵器）、陶 器（備前・青磁・染付）、玉類（白玉・ ガラス小玉）、石製品（紡錘車・双孔円 盤・石鏃ほか）、金属製品（銅鏡・鉄鏃・ 鉄釘ほか）、土製品（フイゴ羽目・土鉢）、 木製品（梯子・堅櫛）、獣骨 計184箱	岡山市今谷 百間川今谷遺跡 岡山市沢田 百間川沢田遺跡 岡山市原尾島 百間川原尾島遺跡	H14.4.1～ H15.3.26	岡山県教育委員会 教育長 宮野正司	国土交通省	岡山県古代 吉備文化財 センター

平成16年度

埋蔵文化財発掘調査の報告（法第58条の2）

文書番号 H付	種類及び名称	所在地	面積(m ²)	原因	報告者	担当者	期間
岡吉調 第244号 H16.12.17	集落跡・水田 百間川今谷遺跡	岡山市今谷	1,100	河川	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	浅倉秀昭 澤山孝之 物部茂樹 和田剛	H16.12.10～ H17.3.31

遺物発見通知（法第59条）

文書番号 H付	物件名	出土地	出土年月日	発見者	土地所有者	現保管場所
教文埋 第1439号 H17.3.23	弥生土器・土師器。須恵器・陶磁器（備 前・青磁・白磁・染付） 13箱 石器（石鏃・剥片） 1箱	岡山市今谷 百間川今谷遺跡	H16.12.1～ H17.3.18	岡山県教育委員会 教育長 宮野正司	国土交通省	岡山県古代 吉備文化財 センター

第5節 報告書作成の経過と体制

遺物の整理・報告書の作成は、平成19年度に調査員2名で行った。担当者間の分担は、遺構の整理を物部が行い、遺物の整理を團が行った。調査面積や遺物数は表1のとおりである。遺物390箱の内、まず竪穴住居や掘立柱建物や井戸など、主要遺構の土器の復元・実測と、60箱を超える木製品・杭・木片の水洗や抽出・実測を優先した。特に木製品の整理については時間を要した。また、溝から出土した土器は残存状況が良好なものが多く、実測・浄書に時間を費やすこととなった。遺構の時期については、特に水田や溝、掘立柱建物の時期決定に注意を払い、調査時の所見と遺物整理時の所見とが食い違う場合は、その都度、調査担当者との協議した。また、百間川今谷遺跡は、百間川兼基遺跡と同一微高地上にあるため、掲載する遺構全体図は、「百間川兼基遺跡4」（岡山県埋蔵文化財発掘調査報告208）と同じ縮尺で作成し、重ね合わせるように配慮した。

平成19年10月12日（金）に開催した埋蔵文化財保護対策委員会では、報告書作成状況の報告を行い、各委員から御指導・御助言を賜った。（物部・團）

旭川放水路（百間川）改修工事に伴う

埋蔵文化財保護対策委員会委員

- 池葉須藤樹（元中学校校長）
- 亀田修一（岡山理科大学）
- 近藤義郎（岡山大学名誉教授）
- 出宮徳尚（岡山市教育委員会）
- 松本直子（岡山大学）
- 山本悦世（岡山大学）



写真1 埋蔵文化財保護対策委員会

平成19年度

岡山県教育委員会

教育長 門野八洲雄

岡山県教育庁

教育次長 神田 益穂

文化財課

課長 藤井 守雄

参事 木山 潤郎

参事 田村 啓介

総括副参事（埋蔵文化財班長） 光永 真一

主任 小嶋 善邦

主任 金出地敬一

岡山県古代吉備文化財センター

所長 高畑 知功

次長（総務課長） 小林 勝

参事 岡田 博

副参事 中島 謙次

<総務課>

総括副参事（総務班長） 若林 一憲

主任 福池 光修

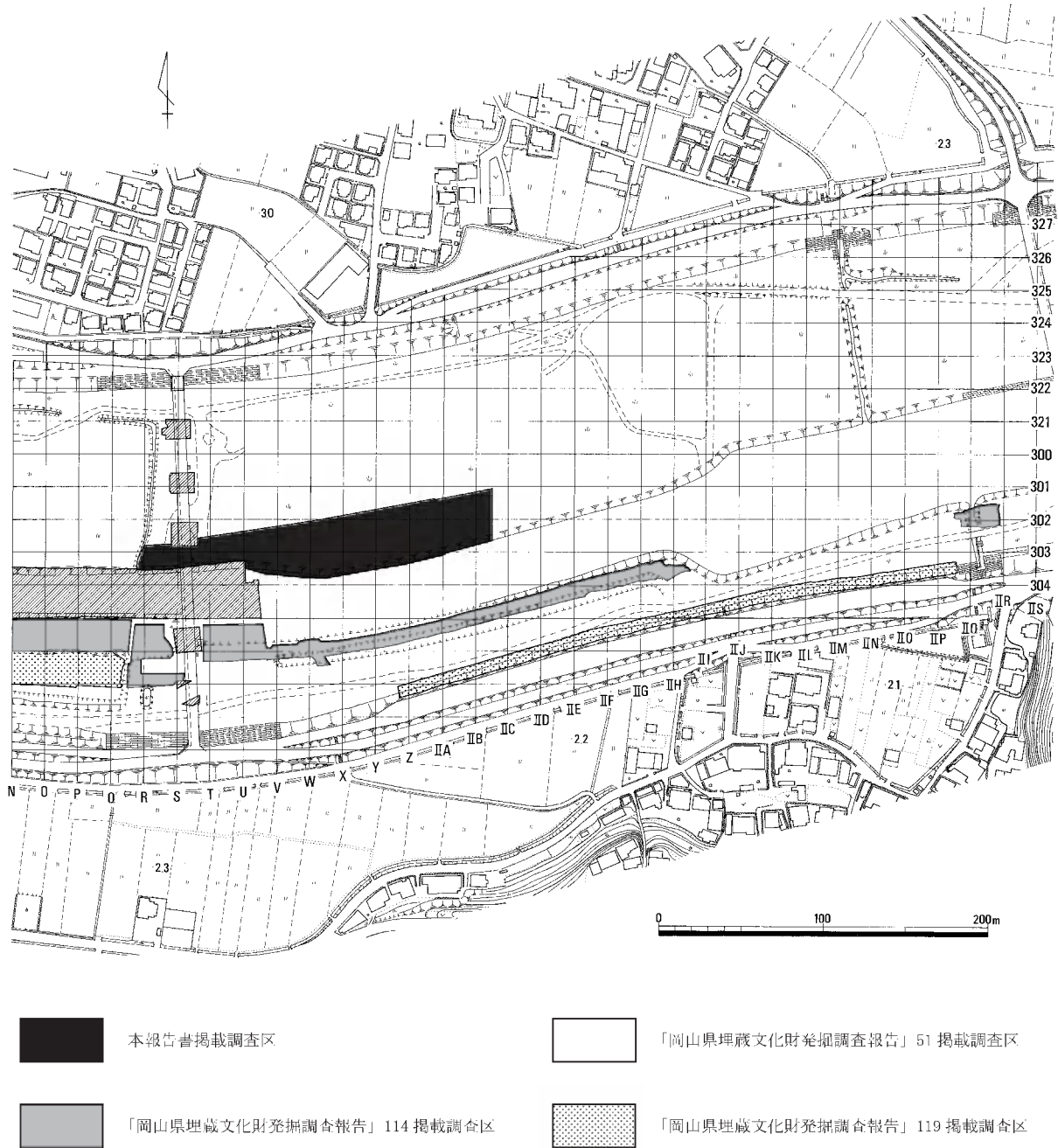
<調査第二課>

課長 島崎 東

総括主幹（第一班長） 高田恭一郎

主任（報告書担当）物部 茂樹

主任（報告書担当）團 奈歩



第4図 百間川今谷遺跡の調査区と掲載報告書 (1/4,000)

表3 旭川放水路（百間川）改修工事に伴う発掘調査報告書一覧

番号	編著者名	書名	シリーズ名・番号	発行年月
I	江見正己・伊藤 晃・浅倉秀昭・柳瀬昭彦 中野雅美・内藤善史他	百間川原尾島遺跡 1	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告39	1980 11
II	井上 弘・下澤公明・松本和男・岡田 博 浅倉秀昭・福田正継・江見正己・中野雅美 内藤善史・平井泰男・島崎 東他	百間川沢田遺跡 1 百間川長谷遺跡 百間川岩間遺跡 百間川当麻遺跡 1	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告46	1981 11

第2章 発掘調査および報告書作成の経緯と経過

番号	編 著 者 名	書 名	シリーズ名・番号	発行年月
Ⅲ	高畑知功・正岡睦夫・井上 弘・下澤公明 渡辺 光・山磨康平・浅倉秀昭・岡本寛久 江見正己・中野雅美・内藤善史・平井泰男 島崎 東・光永真一・平井典子他	百間川兼基遺跡 1 百間川今谷遺跡 1	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告51	1982 11
Ⅳ	井上 弘・松本和男・岡田 博・二宮治夫 平井泰男・光永真一 正岡睦夫・高畑知功・平井泰男・島崎 東	百間川当麻遺跡 2	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告52	1982 11
Ⅴ	光永真一・井上 弘・下澤公明・渡辺 光 岡田 博・二宮治夫・岡本寛久・中野雅美 二宮治夫・正岡睦夫・井上 弘・下澤公明	百間川原尾島遺跡 2	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告56	1984 11
Ⅵ	柳瀬昭彦・山磨康平・岡田 博・高畑知功 浅倉秀昭・岡本寛久・江見正己・中野雅美 平井泰男・島崎 東・光永真一他	百間川沢田遺跡 2 百間川長谷遺跡 2	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告59	1985 11
Ⅶ	岡本寛久・平井 勝・柳瀬昭彦・井上 弘 宇垣匡雅・平井泰男・江見正己	百間川米田遺跡 3 (旧当麻遺跡)	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告74	1989 4
Ⅷ	平井 勝・井上 弘・柳瀬昭彦・浅倉秀昭 古谷野寿郎・岡本寛久・江見正己 宇垣匡雅・阿部泰久・高田恭一郎	百間川沢田遺跡 3	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告84	1993 3
Ⅸ	宇垣匡雅・平井 勝・江見正己・柳瀬昭彦	百間川原尾島遺跡 3	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告88	1994 3
X	平井 勝・岡本寛久・高田恭一郎	百間川原尾島遺跡 4	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告97	1995 3
XⅠ	柳瀬昭彦・高田恭一郎・岡本寛久 平井泰男・井上 弘	百間川原尾島遺跡 5	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告106	1996 3
XⅡ	平井 勝・柳瀬昭彦・岡本寛久・宇垣匡雅 浅倉秀昭・江見正己	百間川兼基遺跡 2 百間川今谷遺跡 2	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告114	1996 3
XⅢ	柳瀬昭彦・弘田和司・平井 勝・高田恭一郎 山磨康平・根本智宏・澤山孝之	百間川兼基遺跡 3 百間川今谷遺跡 3 百間川沢田遺跡 4	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告119	1997 3
XⅣ	物部茂樹・山磨康平・井上 弘・宇垣匡雅 中野雅美・根本智宏・柳瀬昭彦・松尾佳子	百間川米田遺跡 4	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告164	2002 3
XⅤ	小嶋善邦・宇垣匡雅・高田恭一郎・柴田英樹 物部茂樹・松尾佳子・柳瀬昭彦・稲谷知子	百間川原尾島遺跡 6	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告179	2004 3
XⅥ	高田恭一郎・和田 剛・物部茂樹・浅倉秀昭 澤山孝之・稲谷知子	百間川兼基遺跡 4 百間川沢田遺跡 5	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告208	2007 3
XⅦ	高田恭一郎・下澤公明・山磨康平	百間川原尾島遺跡 7 百間川二の荒手遺跡	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告215	2008 3
XⅧ	物部茂樹・高田恭一郎・小嶋善邦・團 奈歩 和田 剛	百間川今谷遺跡 4	岡山県埋蔵文化財 発掘調査報告217	2009 2

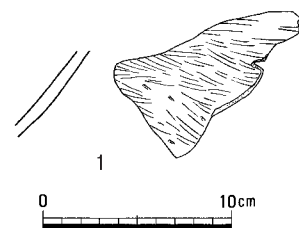
第3章 発掘調査の概要

第1節 遺跡の概要と調査区

百間川今谷遺跡における以前の調査では、ガラス滓（ガラス）を伴う百・中・Ⅱ期の掘立柱建物群や、百・後・Ⅳ期に比定される洪水砂で埋没した水路・水田・「島状高まり」遺構状の自然地形などが検出されるなど注目される遺構が多い。今回報告する調査区では、百・中・Ⅱ期の掘立柱建物群の北端部を確認したほか、新たに、弥生時代前期の水田や中期以前の水田、百・後・Ⅲ期の掘立柱建物群を検出した。さらに、百間川兼基遺跡の水田から取水した弥生時代後期の水路が、調査区内で再び水田へ取り付くことが明らかとなり、水田と水路の関係や変遷を考える上で重要な発見となった。

基本層序を第7・8図に示した。イ・□地点は微高地部にあたる。第1層は灰白色粘質土で早島式土器碗が出土し、中世と考えられる。第2層は黒っぽい粘質土で、ハ地点の第6層と対応すると考えられ、古墳時代後期の須恵器蓋坏が出土した。第3層は百・後・Ⅳ期の洪水砂。第7・8層は百・中・Ⅱ～Ⅲ期の包含層であり、弥生時代後期遺構の基盤となる。第10層は洪水砂と推定される黄褐色砂質土で、百・中・Ⅱ期の掘立柱建物群の基盤となる。第11層の黒褐色粘土は微高地全体にわたって確認され、その上面で弥生時代前期の土器が検出されている。低位部にあたるハ地点では、百・後・Ⅳ期洪水砂（第8層）の上に、古墳時代前期の土器を含む第7層が厚く堆積している。洪水砂の下には、2枚の弥生時代後期水田層（第9・10層）〈水田4・6〉が連続し、第11層を挟んで弥生時代中期以前の水田層（第12層）〈水田2〉がある。しかし、ヘ地点の「島状高まり」遺構内部の土層を見ると、水田2（第7層）の上に弥生時代中期の土器を包含する第4～6層が堆積していることから、後期の水田4・6はこの堆積層を削平していることが分かる。弥生時代前期水田〈水田1〉の端部にあたるニ地点の土層を見ると、水田1は、第5層から第6層中程まで掘削しており、その水田層は洪水砂（第4層）で覆われている。その上の第3層は弥生時代中期の包含層、第2層は弥生時代後期の包含層である。また、第6層は前期以前と推定される黒褐色粘土層である。ニ・ホ・ヘ地点の土層を比べると、水田1が水田2より30cm以上高位にあることが分かる。黒褐色土層はホ地点で標高160～170cmまで上昇しているが、ヘ地点では後期水田層の削平が入り、直接の繋がりを追えない。ただし、ト地点では土層全体が北へ向けて下がっており、★印で縄文晩期の浅鉢（第5図の1）が出土したことから、黒褐色土も同様に北へ傾斜している可能性が強く、ヘ地点の第8層、ト地点の第3層が黒褐色土層である可能性がある。水田1と水田2は、どちらの水田も上部に弥生時代中期包含層が堆積していることと、弥生時代前期以前の黒褐色土層付近に水田を開墾している点は類似するが、水田の標高・立地は大きく相違すると言える。第4章まとめでも記述しているが、微高地全体を見渡すと、百・中・Ⅰ～Ⅱ期に大規模な新田開発が認識できることから、現段階では水田2の時期をここに比定したい。

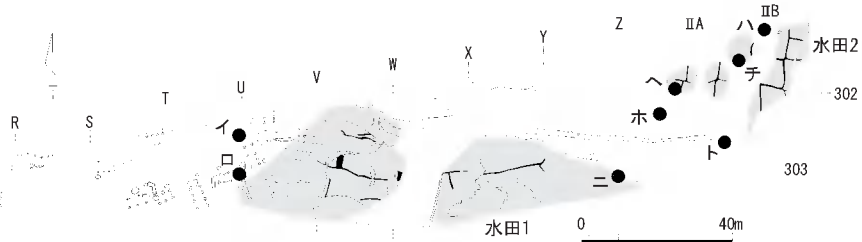
（物部）



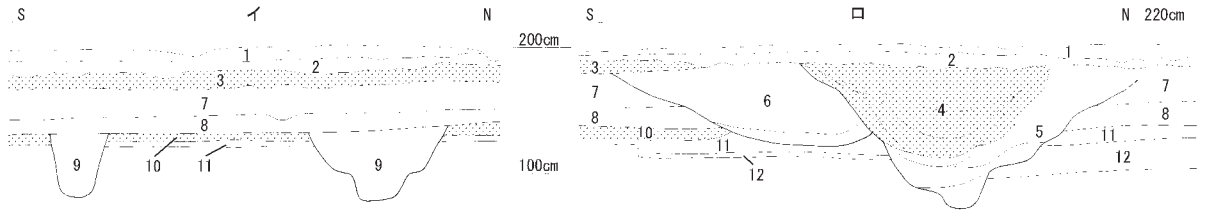
第5図 ト地点出土
縄文土器(1/4)



第6図 百間川兼基・今谷遺跡 調査区位置図 (1/7,500)

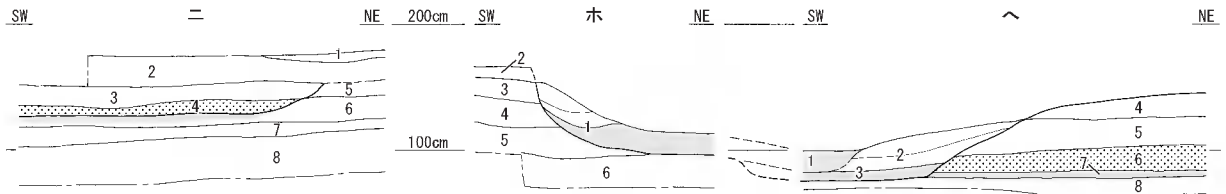
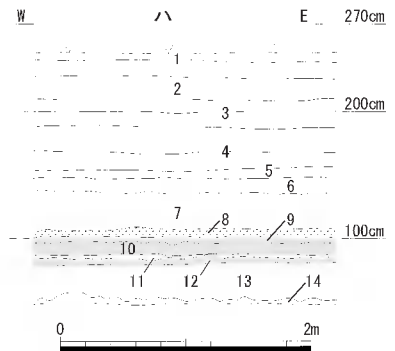


第7図 土層断面位置図 (1/2,000)

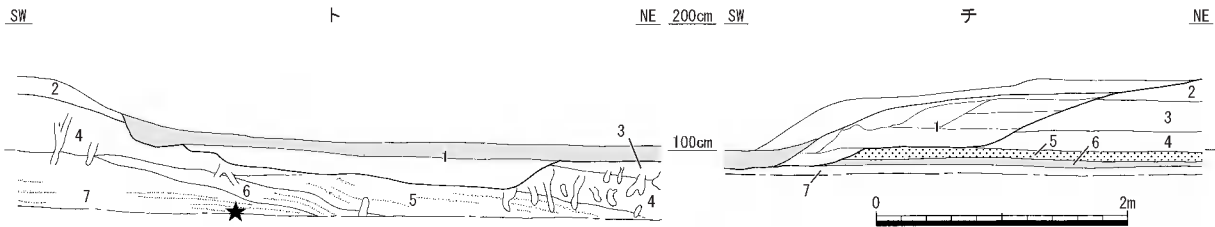


- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 灰白色 (10YR7/1) 粘土 2 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土 3 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 砂<白・後・IV洪水砂> 4 <白・後・IV洪水砂、水路1> 5 <溝10~12> 6 <溝20> | <ul style="list-style-type: none"> 7 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土 (炭粒・焼土粒含) 8 暗褐色 (10YR3/3) 粘質土 (炭粒・焼土粒含) 9 <建物8P6・P10> 10 黄褐色 (10YR5/6) 砂質土<洪水砂> 11 黒褐色 (10YR3/1) 粘土 12 明黄褐色 (10YR6/6) 粘土 |
|---|---|

- 1 黄灰色 (2.5Y6/1) ~ 明黄褐色 (10YR7/6) 粗砂<造成土>
- 2 褐灰色 (10YR5/1) 細砂 (下半にFe多沈着) <旧耕土>
- 3 灰オリーブ (5Y6/2) ~ 浅黄色 (2.5Y7/4) 細砂 (Fe・Mn沈着) <近世水田>
- 4 灰黄色 (2.5Y7/2) ~ 浅黄色 (2.5Y7/3) 微砂 (Fe・Mn沈着) <古代~中世水田>
- 5 灰白色 (2.5Y7/1) 粘性微砂 (下半にMn沈着)
- 6 褐灰色 (10YR6/1) 弱粘性微砂<古墳時代後期包含層>
- 7 にぶい黄色 (2.5Y6/3) 細砂 (黄色粘土斑含) <古墳時代前期堆積層>
- 8 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 細砂<白・後・IV洪水砂>
- 9 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘性微砂<水田6>
- 10 灰色 (5Y6/1) 微砂<水田4>
- 11 灰色 (5Y5/1) 粘土 (浅黄色粘土斑含)
- 12 灰オリーブ色 (5Y5/2) 粘性微砂<水田2>
- 13 灰色 (N4) 粘土
- 14 オリーブ灰色 (2.5GY6/1) 粘性細砂



- | | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 灰黄褐色粘土 2 褐灰色年質微砂 3 灰黄褐色砂質土 4 にぶい黄色砂質土
<洪水砂、直下が水田1> 5 灰褐色年質微砂 6 黒褐色粘土 7 緑灰色砂質土 8 黄褐色砂質土 | <ul style="list-style-type: none"> 1 <水田6> 2 黒褐色粘土 3 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粘質微砂 4 オリーブ褐色 (5YR4/4) 微砂質粘土 5 灰オリーブ色 (5Y5/2) 微砂 6 灰色 (7.5Y4/1) 粘土 | <ul style="list-style-type: none"> 1 <水田6> 2 <水田4関連層> 3 <水田4> 4 褐灰色 (10YR6/1) 粘性微砂 (Mn多沈着) 5 明黄褐色 (10YR6/6) 粘性微砂 6 オリーブ黄色 (5Y6/3) 粘性微砂<洪水砂> 7 褐灰色 (7.5YR5/1) 粘土<水田2> 8 褐灰色 (10YR4/1) 粘土 |
|---|--|---|



- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 <水田4関連層> 2 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘土 (Mn沈着) <白・後包含層> 3 黒色粘質土 4 暗青灰~暗褐色粘質土 5 褐~灰色粘質土と淡灰色砂の互層 6 粘質土と淡灰色砂の互層 7 黄褐~灰色粘質土と淡灰色砂の互層<縄文晩期土器包含> | <ul style="list-style-type: none"> 1 <水田4関連層> 2 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘性微砂 3 明黄褐色 (2.5Y7/6) 微砂 4 灰黄色 (2.5Y7/2) 粘性微砂 5 オリーブ黄色 (5Y6/3) 粘性微砂<洪水砂> 6 褐灰色 (7.5YR5/1) 粘性微砂<水田2> 7 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘性微砂 |
|---|---|

第8図 イ~チ地点 土層断面位置図 (1/60)

第2節 弥生時代中期以前の遺構・遺物

1 概要

弥生時代中期以前の遺構は、掘立柱建物14棟、柱穴列3基、井戸1基、土壙18基、溝9条、水田2面、窪み1基を掲載する。これらの遺構は、Vライン付近を境にする東西で対照的な様相を呈する。すなわち、掘立柱建物や柱穴列、土壙、溝がVライン以西の西半部に集中するのに対し、東半部では旧河道や溝、水田が広がるのである。

西半部の南北は、「百兼基1・百今谷1」掲載地区に続いている。今回の調査と合わせて、東西120m、南北60mの範囲に竪穴住居や掘立柱建物、柱穴列、土壙、溝の集中することが確認できた。なお、今回の調査では、南端の柱穴が「百今谷1」の柱穴や柱穴列と建物を構成する可能性を検討するために、可能な限り「百今谷1」の遺構を掘り起こして検証を加えた。これにより、建物は「百今谷1」と合わせて39棟を数えている。なお、この39棟の建物のうち、302・303U区の5棟は百・中・Ⅲと考えられ、百・中・Ⅱの建物は34棟で、東西80m、南北60mのより限定された範囲に展開することが分かる。

次に、東半部の301・302V～X区には溝8の旧河道が位置し、水田2が広がる301・302Y～ⅡB区

は低位部となる。また、水田1が広がる302・303V～Z区は、微高地上の窪地状の地形と考えられる。水田1は弥生時代前期、水田2は中期の可能性が高く、同時期ではないものの水田域として拓かれたと推定される。

出土遺物では、土壙4・5と溝5からガラス滓が灰や炭、焼土とともに出土しており、ガラス生産に関連する遺構と考えられる。また、旧河道と考えられる溝8からは、農具や部材・容器等の木器が出土している。 (高田)



写真2 掘立柱建物群 (西から)



写真3 水田1畦畔 (東から)



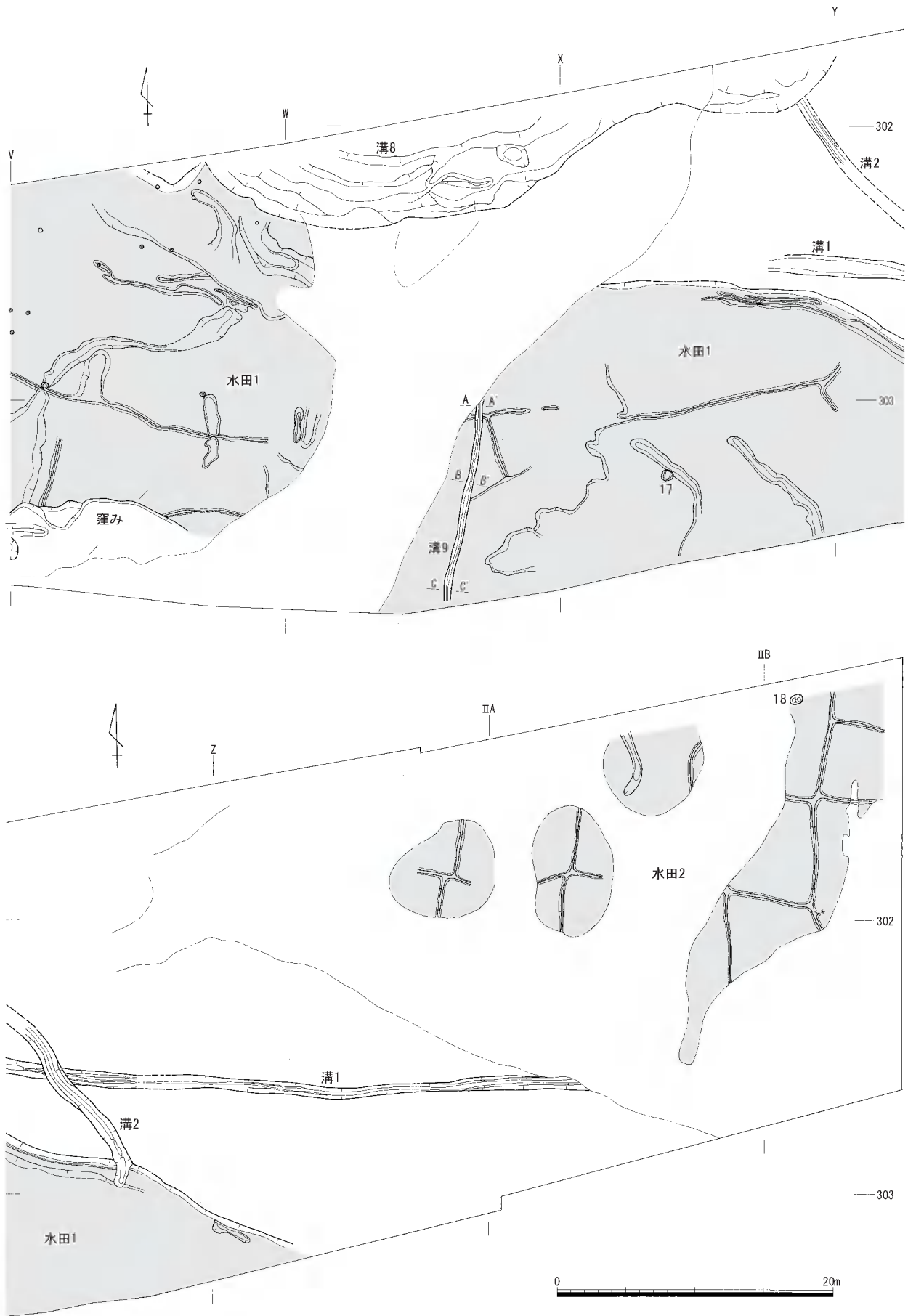
写真4 水田2 (北東から)



第9図 百間川兼基・今谷遺跡 弥生時代中期以前の遺構全体図 (1/1,000)

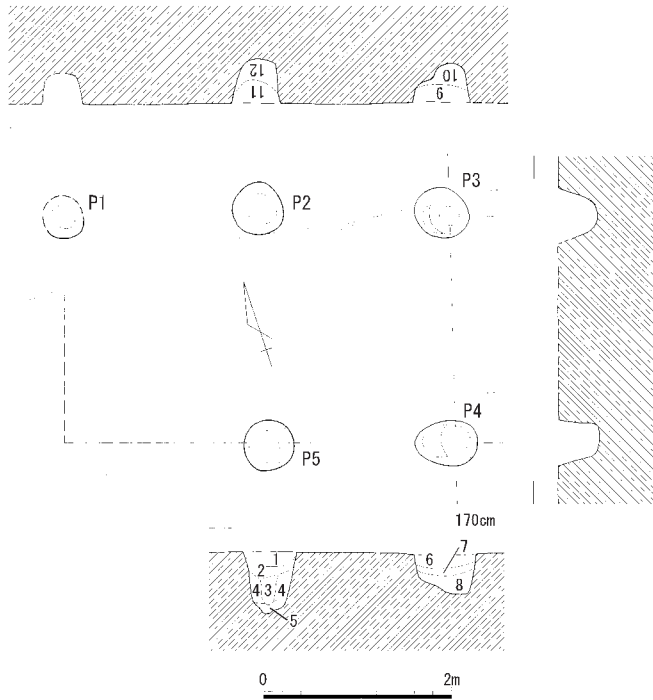


第10図 弥生時代中期以前の遺構全体図① (1/400) -西部- (昭和53年度調査区を含む)



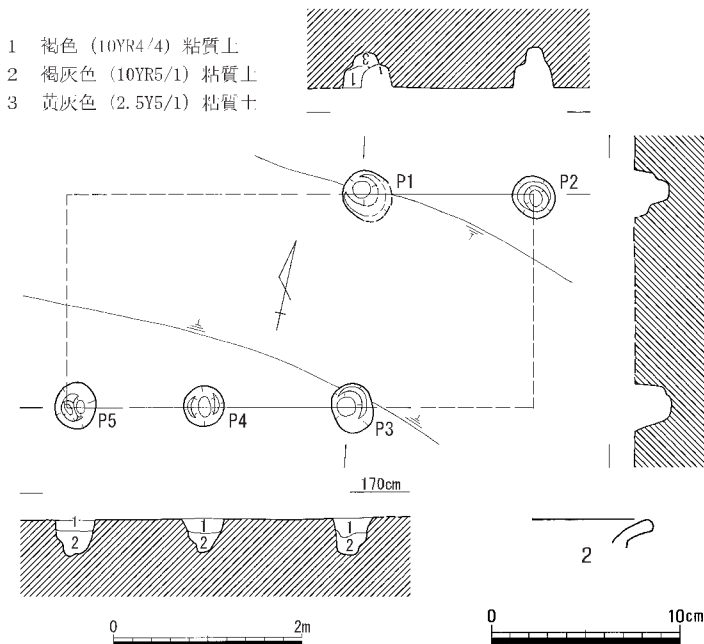
第11図 弥生時代中期以前の遺構全体図② (1/400) -中央部~東部-

2 掘立柱建物



- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 褐色 (10YR4/4) 粘質土 | 6 黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土 |
| 2 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 | 7 黄色 (2.5Y8/6) 粘質土 |
| 3 褐灰色 (10YR5/1) 粘質土
(明黄褐色粘質土ブロック含) | 8 灰色 (5Y4/1) 粘質土
(明黄褐色粘質土ブロック含) |
| 4 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土
(明黄褐色粘質土と黒色粘質土
ブロック含) | 9 黄褐色 (10YR5/6) 粘質土 |
| 5 灰色 (5Y4/1) 粘土 | 10 褐灰色 (10YR5/1) 粘質土 (炭含) |
| | 11 黄褐色 (2.5YR5/1) 粘質土 |
| | 12 褐灰色 (10YR5/1) 粘質土 |

第12図 掘立柱建物 1 (1/80)



- | |
|---------------------|
| 1 褐色 (10YR4/4) 粘質土 |
| 2 褐灰色 (10YR5/1) 粘質土 |
| 3 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 |

第13図 掘立柱建物 2 (1/80)・出土遺物 (1/4)

掘立柱建物 1 (第10・12図)

302R区で検出された2×1間の建物で、南西隅の柱穴は後世の溝10~12により削平されている。桁行407cm、梁行240cmを測り、床面積は9.77㎡である。柱間距離は桁行210~197cm、梁行240cmである。柱穴は径64cm~41cm、深さ66cm~41cmを測り、P5には柱の抜き取り痕が確認された。

遺構の時期は、検出面から、弥生時代中期と想定している。(小嶋)

掘立柱建物 2 (第10・13図)

後世の溝10~12により北西および南東部の柱穴が削平されているもので、3×1間を呈すると考えられる建物である。切り合い関係から掘立柱建物1より古い。桁行推定490cm、梁行224cm、床面積10.98㎡を測る。桁行柱間距離は183~143cmである。時期は、百・中・Ⅱに比定される。(小嶋)

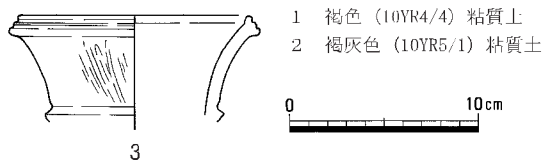
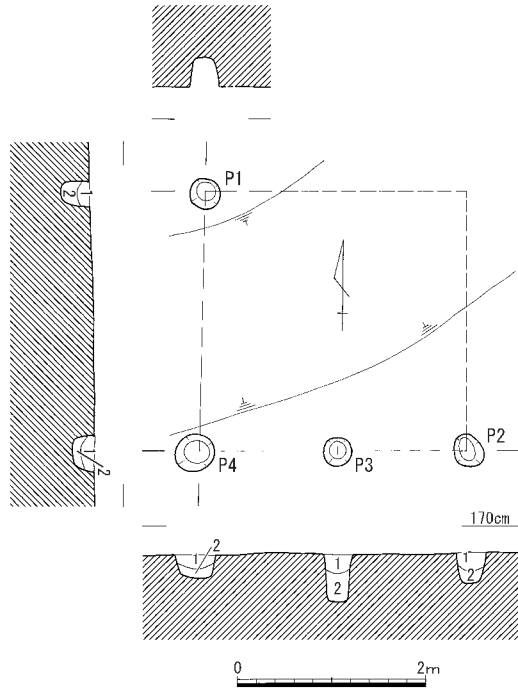
掘立柱建物 3 (第10・14図)

掘立柱建物1の東側約12mに位置している。南西から北東にかけて溝10~12に削平されているため現状では2×1間の側柱建物であるが、2×2間の側柱建物ないしは総柱建物の可能性も捨てきれない。

桁行柱間距離は146~135cmである。柱穴平面形は円形を呈し、その規模は長径40~30cm、深さ50~22cmを測る。

P4から、頸部に断面三角形の凸帯を貼り付け、口縁部に2条の凹線を施した壺3が出土している。

遺構の時期は、百・中・Ⅱに比定される。(小嶋)

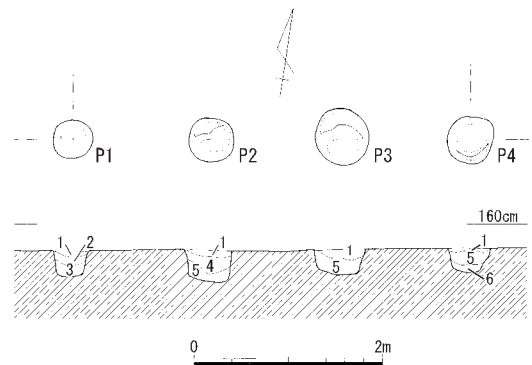


第14図 掘立柱建物3 (1/80)・出土遺物 (1/4)

134cmである。柱穴は、径56～42cm、深さ38～28cmの規模である。

検出面や埋土の色調等から、遺構の時期は中期の範疇に収まると考えられる。

(小嶋)



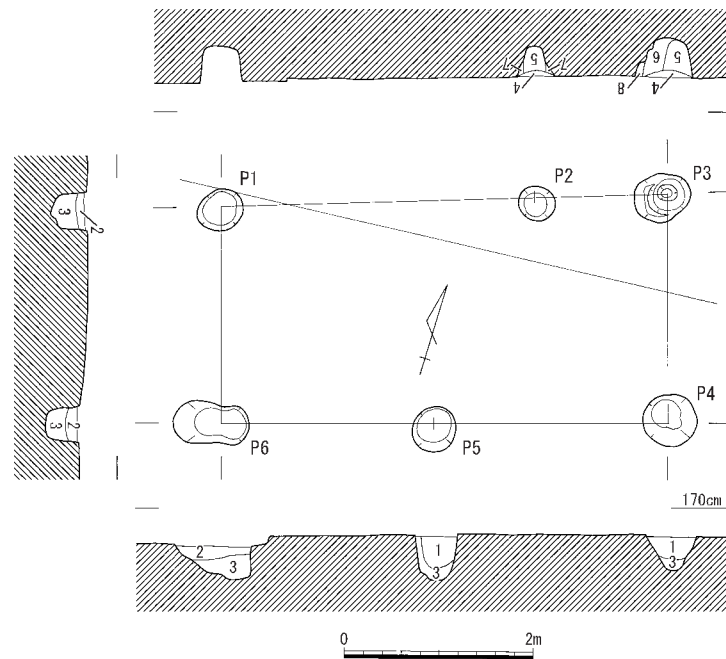
- 1 褐色 (10YR4/6) 粘質土 (炭・焼土粒含)
- 2 灰色 (5Y4/1) 粘質土 (炭粒含)
- 3 オリーブ黒色 (5Y3/1) 粘質土 (炭粒含)
- 4 暗褐色 (10YR3/4) 粘質土 (炭粒含)
- 5 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 (炭粒含)
- 6 灰色 (5Y4/1) 粘質土 (炭粒含)

第15図 掘立柱建物4 (1/80)

掘立柱建物4 (第10・15図)

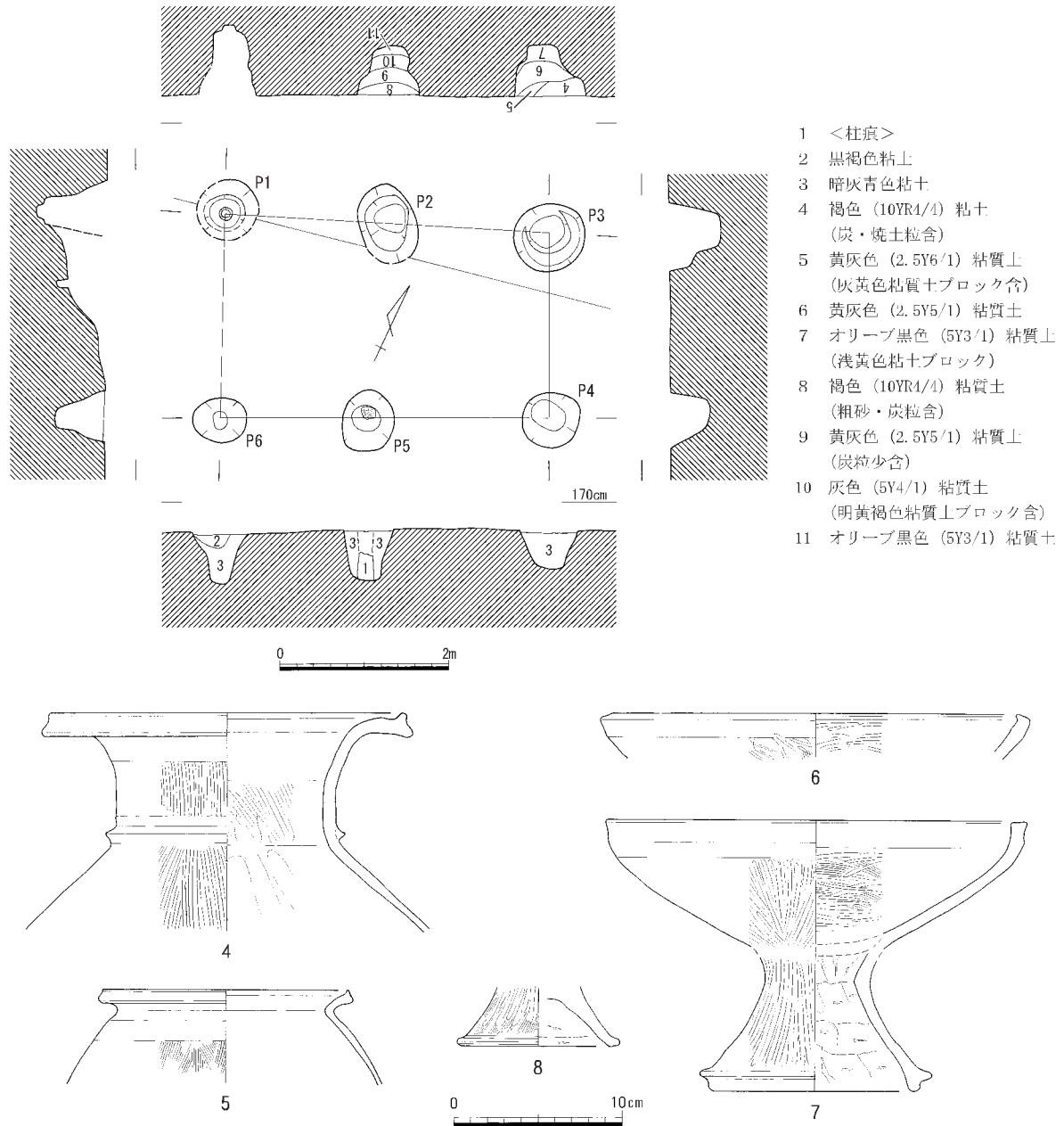
現状では柱穴列であるが、調査区外の北側に柱穴が展開すると想定されることから、建物と認定した。

桁行は420cmを測り、その柱間距離は152～



- 1 茶褐色粘土
- 2 淡灰色粘土
- 3 暗灰色粘土
- 4 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 粘質土 (明黄褐色粘質土+ブロック含)
- 5 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 (明黄褐色粘質土+ブロック含)
- 6 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
- 7 褐色 (10YR4/6) 粘質土
- 8 褐色 (10YR4/4) 粘質土

第16図 掘立柱建物5 (1/80)



第17図 掘立柱建物6 (1/80)・出土遺物 (1/4)

掘立柱建物5 (＝百今谷1建物15) (第10・16図)

掘立柱建物3の南東側約10mの位置で確認された柱穴列であるが、検出位置や検出面の状況から、「百今谷1建物15」の続きと判断した。桁行471cm、梁行236cm、床面積11.13㎡を測る。桁行の柱間距離は、南・北桁行のP2とP5を対称の位置から検出していないことから、331～140cmと差異が認められる。柱穴掘り方平面形は、円～楕円形を呈し、その規模は長径80～38cmである。

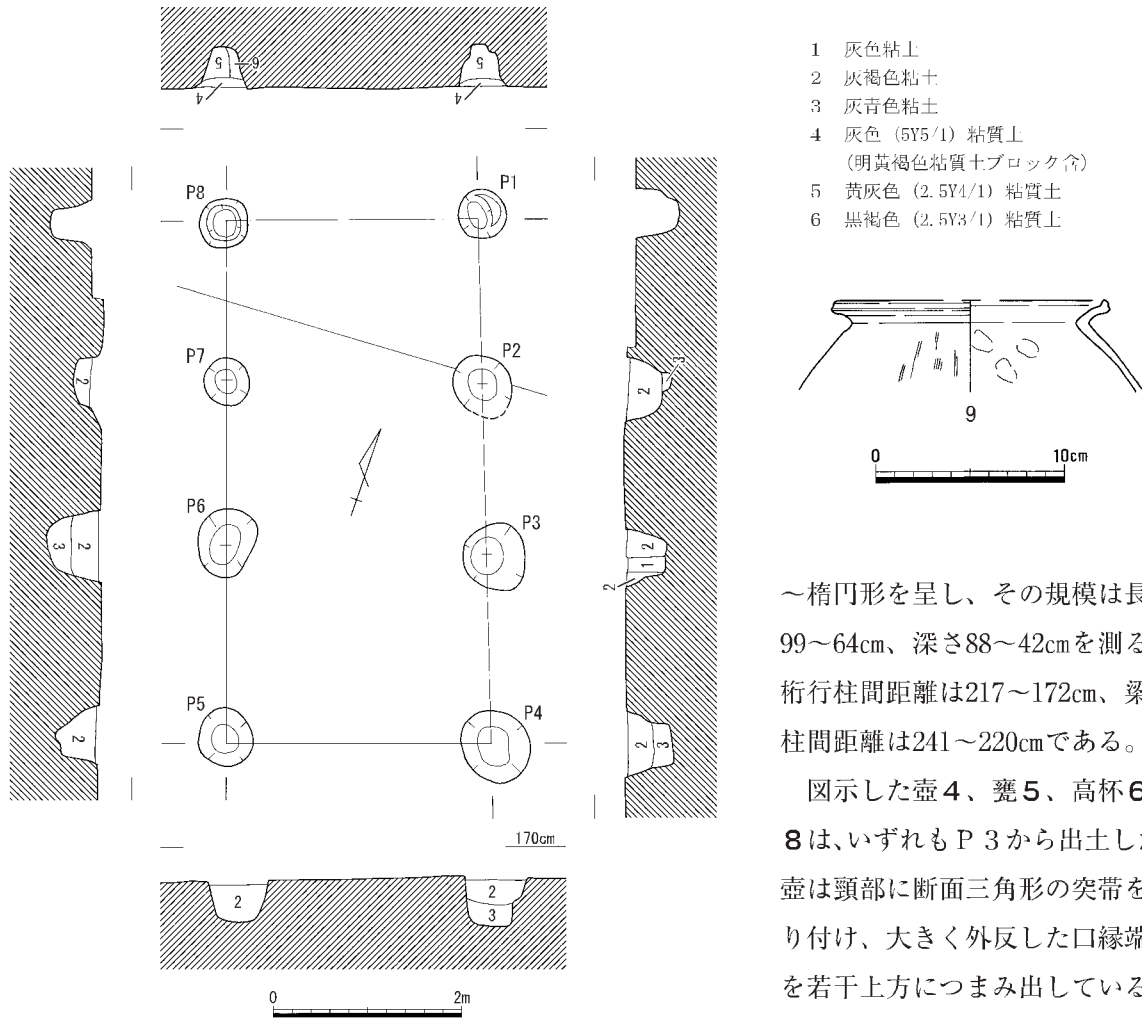
過去の調査実績から、遺構の時期は百・中・IIである。

(小嶋)

掘立柱建物6 (＝百今谷1建物23) (第10・17図)

今回の調査では、調査区の南端で検出されたP1～3までの柱穴列であるが、検出位置や検出面の状況から「百今谷1建物23」の続きと判断される。

2×1間の掘立柱建物で、桁行386cm、梁行230cmであり、床面積は8.91㎡を測る。柱穴平面形は円



第18図 掘立柱建物7 (1/80)・出土遺物 (1/4)

掘立柱建物7 (＝百今谷1建物25) (第10・18図)

今回の調査で確認した遺構としては、P1及びP8のみであるが、検出位置や検出面の状況から「百今谷1建物25」の続きと判断した。3×1間の南北棟であり、桁行553cm、梁行273cm、床面積15.1㎡の規模である。梁行柱間距離は210～168cm、梁行柱間距離は280～266cmを測る。柱穴平面形は円形を呈し、その規模は長径80～44cmである。

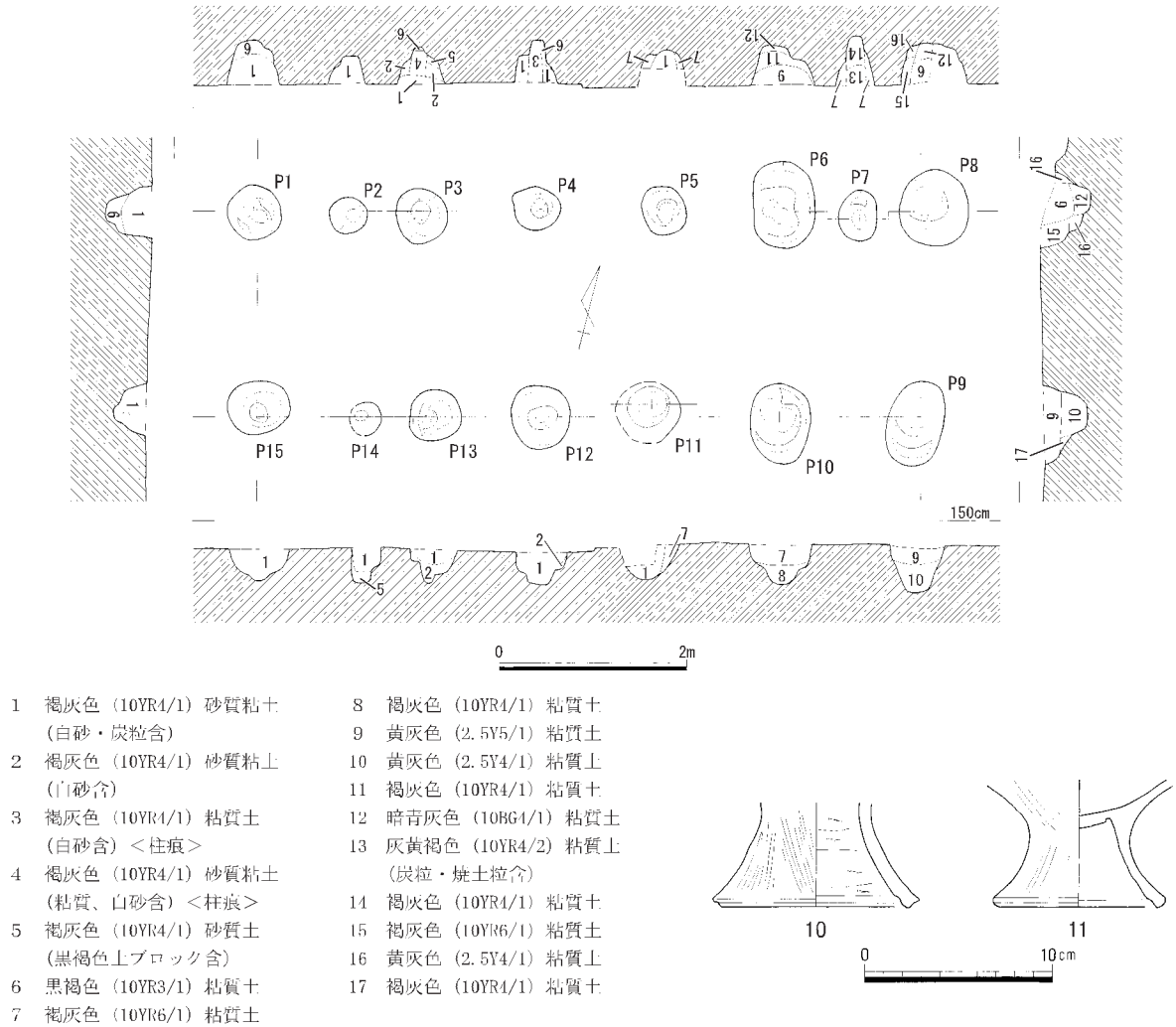
今回の調査では甕9のみ図化可能であり、その諸特徴から遺構の時期は百・中・Ⅱに比定され、「百今谷1建物25」の時期と矛盾はしない。(小嶋)

掘立柱建物8 (第10・19図、図版1-2)

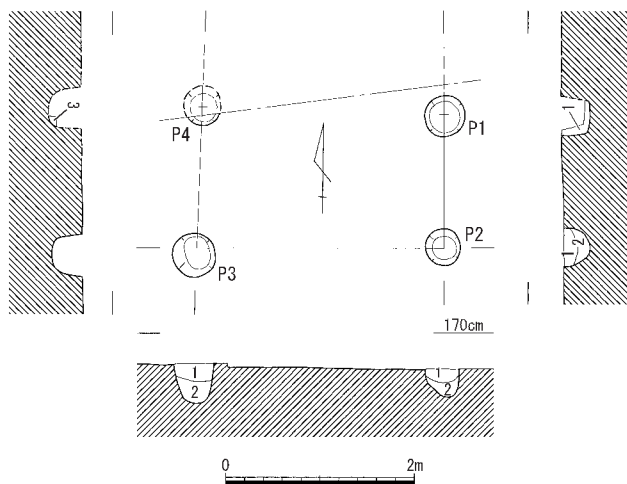
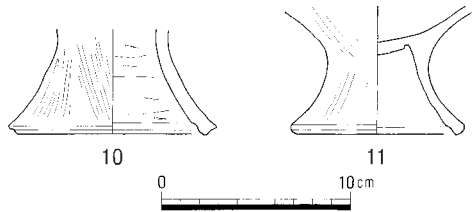
掘立柱建物7の北東側約5mの位置から検出された掘立柱建物である。現状で梁行は7間であるが、P2・7・14は柱穴規模がその他のものと比べて小さいことから、いわゆる東柱の可能性も否定できなく、5×1間の掘立柱建物とも捉えられる。

桁行705cm、梁行220cmを測り、床面積は15.52㎡と「百今谷1建物12・28」に次ぐ規模である。柱穴平面形は円～長楕円形を呈し、その長径は、最大のもので98cmを測る。柱穴底部には柱材がめり込んだと思われる痕跡が確認されるものも認められる。

時期は、百・中・Ⅱに比定される。(小嶋)



第19図 掘立柱建物8 (1/80)・出土遺物 (1/4)



- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂 (明黄褐色上ブロック・炭・焼土粒含)
- 2 褐灰色 (10YR4/1) 粘質微砂 (明黄褐色上ブロック・炭・焼土粒含)
- 3 黒褐色 (10YR3/1) 粘質微砂 (粘質強、オリーブ褐色土ブロック含)

第20図 掘立柱建物9 (1/80)

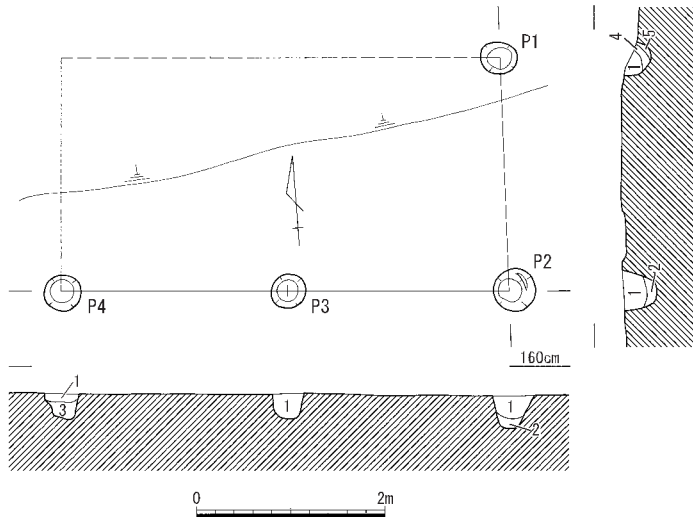
掘立柱建物9 (第10・20図)

302U区で検出された掘立柱建物である。調査区北端で検出したため、現状では1×1間であるが、北側にさらに展開し、桁行2間以上となろう。桁行柱間距離は149~140cm、梁行柱間距離は262cmを測る。時期は、検出面や埋土の特徴等から、中期の範疇に収まる。(小嶋)

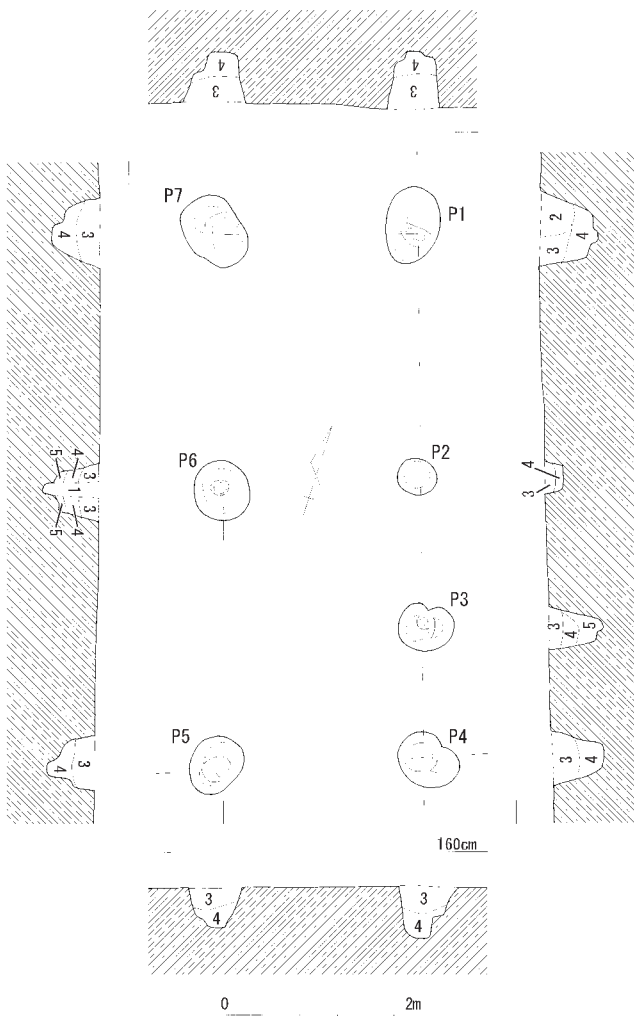
掘立柱建物10 (第10・21図、

図版1-3)

302U区で検出された掘立柱建物である。P3・4に対応する北桁行の柱穴は溝10~12により削平されて検出できなかった。南桁行474cm、東梁行247cmを測り、床面積は推定11.7㎡である。柱穴平



第21図 掘立柱建物10 (1/80)



第22図 掘立柱建物11 (1/80)・出土遺物 (1/4)

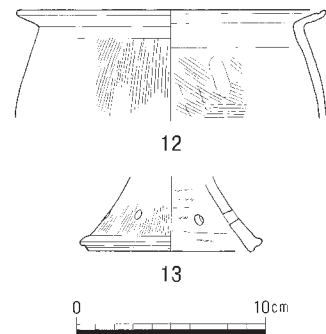
面形は円形であり、その規模は径46～38cm、深さ38～24cmである。時期は、中期の範疇に収まる。(小嶋)

掘立柱建物11 (第10・22図、
図版1-4)

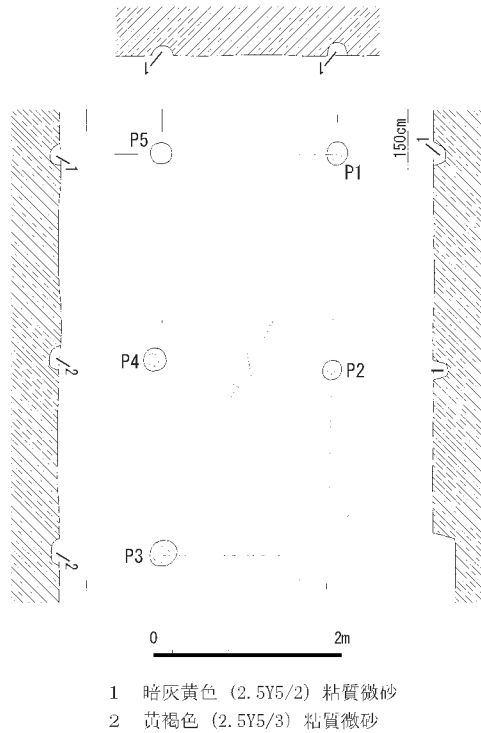
掘立柱建物10の南西側約1mから検出された、東桁行3間、西桁行2間、梁行1間の掘立柱建物である。東桁行のP3は、いわゆる東柱の可能性も考えられる。桁行559cm、梁行209cm、床面積11.68㎡を測る。桁行柱間距離は297～146cm、梁行柱間距離は212～206cmである。P6では、柱痕跡が確認されており、径15cm前後の柱材が使用されていたと推測される。遺構の時期は、出土遺物から、百・中・Ⅱに比定される。(小嶋)

掘立柱建物12 (第10・23図)

東隅の柱穴が側溝により削平されているものの、2×1間の掘立柱建物である。303U区で検出された。桁行424cm、梁行179cm、床面積7.61㎡を測る。建物を構成する柱穴はいずれも小さく、径30～20cmであり、



- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粘質微砂~粘質土 (明黄褐色土・褐灰埴土ブロック含) <柱痕>
- 2 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 (炭・焼土粒含)
- 3 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂 (明黄褐色土ブロック含、炭・焼土粒少含)
- 4 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土 (褐灰埴土ブロック含、砂少含)
- 5 暗緑灰色 (10GY4/1) 粘土



第23図 掘立柱建物12 (1/80)

検出面からの深さも浅い。

図化可能な遺物は出土していないが、検出面から、遺構の時期は中期の範疇に収まる。(小嶋)

掘立柱建物13 (第10・24図)

北東隅の柱穴が溝11・12により削平されているものの、2×1間の掘立柱建物と想定される。西桁行327cm、南梁行230cmを測り、床面積7.52㎡と推測される。桁行柱間距離は182~160cmである。

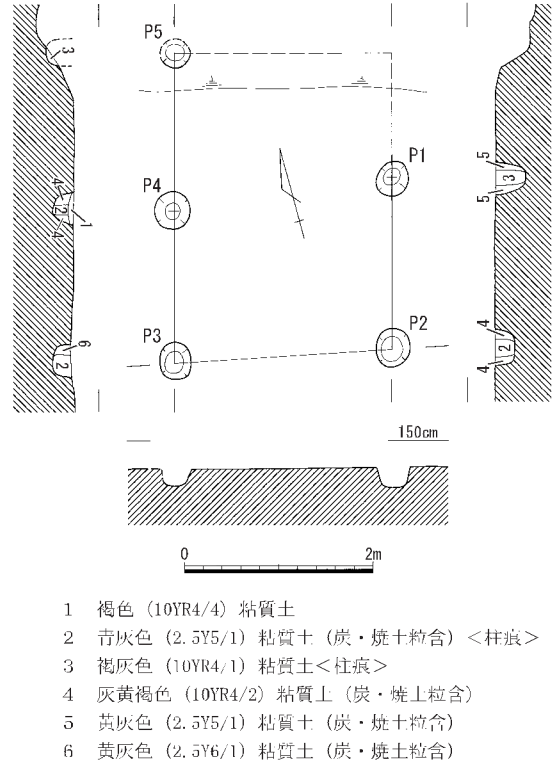
P1・2・4からは柱痕跡が確認された。

時期は、百・中・Ⅲの高杯が出土した柱穴をP4が切っていることから、今回の調査において時期が特定できる建物の中では唯一百・中・Ⅲ以降に比定される。(小嶋)

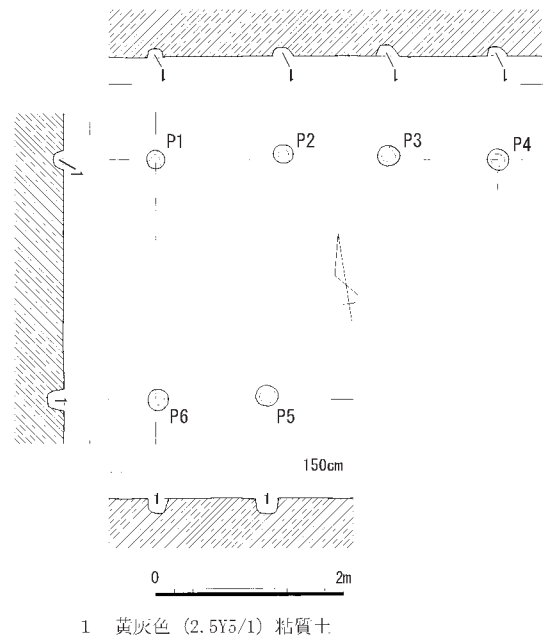
掘立柱建物14 (第10・25図)

北桁行のP3・4に対応する南桁行の柱穴が検出されなかったが、3×1間の掘立柱建物と考えられる。北桁行361cm、西梁行252cmを測り、床面積は9.1㎡と推測される。建物を構成する柱穴はいずれも小さく、深さも浅い。

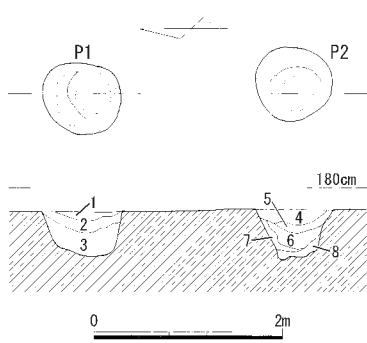
遺構の時期は、検出面や埋土の状況から、中期の範疇に収まる。(小嶋)



第24図 掘立柱建物13 (1/80)
・出土遺物 (1/4)

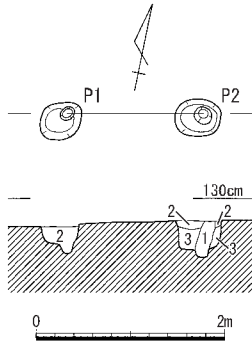


第25図 掘立柱建物14 (1/80)

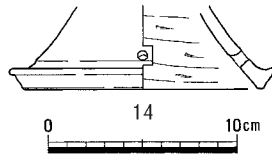


- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 砂質土 (褐色土ブロック含)
- 2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 砂質粘土 (褐色・黒灰色土ブロック含)
- 3 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土 (基盤土ブロック含)
- 4 にぶい黄褐色 (10YR4/2) 砂質土 (基盤土ブロック・炭・焼土粒含)
- 5 灰黄褐色 (10YR4/2) 砂質粘土 (基盤土ブロック・炭・焼土粒含)
- 6 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土 (基盤土ブロック含)
- 7 黒褐色 (10YR3/1) 粘質土 (基盤土ブロック含)
- 8 黒褐色 (10YR3/1) 粘質土 (砂質強、基盤土ブロック含)

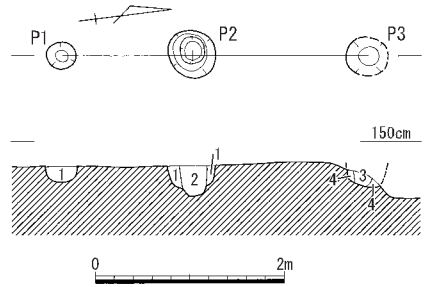
第26図 柱穴列 1 (1/80)



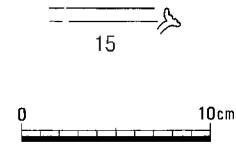
- 1 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土
- 2 灰色 (5Y4/1) 粘質土
- 3 オリーブ灰色 (10Y4/2) 粘質土



第27図 柱穴列 2 (1/80)
・出土遺物 (1/4)



- 1 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
- 2 灰色 (5Y4/1) 粘質土 (炭・焼土粒含)
- 3 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
- 4 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土



第28図 柱穴列 3 (1/80)
・出土遺物 (1/4)

3 柱穴列

柱穴列 1 (第10・26図)

調査区西端で検出された柱穴列である。その検出位置から、南及び西に柱穴が展開すると想定され、掘立柱建物の可能性が高い。遺構の時期は、中期の範疇に収まる。(小嶋)

柱穴列 2 (第10・27図)

302 S 区に所在する柱穴列で、溝10~12の南斜面部から検出された。検出位置やその深さから、溝10~12によって北梁行が削平された掘立柱建物の可能性も捨てきれない。

遺構の時期は、百・中・Ⅲに比定される。(小嶋)

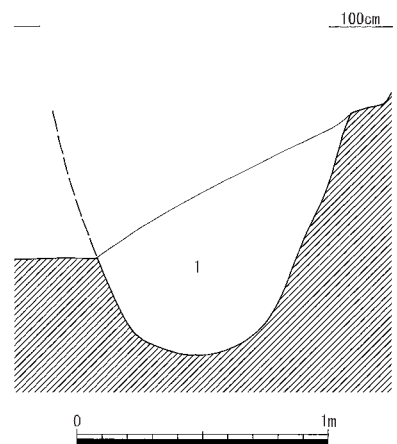
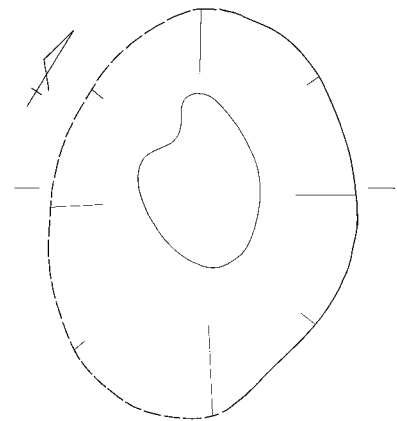
柱穴列 3 (第10・28図)

掘立柱建物13の西側約1 mから検出された柱穴列である。掘立柱建物13の棟方向と若干異なるため、単独の柱穴列とした。柱間距離は186~138cmで、時期は百・中・Ⅲである。(小嶋)

4 井戸

井戸 1 (第10・29図)

303 U・V 区から検出された井戸である。上部を土壌51によ



- 1 緑灰色 (7.5GY5/1) 粘土

第29図 井戸 1 (1/30)

り大規模に削平されている。平面形は楕円形を呈し、検出面における長軸は162cmを測る。底面の海拔高は-30cmである。埋土はグライ化が激しい。

遺物は、小片ではあるが、中期の甕片が出土している。 (小嶋)

5 土壙

土壙1 (第10・30図、図版2-1)

掘立柱建物3のP4の南西側約1mから検出された。平面隅丸長方形を呈しており、その規模は長軸142cm、短軸97cmを測る。底面には長軸約50cmの楕円形を呈する穴が掘削されている。

底面直上から、甕17が出土している。甕は口縁を「く」字状に外反させ、口縁端部をわずかに上方に突出させている。これらの特徴から、遺構の時期は、百・中・Ⅱに比定される。 (小嶋)

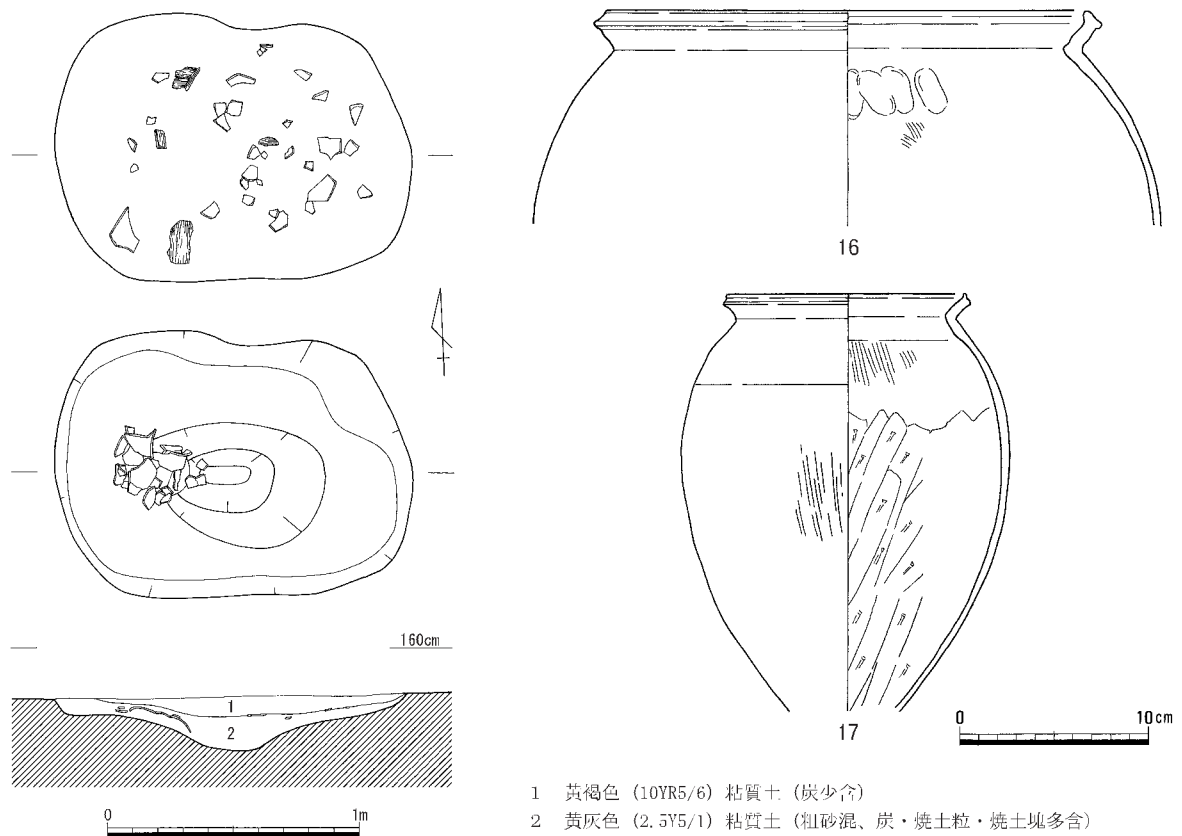
土壙2 (第10・31図)

掘立柱建物5の北桁行に隣接するように検出された土壙である。平面楕円形を呈し、その規模は長軸221cm、短軸188cmを測る。口縁部から胴部上半部まで欠損しているが、胴部最大径43cmを測る大形の甕18が出土した。

遺構の時期は、出土遺物や検出面から、百・中・Ⅱに比定される。 (小嶋)

土壙3 (第10・32図)

包含層掘削中に土器が集中して出土したことから、土器周囲を精査して確認された土壙である。よって、掘り方の大部分を削平してしまっている。なお、南接する過去の調査区においては、この土壙に

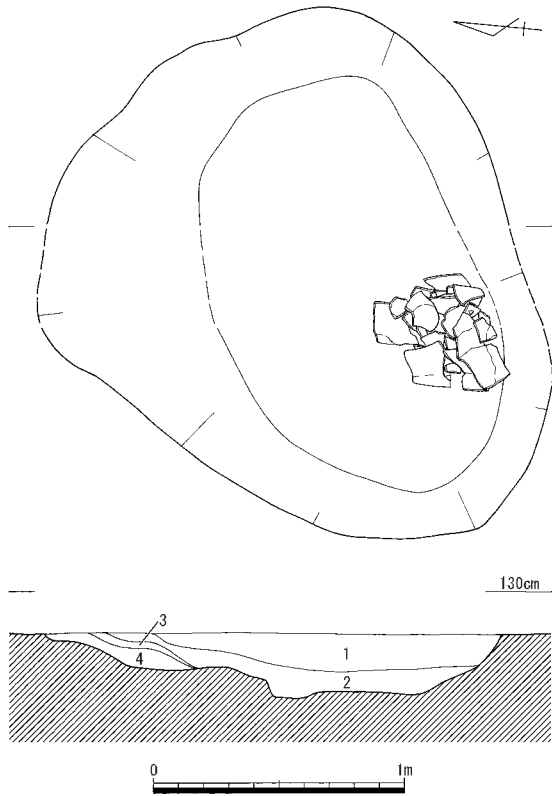


第30図 土壙1 (1/30)・出土遺物 (1/4)

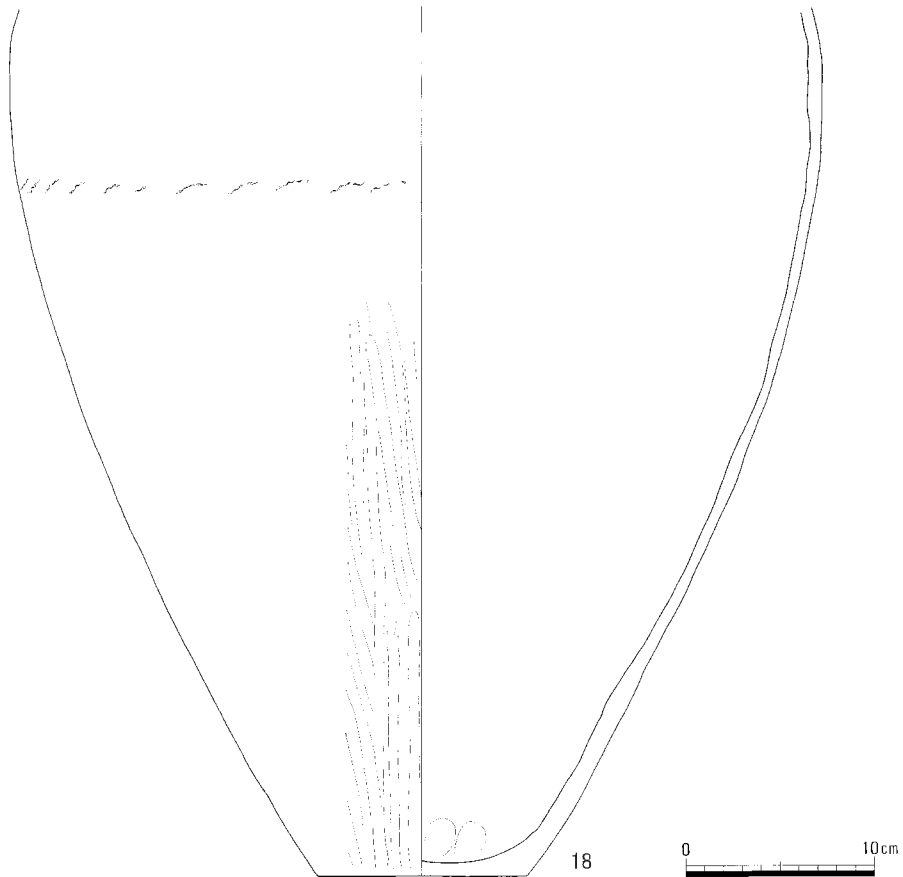
対応する遺構は確認されていない。底面上から甕19・20が出土した。遺構の時期は、百・中・Ⅱに比定される。(小嶋)

土壙4 (第10・33図、写真5、図版2-3)

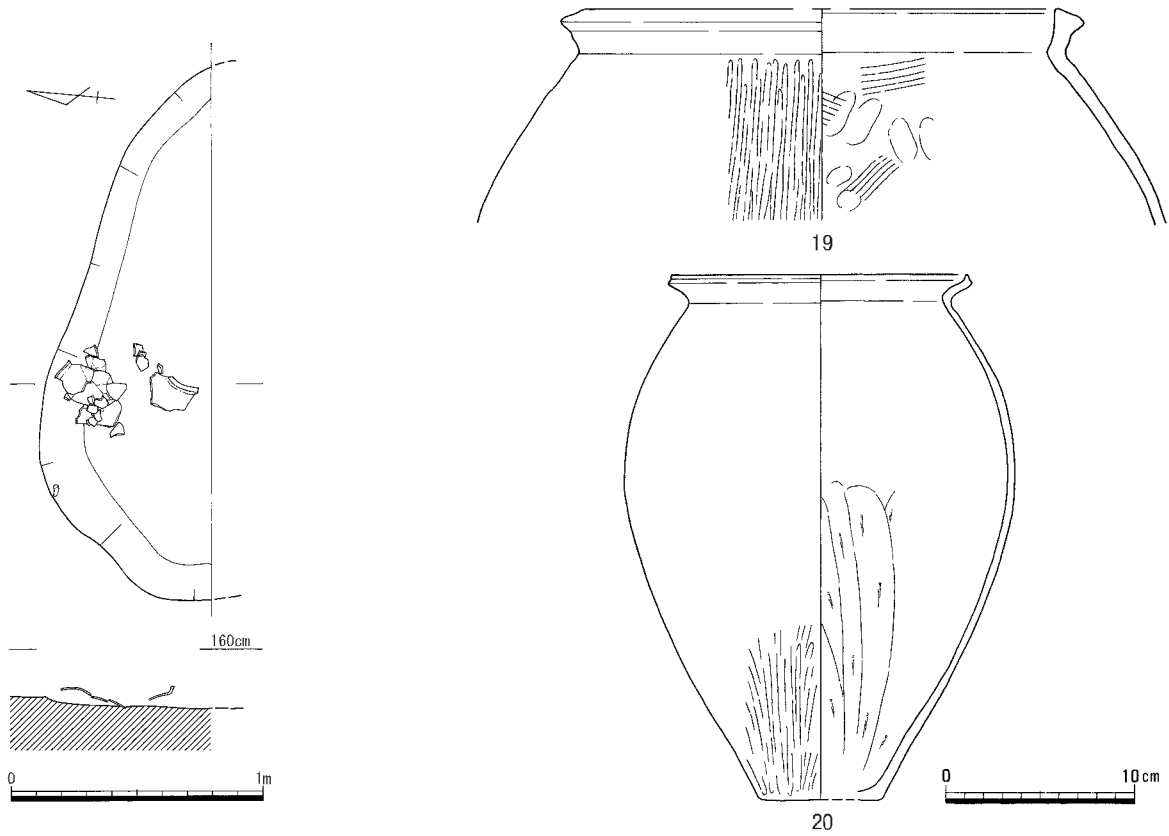
土壙4は303S区に位置し、溝3先端部と接している。壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋土中に炭・焼土・2mm大の小石・ガラス滓を包含する。埋土を水洗した結果、約8gのガラス滓が検出され、その形状で分類すると、「しずく」状を呈するものが3点、「枝・針」状を呈するものが114点、その他が34点であった。土壙4の時期は混入した土器21・22の特徴から百・中・Ⅱと推定される。(物部)



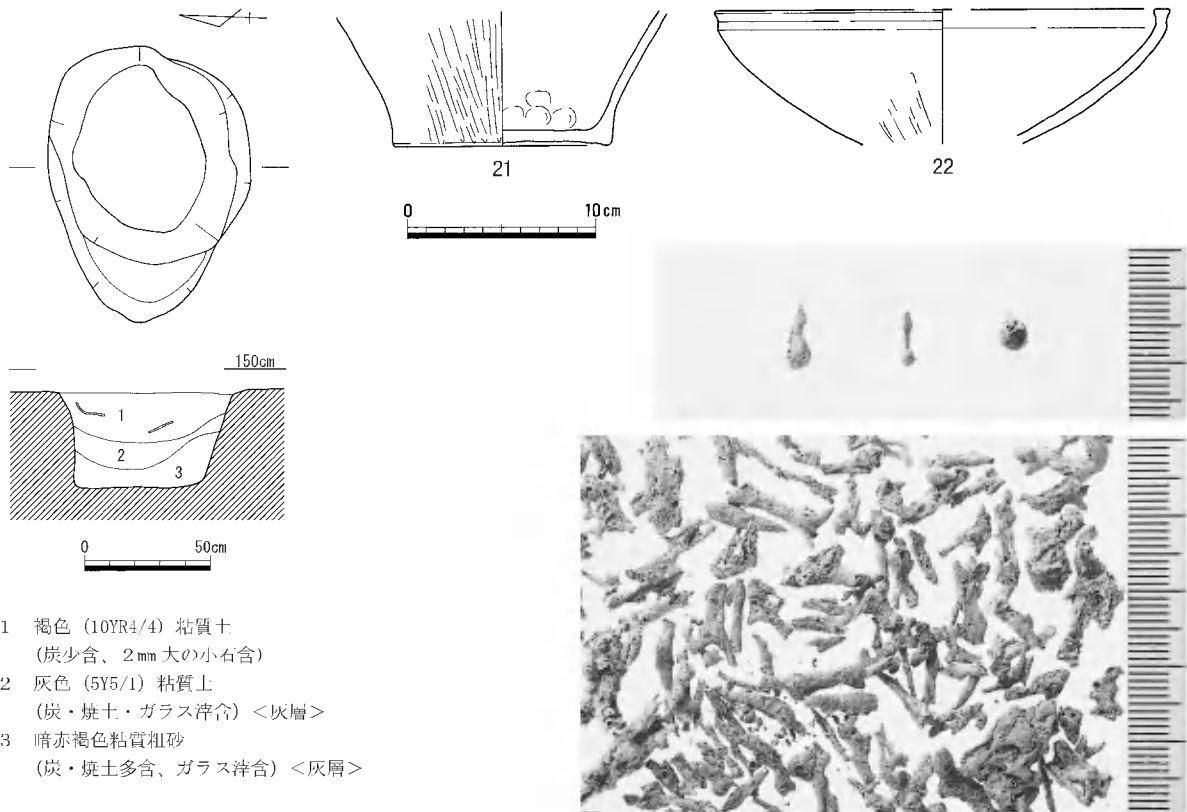
- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 砂質粘土
- 2 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土
(黄褐色 (10YR5/6) 砂質土含)
- 3 暗灰 (N3/) 粘質土 (1~3mm 大の砂粒多含)
- 4 灰黄褐色 (10YR4/2) 砂質粘土



第31図 土壙2 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第32図 土壙3 (1/30)・出土遺物 (1/4)



- 1 褐色 (10YR4/4) 粘質土
(炭少含、2mm 大の小石含)
- 2 灰色 (5Y5/1) 粘質土
(炭・焼土・ガラス滓含) <灰層>
- 3 暗赤褐色粘質粗砂
(炭・焼土多含、ガラス滓含) <灰層>

第33図 土壙4 (1/30)・出土遺物 (1/4)

写真5 土壙4 出土ガラス滓

土壌5 (第10・34・35図、写真6、図版2-2・3・19)

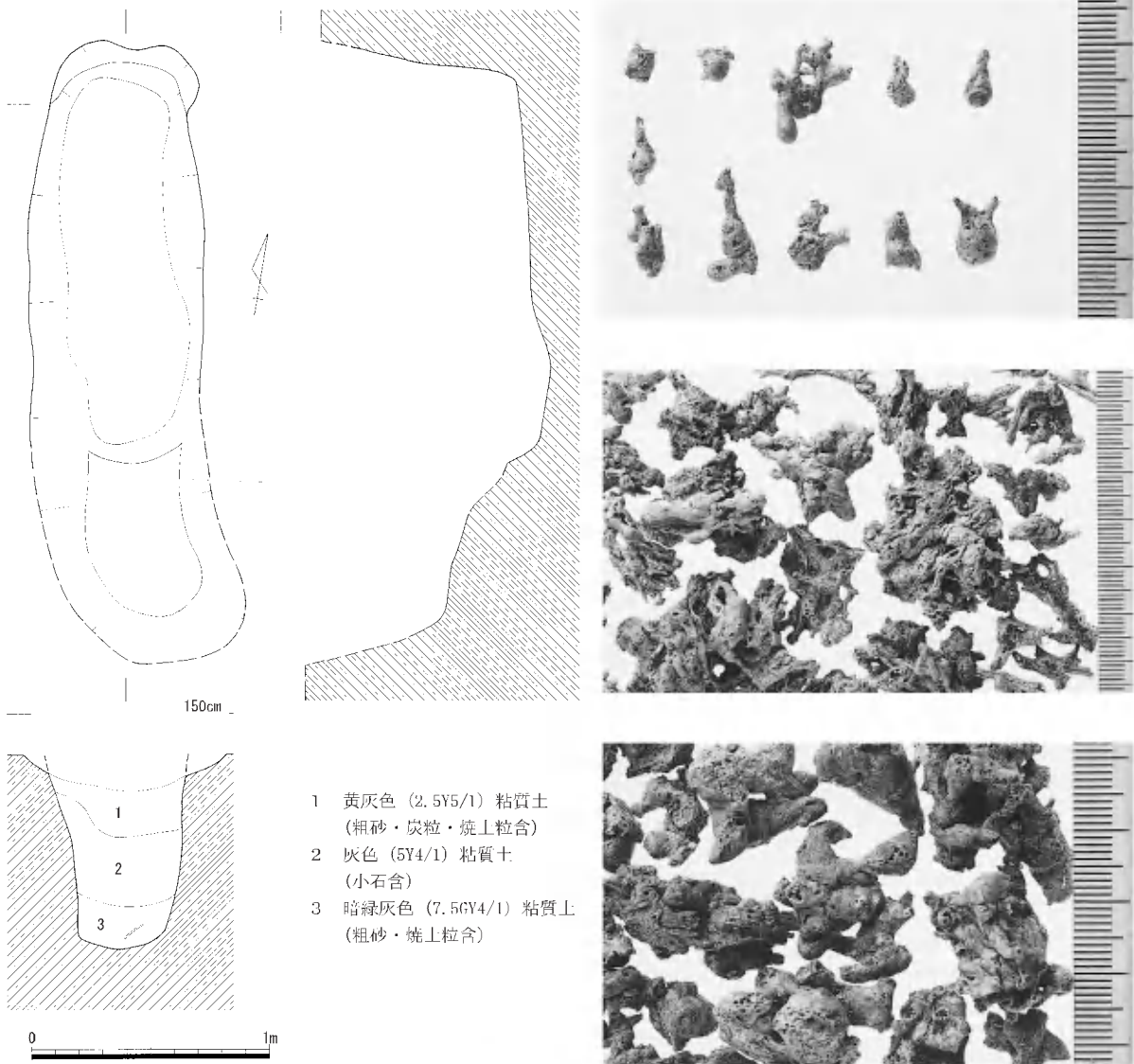
土壌5の南端部は「百今谷1土壌20」によって削平されていると推定される。溝3に切られている。埋土を水洗した結果、約59gのガラス滓が検出され、形状による内訳は「しずく」状が10点、「枝・針」状が114点、「しずく状を呈するものが連結」した形状が28点、その他が82点である。木戸一博氏（ニコン株式会社）による成分分析の結果、形状による成分の違いはないことが分かった。ポタポタと溶けたガラスが糸を引きながら垂れている状況が想定される。時期は百・中・Ⅱである。 (物部)

土壌6 (第10・36図)

掘立柱建物6のP3北側約1mで検出された土壌である。不整形な長楕円形を呈している。埋土中には炭・焼土を含んでおり、土壌の検出位置を考慮するとガラス滓が出土した土壌4・5との関係を想起させる。出土遺物から、遺構の時期は、百・中・Ⅱに比定される。 (小嶋)

土壌7 (第10・37図)

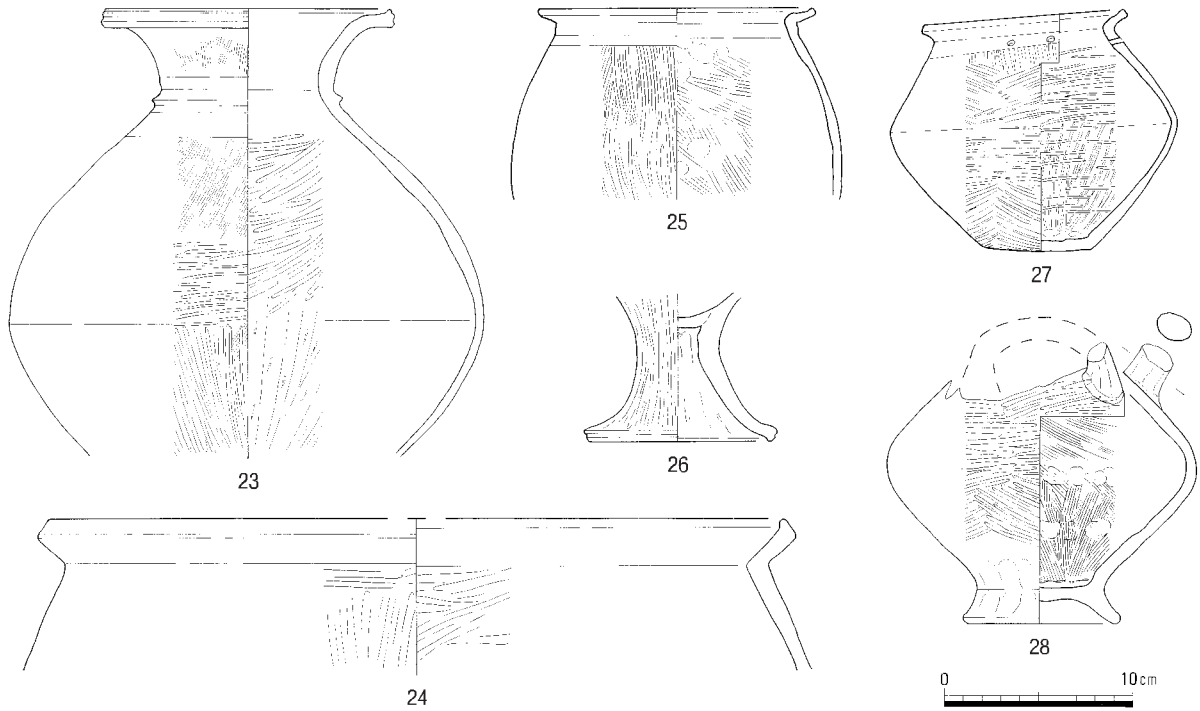
303T区で検出された、長軸69cmを測り、平面円形を呈する土壌である。検出面からの深さは、わずかに4cmであった。遺構の時期は、検出面から、百・中・Ⅱに比定される。 (小嶋)



- 1 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 (粗砂・炭粒・焼土粒含)
- 2 灰色 (5Y4/1) 粘質土 (小石含)
- 3 暗緑灰色 (7.5GY4/1) 粘質土 (粗砂・焼土粒含)

第34図 土壌5 (1/30)

写真6 土壌5出土ガラス滓



第35図 土壌5出土遺物 (1/4)

土壌8 (第10・38図、図版32)

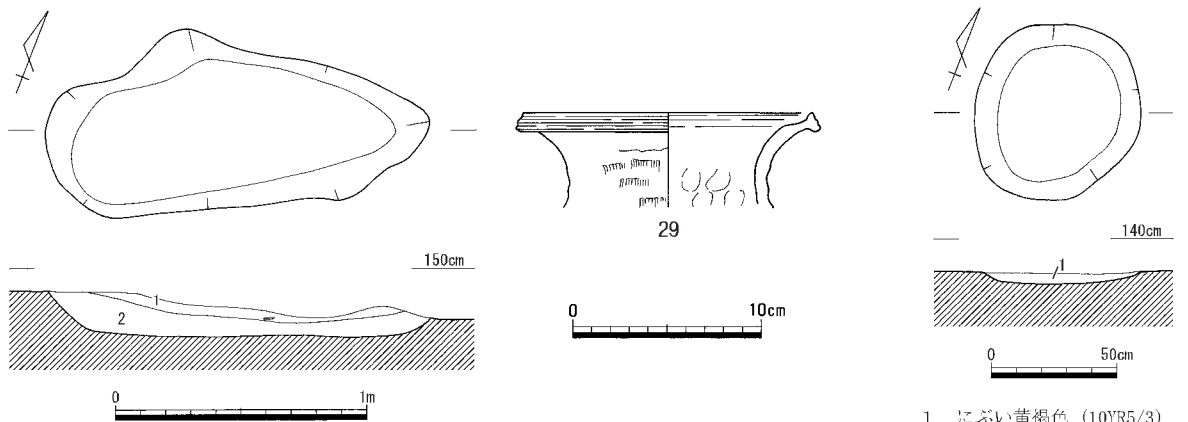
掘立柱建物7の北梁行に隣接して検出された土壌である。平面不整長方形を呈し、その規模は、長軸261cm、短軸143cm、深さ20cmを測る。

出土した甕30から、遺構の時期は百・中・Ⅱに比定される。 (小嶋)

土壌9 (第10・39図)

掘立柱建物8の北側約1mから検出された、平面不整円形を呈する土壌である。出土した甕31は、口縁部を「く」字状に外反させ、端部を上方に突出させている。

遺構の時期は、出土遺物から、百・中・Ⅱに比定される。 (小嶋)

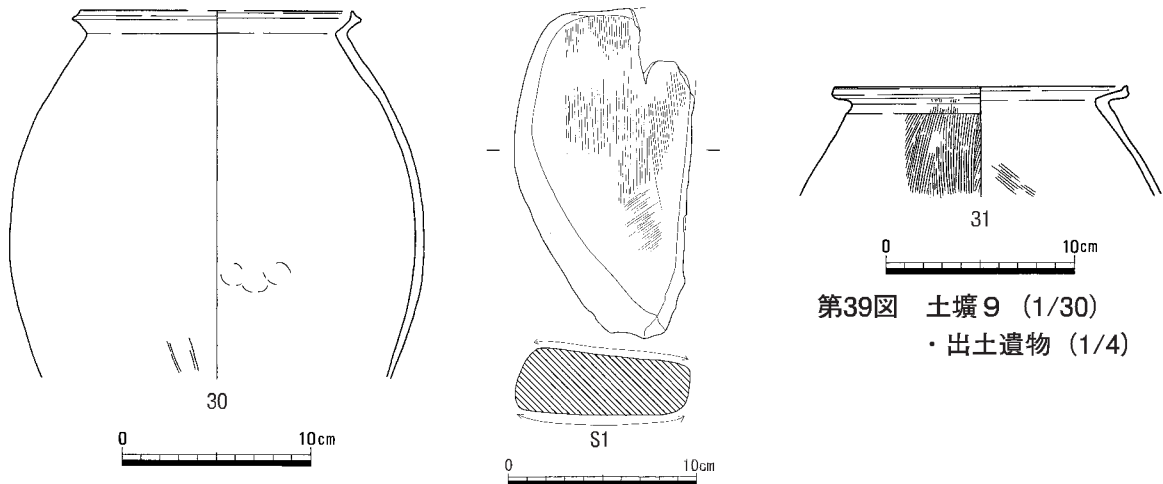
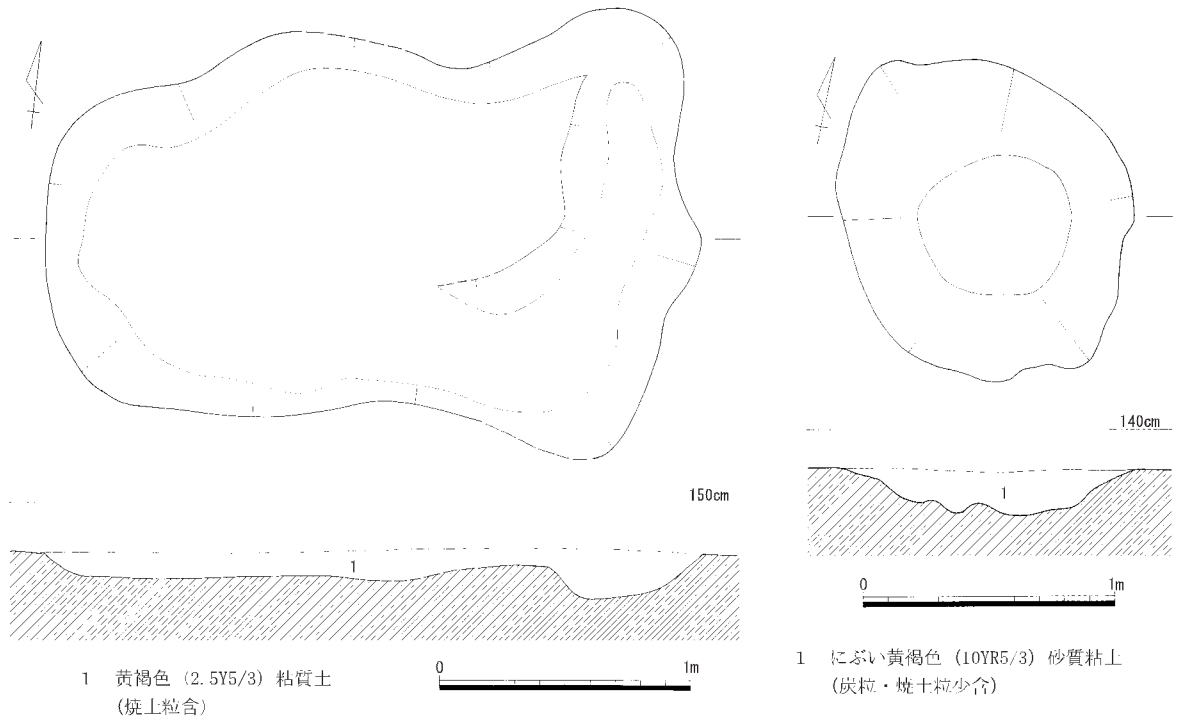


- 1 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土 (粗砂・炭・焼土含)
- 2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粘質 (粗砂・炭・焼土含)

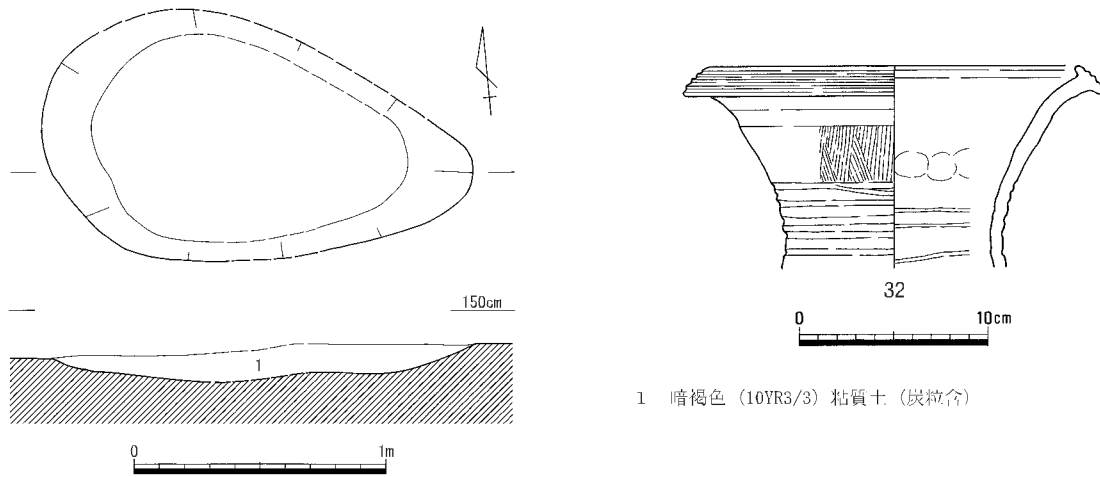
第36図 土壌6 (1/30)・出土遺物 (1/4)

- 1 にぶい黄褐色 (10YR5/3) 砂質粘土 (砂少含、炭粒含)

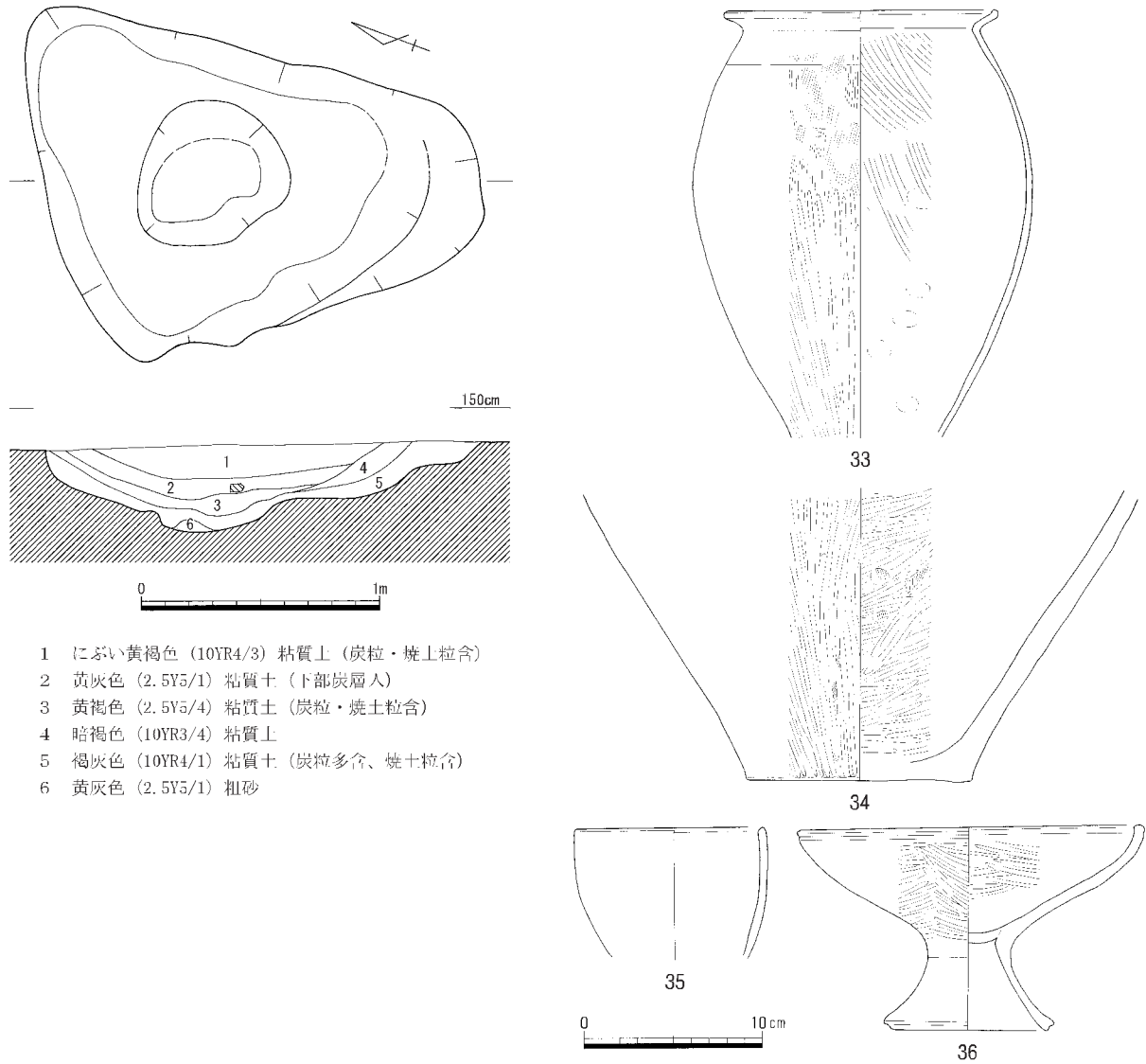
第37図 土壌7 (1/30)



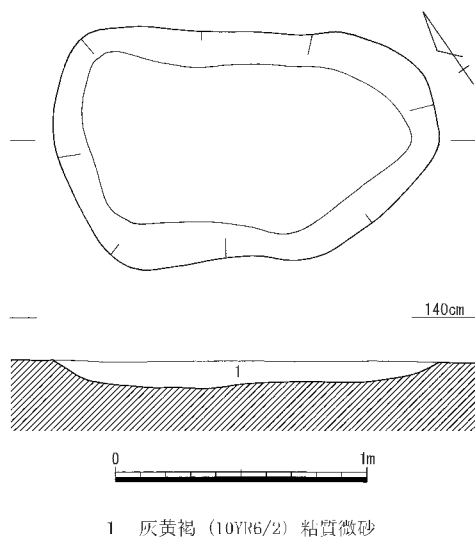
第38図 土壌8 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第40図 土壌10 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第41図 土壇11 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第42図 土壇12 (1/30)

土壇10 (第10・40図)

302T区に位置する土壇である。平面形は楕円形を呈し、検出時の規模は長径167cm、深さ15cmを測る。底は二段に落ち込み、壁は緩やかに立ち上がる。

土壇の時期は、出土した器台32から百・中・Ⅱと考えられる。(高田)

土壇11 (第10・41図、図版2-4・19)

303U杭上に位置する土壇である。掘立柱建物8と重なり、そのP8に切られる。平面形は隅丸三角形形状を呈し、検出時の規模は長軸182cm、短軸113cm、深さ38cmを測る。底は数段に落ち込み、中央が浅く窪み、底面海拔高は98cmを測る。

土壇の時期は、百・中・Ⅱと考えられる。(高田)

土壌12 (第10・42図)

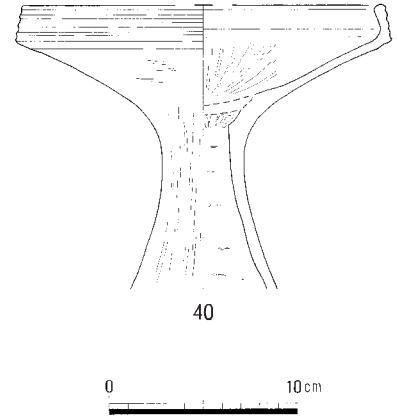
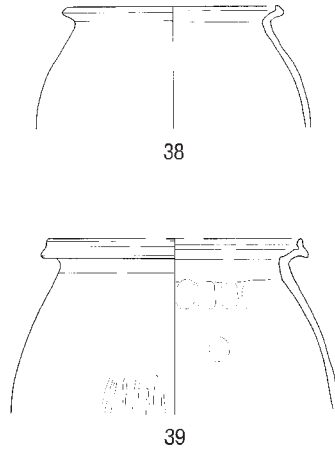
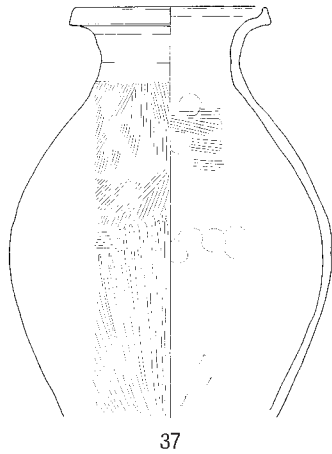
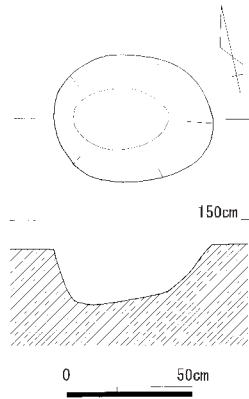
302U区に位置する土壌である。平面形は歪な隅丸長方形を呈し、検出時の規模は長軸153cm、短軸89cm、深さ11cmを測る。底はほぼ平坦で、皿状の断面形となる。

土壌の時期は、検出状況から弥生時代中期と考えられる。(高田)

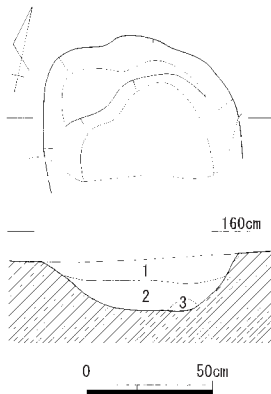
土壌13 (第10・43図)

302U区に位置し、掘立柱建物13と重複する土壌である。平面形は楕円形を呈し、検出時の規模は長径63cm、短径50cm、深さ23cm測る。

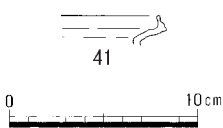
図示した遺物は、弥生土器の壺37、甕38・39、高杯40であり、こ



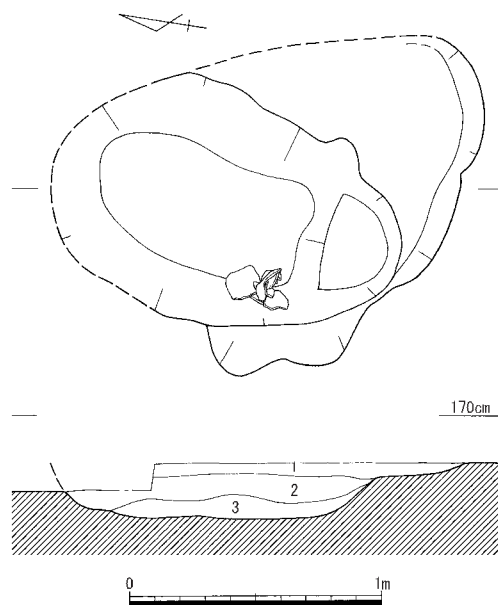
第43図 土壌13 (1/30)・出土遺物 (1/4)



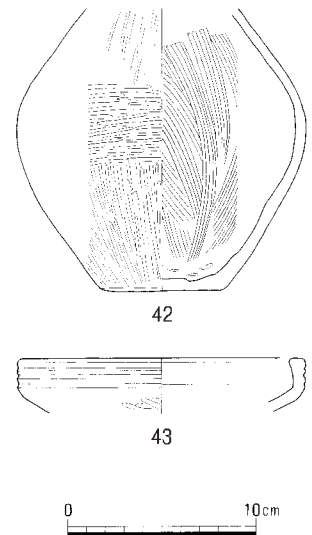
- 1 褐灰 (7.5YR4/2) 砂質土 (炭粒・焼土塊含)
- 2 褐灰 (10YR4/1) 砂質土 (炭・焼土粒・焼土塊含)
- 3 焼土塊



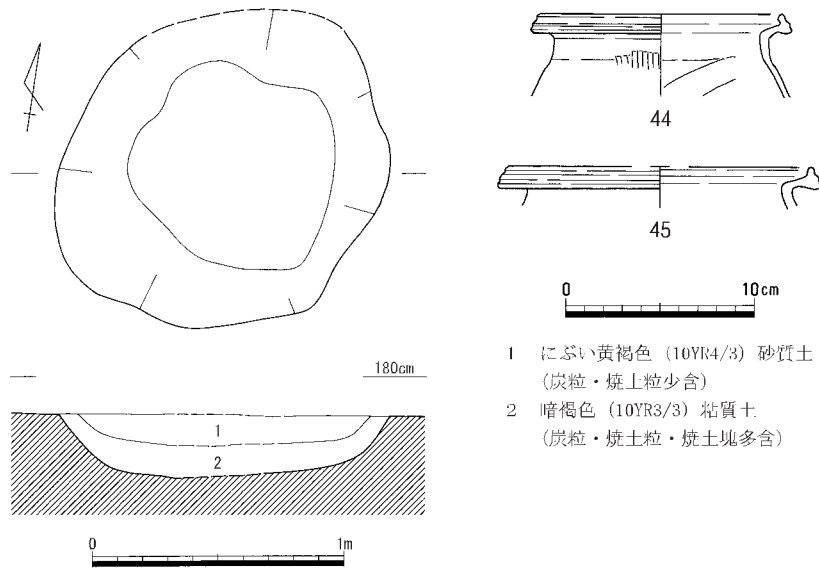
第44図 土壌14 (1/30)・出土遺物 (1/4)



- 1 褐色 (10YR4/4) 粘質土 (焼土塊含)
- 2 黒褐色 (10YR3/1) 粘質土 (炭粒・焼土粒・焼土塊多含)
- 3 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 粘質土 (焼土粒少含)



第45図 土壌15 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第46図 土壌16 (1/30)・出土遺物 (1/4)

- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 砂質土 (炭粒・焼土粒少含)
- 2 暗褐色 (10YR3/3) 粘質土 (炭粒・焼土粒・焼土塊多含)

これらの時期は、百・中・Ⅲの古相を示す。土壌の時期も出土遺物に近いものと考えられる。(高田)

土壌14 (第10・44図)

302U区に位置し、後述する土壌15・16と重複するもので、南半を弥生時代後期の溝に切られるため、全体の形状は不明である。検出時の規模は、東西77cm、深さ22cmを測る。

出土遺物から、弥生時代中期と考えたい。(高田)

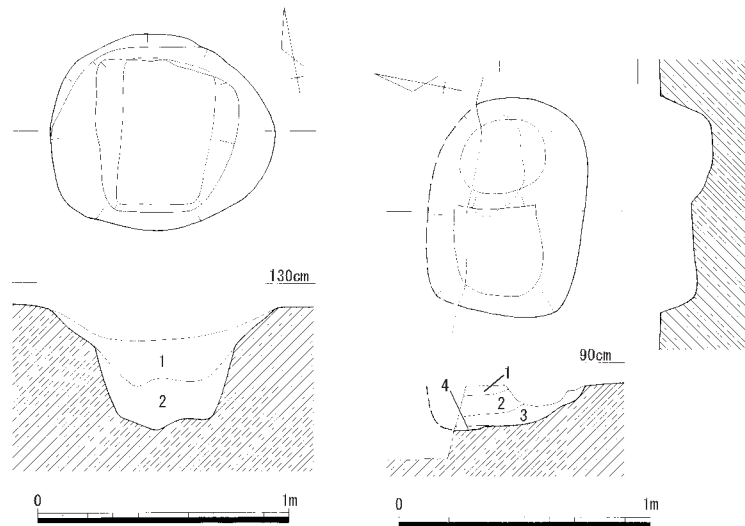
土壌15 (第10・45図、図版2-5)

長径140cm、短径95cm程度を測る長楕円形の深い部分と、その南半の浅い部分とで構成される土壌である。深さは22cmを測り、東側を土壌16に切られる。また埋土の第2層に焼土塊を顕著に含む。

土壌の時期は、出土遺物と検出状況から百・中・Ⅲと考えられる。(高田)

土壌16 (第10・46図)

土壌15の東側に重なる土壌である。平面形は不整形円形を呈し、検出時の規模は長径132cm、短径124cm、深さ25cmを測る。底はほぼ平坦で、埋土の下層に炭や焼土塊を多量に含む。



- 1 褐灰色 (10YR5/1) 粘質土・灰オリーブ色 (5Y6/2) 粘質土ブロックの混合
- 2 暗緑灰色 (10GY4/1) 粘質土・緑灰色 (10GY6/1) 粘質土ブロックの混合

第47図 土壌17 (1/30)

- 1 灰色 (5Y6/1) 粘質微砂
- 2 灰色 (5Y6/1) 粘質微砂 (黄灰色粘土斑含)
- 3 灰色 (5Y6/1) 粘質微砂
- 4 炭層

第48図 土壌18 (1/30)

土壌の時期は、図示した出土遺物から百・中・Ⅲと考えられる。(高田)

土壌17 (第11・47図)

303X区の水田1上で検出した土壌である。平面形は楕円形を呈し、検出時の規模は長径89cm、短径78cm、深さ49cmを測る。ほぼ長方形を呈する底面の海拔高は72cmで、そこからほぼ垂直に壁が立ち上がる。

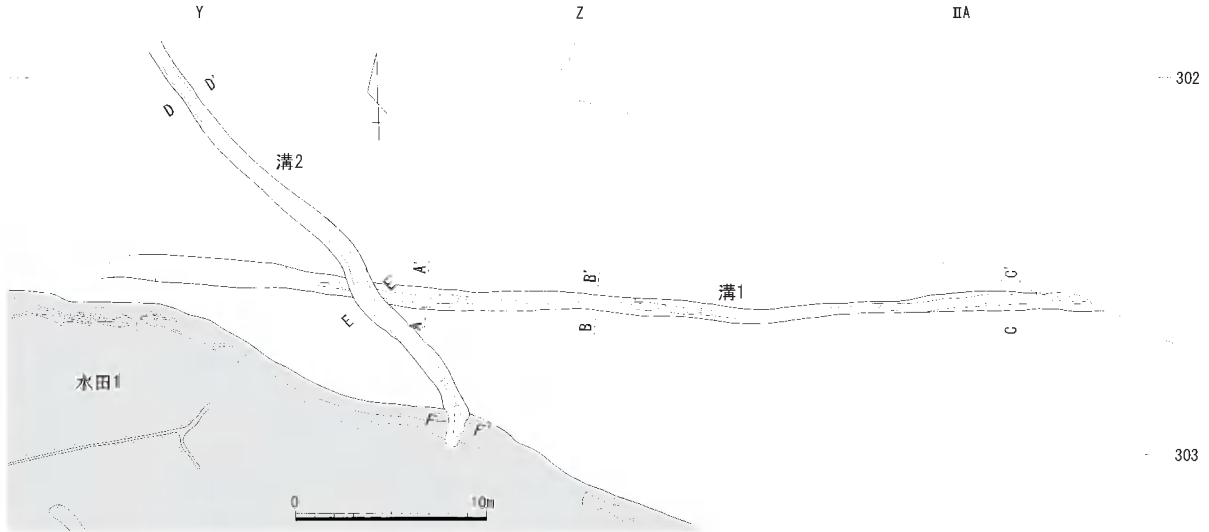
周囲に同様な土壌等を検出しておらず、その性格や時期は不明である。(高田)

土壌18 (第11・48図)

調査区301ⅡB区に位置する。長軸86cm、深さは検出面から

17cmを測る平面隅丸方形の土壌である。断面形は逆台形で、底面は2段になっている。検出面や埋土の特徴などから、この土壌の時期は弥生時代中期である。(和田)

6 溝



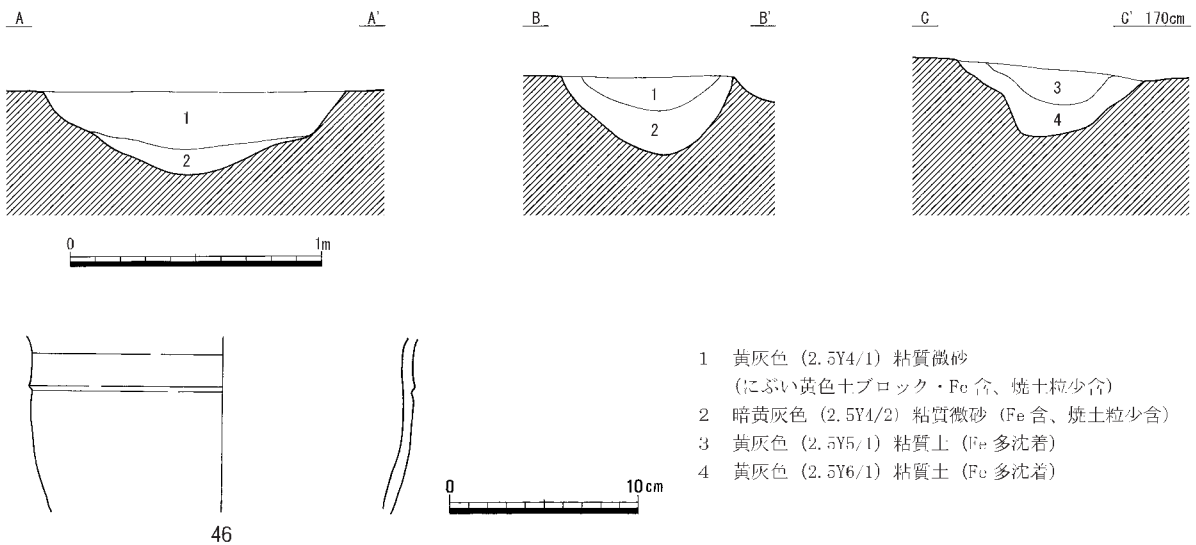
第49図 溝1・2と水田1 (1/400)

溝1 (第11・49・50図、図版19)

302X～II A区の微高地上をほぼ直線的に東西方向に流走する溝である。その東西両端は、いずれも弥生時代後期の溝や水田に切られる。また、溝2とも交差し、本溝が古いことを確認している。検出時の上幅は63～120cm、深さは32cm前後を測り、東から西に向かって深くなる。図示した甕46は、頸部下の胴部との境に段を持つもので、百・前・Iと考えられる。(高田)

溝2 (第11・49・51図、図版3-1・19・31)

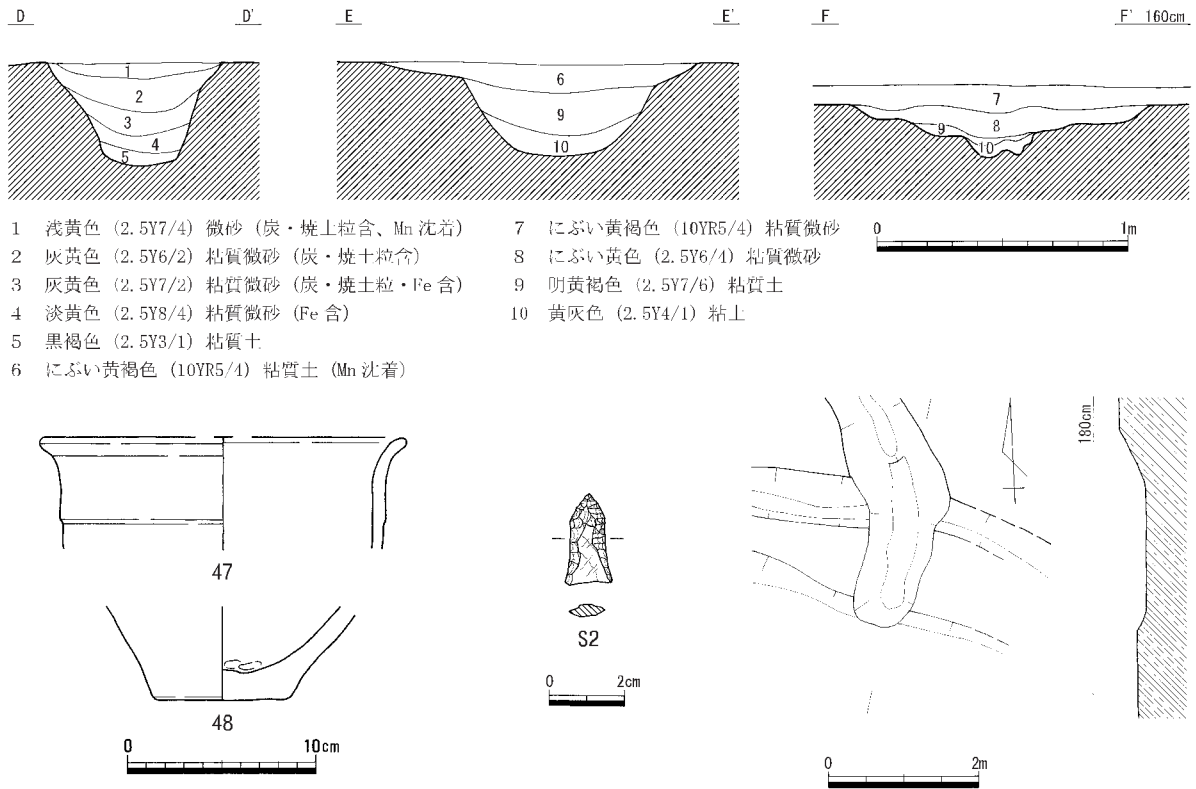
301・302X・Y区に位置し、北西—南東方向に流走する溝である。北西端は溝8に切れ、南西端



- 1 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質微砂
(にぶい黄色土ブロック・Fe含、焼土粒少含)
- 2 暗黄灰色 (2.5Y4/2) 粘質微砂 (Fe含、焼土粒少含)
- 3 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 (Fe多沈着)
- 4 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土 (Fe多沈着)

第50図 溝1 (1/30)・出土遺物 (1/4)

第3章 発掘調査の概要



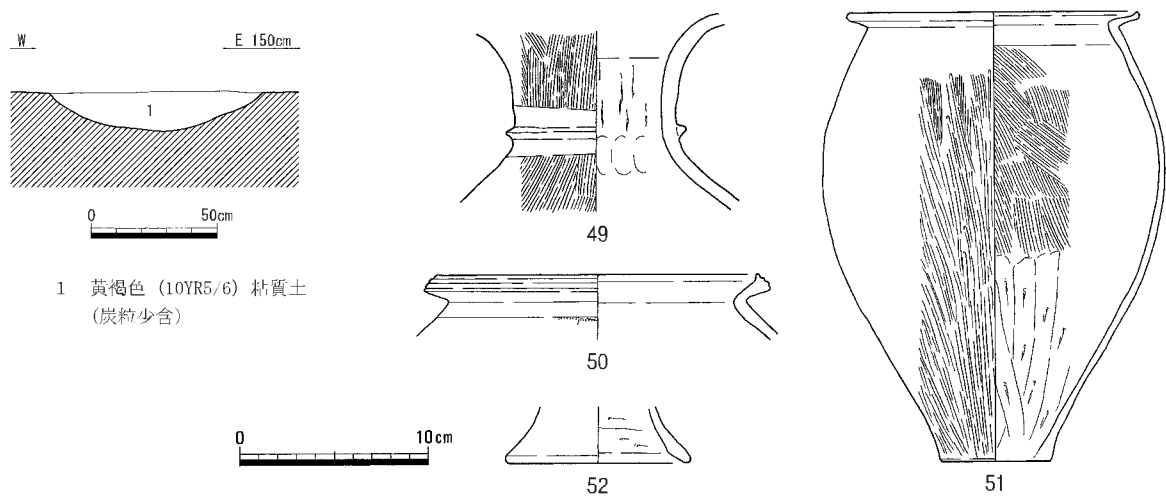
第51図 溝2 (1/30)・出土遺物 (1/4・1/2) および水田1との取り付き部 (1/100)

は水田1に取り付く。検出時の上幅は70cm前後、深さ46cmを測り、底面海拔高は104~108cmである。これは水田1の田面高よりも低く、水田との有機的な関係を類推すれば、排水路と推定される。ただし、水田1の南半側は低水路掘削で不明であり、本溝のみで排水機能を果たせたかは疑問が残る。

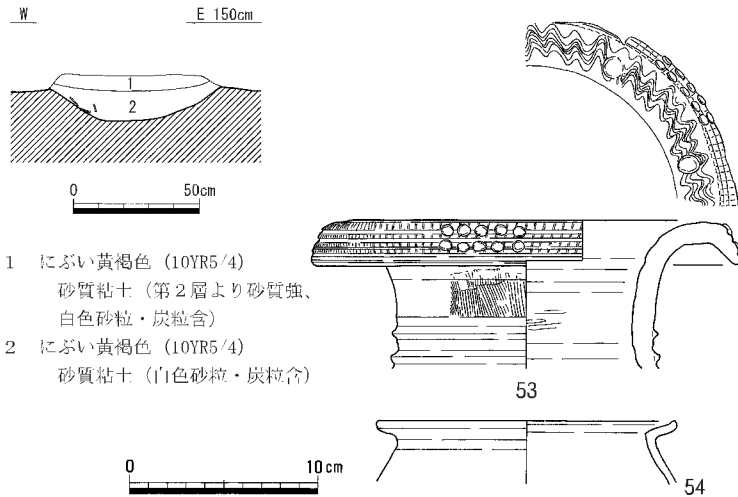
甕の底部48は、水田取り付き部の溝底面から出土した。溝の時期は、百・前・Iか。 (高田)

溝3 (第10・52図、図版2-3)

303S区に位置する南北溝である。その北端は西に折れて土壌4に接し、南側は「百今谷1溝6」に接続する。また土壌5と重なり、本溝が新しい。検出時の上幅は84cm、深さ15cmを測り、断面形は皿形を呈する。出土遺物は弥生土器で、図示したものは壺49、甕50・51、高杯の脚52である。



第52図 溝3 (1/30)・出土遺物 (1/4)



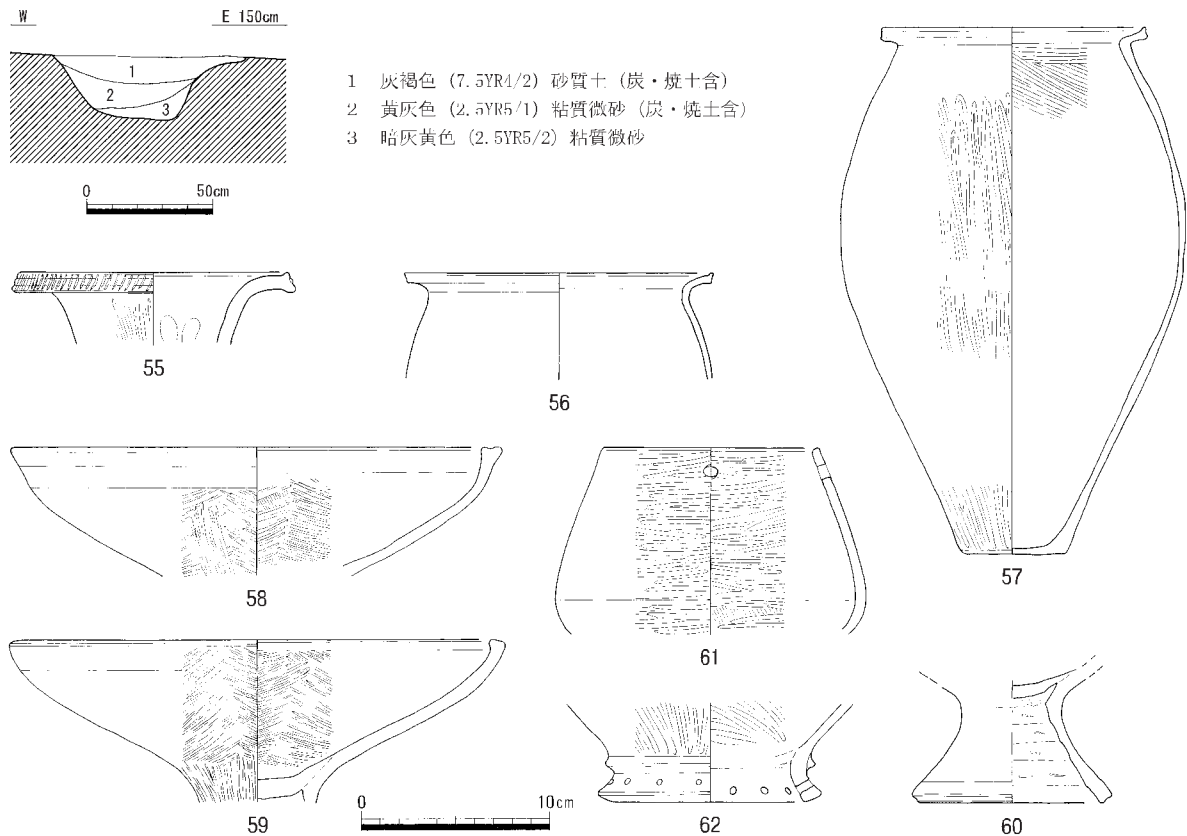
- 1 にぶい黄褐色 (10YR5/4)
砂質粘土 (第2層より砂質強、
白色砂粒・炭粒含)
- 2 にぶい黄褐色 (10YR5/4)
砂質粘土 (白色砂粒・炭粒含)

第53図 溝4 (1/30)・出土遺物 (1/4)

溝の時期は、出土遺物と検出状況から、百・中・Ⅱと考えられる。(高田)

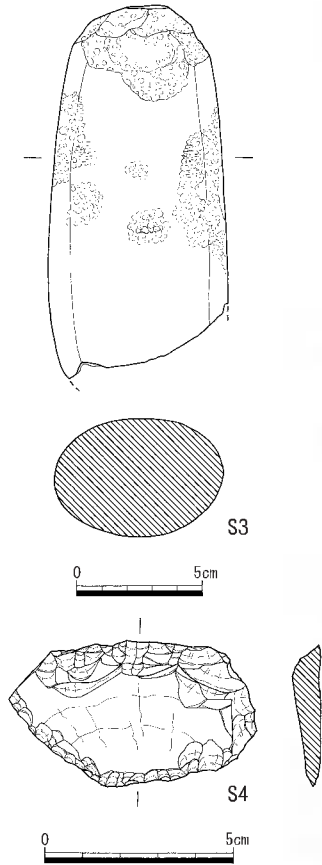
溝5 (第10・54・55図、写真7、図版3-2・31・33)

溝5は303U区に位置する。埋土中に炭・焼土・ガラス滓を含む。方向からすると、南方で「百今谷1土壇54」に接続すると想定される。「土壇54」はその形状から溝とも考えられ、埋土中から多量のガラス滓が出土しており、炉壁と判断されるものもある。溝5から検出されたガラス滓は約32gで、「しずく」状が9点、「枝・針」状が9点、「しずく状を呈するものが連結」が24点、その他が70点、表面に植物の繊維状の圧痕が確認されるものが3点ある。時期は百・中・Ⅱである。(物部)

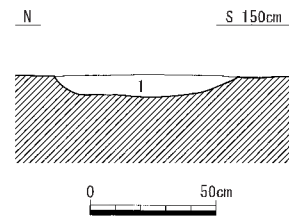


- 1 灰褐色 (7.5YR4/2) 砂質土 (炭・焼土含)
- 2 黄灰色 (2.5YR5/1) 粘質微砂 (炭・焼土含)
- 3 暗灰黄色 (2.5YR5/2) 粘質微砂

第54図 溝5 (1/30)・出土遺物① (1/4)

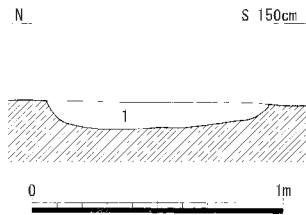


第55図 溝5出土遺物②
(1/3・1/2)



1 にぶい黄褐色 (10YR5/3) 砂質土

第56図 溝6 (1/30)



1 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 (炭粒・焼土粒含)

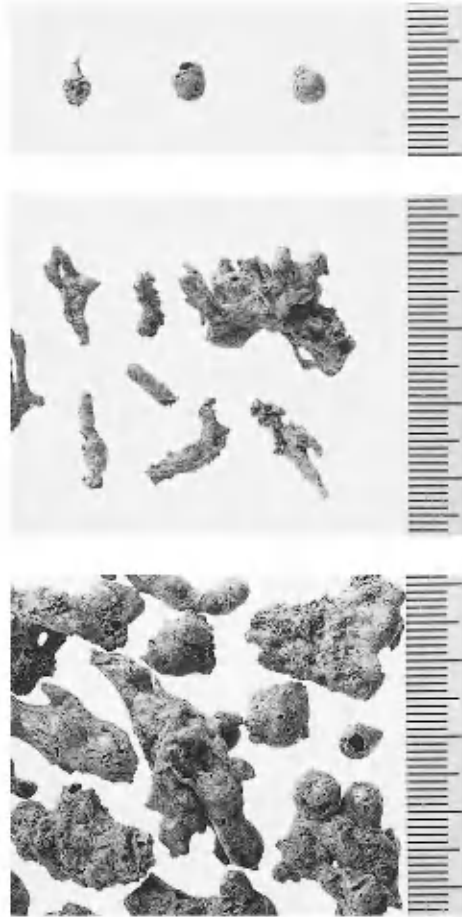


写真7 溝5出土ガラス滓

溝6 (第10・56図)

302U区に位置する東西溝である。掘立柱建物10と重複するが、先後関係は不明である。

検出時の規模は幅72cm、深さ9cm、長さ5.5mを測り、断面形は皿形を呈する。

図示し得る遺物はないものの、検出状況から溝の時期は弥生時代中期と考えられる。(高田)

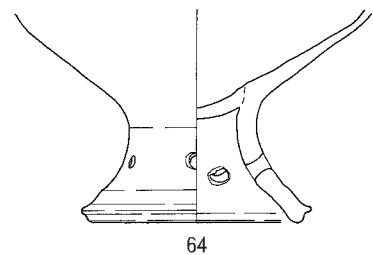
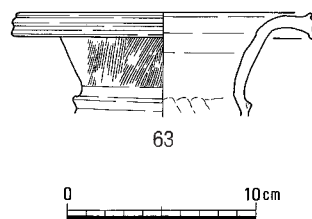
溝7 (第10・57図)

303区のUライン上に位置する溝である。東端は溝5で切られ、西側は途切れるものの、位置関係や規模から「百今谷1溝11」に接続する可能性があり、本来は掘立柱建物8の南側に平行する位置にあったと推定

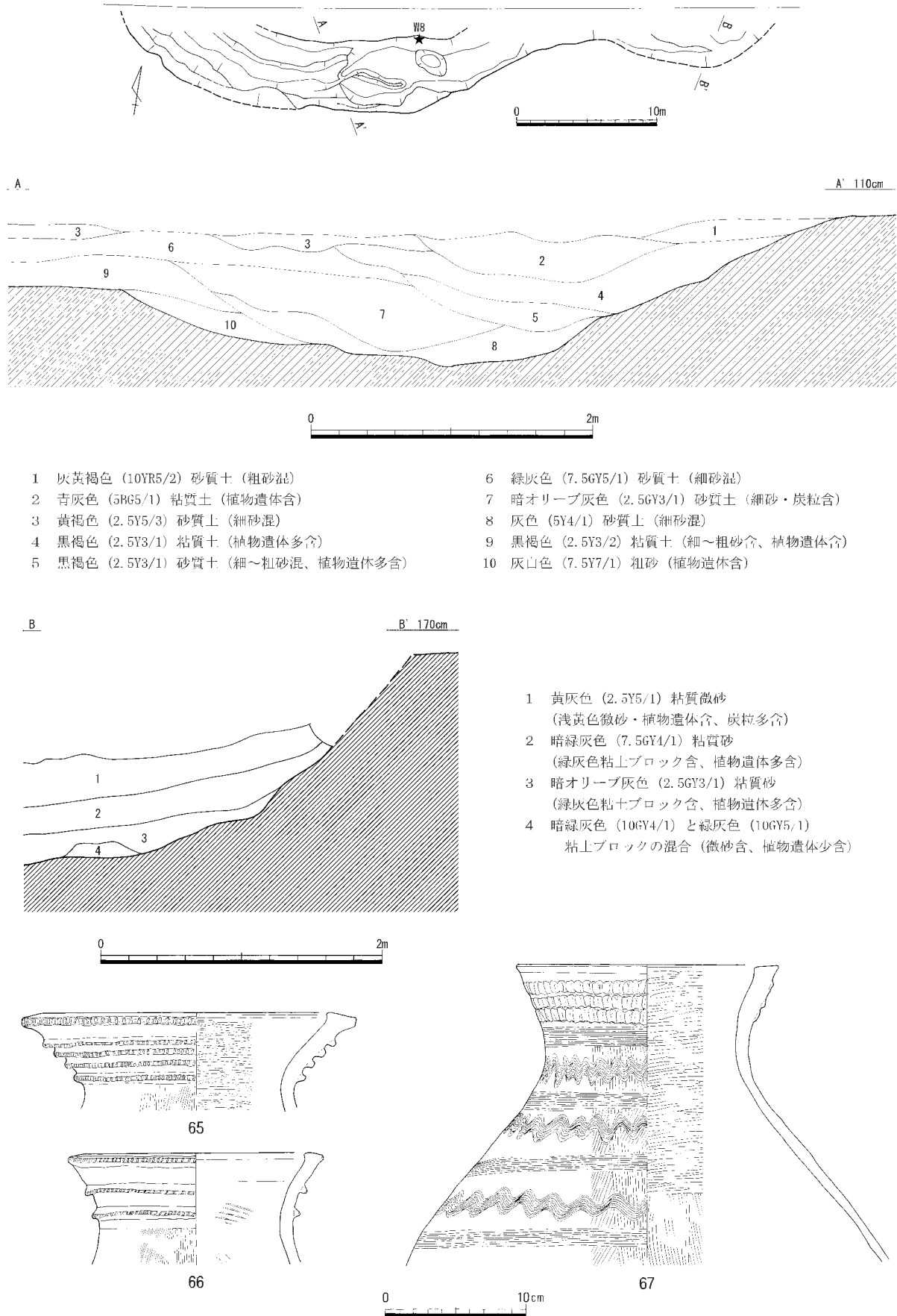
される。検出時の上幅は89cm、深さ11cmを測り、断面形は皿形を呈する。図示した遺物は、弥生土器の壺63、高杯64である。溝の時期は、出土遺物から百・中・Ⅱと考えられる。(高田)

溝8 (第11・58~61図、巻頭図版4-2・6-2、
図版3-3・4・19・35~38)

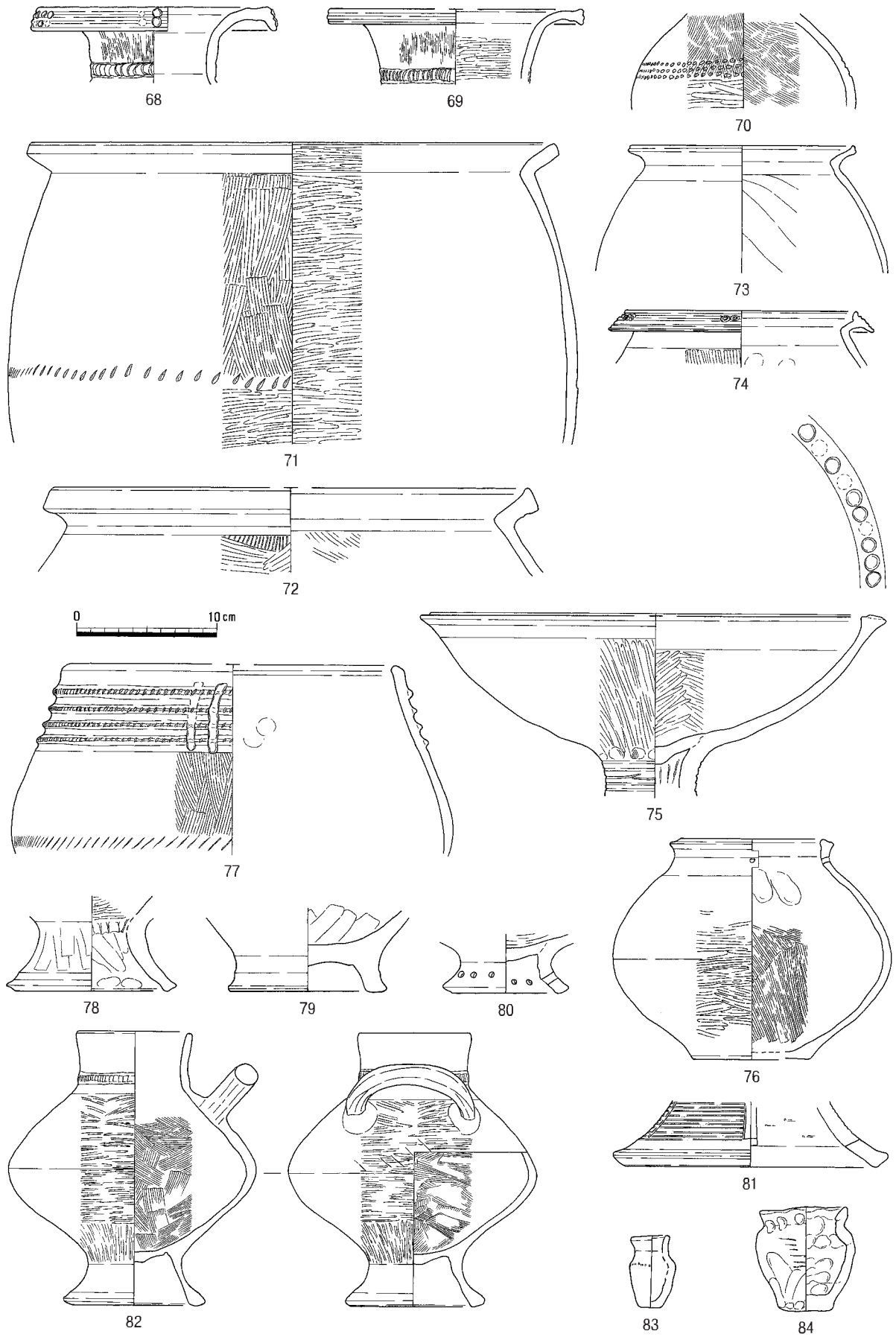
301・302V~X区の調査区端に位置し、上幅6m以上と推定される自然河道である。河道は、Wライン付近で調査区内に入り、大きく湾曲したのち、X区で再び調査区外へ抜けていくものである。断面を示した第58図のA-A'によると、河道はその規模を縮小しつつ、徐々に南側に流路を寄せていったことが分かる。最も深い時期で、検出面



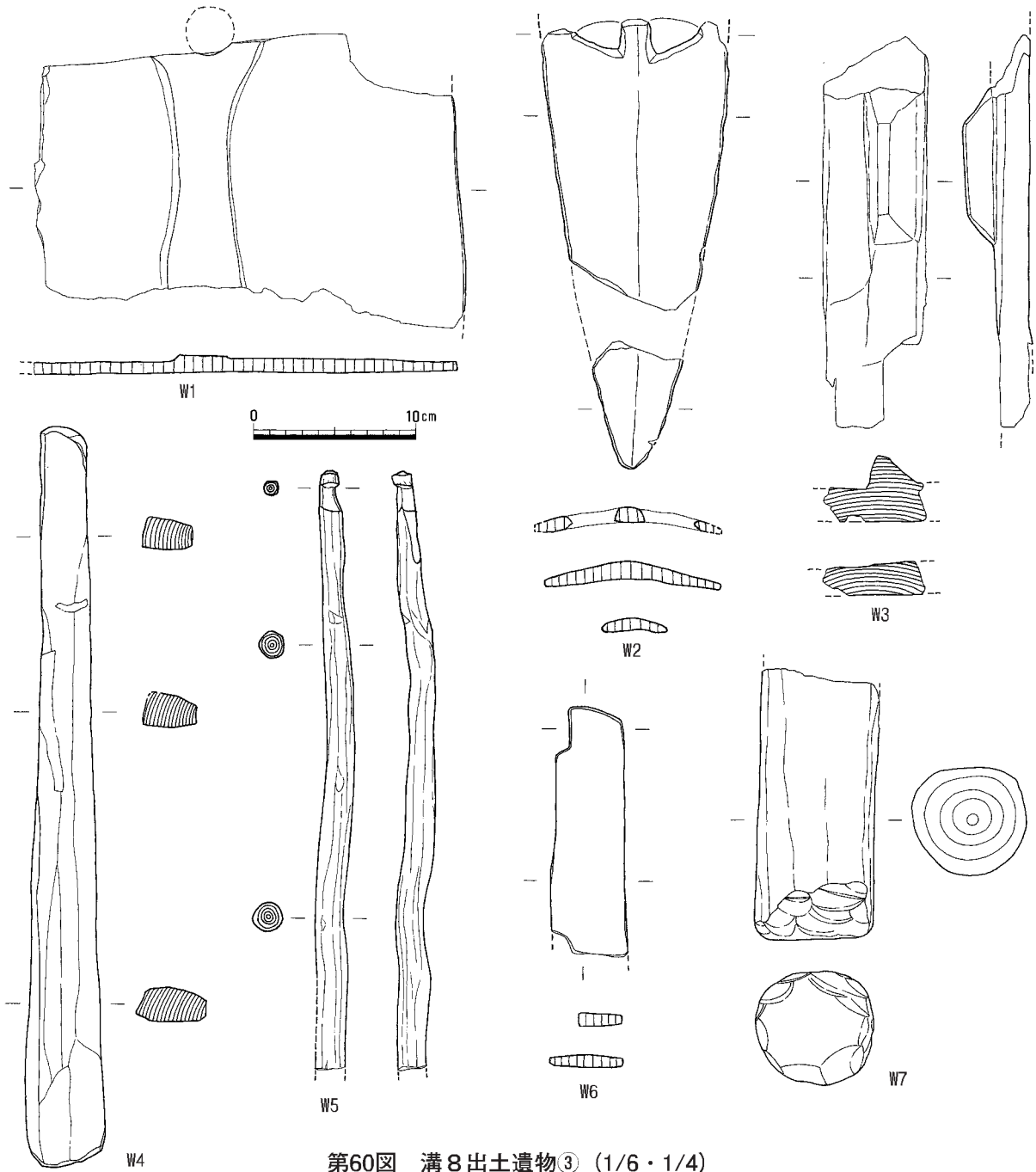
第57図 溝7 (1/30)・出土遺物 (1/4)



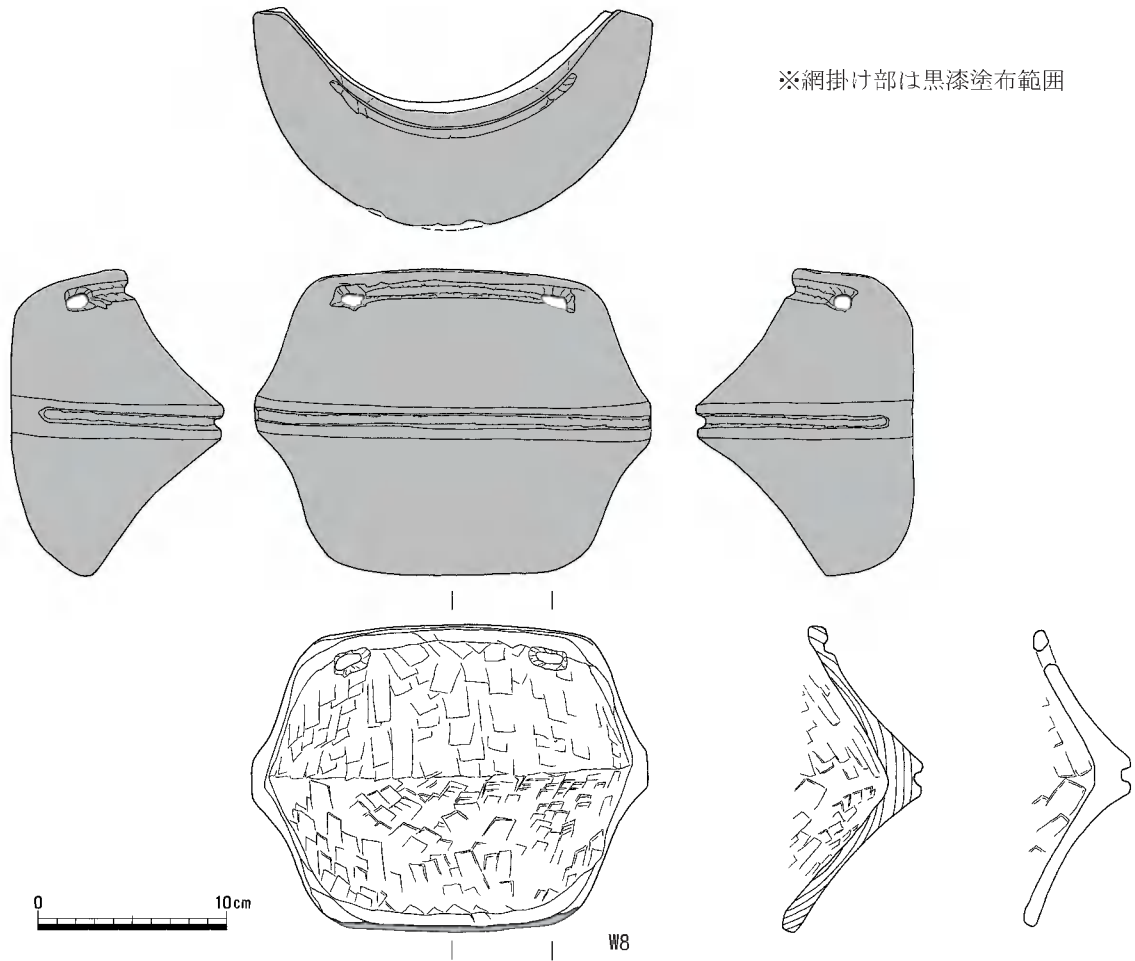
第58図 溝8 (1/400・1/40)・出土遺物① (1/4)



第59図 溝8出土遺物② (1/4)



から底面までの深さは1 m以上を測る。また、河道の北岸は調査区内に収まっ
てはおらず、調査区外の北側にさらに広がっている可能性が高い。なお、河
道の埋没後の弥生時代後期には、調査区外の北側の広がりを含めた部分を水田化したものと考えられ、
後述する水田3がこれにあたる。河道の埋土は、砂質と粘質をほぼ交互に繰り返すもので、粘質土層
を中心に植物遺体を顕著に含むものである。これは流水と滞水を繰り返しながら埋没した結果による
ものと考えられる。図示した土器は、壺65・70・76、甕71・74、高杯75、鉢77・80、器台81、水差
し形土器82、ミニチュア土器83・84である。甕74が百・中・Ⅲと考えられる他は、ほぼ百・中・Ⅱ
に比定される。木器では、広鋤W1、鋤先W2、突起をもつ部材W3、有頭部材W5、柱材W7、容
器W8等がある。W8は、平滑に仕上げた外面に黒漆を塗布し、内面は加工痕を顕著に残すものであ



第61図 溝8出土遺物④ (1/4)

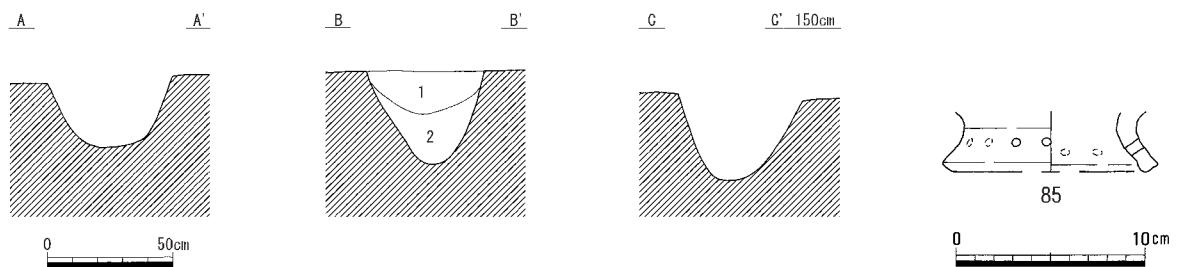
る。端部は丁寧に面取りしている。外面上側の溝の両端に穿孔を持つことから、この部分に紐等を通して、他の部品と組み合わせるものと推定されるが、具体的な使用方法は不明である。

河道は、百・中・Ⅰ～Ⅱの時期に埋没し、Ⅲ期にはほぼ埋まりきっていたと考えられる。(高田)

溝9 (第11・62図)

303W区を北から南に向かい直線的に流走する溝で、水田1を切る。その北端は古墳時代の溝32に切られ、南端は低水路側に延びるもので、検出時の上幅46cm、深さ36cm、断面形は椀形を呈する。

溝の時期は、出土遺物から百・中・Ⅱと考えられる。(高田)



- 1 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘質微砂 (砂質強、炭・焼土粒含、Fe 染込、Mn 沈着)
- 2 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質微砂 (粘質強、灰黄色 (2.5Y6/2) 粘質微砂ブロック混)

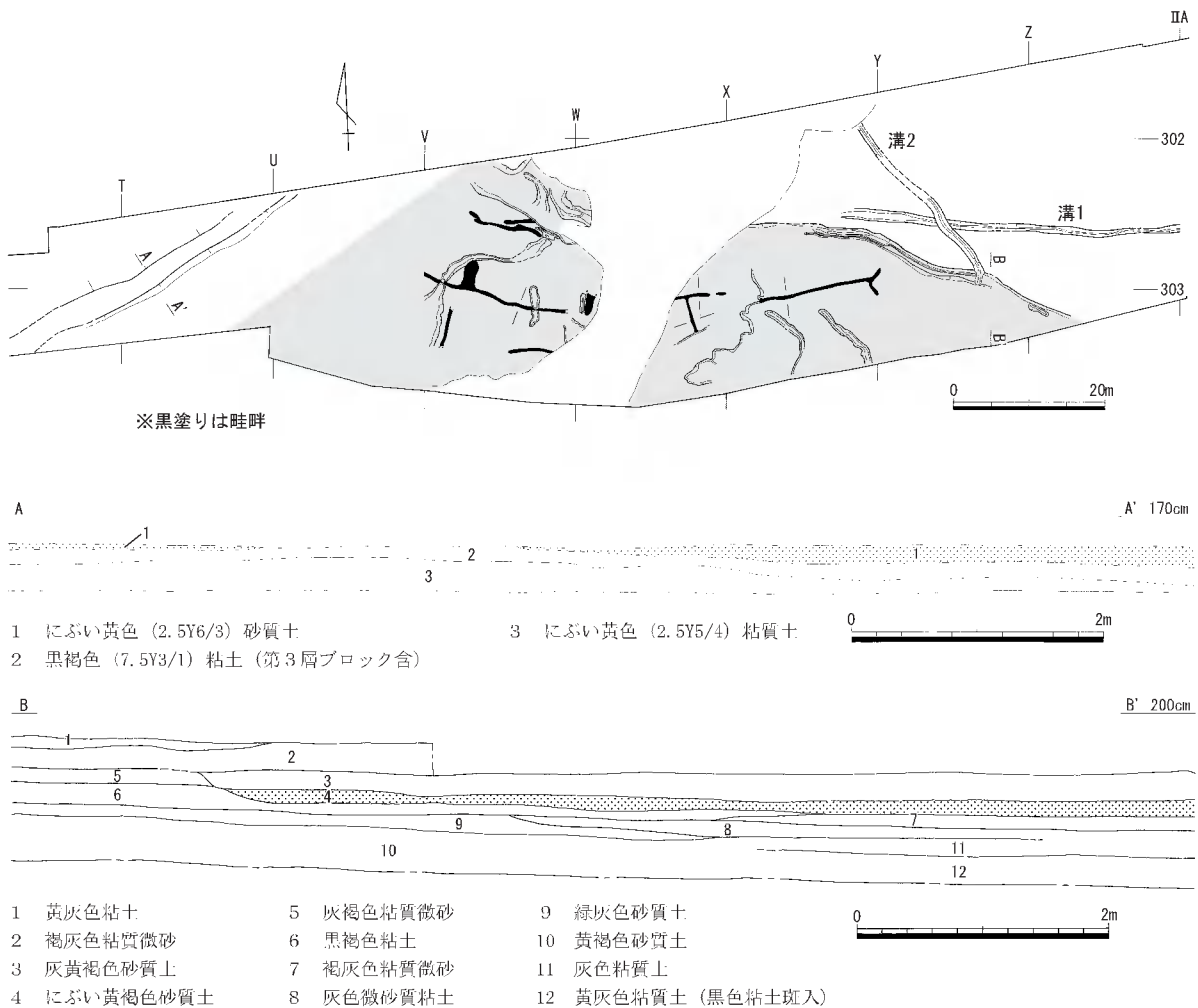
第62図 溝9 (1/30)・出土遺物 (1/4)

7 水田

水田1 (第11・49・63～65図、写真3、巻頭図版3-1・2、図版4-1・2)

Vラインに沿う側溝の掘り下げ時に、洪水砂で埋没した畦畔状の高まりを確認したことから、以東については水田の可能性を想定して洪水砂の掘り下げを行った。その結果、302・303V～X区において畦畔を検出し、302・303X～Z区では西北西—東南東方向の微高地端部を検出した。さらに、302Y区において、北西—南東方向の溝2がこの微高地端部に取り付くことを確認している。なお、洪水砂は、第63図に示すように西側のT・U区と東側のY・Z区にも広がっているが、西側のT・U区については水田に対する十分な認識がなく掘り下げたため、畦畔を見落とした可能性がある。また、東側のY・Z区については、精査したにもかかわらず畦畔の検出はできなかった。このT・U区付近は、洪水砂の西端と考えられ、第63図の平面図とA—A'の断面に示すように北東—南西方向の直線的な高まりの南側から洪水砂の堆積が認められる。

畦畔は、ほぼ東西方向に延びる一本の畦畔を基本線として、これに直角あるいは「Y」字状に取り付くものと、直交あるいは平行するやや離れた位置にあるものを検出した。東西方向の畦畔の東端は「Y」字状に別れ、その一端は微高地に対して直角に取り付くと推定される。畦畔の規模は、下端の

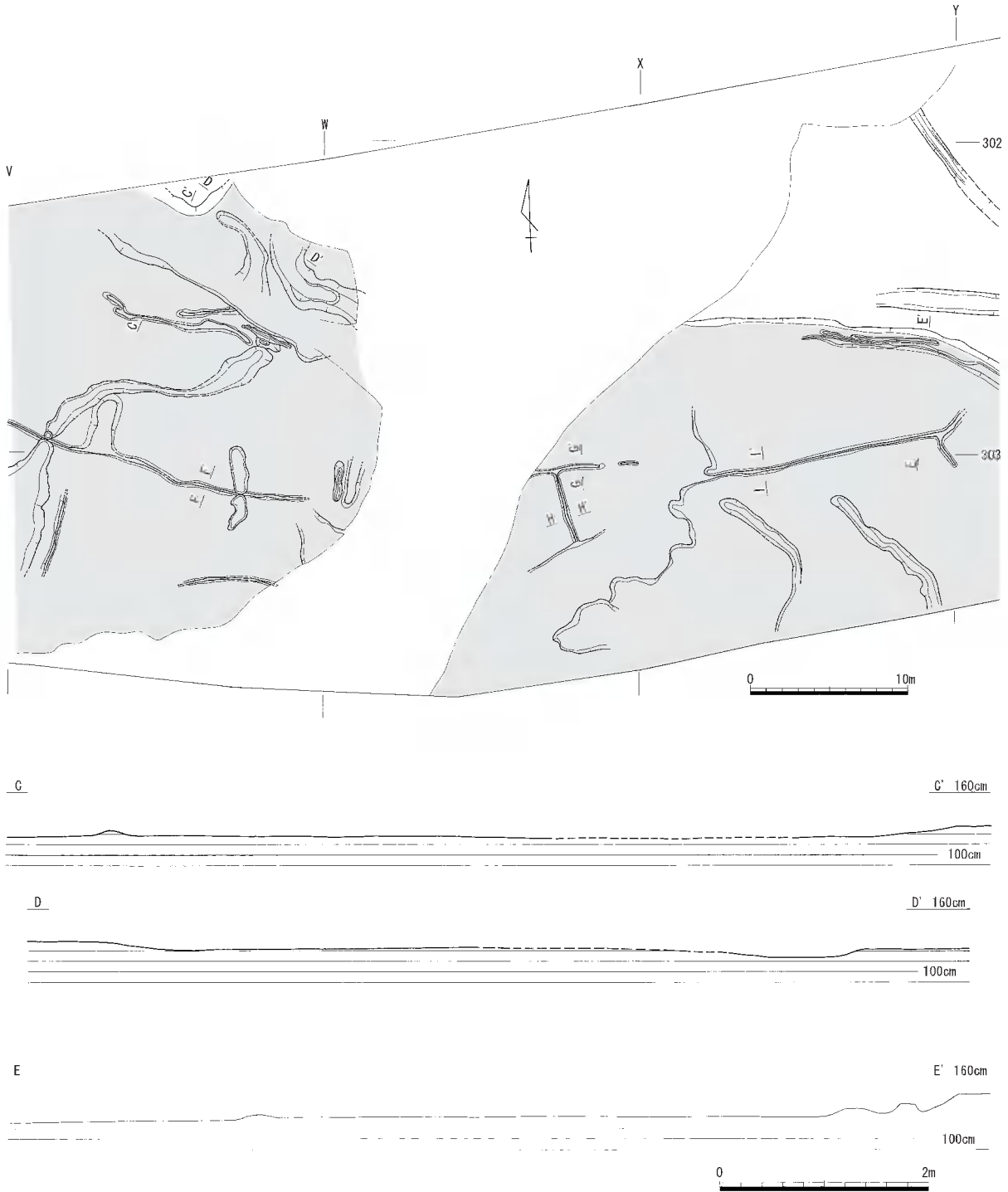


第63図 水田1① (1/1,000・1/60)

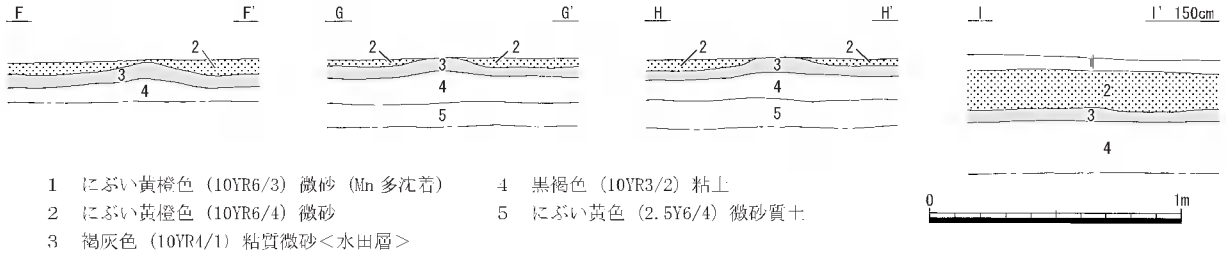
第3章 発掘調査の概要

幅が30~40cm、高さは4~5cmを測る。また、畦畔の構築は、第65図から分かるように水田耕作土を盛り上げて行われたと考えられる。この水田耕作土は、基本的に黒褐色粘土層の上層に堆積する褐灰色粘質微砂層である。その厚さは3~5cmを測り、場所によっては少量のマンガン粒の沈着を下面で確認している。田面の海拔高は、302・303V区ではほぼ120cm前後を測り、302・303W区で130cm前後、302・303X・Y区では110~115cmを測り、やや低くなる。なお、田面には数多くの溝状あるいはアムバー状の落ち込みがみられる。溝に直交するものもあり、畦畔を切るものもある。

水田の時期は、水田の排水路等と考えられる溝2から百・前・Iの土器が出土していることと、水



第64図 水田1② (1/400・1/60)



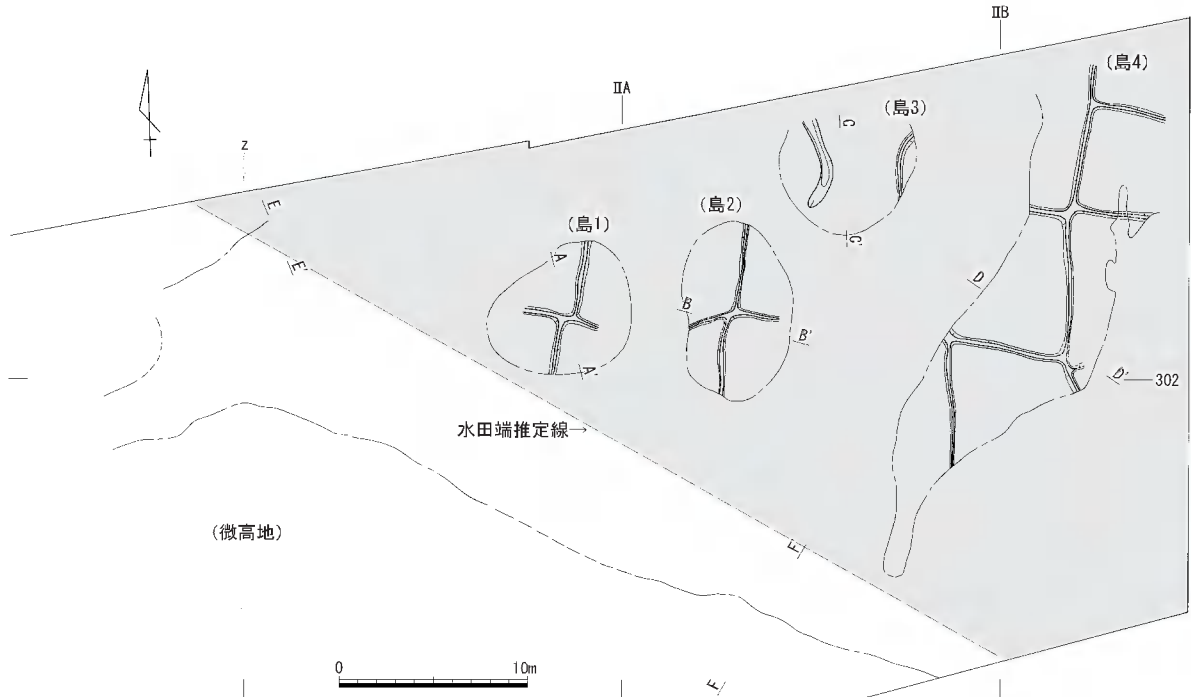
第65図 水田1畦畔 (1/30)

田を覆う洪水砂層の上面から百・中・Ⅱの柱穴が掘削されることなどから、前期と考えられる。

水田は、灌漑用水路を持つことと、マンガン粒の沈着を下面で確認していることから、微高地上の窪み地形等を利用した灌漑水田と推定される。(高田)

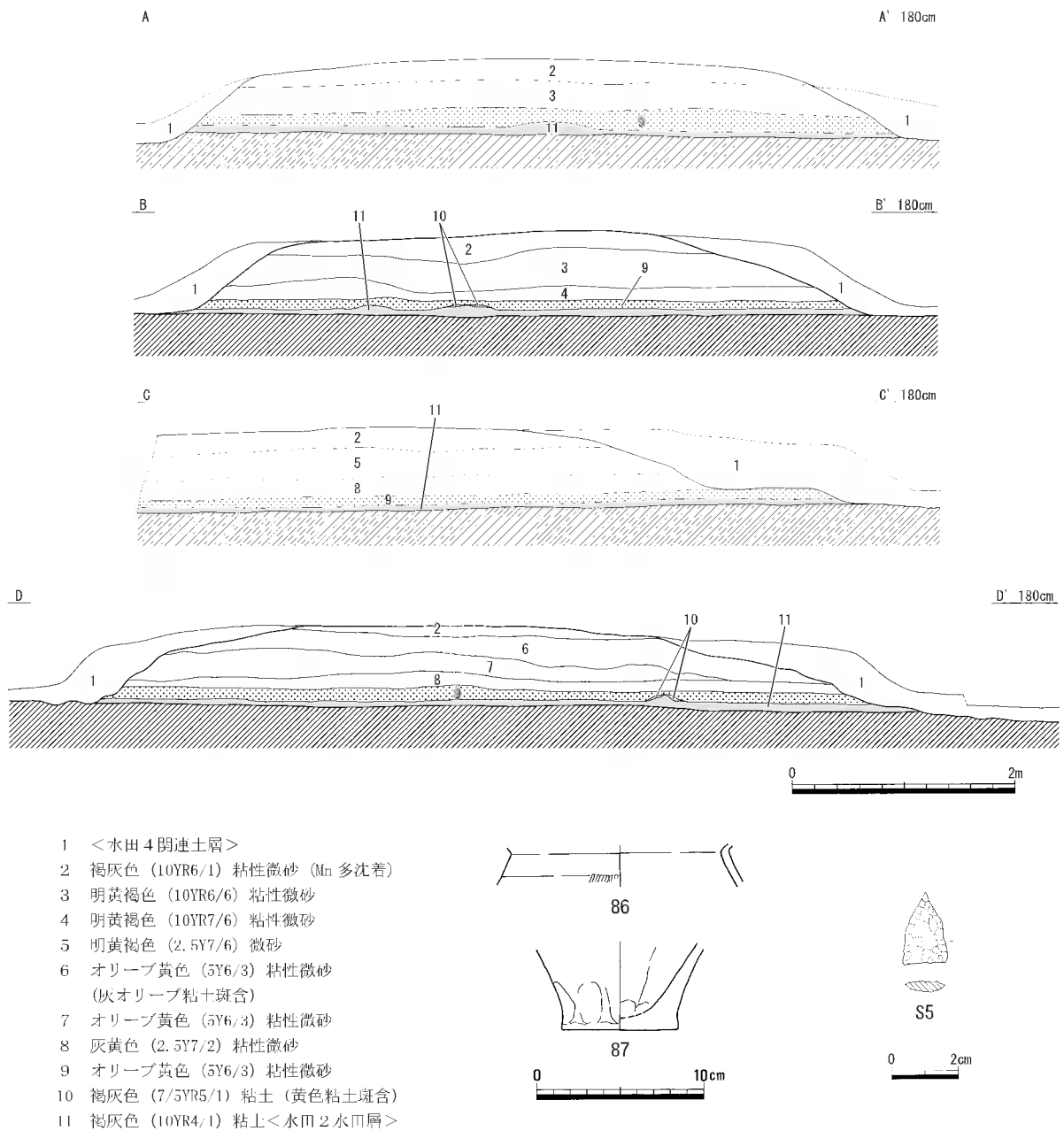
水田2 (第11・66~68図、写真4、巻頭図版3-3・4、図版4-3・4・31)

調査区301Z区から302ⅡB区にかけて断続的に検出した水田である。弥生時代後期の水田層を調査後、「島状高まり」遺構1~4にトレンチを設定し、堆積層の状況を確認中に検出した。弥生時代後期の水田造成に伴い大きく削平を受けており、図中に示したのは畦畔が検出された範囲である。断面観察による限り水田層は南西側に展開する微高地下層までは続かないことから、南端は第66図に破線で示した範囲付近に収まり、北側は調査区外まで広がっているものと考えられる。畦畔の規模は上端幅20~10cm、下底幅40~20cm、水田面からの高さは5~3cmをそれぞれ測る。断面形状は台形を呈し、高さはかなり低い部分も認められる。限られた範囲内での検出であったため、水口と推測できる部分は確認できていない。また、水田1枚全体を確認できていないため、田面の正確な形状、面積の把握は困難であるが、畦畔同士がY字形、ないしはT字形に接続しており、ややいびつな四角い区割りを基調とすると考えられる。これは『百間川原尾島遺跡2』『川内調査区弥生時代中期水田遺構』に類

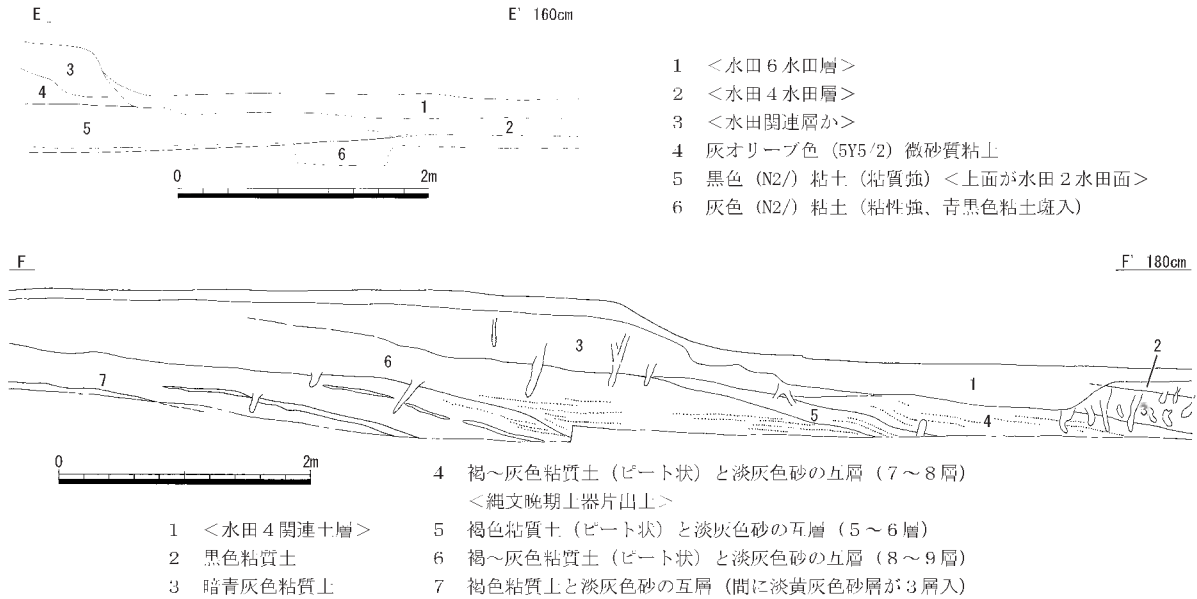


第66図 水田2 (1/400)

似する。また、比較的残存状況の良い「島状高まり」遺構4の下層で検出された部分を見る限り、一辺が5.6m以下の小さい区画の水田と、少なくとも8mを超える水田との2種類が認められる。水田面の上面のレベルは301Z区付近で84cm~87cm、302ⅡB区で92cm~79cmを測る。先述したような検出状況から、調査範囲内でどちらの方向に水田面の標高が低くなっているかについては一概に断じ得ないが、調査区北東方向に向かってやや下がっている傾向は見受けられた。第67図に示した土層断面によると、いずれの断面においても水田層上層にオリーブ黄色の土層がほぼ水平に堆積している状況を認めた。この土層の特徴は百・後・Ⅳの洪水砂と類似しており、堆積状況と合わせて洪水砂ではないかと推察される。その上層に堆積する明黄褐色系土層からは甕86、87、および石鎌S5が出土している。この甕の時期はその形態や調整などから百・中・Ⅱと見られることから、この土層は同時期の包含層であると考えられ、同時に水田2廃絶の直近年代をこの時期に比定することができる。



第67図 水田2断面① (1/60)・出土遺物 (1/4・1/2)



第68図 水田2断面② (1/60)

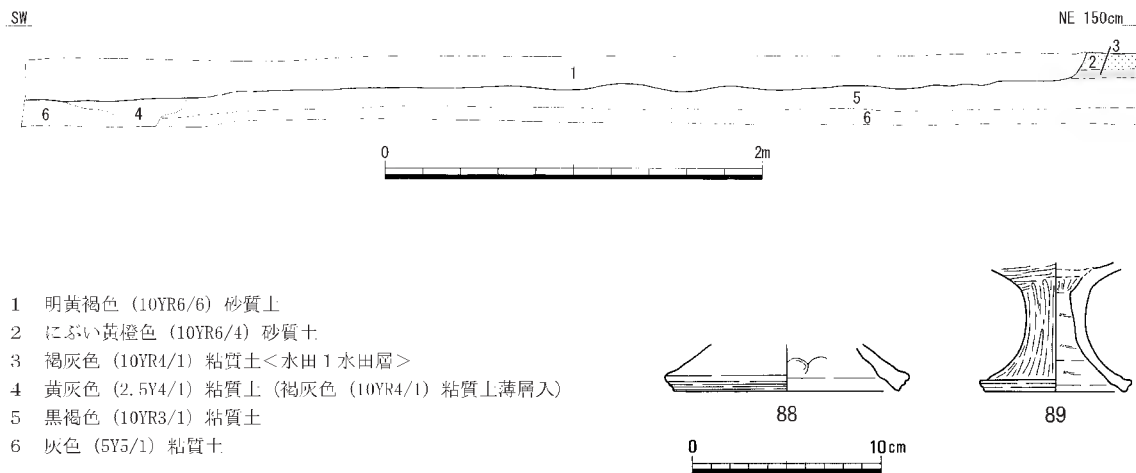
水田2の水田層からの出土遺物は認められなかったことから、時期については層序関係、水田区画形状、上層を覆う包含層出土遺物から総合的に判断して百・中・I～IIの範疇でとらえたい。同様の層序関係で検出された『百間川原尾島遺跡2』『川内調査区弥生時代中期水田遺構』もほぼ同時期に比定されており、今回の例と矛盾はないものと考えられる。(和田)

8 その他の遺構

窪み (第11・69図)

303V区に位置するもので、その南側を古墳時代の溝32や低水路の掘削で切られる。第69図に示すように、弥生時代前期の水田1の耕作土とその上層の洪水砂を掘削している。底面は凹凸をもつものの、海拔高は117cm前後を測る。埋土は、やや固めの明黄褐色砂質土である。

図示した遺物は、高杯の脚88・89である。窪みの時期は、弥生時代中期以降と考えられる。(高田)



第69図 窪み (1/40)・出土遺物 (1/4)

第3節 弥生時代後期の遺構・遺物

1 概要

弥生時代後期の遺構は、竪穴住居2軒、掘立柱建物25棟、柱穴列2基、井戸3基、土壇21基、溝・水路22条、水田4面、焼土集中部1カ所、土器溜まり1カ所を掲載する。

微高地上の遺構の分布は、弥生時代中期までと大きく異なる。つまり、弥生時代中期の掘立柱建物や柱穴列、井戸、土壇等が集中していたVラインよりも西側の調査区については、ほぼ東西に溝が貫流するのみとなる。また、弥生時代前期の水田1が広がっていた302・303V～Z区や、その北側と西側の微高地部分においては、全面が居住域となる。水田1上には掘立柱建物群が展開し、水田に面するような微高地端部の位置に竪穴住居が築かれる。なお、低位部は水田化することを確認している。つまり、弥生時代中期の溝8の埋没後には、水田3が拓かれ、水田2上には、ほぼ重なるような範囲に水田4が拓かれる。

当調査区の性格を物語るのが、調査区を東西に貫流する溝群である。これらは基本的に水田の用排水路と考えられ、幹線水路と考えられる溝10～12は、「百兼基4水田2」から流れ出た後、微高地上を貫いて水田3を避けながら東側の水田4に注ぐものである。その中途においては、複雑に合従連衡

を繰り返して流走する。溝の掘開の時期は、開田と同期の百・後・Ⅱであり、集落の最盛期と考えられる後・Ⅲは多くの建物が溝に方向を描く傾向がある。

出土遺物では、溝12内とその肩口から出土した大量の土器と、石器・土製品・金属器・木製品が特質される。溝の肩口の土器は、土器溜まりを形成するように折り重なって出土していることから、繰り返し行われた用水路の浚渫によるものと考えられる。(高田)

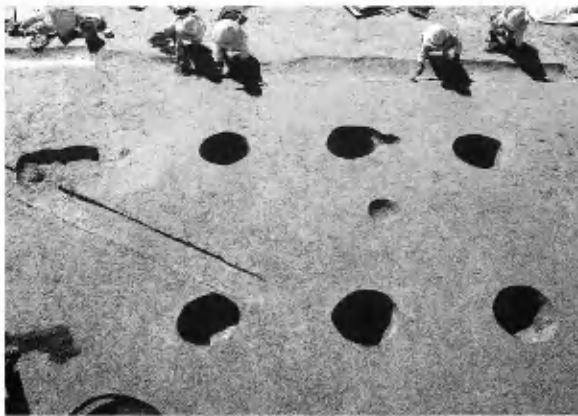


写真8 掘立柱建物18 (北から)



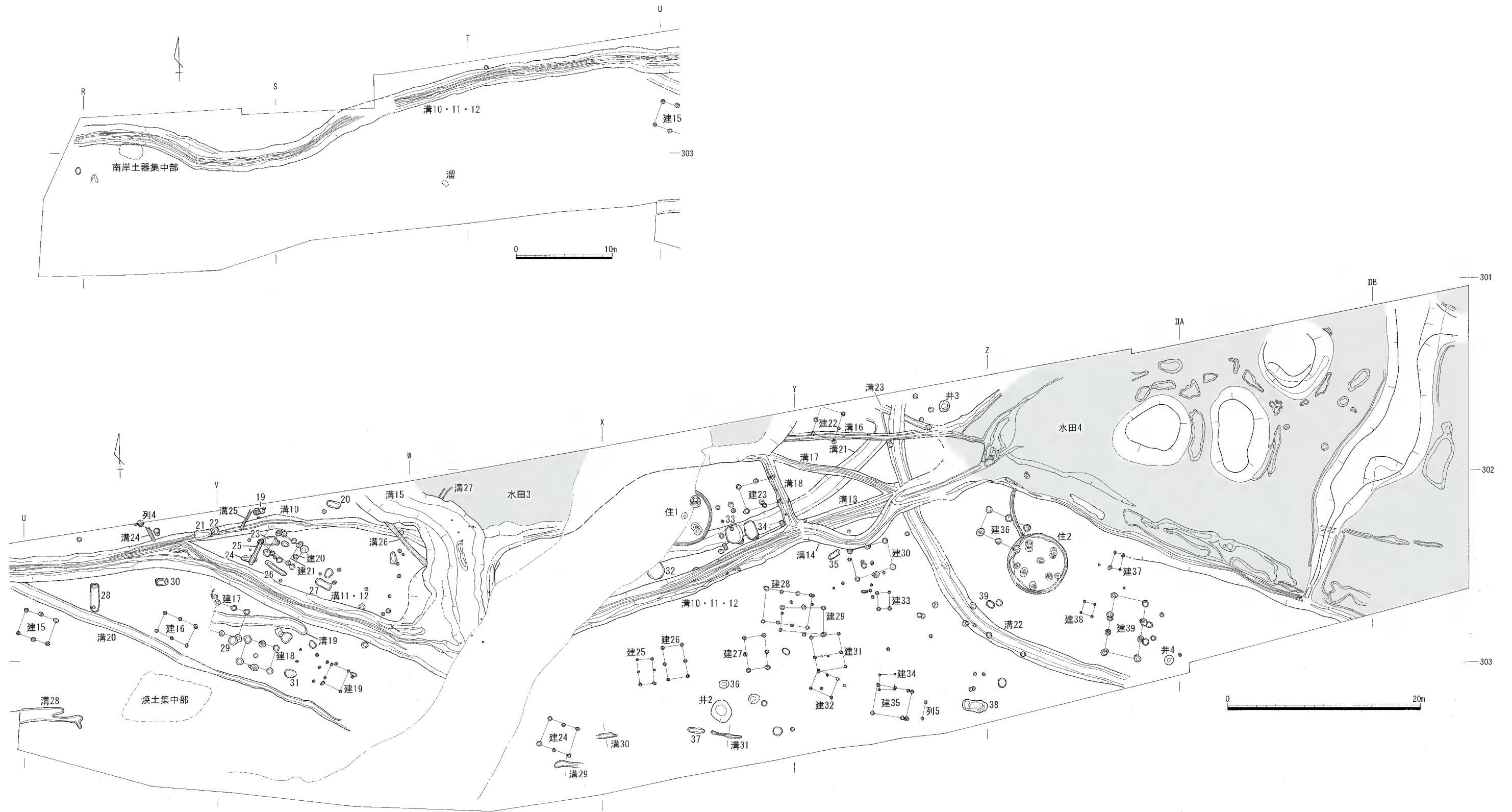
写真9 溝11・12 (南東から)



写真10 水田6 (北東から)

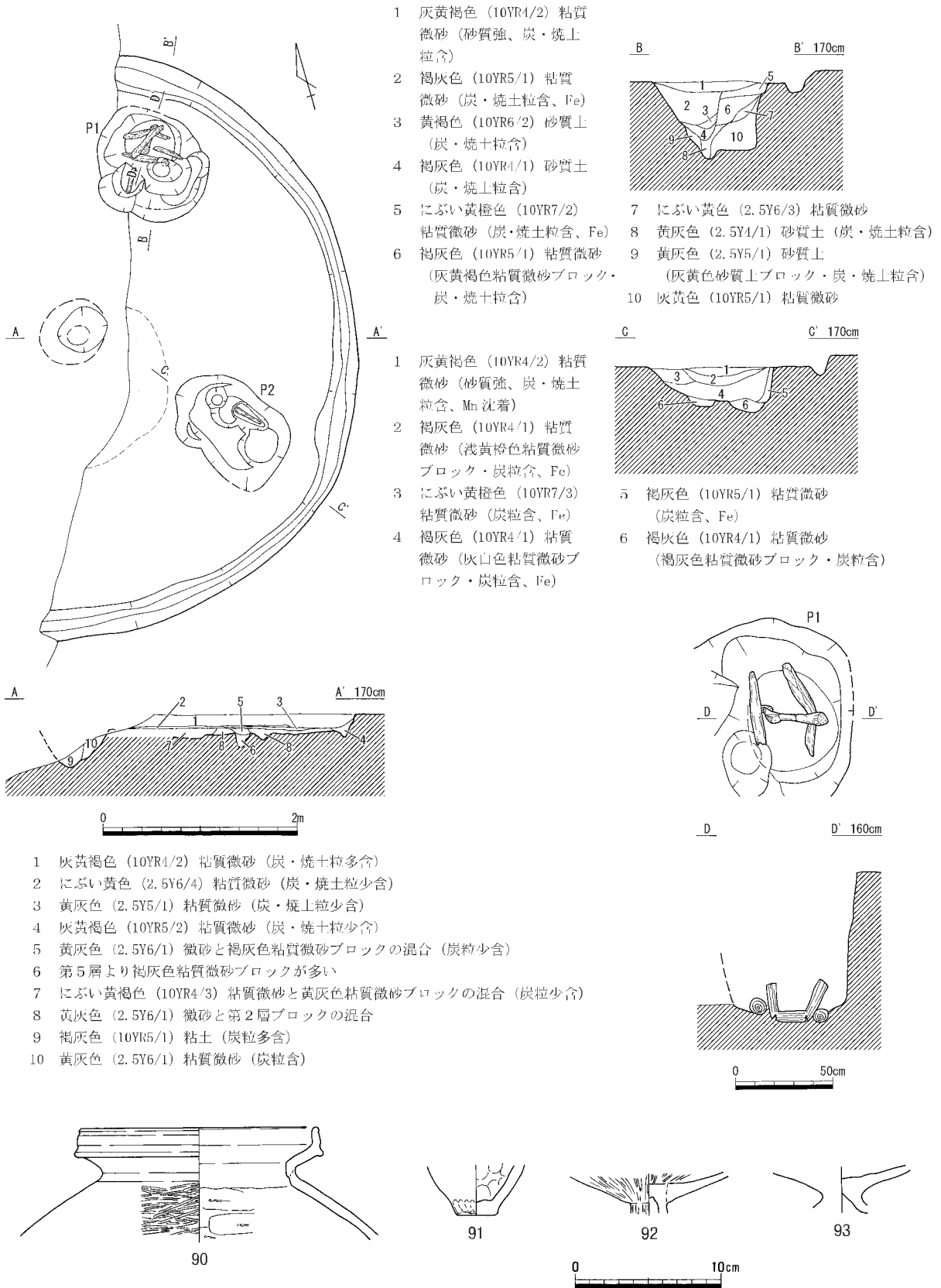


第70図 百間川兼基・今谷遺跡 弥生時代後期の遺構全体図 (1/1,000)



第71図 弥生時代後期の遺構全体図 (1/400)

2 竪穴住居



第72図 竪穴住居 1 (1/60・1/30)・出土遺物 (1/4)

竪穴住居 1 (第71・72図、図版5-2)

302X区に位置する竪穴住居で、西側のほぼ半分を古墳時代の溝32に切られる。水田3の肩口から南側2.5mにあり、水田に面していたと考えられる。

住居の平面形は、円形を呈するものと推定され、検出時の規模は、径604cmを測る。検出面からの深さは24cmで、床面の海拔高145cmとなる。

床面の施設としては、貼り床、中央穴、柱穴、壁体溝を確認している。中央穴は上部を失うものの、70×60cmの円形、深さ40cmと推定され、周囲に炭の分布が認められる。主柱穴は残存する2個を検出したが、位置関係から4本柱に復元される。いずれも底面が数個あることから、複数回の建て替えが考えられる。また、いずれの底面にも棒状の木材が遺っており、主柱の沈み込みを防ぐための根がらみと考えられる。特にP1では平行に置かれた2本に直交する1本を検出している。柱穴1・2間の距離は280～300cmである。

図示した出土遺物は、弥生土器の壺90、高杯92・93、ミニチュア土器91である。

住居の廃絶時期は、出土遺物から百・後・IVと考えられる。(高田)

竪穴住居 2 (第71・73～77図、図版5-1・20・34)

302Z区に位置する竪穴住居で水田4の肩口の南側3.5mにあり、後期の掘立柱建物36や古墳時代の竪穴住居9と重複する。

住居は、各柱穴の切り合いと配置から2度の建て替えが認められる。

住居の平面形は、ほぼ円形を呈する。検出時の規模は、長軸633cm、短軸612cm、深さ10cm、床面の海拔高155cmを測る。床面積は26.75㎡である。床面の施設としては、中央穴、柱穴、壁体溝を確認している。

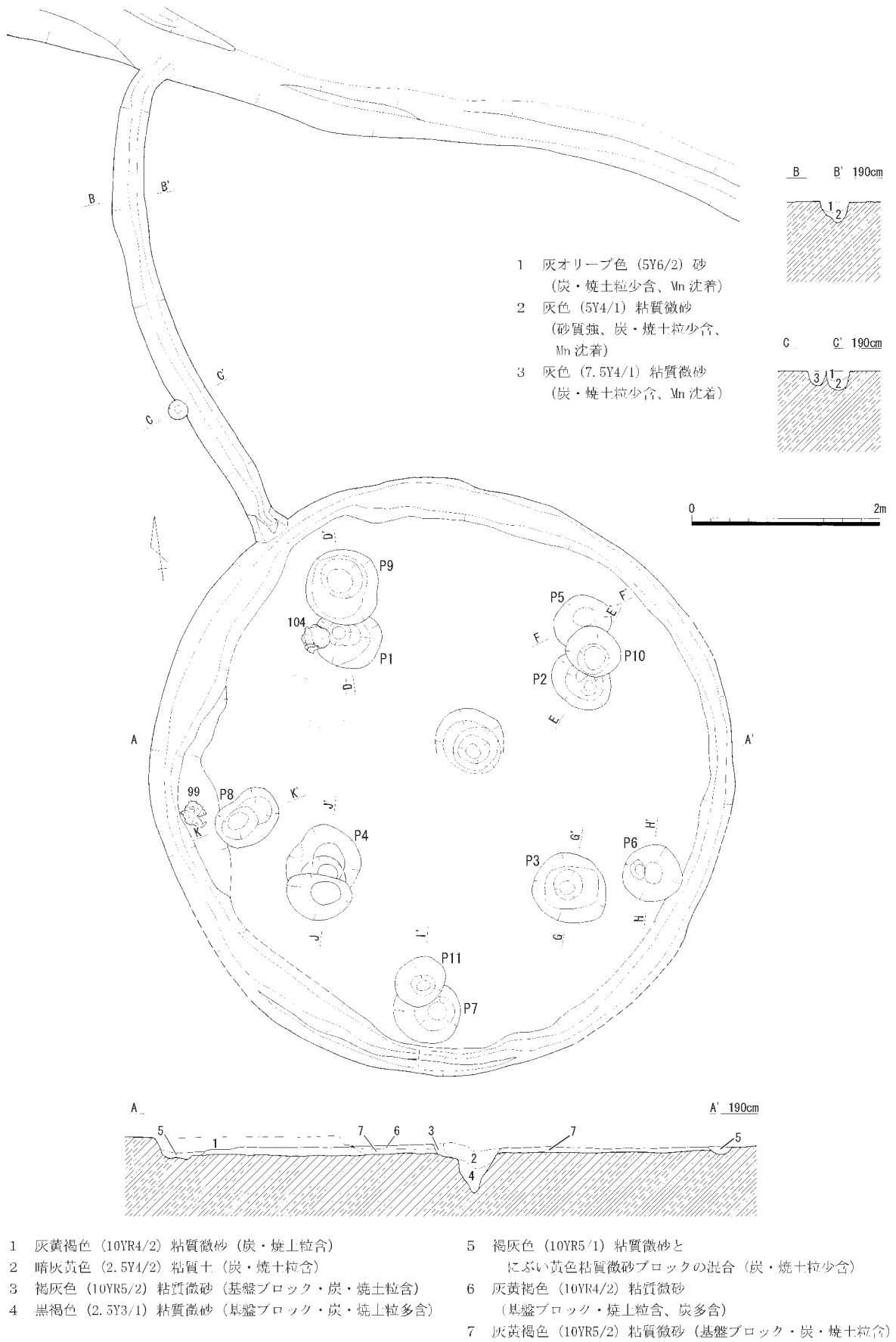
これらの施設は、竪穴全体を掘下げたのちに5～10cmの厚さに埋め土を行って設けた床面から掘り込むものである。やや北寄りに位置する中央穴は、74×64cmの円形を呈し、床面からの深さは48cmを測る。第73図のA-A'断面によると、中央穴の埋土のうち第3・4層は基盤ブロックを含むことから人為的な埋め戻しが考えられる。

主柱穴は、第74図に示すように4個から5個への変遷が認められる。各柱穴の切り合い関係から当初がP1～4の4個、次いでP5～9の5個、最終がP6・8・9・10・11の5個のまとまりである。いずれの掘り方も平面形は円形を呈する。規模は径55～80cm、深さ30～70cmを測る。全周する壁体溝は、西側でやや幅広となり、数段に落ち込む場所がある。

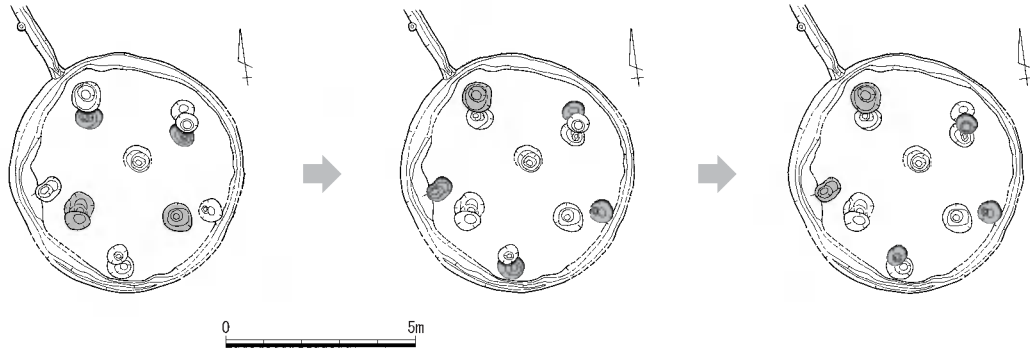
また、住居の北西側の壁体から始まり、北側の水田4に接続する溝は、住居の排水溝と考えられる。長さは約5m、幅30～35cm、深さ20～25cmを測り、水田側に向かってやや傾斜する。この排水溝の底面は、住居の壁体溝よりも5～10cm程度浅いものである。埋土は2層で、上層は砂層である。

住居と排水溝からの出土遺物がある。住居からは弥生土器と石器、鉄器が出土した。図示した土器は、壺94～97、甕98～100、高杯101・102、鉢103～109、ミニチュア土器110、器台111である。このうち、壺94～96はほぼ床面に着いた状態での出土で、甕99は壁体溝、鉢104はP1の肩口から出土している。S6は砥石、M1はヤリガンナと考えられる。排水溝からは、弥生土器の壺112、高杯113、鉢114・115、ミニチュア土器116が出土している。

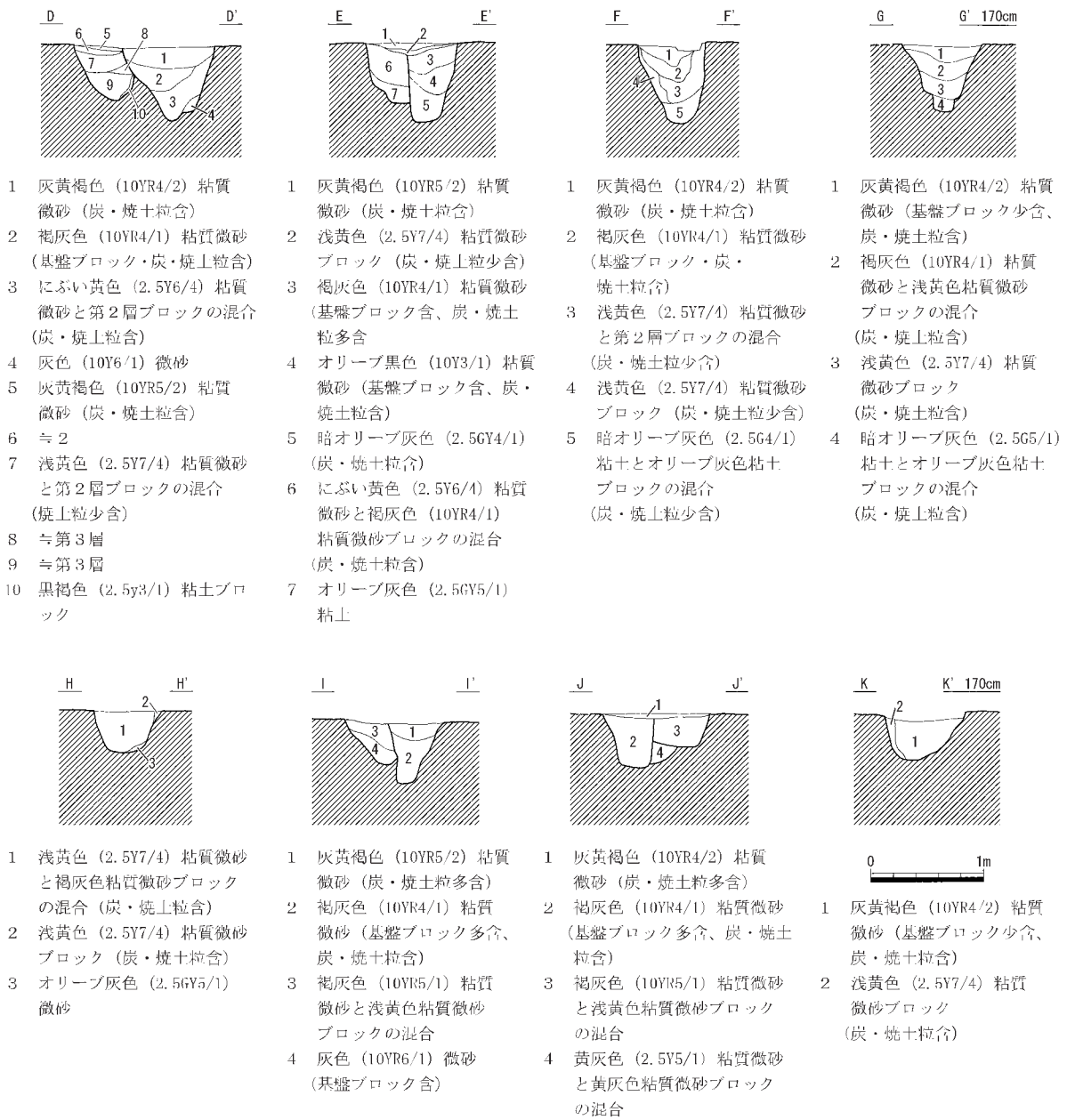
住居の時期は、出土遺物から百・後・IIと考えられる。これは本住居と切り合い関係にある掘立柱建物36の時期とも整合する。(高田)



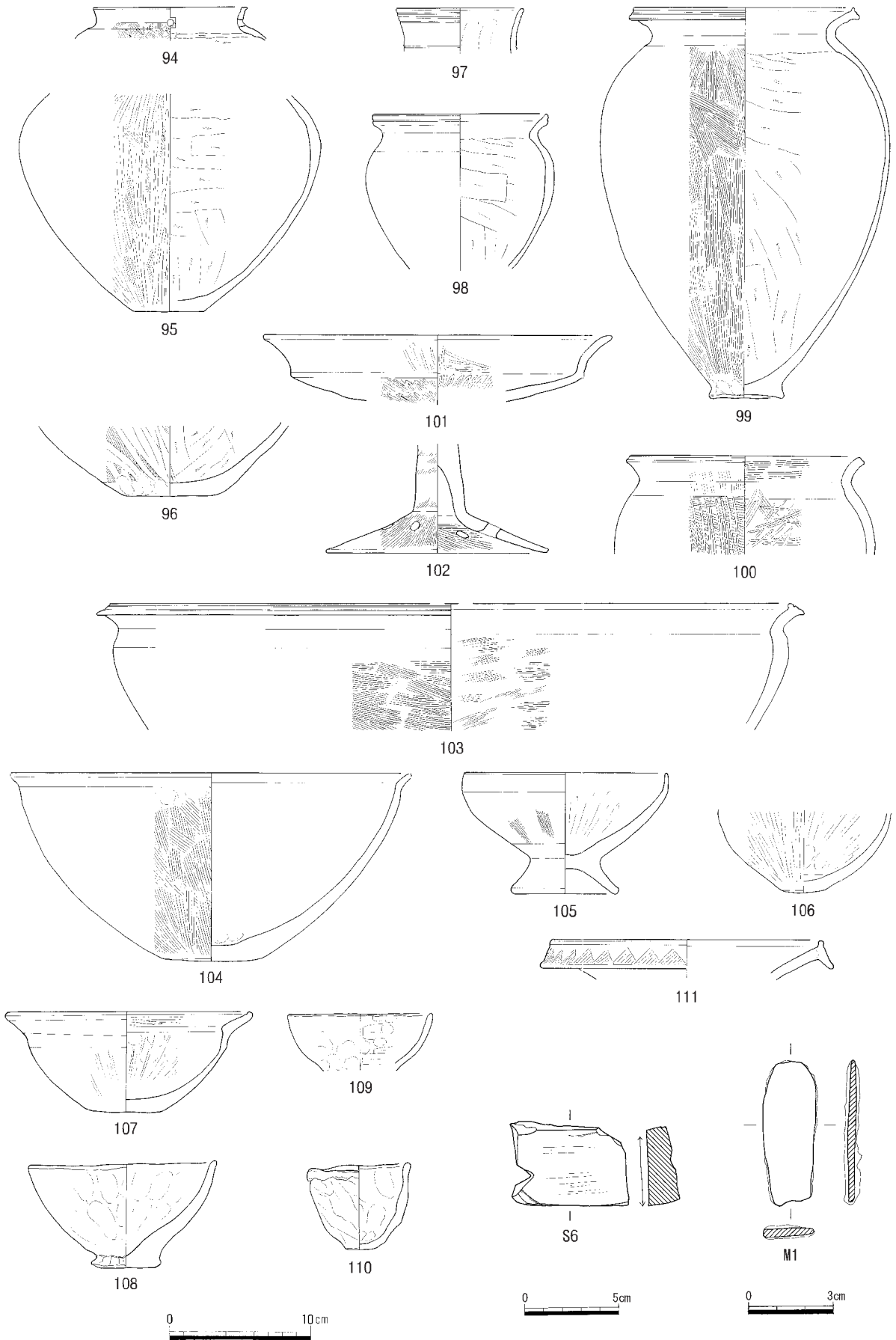
第73図 竪穴住居2 (1/60)



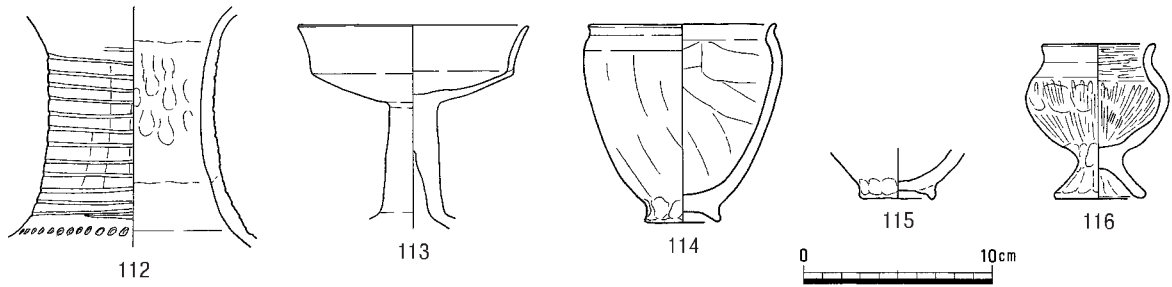
第74図 竪穴住居2変遷 (1/200)



第75図 竪穴住居2柱穴断面 (1/60)



第76図 豎穴住居2出土遺物 (1/4・1/3・1/2)



第77図 豎穴住居2排水溝出土遺物 (1/4)

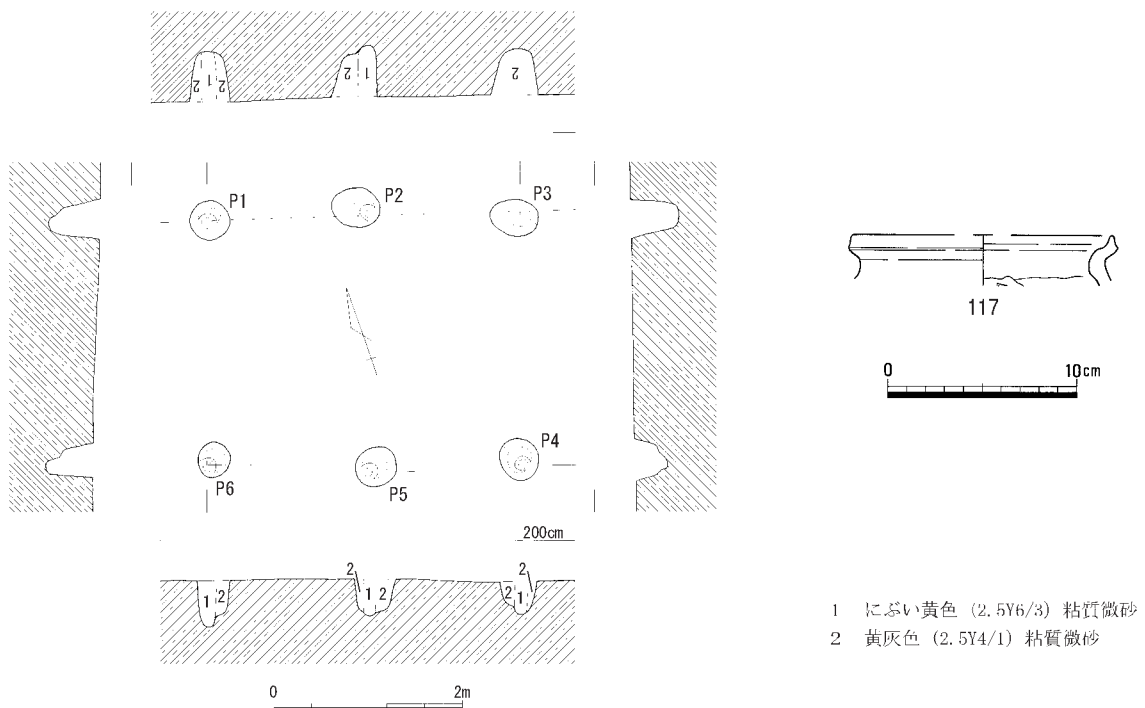
3 掘立柱建物

掘立柱建物15 (第71・78図、図版6-1)

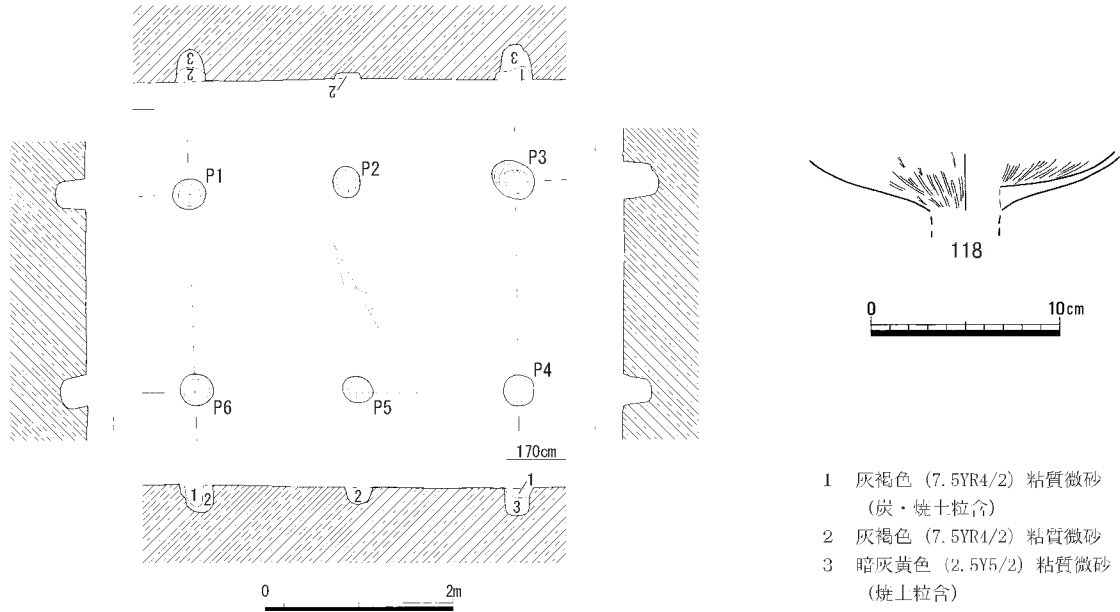
302T・U区から検出された2×1間の掘立柱建物である。桁行332cm、梁行263cm、床面積8.73㎡を測る。桁行柱間距離は、171~161cmである。柱穴掘り方は平面円~楕円形を呈し、その長径は52~36cmであり、検出面からの深さ54~40cmを測る。柱痕跡から、径15cm前後の柱材を使用していたと推測される。P4から出土した甕117から、遺構の時期は、百・後・Ⅱ以降に比定される。(小嶋)

掘立柱建物16 (第71・79図、図版6-2)

掘立柱建物15から東へ10mの位置で検出された、桁行344cm、梁行217cmを測る、2×1間の掘立柱建物である。床面積は7.46㎡である。桁行柱間距離は、177~169cmである。柱穴掘り方平面形は円形を呈し、その長径は44~24cmを測る。検出面からの深さは38~6cmである。建物四隅の柱穴は、桁行の中央の柱穴より、径が長く、深さも深い。P6で確認された柱痕跡から、径15cm前後の柱材を使用していたと推測される。遺構の時期は、弥生時代後期の範疇に収まる。(小嶋)



第78図 掘立柱建物15 (1/80)・出土遺物 (1/4)



- 1 灰褐色 (7.5YR4/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含)
- 2 灰褐色 (7.5YR4/2) 粘質微砂
- 3 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質微砂 (焼土粒含)

第79図 掘立柱建物16 (1/80)・出土遺物 (1/4)

掘立柱建物17 (第71・80図)

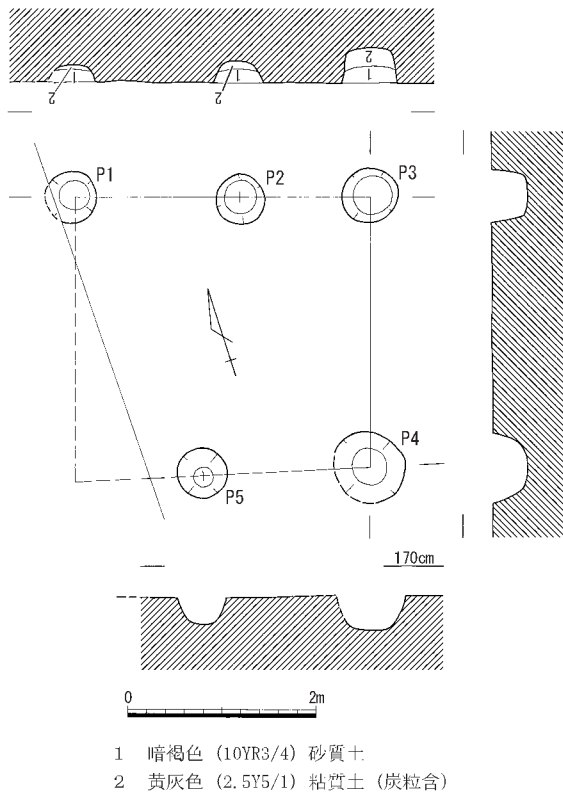
掘立柱建物16の東側に隣接している建物である。P4と土壌29の切り合い関係から、土壌29より古い。南西隅の柱穴が側溝により削平されているものの、2×1間の規模と想定される。現存長で、桁行312cm、梁行286cmを測る。桁行柱間距離は、178~174cmである。柱穴掘り方平面形は円形を呈し、その長径は78~50cmを測る。検出面からの深さは36~20cmであった。

図化可能な遺物は出土していないものの、検出面や埋土の特徴から、遺構の時期は、弥生時代後期の範疇に収まる。(小嶋)

掘立柱建物18 (第71・81図、

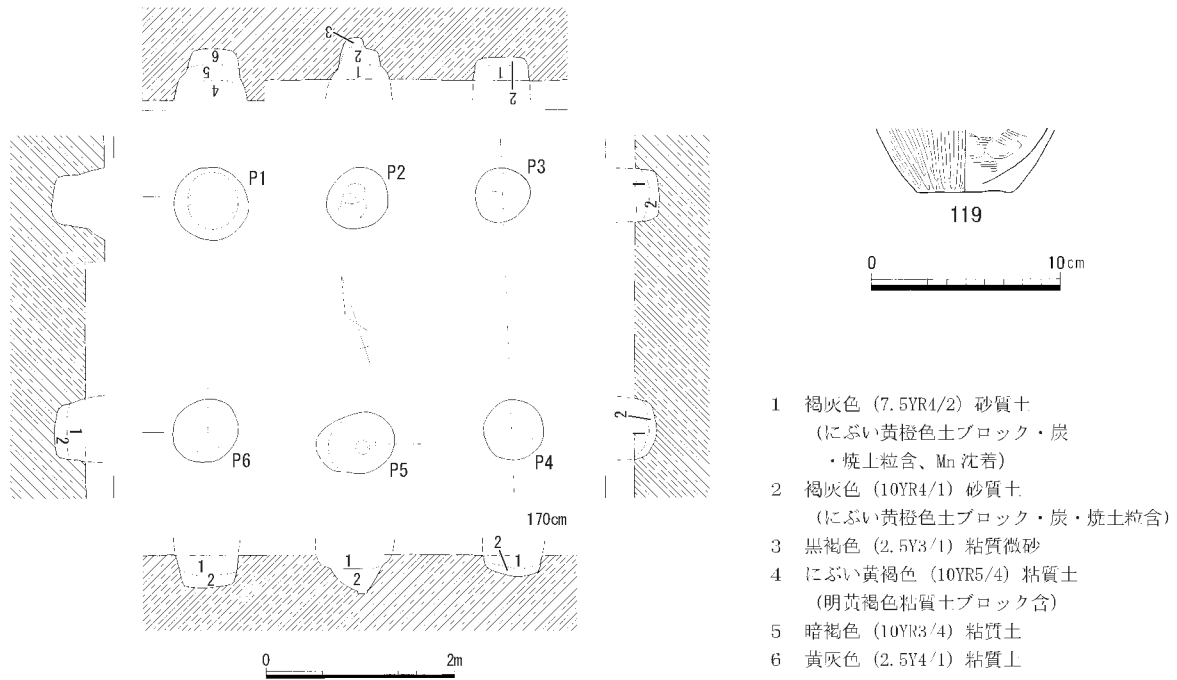
写真8、図版6-3)

掘立柱建物17の南東側に隣接している桁行317cm、梁行252cmを測る、2×1間の建物である。床面積は8.0㎡である。桁行柱間距離は、164~156mである。柱穴掘り方平面形はほぼ円形であり、その長径は82~64cmを測る。柱痕跡は確認できなかったが、柱穴底面には、径15cm前後を測る柱材の痕跡が認められた。遺構の時期は、出土遺物や埋土の状況から、弥生時代後期の範疇に収まる。(小嶋)

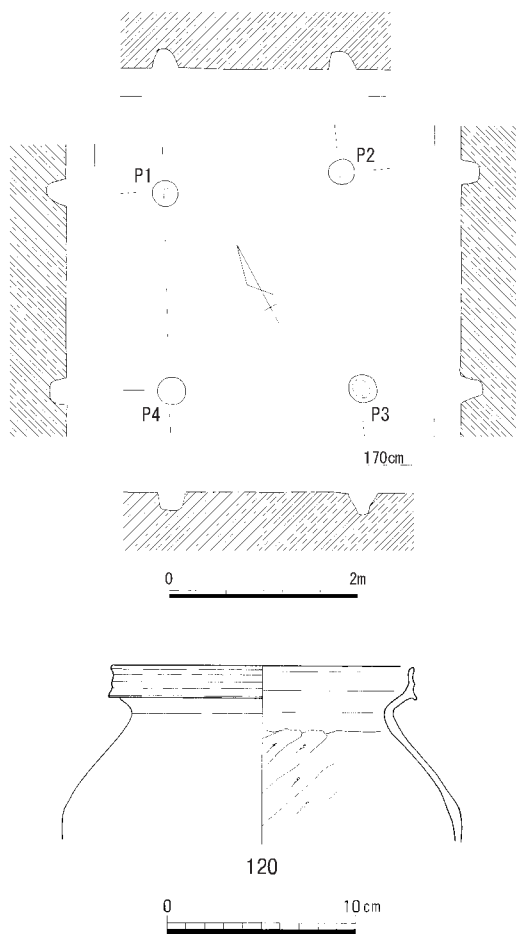


- 1 暗褐色 (10YR3/4) 砂質土
- 2 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 (炭粒含)

第80図 掘立柱建物17 (1/80)



第81図 掘立柱建物18 (1/80)・出土遺物 (1/4)



第82図 掘立柱建物19 (1/80)・出土遺物 (1/4)

掘立柱建物19 (第71・82図)

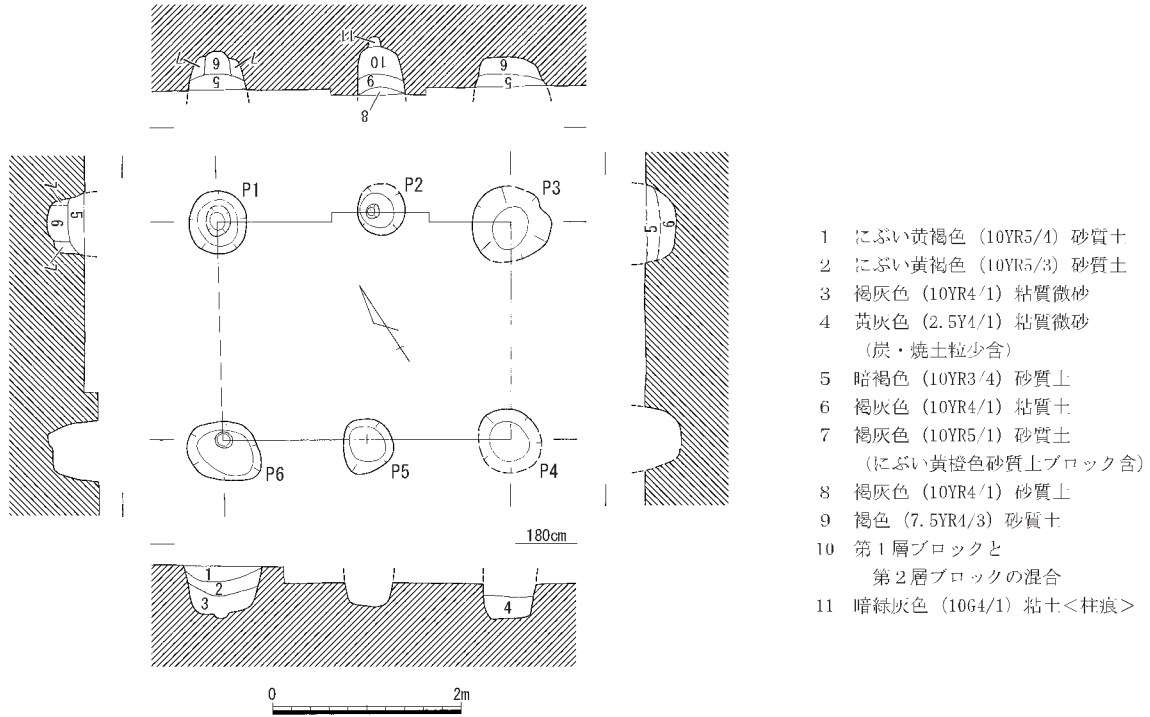
掘立柱建物18から南東側に約5mの位置で検出された、1×1間の建物である。各柱間距離は231~187cmを測り、床面積は4.31㎡である。柱穴掘り方は平面円形を呈し、その長径は32~28cm、検出面からの深さ約20cmを測る。P1から出土した甕120の特徴から、遺構の時期は、百・後・Ⅲ以降に比定される。(小嶋)

掘立柱建物20 (第71・83図、図版6-5)

掘立柱建物21とほぼ重複しており、桁行2間、梁行1間の建物である。切り合い関係から、掘立柱建物21より新しい。

桁行307cm、梁行230cm、床面積7.07㎡を測る。桁行柱間距離は162~148cmである。柱穴掘り方平面形は円~楕円形を呈し、その長径は82~50cmである。建物四隅の柱穴は桁行中央の柱穴より大きい。柱痕跡から、径15cm前後を測る柱材が使用されていたと想定される。

図化可能な遺物は出土しなかったものの、出土遺物や検出面等から、遺構の時期は弥生時代後期の範疇に収まる。(小嶋)



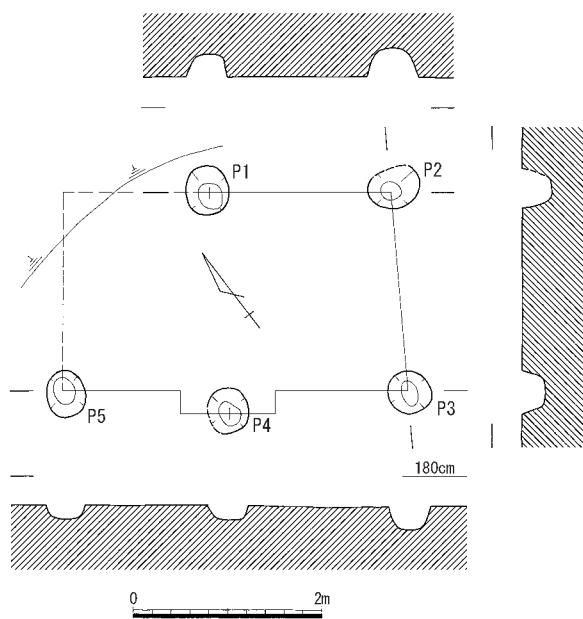
第83図 掘立柱建物20 (1/80)

掘立柱建物21 (第71・84図、図版6-5)

北隅の柱穴が溝10により削平されているものの、桁行2間、梁行1間の掘立柱建物である。現状で桁行366cm、梁行211cmを測る。柱穴掘り方は、長径56~42cmの円~楕円形を呈し、検出面からの深さ32~16cmを測る。

遺構の時期は、検出面から、弥生時代後期の範疇に収まる。

(小嶋)



第84図 掘立柱建物21 (1/80)

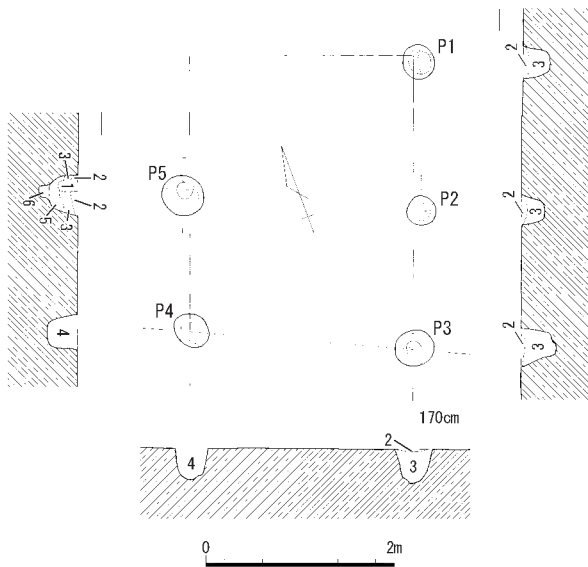
掘立柱建物22 (第71・85図、図版6-4)

北隅の柱穴が側溝により削平されているものの、2×1間と想定される掘立柱建物である。現状で桁行311cm、梁行237cmを測る。柱穴掘り方平面形はほぼ円形を呈し、その長径は46~28cmである。深さは、検出面から42~22cmを測る。P5の柱穴底面には、柱痕跡が確認されており、その大きさから、径15cm前後の柱材が使用されていたと想定される。時期は、弥生時代後期に比定される。

(小嶋)

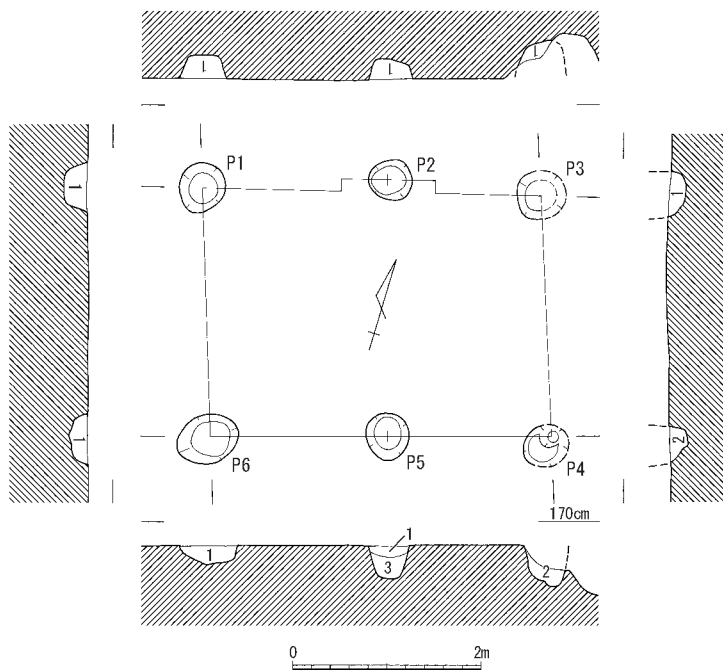
掘立柱建物23 (第71・86図、図版5-2)

東側梁行の柱穴上部が溝18により削平されている、2×1間の掘立柱建物である。桁行359cm、梁行258cmを測る。床面積は9.29㎡である。桁行柱間距離は195~162cmを測



- 1 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土 (炭・焼土粒含)
- 2 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含)
- 3 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒少含)
- 4 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂
(基盤土ブロック多含、炭・焼土粒少含)
- 5 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土 (炭・焼土粒含)
- 6 灰黄褐色 (10YR6/2) 粘質土

第85図 掘立柱建物22 (1/80)



- 1 灰オリーブ色 (7.5Y5/2) 砂質土 (炭・焼土粒含)
- 2 黒褐色 (7.5YR3/1) 粘質微砂 (基盤土ブロック少含、炭・焼土粒多含)
- 3 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質微砂 (基盤土ブロック含、炭・焼土粒含)

第86図 掘立柱建物23 (1/80)

る。柱穴掘り方は、平面円～楕円形を呈し、その長径が68～44cm、検出面からの深さが46～20cmである。

遺構の時期は、検出面から、弥生時代後期に比定される。(小嶋)

掘立柱建物24 (第71・87図、図版7-1)

303W区で検出された、桁行2間、梁行1間の掘立柱建物である。桁行315cm、梁行290cmを測る。柱痕跡から、径20cm前後の柱材が使用されていたと想定される。柱穴掘り方平面形は、円～楕円形を呈し、その長径は50～32cmである。建物四隅の柱穴は、桁行中央の柱穴と比べると、径が長く、深さも深い。

遺構の時期は、出土遺物から、弥生時代後期の範疇に収まる。(小嶋)

掘立柱建物25 (第71・88図、図版7-2)

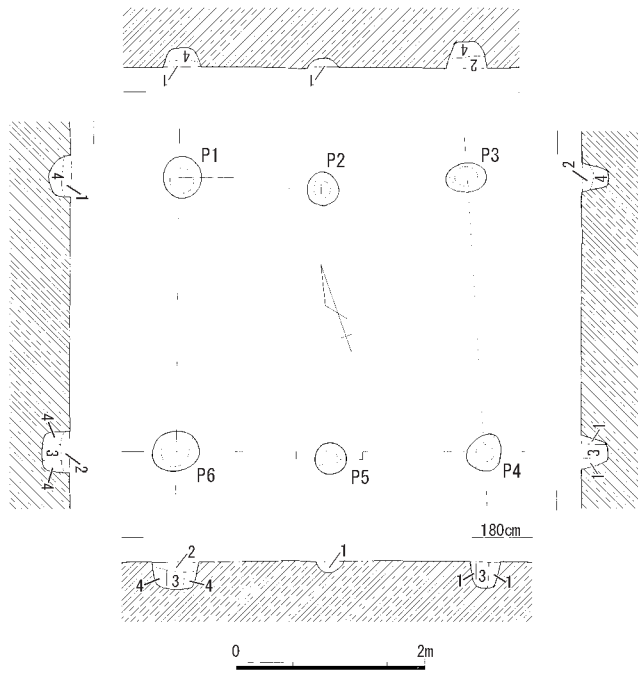
後述する掘立柱建物26と棟方向がほぼ同一の建物である。桁行2間、梁行1間であり、桁行柱間距離は、140～128cmを測る。柱穴は、掘り方平面形が円～楕円形を呈し、検出面からの深さがすべて10cm未満と浅い。

時期は、検出面から、弥生時代後期の範疇に収まる。(小嶋)

掘立柱建物26 (第71・89図、図版7-2)

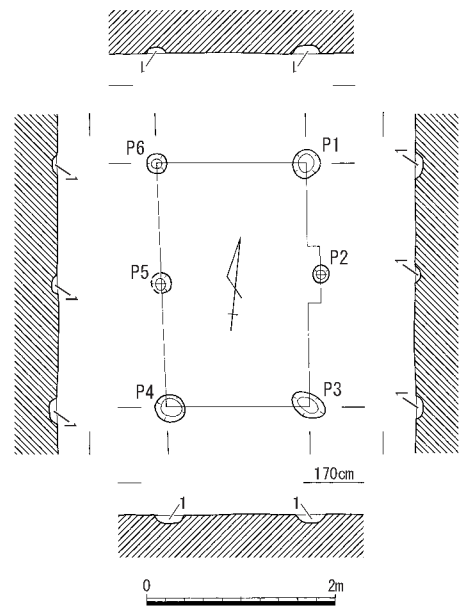
掘立柱建物25の東側約1mの位置で検出された、桁行柱間距離173～165cm、梁行柱間距離208～204cmを測る、2×1間の掘立柱建物である。床面積は6.91㎡である。柱穴掘り方平面形は円～楕円形を呈し、その長径は40～28cmを測る。

遺構の時期は、出土遺物および検出面等から、弥生時代後期に比定される。(小嶋)



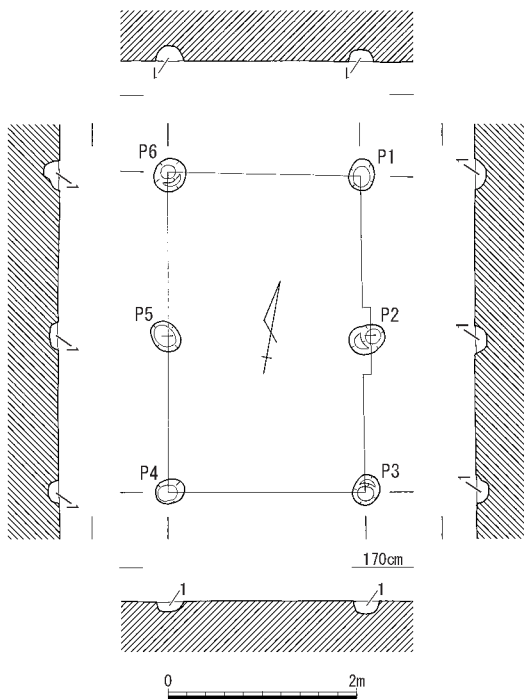
- 1 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質微砂 (炭・焼土粒含、Fe・Mn 沈着)
- 2 灰黄色 (2.5y6/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含、Fe・Mn 沈着)
- 3 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質微砂 (炭・焼土粒含、Fe・Mn 沈着)
- 4 灰黄褐色 (2.5Y5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含、Fe・Mn 沈着)

第87図 掘立柱建物24 (1/80)



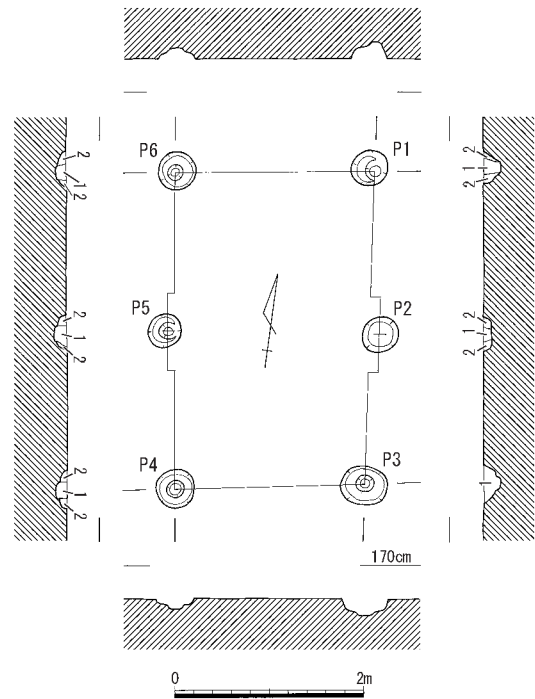
- 1 暗褐色 (10YR3/3) 砂質土

第88図 掘立柱建物25 (1/80)



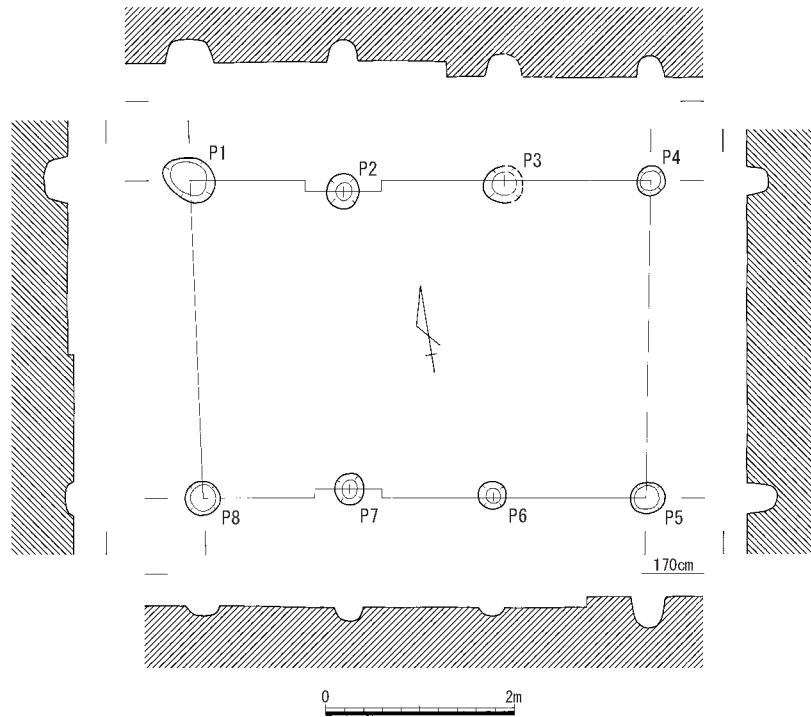
- 1 暗褐色 (10YR3/3) 砂質土

第89図 掘立柱建物26 (1/80)

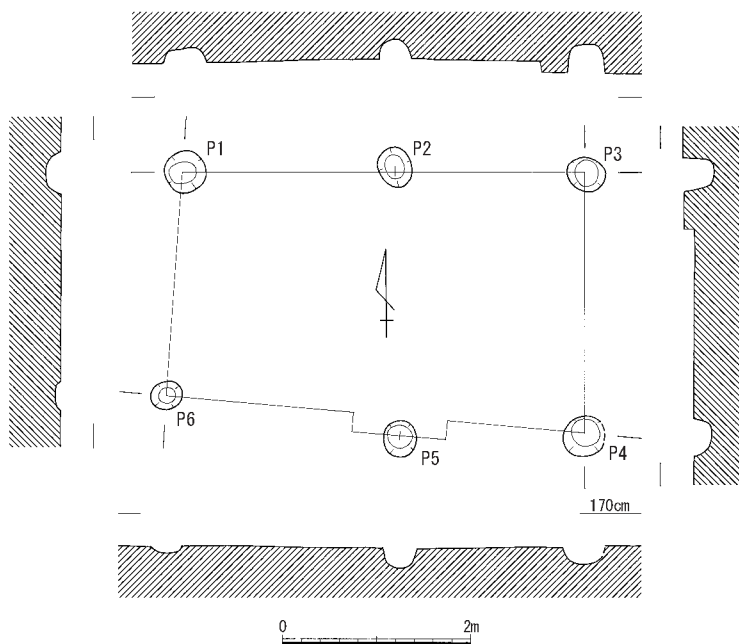


- 1 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質微砂 (炭・焼土粒含、Mn 沈着)
- 2 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質微砂 (炭・焼土粒含、Mn 沈着)

第90図 掘立柱建物27 (1/80)



第91図 掘立柱建物28 (1/80)



第92図 掘立柱建物29 (1/80)

掘立柱建物27 (第71・90図、
図版7-3)

302・302X区に位置する2×1間の掘立柱建物である。掘立柱建物25・26等と棟方向をほぼ揃え、掘立柱建物26と同規模である。柱間距離は桁行が158cm～173cm、梁間が200cmと211cmで建坪は6.85㎡を測る。棟方向はN-6°-Eである。柱穴掘り方は円形を呈し、径35～50cmを測る。すべての柱穴で柱痕跡を確認し、P2を除く底面に柱のめり込みによる落ち込みがみられる。時期は後期か。(高田)

掘立柱建物28

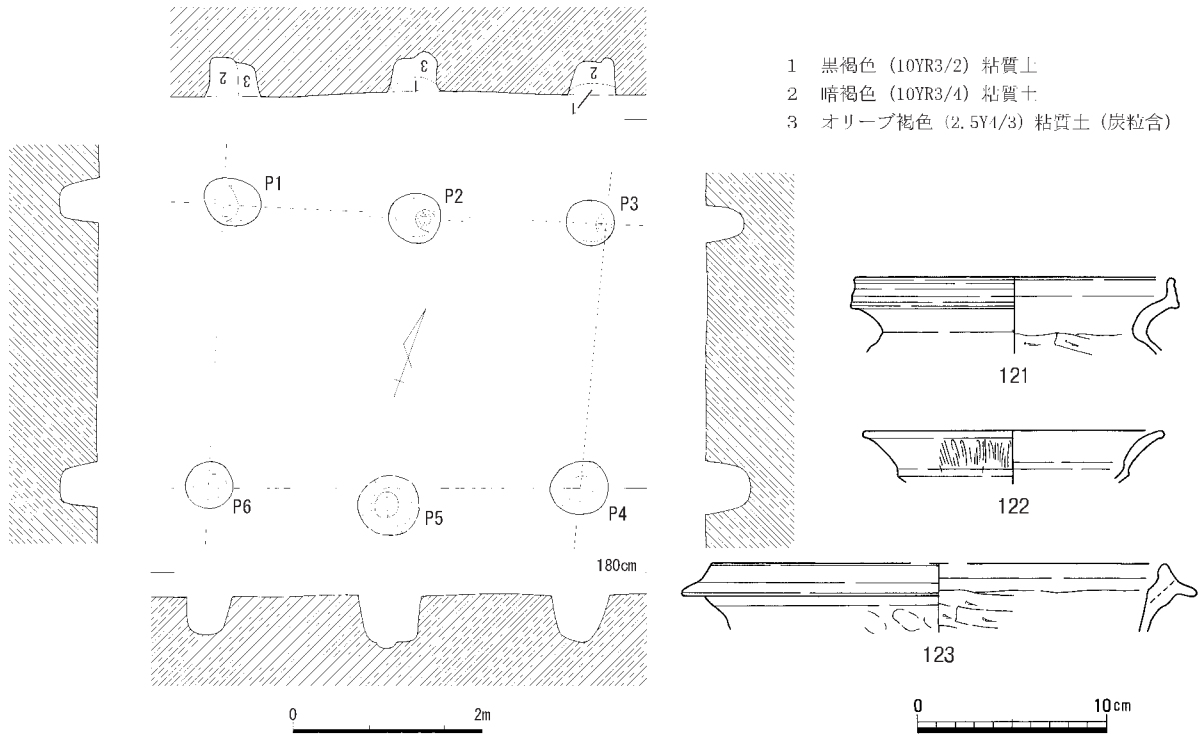
(第71・91図)

302X・Y区に位置する3×1間の掘立柱建物で、掘立柱建物29と重複する。桁行全長は471cmで、柱間距離は152～170cmを測る。梁間は335cmと336cmで、建坪は15.82㎡を測る。棟方向はN-81°-Eである。柱穴の掘り方は、P1が楕円形を呈するほかは円形で、径30～58cmを測る。建物の時期は、検出状況から後期と考えられる。(高田)

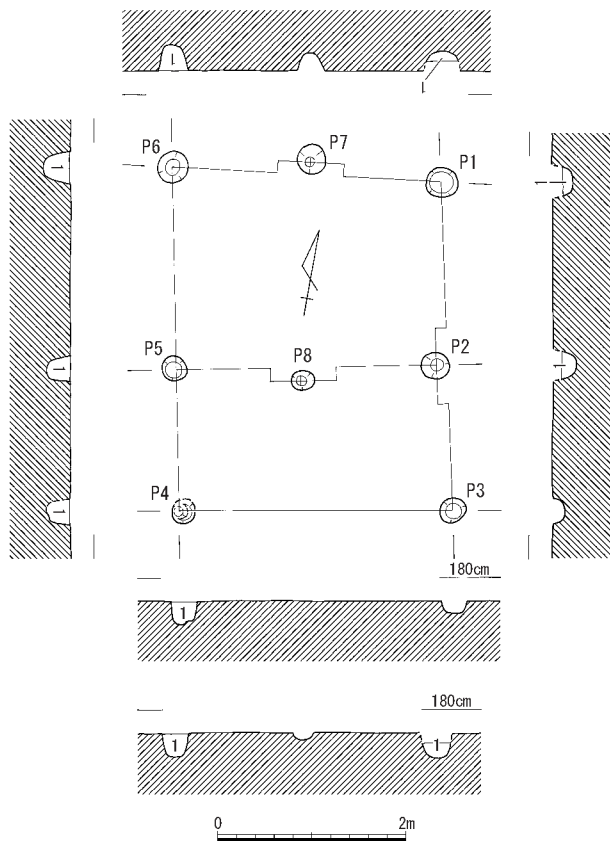
掘立柱建物29

(第71・92図)

掘立柱建物28と重複する2×1間建物で、南東隅のP4と掘立柱建物31のP7と切り合い関係にあり、本建物が古い。建物の規模は、桁行の柱間距離は194～249cmとばらつき、梁間は238cmと275cmである。棟方向はN-87°-Eで、建坪は11.13㎡である。遺物は細片のみで、時期は検出状況から後期と考えられる。(高田)



第93図 掘立柱建物30 (1/80)・出土遺物 (1/4)



1 黒褐色粘質微砂

第94図 掘立柱建物31 (1/80)

掘立柱建物30 (第71・93図、図版7-4)

302Y区に位置する2×1間の掘立柱建物である。溝14の南岸を切り、北側約2.8mにある溝13の流走方向に棟を揃える。

建物の規模は、桁行の柱間距離が188～204cm、梁間は281cmと300cmを測る。棟方向はN-73°-W、建坪は11.42㎡である。

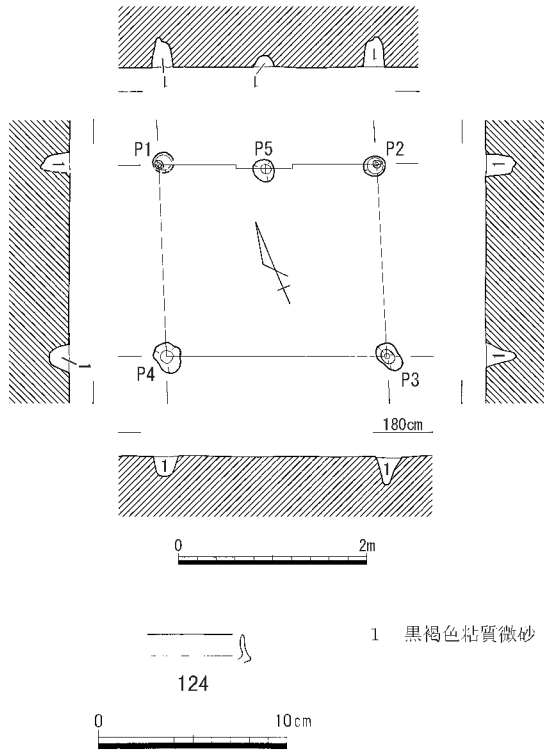
図示した出土遺物は、弥生土器の甕121、高杯122、鉢123である。甕と鉢はP1、高杯はP4から出土している。

建物の時期は、出土遺物から百・後・Ⅲと考えられる。(高田)

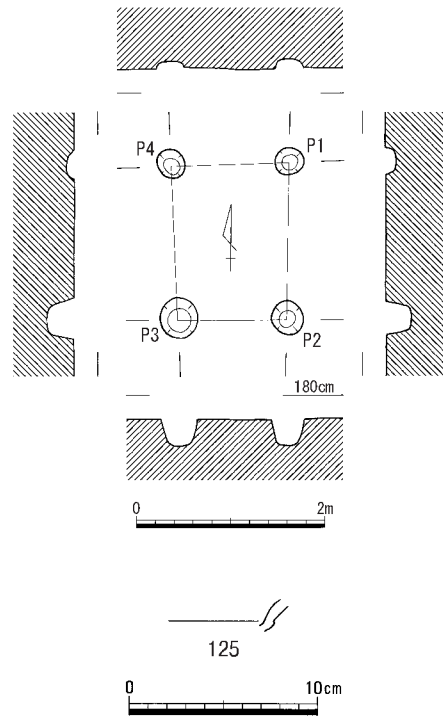
掘立柱建物31 (第71・94図)

302・303Y区に位置する2×2間の掘立柱建物である。前述の掘立柱建物29と切り合い関係にあり、本建物P7が建物29のP4を切る。また、南側の建物32とも重複し、本建物P4が建物32のP1を切る。

建物の規模は、桁行の柱間距離が149～219cmとばらつき、梁間は138～145cmを測



第95図 掘立柱建物32 (1/80)
・出土遺物 (1/4)



第96図 掘立柱建物33 (1/80)
・出土遺物 (1/4)

る。棟方向はN-12°-Eで、建坪は10.26㎡となる。柱穴の掘り方はほぼ円形を呈し、径24~34cmを測る。P8は径が最も小さく、深さも浅い。

出土遺物は細片の土器のみで、図示し得るものはない。建物の時期は、不明であるが西側の建物25~27と棟方向をほぼ揃えることから、近接した時期と考えたい。(高田)

掘立柱建物32 (第71・95図)

303Y区に位置する1×1間の掘立柱建物である。北側列中央のP5を入れると2間となる。また、P1は掘立柱建物31のP4に切られる。

建物の規模は、桁行の柱間距離が231cmと232cm、梁間は203cmを測る。棟方向はN-67°-Eで、建坪は4.70㎡となる。柱穴の掘り方は、円~長楕円形を呈する。

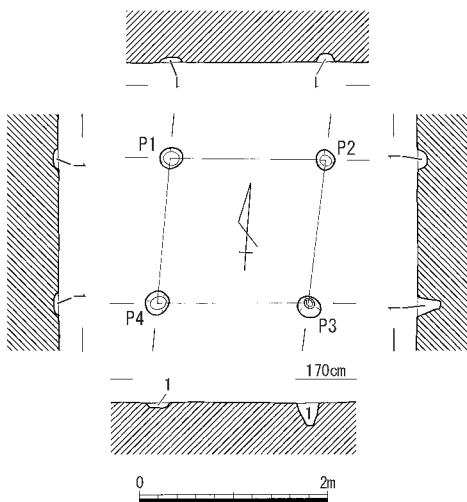
P4出土の甕124から百・後・Ⅲか。(高田)

掘立柱建物33 (第71・96図)

302Y区に位置する1×1間の掘立柱建物である。建物の規模は、柱間距離が115~166cmを測り、棟方向はN-1°-Eで、建坪は1.97㎡となる。柱穴の掘り方はやや楕円形を呈し、径30~40cmを測る。

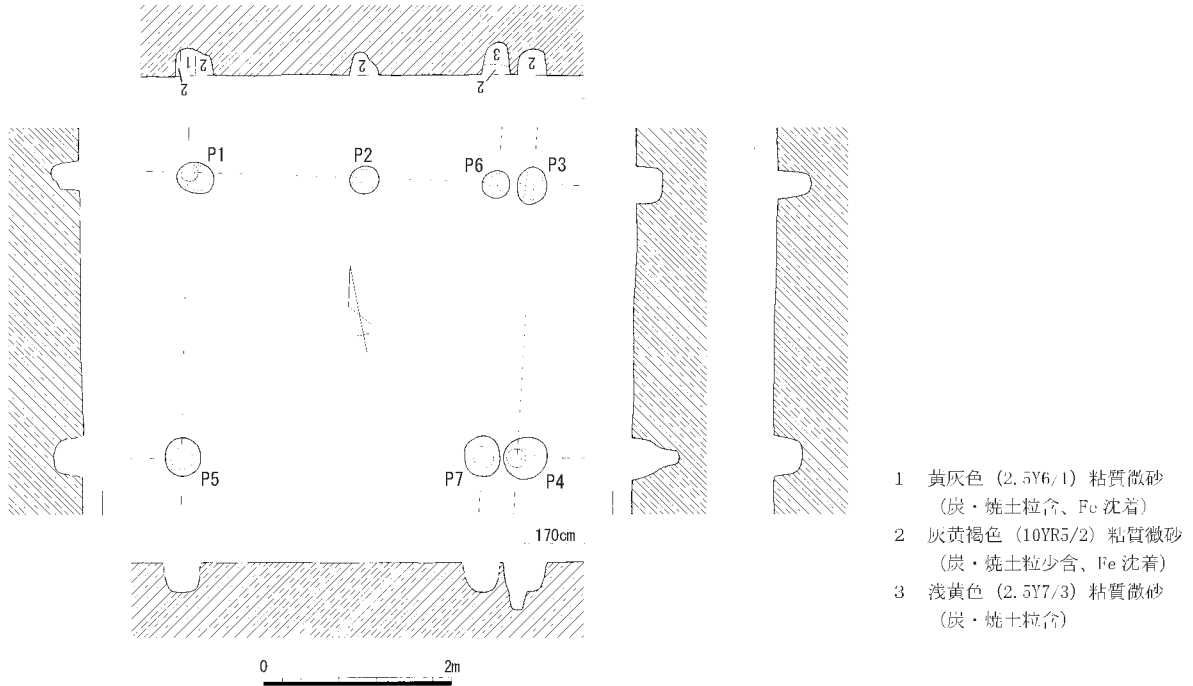
図示した土器はP3出土の高杯125である。

建物の時期は、百・後・Ⅲと考えられる。(高田)

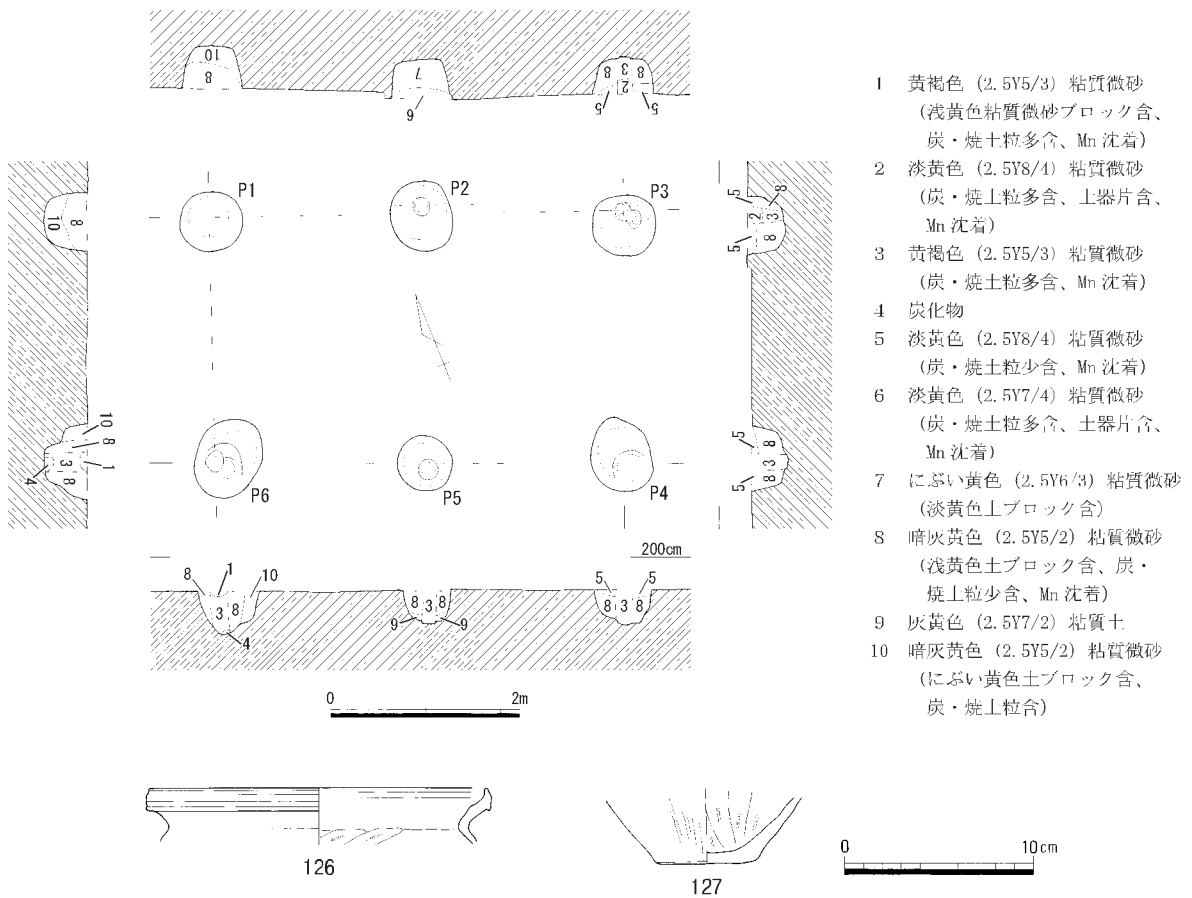


1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含)

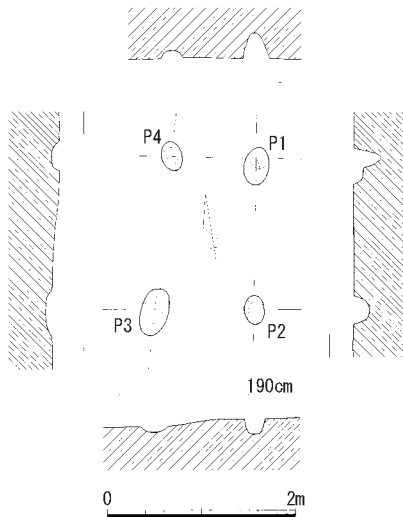
第97図 掘立柱建物34 (1/80)



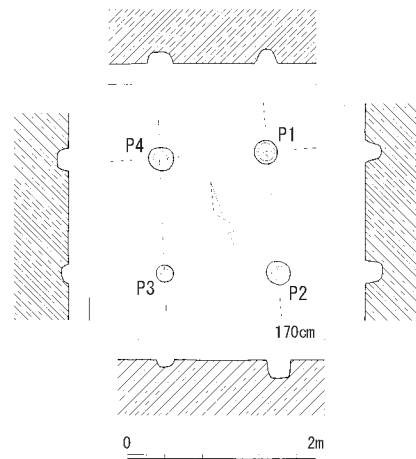
第98図 掘立柱建物35 (1/80)



第99図 掘立柱建物36 (1/80)・出土遺物 (1/4)



第100図 掘立柱建物37 (1/80)



第101図 掘立柱建物38 (1/80)

掘立柱建物34 (第71・97図)

303Y区に位置し、掘立柱建物35と重複する1×1間の建物である。その規模は、柱間距離が153～164cmを測り、棟方はN-86°-W、建坪は2.49㎡となる。周囲には建物33・37・38など同規模の建物がある。これらは、小規模な小屋掛け等であった可能性を指摘したい。

建物の時期は、検出状況から後期と考えられる。 (高田)

掘立柱建物35 (第71・98図)

303Y区に位置し、掘立柱建物34と重複する。南側列中央の位置の柱穴を未検出であるが、規模は2×1間と考えられる。また、東側列のP3・4の内側に近接してP6・7があり、この位置の柱穴の建て替えが推定される。桁行の柱間距離は182cmと183cm、梁間は291cmと313cmを測る。棟方向はN-79°-Eで、建坪は10.87㎡となる。柱穴の掘り方は、円～楕円形を呈する。

建物の時期は、検出状況から後期と考えられる。 (高田)

掘立柱建物36 (第71・99図、図版8-1)

302Y・Z区に位置する2×1間の掘立柱建物で、竪穴住居2を切っている。また、棟方向を揃える水田4の南肩からは約2.5m離れている。建物の規模は、桁行の柱間距離が215～225cm、梁間は260cmと268cmを測る。棟方向はN-67°-E、建坪は11.60㎡である。柱穴の掘り方の径は60～90cmを測り、周囲の建物と比べてやや大きい。また、P1以外の底面で柱の痕跡を確認している。

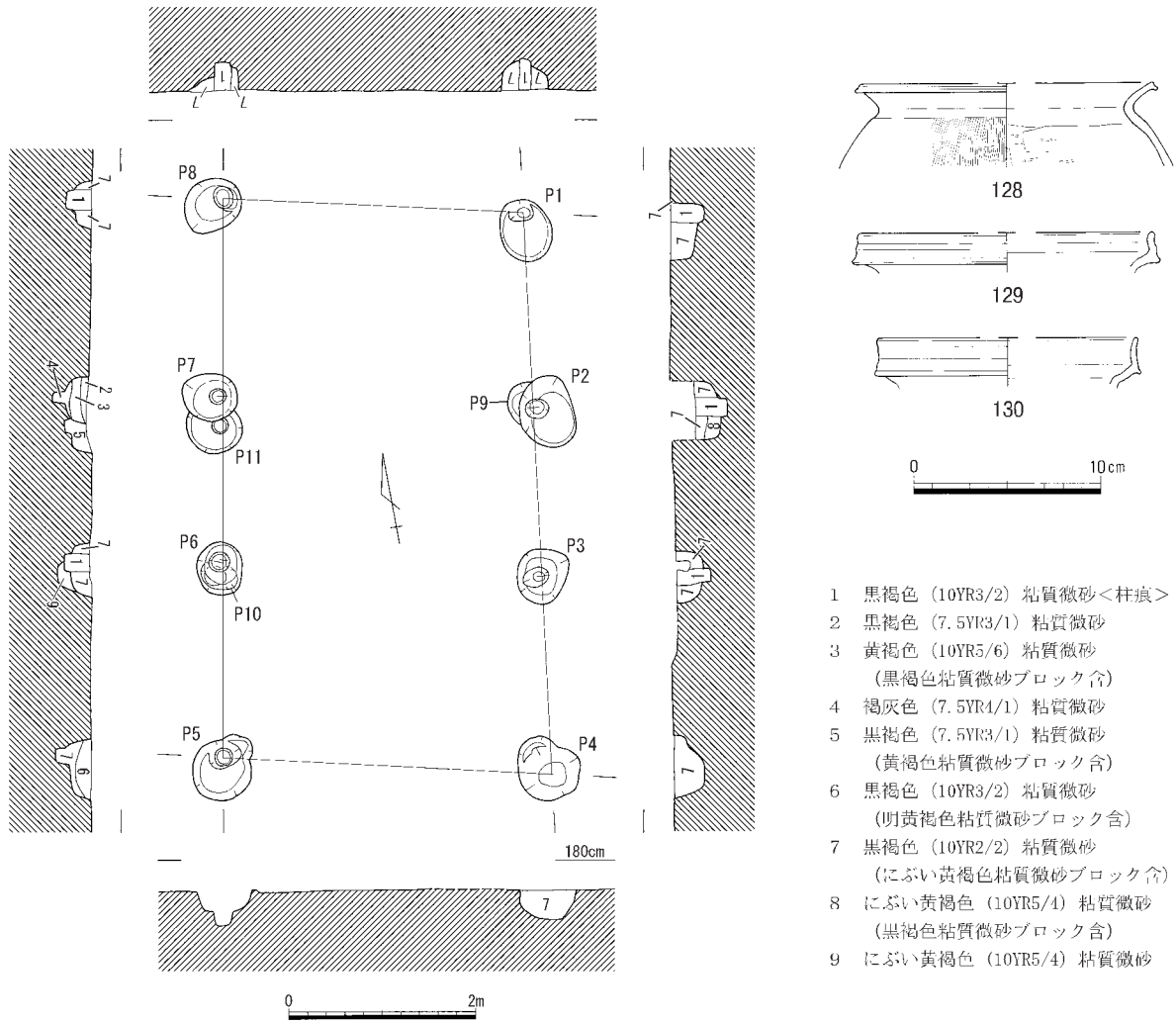
図示した遺物は、P2出土の甕126・127である。建物の時期は百・後・Ⅲと考えたい。 (高田)

掘立柱建物37 (第71・100図)

302Z区に位置し、水田4に面する1×1間の掘立柱建物である。北側のP1・4は水田4へ向かう傾斜の始まりに位置する。その規模は、柱間距離が90～163cmを測り、棟方向はN-14°-W、建坪は1.62㎡となる。周囲に柱穴が少なく、本建物の柱4個がまとまることと、建物33・34・38など同規模の建物の存在から建物と判断した。建物の時期は、検出状況から後期と考えられる。 (高田)

掘立柱建物38 (第71・101図)

302Z区に位置する1×1間の掘立柱建物で、前述の建物37の南西約4mにあり、棟方向をほぼ揃える。また、北西側の竪穴住居2とは約6m、東側の建物39とは約3m離れている。その規模は、柱



第102図 掘立柱建物39 (1/80)・出土遺物 (1/4)

間距離が115～130cmを測り、棟方向はN-17°-W、建坪は1.48㎡となる。建物の平面形は方形を呈する。柱穴の掘り方の平面形は円形を呈し、その径は18～30cmを測る。

建物の時期は、検出状況から後期と考えられる。(高田)

掘立柱建物39 (第71・102図、図版7-5)

302Z区に位置する3×1間の掘立柱建物である。上部には、後述する古墳時代の竪穴住居10と11があり、建物のP1～3はそれらに切られる。また、P2・6・7は、それぞれ重複する位置にP9・10・11があり、柱を建て替えた可能性が高い。建物の規模は、桁行全長の平均は597.5cmで、柱間距離は175～211cmを測る。梁間は321cmと352cmを測る。建坪は20.11㎡、棟方向はN-9°-Wである。柱穴の掘り方は、楕円形を呈するものが多く、長径56～76cmを測る。南側のP4・5はそれぞれ建物内部側に半円が広がり、この部分の壁がテラス状に段をもつ。また、P1～3・6～8の6個は、断面観察で柱痕跡を確認し、P1～3・5～8・10・11の9個は、底面に柱の落ち込みを確認している。これらによると、P1・2・5・8の4個は、柱を掘り方隅に寄せていることが分かる。

図示した遺物は、いずれも甕で、P1から128、P4から129、P2から130がそれぞれ出土している。建物の時期は、出土遺物から百・後・Ⅲと考えられる。(高田)

4 柱穴列

柱穴列4 (第71・103図)

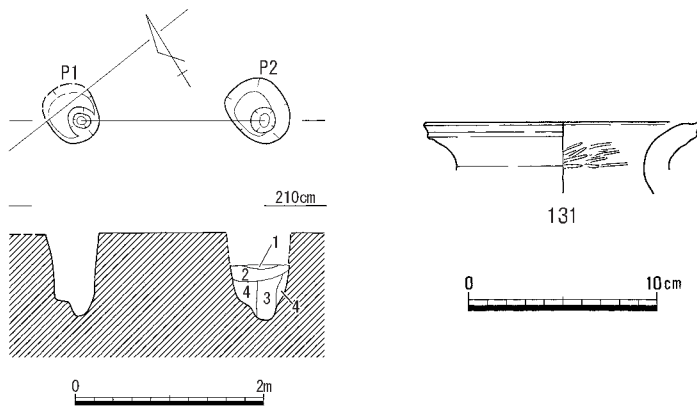
302U区の北壁際に位置する2個の柱穴を、規模が酷似することから柱穴列とした。これらは、北側の調査区外に延び、建物を構成する可能性がある。柱間は193cmを測る。柱穴の規模は、P2で長径70cmとなる。検出面からの深さは、いずれも70cm前後を測り、底面の南隅に柱の落ち込みをもつ。出土遺物はP2出土の壺口縁131である。詳細な時期は不明だが、後期と考えられる。(高田)

柱穴列5 (第71・104図)

303Y区にあり、掘立柱建物35の東側1.5mに位置する柱間1間の柱穴列である。周囲にまとまるような柱穴はなく、規模が異なるものの柱穴列と考えた。柱間は178cmを測り、柱穴の規模は径30cm、

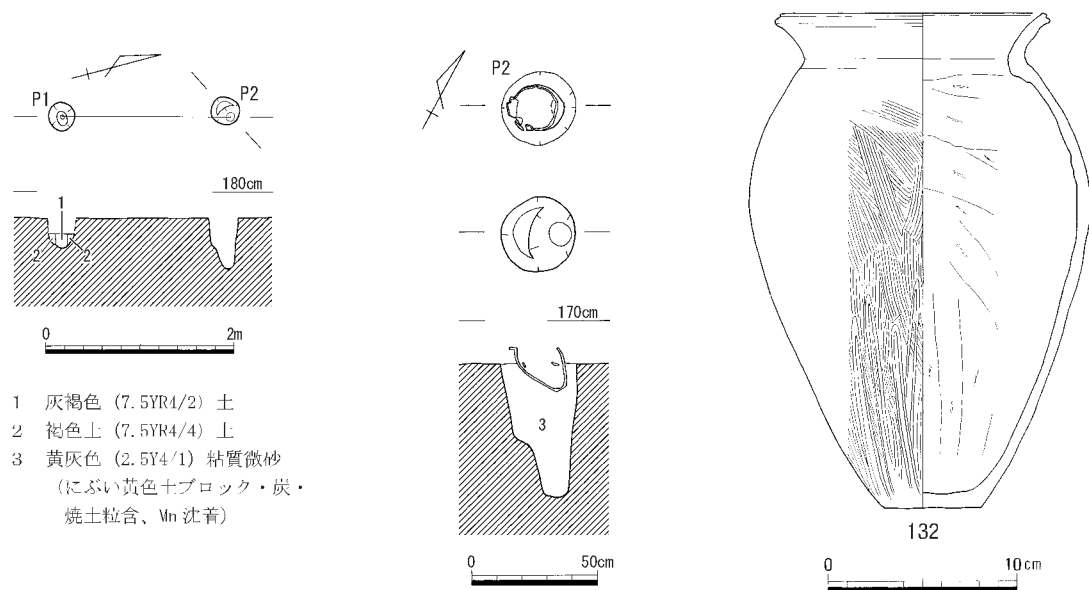
検出面からの深さはP1で30cm、P2で52cmを測る。主軸方向はN-14°-Wである。P1は柱痕跡を確認したが、P2の埋土は基盤土塊を含んだ人為的に埋め戻したものと考えられる。この埋土の上部から図示した甕132が出土している。柱の抜き取り後の埋め戻し時に入れられたと考えられる。

柱穴列の時期は、百・後・IIである。(高田)



- 1 褐色 (10YR4/6) 砂質土
- 2 暗灰黄色 (10YR3/4) 粘質土
- 3 黒褐色 (10YR2/3) 粘質土
- 4 黒褐色 (10YR3/2) 粘質土 (にぶい黄褐色粘質土ブロック含)

第103図 柱穴列4 (1/80)・出土遺物 (1/4)



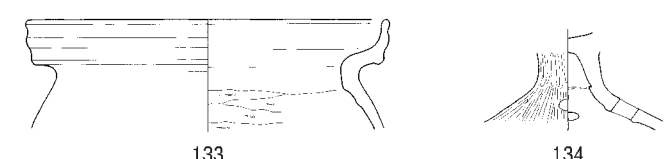
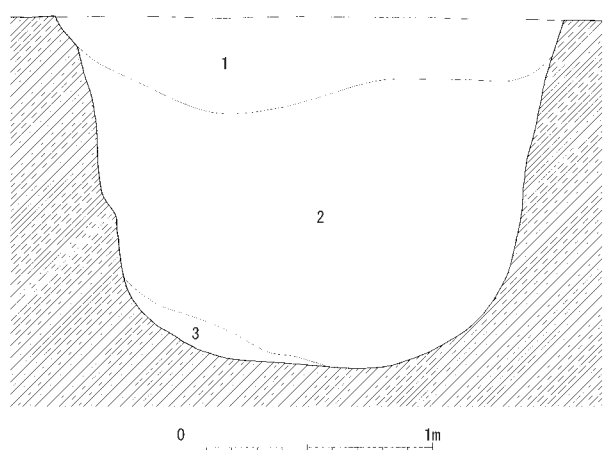
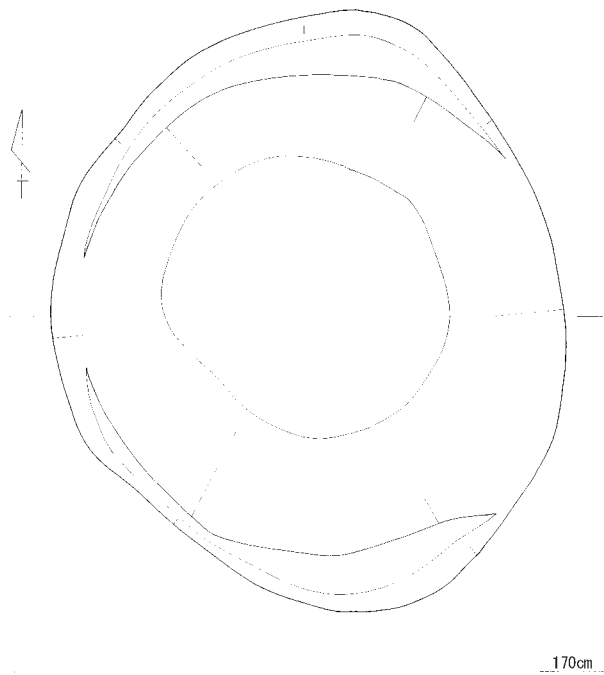
- 1 灰褐色 (7.5YR4/2) 土
- 2 褐色上 (7.5YR4/4) 上
- 3 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質微砂 (にぶい黄色土ブロック・炭・焼土粒含、Mn沈着)

第104図 柱穴列5 (1/80・1/30)・出土遺物 (1/4)

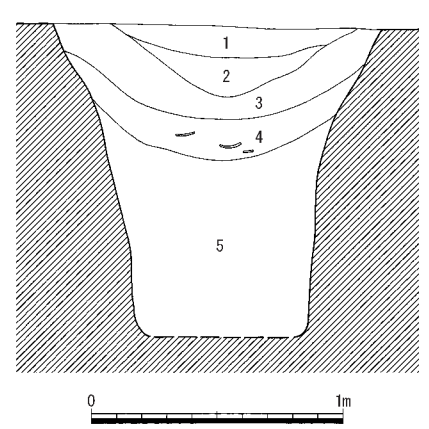
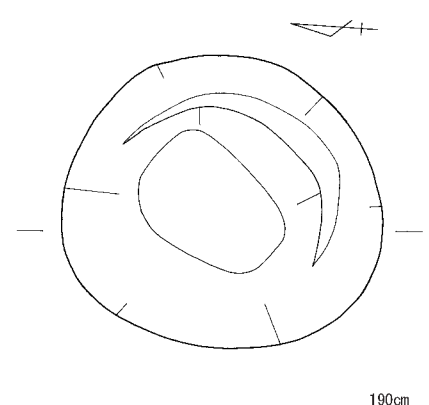
5 井戸

井戸2 (第71・105図、図版8-2)

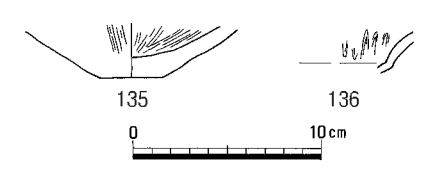
303X区に位置する井戸である。平面形は楕円形を呈し、南北長238cm、東西長202cm、検出面からの深さ138cmを測る。底面海拔高は16cmである。断面は「U」字形を呈し、東西壁は急斜に立ち上がるが、南北の壁の上部にテラス状の段を持つ。埋土は、人為的な埋め戻しが推定される。



第105図 井戸2 (1/30)・出土遺物 (1/4)



- 1 褐色 (10YR4/6) 粘質微砂
- 2 暗褐色 (7.5YR3/4) 粘質微砂
- 3 暗褐色 (7.5YR3/3) 粘質微砂
- 4 灰褐色 (7.5YR4/2) 粘質微砂
- 5 黒褐色 (7.5YR3/2) 粘土



第106図 井戸3 (1/30)
・出土遺物 (1/4)

- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粘質微砂
(にぶい黄色粘質微砂ブロック多含、炭・焼土粒含)
- 2 にぶい黄色 (2.5Y6/3) 粘土と灰白色粘土と
灰褐色粘土ブロックの混合
- 3 灰色 (10Y4/1) 微砂

井戸の時期は、出土遺物から百・後・Ⅲと考えられる。

(高田)

井戸3 (第71・106図)

301Y区に位置する井戸である。平面形は円形を呈し、径117~126cm、検出面からの深さは123cmを

測る。底面海拔高は48cmである。断面は下半が「U」字形、上半が逆「ハ」字形を呈する。埋土は、上半部が粘質微砂のレンズ状堆積、下半部が粘土である。

井戸の時期は、出土遺物から百・後・Ⅲと考えられる。

(高田)

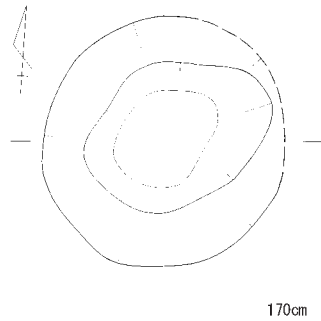
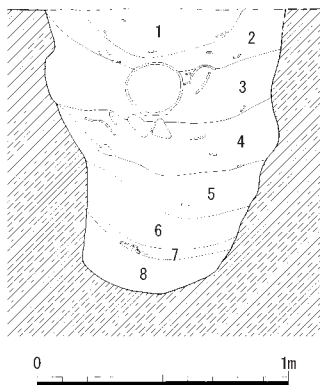
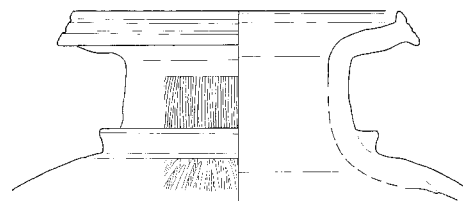


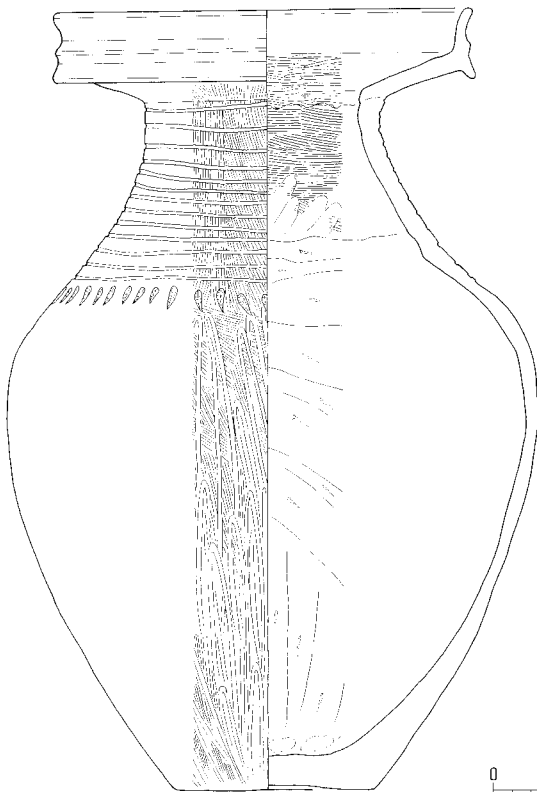
写真11 井戸4 (南から)



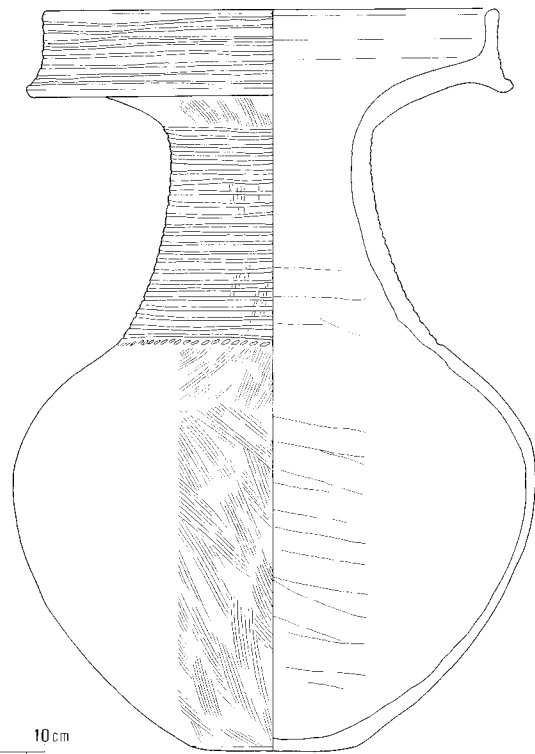
- 1 灰褐色 (7.5YR4/2) 粘質微砂
- 2 暗褐色 (7.5YR3/3) 粘質微砂
- 3 褐色 (10YR4/4) 微砂粘土
- 4 暗灰色 (2.5Y4/2) 粘土 (炭粒多含)
- 5 黒褐色 (2.5Y3/1) 粘土 (粘質強)
- 6 灰色 (7.5Y4/1) 粘土 (粘質強)
- 7 オリーブ黒色 (5Y3/2) 砂
- 8 オリーブ黒色 (5Y2/2) 粘土



137



138



139

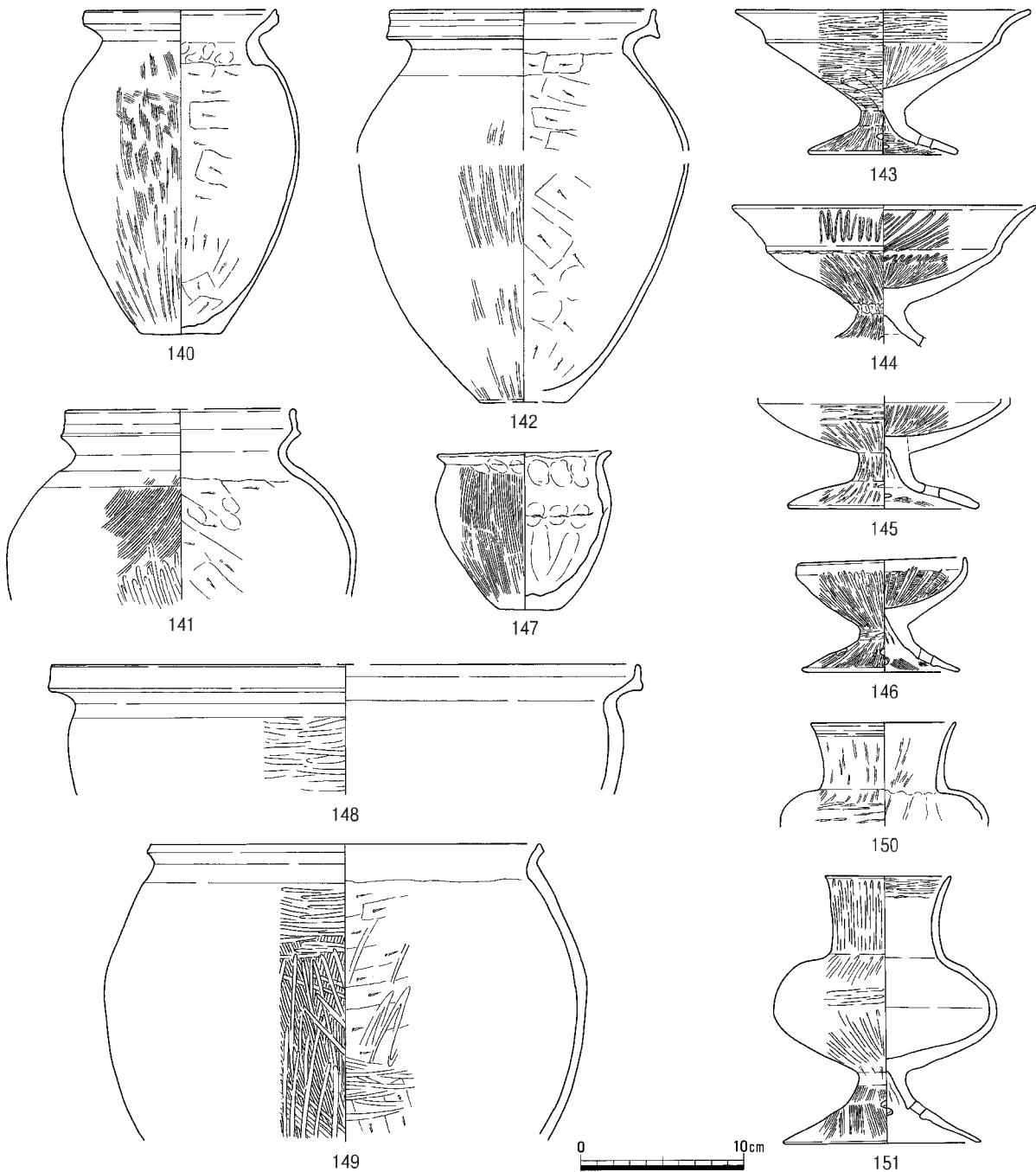
第107図 井戸4 (1/30)・出土遺物① (1/4)

井戸4 (第71・107・108図、写真11、巻頭図版6-1、図版8-3・20)

302・302Z区に位置する井戸で、掘立柱建物39の東側2.5mにある。平面形は円形で、検出時の規模は径96~99cm、深さ113cmを測る。底面の海拔高は47cmである。断面形は途中に数段を持つ「U」字形を呈する。埋土は8層で、上半部から完形に近いものを含むまとまった量の土器が出土した。

出土土器のうち図示したものは、壺137~139、甕140~142・147、高杯143~146、鉢148・149、直口壺150・151である。中でも長頸壺139は、付載2でも分析されたように、特殊器台・壺の胎土を有するものであり、注目される。

遺物の時期は、百・後・Ⅲであり、井戸の廃絶時期に近いものと考えられる。(高田)



第108図 井戸4出土遺物② (1/4)

6 土壙

土壙19 (第71・109図)

北側の一部が側溝により削平されているものの、平面円形を呈する土壙である。埋土上半からは、口縁部が外反する152と、口縁部が上方へ立ち上がり、外面に凹線を施す153の高杯が出土した。

遺構の時期は、百・後・Ⅲである。 (小嶋)

土壙20 (第71・110図)

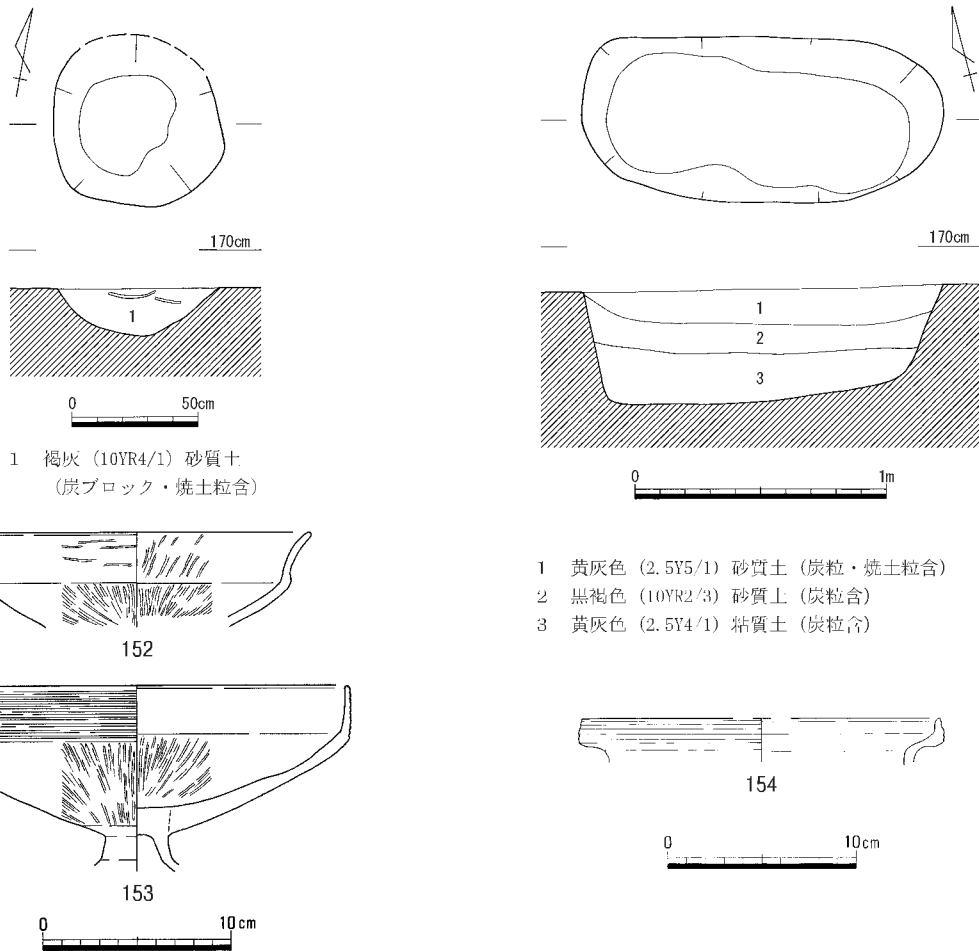
302V区に位置している土壙である。平面形は隅丸長方形を呈し、その規模は長軸143cm、短軸66cm、深さ45cmを測る。その形態から土壙墓の可能性も指摘できるが、証明に耐え得る情報を調査時には得られなかった。遺構の時期は、百・後・Ⅲである。 (小嶋)

土壙21 (第71・111図)

人為的な掘削ではなく、溝10廃絶後の埋没課程で、たわみ状になっている所が自然に埋まったものと考えられる。時期は、百・後・Ⅲに比定される。 (小嶋)

土壙22 (第71・112図、図版8-4・21)

土壙21の東側に隣接しており、溝10埋没後に掘削された。平面形は隅丸方形を呈し、その規模は、長軸94cm、短軸68cmを測る。底面南西隅は、一段深く掘削されている。底面からは、甕156、高杯157・



第109図 土壙19 (1/30)・出土遺物 (1/4)

第110図 土壙20 (1/30)・出土遺物 (1/4)

158、直口壺159が出土した。高杯は、いずれも杯部が内湾している。口縁部が外反するものと上方に立ち上がるものが認められる。遺構は、百・後・Ⅲに比定される。(小嶋)

土壌23 (第71・113図、図版8-5・34)

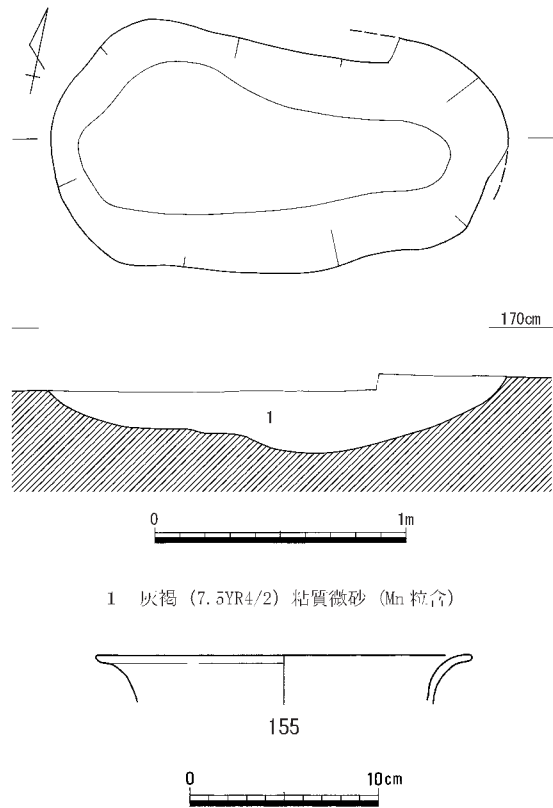
掘立柱建物21のP5に隣接して検出された土壌である。長軸143cm、短軸87cmを測る平面隅丸長方形を呈し、検出面からの深さは42cmである。土壌底面は水平である。埋土の第2層下部には薄いながらも炭層が確認され、この炭層より上部から、土器160~164や鉄鍬の基部と思われるM2が出土している。

これらの出土遺物から、遺構の時期は、百・後・Ⅲに比定される。

なお、土壌の平面形態等から、土壌墓と想定可能である。(小嶋)

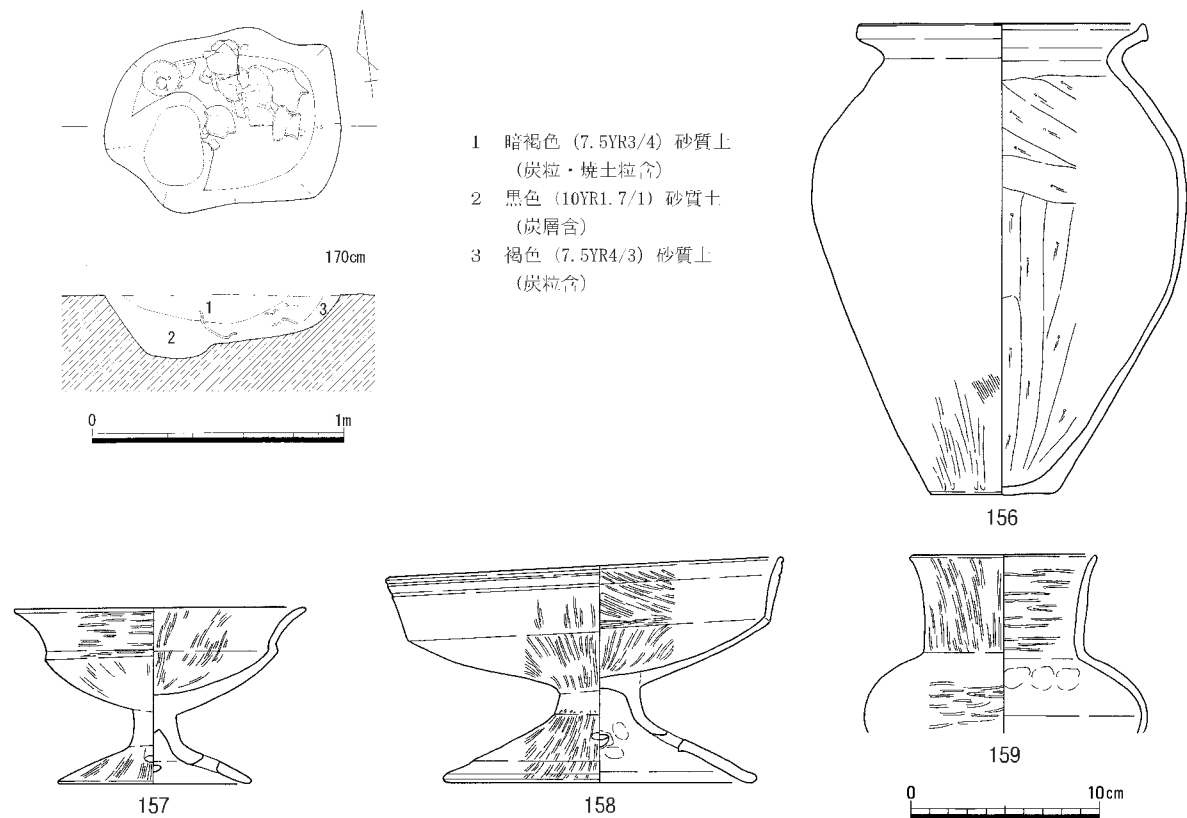
土壌24 (第71・114図)

土壌25に一部削平されているものの、平面隅丸長方形を呈する土壌である。規模は、長軸



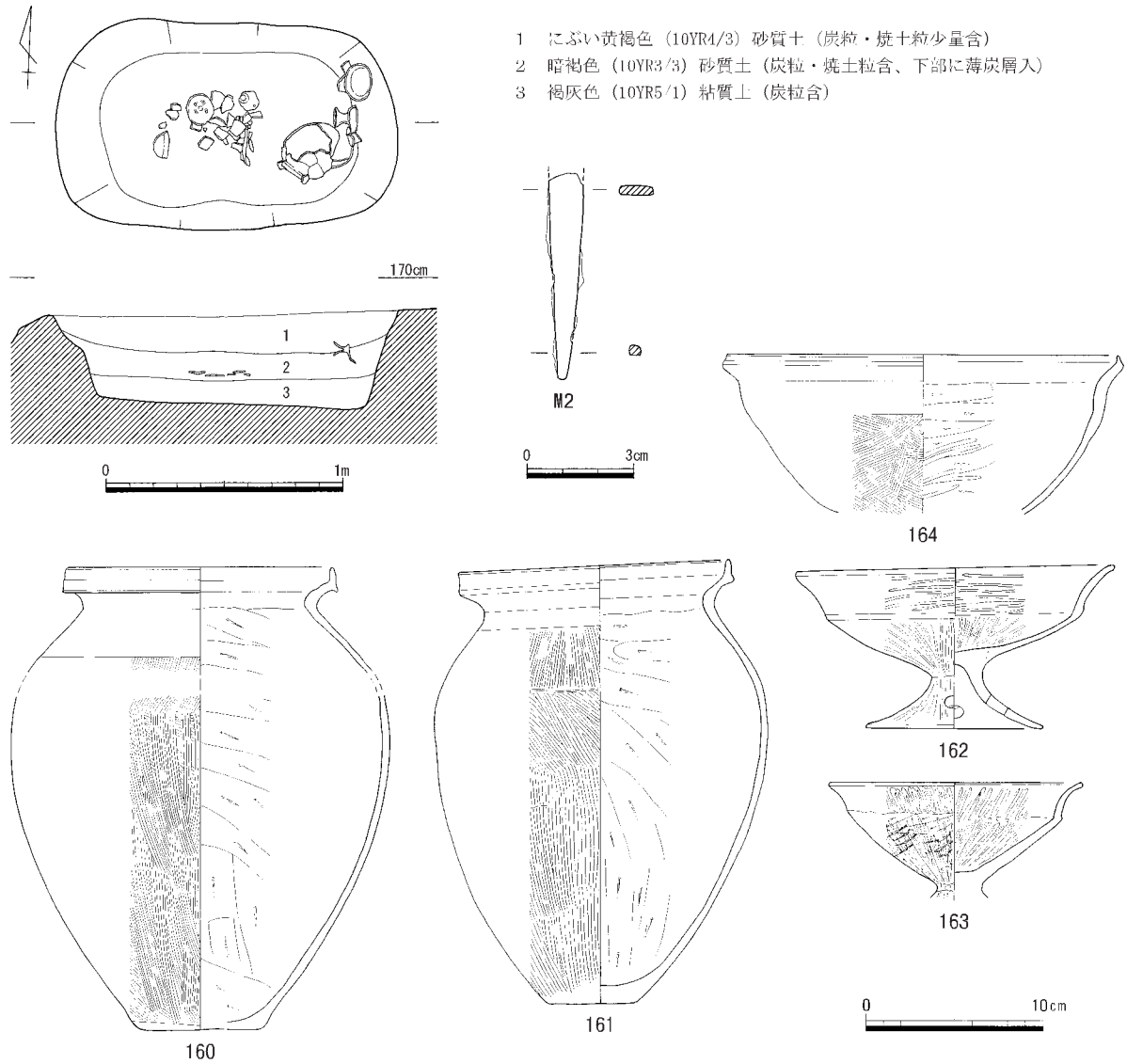
1 灰褐色 (7.5YR4/2) 粘質微砂 (Mn 粒含)

第111図 土壌21 (1/30)・出土遺物 (1/4)

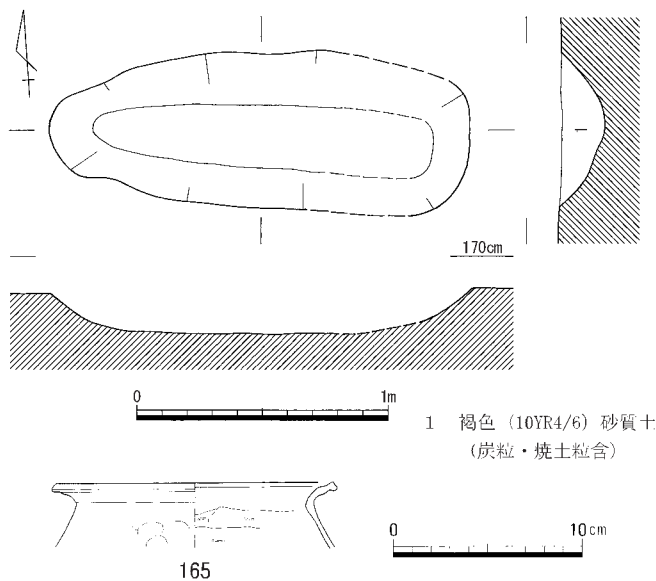


- 1 暗褐色 (7.5YR3/4) 砂質土 (炭粒・焼土粒含)
- 2 黒色 (10YR1.7/1) 砂質土 (炭層含)
- 3 褐色 (7.5YR4/3) 砂質土 (炭粒含)

第112図 土壌22 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第113図 土壌23 (1/30)・出土遺物 (1/4・1/2)

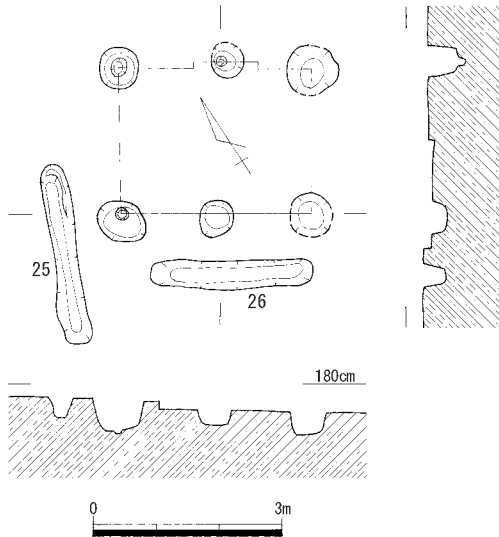


第114図 土壌24 (1/30)・出土遺物 (1/4)

166cm、短軸61cm、深さ18cmを測る。「く」字状の口縁部を呈する甕165のみ図化可能であった。遺構の時期は、出土遺物から、百・後・Ⅲに比定される。(小嶋) 土壌25 (第71・115・116図、

図版6-5)

平面隅丸長方形を呈する土壌で、その規模は、長軸289cm、短軸38cmを測る。壁面は急角度に掘削されており、検出面から底部までの深さは33cmであった。遺物は、口縁部が上方に立ち上がる甕166のみ図化可能であり、その特徴から、百・後・Ⅲに比定される。(小嶋)



第115図 掘立柱建物20と
土壌25・26 (1/120)

土壌26 (第71・115・117図、
図版6-5)

長軸256cm、短軸44cmを測り、平面隅丸長方形を呈する土壌である。断面は逆台形を呈し、検出面からの深さは35cmである。埋土中から、内外面にヘラミガキが観察される鉢167が出土している。

遺構の時期は、出土遺物から、百・後・Ⅲに比定される。

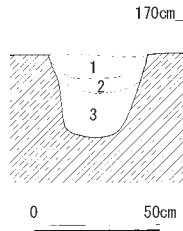
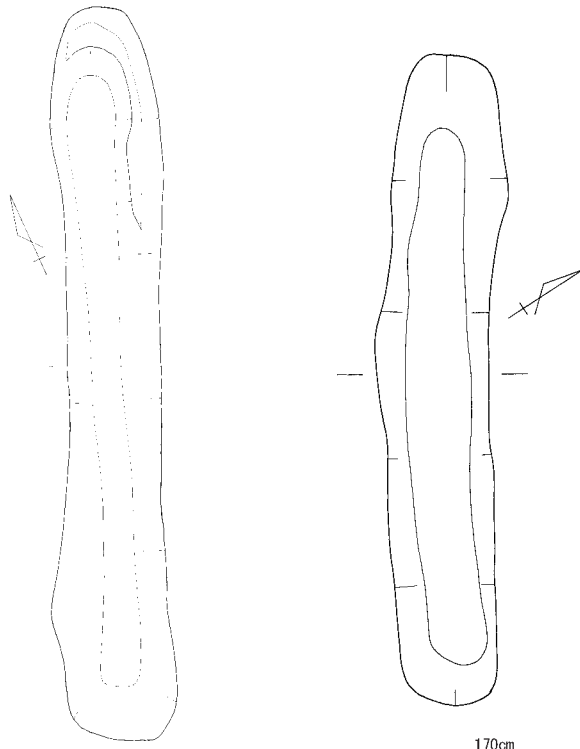
土壌25と土壌26は、その検出位置や土壌長軸が掘立柱建物20の桁および梁行とほぼ並行していることなどから、掘立柱建物20に関連する雨落ち溝の可能性が指摘できよう。(小嶋)

土壌27 (第71・118図)

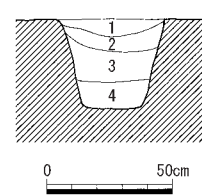
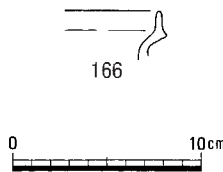
掘立柱建物20の南東側約3mから検出された土壌である。平面は隅丸長方形を呈し、その規模は長軸177cm、短軸69cmを測る。断面は逆台形を呈し、深さは42cmである。出土した甕168の口縁端部は上方に立ち上がり、外面に擬凹線文が施されている。時期は、百・後・Ⅲに比定される。

土壌28 (第71・119図、図版8-6)

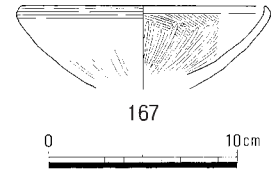
302U区、溝10~12と溝20に挟まれた地点から検出された。長軸291cm、短軸88cmを測る、平面隅丸長方形を呈している。土壌底面には、長軸62cm、短軸38cm、深さ12cmの平面隅丸長方形を呈する穴が



- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 砂質土 (炭粒・焼土粒含)
- 2 黄褐色 (2.5Y5/4) 砂質土 (炭・焼土粒少含)
- 3 灰黄褐色 (10YR4/3) 砂質土 (にぶい黄色砂質土ブロック含・炭・焼土粒含)

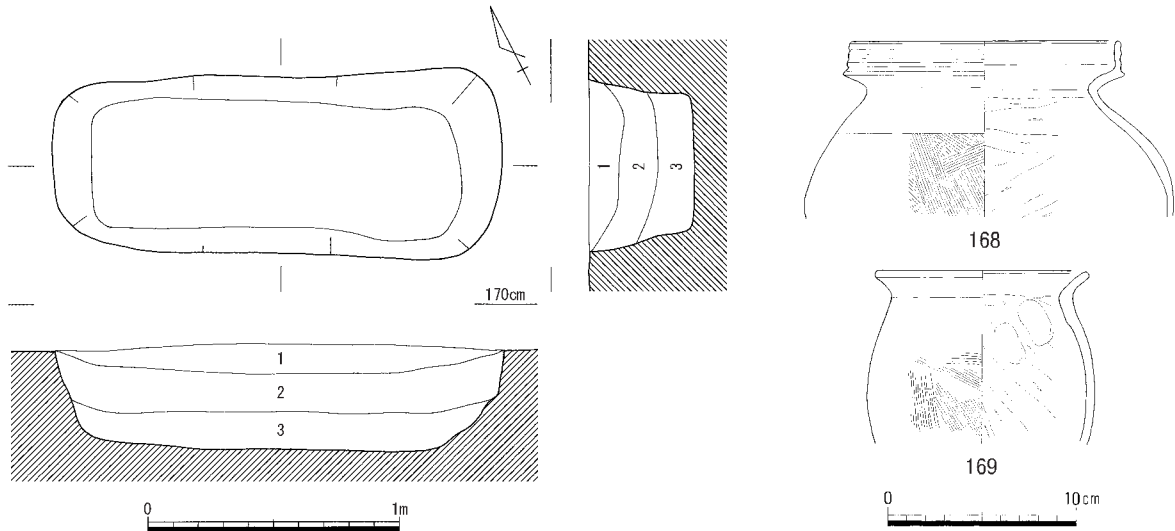


- 1 褐色 (7.5YR5/1) 砂質土 (炭・焼土粒少含)
- 2 灰褐色 (7.5YR5/2) 砂質土 (炭・焼土粒少含)
- 3 灰褐色 (7.5YR4/2) 砂質土 (炭・焼土粒少含、土器片含)
- 4 褐色 (10YR4/4) 砂質土 (炭・焼土粒少含)



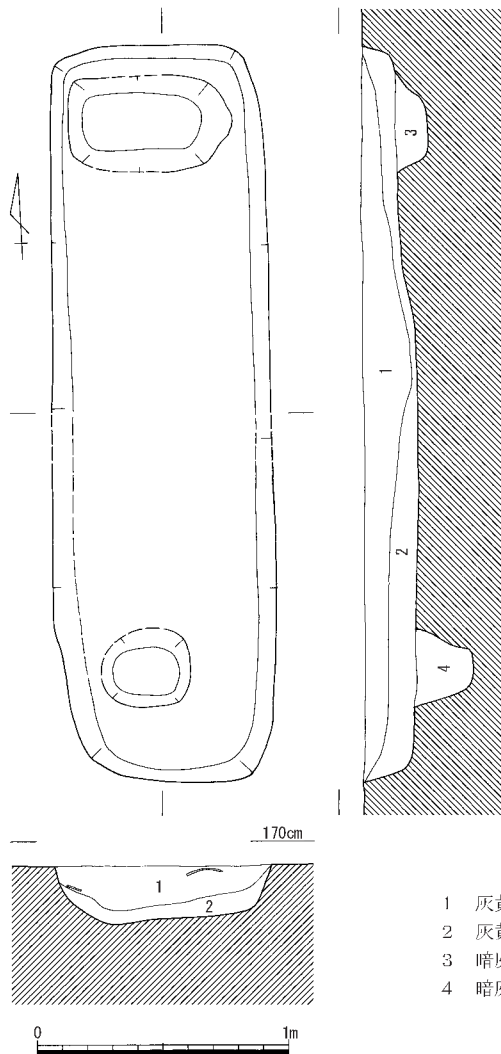
第116図 土壌25 (1/30) 第117図 土壌26 (1/30)
・出土遺物 (1/4) ・出土遺物 (1/4)

(小嶋)



- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含)
- 2 黒褐色 (2.5Y3/2) 粘質微砂 (明黄褐色砂質土基盤ブロック・炭・焼土粒含、Mn 多沈着)
- 3 灰色 (10Y4/1) 粘土・灰オリーブ色 (7.5Y5/2) 粘質微砂ブロックの混合 (炭・焼土粒含)

第118図 土壌27 (1/30)・出土遺物 (1/4)

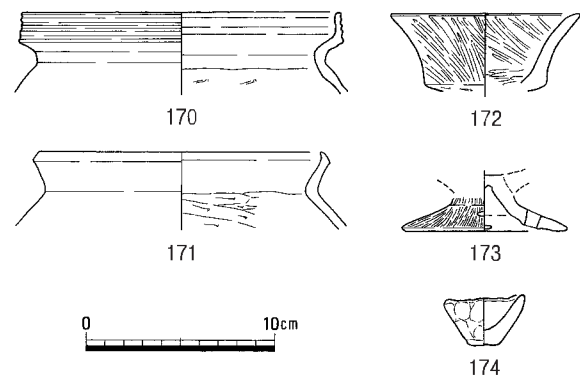


北側に、長軸35cm、短軸31cm、深さ22cmの平面円形を呈する穴が南側に掘削されている。出土遺物にはミニチュアの鉢174などがある。なお、形態から土壌墓の可能性が指摘できる。

遺構の時期は、百・後・Ⅲである。 (小嶋)

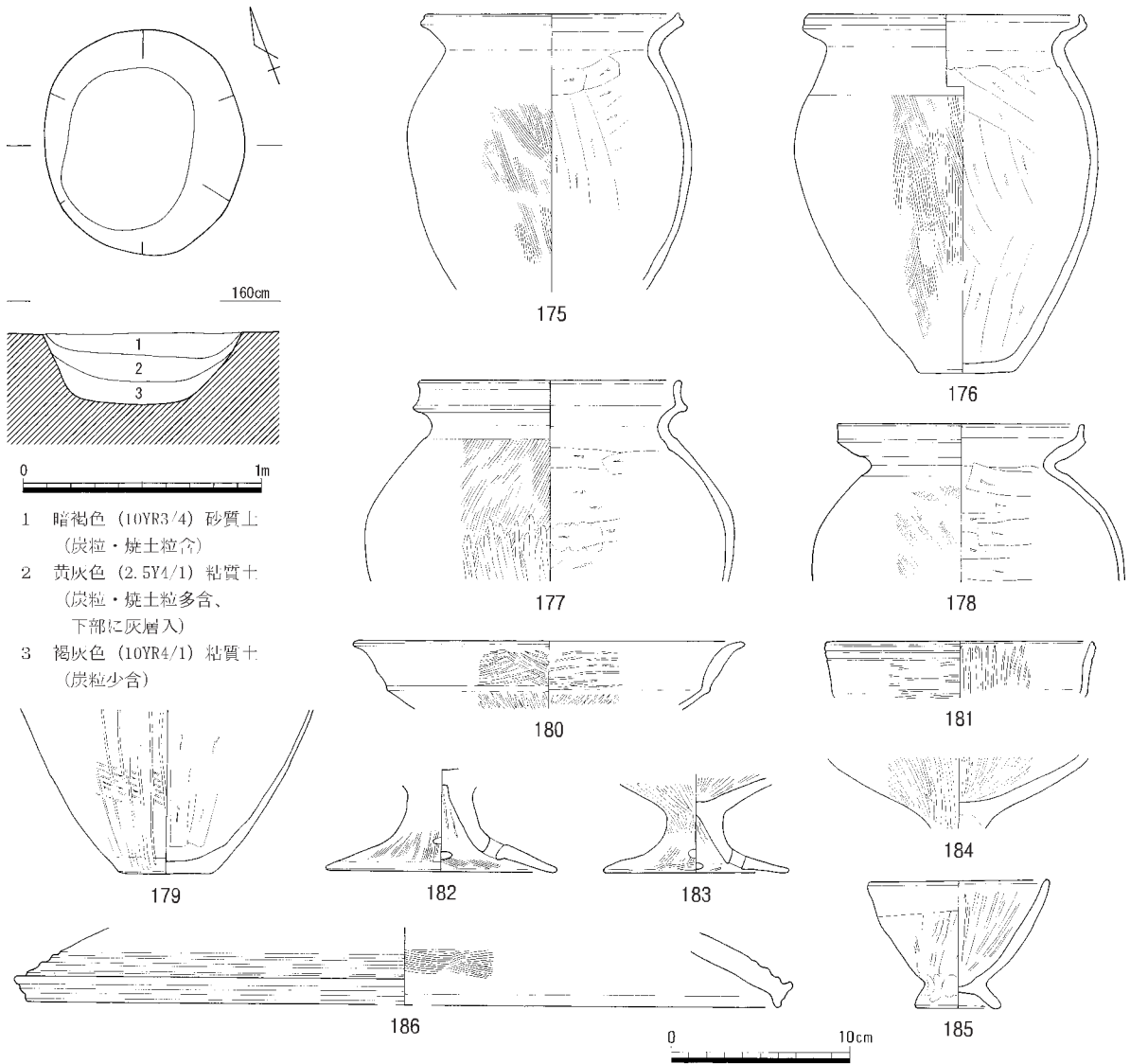
土壌29 (第71・120図)

掘立柱建物17のP4を切っている土壌である。平面形は円形を呈し、その長軸は93cmを測る。埋土第

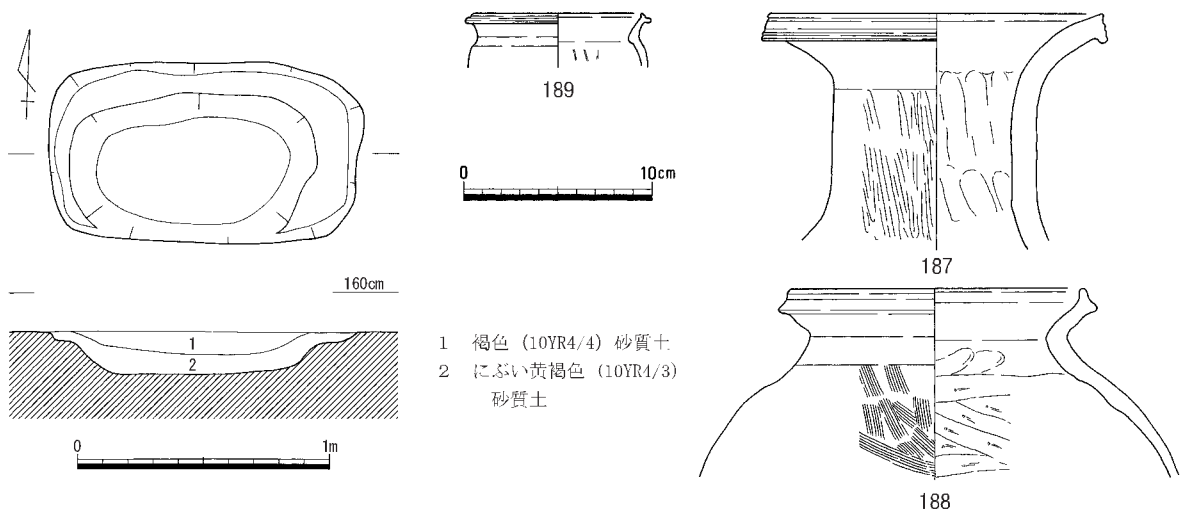


- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒多含)
- 2 灰黄褐色 (10YR5/2) 微砂 (炭・焼土粒含)
- 3 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質微砂
- 4 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質土 (炭粒含)

第119図 土壌28 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第120図 土壌29 (1/30)・出土遺物 (1/4)



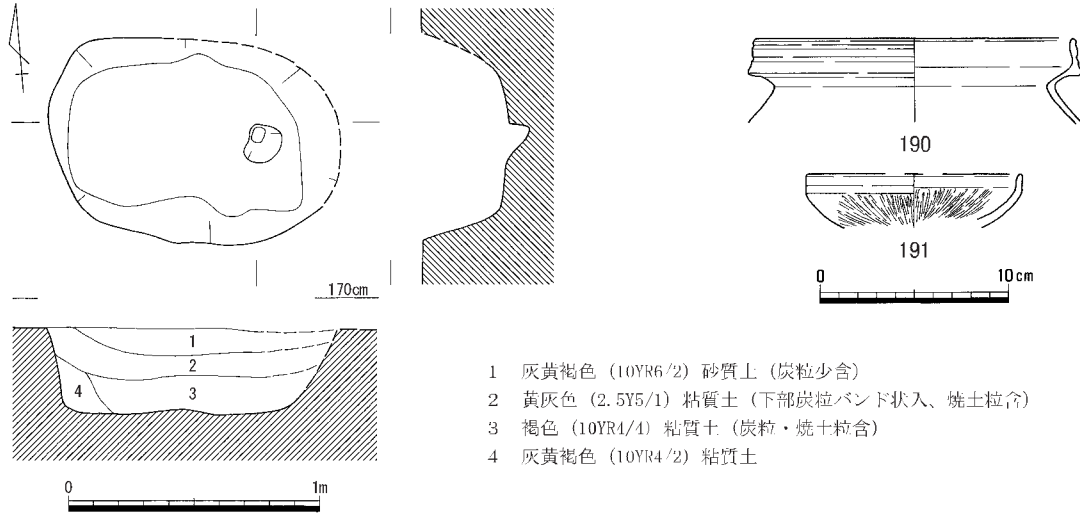
第121図 土壌30 (1/30)・出土遺物 (1/4)

第3章 発掘調査の概要

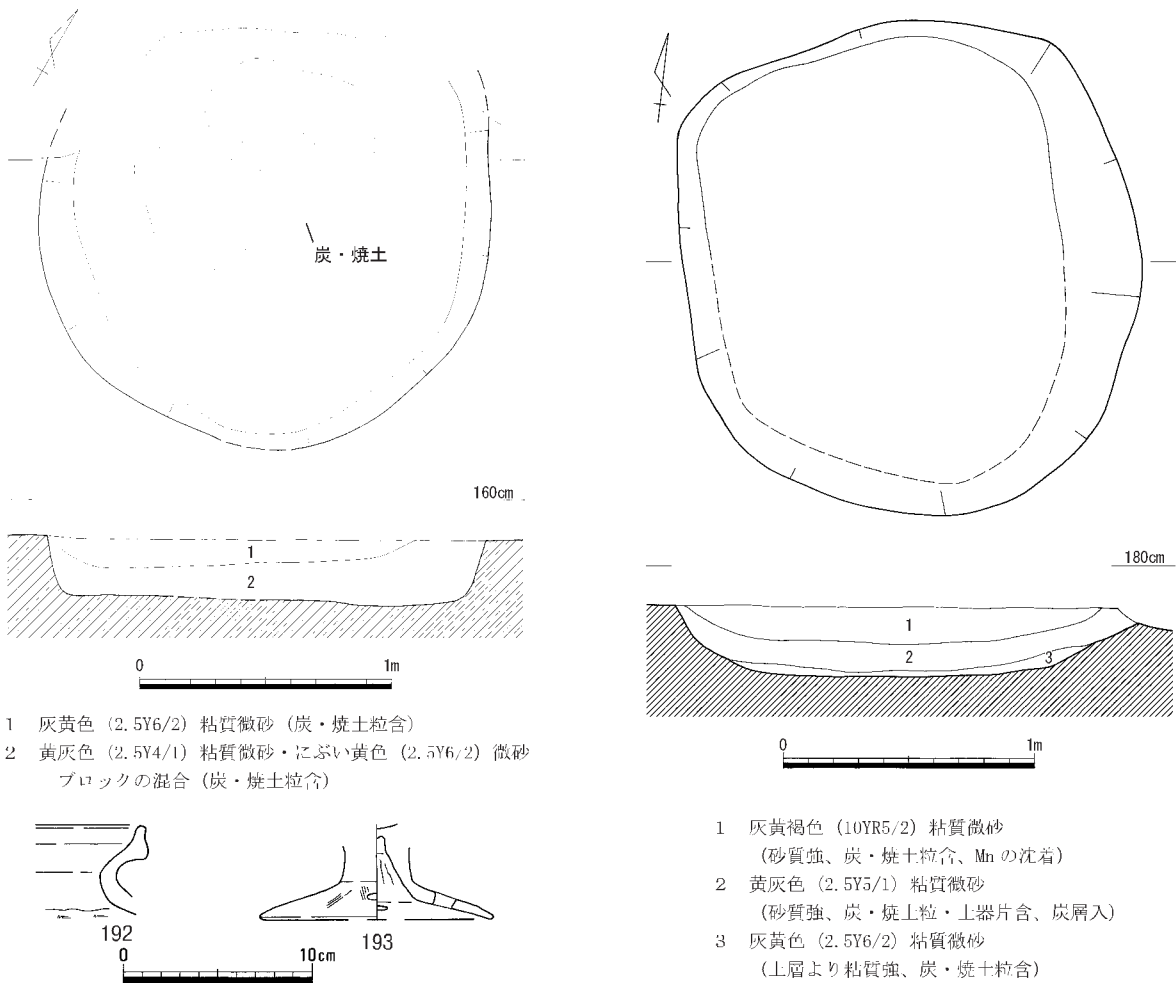
2層下部からは、灰層が確認されている。遺物は、甕175~179、高杯180~184、鉢185、器台186などが出土している。

遺構の時期は、出土遺物から、百・後・Ⅲに比定される。

(小嶋)



第122図 土壌31 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第123図 土壌32 (1/30)・出土遺物 (1/4)

第124図 土壌33 (1/30)

土壌30 (第71・121図)

土壌28の東側約6mから検出された土壌である。長軸122cm、短軸71cmの平面隅丸長方形を呈する。底面には、三方にテラス面が認められる。

出土した187~189の土器の特徴から、遺構の時期は、百・後・Ⅲである。(小嶋)

土壌31 (第71・122図)

掘立柱建物18の東側、約1mに位置している。東側肩部が削平を受けているものの、平面隅丸長方形を呈していたと想定される。長軸推定115cm、短軸80cm、深さ35cmを測る。埋土中には炭を含んでおり、特に第2層下部には炭層が認められた。

出土した甕190の特徴などから、遺構の時期は、百・後・Ⅲに比定される。(小嶋)

土壌32 (第71・123図、図版8-7)

古墳時代の溝32により、北側を削平されている。土壌底面から、炭および焼土が集中している箇所が検出されているが、明瞭な被熱痕跡は認められない。

遺構の時期は、出土遺物から、百・後・Ⅲに比定される。(小嶋)

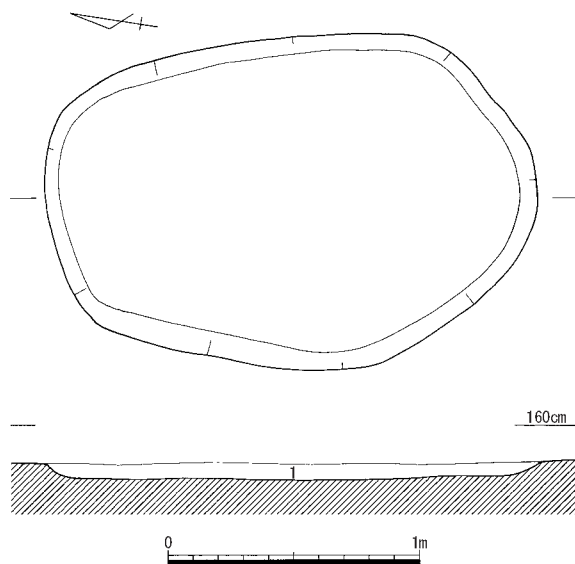
土壌33 (第71・124図)

溝21埋没後に掘削された土壌で、平面不整形方形を呈し、その規模は長軸193cm、短軸182cmを測る。埋土中には炭・焼土粒を含んでいた。

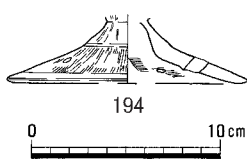
検出状況から、遺構の時期は、後期の範疇に入る。(小嶋)

土壌34 (第71・125図)

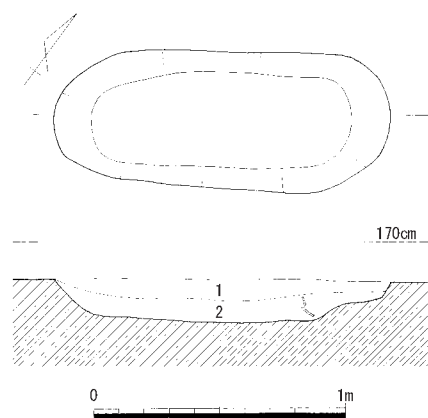
土壌33に隣接して検出された土壌である。検出面からの深さは、6cmと浅い。埋土中からは、短脚



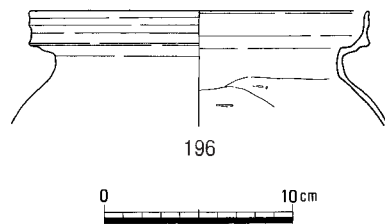
1 灰オリーブ色 (7.5Y5/2) 砂質土 (炭・焼土粒含)



第125図 土壌34 (1/30)・出土遺物 (1/4)



1 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂
(砂質強、炭・焼土粒・土器片含、Mn 沈着)
2 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂
(砂質強、炭・焼土粒・土器片含)



第126図 土壌35 (1/30)・出土遺物 (1/4)

化が進んだ高杯194が出土した。土壌33と同様に、溝21埋没後に掘削されている。

遺構の時期は、出土遺物から、百・後・Ⅲに比定される。 (小嶋)

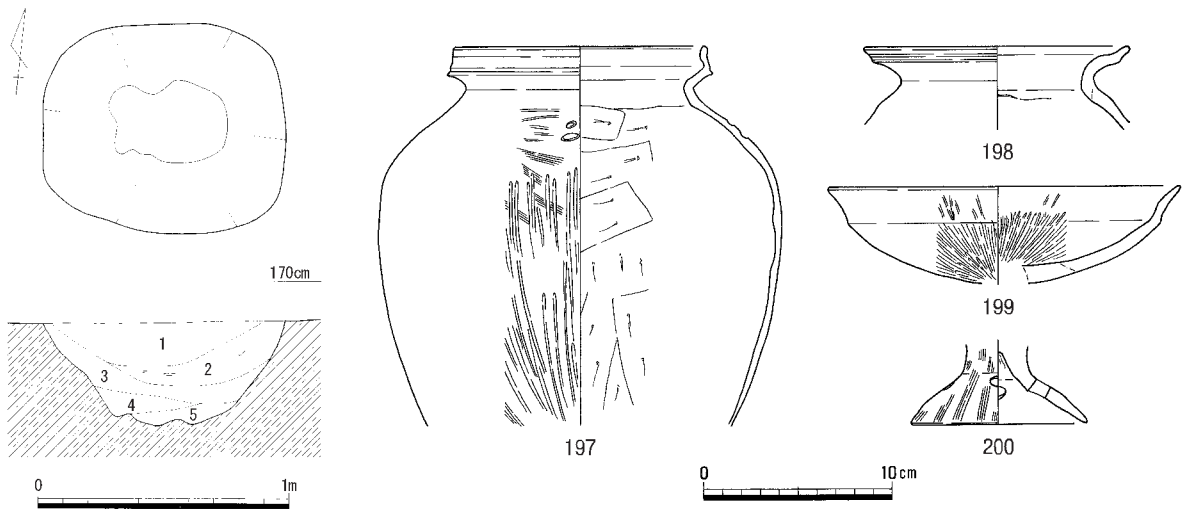
土壌35 (第71・126図)

302Y区に位置する土壌である。掘立柱建物30の西側、溝14の南側に近接する。平面形は、隅丸長方形を呈し、長軸131cm、短軸54cm、深さ17cm、底面海拔高137cmを測る。

出土遺物から百・後・Ⅲと考えられる。 (高田)

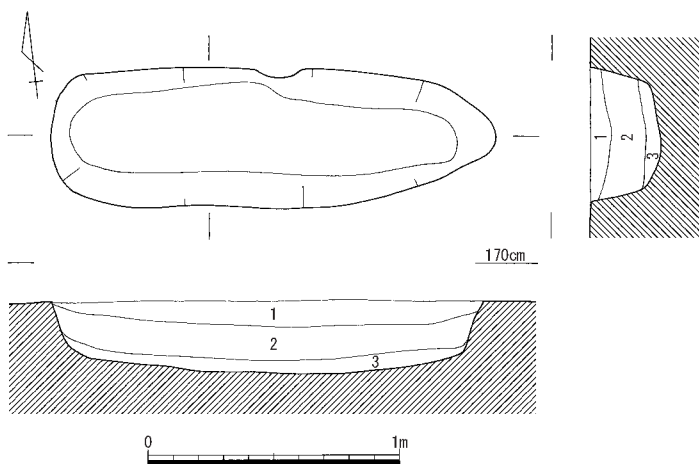
土壌36 (第71・127図)

303X区に位置する土壌で、掘立柱建物27と井戸2のほぼ中間に位置する。平面形は、隅丸方形を



- 1 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (砂質強、炭・焼土粒・土器片含、Mn沈着)
- 2 黒褐色 (10YR3/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒・土器片含、Mn沈着)
- 3 黒褐色 (10YR3/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含、Mn沈着)
- 4 黒褐色 (10YR3/2) 粘質微砂 (浅黄色 (2.5Y7/4) 土ブロック・炭・焼土粒含)
- 5 黄灰色 (2.5YR4/1) 粘質微砂・黄褐色 (2.5Y5/6) 粘質微砂ブロックの混合

第127図 土壌36 (1/30)・出土遺物 (1/4)



- 1 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (砂質強、にぶい黄褐色 (10YR7/2) ブロック含、炭・焼土粒少含、Mn沈着)
- 2 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質微砂 (砂質強、Mn沈着)
- 3 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘質微砂

第128図 土壌37 (1/30)

呈し、長軸96cm、短軸84cm、深さ41cm、底面海拔高113cmを測る。底面は凹凸を持ち、壁が急斜に立ち上がる。図示した遺物は、弥生土器甕197・198、高杯199・200である。

土壌の時期は、出土遺物から百・後・Ⅲと考えられる。 (高田)

土壌37 (第71・128図)

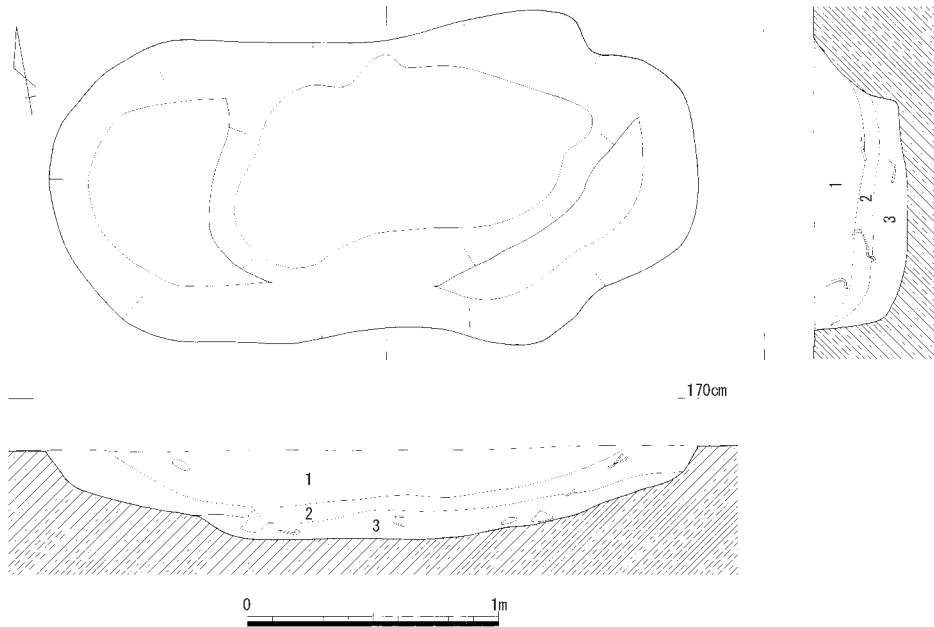
303X区に位置する土壌で、井戸2の南西側1.5mに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、長軸177cm、短軸52cm、深さ28cm、底面海拔高126cmを測る。底面はほぼ平坦で、

急斜に立ち上がる。土壌の時期は、検出状況から後期と考えられる。

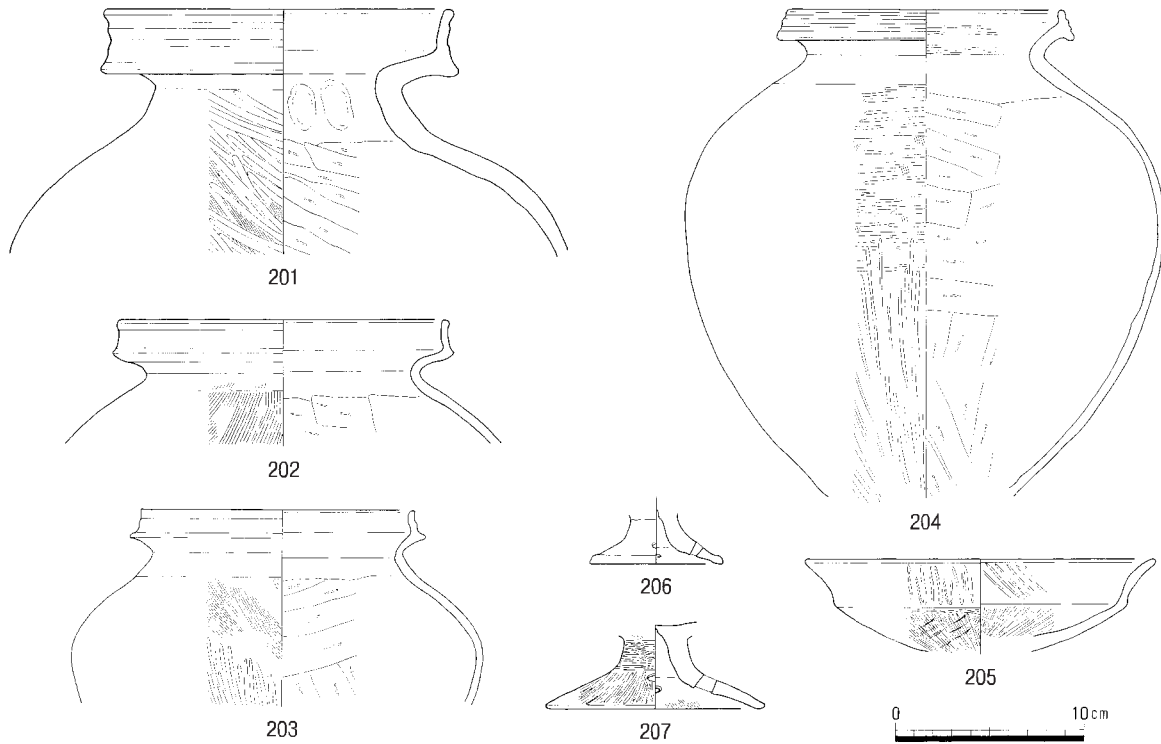
(高田)

土壌38 (第71・129図、図版8-8)

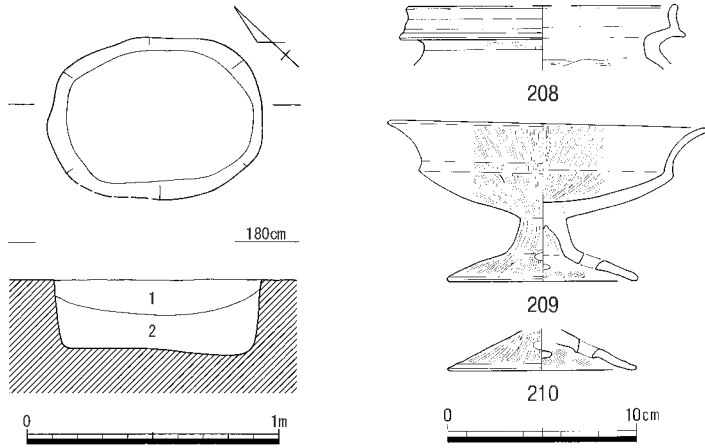
303Y区の調査区端に位置する土壌である。検出時の平面形は不整長方形呈し、長軸270cm、短軸113cmを測る。断面形は逆台形で、底は東西部分にテラス状の段を持つ。検出面からの深さは37cm、



- 1 褐灰色 (7.5YR5/1) 粘質微砂 (砂質強、炭・焼土粒多含、小石含・土器片含、Mn 沈着)
- 2 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 粘質微砂 (粘質強、炭・焼土粒・土器片含、Mn 沈着)
- 3 黄褐色 (2.5Y4/1) 粘質微砂 (粘質強、炭・焼土粒・石・土器片含)



第129図 土壌38 (1/30)・出土遺物 (1/4)



- 1 褐灰色 (10YR4/1) 粘質微砂 (砂質強、土器片含、炭・焼土粒多含、Mn沈着)
- 2 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質微砂 (粘質強、炭・焼土粒含、Fe染み込み)

第130図 土壌39 (1/30)・出土遺物 (1/4)

底面海拔高115cmを測る。

遺物は各層から出土しており、その時期は、百・後・Ⅲ～Ⅳに属している。(高田)

土壌39 (第71・130図)

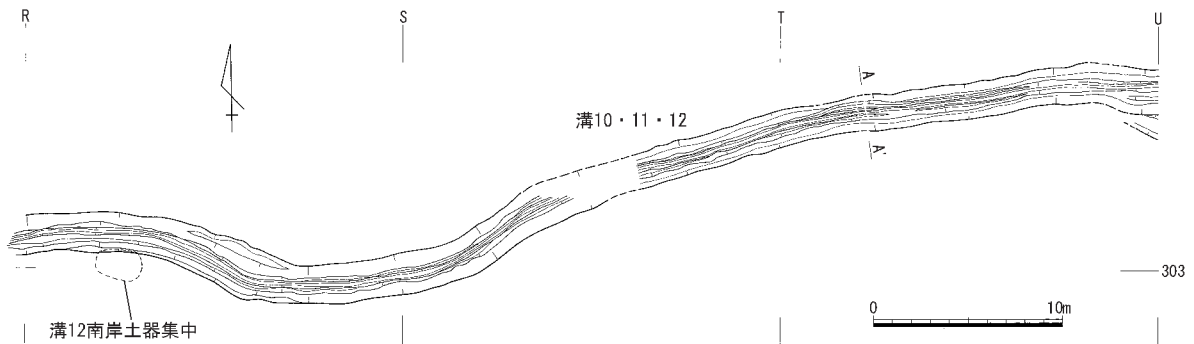
302Z区に位置する土壌である。平面形は楕円形を呈し、長軸85cm、短軸63cm、深さ29cm、底面海拔高136cmを測る。断面形は箱形を呈し、ほぼ平坦な底から垂直に壁が立ち上がる。

土壌の時期は、出土遺物から百・後・Ⅲか。(高田)

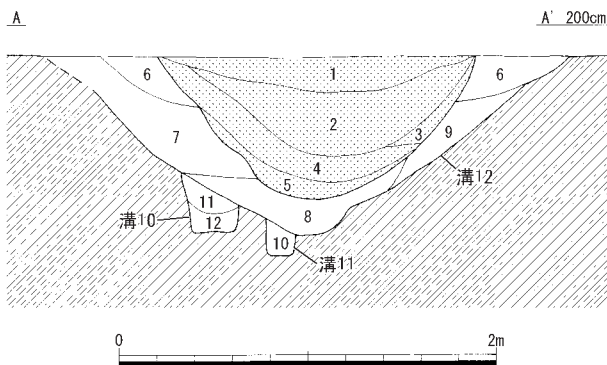
7 溝

溝10～12 (第71・131～134図、巻頭図版4-1、図版9-1・2・10-1)

調査区を西から東に貫流する溝群で、後述する水路1を最終段階とする幹線用排水路と考えられる。Q～U区はほぼ同一の流路を採るが、Vライン付近で異なる流路となり、Xライン以東は再び同一の



第131図 溝群 (1/400) -西部-



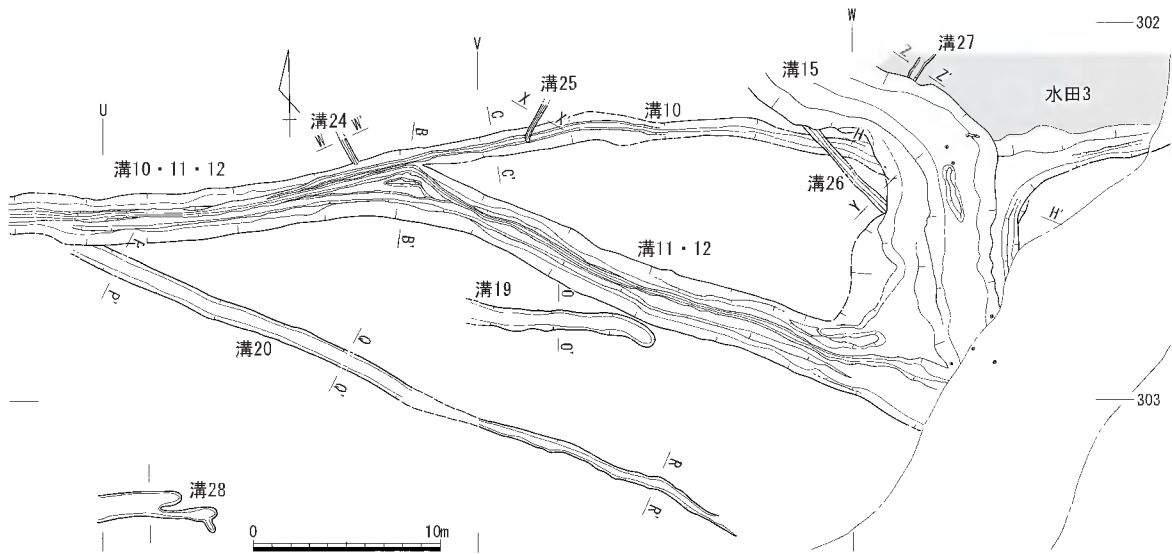
- 1 にぶい黄色 (2.5Y6/3) 粘質微砂<洪水砂・水路1>
- 2 黄褐色 (2.5Y5/4) 微砂<洪水砂・水路1>
- 3 浅黄色 (2.5Y7/3) 微砂<洪水砂・水路1>
- 4 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質微砂<洪水砂・水路1>
- 5 明オリーブ灰色粘質微砂<洪水砂・水路1>
- 6 灰黄褐色 (10YR6/2) 粘質微砂 (Mn少含) <溝12>
- 7 灰黄褐色 (10YR7/2) 粘質土<溝12>
- 8 褐灰色 (10YR5/1) 粘土
(黄褐色粘質土基盤ブロック・炭粒・焼土粒含) <溝12>
- 9 灰黄褐色 (10YR4/1) 粘質土 (Mn含) <溝12>
- 10 暗緑灰色 (10GY4/1) 粘土
(明緑灰色粘土ブロック・炭粒含) <溝11>
- 11 褐灰色 (5YR5/1) 粘土<溝10>
- 12 暗緑灰色 (5G4/1) 粘土
(黄褐色粘質土基盤ブロック含) <溝10>

第132図 溝10～12 (1/40)

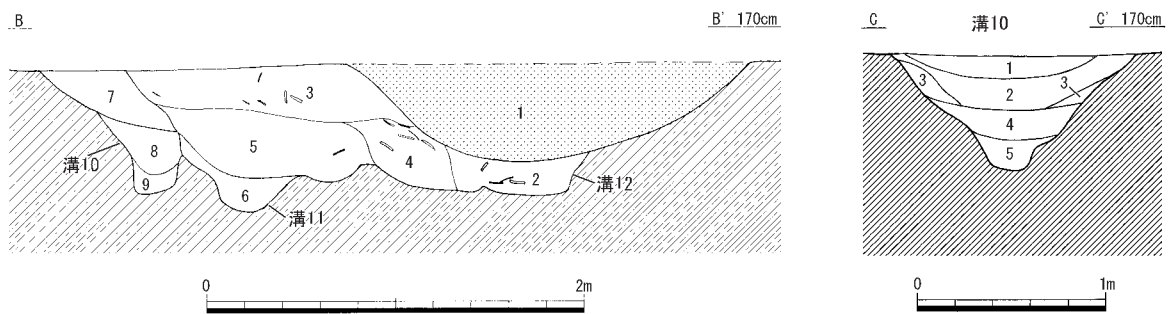
流路に重なる。また、X・Y区では水田3から延びる溝を合流させるなど複雑な離合を繰り返す。これら溝10~12の最上流部は、「百兼基4水田2」に接続し、最下流部は水田4に注いでいる。溝10が最も古く、次いで溝11が掘削され、溝12が最新と考えられる。 (高田)

溝10 (第71・131~137図、巻頭図版4-1、図版9-1・2)

調査区の北端を西から東に貫流する溝10~12のうち、切り合い関係から最古と考えられる溝である。これらの最終段階は、弥生時代後期末の洪水砂で埋没する水路1であり、その最上流部は「百兼基4水田2・水口1」である。溝10は、302U区で上層の溝11・12と流路を異ならせ、後期の溝15や古墳時代の溝32に切られて途切れるが、溝32の東側で再び溝11・12の下層となる。その東端は、水田4に接続すると考えられる。溝の時期は、出土遺物から百・後・II~IIIと考えたい。 (高田)



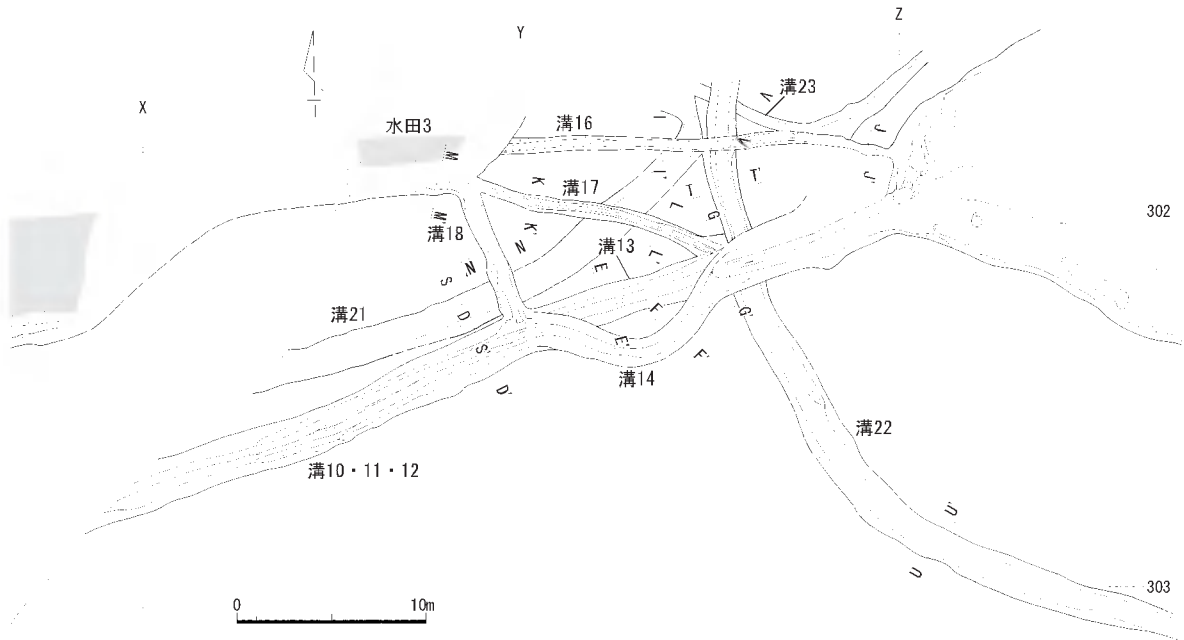
第133図 溝群 (1/400) -中央部-



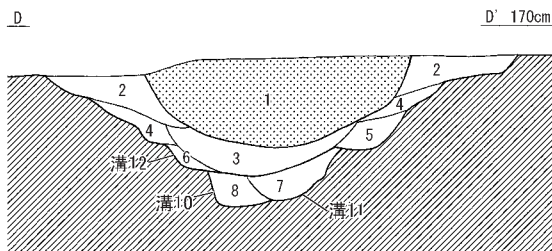
- 1 <洪水砂・水路1>
- 2 暗緑灰色 (5G3/1) 粘土 (炭・焼土粒・土器片多含) <溝12>
- 3 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質土 (炭・灰・焼土粒・土器片多、含 Mn 多沈着) <溝12>
- 4 暗緑灰色 (10G4/1) 粘土 (緑灰色 (10G6/1) 粘質土基盤ブロック・炭含・土器片含) <溝12>
- 5 緑灰色 (10G5/1) 粘土 (にぶい黄色 (2.5Y6/4) 粘質土基盤ブロック多含、炭含) <溝11~12>
- 6 暗青灰色 (5B4/1) 粘土 (青灰色 (5B6/1) 粘質土基盤ブロック・炭含) <溝11>
- 7 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土 (Mn 多沈着) <溝10>
- 8 暗緑灰色 (7.5GY4/1) 粘土 (にぶい黄色 (2.5Y6/4) 粘質土基盤ブロック含) <溝10>
- 9 暗緑灰色 (10GY4/1) 粘土 (にぶい黄色 (2.5Y6/4) 粘質土基盤ブロック含) <溝10>

- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 砂質土 (炭粒含)
- 2 褐色 (7.5YR4/4) 砂質土
- 3 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 砂質土 (炭粒含)
- 4 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 (炭粒含)
- 5 青灰色 (10B6/1) 砂質土 (炭粒含)

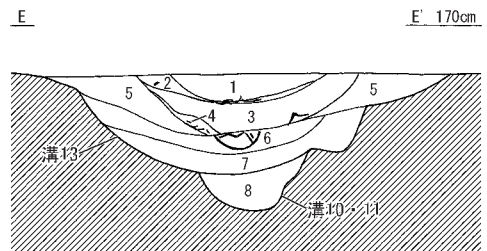
第134図 溝10~12 (1/40)



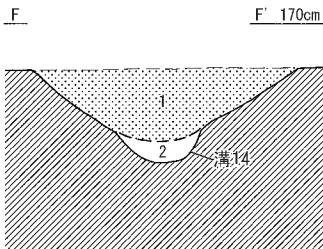
第135図 溝群 (1/400) -東部-



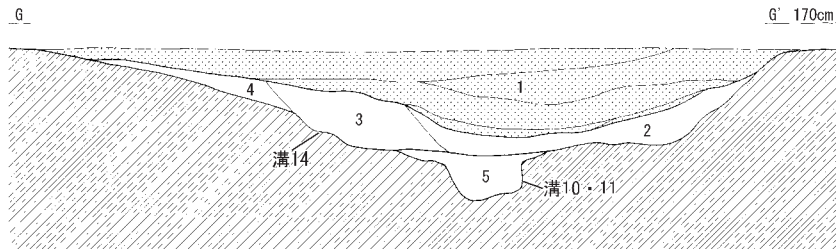
- 1 <洪水砂・水路1>
- 2 灰オリーブ色 (5Y5/3) 砂質土 (炭・焼土粒多含) <溝12>
- 3 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 (炭・焼土粒多含) <溝12>
- 4 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (灰白色 (2.5Y8/2) 微砂斑多含、炭・焼土粒含) <溝12>
- 5 第4層ブロックと明オリーブ灰色微砂斑の混合 <溝12>
- 6 第8層ブロックと明オリーブ灰色微砂斑の混合 <溝12>
- 7 暗緑灰色 (7.5GY4/1) 粘土 (明オリーブ灰色 (2.5GY7/2) 粘土斑・炭・焼土粒含) <溝11>
- 8 暗緑灰色 (10GY4/1) 粘土 (明オリーブ灰色 (2.5GY7/2) 粘土斑・炭・焼土粒含) <溝11>



- 1 黄褐色 (10YR5/6) 粘質微砂 <溝13>
- 2 褐色 (10YR4/4) 土 (炭・焼土多含) <溝13>
- 3 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 土 (炭含) <溝13>
- 4 灰黄色 (10YR5/2) 土 (炭・焼土多含) <溝13>
- 5 暗褐色 (10YR3/4) 土 <溝13>
- 6 灰オリーブ (5Y4/2) 粘土 <溝13>
- 7 灰色 (5Y4/1) 粘土 <溝13>
- 8 暗灰色 (N3/) 粘土 (粘質強) <溝11>



- 1 <洪水砂・水路1>
- 2 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘土



- 1 <洪水砂・水路1・3>
- 2 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘土 (浅黄色 (2.5Y7/3) 微砂斑含、炭粒多含) <溝14>
- 3 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質微砂 (にぶい黄色 (2.5Y6/4) 微砂斑含、炭粒多含) <溝14>
- 4 黄褐色 (2.5Y5/5) 微砂 (炭粒含) <溝14>
- 5 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘土 (灰白色 (2.5Y7/1) 粘質微砂斑多含、炭粒含) <溝11>

第136図 溝10~14 (1/40)

溝11（第71・131～136・138図、写真9、巻頭図版4-1、図版9-1・2・10-1）

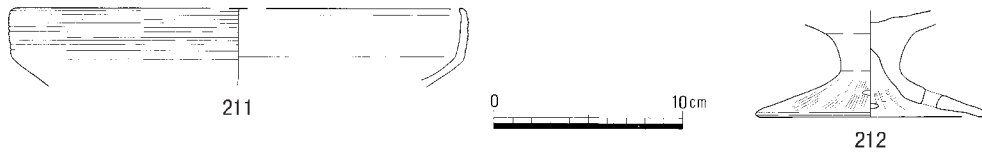
先述の溝10の上層に位置する溝である。302U区において、調査区北端を流走する溝10と別れ、やや中央付近に蛇行したのち、古墳時代の溝32に切られる部分が不明であるが、東流して水田4に接続するものと考えられる。また、302Y区付近で溝17・18が合流し、溝14が分岐・合流する。底部付近の断面形状は、いわゆる箱形とも「U」字形ともいえるもので、後期の用水路に特有の形態である。

出土遺物の時期は、おおむね百・後・Ⅲを示す。 （高田）

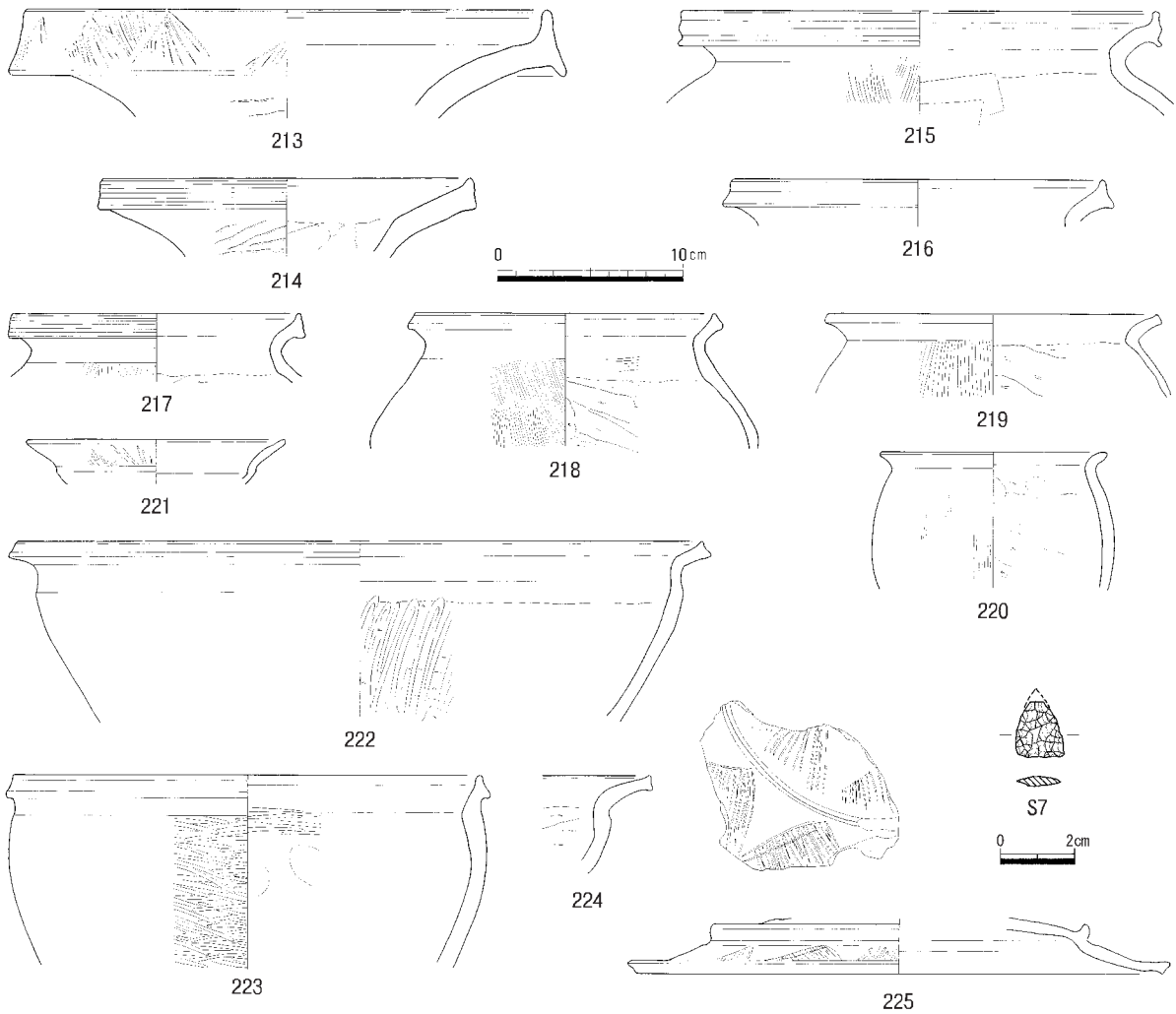
溝12（第71・131～136・139～147図、写真9、巻頭図版4-1・5-1、

図版9-1・2・10-1・11-1・21～24・31・34）

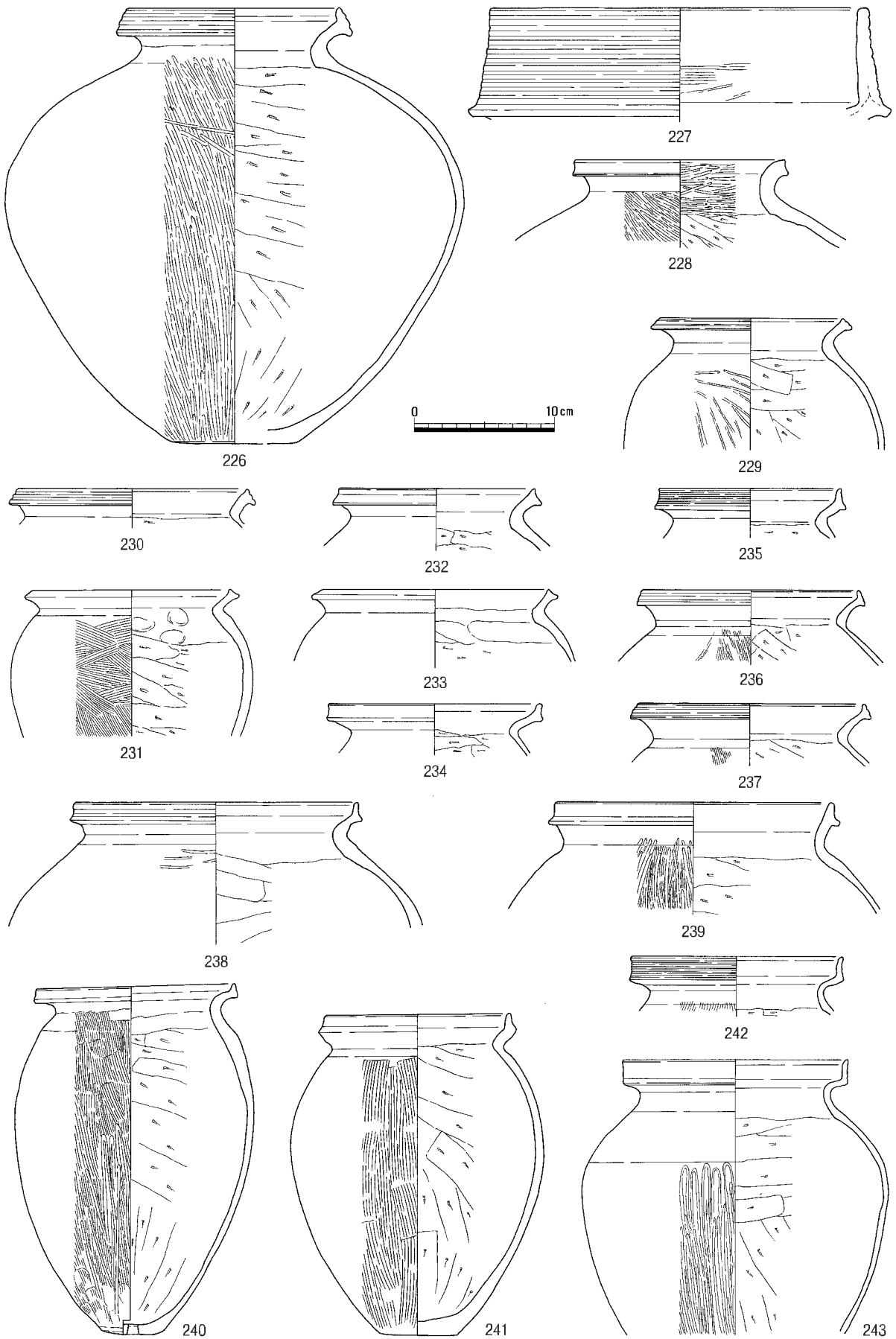
調査区の北端を西から東に貫流する溝10～12のうち、切り合い関係から最新と考えられる溝である。



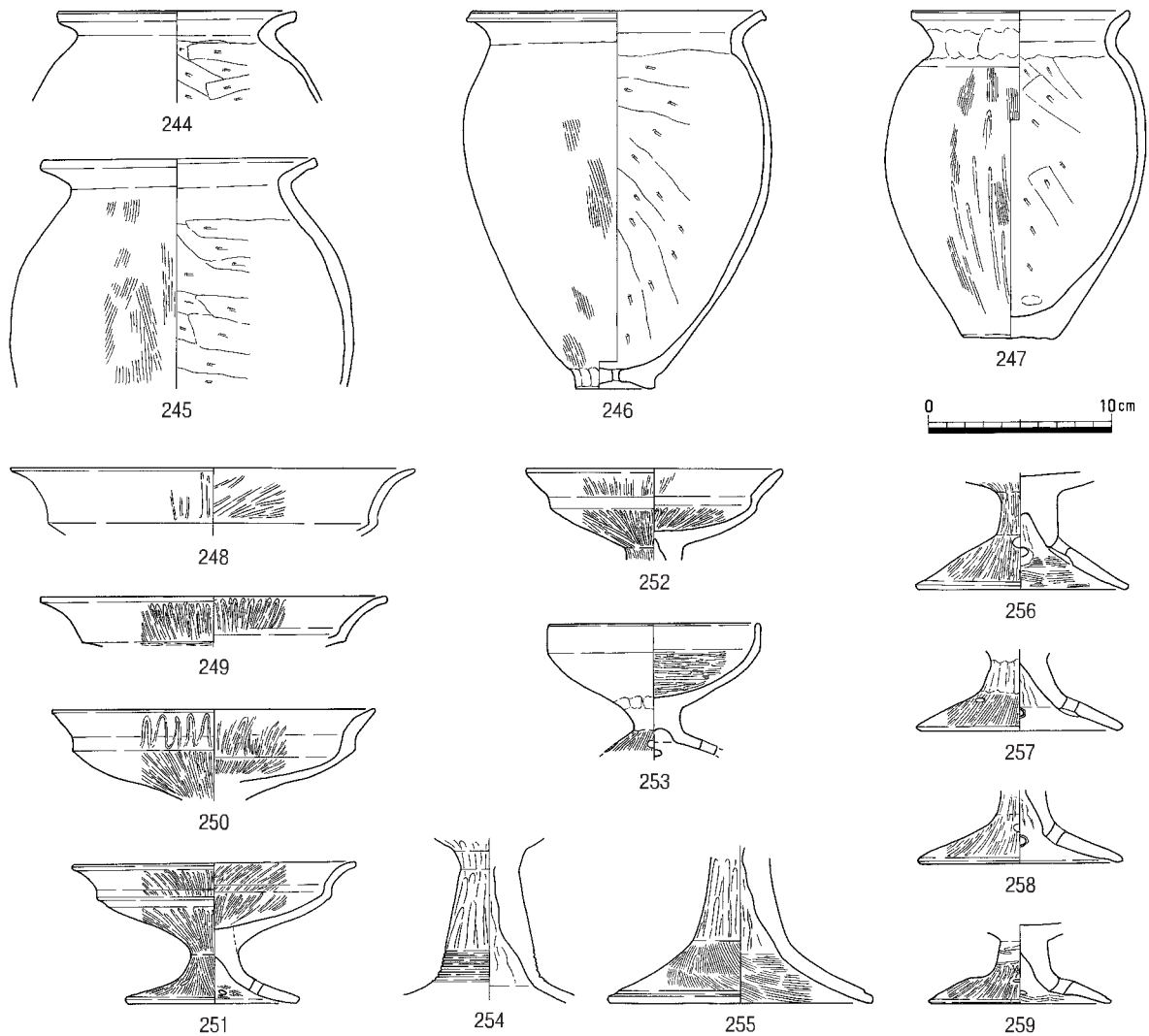
第137図 溝10出土遺物（1/4）



第138図 溝11出土遺物（1/4・1/2）



第139図 溝12出土遺物① (1/4)



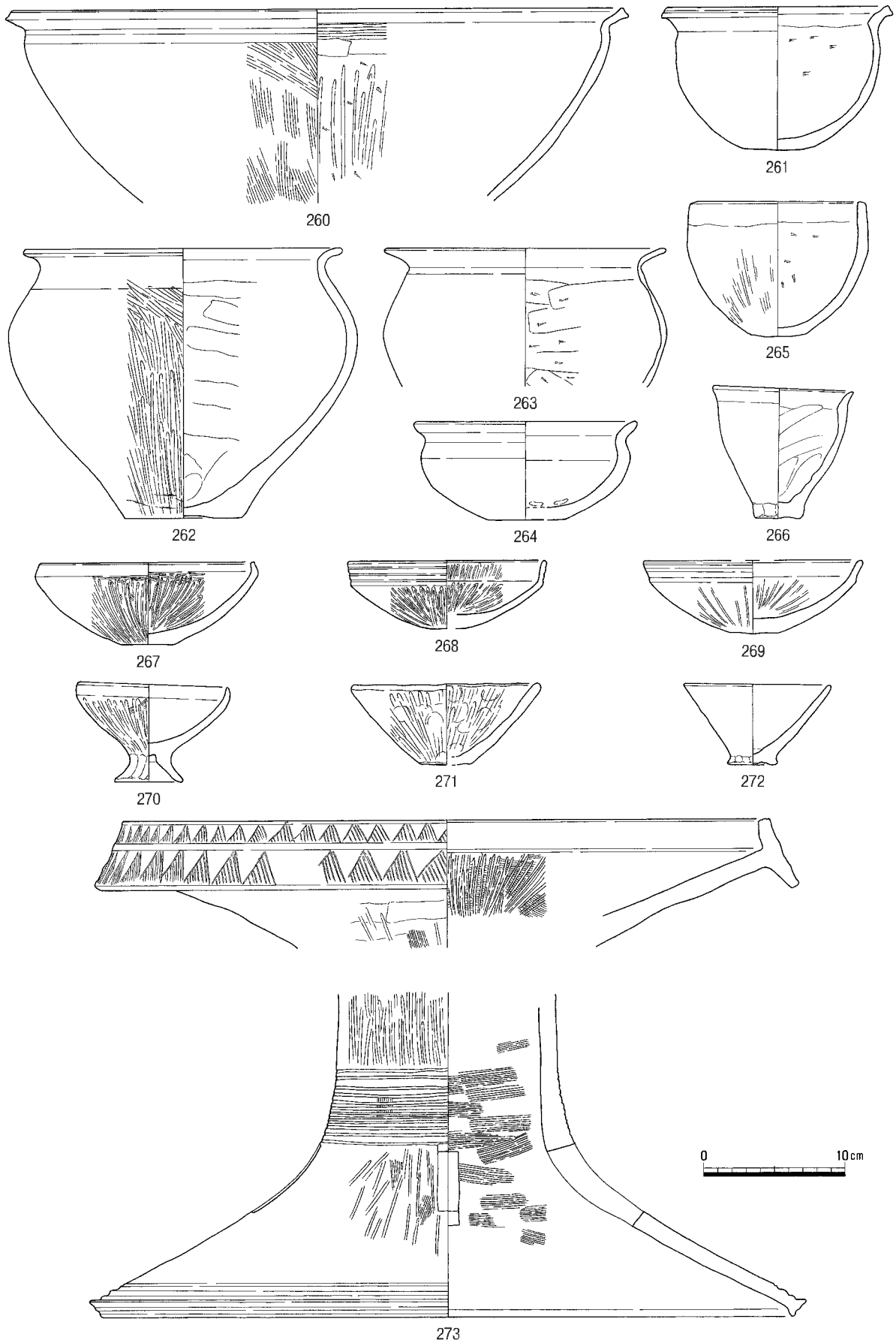
第140図 溝12出土遺物② (1/4)

本溝は、302・303Q～U区において、前述した溝10・11上をほぼ踏襲するが、302U区東端では溝10と流路が分かれることになる。さらにその東側の302W区では、北側から流れる溝15が合流する。この溝15は、本溝と合流したのち、さらに南側に延びていく可能性が高いが、以南は古墳時代の溝32に切られることから検出していない。溝15との合流部は、テラス状の広がりを持つことから、同時存在の時期が推定される。溝32から東側については、ほぼ直線的に流走し、途中の302Y区付近で北側から溝17・18が合流する。溝18の合流地点から東側は、南に一度蛇行して復する溝14となる。これは溝13よりも新しい溝で、溝10～12の最終段階である水路1と流路が同一となり、さらにその東側において水田4に接続する。

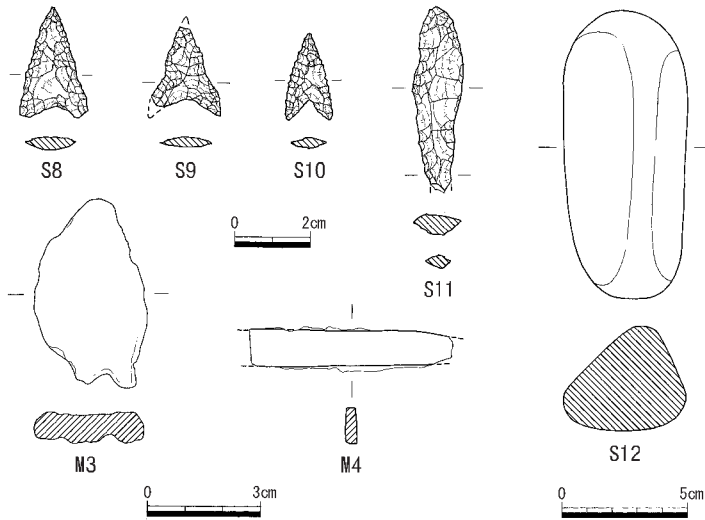
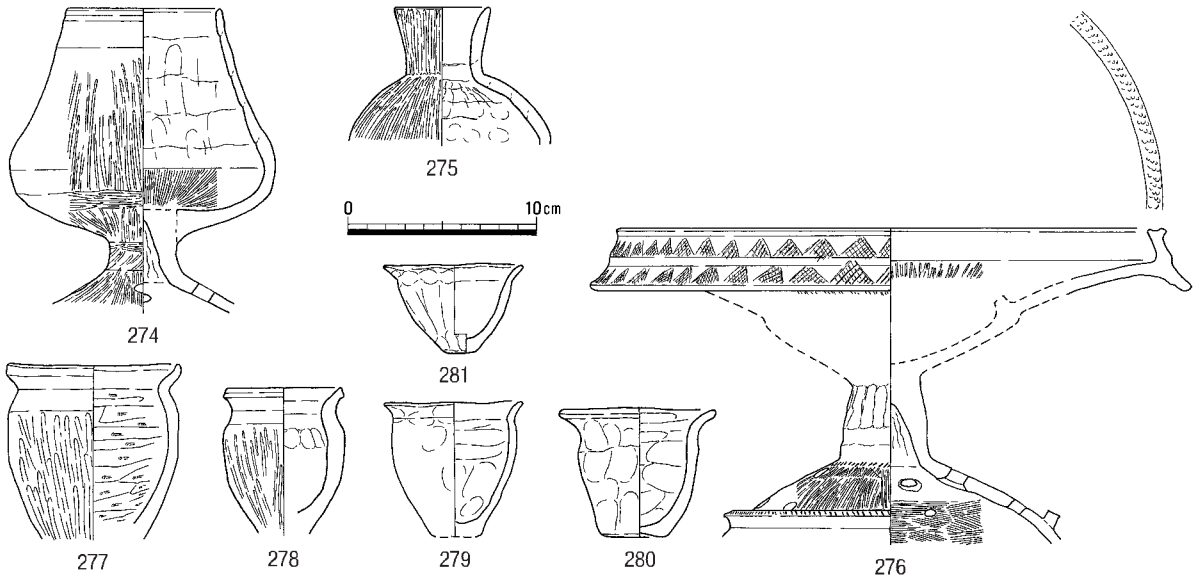
本溝の規模は、各所の断面により異なるものの、第132図に示した断面によると、上幅276cm、底面幅40cm、検出面からの深さ90cmを測る。底面の海拔高は、調査区西端で100cm、東端で81cmとなる。断面の形状は、基本的に楕形を呈する。

溝の検出は、Q～U区まで水路1の洪水砂を目安に行ったが、溝10が分岐する302U区東端以東は困難となり、トレンチを入れながら下層溝や各遺構との関係に注意しての調査となった。

さて、本溝を含めた溝10～12と水路1の最上流部は、「百兼基4水田2・水口1」である。この最

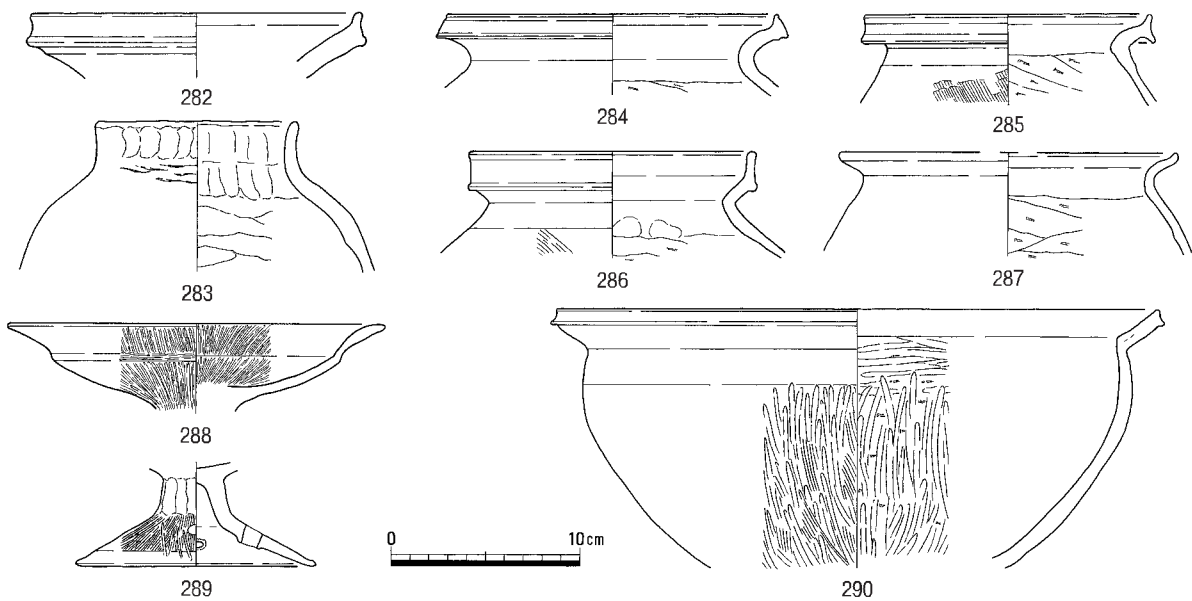


第141図 溝12出土遺物③ (1/4)



上流部から東端の水田4・6の水口までの延長距離は約250mにも及び、その流域には数多くの遺構が存在する。まず、上流側の微高地上では、「百兼基4溝26・27、水路1」の流域で数軒の竪穴住居が確認される。その下流となる「百兼基1溝41」の流域では遺構の存在しない区間が続き、本書掲載調査区の西端において、「百今谷1竪穴住居8」がある。さらに東側のTライン以东では、本書

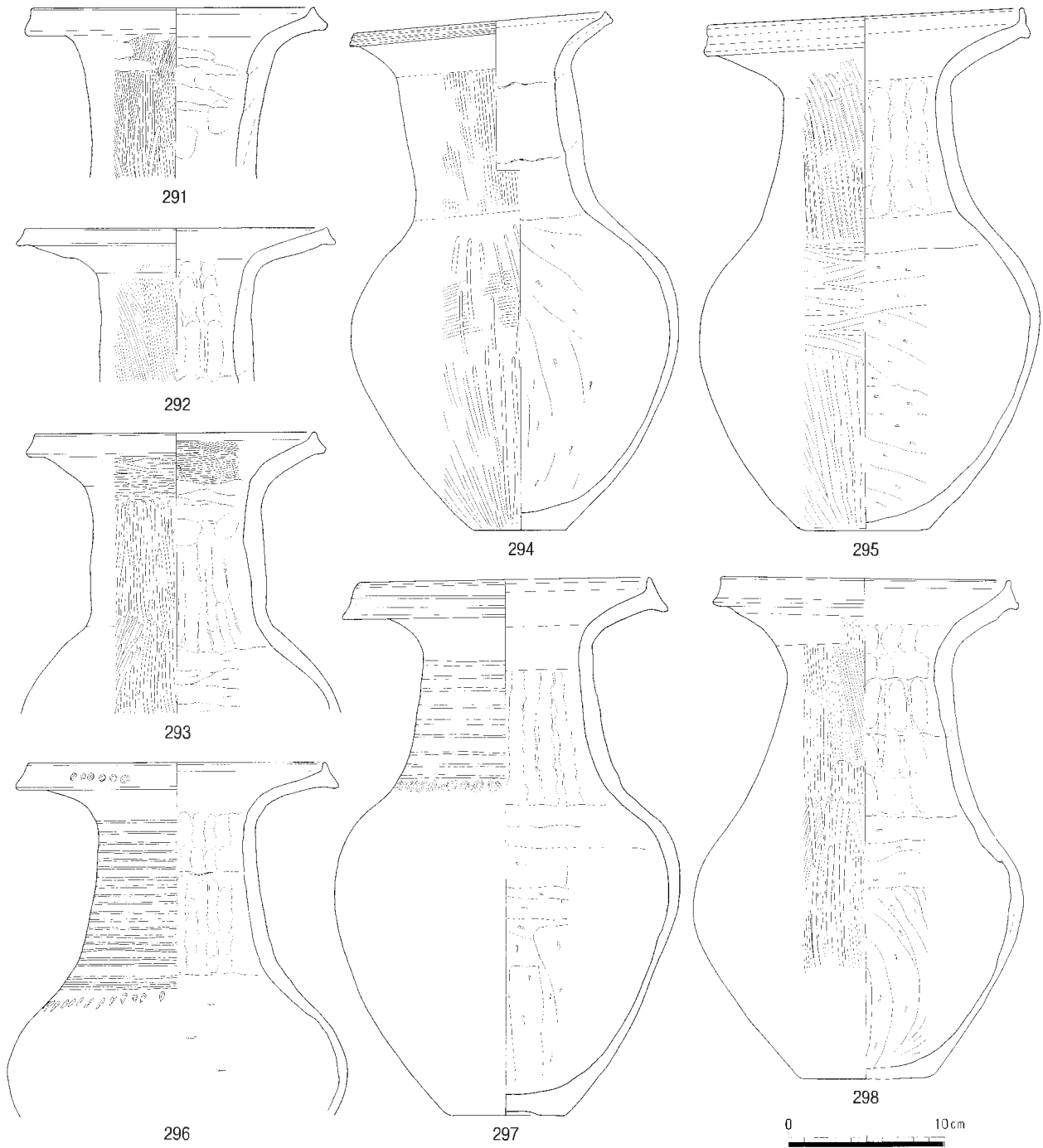
第142図 溝12出土遺物④ (1/4・1/3・1/2)



第143図 溝12東部出土遺物 (1/4)

掲載の竪穴住居1・2が約30m離れて存在する。また、その周囲には溝に棟方向を揃える掘立柱建物が多数確認される。これらの建物は、その多くが、溝10~12と水路1と切り合いを持たないものであり、これら幹線水路に強く規制されていたことが推定される。

次に、大量に出土した遺物について触れてみたい。第139~147図に掲載する土器は、溝の埋土から出土したものである。すべて弥生土器で、壺226~228、甕229~247、高杯248~259である。鉢260~272、器台273、台付壺274・275、装飾高杯276、ミニチュア土器277~281である。その他の遺物は、サヌカイト製の石鎌S8~10と石錐S11、磨石S12、不明鉄器M3、刀子片M4である。



第144図 溝12南岸土器集中部出土遺物① (1/4)

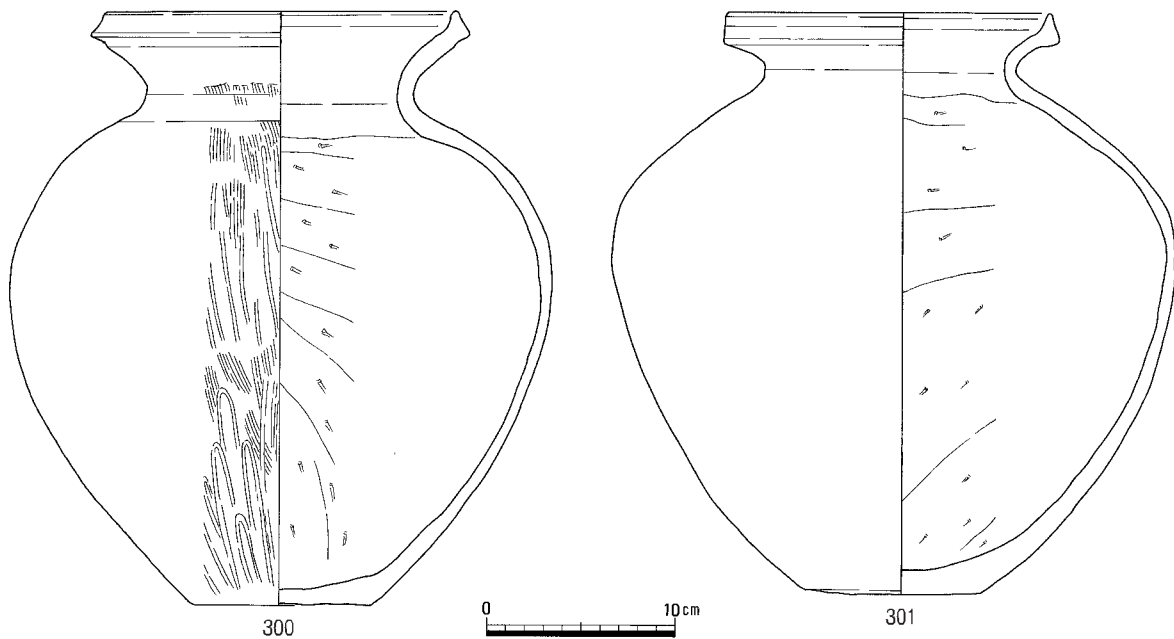
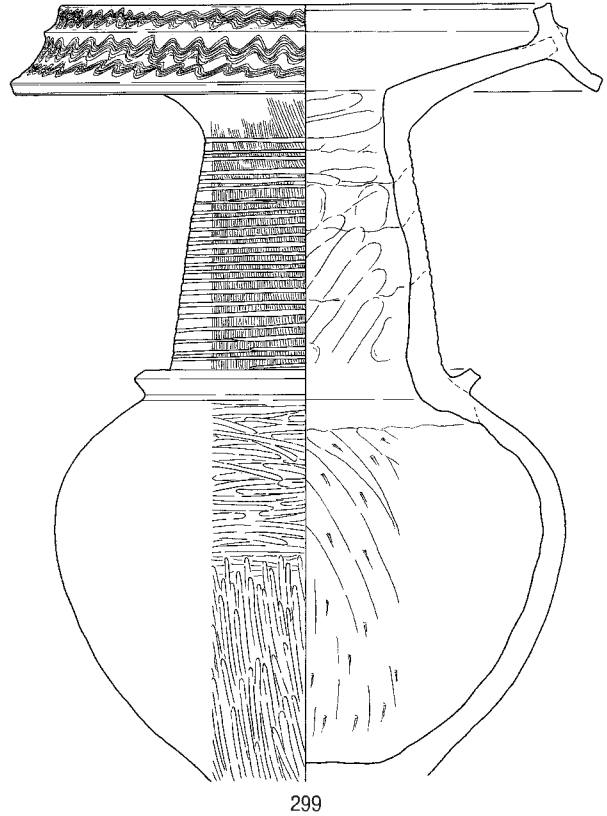
第144～147図に掲載する土器は、302R区の溝の南岸にみられる土器集中部のものである。溝の南岸からは、多くの土器が出土しており、溝の浚渫等によってこの肩口に掘り上げられたものと推定されることから、本溝関連の土器として掲載する。中でも土器集中部として地点を示した箇所は、完形に復元される壺の比率が高い。掲載した土器は、長頸壺291～299、短頸壺300・301、甕302～309、高杯310～313、鉢314～329、台付壺330・331、手焙形土器332、ミニチュア土器333・334である。その他の遺物では、サヌカイト製石鏃S13・14、土玉C1が出土している。

以上のことから、本溝と溝10・11・水路1は、水田の用排水路であり、長期にわたる踏襲から幹線水路と推定されるものである。

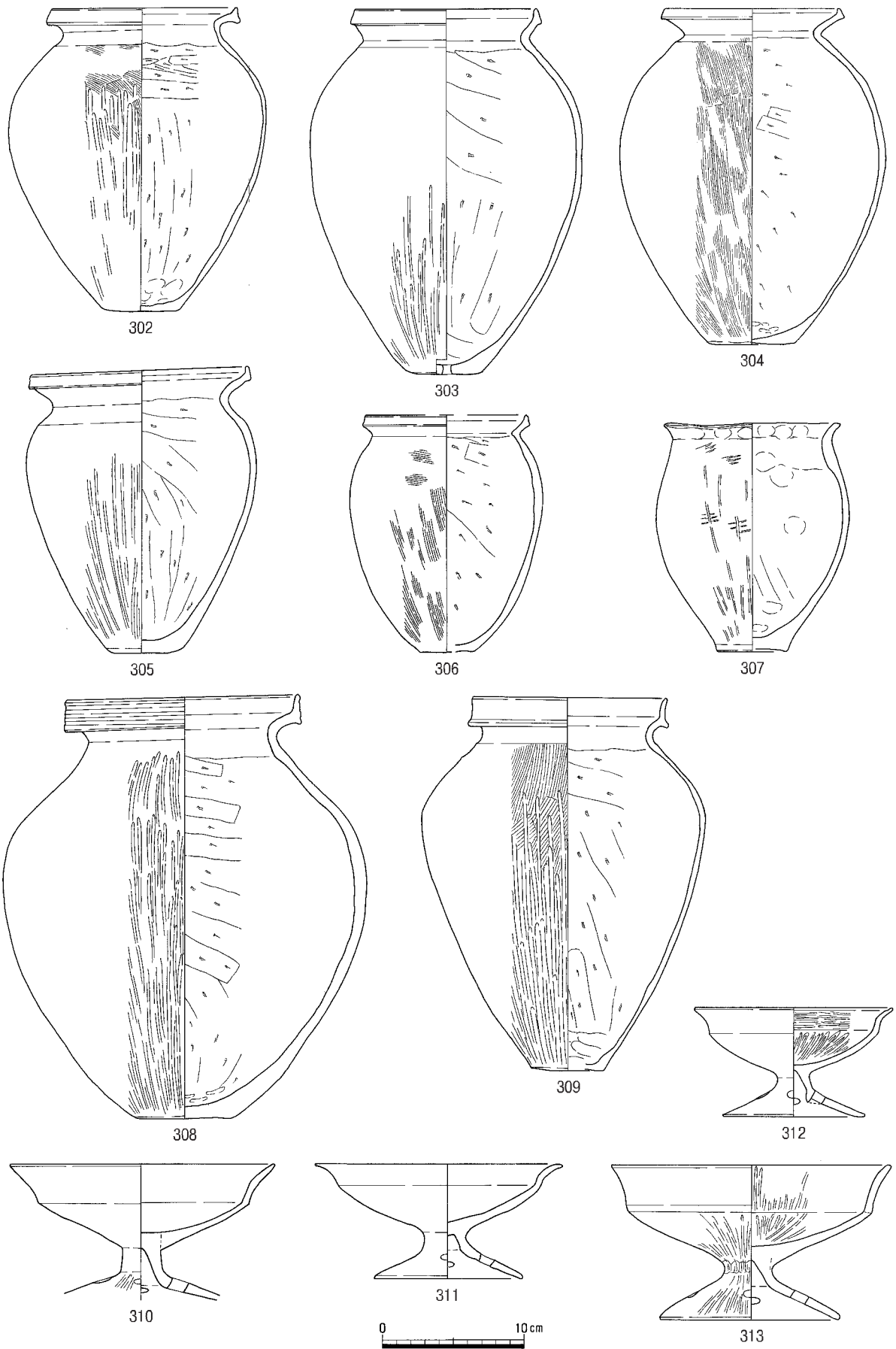
(高田)

溝13 (第71・135・136・148～151図、
図版24～27・33)

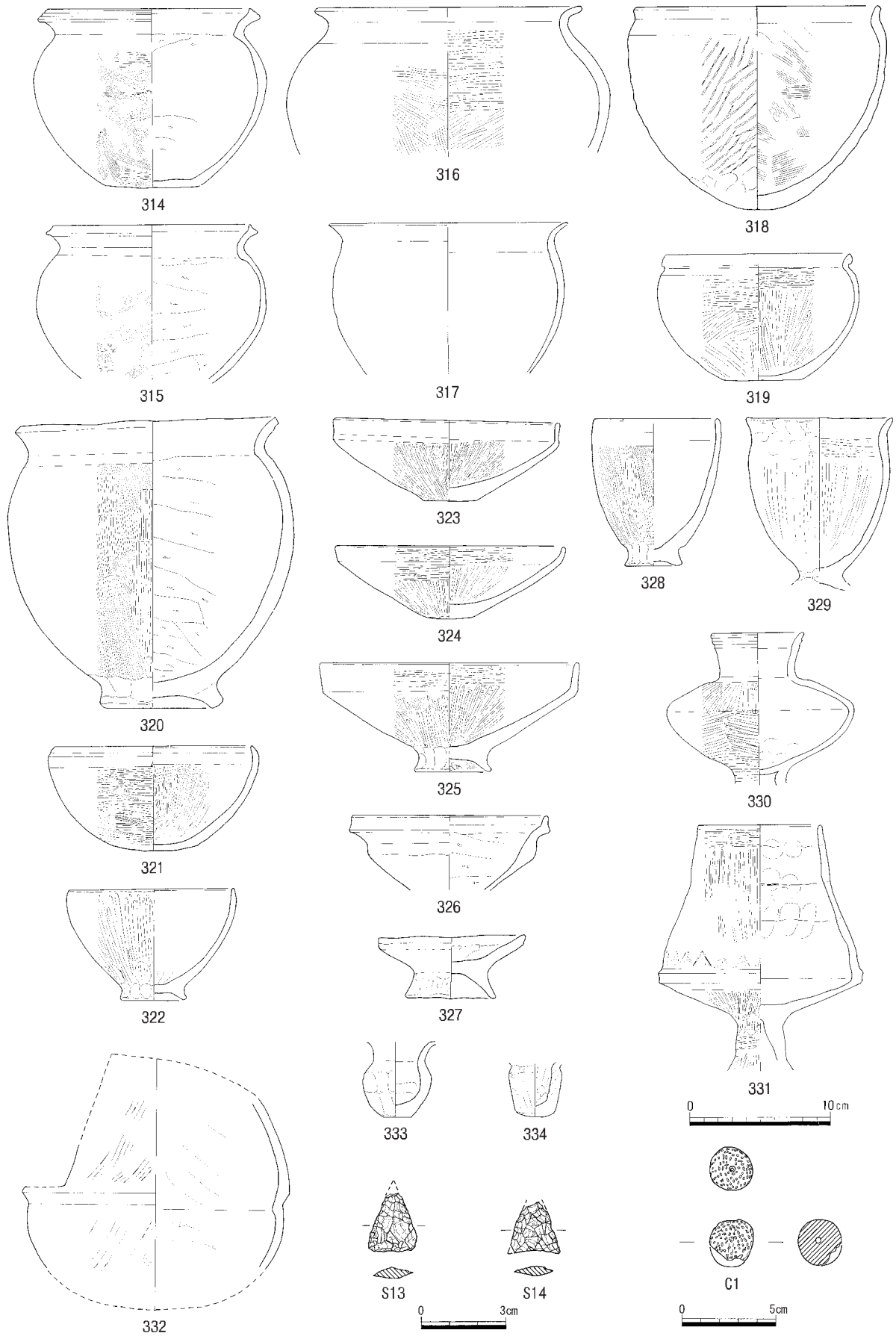
302Y区において、溝10～12から溝14が分岐する箇所がある。溝14は溝12に対応するものと考えられることから、分岐する以前の溝10・11の流れが溝13と推定される。この地点での溝の規模は、上幅215cm、底面幅70cm、検出面からの深さ53cmを測り、底面の海拔高は90cmとなる。溝13としての検出距離は短いものの、土器の出土状態は密着して重なるもので、大量の出土をみた。



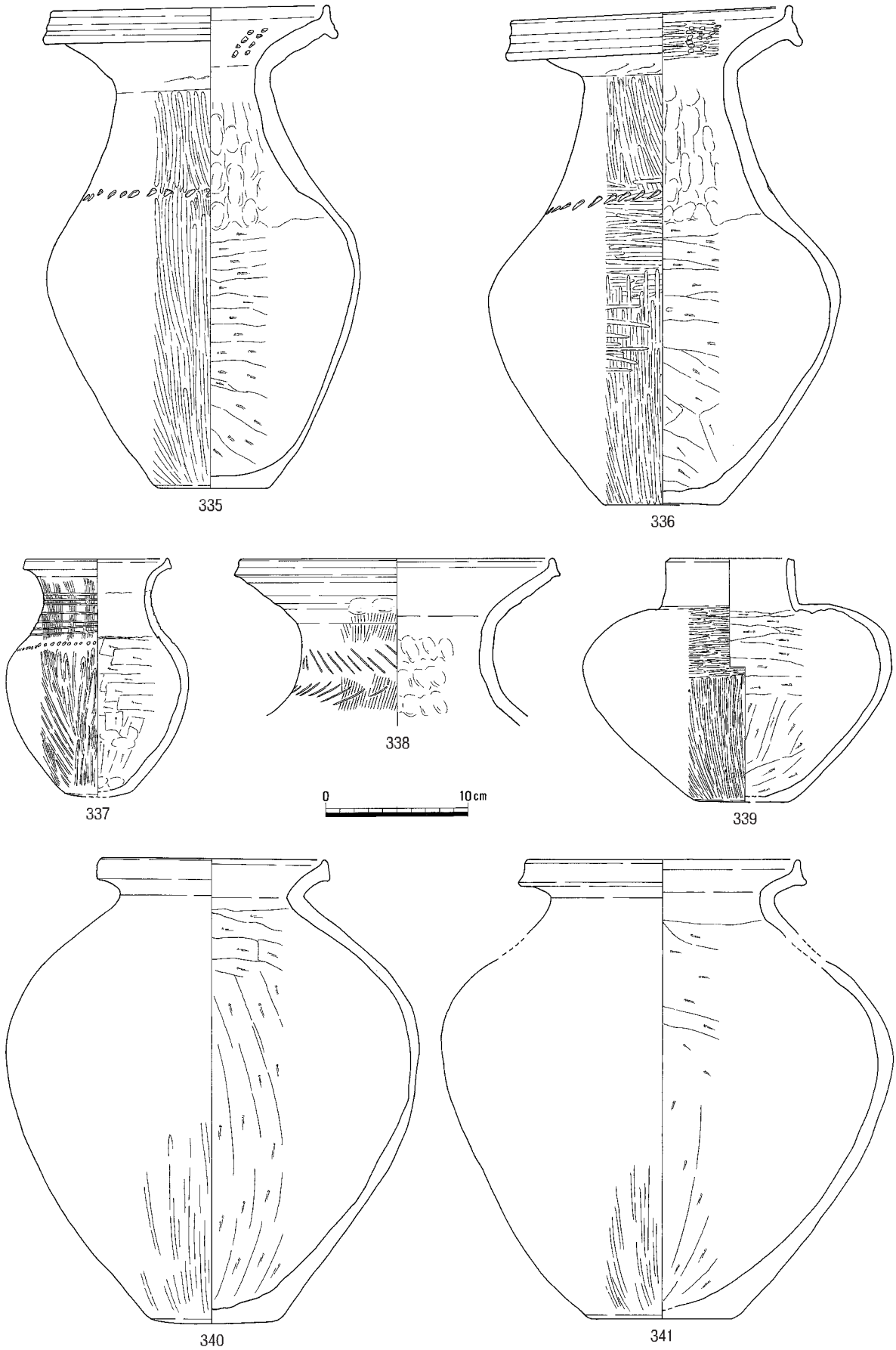
第145図 溝12南岸土器集中部出土遺物② (1/4)



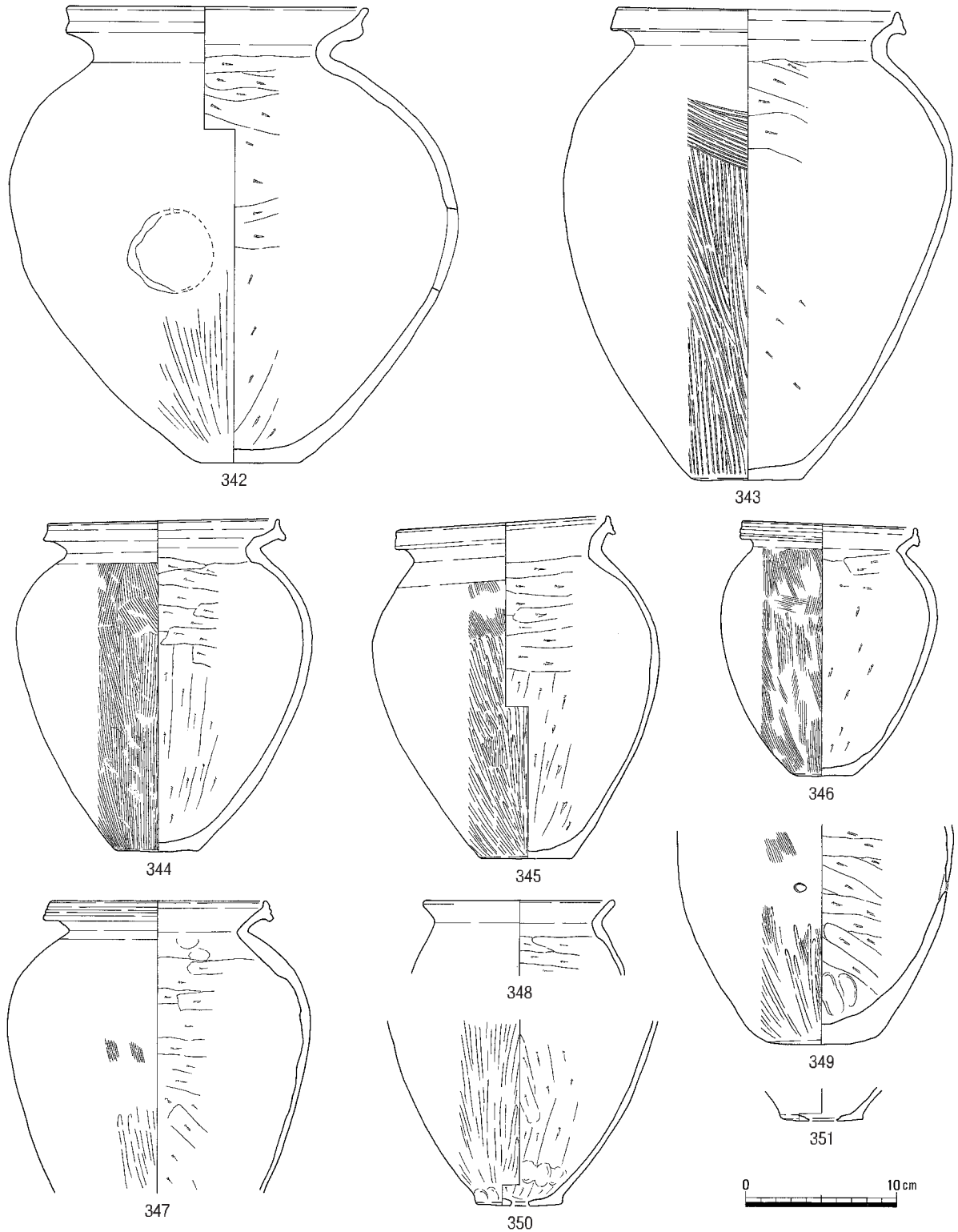
第146図 溝12南岸土器集中部出土遺物③ (1/4)



第147図 溝12南岸土器集中部出土遺物④ (1/4・1/3・1/2)

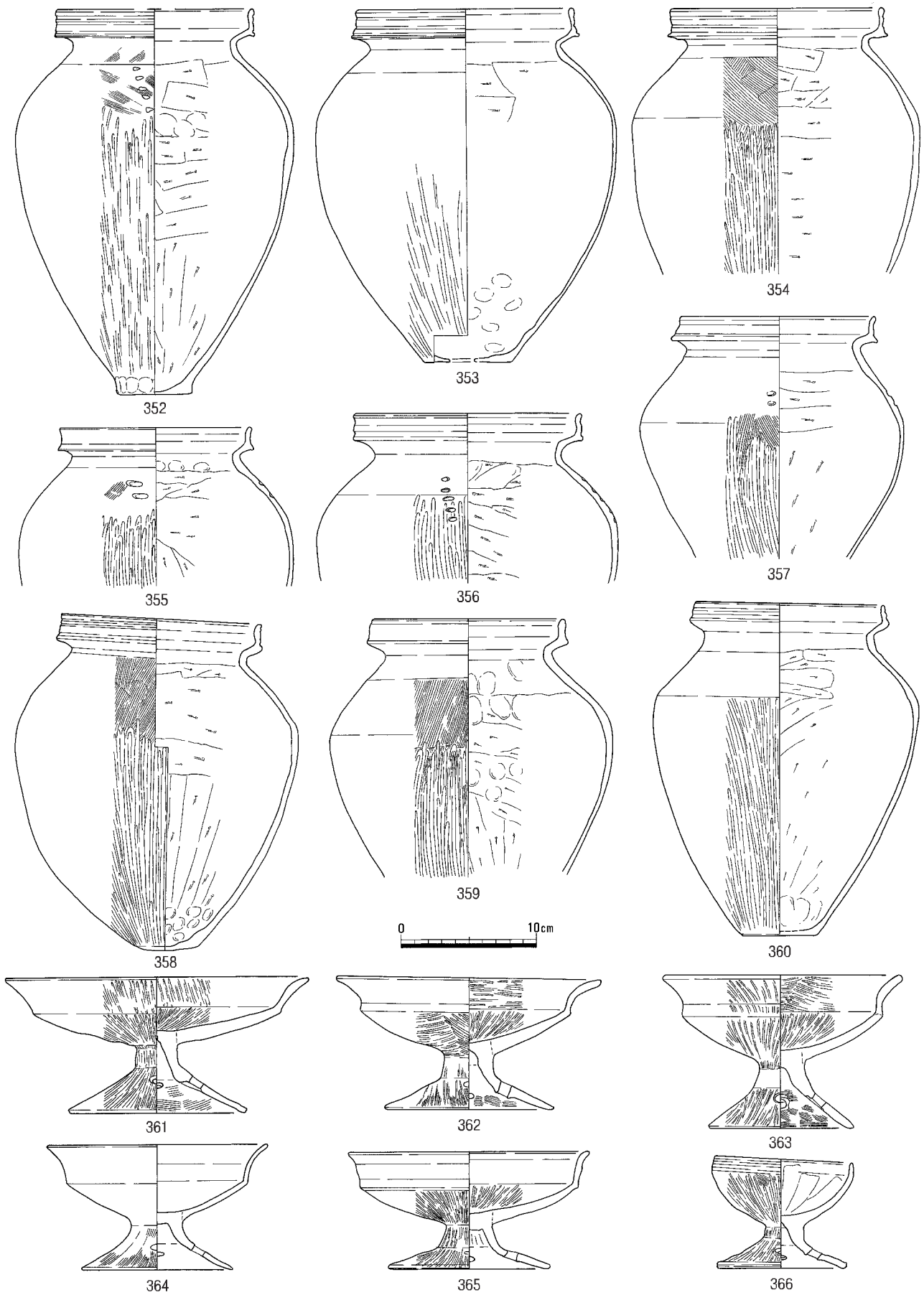


第148図 溝13出土遺物① (1/4)

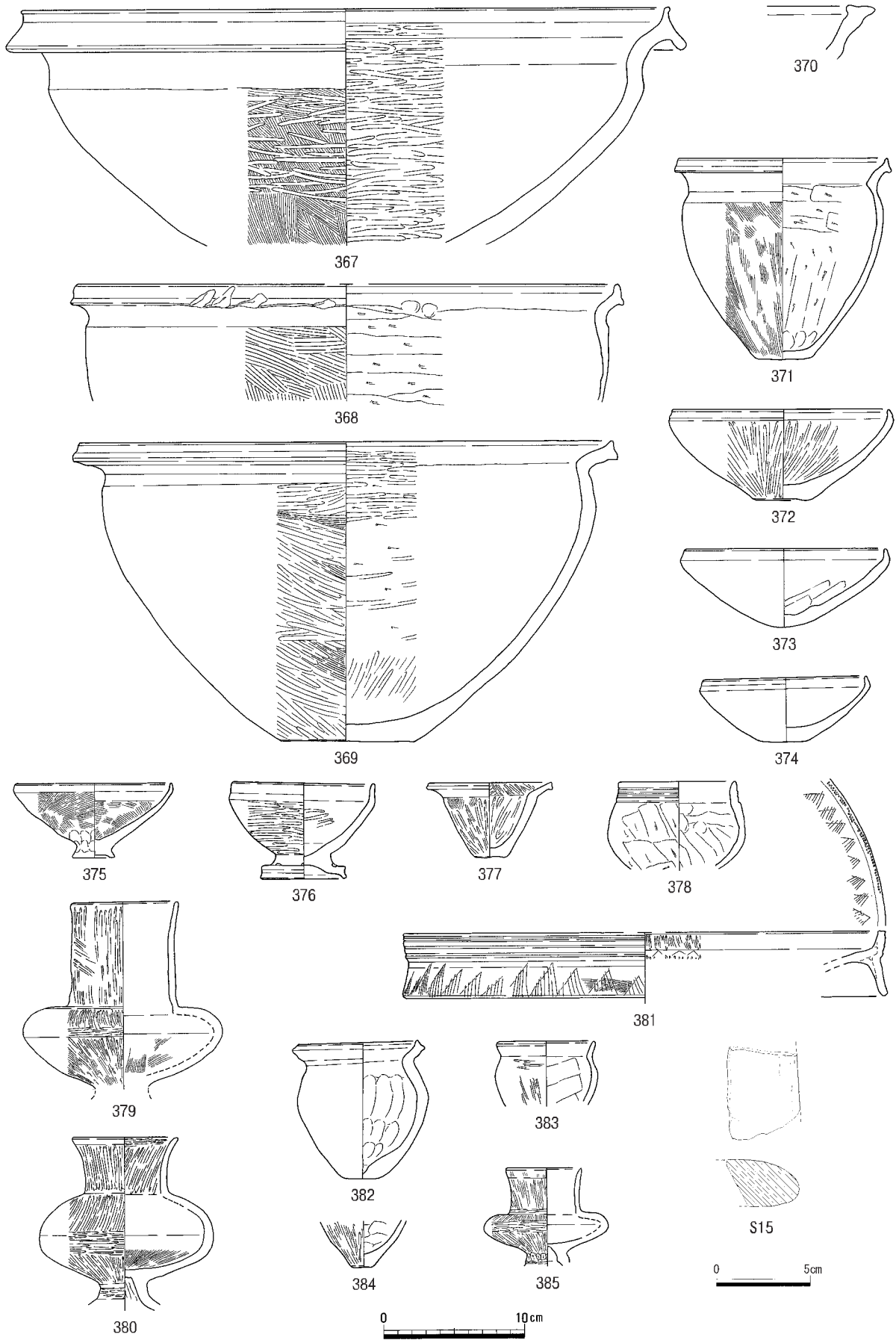


第149図 溝13出土遺物② (1/4)

掲載した土器は、長頸壺335～336、壺337～343、甕344～360、高杯361～366、鉢367～378、台付壺379～381、ミニチュア土器382～385である。壺338の頸部には、ハケ状工具の端部による二段の刺突がある。また、甕350・351の底部には、焼成後穿孔が施される。その他の遺物としては、用途不明ではあるが、使用痕のみられるS15が出土している。(高田)



第150図 溝13出土遺物③ (1/4)



第151図 溝13出土遺物④ (1/4・1/3)

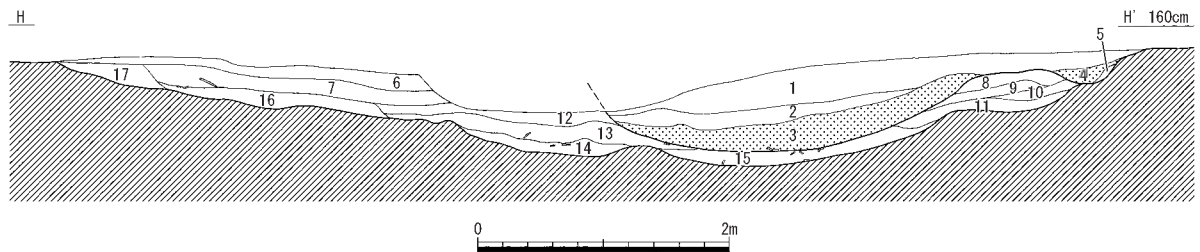
溝14 (第71・135・136図)

302X区の東端、ほぼYライン上の位置で溝10～12と分岐し、南に蛇行する溝である。溝は301・302Y区において、再び北流して水田4に注ぐ。第136図に示すように、溝の上層には、弥生時代後期末の洪水砂埋没溝である水路1が位置し、幹線用水路と考えられる溝群の中でも、水路1の直前の溝と考えられる。なお、溝10・11の段階の溝として、直線的に流れる先述の溝13がある。本溝は、溝12段階の溝から続くものと考えられる。(高田)

溝15 (第71・133・152～156図、写真12～14、巻頭図版6-3、図版10-3・27・31・34～36・38)

302Y・W区で検出された溝である。溝としているものの、断面はなだらかな椀形を呈しており、特に西側については明瞭な肩部を検出することが困難であったこと、人為的な掘削痕跡に乏しいこと、溝の幅等が場所によって大きく異なること等から、自然流路の可能性が高い。溝底面付近には細～微砂層の互層堆積が認められ、それらには流木および植物遺体を多く含んでいた。

埋土中からは、百・後・Ⅲの時期から古墳時代前半にかけての遺物が出土している。今回の報告書においては、時期別に掲載する必要があったことから、弥生時代後期と古墳時代の項に同一の溝が番



- | | |
|---|---|
| 1 灰黄色 (2.5Y7/2) 微砂 (炭粒含) <水路2> | 10 褐灰色 (10YR5/1) 砂質土 (やや粘質) |
| 2 明オリーブ灰色 (5GY7/1) 粘質土 (流木多含) <水路2> | 11 褐灰色 (10YR4/1) 砂質土 (細砂混、炭粒・焼土粒含) |
| 3 暗オリーブ灰色 (2.5GY4/1) 細砂<洪水砂・水路2>
(オリーブ灰色 (2.5GY6/1) 細砂薄層が互層堆積) | 12 灰色 (5Y5/1) 砂質土
(やや粘質、細砂薄層が堆積、炭粒・焼土粒含) |
| 4 浅黄色 (2.5Y7/4) 微砂
(黄灰色 (2.5Y5/1) 微砂薄層が互層堆積) <洪水砂> | 13 黄灰色 (2.5Y4/1) 細砂
(黄褐色 (2.5Y5/4) 細～粗砂ブロック混、流木多含) |
| 5 灰色 (7.5Y4/1) 砂質土 (やや粘質) | 14 黒褐色 (2.5Y3/1) 粘質土 (細砂・炭粒・流木・植物遺体含) |
| 6 灰黄色 (2.5Y6/2) 砂質土 | 15 黒褐色 (10YR3/1) 粘質土 (細砂・炭粒・流木含、土器片多含) |
| 7 褐灰色 (10YR5/1) 砂質土 | 16 明黄灰色 (2.5Y5/2) 砂質土 (細～微砂層が互層堆積、炭粒含) |
| 8 黄灰色 (2.5Y5/1) 砂質土 | 17 黄褐色 (2.5Y5/3) 砂質土 |
| 9 灰色 (5Y6/1) 砂質土 (細砂薄層が互層堆積、炭粒多含) | |

第152図 溝15 (1/60)

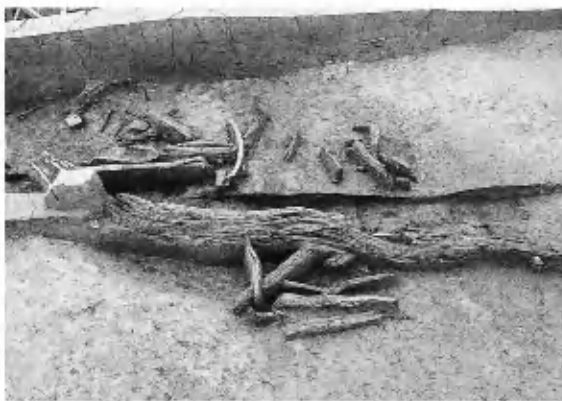


写真12 溝15流木出土状況 (北から)



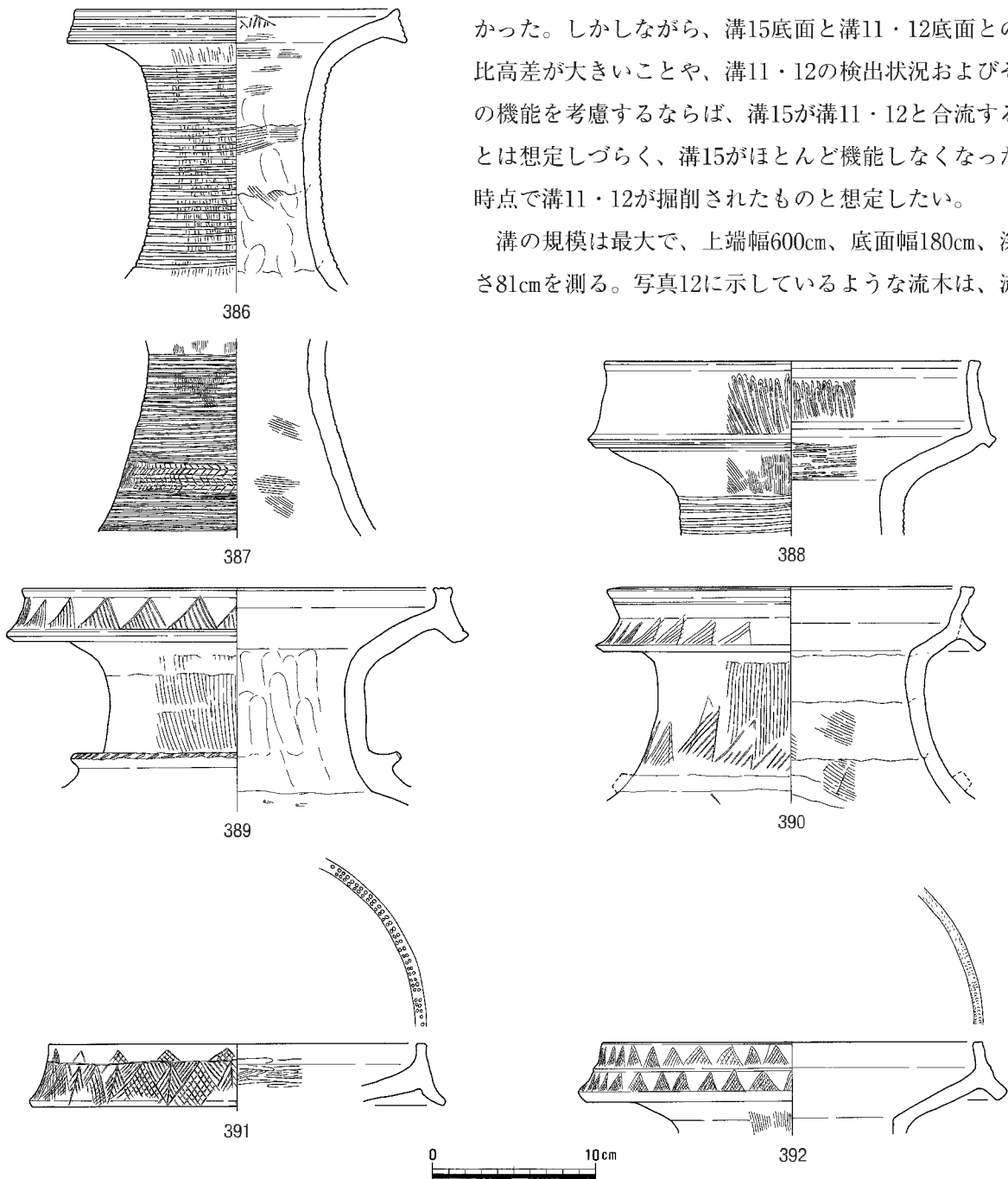
写真13 溝15鍬(W14)出土状況 (西から)

号を変えて掲載しており（古墳時代は溝33としている）、さらにこの溝の断面から洪水砂も確認されたことから、洪水砂埋没遺構の水路2でもあることをお断りしておく。ここでは、弥生時代後期に限定された内容であり、古墳時代の溝33および洪水砂埋没遺構の水路2については、当該時期において報告する。

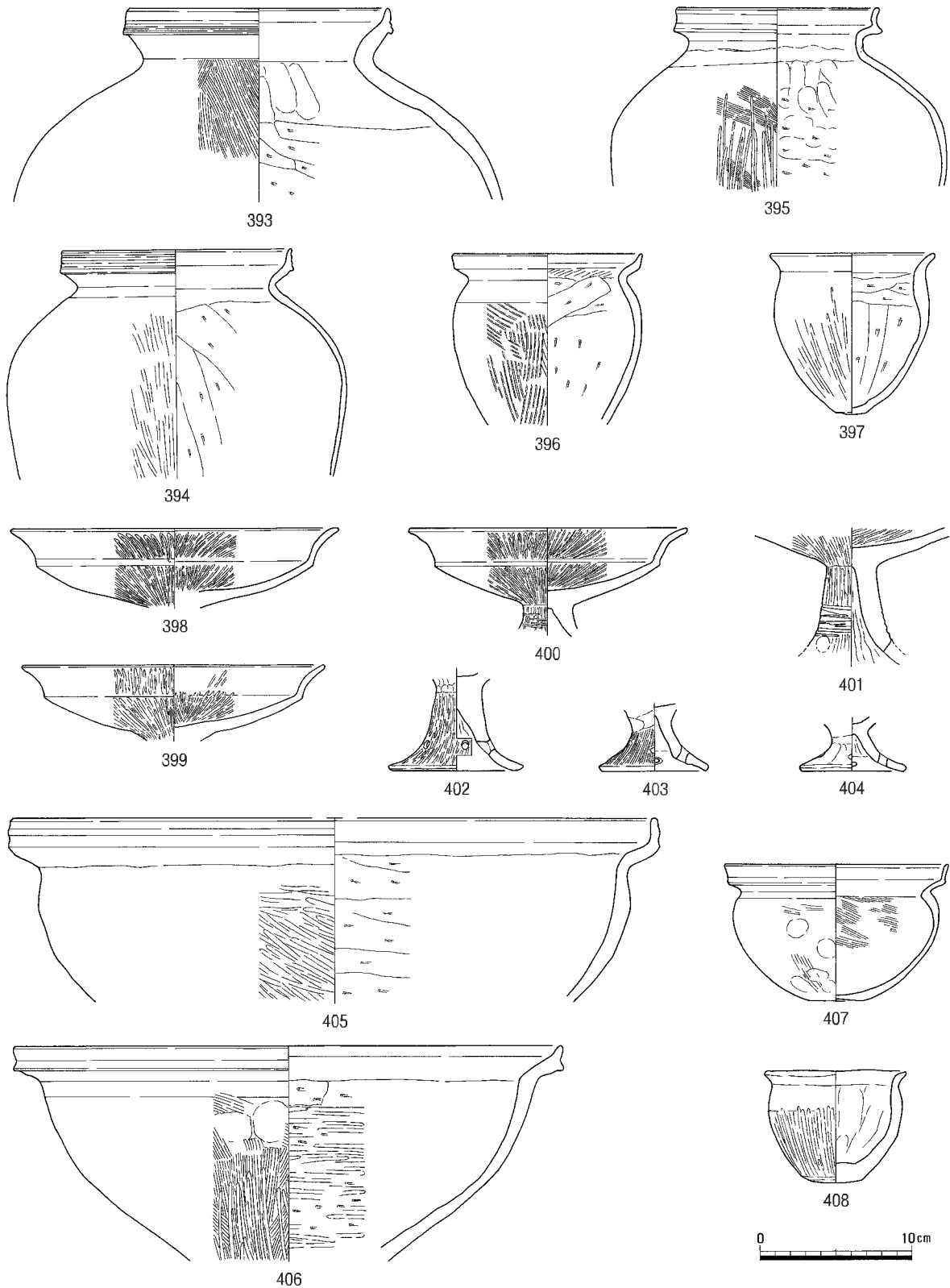
溝は北西から南東に流走したのち、流路を南に向けており、南端部は古墳時代の溝32・34によって削平されている。よって、最終的な流走方向は不明であるが、溝32の東岸にはこの溝の痕跡が認められないことから、溝32と同一の流走方向であったものと推測される。

溝11・12と完掘状態では合流しているものの、合流地点付近は古墳時代の溝34によって削平を受けているため、その先後関係を調査段階では確認できなかった。しかしながら、溝15底面と溝11・12底面との比高差が大きいことや、溝11・12の検出状況およびその機能を考慮するならば、溝15が溝11・12と合流するとは想定しづらく、溝15がほとんど機能しなくなった時点で溝11・12が掘削されたものと想定したい。

溝の規模は最大で、上端幅600cm、底面幅180cm、深さ81cmを測る。写真12に示しているような流木は、流



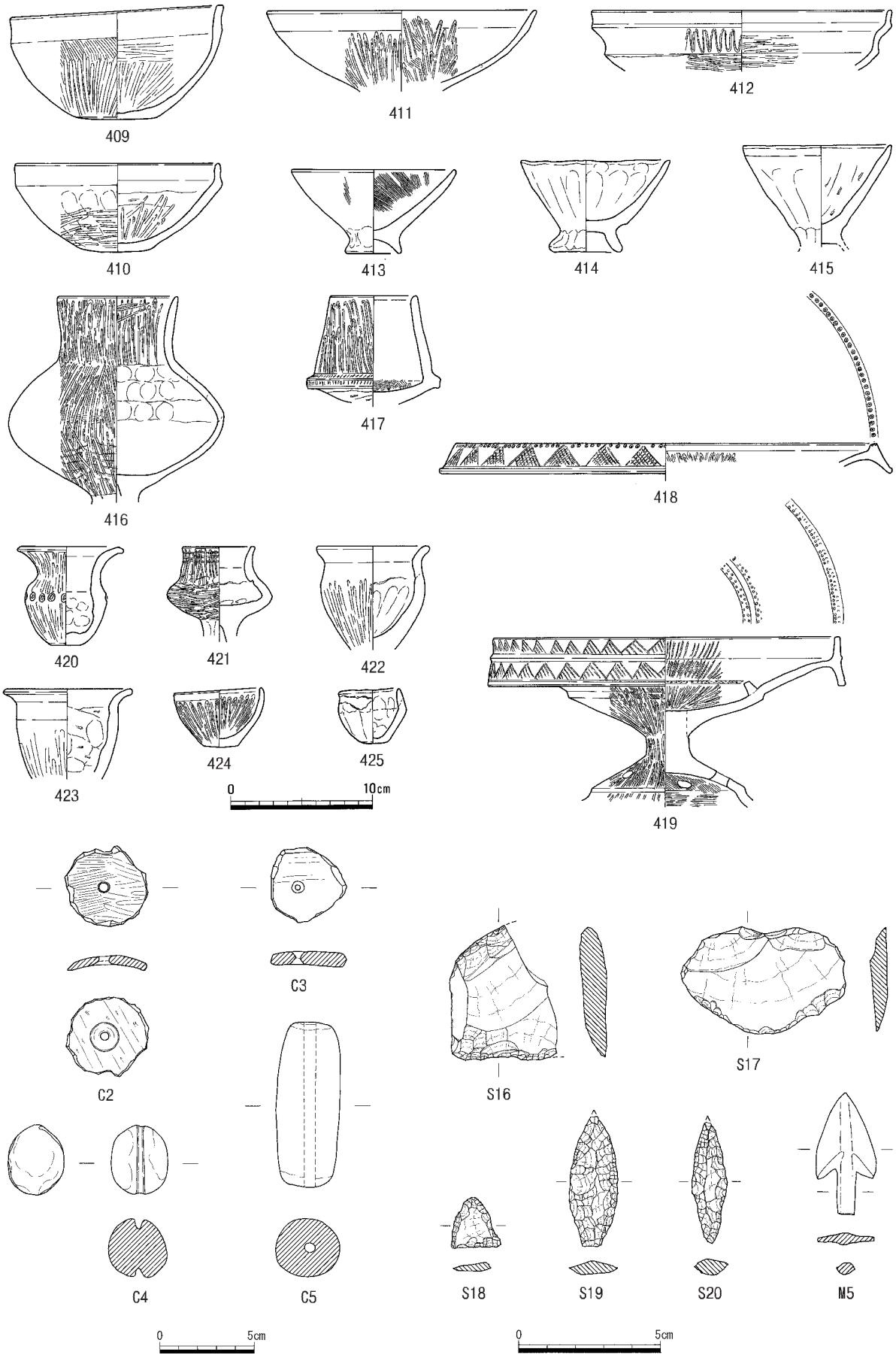
第153図 溝15出土遺物① (1/4)



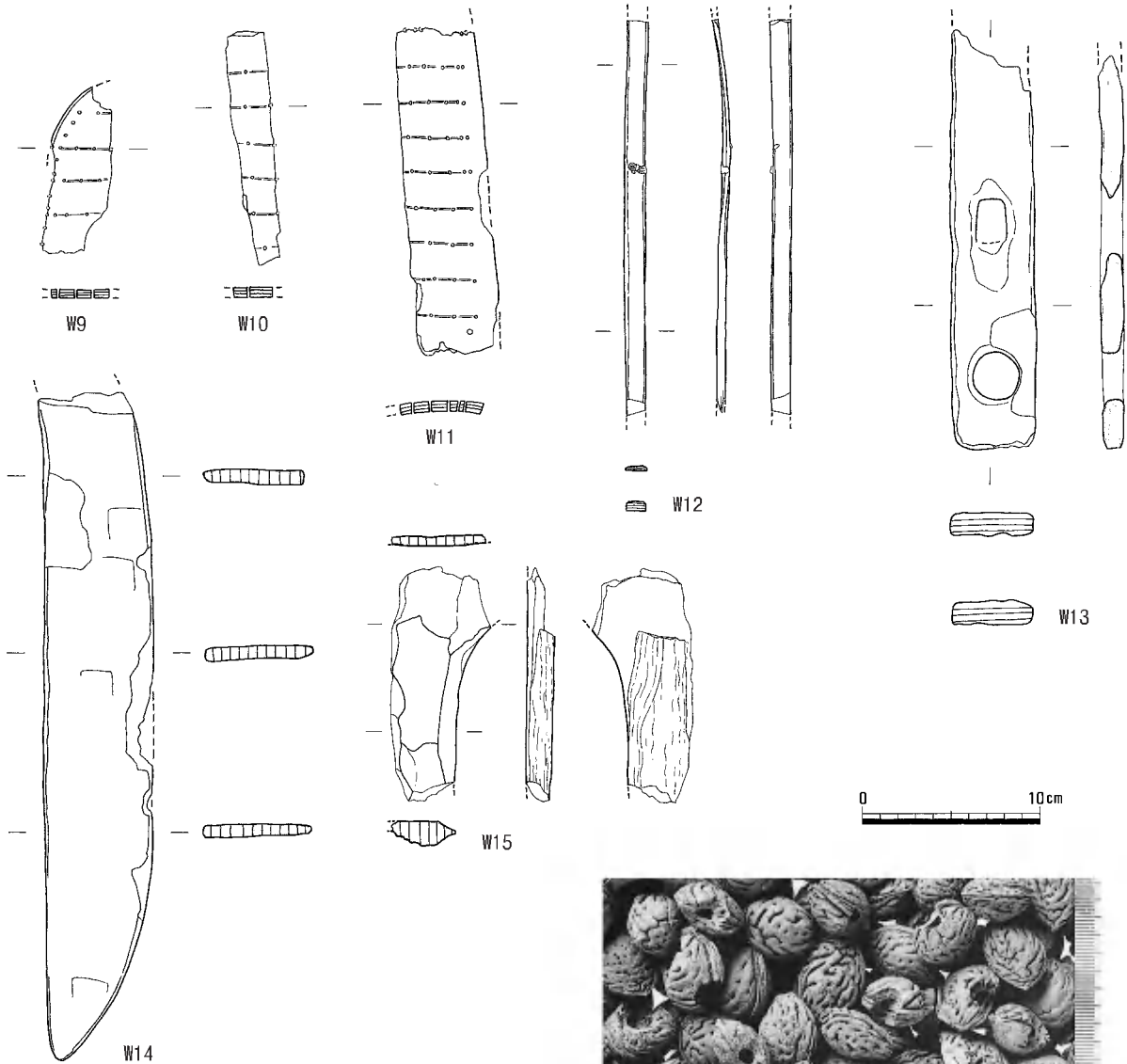
第154図 溝15出土遺物② (1/4)

路が南側へと屈曲している箇所から5～6 m南の地点で多く検出されている。これらの大部分は、小枝であったが、中には径30cm前後の丸太も認められた。

遺物は、主に溝底面直上から出土している。土器は、壺・甕・鉢などのほかに、口縁部に鋸歯文



第155図 溝15出土遺物③ (1/4・1/3・1/2)



第156図 溝15出土遺物④ (1/4)

などが施された高杯418・419や420～425のミニチュア土器などが出土している。石器は、平基式の石鏃S18や茎部が長く大形の石鏃S19・20が出土した。M5は茎部が欠損しているものの、身部が完形の銅鏃である。W9～11は盾、W13は円形と長方形の穴を穿った何らかの部材である。W14・15は又鏃であり、W15には樹皮が残存していることから、未製品の可能性も想起させる。

その他に、モモ224個・クルミ1個・ヒョウタン類7個などの種が出土しており、モモの種にはかじられた痕跡が多く観察された。(小嶋)

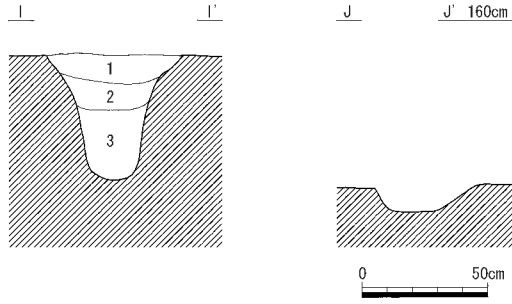
溝16 (第71・135・157図、写真15)

301X・Y区に位置する東西溝である。西端は水田3に接し、東端で水田4に注ぐもので、上幅41～53cm、深さ49cm、底面の標高85～97cmを測る。断面形は上部がやや広がる「U」字形を呈する。

本溝は、水田3から取水して水田4に配水する用水路と考えられ、水田4の取水部が徐々に西側へ



写真14 溝15出土モモの種

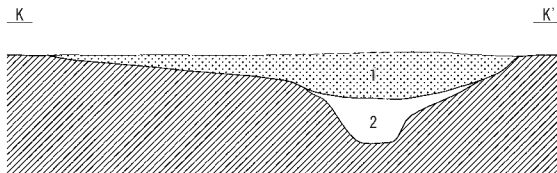


- 1 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂
(砂質強、炭・焼土粒・土器片含、Mn 沈着)
- 2 にぶい黄橙色 (10YR7/3) 粘質微砂
(第1層より粘質強、炭・焼土粒少含、Fe・Mn 沈着)
- 3 褐灰色 (10YR6/1) 粘質微砂
(第2層より粘質強、炭・焼土粒含、Fe 沈着)

第157図 溝16 (1/30)



写真15 溝16断面 (東から)

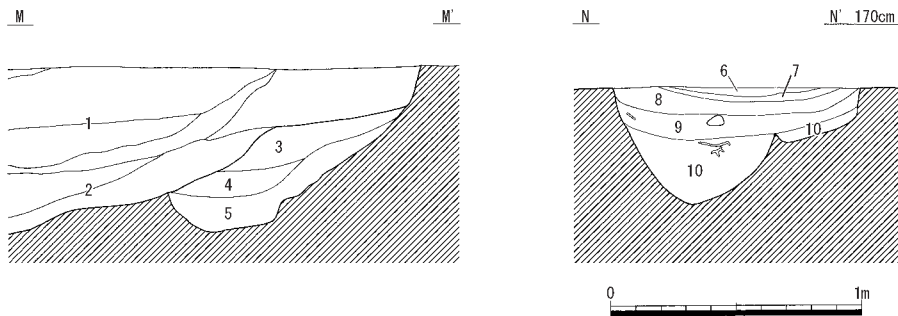


- 1 黄褐色 (2.5Y5/4) 微砂 (Mn の沈着)
<洪水砂・水路3>
- 2 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂<溝17>

第158図 溝17 (1/30)

拡大した状況を示すことから、溝10・11よりも新しい段階に機能したものと推定される。(高田)
溝17 (第71・135・158図)

溝17は301・302X・Y区に位置する。底面の標高123~133cmを測る。上層に百・後・IV期の洪水砂が堆積しており、水路3として後述する。溝17は水田3と水田4を連結しており、この溝の標高が、水田3・4の田面標高よりかなり高いと推定されることから、水田3の水が増えたときに水田4へ水を分配したものと考えられる。時期は、水路3との関係から百・後・IV以前である。(高田)



- 1 <水田3関連土層>
- 2 <水田5関連土層>
- 3 灰色 (10Y5/1) 粘質微砂 (炭粒含)
- 4 灰色 (10Y4/1) 粘質微砂 (炭粒含)
- 5 オリーブ灰色 (10Y6/2) 粘質微砂
・オリーブ黄色 (7.5Y6/3) 粘質土ブロックの混合
- 6 浅黄色 (2.5Y7/4) 微砂 (炭・焼土粒含、Mn 沈着)
- 7 浅黄色 (2.5Y7/4) 微砂 (炭・焼土粒含)
- 8 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘質微砂 (砂質強、炭・焼土粒含)
- 9 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘質微砂
- 10 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質微砂 (粘質強、土器片含)

第159図 溝18 (1/30)

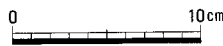
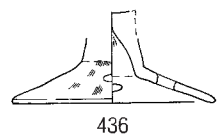
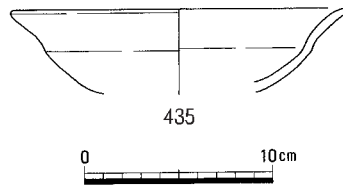
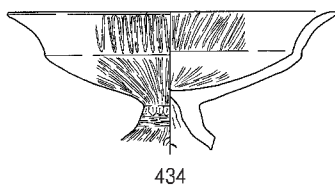
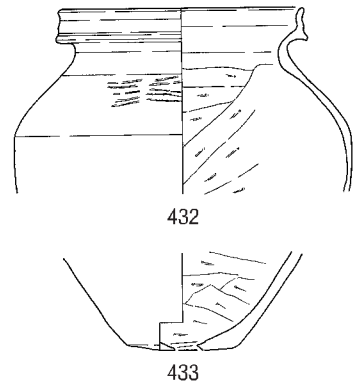
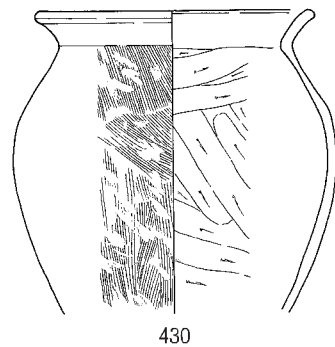
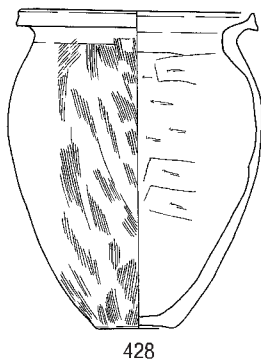
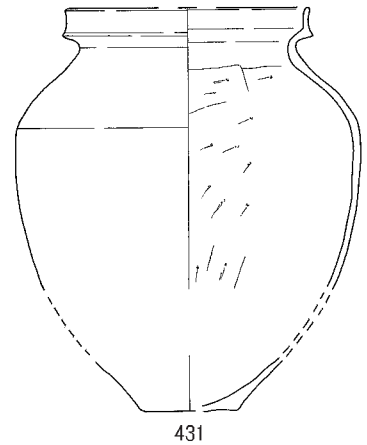
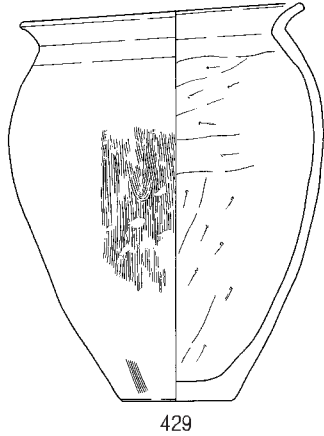
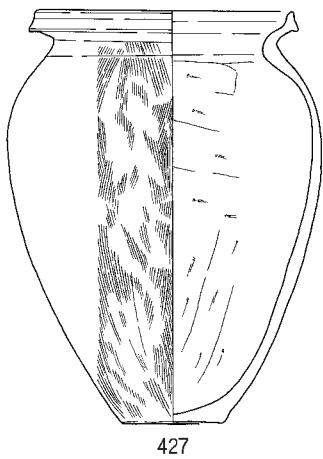
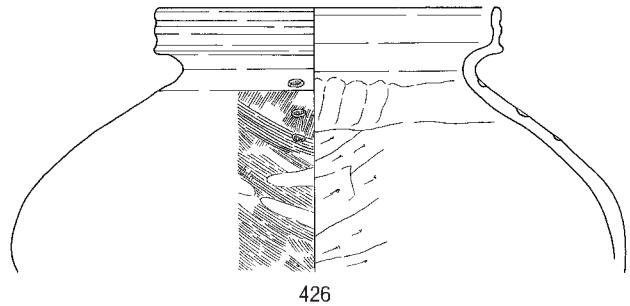
溝18 (第71・135・159～161図、図版27・28)

溝18は301・302X区に位置する。上幅は98cm、検出面からの深さ50～46cm、底面標高88～99cmを測る。北端部は水田3と接する地点で屈曲して西へ曲がっている。底面には流路が2条見られる。水田3と溝11・12を繋ぐ溝と考えられ、おそらく、水田3の水を分配して水田4へ導くための溝と思われる。溝18は掘立柱建物23と溝21を切っている。埋土中から比較的多くの土器が出土した。その土器の特徴から溝18の時期は百・後・Ⅲと推定される。(高田)

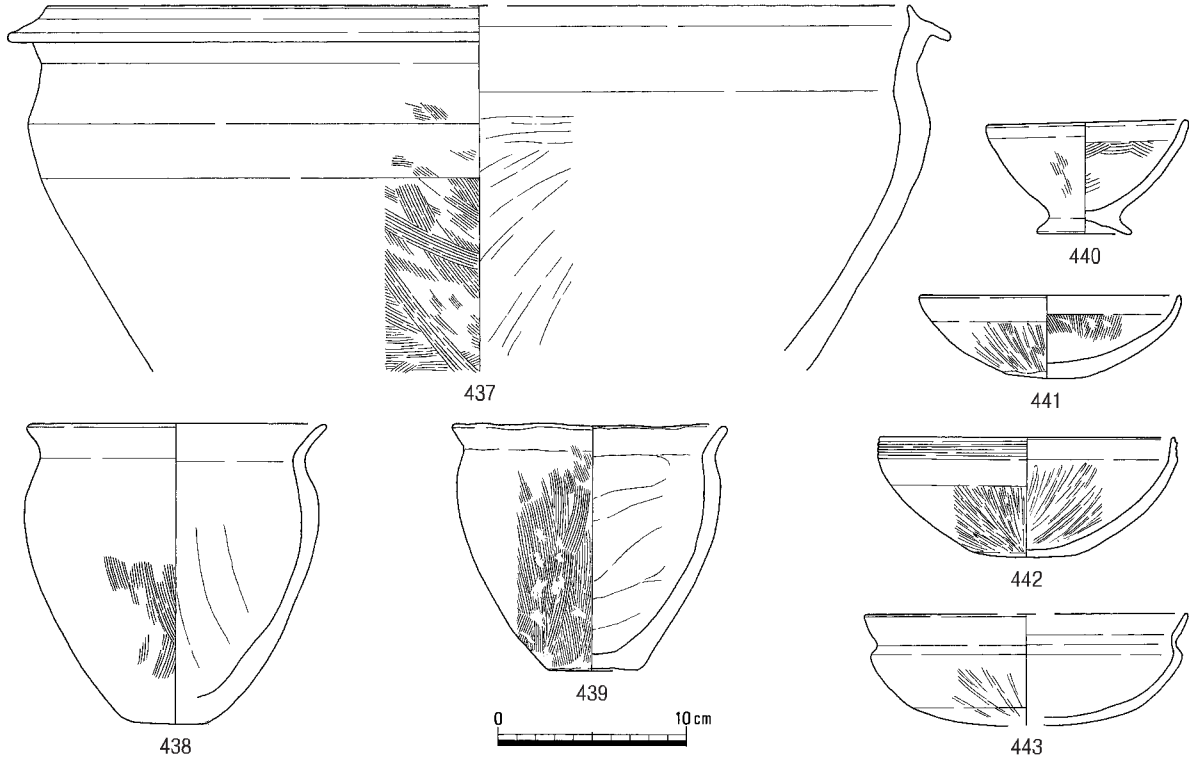
溝19 (第71・133・162図)

302U・V区から検出された溝である。西端部は、南北トレンチにより削平を受けていることと、溝底面の標高が西へ向かうにしたがい高くなっていくため、確認できなかった。規模は、上端幅98cm、底面幅63cm、深さ9cmを測る。

検出状況から、百・後・Ⅲの時期までには埋没したと思われる。(小嶋)



第160図 溝18出土遺物① (1/4)



第161図 溝18出土遺物② (1/4)

溝20 (第71・133・163図)

302・303T～V区から検出された。溝11・12と同様に、流走方向は北西から南東である。北西端部の切り合い状況から、溝10～12よりも古い。規模は、上端幅120～51cm、底面幅60～30cmであり、断面形は椀～皿形を呈する。

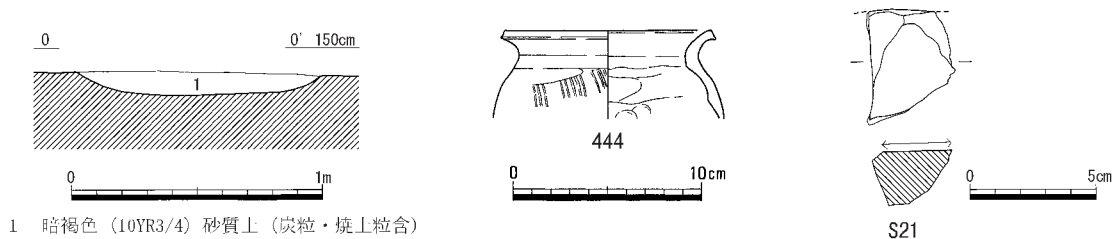
出土した土器の特徴から、遺構の時期は、百・後・Ⅲに比定される。 (小嶋)

溝21 (第71・135・164図)

溝21は301・302X・Y区に位置する。緩く湾曲しながら、西から北東方向へ延びている。溝21の西方は古墳時代の大溝(溝32)によって削平され、北東方は調査区外と続いていることから、具体的にその機能を推定することは難しい。溝21は百・後・Ⅲ期に属する多くの遺構に切られており、百・後・Ⅲ期には埋没していたと考えられる。 (高田)

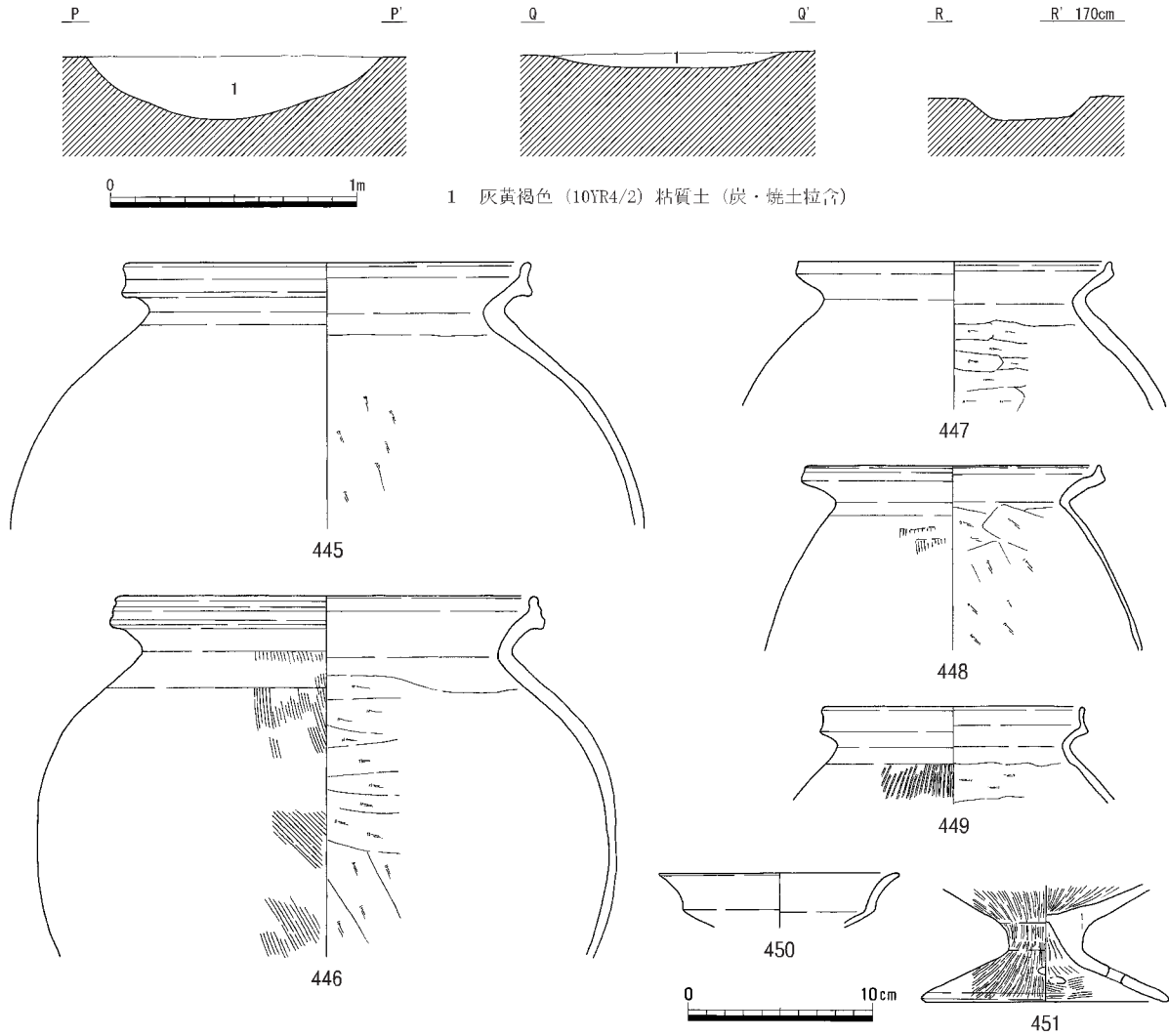
溝22 (第71・135・165図、写真16、図版10-2)

溝22は301～303Y・Z区にかけて検出された。北から南東へ湾曲しながら延びており、その両端は調査区外へ出て行く。上幅約212cm、検出面からの深さ約73cm、底面標高77～73cmを測り、断面は逆



1. 暗褐色(10YR3/4)砂質土(炭粒・焼土粒含)

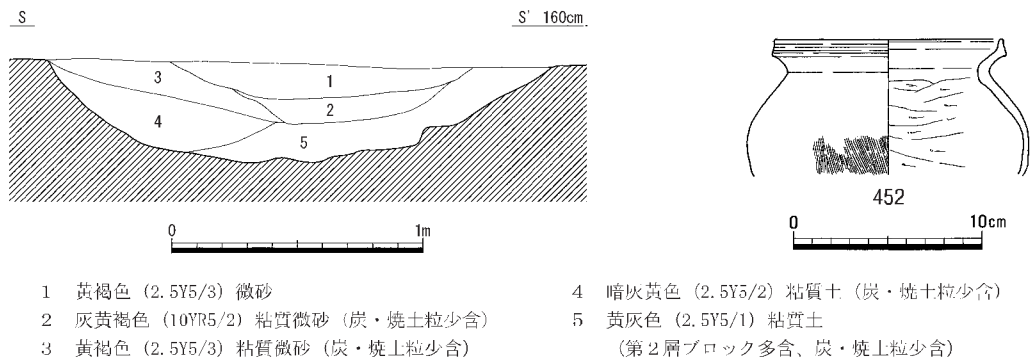
第162図 溝19 (1/30)・出土遺物 (1/4・1/3)



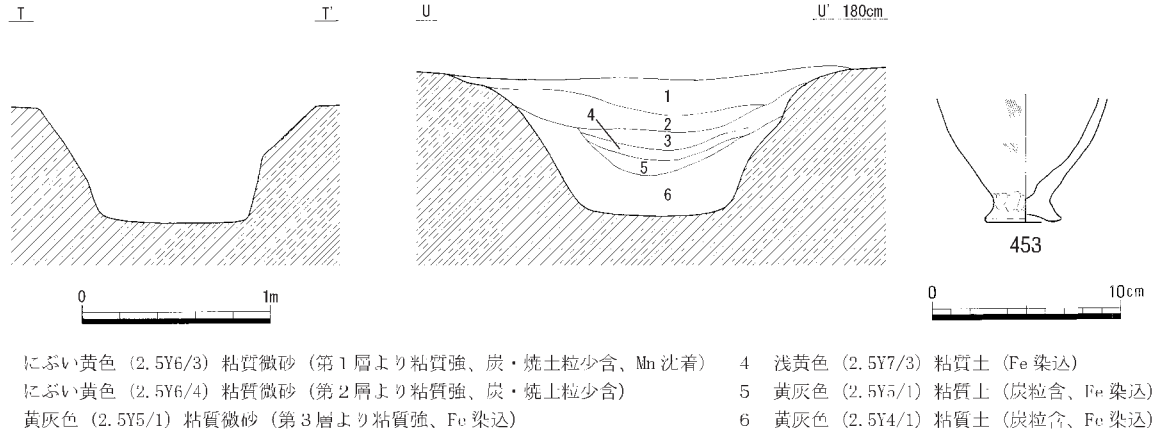
第163図 溝20 (1/30)・出土遺物 (1/4)

台形を呈するしっかりした溝である。この溝の機能は推定し難い。溝14・16に切られ、溝23を切っている。埋土上層から製塩土器453が出土したことから、溝22の時期は百・後・Ⅲ期以前である。(高田) 溝23 (第71・135・166図)

溝23は301Y区、調査区北端部で検出した。断面は椀形を呈し、底面標高は97cmを測る。溝東端部は水田4に接続していると考えられ、水田4の用水路の可能性がある。溝22に切られ、溝21との関係



第164図 溝21 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第165図 溝22 (1/40)・出土遺物 (1/4)

は不明。溝23の時期は、遺構の切り合い関係から百・後・Ⅲ期以前と考えられる。(高田)

溝24 (第71・133・167図)

302U区から検出された、上端幅33cmを測る溝である。断面形は「U」字形を呈し、検出面から25cmの深さを測る。この溝の続きが、溝10～12の南側には確認されなかったことから、溝10～12に流れ込む溝もしくは土壇25・26のように掘立柱建物に付随する溝の可能性が指摘できよう。出土遺物の特徴から、遺構の時期は、百・後・Ⅲに比定される。(小嶋)

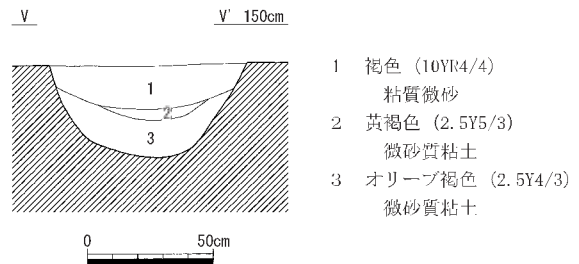


写真16 溝22 (西から)

溝25 (第71・133・168図)

溝10埋没後に掘削された溝である。上端幅18cm、深さ7cmを測る。検出状況から、土壇25・26と同様な性格であったとも考えられる。

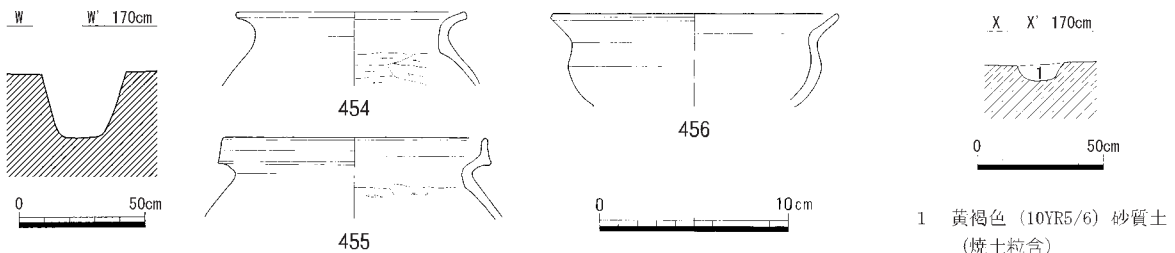
遺構の時期は、後期の範疇に収まる。(小嶋)



溝26 (第71・133・169図)

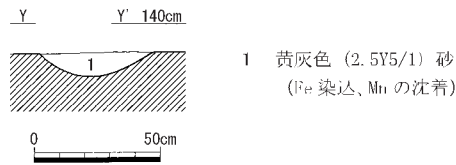
302V・W区から検出された。溝33によって南北両側が削平され、溝10を切っている溝であ

第166図 溝23 (1/30)

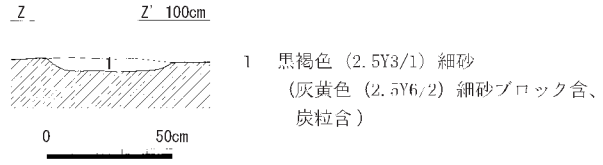


第167図 溝24 (1/30)・出土遺物 (1/4)

第168図 溝25 (1/30)



第169図 溝26 (1/30)



第170図 溝27 (1/30)

る。断面は椀形を呈し、溝底面にはマンガンの沈着が認められる。時期の特定ができる遺物は出土していないが、検出状況から、遺構の時期は後期の範疇に収まる。(小嶋)

溝27 (第71・133・170図)

302W区から検出され、溝26と同様に、溝33によって南端部が削平されている溝である。上端幅50cm、底面幅34cmを測る。

遺構の時期は、検出状況から、後期の範疇に収まる。(小嶋)

溝28 (第71・133・171図)

303T・U区から検出された、上端幅136cm、底面幅119cm、検出面からの深さ5cmの溝である。人為的な掘削痕跡に乏しく、たわみとした方が良くもしい。時期の特定ができる遺物は出土していないが、検出状況から、遺構の時期は後期の範疇に収まる。(小嶋)

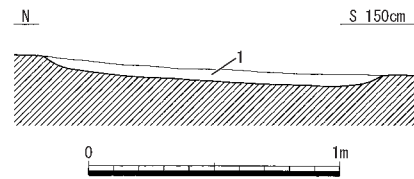
溝29 (第71・172図)

303W区に位置しており、その検出長はわずかに3mを測るのみである。深さは、検出面から10cmを測る。掘立柱建物24に隣接しているものの、棟方向と平行していないことから、掘立柱建物24に附属する遺構とは考えにくい。遺構の時期は、後期の範疇に収まる。(小嶋)

溝30 (第71・173図)

溝29の北東側、約3mに位置し、検出長約2mの溝である。上端幅51cm、底面幅40cm、深さ6cmを測る。埋土中には炭・焼土粒を含んでいた。

遺物は、図化不可能な小片であるものの、百・後・Ⅲ～Ⅳの土器が出土した。(小嶋)

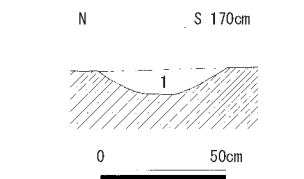


1 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質土

第171図 溝28 (1/30)

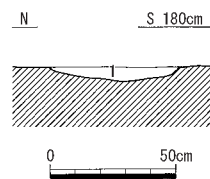
溝31 (第71・174図)

上端幅30cm、底面幅15cmを測り、溝30よりも規模が小さくなっているものの、検出位置などから、溝30の続きと想定される溝である。検出長は約3m強である。溝底面にはマンガンが沈着していた。(小嶋)



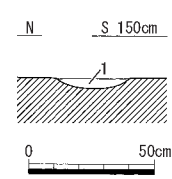
1 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質微砂 (砂質強、Fe 染込、Mn の沈着)

第172図 溝29 (1/30)



1 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質微砂 (砂質強、炭・焼土粒含)

第173図 溝30 (1/30)



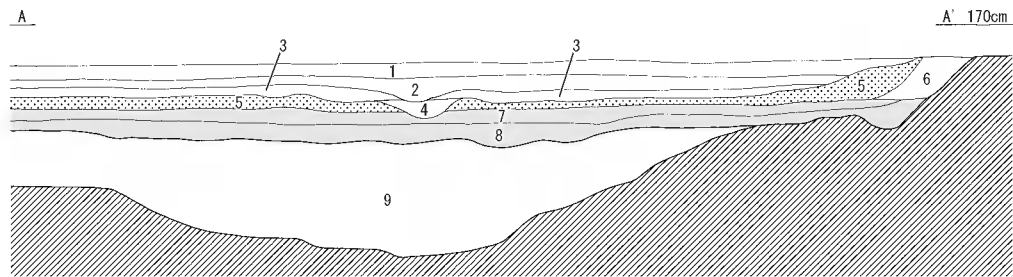
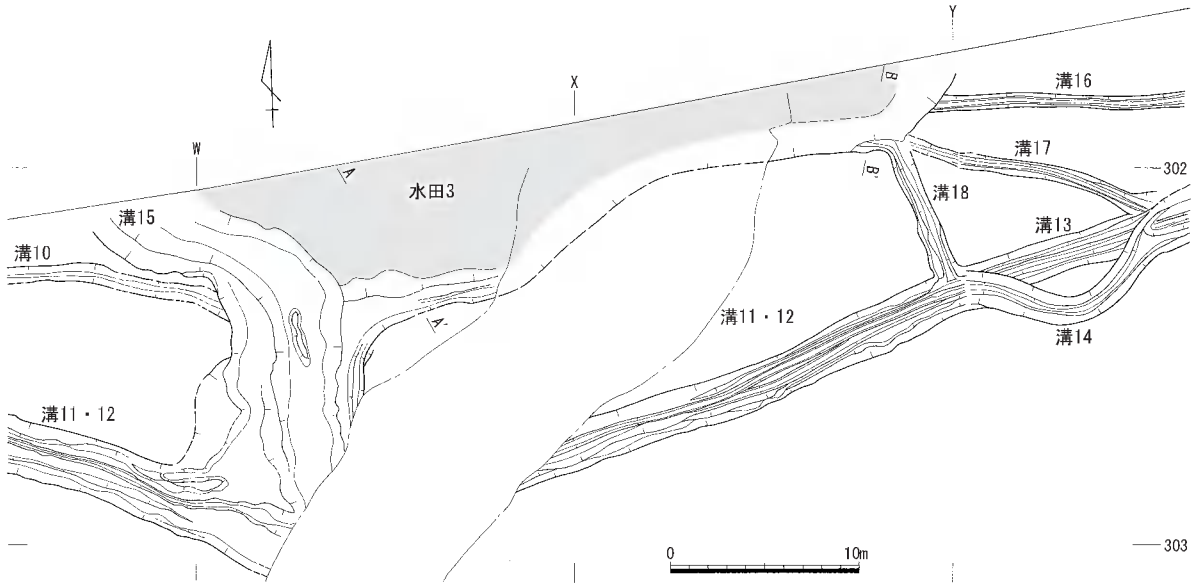
1 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒少含、Mn 沈着)

第174図 溝31 (1/30)

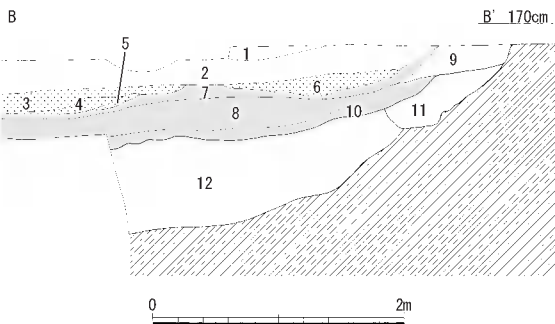
8 水田

水田3 (第71・175・176図、巻頭図版4-2)

301・302W・X区に位置する水田で、北側の調査区外へと広がるものと推定される。弥生時代中期の溝8の埋没後に拓かれ、後期の溝15や古墳時代の溝32に大きく切られる。また、東端では溝18を当

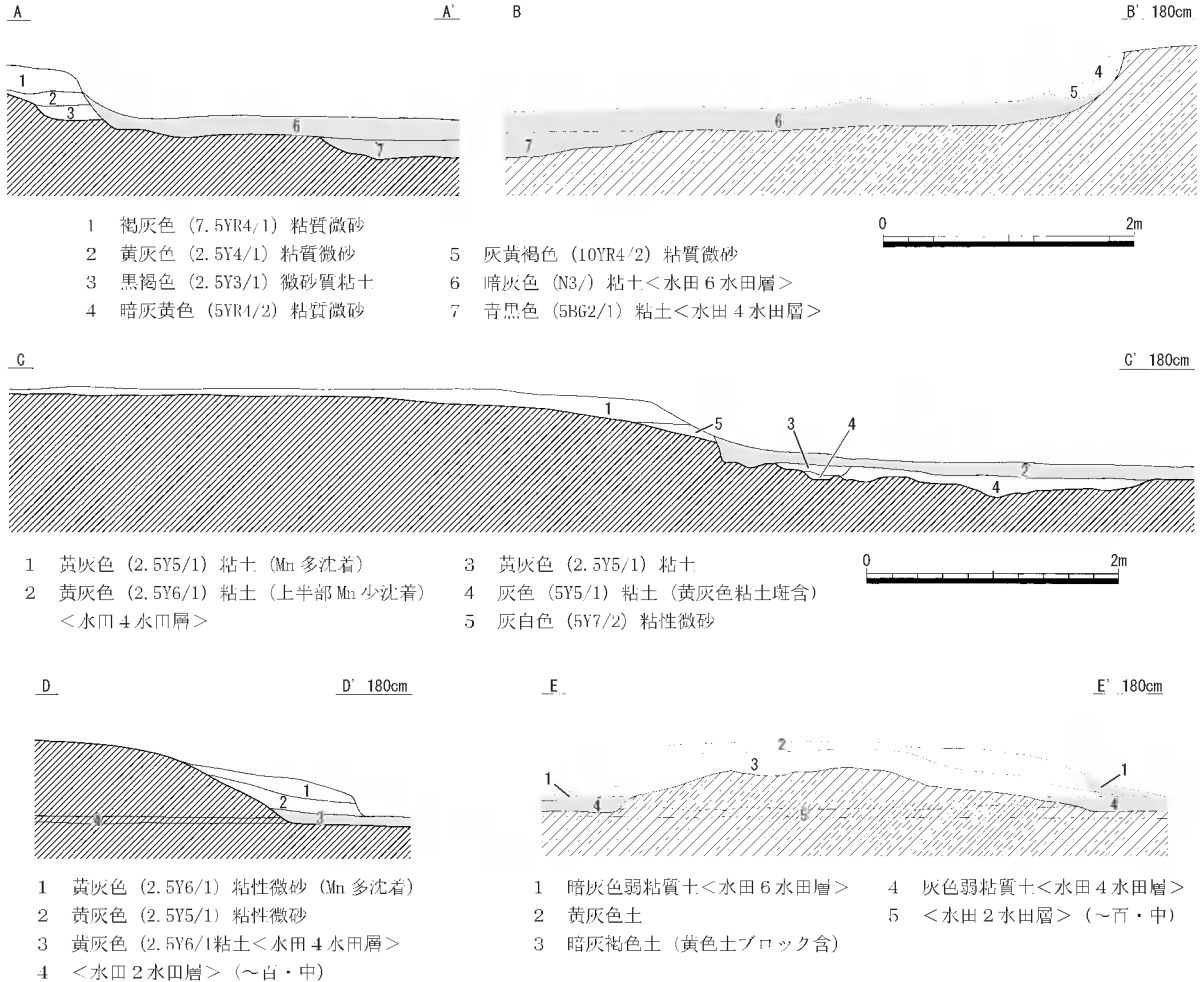


- | | |
|---|---|
| 1 黄灰色 (2.5Y5/1) 砂質土 | 6 褐灰色 (10YR5/1) 砂質土 (炭粒含) |
| 2 黄灰色 (2.5Y6/1) 砂質土 | 7 黄灰色 (2.5Y4/1) 砂質土 (細砂含、炭粒多含) <水田5水田層> |
| 3 黄灰色 (2.5Y5/1) 砂質土 | 8 黄灰色 (2.5Y5/1) 砂質土 (炭粒含) <水田3水田層> |
| 4 灰色 (5Y5/1) 粘質土<溝35> (古・前) | 9 <溝8> (~百・中・III) |
| 5 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 微砂と
黄灰色 (2.5Y5/1) 微砂の互層<洪水砂> | |



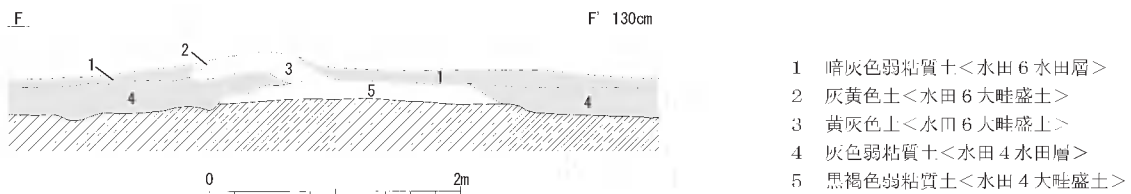
- | |
|--|
| 1 黄灰色 (2.5Y5/1) 砂質土 |
| 2 灰色 (10Y6/1) 微砂 |
| 3 オリーブ灰色 (10Y6/2) 微砂<洪水砂> |
| 4 浅黄色 (7.5Y7/3) 微砂<洪水砂> |
| 5 灰オリーブ色 (7.5Y6/2) 微砂 (炭粒少含) <洪水砂> |
| 6 オリーブ灰色 (10Y6/2) 微砂 (第2層ブロック含) <洪水砂> |
| 7 灰色 (7.5Y5/1) 粘質微砂 (炭粒多含) <水田5水田層> |
| 8 オリーブ灰色 (2.5GY5/1) 粘質微砂 (炭・焼土粒少含)
<水田3水田層> |
| 9 暗オリーブ色 (7.5Y4/3) 粘質微砂 (炭粒少含) |
| 10 暗オリーブ灰色 (2.5GY4/1) 粘質微砂 (炭粒含) <水田3水田層> |
| 11 <溝18> (百・後) |
| 12 <溝8> (~百・中・III) |

第175図 水田3 (1/400・1/60)

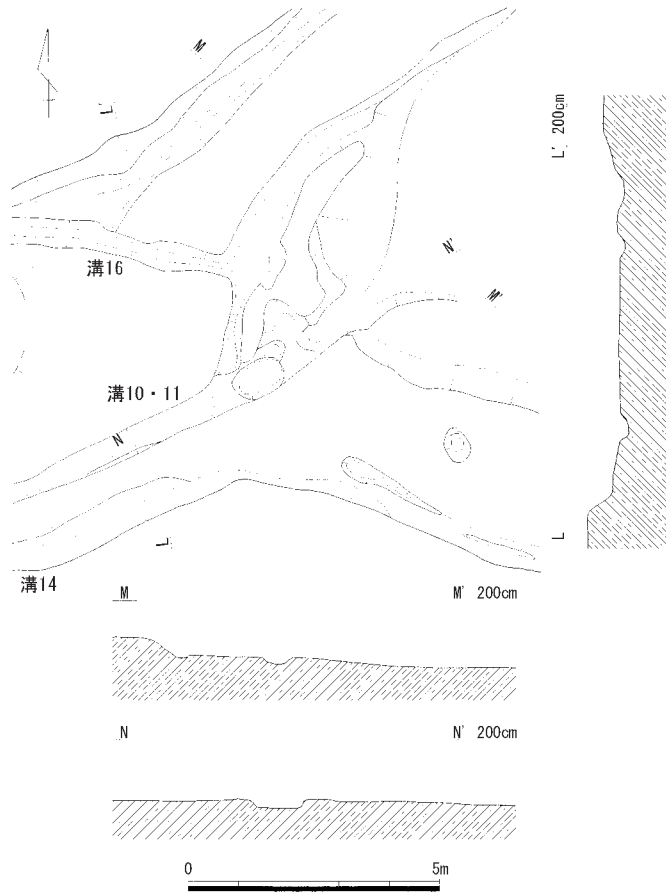


第178図 水田4断面 (1/60)

水田層の上に「島状高まり」遺構から流出したと推定される第1・2層が堆積しており、この土の裾をカットして水田6の水田層が入っている。この状況はすべての「島状高まり」遺構で確認され、水田4の時期の「島状高まり」遺構は、水田6の時期のものより一回り小さいことが分かる。大畦は「島状高まり」遺構4南端部と微高地を繋ぎ、水田6の時期の大畦もこれを踏襲している。大畦を形成している土(第179図第5層)は基盤層や水田層と分層されることから盛り土と推定される。水田4西端部には水路が取り付いている(第180図)。最初に掘削されたと考えられる溝10と、次段階の溝11は、水田6の西端部より約5m内側(東側)で口を開いている。水田3から取水する溝16は溝10・11開口部より約3m西に寄った位置で左右に水を分ける構造となっている。これらは、水田を徐々に西へ拡大した状況を示しており、水田4は、溝14の段階までに水田6と同じ範囲まで広がったと解釈できる。水田4水田層出土の土器(第182図)は、百・後・Ⅲ～Ⅳ期の範疇に含まれ、その中にミニチュアや



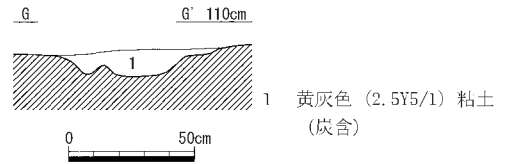
第179図 水田4大畦 (1/60)



第180図 水田4と溝11～14・16の取り付け部 (1/150)

から、この部分の時期は水田4の時期幅の中で捉えることができるが、その性格は不明である。

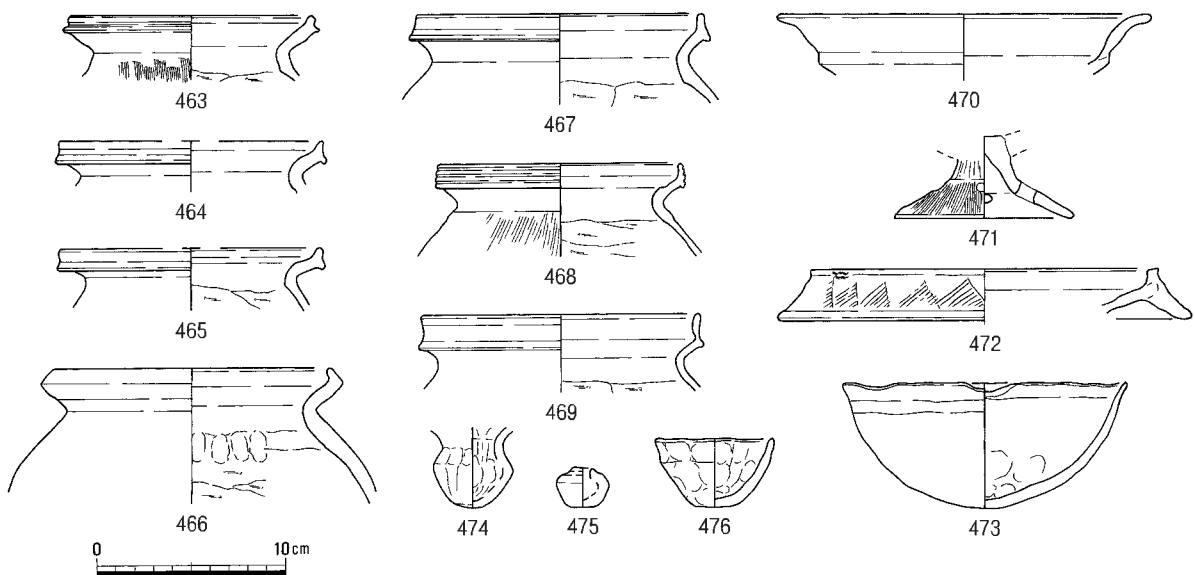
水田4の開田時期は出土遺物からは明確にできなかったが、この水田に取り付く水路の時期から推定して百・後・Ⅱと考えられ、百・後・Ⅳにかけて耕作されたと推定される。(物部)



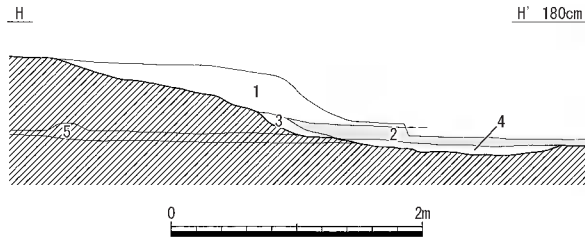
第181図 水田4下部溝 (1/30)

手捏ね474～476があり、留意される。

水田層を除去すると、不整形な窪みや溝状遺構が検出された。埋土中に基盤土塊・粒を多く含むことから、水田4の開墾・耕作に関係した遺構と推定され、第183図掲載の百・後・Ⅲ期の土器が出土した。第177図★地点とその周辺でモモの種が63個検出された。また、大畦の内部から南東に延びる溝(第181図)を検出した。その軸線は微高地端部と並行することから、ある時期の水田端部の溝であった可能性が推定される。「島状高まり」遺構3・4には、盛り土あるいは埋め土したと推定される部分が認められる。第184図の断面や、出土した甕485



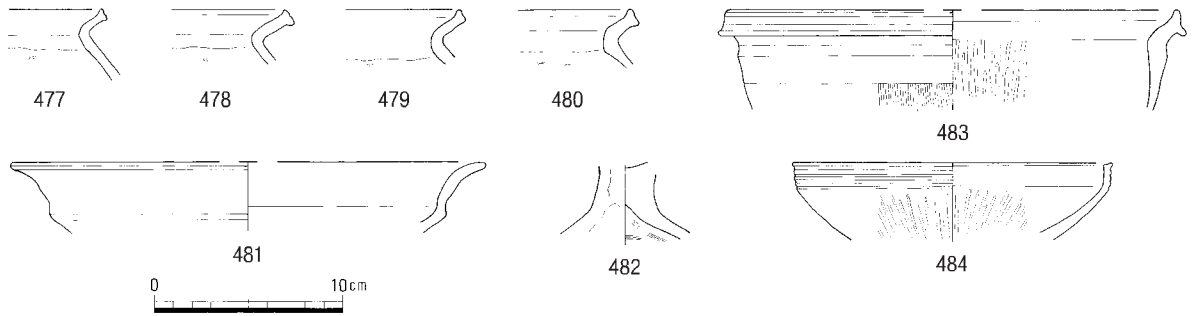
第182図 水田4出土遺物 (1/4)



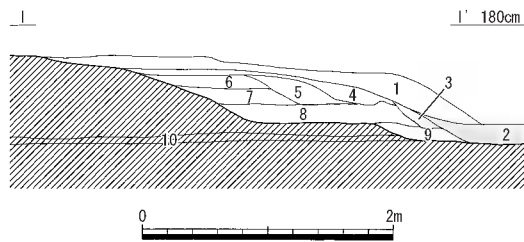
- 1 灰色 (5Y5/1) 粘性微砂 (Mn 多沈着)
- 2 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘土 (Fe・Mn 少沈着) <水田4水田層>
- 3 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘土 (黄色粘土斑含、Fe 少沈着)
- 4 灰白色 (2.5Y7/1) 粘土 (黄色粘土斑含)
- 5 <水田2水田層> (~白・中)



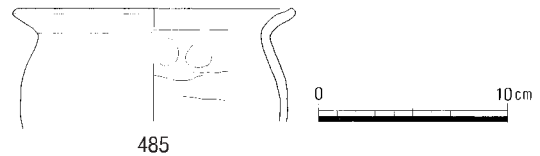
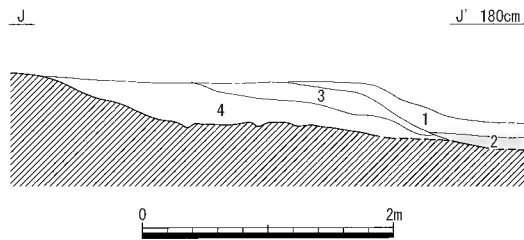
写真17 水田4下部溝状遺構出土モモの種



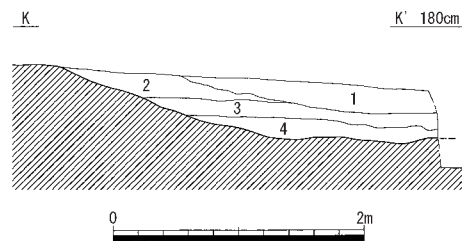
第183図 水田4下部溝状遺構 (1/60)・出土遺物 (1/4)



- 1 褐色 (10YR6/1) 粘性微砂 (Mn 多沈着)
- 2 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘性微砂 (Fe 少沈着) <水田4水田層>
- 3 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘土 (浅黄色粘土斑含、Fe 少沈着)
- 4 浅黄色 (2.5Y7/3) 微砂 (黄灰色粘土斑含)
- 5 浅黄色 (2.5Y7/3) 微砂 (灰黄色粘土斑含)
- 6 黄灰色 (2.5Y6/1) 微砂 (黄色粘土斑含)
- 7 黄灰色 (2.5Y6/1) 微砂 (にぶい黄色粘土斑含)
- 8 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘性微砂 (炭粒少含)
- 9 灰黄色 (2.5Y7/2) 粘性微砂 (黄灰色粘土斑含)
- 10 <水田2水田層> (~百・中)



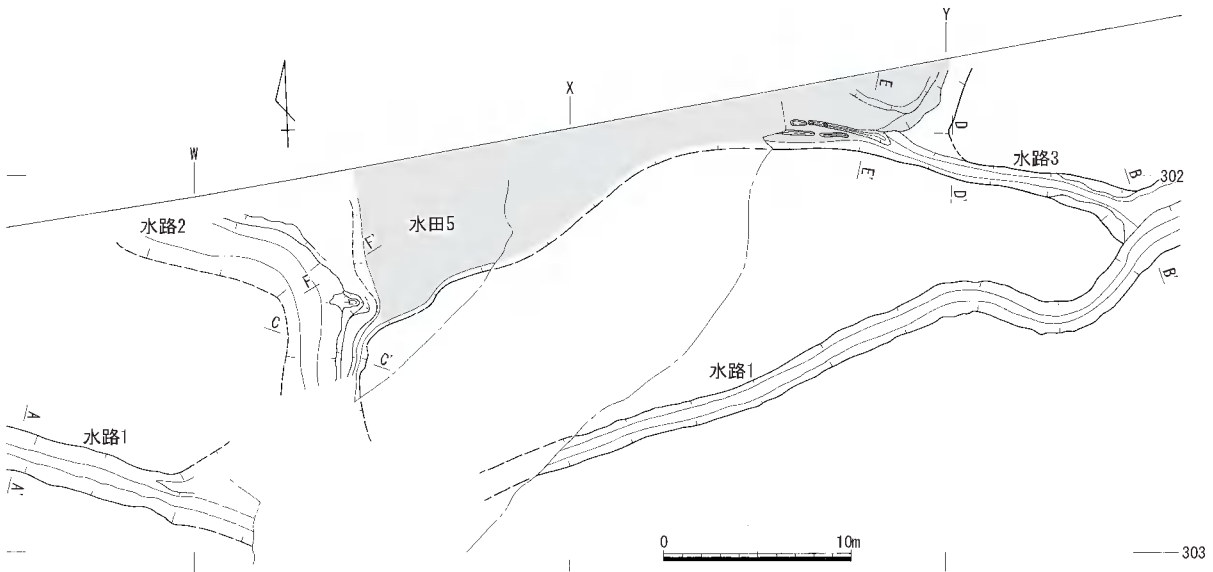
- 1 灰色 (5Y5/1) 粘性微砂 (Mn 多沈着)
- 2 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘土 (Fe・Mn 少沈着) <水田4水田層>
- 3 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘性微砂 (黄色粘土ブロック含)
- 4 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘性微砂



- 1 明黄褐色 (10YR7/6) 粘性微砂 (F+ 多沈着)
- 2 褐色 (10YR6/1) 粘性微砂 (Fe 多沈着)
- 3 褐色 (10YR5/1) 粘性微砂 (上半部 Fe 多沈着)
- 4 褐色 (10YR4/1) 粘性微砂

第184図 水田4島状高まり盛土部分 (1/60)・出土遺物 (1/4)

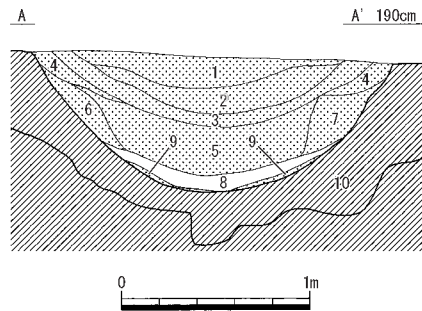
9 洪水砂埋没遺構



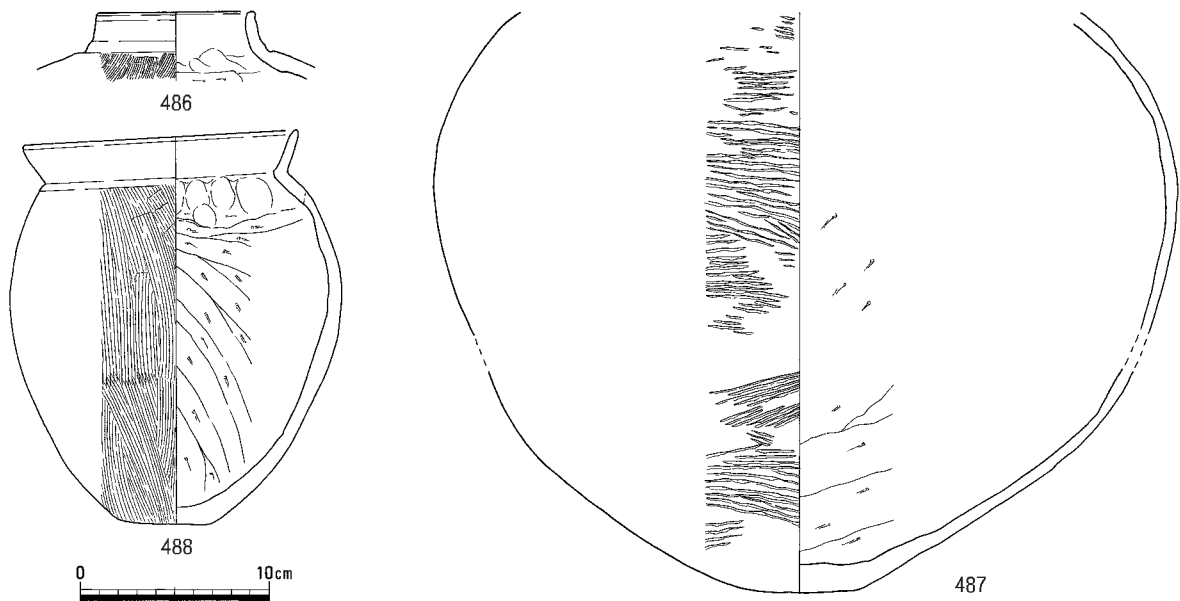
第185図 水田5、水路1～3 (1/400)

水路1 (第185～189図、
図版10-4・5・28)

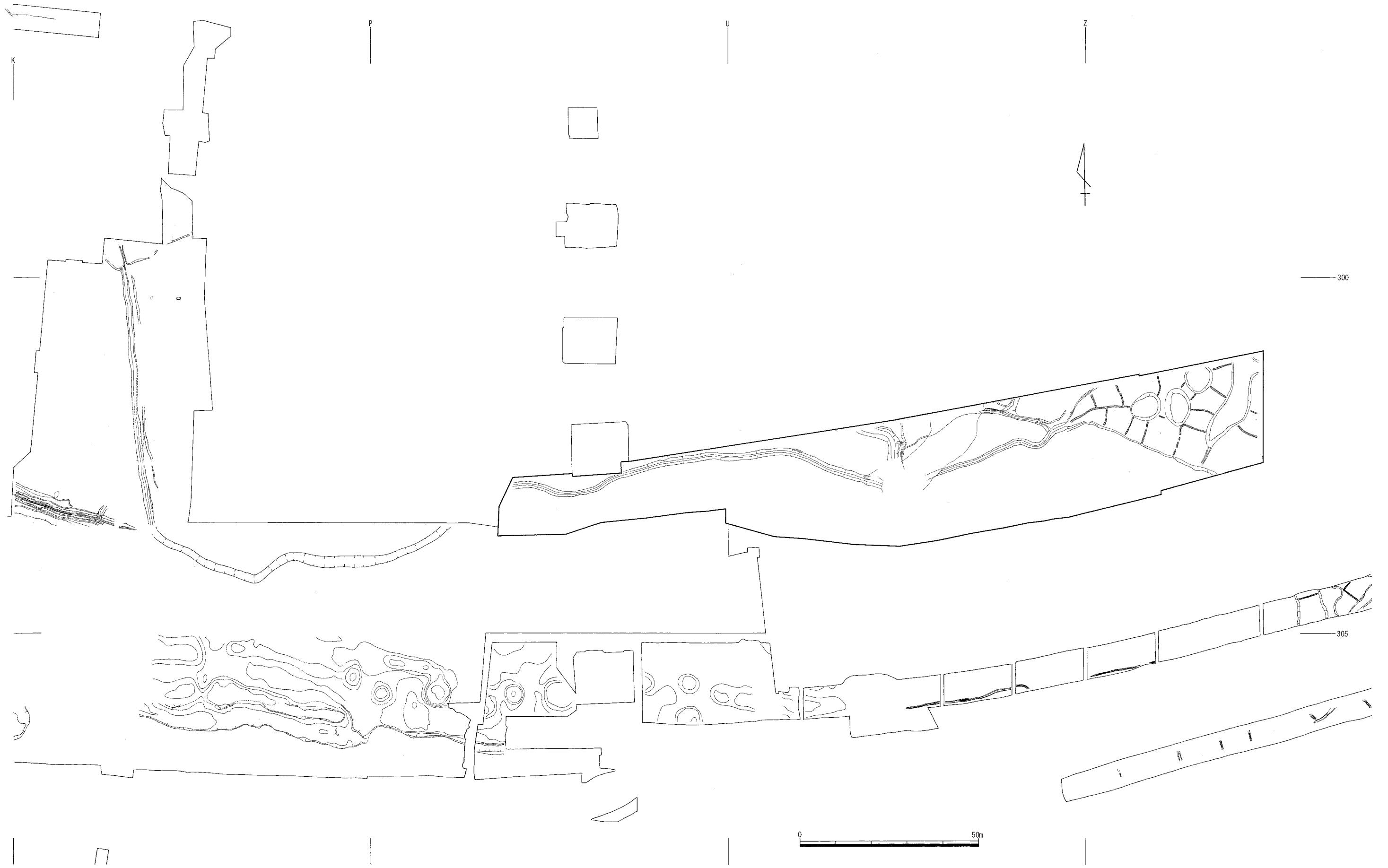
溝12の上部に位置し、その最終流路と考えられる洪水砂埋没溝である。「百兼基4水田2」の南端から流れ出て、調査区西端の水田6に注ぎ込むまで、延長約



- 1 にぶい黄褐色 (10YR6/4) 砂質土
- 2 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 砂質土
- 3 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 砂質土
- 4 にぶい黄褐色 (10YR7/4) 微砂
- 5 褐色 (10YR4/4) 微砂
- 6 明黄褐色 (10YR6/6) 砂
- 7 黄褐色 (10YR5/6) 砂
- 8 褐灰色 (10YR6/1) 粘質土
- 9 黄灰色 (2.5Y6/1) 砂
- 10 <溝11・12> (百・後)



第186図 水路1 (1/40)・出土遺物① (1/4)



第187図 百間川兼基・今谷遺跡 洪水砂埋没遺構全体図 (1/1,000)

250mにも及ぶものである。その規模は、上幅164cm、深さ74cmを測り、断面形は椀形を呈する。水田6に接続する直前に北側から水路3が合流し、古墳時代の溝に切られるが、302W区において水路2が合流するものと考えられる。

図示した出土遺物は、壺486、甕487・488、サヌカイト製楔S22、刀子M6である。(高田)

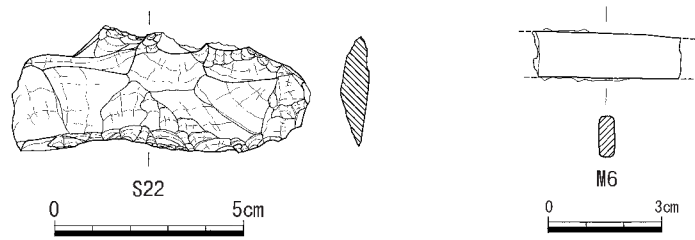
水路2 (第185・187・190図)

302V・W区に位置し、水田5の西縁の外側に沿う洪水砂埋没水路である。下層には溝15がある。

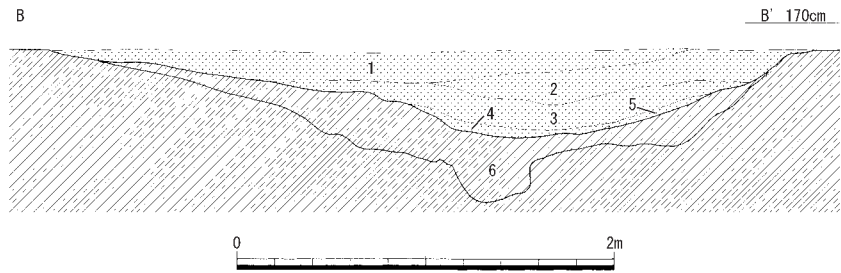
その北側は調査区外に延び、南側は古墳時代の溝に切られるものの、前述の水路1に合流する可能性が高い。水田5とは間の土手を介して仕切られるが、F-F'断面の南側部分に洗掘された箇所があり、この地点で水田側から水路に土手を越して水流が流れ込んでいたと考えられる。(高田)

水路3 (第185・187・189・191・192図、図版10-5)

301・302X・Y区位置する洪水砂埋没水路である。下層には溝17がある。水路は、水田5の東端から出て東流し、水田6に水路1が注ぐ直前にこの水路1に合流するものである。このことから、短い

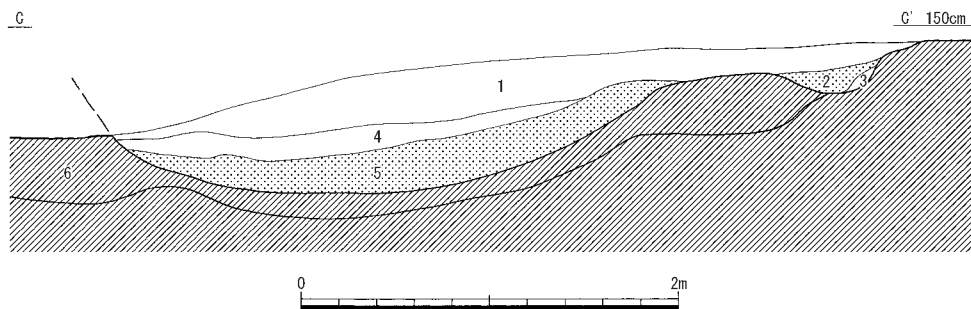


第188図 水路1出土遺物② (1/2)



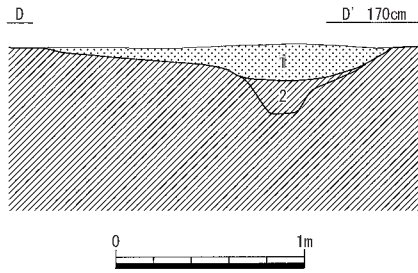
- 1 黄褐色 (2.5Y5/4) 微砂 (炭粒含、Mn 沈着) <洪水砂>
- 2 灰褐色 (7.5YR5/2) 微砂 (にぶい黄色 (2.5Y6/3) 微砂ブロック多含、炭粒含) <洪水砂>
- 3 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 微砂 (にぶい黄色 (2.5Y6/4) 微砂薄層多人、炭粒含) <洪水砂>
- 4 灰黄色 (2.5Y6/2) 微砂 (やや粘質、炭粒含) <洪水砂>
- 5 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 微砂 (炭粒含) <洪水砂>
- 6 <溝11・14> (白・後)

第189図 水路1・3合流部 (1/40)

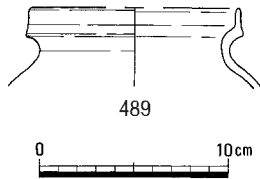


- 1 灰黄色 (2.5Y7/1) 微砂 (炭粒含)
- 2 浅黄色 (2.5Y7/4) 微砂 (黄灰色微砂 (2.5Y5/1) 微砂薄層が互層に入る) <洪水砂>
- 3 灰色 (7.5Y4/1) 砂質土
- 4 明オリーブ灰色 (5GY7/1) 粘質土 (流木多含)
- 5 暗オリーブ灰色 (2.5GY4/1) 細砂 (オリーブ灰色 (2.5GY6/1) 細砂薄層が互層に入る) <洪水砂>
- 6 <溝15> (白・後)

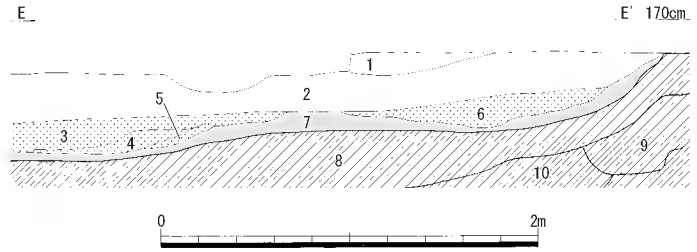
第190図 水路2 (1/40)



- 1 黄褐色 (2.5Y5/4) 微砂 (Mn 多沈着)
<洪水砂>
- 2 <溝17>



第191図 水路3 (1/40)・出土遺物 (1/4)



- 1 黄灰色 (2.5Y5/1) 砂質土
- 2 灰色 (10Y6/1) 微砂
- 3 オリーブ灰色 (10Y6/2) 微砂<洪水砂>
- 4 浅黄色 (7.5Y7/3) 微砂<洪水砂>
- 5 灰オリーブ色 (7.5Y6/2) 微砂 (炭粒少含) <洪水砂>
- 6 オリーブ灰色 (10Y6/2) 微砂 (第2層ブロック含) <水路3、洪水砂>
- 7 灰色 (7.5Y5/1) 粘質微砂 (炭粒多含) <水田5水田層>
- 8 <水田3間連土層> (百・後)
- 9 <溝18> (百・後)
- 10 <溝8> (~百・中)

第192図 水路3と水田5 (1/40)

ながらも、水田5の排水と水田6の給水機能を担っていたと考えられる。

水路の規模は、D-D'断面付近で、上幅180cm、深さ18cmを測り、断面形は皿状を呈す。

出土遺物はわずかであるが、図示したものは弥生土器甕489である。

(高田)

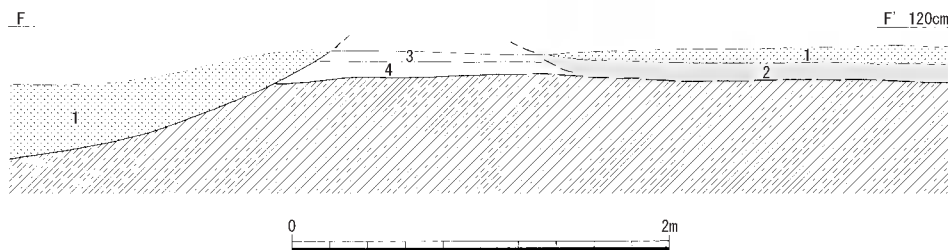


写真18 水田5 稲株痕 (南西から)

水田5 (第185・187・192・193図、写真18、
巻頭図版4-2)

301・302W・X区に位置する弥生時代後期末の洪水砂埋没水田である。下層には、弥生時代中期の旧河道である溝8の埋没後の低位部に拓かれた水田3がある。水田の西端は、水路2と土手状の高まりを介して接している。この土手を越して主に排水が行われたと推定される。また、東端は水路3が出ており、この部分でも排水が行われていたと考えられる。なお、写真18にみるように、田面において稲株痕を検出している。

(高田)

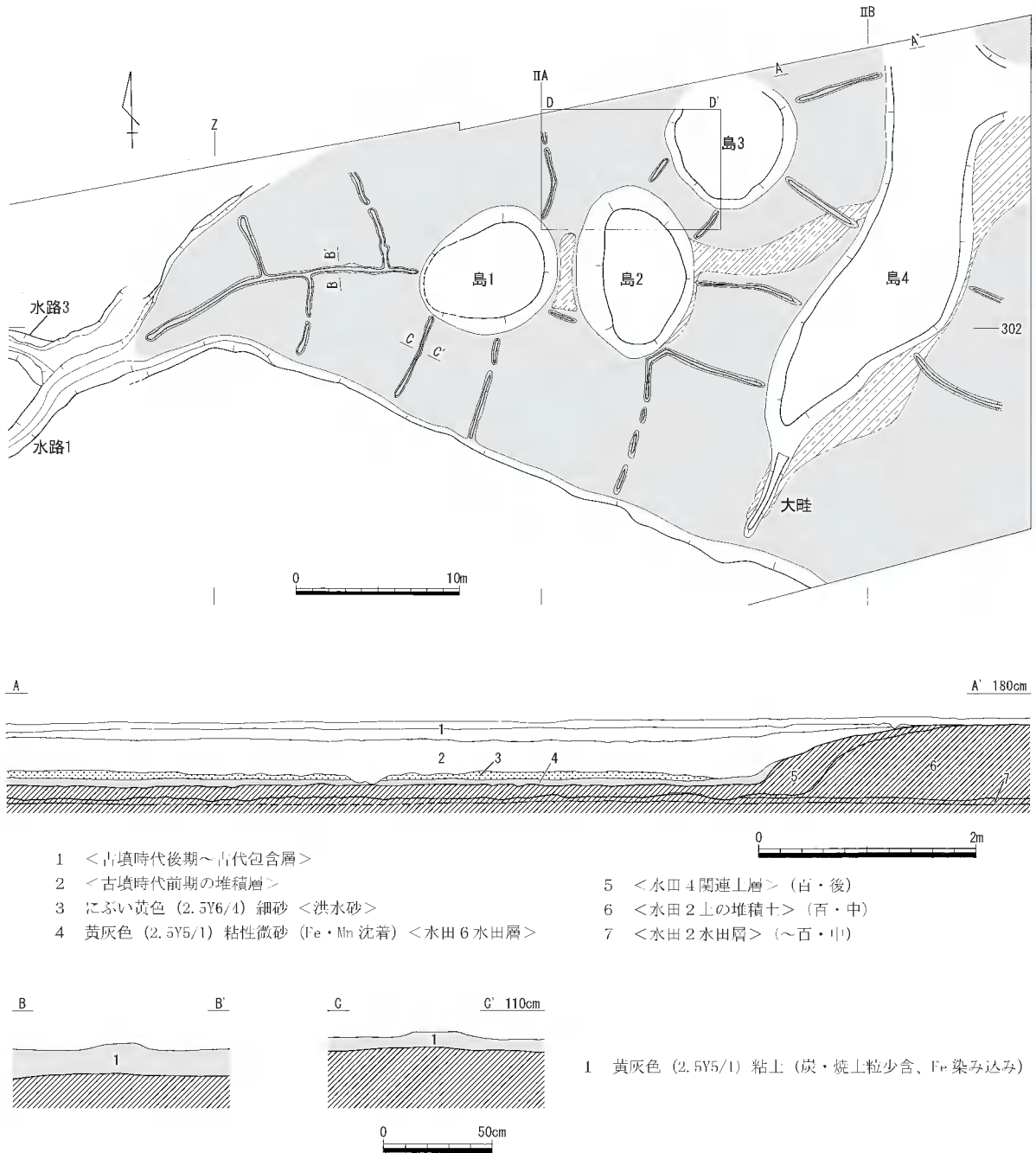


- 1 暗オリーブ灰色 (2.5GY4/1) 細砂<洪水砂>
- 2 黄灰色 (2.5Y4/1) 砂質土 (細砂含、炭粒多含) <水田5水田層>
- 3 灰色 (5Y5/1) 粘質微砂 (砂質強、オリーブ黄色 (5Y6/3) 微砂・炭粒多含)
- 4 灰色 (5Y5/1) 粘質微砂 (オリーブ黄色 (5Y6/3) 微砂・炭粒多含)

第193図 水田5土手 (1/40)

水田6 (第187・194・195図、写真10・19・20、図版12-4・5)

調査区301Y区から302ⅡB区にかけて検出された水田6は、「島状高まり」遺構1～4と、「島状高まり」遺構4の突端に位置する大畦畔、そして多くの小畦畔からなる。水田面全体が第194図に示したにぶい黄色を呈する厚さ10cmほどの弥生時代後期末洪水砂により完全に埋没していた。水田面は西から東へ大きく開くように展開しており、北端、および東端については調査区外へ続いている。水田西端には同じく弥生時代後期末洪水砂により埋没していた水路1、および水路3が検出され、これらがこの水田への用水路であったことが判断される。水田南側は微高地であり、微高地の縁辺から畦畔が派生している。また、「島状高まり」遺構2の南東部では一部小畦畔が「島状高まり」遺構の下端



第194図 水田6 (1/400・1/60・1/30)



写真19 水田6島状高まり2 (西から)

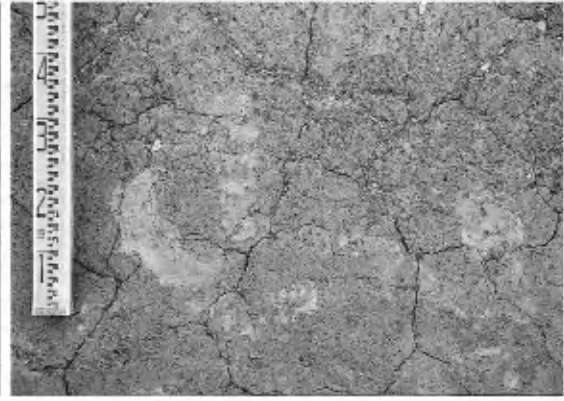
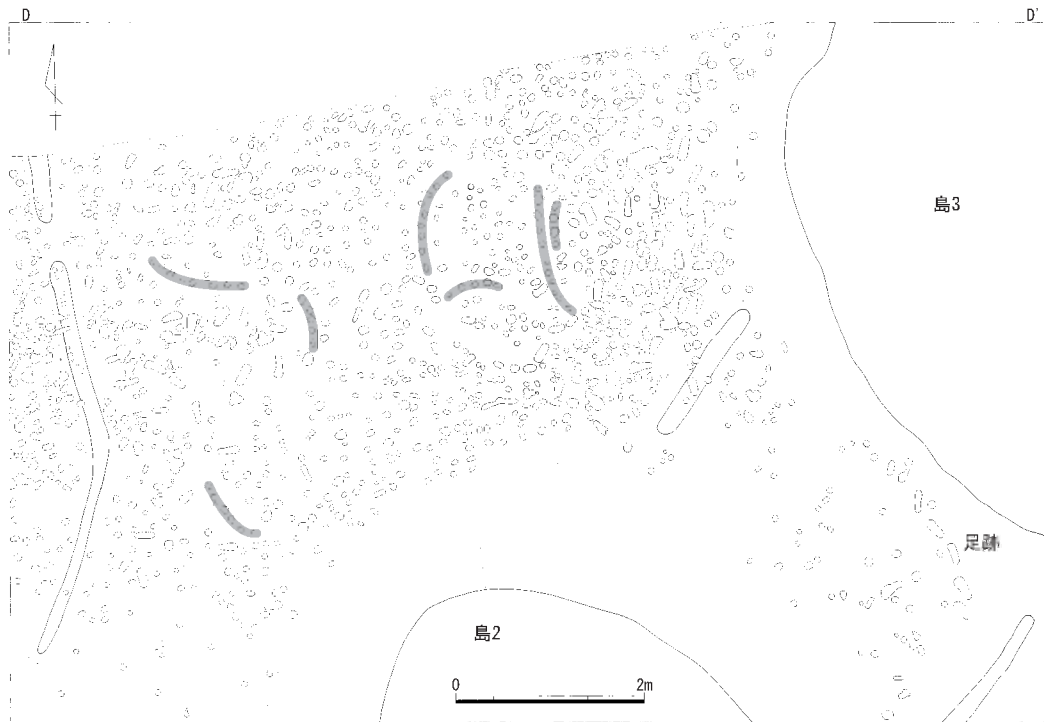


写真20 水田6足跡

に沿うように検出されており、これは形態から取水口の一つではないかと見られる。畦畔の形状は大畦で上端60~30cm、下底90~80cm、高さ10cmを測り、一方小畦では上端25~15cm、下底50~30cm、高さ3cmを測る。小畦畔はその突端が微高地ないしは島状高まり遺構に取り付き直線、あるいは若干弧を描く配置が見られたほか、水田西端付近では相互にT字形に取り付く部分もある。また、ほぼ全ての畦畔でその両突端、あるいは中央付近に水口が設けられていることは注視される。今回検出された水田6では稲株痕跡、並びに足跡痕跡を検出している。第195図にはその一部を掲載している。稲株痕跡は一部弧を描くような配置が認められたが、必ずしも規則的に存在するわけではなく、作業者が断続的に場所を変えながら田植え作業を実施していたことが推察される。その分布には粗密があり、第194図中の斜線で示した範囲内ではほとんど確認できなかった。今回検出された水田6からの出土遺物はほぼ皆無であったが、これまで百間川遺跡群で検出されている洪水砂埋没水田同様、時期は百・後・IVであると考えられる。(和田)

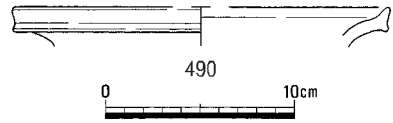


第195図 水田6稲株痕 (1/80)

10 その他の遺構

焼土集中部（第71・196図）

303U区において、長軸約10m、短軸約6mの不整長方形を呈する範囲に、焼土が集中して検出された。明確な掘り方などは認められず、おそらく浅い窪地であった場所に焼土が廃棄されたものと想定される。集中部からは百・後・Ⅳの甕490が出土した。
(小嶋)



第196図 焼土集中部出土遺物（1/4）

土器溜まり（第71・197図、写真21、図版28）

303S区で検出された。包含層掘り下げ中に土器が密集して出土したため、その周囲を精査したものの、掘り方等の痕跡は確認できなかった。甕491・492や高杯494など完形に復元できる土器が出土しており、その時期は百・後・Ⅳである。弥生時代末とされる洪水砂によって、この場所へもたらされた可能性が指摘されよう。
(小嶋)

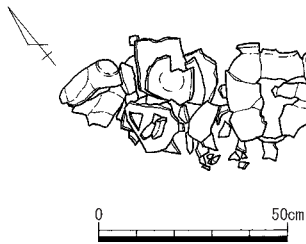
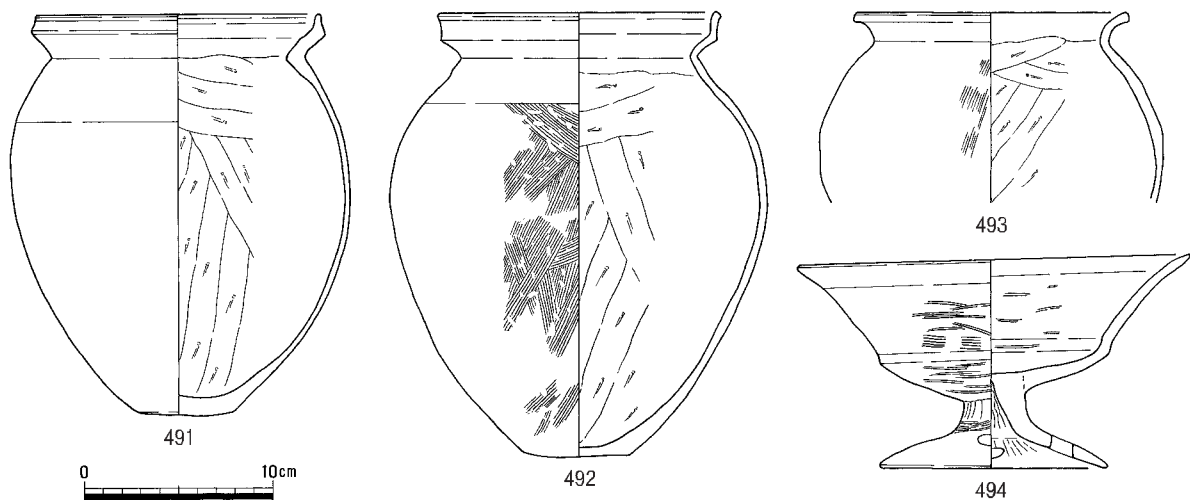


写真21 土器溜まり（西から）



第197図 土器溜まり（1/20）・出土遺物（1/4）

第4節 古墳時代の遺構・遺物

1 概要

古墳時代の遺構は、竪穴住居9軒、掘立柱建物1棟、柱穴列1基、井戸6基、土壇10基、溝14条、柵列状遺構3基を掲載する。古墳時代の地形は、弥生時代後期末の洪水砂で埋没した水田3・4上がやや低い部分であったと考えられ、土壇数基と溝、柵列状遺構が位置するのみで、住居等は築かれない。それ以外は弥生時代以来の微高地であり、当期においても居住域となる。

遺構の時期は、後期あるいは前～後期に属する数条の溝と柵列状遺構を除き、ほぼ前期に属するものと考えられる。中でも百・古・Ⅰは確認されず、百・古・Ⅱ・Ⅲにまとまるものが指摘できる。

竪穴住居は、調査区全域で検出している。これを百・古・Ⅱでみると、溝32の両岸にまとまり、百・古・Ⅲでは、1～2軒が30～35mの距離をおいて散在する傾向にある。井戸や土壇については、住居周辺にまとまるものが多く、住居との有機的な関連を指摘できるものがある。すなわち、住居3と土壇40・41、住居5と井戸5、住居6・7と井戸8、住居9～11と井戸10等である。

その他の遺構で注目されるのは、溝32である。調査区のほぼ中央部を北東から南西方向にやや蛇行しながら流れ、その南側は「百今谷2溝59」に続く大溝である。その前身には弥生時代後期の用水路

が存在した可能性があるが、古墳時代前期以降に微高地上を掘削した一大運河と考えられる。溝32の両岸にまとまる百・古・Ⅱの竪穴住居では、住居6・7が溝に住居方向を揃えており、溝に設けられる杭群との関連が想起される。

出土遺物については、溝32から大量の土器とともに、石器・土製品・鉄器・木器・ガラス製品が出土しており、注目される。中でも木器は、農工具・織機具・容器・建築部材と多種多様な内容である。 (高田)



写真22 溝32 (西から)



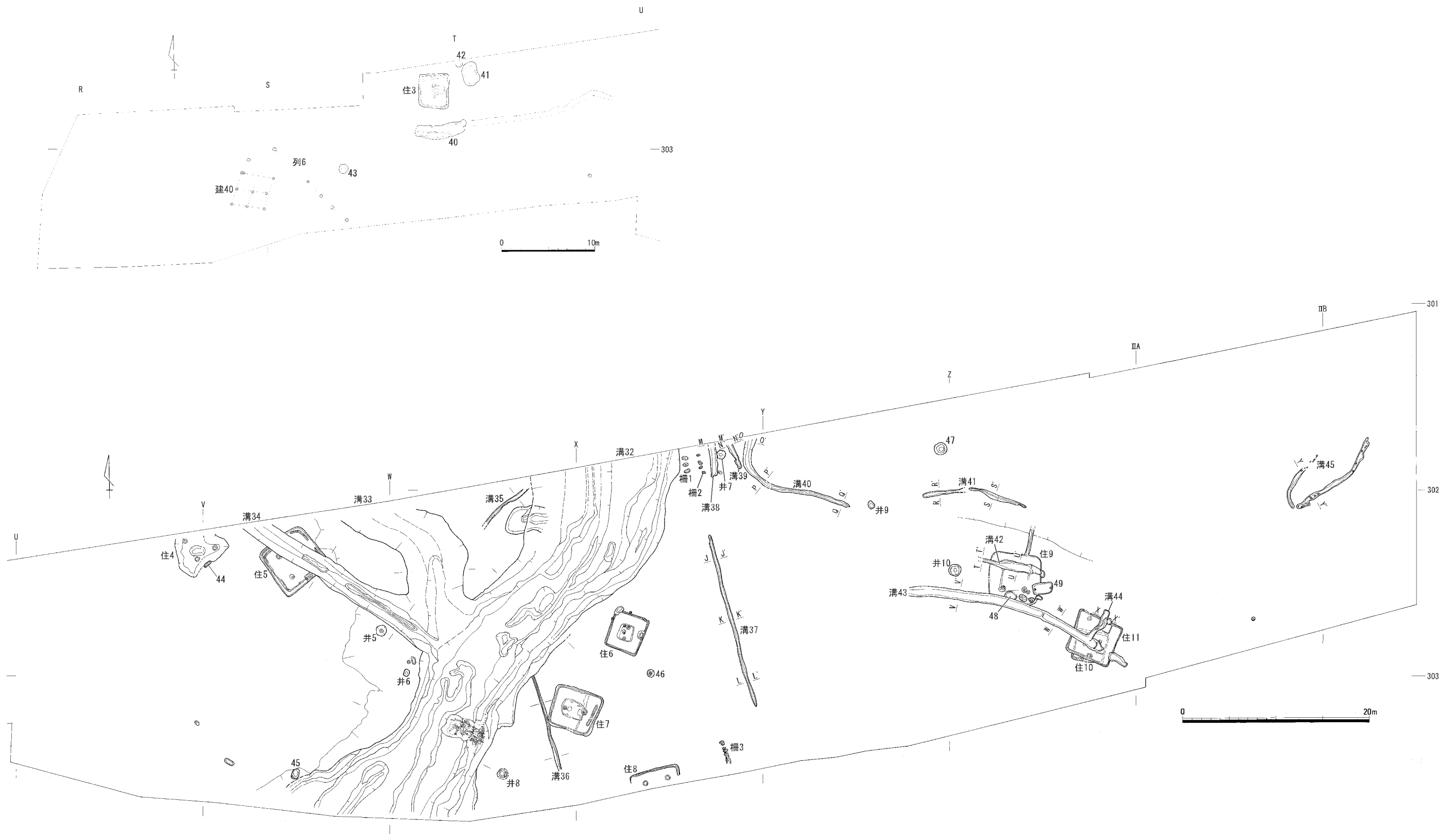
写真23 溝32 (南西から)



写真24 溝32杭群 (西から)



第198図 百間川兼基・今谷遺跡 古墳時代の遺構全体図 (1/1,000)



第199図 古墳時代の遺構全体図 (1/400)

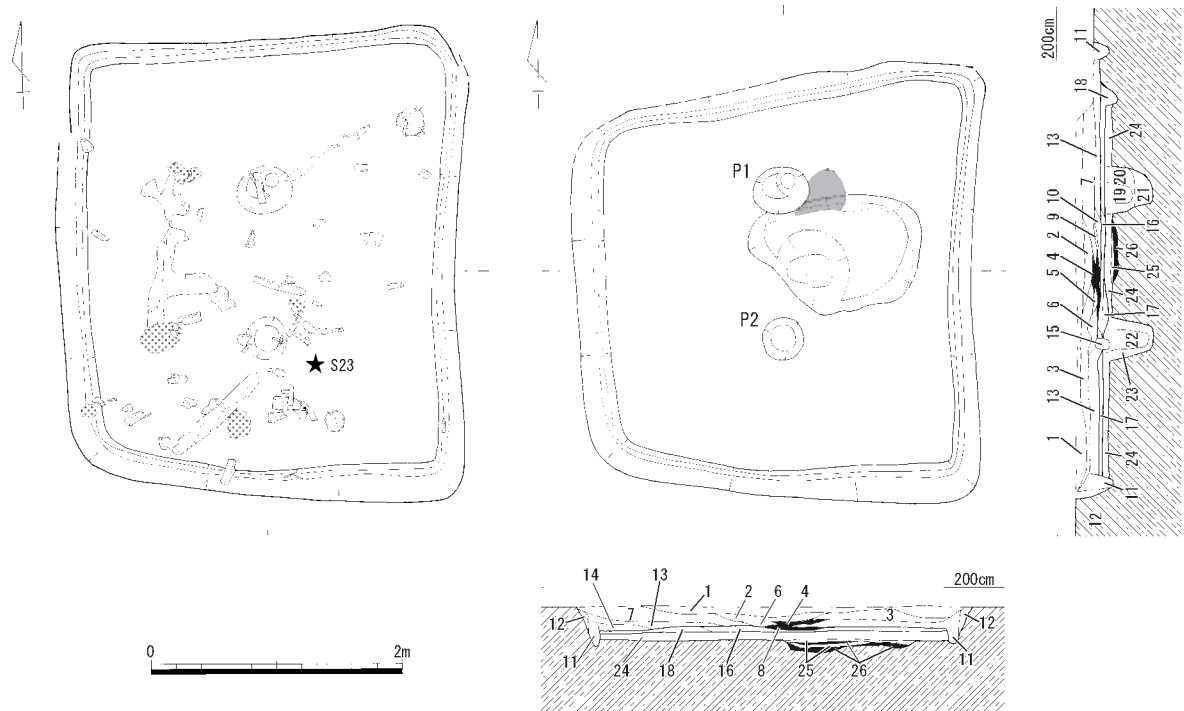
2 竪穴住居

竪穴住居3 (第199~201図、写真25・26、巻頭図版6-4、図版13-1・2・33)

302S区に位置している。断面から、北辺が北に60~30cm程度拡張された、建て替えが行われた竪穴住居である。

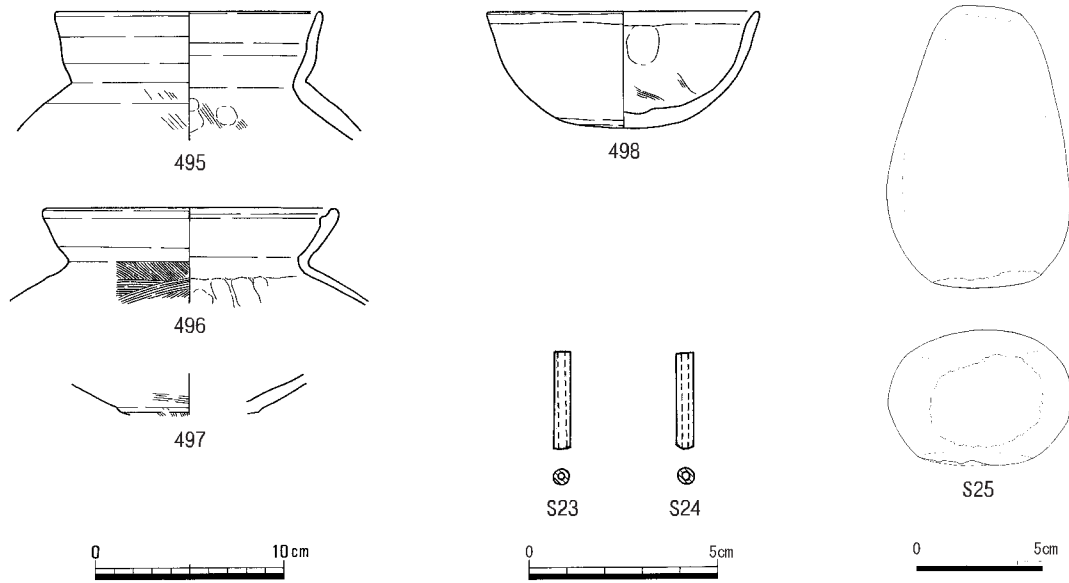
古段階の住居は、長軸350~290cm、短軸312cmを測る台形を呈し、床面積は8.45㎡である。床面の東半中央部には、支柱穴に挟まれた楕円形を呈する中央穴が検出され、その規模は、長軸137cm、短軸94cm、深さ10cmを測る。中央穴の底面には厚さ約5cmの炭層が確認されている。支柱穴は2個で、その規模は長径46~35cm、深さ約40cmを測る。

新段階の住居は、長軸373cm、短軸310cmの長方形を呈し、床面積は9.66㎡を測る。貼床2として土層断面の第16・18層より上層が新段階の住居埋土であり、埋土中には炭・焼土粒を多く含んでいる。貼床2の上面では良好な残存状況ではないものの、炭化材やワラ状炭化物が検出された。貼り床土には明確な柱穴痕跡が確認されなかった。



- | | |
|--|---|
| 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含) | 14 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘質土 (炭・焼土粒含) |
| 2 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含) | 15 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質微砂 (炭含) |
| 3 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質微砂 (炭・焼土粒極多含) | 16 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 粘質微砂
(中央部下面に炭層) <貼床2> |
| 4 炭粒・焼土粒 | 17 黄灰色 (2.5Y4/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含) |
| 5 灰黄色 (2.5Y6/2) 微砂 | 18 黄褐色 (2.5Y5/4) 粘質微砂 <貼床2> |
| 6 黄灰色 (2.5Y4/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含) | 19 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粘質微砂 (炭・焼土粒含) |
| 7 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質微砂 (炭・焼土粒極多含) | 20 にぶい黄褐色 (10YR5/3) 粘質土 (炭・焼土粒少含) |
| 8 炭粒・焼土粒 | 21 褐灰色 (10YR5/1) 微砂 (炭・焼土粒少含) |
| 9 灰黄色 (2.5Y6/2) 微砂 | 22 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 (炭・焼土粒含) |
| 10 炭層 | 23 にぶい黄褐色 (10YR5/3) 粘質土 (炭・焼土粒含) |
| 11 褐灰色 (10YR4/1) 粘質微砂 (炭・焼土粒含) <壁体痕> | 24 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 粘質微砂 (炭・焼土粒含) <貼床1> |
| 12 黄褐色 (2.5Y5/3) 粘質微砂 (炭・焼土粒少含) | 25 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質土 (炭・焼土粒含) |
| 13 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
(にぶい黄色粘質土ブロック・炭・焼土粒含) | 26 炭層 |

第200図 竪穴住居3 (1/60)



第201図 竪穴住居3出土遺物 (1/4・1/3・1/2)



写真25 竪穴住居3炭化材断面

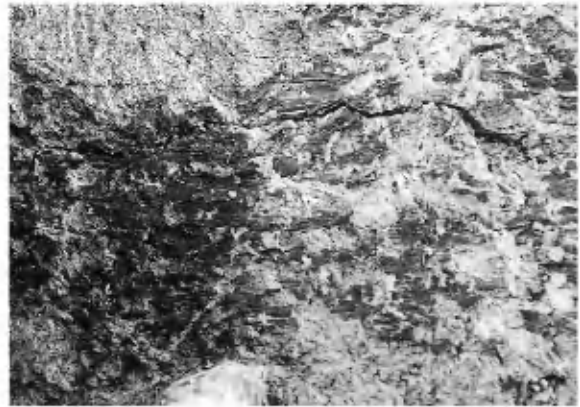


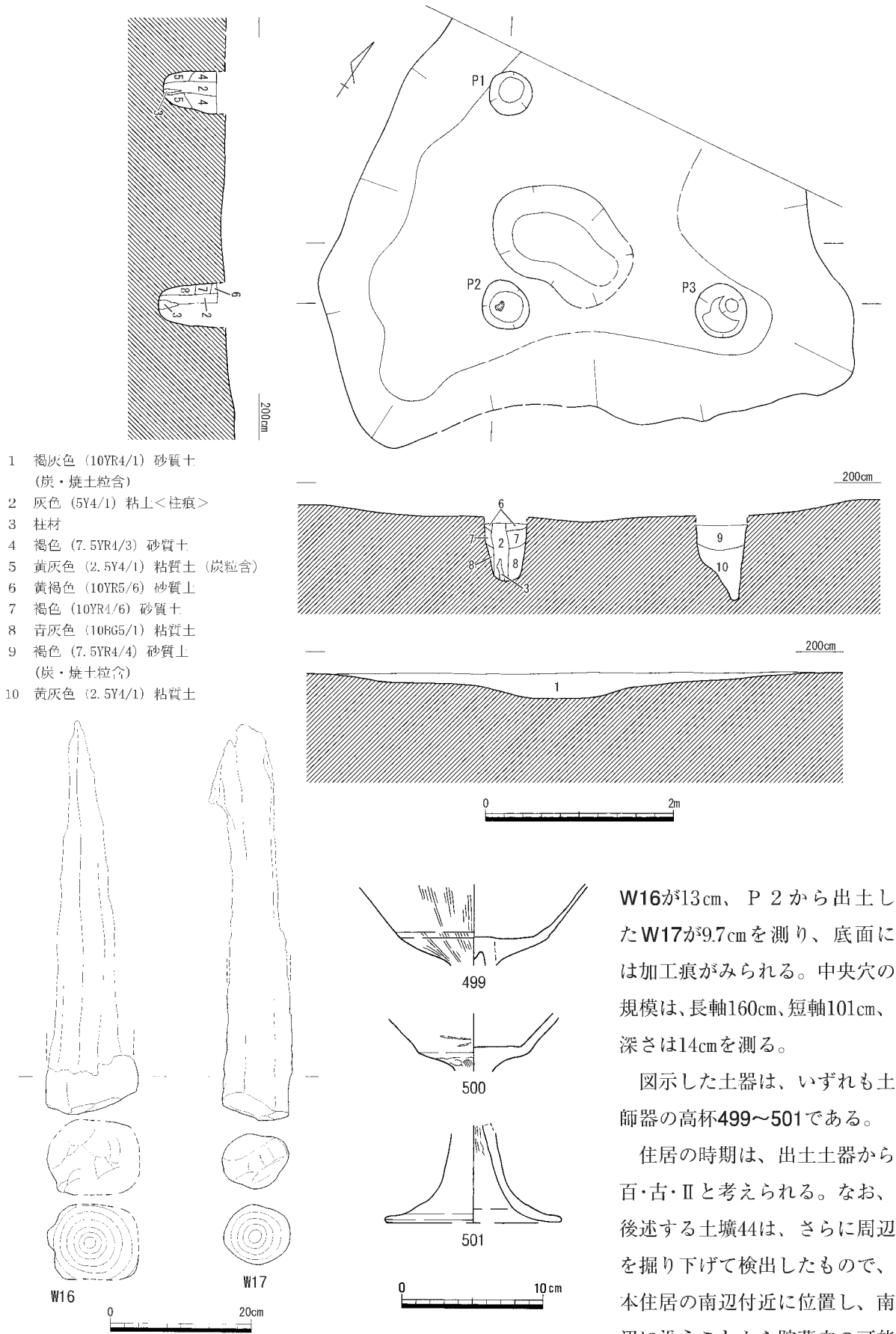
写真26 竪穴住居3炭化材

遺物は、壁体溝から甕495・496、床面掘り下げ中に鉢498、貼床1から管玉S24、貼床2から高杯497、新段階埋土中から敲石S25が出土している。時期は百・古・Ⅲである。(小嶋)

竪穴住居4 (第199・202図)

302U・V区の調査区端に位置する竪穴住居である。これは、海拔高180cm前後で不定形なプランを検出し、確認のためのトレンチを入れながら掘り下げたところ、浅い落ち込み状の底に柱穴3個と楕円形の土壇1基を確認したものである。柱穴の規模や、楕円形の土壇の位置からこれを中央穴として、当遺構を竪穴住居と考えるに至った。落ち込みが住居の下部構造である可能性も考慮したが、第202図の断面に示すように、落ち込みと同じ第1層で中央穴が埋没し、また落ち込みの底で柱穴を検出したことから、この面がほぼ住居の床面と考える。壁体は既に削平されており、北側は調査区外となるため不明であるが、本来は方形プランを呈し、4本柱の主柱穴であったと推定される。

検出時の落ち込みの規模は、P2—3方向で560cmを測る。柱穴は径45～55cm円形で、深さは65～90cmである。また柱間距離は、P1—2間が230cm、P2—3間が240cmを測る。また、P1・2には心持ちの柱材が遺存している。樹種鑑定の結果は、いずれもコナラである。径は、P1から出土した



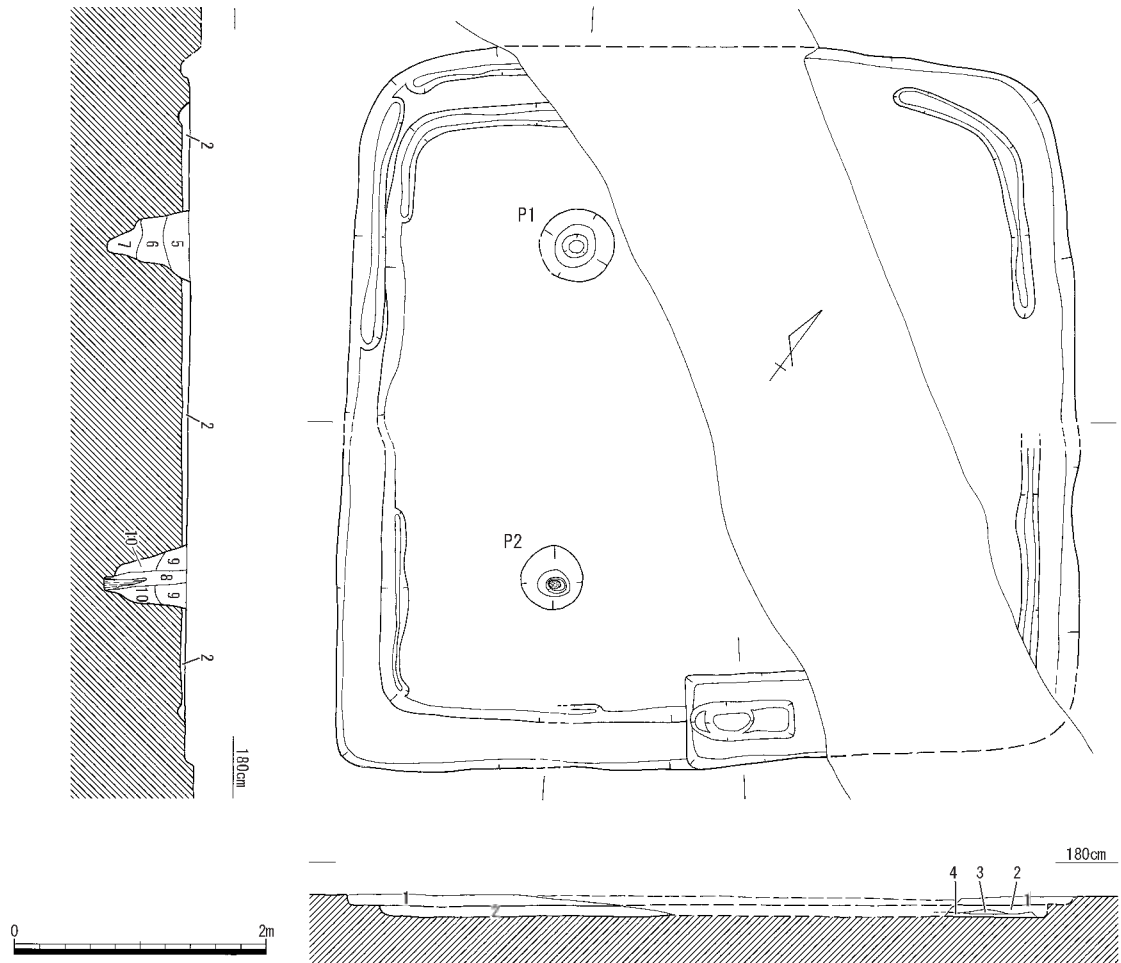
- 1 褐灰色 (10YR4/1) 砂質土 (炭・焼土粒含)
- 2 灰色 (5Y4/1) 粘土<柱痕>
- 3 柱材
- 4 褐色 (7.5YR4/3) 砂質土
- 5 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 (炭粒含)
- 6 黄褐色 (10YR5/6) 砂質土
- 7 褐色 (10YR4/6) 砂質土
- 8 青灰色 (10BG5/1) 粘質土
- 9 褐色 (7.5YR4/4) 砂質土 (炭・焼土粒含)
- 10 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土

W16が13cm、P 2 から出土したW17が9.7cmを測り、底面には加工痕がみられる。中央穴の規模は、長軸160cm、短軸101cm、深さは14cmを測る。

図示した土器は、いずれも土師器の高杯499～501である。

住居の時期は、出土土器から百・古・Ⅱと考えられる。なお、後述する土壙44は、さらに周辺を掘り下げて検出したもので、本住居の南辺付近に位置し、南辺に沿うことから貯蔵穴の可能性を指摘したい。(高田)

第202図 竪穴住居 4 (1/60)・出土遺物 (1/8・1/4)



- 1 褐灰色 (7.5YR6/1) 砂質土
(炭・焼土粒含)
- 2 灰褐色 (7.5YR6/2) 砂質土
(褐灰色+ブロック・炭・焼土粒含)
- 3 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 砂質土
- 4 灰褐色 (7.5YR4/2) 砂質土
- 5 にぶい褐色 (7.5YR5/3) 砂質土
- 6 褐灰色 (10YR4/1) 粘質微砂
- 7 暗灰色 (N 3/) 粘質土
- 8 暗灰色 (N 3/) 粘質土
- 9 褐灰色 (10YR5/1) 砂質土
(炭・焼土粒含)
- 10 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土
(炭・焼土粒含)

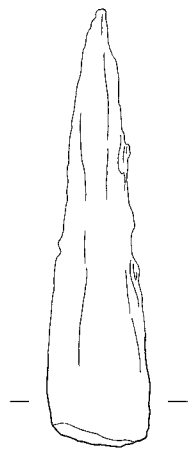
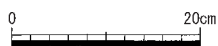
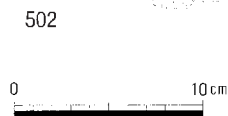
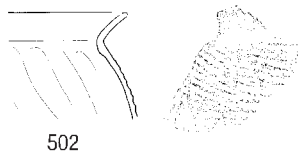


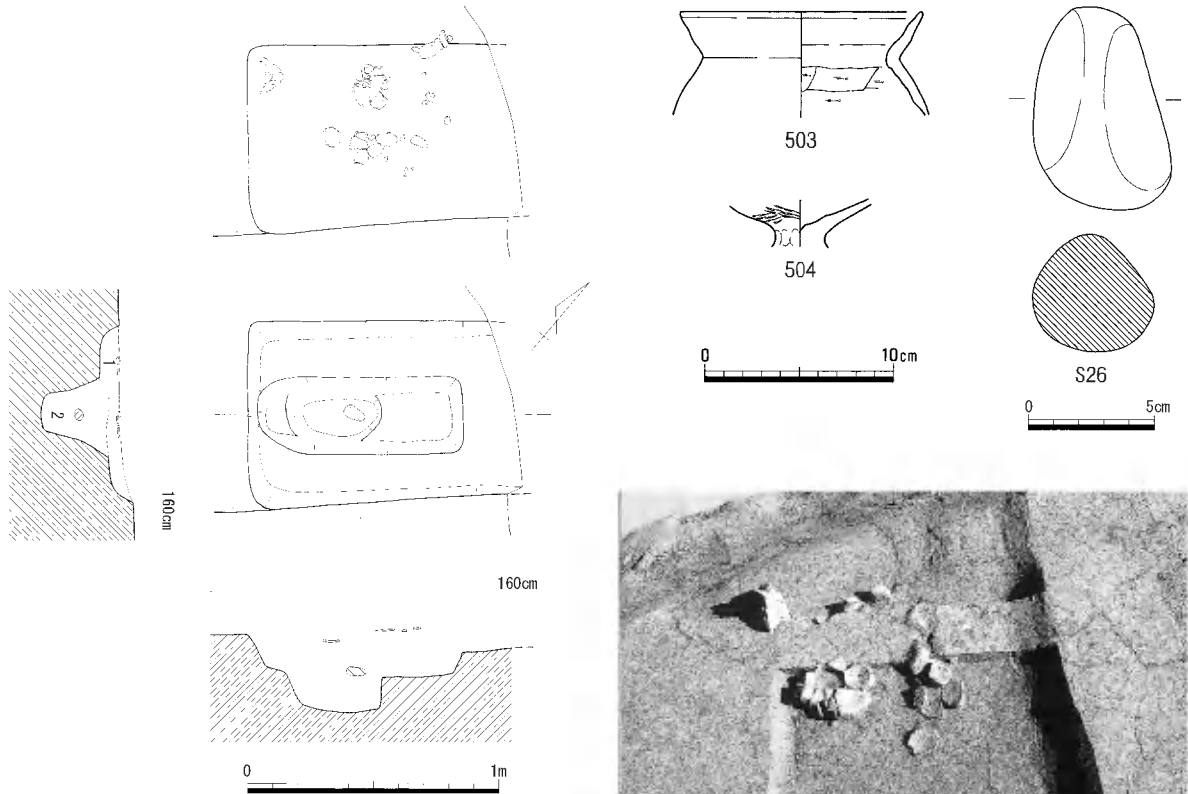
写真27 竪穴住居5 (北東から)



竪穴住居5 (第199・203・204図、
写真27・28、図版13-3)

溝34に中央部を削平されている竪穴住居である。302V区で検出された。一度拡張して建て替えられたことが、断面から判明した。検出面からの深さは浅く、わずかに10cmを測るのみで

第203図 竪穴住居5 (1/60)・出土遺物 (1/8・1/4) ある。



- 1 褐灰色 (10YR5/1) 砂質土 (炭・焼土粒含)
- 2 にぶい褐色 (7.5YR5/4) 砂質土 (炭・焼土粒含)

第204図 竪穴住居5方形土壇 (1/30)
・出土遺物 (1/4・1/3)

写真28 竪穴住居5方形土壇上層遺物
出土状況 (南西から)

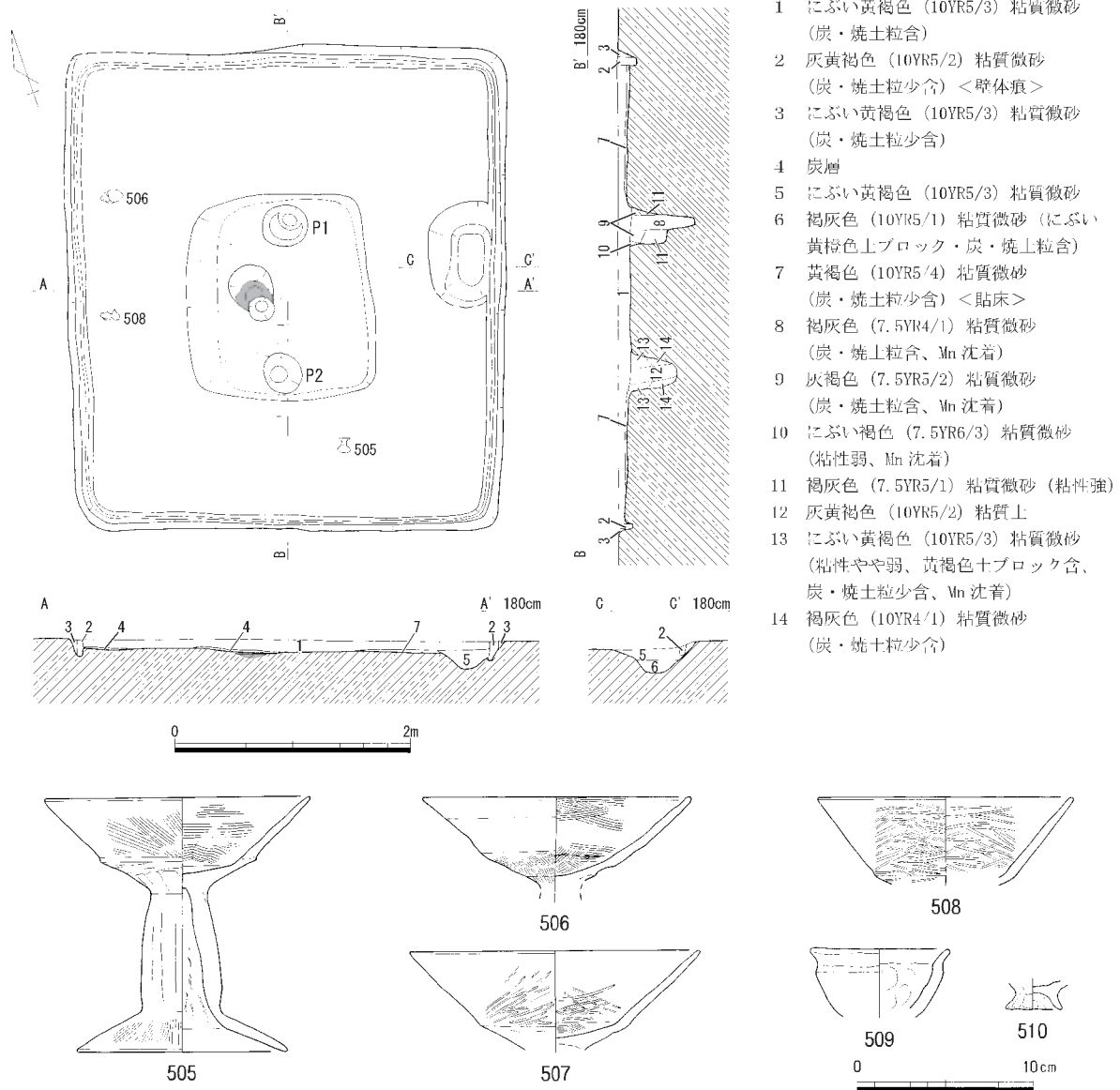
新段階の住居は、平面方形を呈し、長軸583cm、短軸577cm、床面積29.9㎡を測る。壁体溝が明瞭に確認されたのは西隅のみであり、その他の辺には検出されなかった。南東辺の中央やや東側には、北東辺が溝34により削平されているものの、現状で108×72cmを測る方形土壇が確認された。方形土壇上面からは、甕503や鉢504が出土しているものの、完形に復元されるものはなかった。また、方形土壇の中央部は、80×31×10cmの規模で平面長方形に掘削され、さらにその底面では30×20×15cm程度の大きさで、平面楕円形に掘削されている。S26は一段深く掘削された所から出土したものである。埋土中には炭・焼土粒を含んでいた。柱穴は検出状況から4個と想定される。柱穴の平面形は、長径57～50cmを測る円形であり、検出面からの深さは65cmを測る。P2には径約12cmの柱材W18が残存していた。

古段階の住居は、新段階と比べるとやや長方形を呈している。その規模は、長軸566cm、短軸500cm、床面積は23.4㎡である。壁体溝は幅約20cm、深さ約5cmを測る。床面からは、確実に古段階に伴う主柱穴や方形土壇、被熱範囲等は検出されなかった。出土遺物は少なく、先ほどの方形土壇上面から検出されたものを除くと、図化可能なものは、外面にタタキ痕跡が認められる甕502のみである。

時期は、百・古・Ⅲの範疇に収まると想定される。 (小嶋)

竪穴住居6 (第199・205図、図版14-1)

302X区に位置し、溝32東側で検出された竪穴住居である。北西隅が土壇により削平されているが、平面形態は方形を呈すると想定される。規模は長軸400cm、短軸370cmを測り、検出面からの深さは10



第205図 竪穴住居6 (1/60)・出土遺物 (1/4)

cmと浅い。床面積は13.4㎡である。住居床面には、貼り床がなされている。東辺中央やや北寄りに方形土壇が確認された。方形土壇の南辺はサブトレンチにより削平を受けているものの、長軸90cm、短軸50cmの長方形を呈すると想定される。深さは住居床面から約20cmであり、埋土中には炭・焼土粒を含んでいた。住居床面中央には、約175×150cmを測る、やや長方形を呈する土壇が検出された。この土壇の中央やや西側には21×20cmの規模の中央穴が所在し、その周囲には炭層が広がっている。この土壇の南北両辺際に住居の主柱穴が位置しており、その規模は径約35cm、床面からの深さ約40～30cmを測る。柱穴断面では柱痕跡が確認されている。

図化可能な遺物は、床面直上から出土した高杯505・506・508や方形土壇から出土した鉢509などがある。505の高杯は、杯部屈曲部に明瞭な稜線をもち、杯部の調整は内外面にハケメが施されている。中空の脚柱部は長く、脚の裾部外面にはハケメが観察される。510は覆土中から出土した製塩土器の脚部である。

出土遺物等から、時期は百・古・Ⅱに比定される。

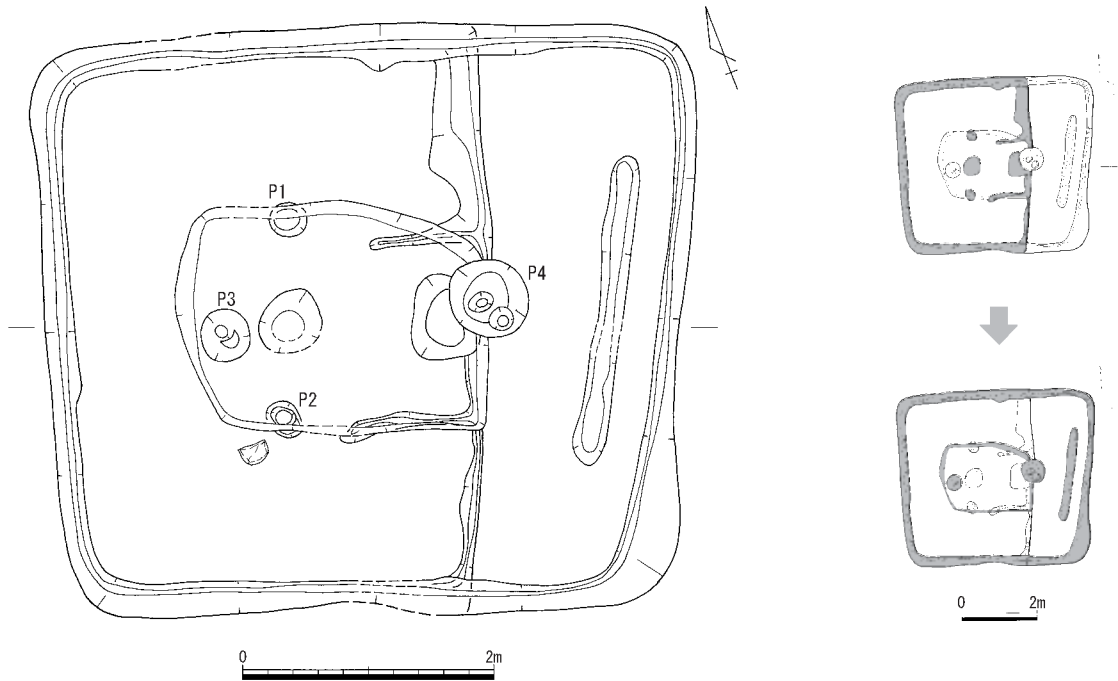
(小嶋)

竪穴住居7（第199・206～208図、写真29・30、図版14-1・2・28）

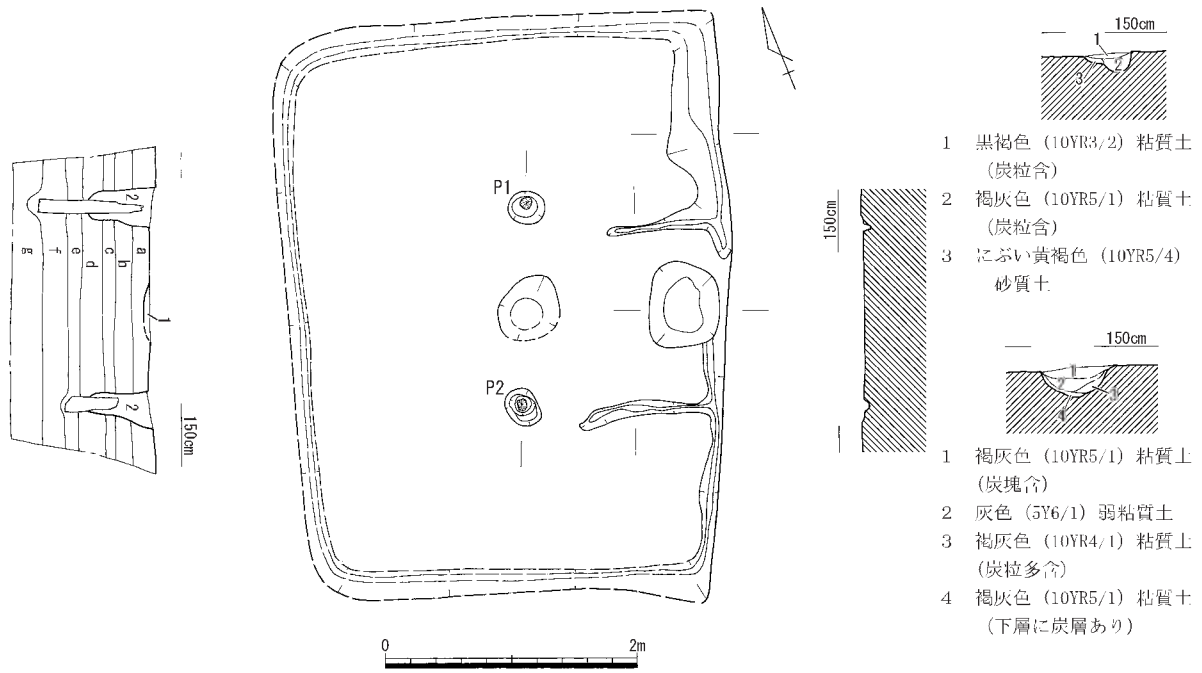
竪穴住居6から南西側へ約5mの地点で確認された住居である。東辺が東側に拡張して一度建て替えが行われている。

古段階の住居は、東辺を除いた南・北・西辺が新段階の住居により削平を受けているものの、長軸460cm、短軸346cmの長方形を呈すると想定され、その場合の床面積は13.97㎡である。床面からは主柱穴・中央穴・方形土壇・間仕切り溝が検出された。主柱穴は2個であり、平面円形を呈する。規模は、長径30cm、床面からの深さ約40cmを測る。柱穴間距離は、160cmである。柱穴には径12cmを測る丸太の柱材W19が残存しており、その柱材の底面には明瞭な加工痕が認められる。柱穴の断面から、柱穴掘り方底面より、P1では約40cm、P2では約20cm柱材が沈み込んでいる状況が観察された。この柱材の沈み込みにより、柱材の底面にあたるP1ではg層上面、P2ではf層上面付近が下に圧縮されている。よって、柱材を柱穴掘り方内に据えたのち、打ち込んだかもしくは屋根材等の重さで沈み込んだ可能性が指摘できよう。中央穴は長軸57cm、短軸48cmの円形を呈し、床面からの深さは5cmと浅い。方形土壇は東辺中央部から検出され、その規模は長軸69cm、短軸53cm、深さ25cmを測る。底面には炭層が認められる。東辺の壁体溝から主柱穴に向かって延びる間仕切り溝は、幅約10cm、深さ約3cmを測る。第207図に図示した土器はすべて方形土壇から出土したものである。512の甕は、「く」字状に外反した口縁部外面にタタキ痕が観察される。

新段階の住居は、長軸520～488cm、短軸460cmを測り、平面形はやや台形を呈している。床面積は20.37㎡である。検出面からの深さは約40cmであり、古墳時代の住居としては比較的良好に残存していた。主柱穴は2個で、長径約65～40cm、深さ45～40cmを測り、古段階とは90度異なった位置で検出されている。床面の中央部には、長軸約250cm、短軸約190cmを測る、5cm程度掘り下げられた土壇が位置しており、この底面からは、炭層が確認されている。東辺とP4の間には、その性格が不明なも

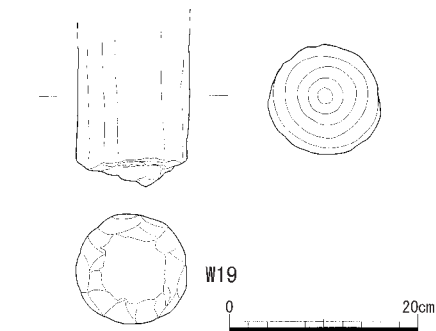
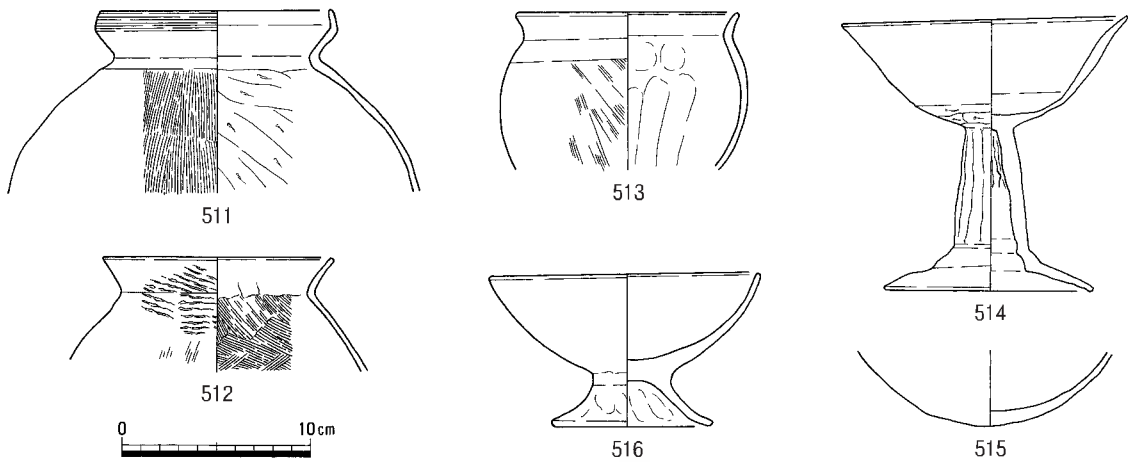


第206図 竪穴住居7（1/60）・変遷（1/200）



- 150cm
- 1 黒褐色 (10YR3/2) 粘質土 (炭粒含)
- 2 褐灰色 (10YR5/1) 粘質土 (炭粒含)
- 3 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 砂質土
- 150cm
- 1 褐灰色 (10YR5/1) 粘質土 (炭塊含)
- 2 灰色 (5Y6/1) 弱粘質土
- 3 褐灰色 (10YR4/1) 粘質土 (炭粒多含)
- 4 褐灰色 (10YR5/1) 粘質土 (下層に炭層あり)

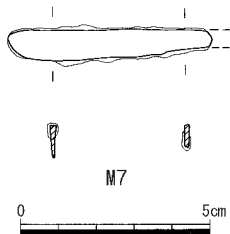
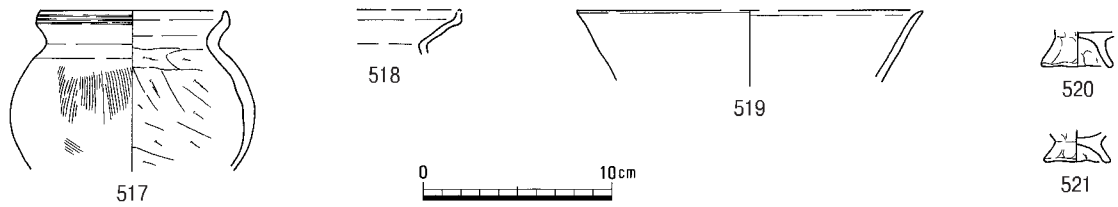
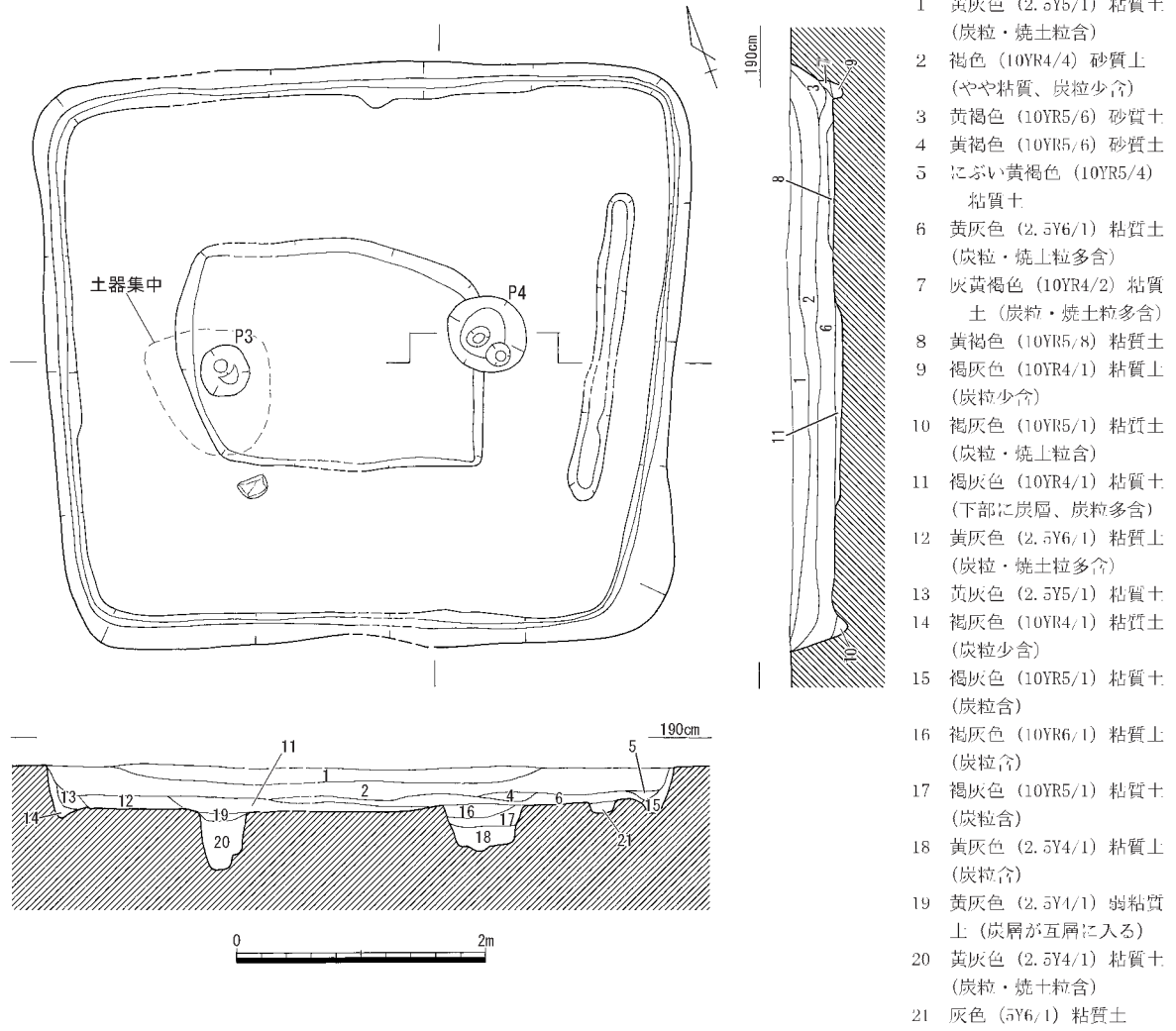
- 1 暗黄灰色 (2.5Y5/2) 粘質土 (炭・焼土粒含、下部に炭層あり)
- 2 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 (炭・焼土粒多含)
- a 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質微砂
- b 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘質微砂
- c オリーブ黄色 (10YR6/2) 粘質微砂
- d 灰色 (10Y6/1) 粘質微砂
- e オリーブ灰色 (10Y4/2) 粘質微砂 (植物遺体片含)
- f 灰色 (10Y4/1) 粘質微砂 (植物遺体片・灰白色微砂含)
- g ビート層 (砂と腐植物の互層)



第207図 竪穴住居7<古> (1/60)
・出土遺物 (1/8・1/4)



写真29 竪穴住居7<古> P1 (西から)



第208図 竪穴住居7<新> (1/60)
 ・出土遺物 (1/4・1/2)

写真30 竪穴住居7<新> (南西から)

の、幅約25cm、深さ約10cm、長さ250cmの溝が検出されている。第208図に図示した遺物は、P3の周辺から出土したものである。

時期は、新・古段階ともに、百・古・Ⅱの範疇である。 (小嶋)

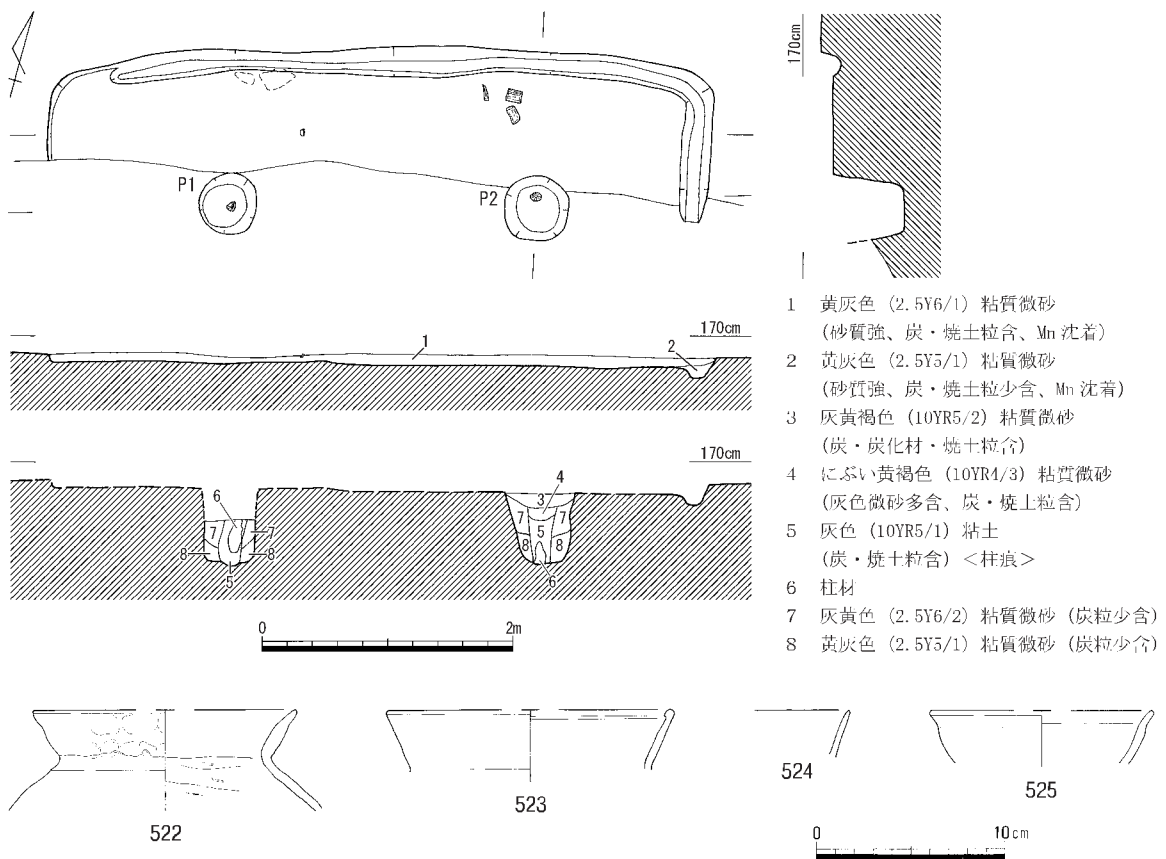
竪穴住居 8 (第199・209図、図版14-3)

先述の竪穴住居7から南東に約5mの位置で検出された竪穴住居である。南側の大部分を百間川低水路によって削平されている。平面形は、残存状況から、方形もしくは長方形と想定される。平面円形を呈する柱穴が2個検出されており、その規模は、長径約50cm、深さ約60cmを測る。柱痕跡および柱材が残存していた。柱穴の検出位置から、4本柱の竪穴住居と考えられる。

遺構の時期は、出土遺物から、百・古・Ⅲと考えられる。 (小嶋)

竪穴住居 9 (第199・210~212図、図版15-1・34)

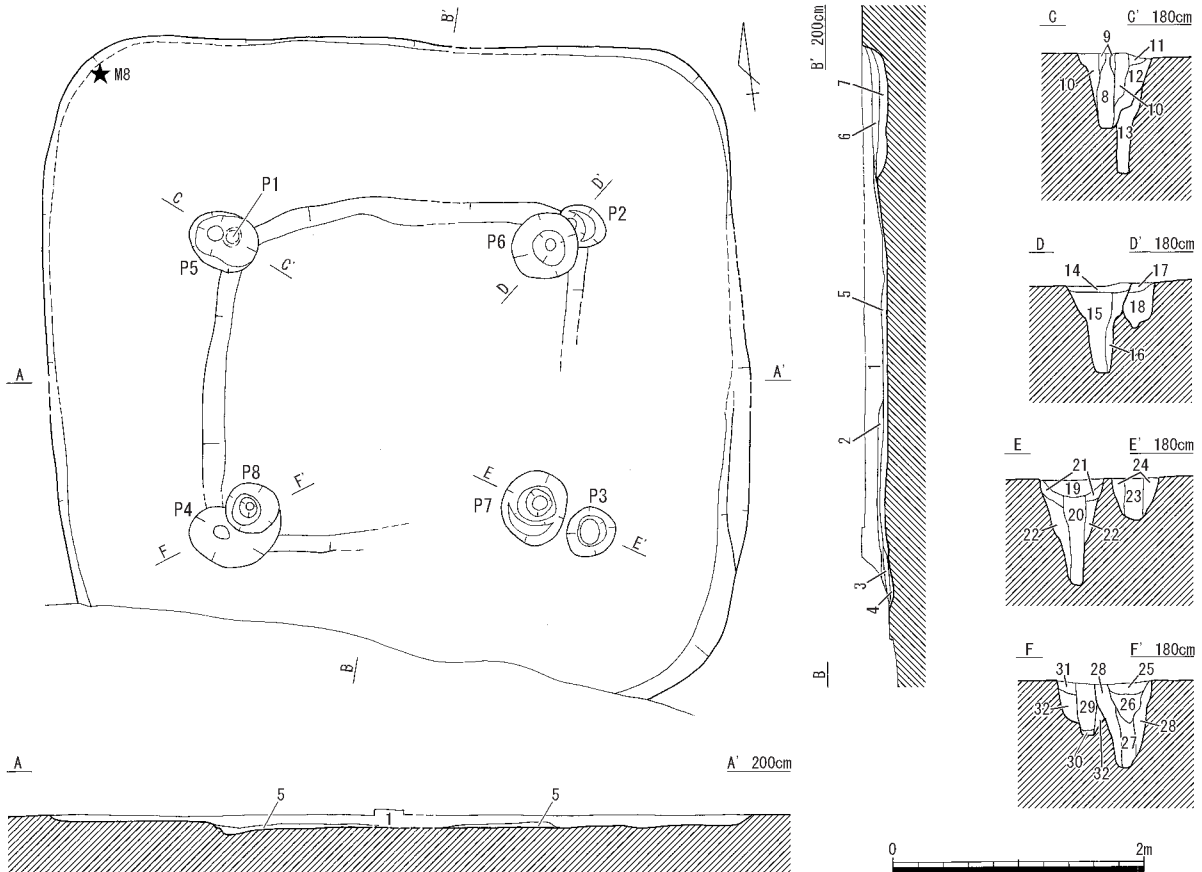
302Z区の調査区に位置する竪穴住居である。土壙48・49、溝42・43に切られ、特に溝43で南辺の多くを失う。住居は、弥生時代後期末の水田が廃絶した後の低位部に面しており、その肩口から南側へ約2.5mの位置にある。後述するように、住居からこの低位部に向かって溝が伸びており、住居の排水溝と考えられる。住居の平面形は、隅丸方形を呈する。検出時の規模は、東西長558cm、南北長530cm、床面の海拔高155cmを測る。床面積は26.12㎡となる。床面の施設としては、柱穴、高床部、貼床を確認している。支柱穴は4本柱で、高床部のコーナーに設けられる。規模の小さいP1~4から、大きいP5~8に建て替えられたと考えられる。P1~4は、径40cm前後の円形を呈し、深さ33~60cmを測る。各柱間距離は230~290cmとばらつく。またP5~8は、径45~60cmの円形を呈し、深



第209図 竪穴住居 8 (1/60)・出土遺物 (1/4)

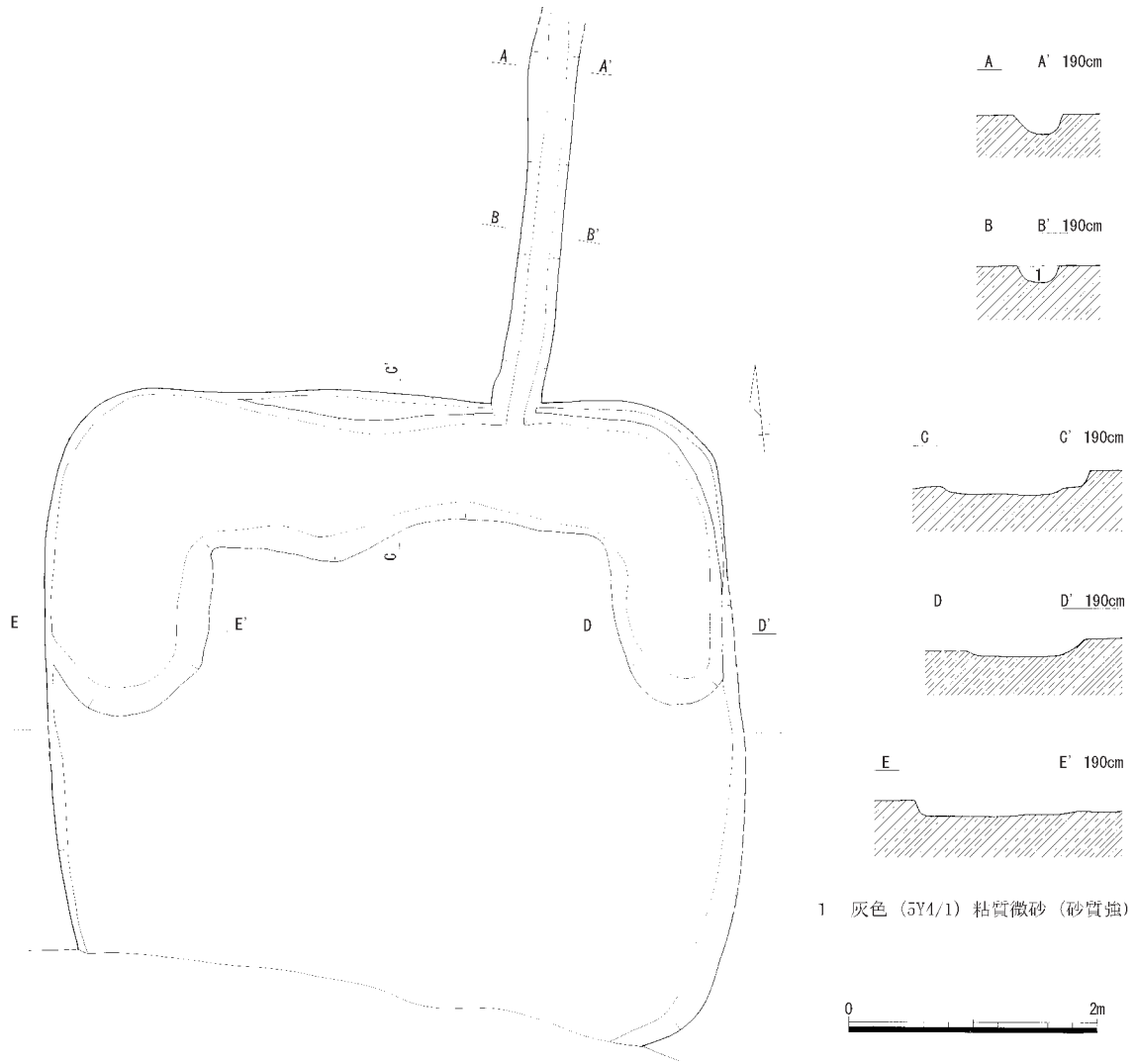
さ70~95cmを測る。各柱間距離は200~265cmである。高床部は地山の削り出しによるもので、南東部で検出していないが、本来は全周していた可能性が高い。この高床部の内側には貼床がある。

また、高床部等の床面を掘り下げたところ、住居の北辺側に下部構造と考えられる「コ」字状の溝を検出した。さらにここから北側の低位部に向かって直線的に延びる排水溝を検出した。その検出長は約3m、幅35cm、深さ12~13cmを測る。排水溝は取り付け部の観察等から、下部構造の構築時には

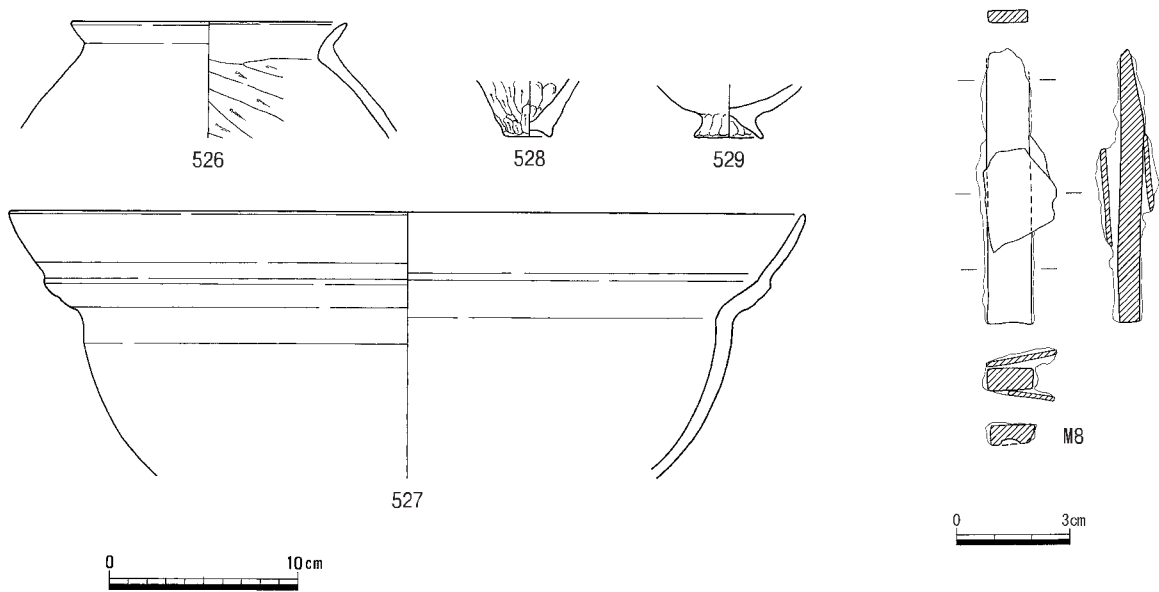


- | | |
|---|---|
| <p>1 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒・Mn 含)</p> <p>2 明褐色 (7.5Y7/2) 微砂</p> <p>3 褐色 (7.5YR4/2) 砂質土</p> <p>4 炭・焼土粒</p> <p>5 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粘質微砂 (にぶい黄褐色粘質微砂・
基盤土ブロック・炭・焼土粒多含) <貼床></p> <p>6 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (にぶい黄褐色粘質微砂・
基盤土ブロック・炭・焼土粒含)</p> <p>7 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含)</p> <p>8 緑灰色 (10GY5/1) 粘土 (基盤土ブロック・炭・焼土粒含)</p> <p>9 オリーブ灰色 (10Y5/2) 粘土
(基盤土ブロック・炭・焼土粒含)</p> <p>10 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂 (にぶい黄褐色粘質微砂・
基盤土ブロック多含、炭・焼土粒含)</p> <p>11 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒少含)</p> <p>12 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 砂質土</p> <p>13 オリーブ灰色 (10Y4/2) 粘土</p> <p>14 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒少含)</p> <p>15 オリーブ灰色 (10Y5/2) 粘土
(基盤土ブロック・炭・焼土粒含)</p> <p>16 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂
(基盤土ブロック多含、炭・焼土粒含)</p> <p>17 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒少含)</p> | <p>18 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂 (にぶい黄褐色粘質微砂・
基盤土ブロック多含、炭・焼土粒含)</p> <p>19 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒少含)</p> <p>20 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒少含)</p> <p>21 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質微砂 (基盤土ブロック含)</p> <p>22 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂 (にぶい黄褐色粘質微砂・
基盤土ブロック多含、炭・焼土粒含)</p> <p>23 オリーブ灰色 (10Y5/2) 粘土
(基盤土ブロック・炭・焼土粒含)</p> <p>24 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂 (にぶい黄褐色粘質微砂・
基盤土ブロック多含、炭・焼土粒含)</p> <p>25 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒少含)</p> <p>26 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 砂質土 (炭・焼土粒含)</p> <p>27 オリーブ灰色 (10Y5/2) 粘質微砂
(基盤土ブロック・炭・焼土粒多含)</p> <p>28 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂 (にぶい黄褐色粘質微砂・
基盤土ブロック多含、炭・焼土粒含)</p> <p>29 緑灰色 (10GY5/1) 粘土 (基盤土ブロック・炭・焼土粒含)</p> <p>30 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘土</p> <p>31 灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒少含)</p> <p>32 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質微砂
(基盤土ブロック・炭・焼土粒多含)</p> |
|---|---|

第210図 竪穴住居9 (1/60)



第211図 竪穴住居9下部構造と排水溝 (1/60)



第212図 竪穴住居9出土遺物 (1/4・1/2)

既に設けられていたと考えられる。

出土遺物は、土師器甕526、鉢527、製塩土器529、ミニチュア土器528と、ヤリガンナM 8である。

住居の廃絶時期は、出土遺物から百・古・Ⅲと考えられる。(高田)

竪穴住居10 (第199・213図、写真31、図版15-2)

302Z区に位置する竪穴住居で、炭化材や炭の広がりから焼失住居と考えられる。上部に竪穴住居11がほぼ重なるため、床面までの残存高は10cm前後となり、炭化材の遺存も悪い。住居の平面形は、方形を呈し、検出時の規模は、東西長339cm、南北長315~330cm、床面の海拔高145cmを測る。床面積は9.67㎡となる。床面の施設は、柱穴、中央穴、土壇、間仕切り溝、壁体溝を確認している。主柱穴は2本柱で、中央穴の両側に配される。いずれも径30cm前後の円形を呈し、床面からの深さはP1が50cm、P2が60cm、柱間距離は120cmを測る。中央穴は23×18cmの楕円形を呈し、深さは8cmを測る。土壇は、P2と南辺との中間に設けられるもので、40×33cmの不整円形を呈し、深さは5cm程度と浅い。また、全周する壁体溝の東辺の南寄りから直角に間仕切り溝が延びている。

図示した遺物は、中央穴から出土した土師器の高杯530である。

住居の時期は、検出状況と出土遺物から百・古・Ⅲと考えられる。(高田)

竪穴住居11 (第199・214・215図、写真31、図版15-3・16-1・36)

先述の竪穴住居10の上部に重なり、溝43・44に切られる竪穴住居である。住居の平面形は、方形を呈し、検出時の規模は、東西長491~500cm、南北長467cm、床面の海拔高155~160cmを測る。床面積は20.90㎡となる。床面の施設は、柱穴、土壇、間仕切り溝、壁体溝、貼床を確認している。主柱穴

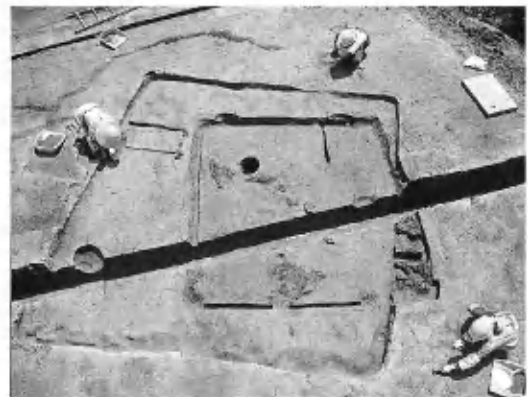
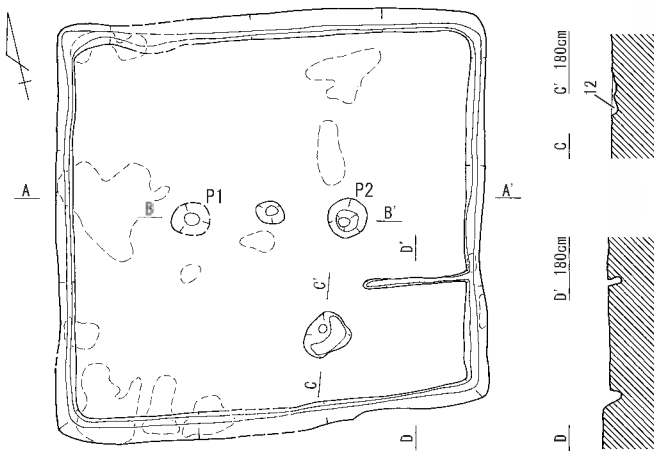
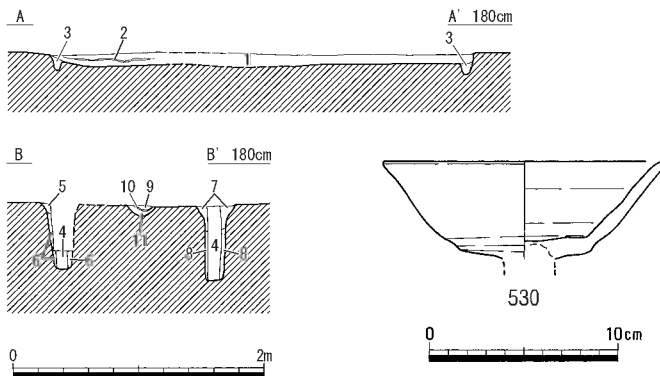
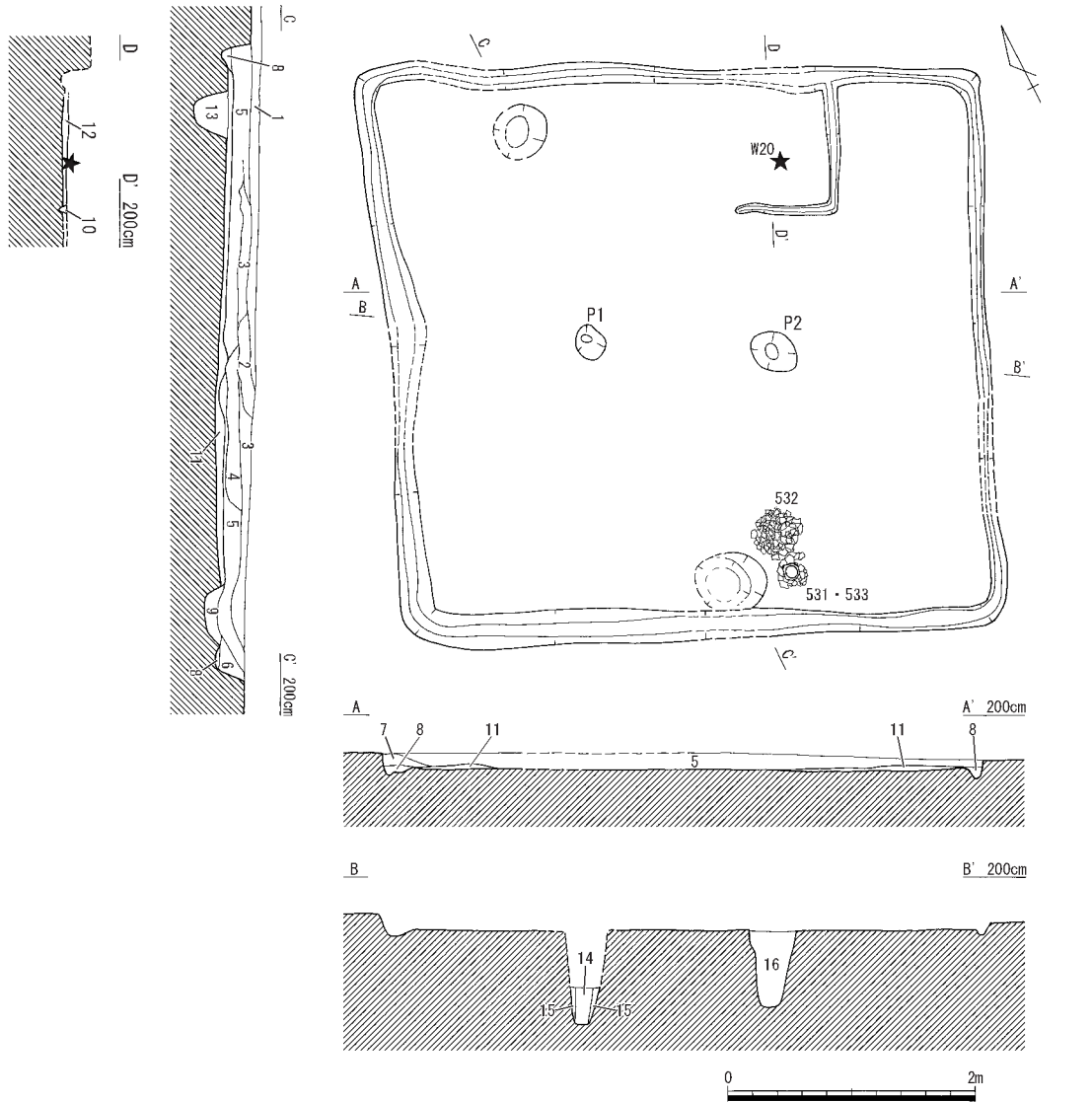


写真31 竪穴住居10・11 (西から)



- 1 明褐色 (7.5YR5/6) 粘質微砂
- 2 炭層
- 3 褐灰色 (10YR5/1) 粘質微砂
- 4 黒褐色 (2.5Y3/1) 粘質微砂~粘土<柱痕>
- 5 褐灰色 (10YR4/1) 粘質微砂
- 6 黄褐色 (2.5Y5/2) 砂質粘土
- 7 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 粘質微砂
- 8 暗オリーブ色 (5Y4/4) 砂質粘土
- 9 褐色 (2.5Y4/3) 粘質微砂
- 10 炭層
- 11 黄褐色 (10YR5/8) 砂質微砂
- 12 黒褐色 (2.5Y3/2) 粘質微砂

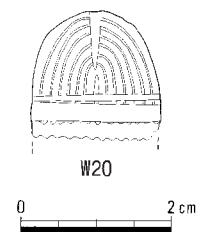
第213図 竪穴住居10 (1/60)・出土遺物 (1/4)

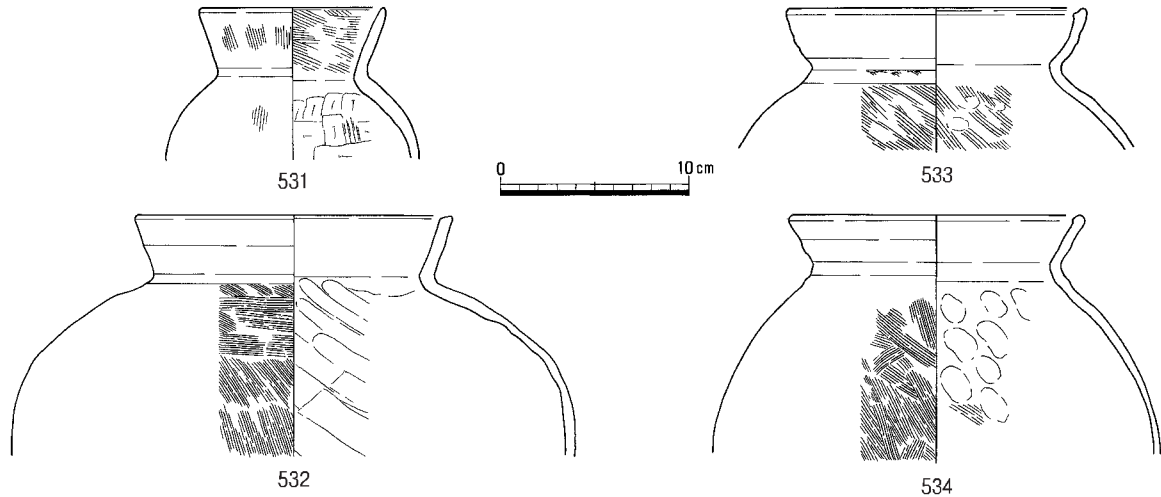


- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1 にぶい黄褐色 (10YR5/3) 粘質微砂 | 9 黒褐色 (10YR3/2) 粘質微砂 |
| 2 黄褐色 (10YR5/6) 砂質微砂<溝43埋土> | 10 灰色 (N4/) 微砂質粘土 |
| 3 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粘質微砂
(炭・焼土粒含) | 11 褐灰色 (7.5YR5/1) 粘質微砂<貼床> |
| 4 褐灰色 (10YR5/1) 微砂質粘土 | 12 黄褐色 (10YR5/6) 粘質微砂 (黒褐色粘質微砂ブロック含)<貼床> |
| 5 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 粘質微砂 | 13 褐灰色 (10YR4/1) 粘質微砂 (明黄褐色粘質微砂ブロック含) |
| 6 にぶい黄褐色 (10YR5/3) 粘質微砂 | 14 暗灰黄色 (2.5Y6/4) 粘土 |
| 7 褐色 (7.5YR4/4) 粘質微砂 | 15 にぶい黄褐色 (2.5Y6/4) 粘土 |
| 8 褐灰色 (7.5YR5/1) 粘質微砂 | 16 黒褐色 (5YR2/2) 粘質微砂 |

第214図 竪穴住居11 (1/60)・出土遺物① (1/1)

は2本柱で、住居中央の東西に配される。その掘り方は、径35cm前後の円形を呈し、床面からの深さはP 1が75cm、P 2が60cm、柱間距離は150cmを測る。土壌は、南辺のほぼ中央に接して設けられるもので、55×45cmの楕円形を呈する。底は二段に落ち込み、深さは16cmを測る。また、全周する壁体溝の北辺の東寄りからは、鍵の手状の間仕切り溝が延びている。貼床は、中央付近で一部未検出であるが、3～5cmの厚さで





第215図 竪穴住居11出土遺物② (1/4)

ほぼ全面に施される。

出土遺物は、土師器と櫛である。W20は、結菌式竪櫛の頭部である。漆皮膜のみの残存で、櫛菌についても既に失われていた。住居北辺から延びる間仕切り内において、貼床上面に接した状態で検出した。結菌式竪櫛としては、百間川遺跡群で4例目の出土となる。また、図示した土師器は、壺531と甕532～534である。このうち、壺531と甕532・533は南辺に接する土壌肩口において検出したものである。

住居の時期は、検出状況と出土遺物から百・古・Ⅲと考えられる。

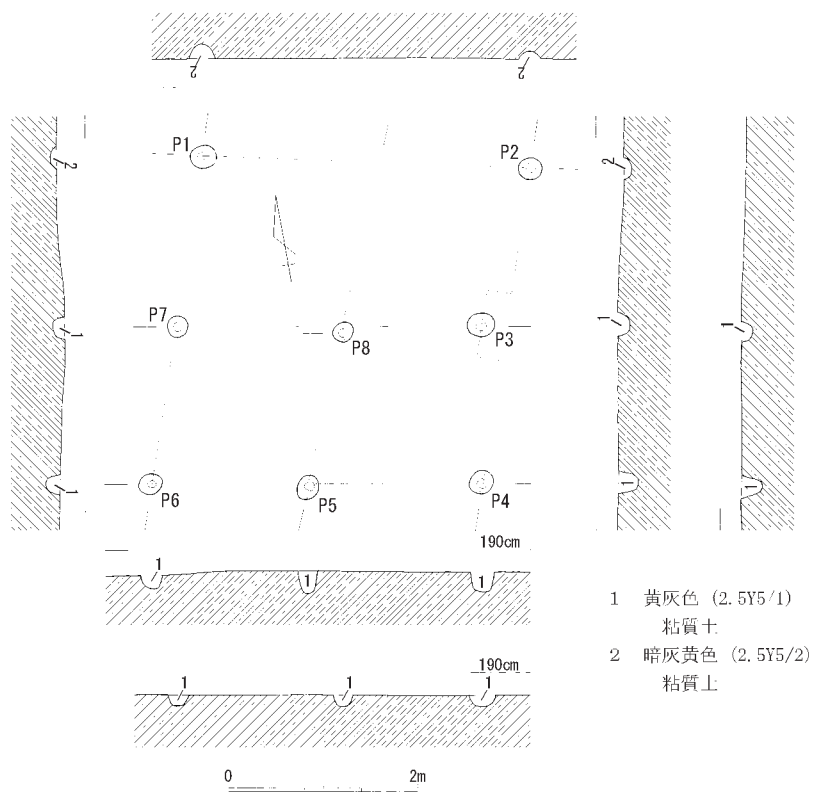
(高田)

3 掘立柱建物

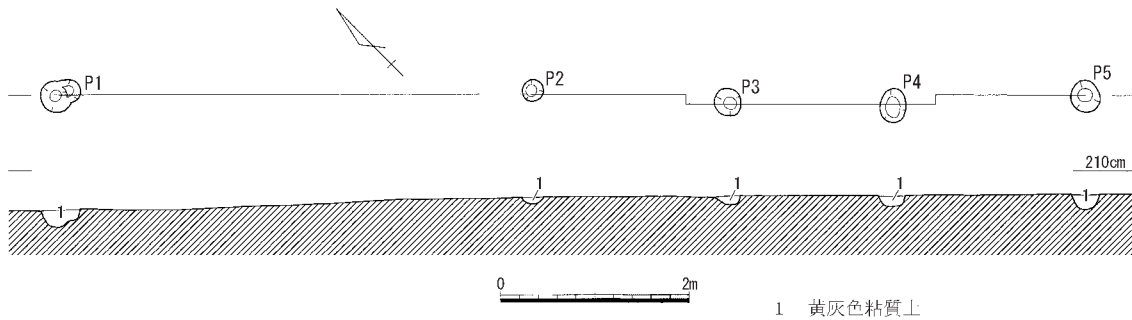
掘立柱建物40

(第199・216図)

303R・S区に位置する掘立柱建物である。北辺中央の柱穴を未検出だが、2×2間と考えられる。その規模は、柱間距離が165～183cmを測り、棟方向はN-79°-E、建坪は11.97㎡となる。建物の平面形は平行四辺形を呈する。柱穴の掘り方の平面形は円形で、その径は20～30cmを測る。本例と同様な規模と形態の建物を百間川兼基遺跡において検出している。それらの時期については、出土土器から百・古・Ⅲに比定されて



第216図 掘立柱建物40 (1/80)



第217図 柱穴列6 (1/80)

いる。本建物の時期については、出土遺物はないものの、百間川兼基遺跡の類例から百・古・Ⅲ期と
考えたい。(高田)

4 柱穴列

柱穴列6 (第199・217図)

302・303S区に位置する柱穴列である。その南側は「百今谷1柵列」に続き、303・304S～U区ま
で延びていくものと考えられる。それらによると、Sライン付近から直線的に約45m延びた後、東に
折れてさらに約17m以上延びるものである。柱穴の掘り方は円～楕円形を呈し、径は22～40cmを測る。
埋土は黄灰色粘質土で、先述の掘立柱建物40のものと同様である。

柱穴列の時期は、検出状況から百・古・Ⅲと考えられる。(高田)

5 井戸

井戸5 (第199・218図)

井戸5は302V区に位置し、溝34に近接している。平面形は120×109cmの円形を呈し、検出面から
の深さは105cm、底面の標高は31cmを測る。断面形は「V」字状を呈し、上部から底へ向けて急激に
狭くなり、底面の直径は12cm前後である。埋土上層は砂質土、中・下層は粘質土で、炭・焼土を含む。
中・下層には灰色土ブロックが見られることから、埋め戻された可能性がある。

井戸5の時期は、埋土に混入した土器の特徴から古・前・Ⅲと推定される。(小嶋)

井戸6 (第199・219図、図版16-2)

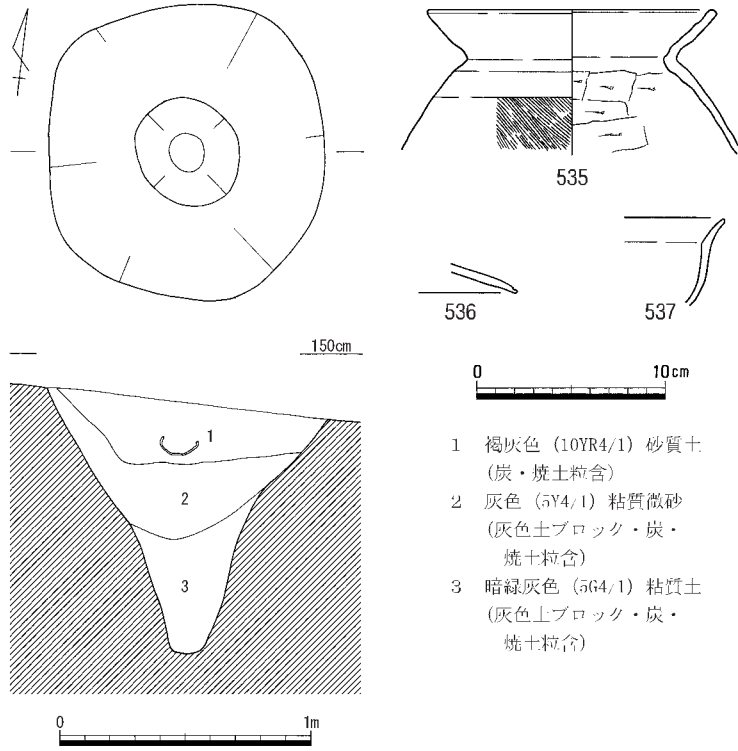
井戸6は302・303W区、溝32と溝34の合流部付近に位置する。平面形は76×65cmの円形を呈し、検
出面からの深さは99cm、底面の標高は56cmを測る。断面形は「U」字状を呈する。埋土上半は砂質土、
下半は粘質土である。遺物は検出されなかった。

井戸6の時期は、検出層位などから古墳時代前期と推定される。(小嶋)

井戸7 (第199・220図、図版16-3)

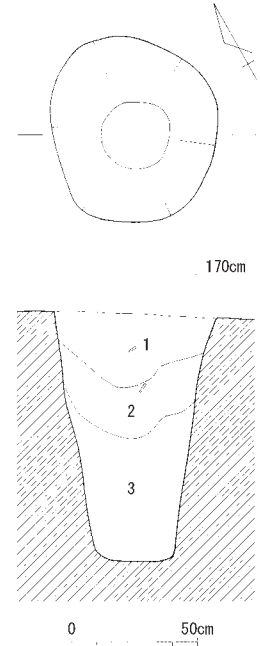
301X区の調査区端に位置する素掘り井戸で、西側の溝38に上端の一部を切られる。井戸の平面形は、
径100cm弱の円形を呈し、検出面からの深さは100cm、底面海拔高は41cmとなる。断面形は、平坦な底
から垂直に壁が立ち上がった後、上部になるにつれて逆「ハ」字状に開くものである。埋土は9層で
ある。中位以上の各層にブロック土を含み、第5層以下に炭粒を顕著に含んでいる。

図示し得る出土遺物はないが、検出状況から井戸の時期を前期と考えたい。(高田)



第218図 井戸5 (1/30)・出土遺物 (1/4)

- 1 褐灰色 (10YR4/1) 砂質土
(炭・焼土粒含)
- 2 灰色 (5Y4/1) 粘質微砂
(灰色土ブロック・炭・
焼土粒含)
- 3 暗緑灰色 (5G4/1) 粘質土
(灰色土ブロック・炭・
焼土粒含)



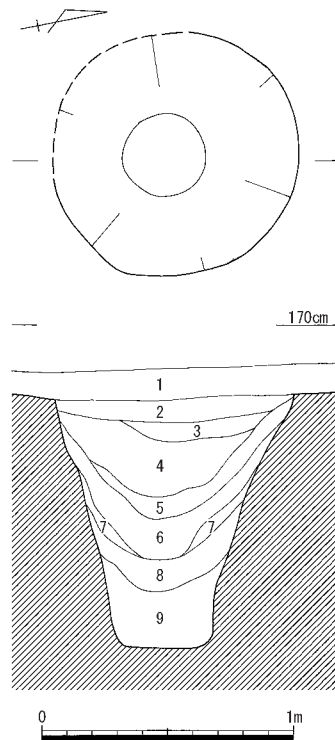
- 1 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質微砂
(炭・焼土粒・植物遺体含)
- 2 暗緑灰色 (10GY4/1) 砂質土
(木片含)
- 3 暗緑灰色 (5G4/1) 粘土

第219図 井戸6 (1/30)

井戸8 (第199・221・222図、
写真32、図版16-4・
28・35)

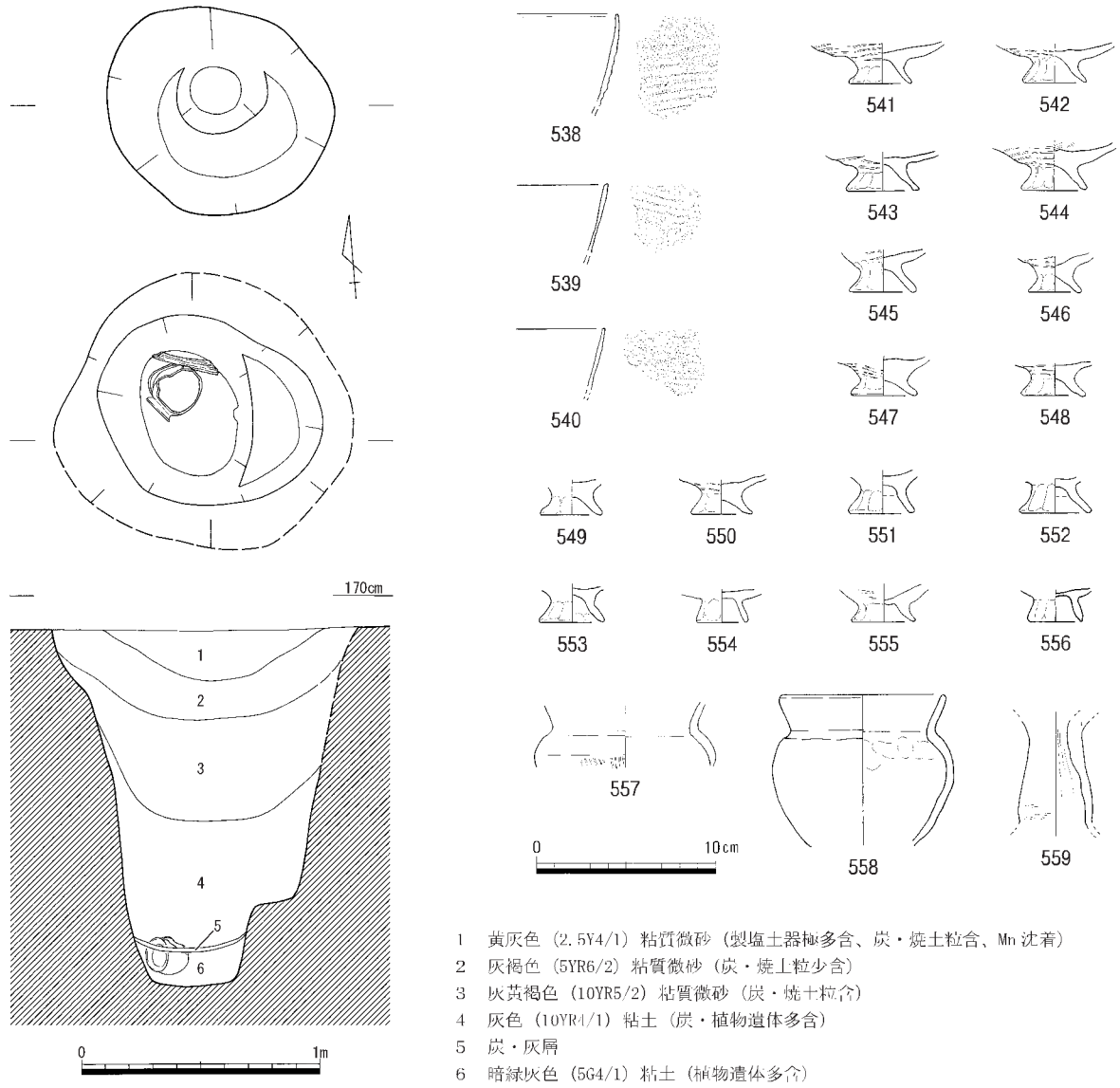
303W区に位置している井戸
である。先述した竪穴住居7か
らは、南西側へ7m離れた地点
で検出された。

当初、この井戸は土壙と認識
していたため、第221図の井戸
平・断面図の上の図の状態です
完掘としていた。しかし、改めて
検討したところ、土壙としていた
状態は、井戸廃絶後、井戸埋
土が窪んだところに写真32の製
塩土器が大量に廃棄された、土
器溜まり状の遺構と判明した。
この土器溜まり状の遺構埋土は
井戸断面図の第1層であり、下
部にはマンガンが沈着し、炭・



- 1 灰赤色 (2.5YR5/2) 粘質微砂
(炭・焼土粒含、Fe・Mn 多沈着)
- 2 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質微砂
(にぶい黄色微砂ブロック・炭
・焼土粒含)
- 3 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘質微砂
(第2層ブロック含)
- 4 第2層と第3層ブロックの混合
(炭・焼土粒含)
- 5 灰色 (10Y4/1) 粘質微砂
(灰黄色年質微砂ブロック含、
炭粒多含)
- 6 灰色 (10Y5/1) 砂質土
(第5層ブロック
・薄層状炭粒多含)
- 7 灰色 (10Y5/1) 微砂
- 8 暗オリーブ褐色 (10GY4/1) 粘土
(炭粒多含)
- 9 灰色 (N4/) 年質微砂 (炭粒多含)

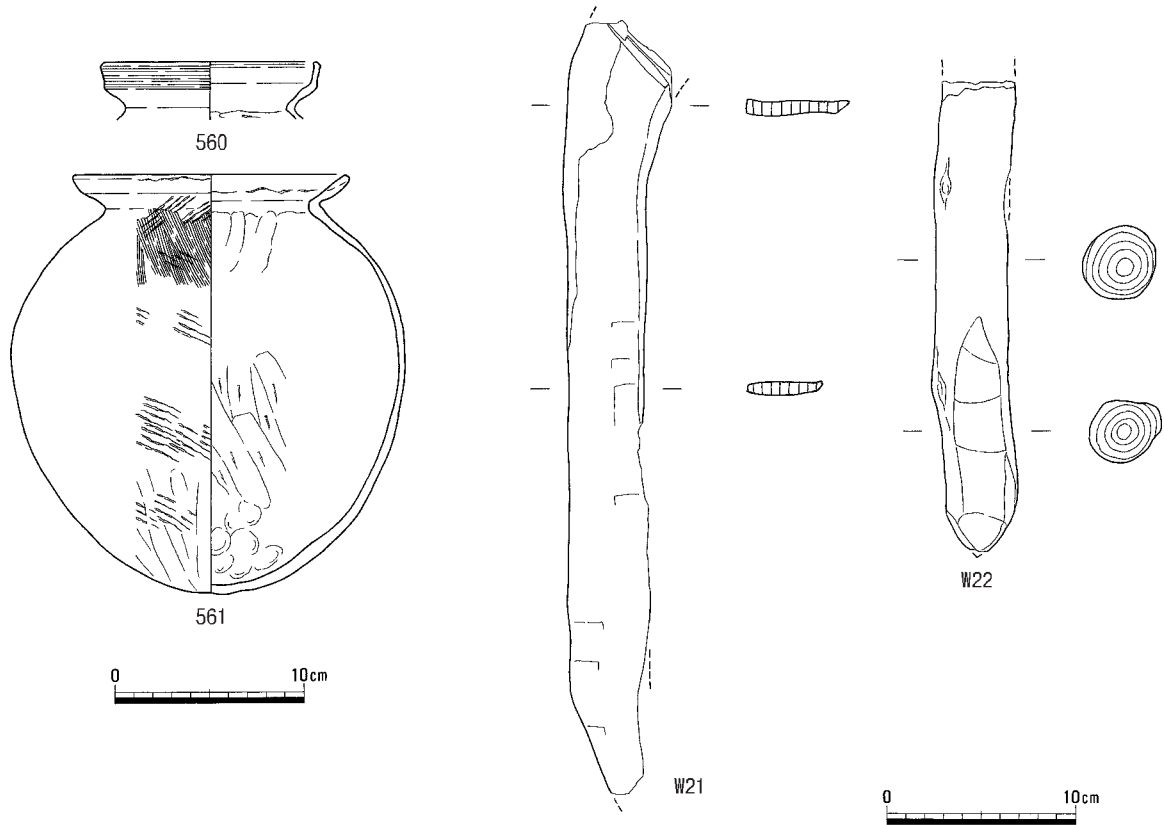
第220図 井戸7 (1/30)



第221図 井戸8 (1/30)・上層出土遺物 (1/4)



写真32 井戸8上層出土製塩土器

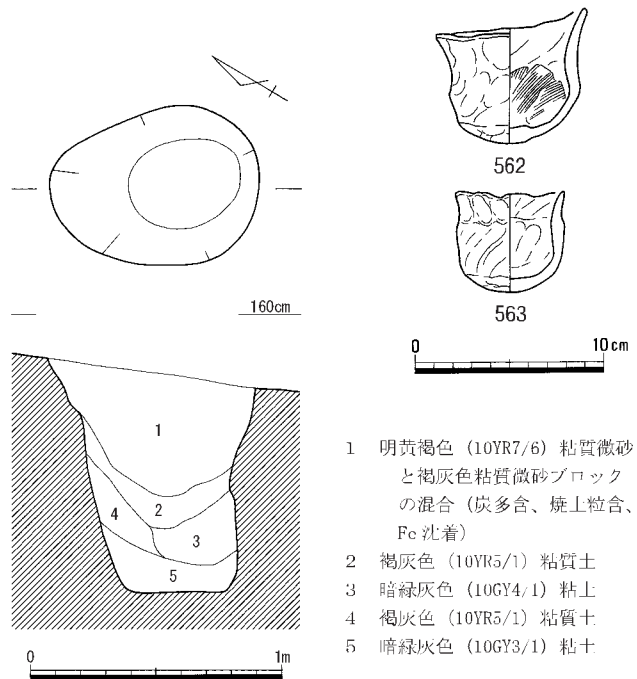


第222図 井戸8下層出土遺物 (1/4)

焼土粒を含んでいた。出土した製塩土器には、完形に復元できたものはないが、脚部の残存状況1/2以上の出土点数は、最低33点を数えた。

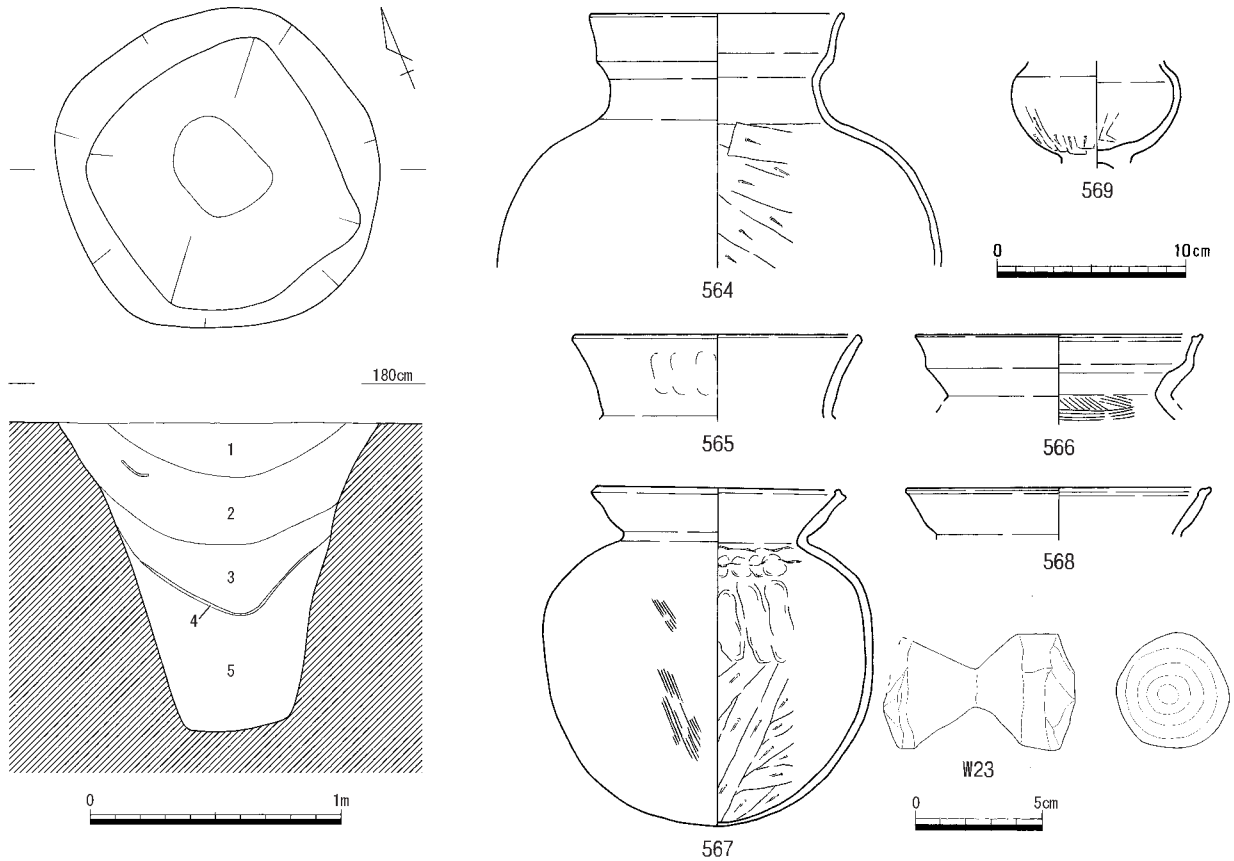
井戸の形態は、検出面では長径125cm、短径112cmの不整楕円形を呈している。標高50cm付近では、東半部に径50cm程度の、半円形を呈するテラスが確認された。検出面から底面までの深さは148cmを測り、その標高は7cmであった。第222図に図示している口縁部が「く」字状の甕561は、第6層から出土したものであり、ほぼ完形品であることから、井戸廃絶時のマツリに使用されたかもしれない。W21・22は第4・6層中から出土し、いずれも加工痕が観察される。

この井戸は、百・古・IIの時期に廃絶したと思われる。(小嶋)



- 1 明黄褐色 (10YR7/6) 粘質微砂と褐灰色粘質微砂ブロックの混合 (炭多含、焼土粒含、Fe 沈着)
- 2 褐灰色 (10YR5/1) 粘質土
- 3 暗緑灰色 (10GY4/1) 粘土
- 4 褐灰色 (10YR5/1) 粘質土
- 5 暗緑灰色 (10GY3/1) 粘土

第223図 井戸9 (1/30)・出土遺物 (1/4)



- | | |
|---|----------------------------|
| 1 にぶい黄色 (2.5Y6/3) 粘質微砂 (砂質強、炭・焼土粒含、Fe 沈着) | 4 炭層 |
| 2 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質微砂 (粘質強、炭・焼土粒含、Fe 沈着) | 5 灰色 (10Y4/1) 粘土 (炭・焼土粒少含) |
| 3 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 (炭・焼土粒少含) | |

第224図 井戸10 (1/30)・出土遺物 (1/4・1/3)

井戸9 (第199・223図)

302Y区に位置する素掘りの井戸である。井戸の平面形は、長径83cm、短径63cmの楕円形を呈し、検出面からの深さは93cm、底面海拔高は50cmとなる。断面形は、平坦な底からほぼ垂直に壁が立ち上がった後、中位以上が逆「ハ」字状に開くものである。

図示した遺物は、手握ね土器562・563である。井戸の時期は、前期と考えられる。(高田)

井戸10 (第199図・224図、図版16-5・28)

302Z区で検出した素掘りの井戸で、竪穴住居9の西側3mに位置する。井戸の平面形は、径122~132cmのやや不整な円形を呈し、検出面からの深さは123cm、底面海拔高は41cmとなる。断面形は、平坦な底から急斜に壁が立ち上がった後、上部が逆「ハ」字状に開くもので、この傾斜変換部の平面形は隅丸方形を呈す。最下層からの出土遺物が多く、土師器と木製品がある。図示したものは、土師器壺564・569、甕565~568、木錘W23である。井戸の時期は、百・古・Ⅲと考えられる。(高田)

6 土壌

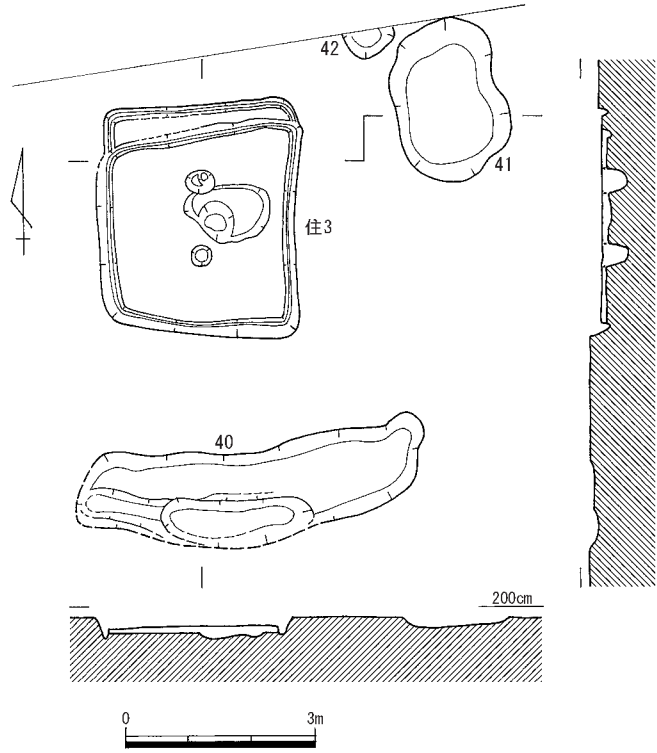
土壌40 (第199・225・226図、図版13-2)

302S・T区に所在する。この土壌の東側から、約15mにわたって、古墳時代の遺構検出層が急激に下がっている。よって、検出当初はこの下がり続きと判断していたが、精査したところ土壌と認

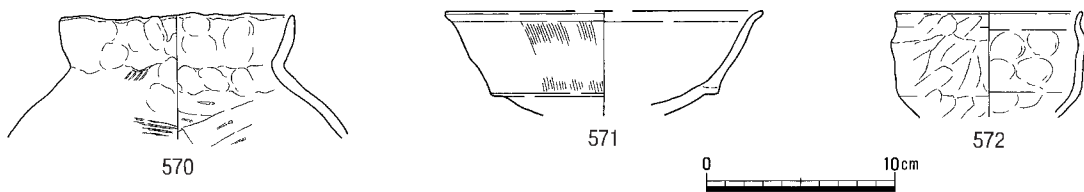
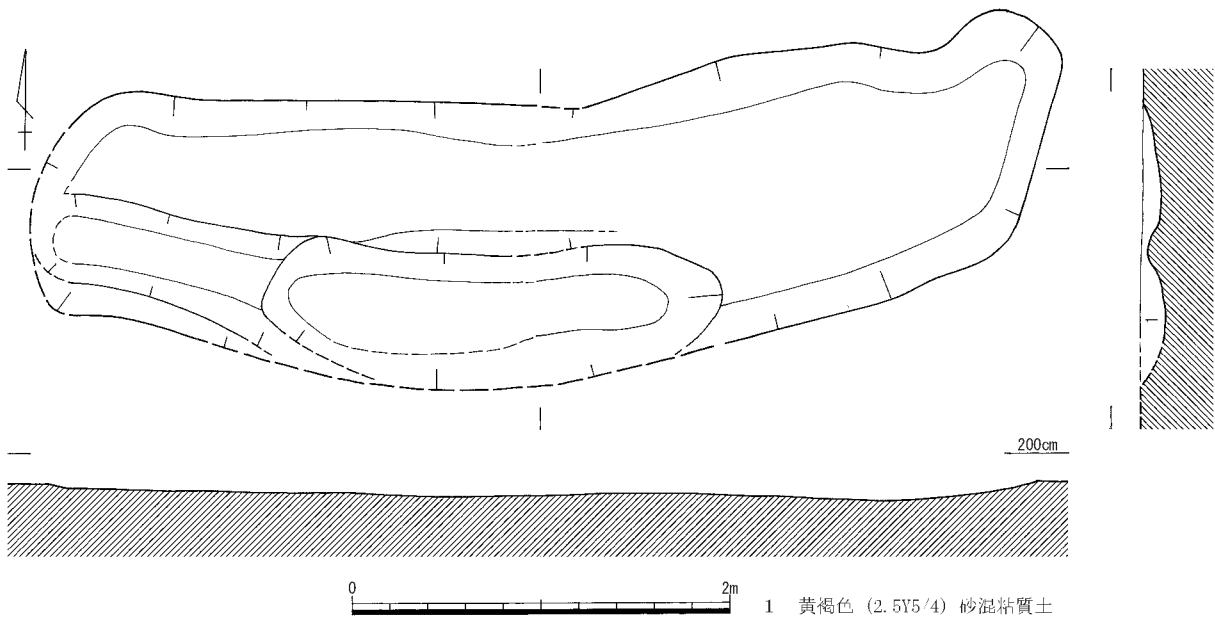
定した。西側は南北トレンチにより削平を受けているものの、不整長方形を呈している。規模は、長軸推定530cm、短軸推定150cm、深さ15cmである。この土壇は、後述する土壇41・42と同様に、時期や検出位置等から、竪穴住居3の外周土壇と想定される。(小嶋)

土壇41 (第199・225・227図、
図版13-2・16-6)

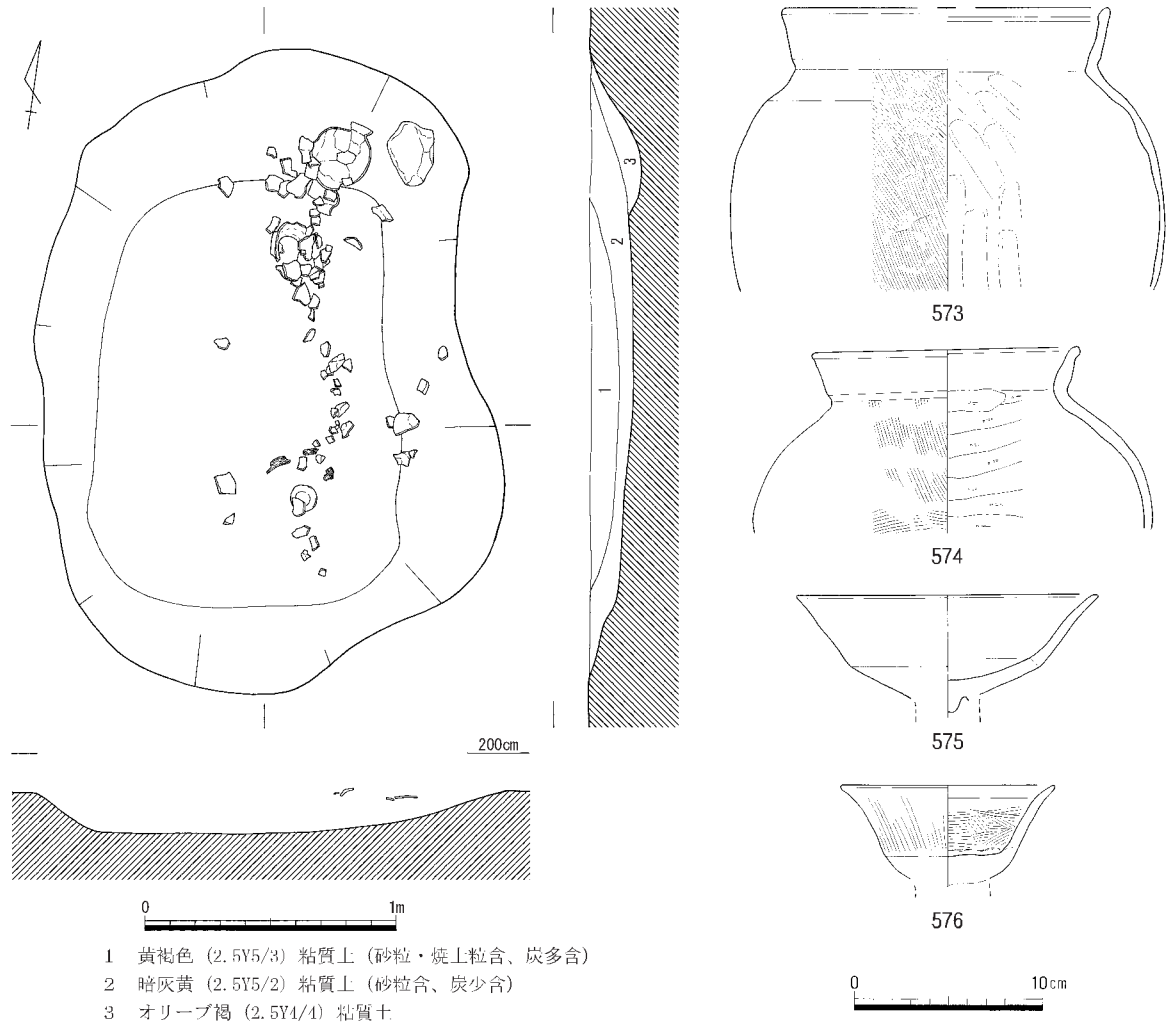
竪穴住居3の東側約1mから検出された。平面隅丸方形を呈し、その規模は長軸254cm、短軸170cm、深さ20cmを測る。土壇底面からやや浮いた状態ではあるが、573~576の土器が出土している。埋土中には炭が多く含まれ、その供給元は焼失住居である竪穴住居3に由来するものかもしれない。時期は、竪穴住居3と同様に古・前・Ⅲに比定される。(小嶋)



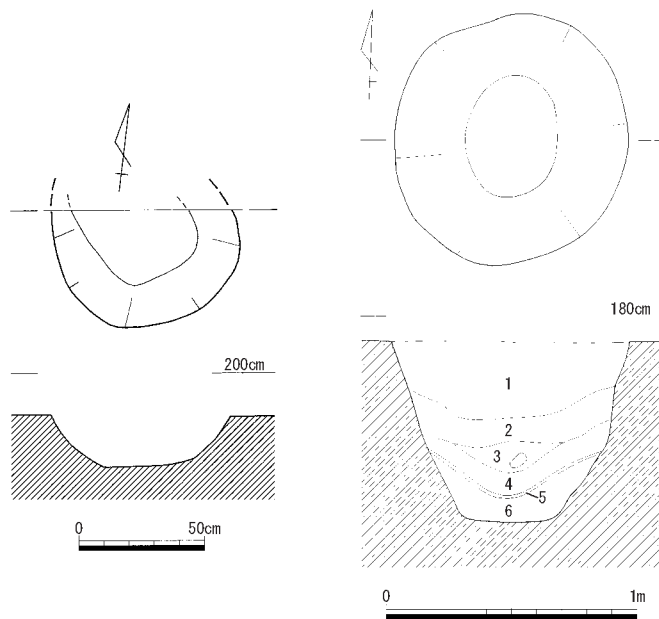
第225図 竪穴住居3と土壇40・41 (1/120)



第226図 土壇40 (1/40)・出土遺物 (1/4)



第227図 土壌41 (1/30)・出土遺物 (1/4)



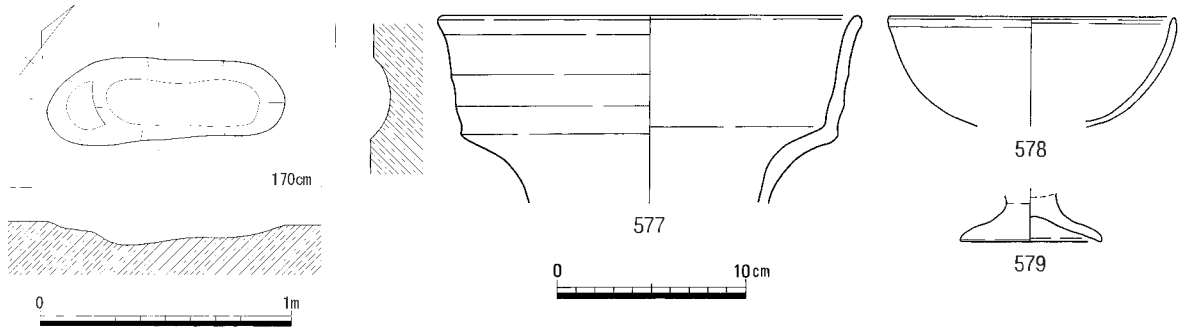
第228図 土壌42 (1/30)

土壌42 (第199・228図)

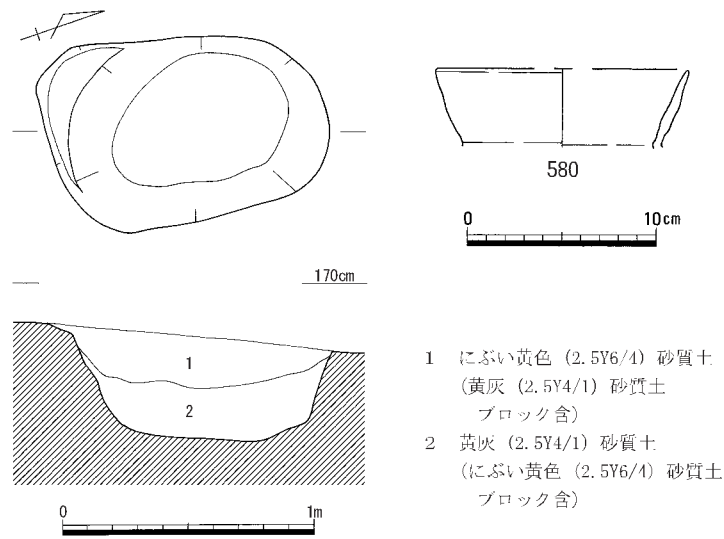
土壌41の北西側に隣接しており、
 竪穴住居3の北東側約1mから検出
 された。北側が側溝により削平され
 ているものの、長軸70cm以上の平面
 隅丸長方形を呈すると想定される。
 断面は椀形を呈し、検出面からの深
 さは20cmを測る。(小嶋)

- 1 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
- 2 にぶい黄色 (2.5Y6/3) 砂質土
- 3 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
(炭粒少含)
- 4 オリーブ黒色 (7.5Y3/1) 粘質土
(炭粒少含)
- 5 炭層
- 6 灰色 (7.5Y4/1) 粘土

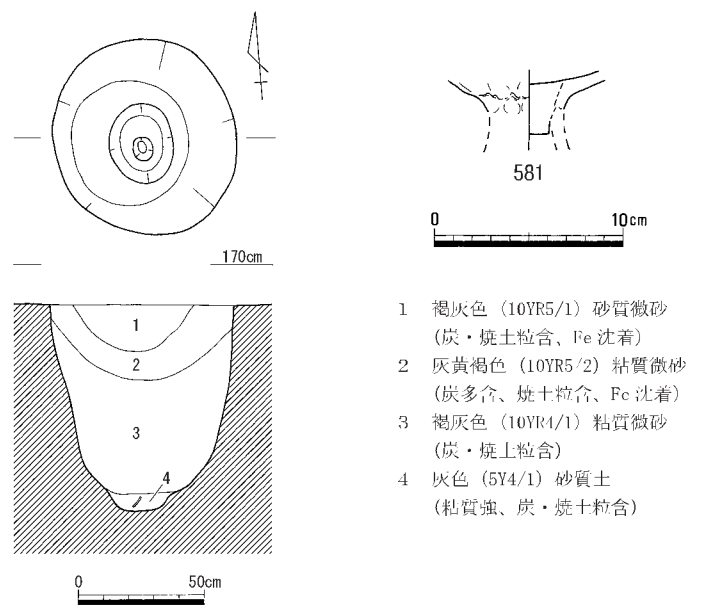
第229図 土壌43 (1/30)



第230図 土壌44 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第231図 土壌45 (1/30)・出土遺物 (1/4)



第232図 土壌46 (1/30)・出土遺物 (1/4)

土壌43 (第199・229図)

303S区で検出された。長軸101cm、短軸92cmの平面楕円形を呈している。断面形は逆台形を呈し、検出面からの深さ72cmを測る土壌底面は、水平であった。埋土は6層に分層され、最下層の第6層の上層では、薄いながらも炭層が確認された。

検出面等から、遺構の時期は古墳時代に収まる。(小嶋)

土壌44 (第199・230図)

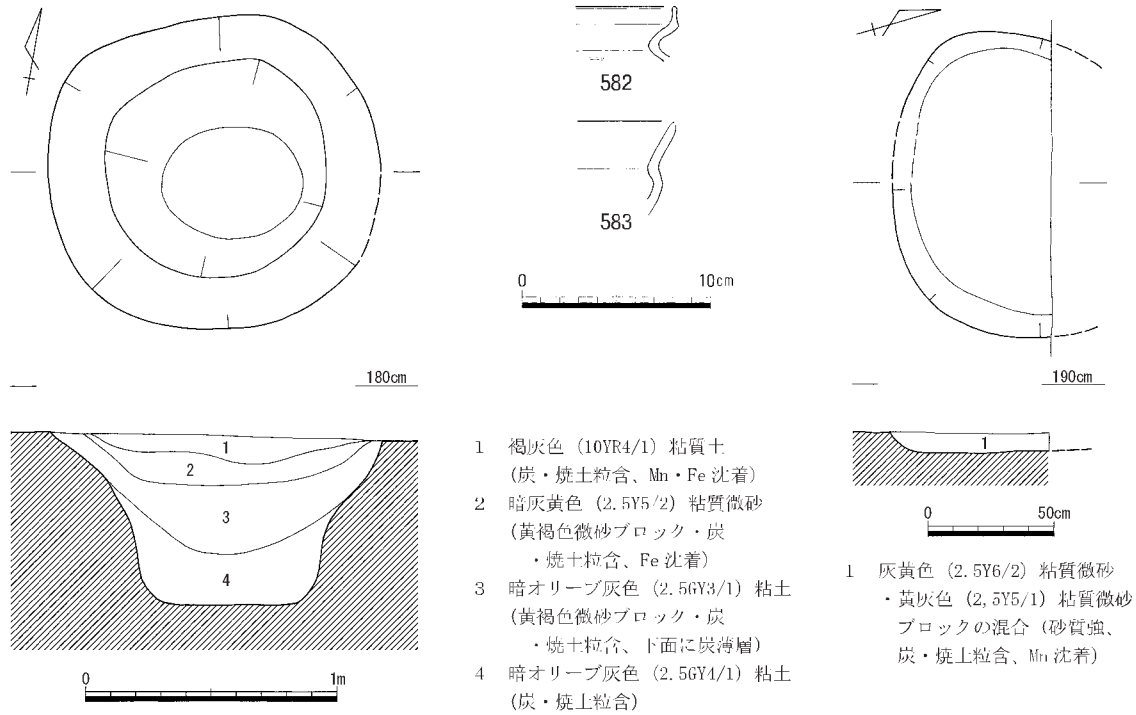
302V区に位置する土壌である。先述の竪穴住居4南辺部で検出しており、住居と関連する土壌の可能性はある。検出時の平面形は、長楕円形を呈し、長径93cm、短径31cm、深さ10cm、底面海拔高147cmを測る。

図示した遺物は、土師器壺577と鉢578・579で、これらの時期は百・古・Ⅱと考えられる。(高田)

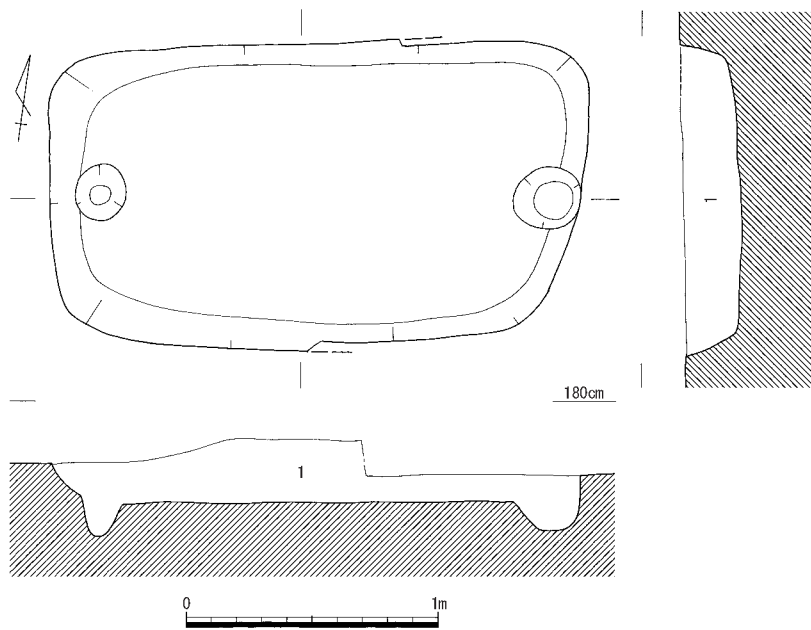
土壌45 (第199・231図)

溝32南端の西肩部に位置している。検出状況から、溝がある程度埋まった後掘削されたと考えられる。平面形は不整楕円形を呈し、その規模は長軸109cm、短軸74cm、深さ47cmを測る。

土師器甕580が出土しているが、詳細な時期は不明である。(小嶋)



第233図 土壌47 (1/30)・出土遺物 (1/4)



1 褐灰色 (10YR4/1) 粘質微砂 (炭・焼土粒少含、Mn 沈着)

第235図 土壌49 (1/30)

土壌47 (第199・233図)

301Y区に位置する。調査時は井戸の可能性も想定したが、底面海拔高から土壌として掲載する。検出時の平面形は、径124~132cmの円形を呈し、深さ67cm、底面海拔高94cmを測る。断面形は、平坦

第234図 土壌48 (1/30)
・出土遺物 (1/4)

土壌46 (第199・232図)

302・303X区に位置し、
竪穴住居6の南側2mから
検出された。平面形態は円
形であり、その規模は長軸
79cm、短軸72cmを測る。土
壌底面にはテラス面が二段
認められる。底面の標高は
72cmである。当初、井戸と
想定していたが、井戸8な
どと底面の標高を比較する
と、この土壌の底面がかなり

な底から急斜に壁が立ち上がった後、中位以上が大きく逆「ハ」字状に開くものである。

図示した遺物は、土師器壺583と甕582で、井戸の時期は、百・古・Ⅱと考えられる。 (高田)
土壙48 (第199・234図)

302Z区に位置する土壙で、竪穴住居9より新しく、溝43に南半を切られる。平面形は、楕円形を呈するものと考えられ、長径117cm、深さ8cm、底面海拔高163cmを測る。

図示した遺物は、土師器壺584である。土壙の時期は、百・古・Ⅱと考えられる。 (高田)
土壙49 (第199・235図、図版16-7)

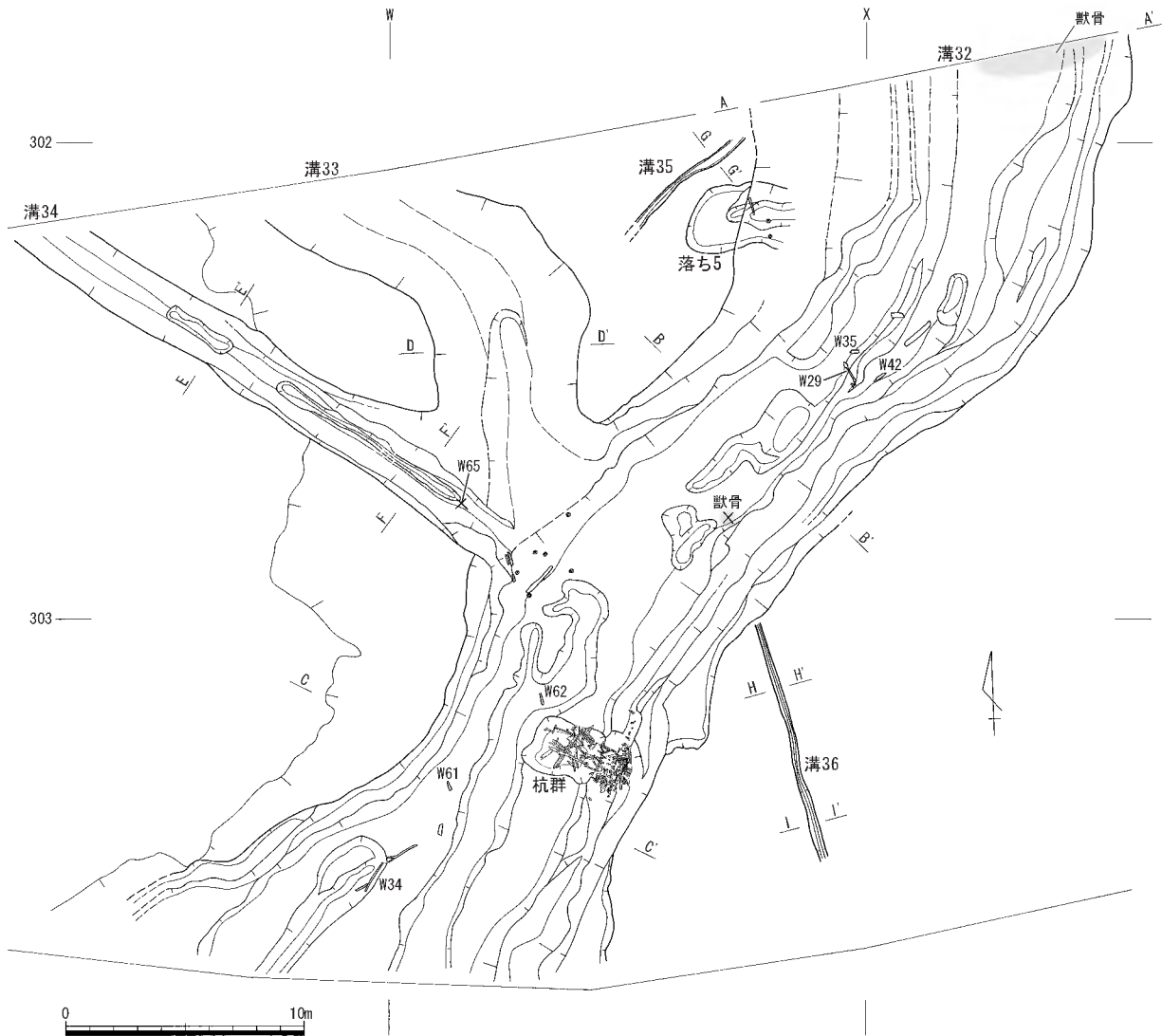
302Z区に位置し、竪穴住居9の東辺を切る土壙で、平面形は隅丸長方形を呈し、長軸210cm、短軸118cm、深さ39cm、底面海拔高126cmを測る。長軸両端に径25cm、深さ12cmの小穴が穿たれる。

図示し得る遺物はない。土壙の時期は、検出状況から百・古・Ⅱ以降と考えられる。 (高田)

7 溝

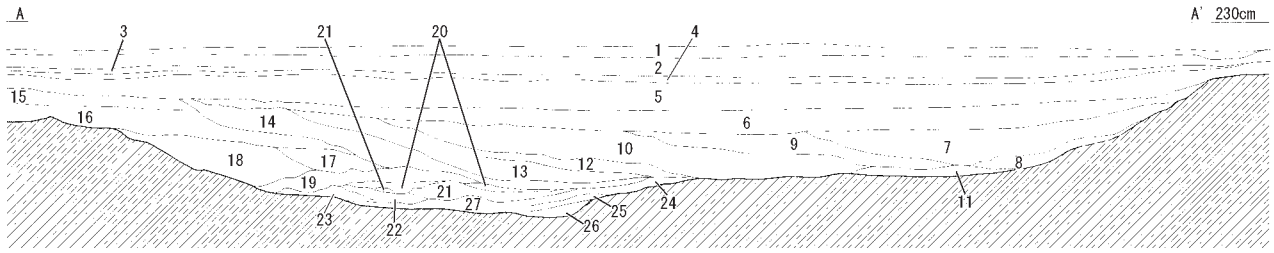
溝32 (第199・236~250図、巻頭図版5-2、図版17・18・29・30・32~38)

301~303V~X区にかけて検出された。「百今谷2溝57」へとつながる溝である。流路は、蛇行し

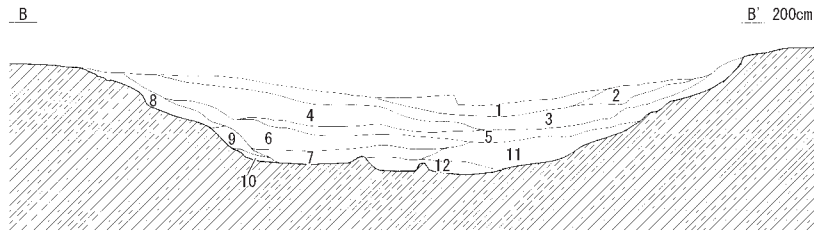


第236図 溝32~36 (1/300)

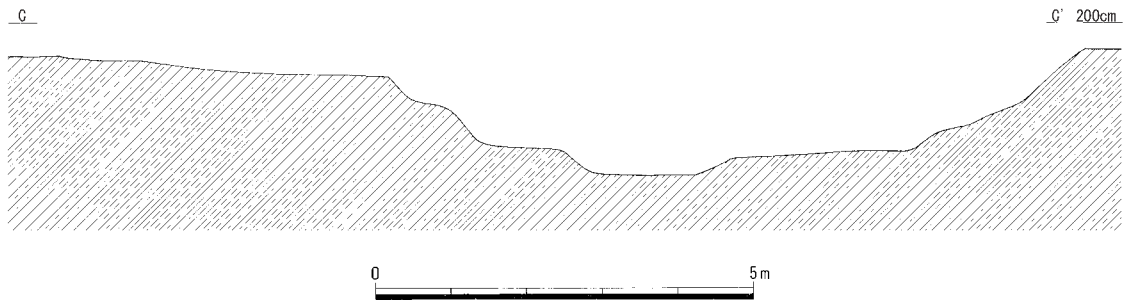
第3章 発掘調査の概要



- | | |
|--|--|
| 1 褐灰色 (10YR5/1) 粘質微砂 (粘質弱、Mn 沈着) | 12 灰色 (7.5Y4/1) 粘質微砂
(灰色 (7.5Y6/1) 砂がブロック状または筋状混、植物遺体含) |
| 2 褐灰色 (10YR5/1) 粘質微砂
(粘質弱、炭粒・焼土粒・土器片少含、Mn 沈着) | 13 灰色 (7.5Y4/1) 粘質微砂 (植物遺体・土器片含) |
| 3 褐灰色 (10YR5/1) 粘質微砂
(粘質弱、炭粒・焼土粒含、第2層より Mn 多沈着) | 14 にぶい黄色 (2.5Y6/3) ~ 灰色 (5Y4/1) 粘質微砂 (砂質強) |
| 4 にぶい黄橙 (10YR6/4) 粘質微砂 (Fe 染込、Mn 沈着) | 15 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質微砂 (Fe 染込) |
| 5 褐灰色 (10YR5/1) 粘質微砂 (第1~4層より粘質強) | 16 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質微砂 (第15層より粘質強) |
| 6 褐灰色 (10YR4/1) 粘質微砂
(第5層より粘質強、炭粒・土器片少含) | 17 灰色 (5Y4/1) 粘質微砂 (植物遺体・木片含) |
| 7 褐灰色 (10YR4/1) 粘質微砂
(植物遺体・2~10cm 木片多含、Fe 染込) | 18 灰色 (5Y4/1) 粘質微砂 (植物遺体・木片含) |
| 8 暗緑灰色 (5G4/1) 粘質微砂 (木片含) | 19 灰色 (7.5Y4/1) 粘質微砂
(砂質強、植物遺体・木片含、土器片多含) |
| 9 灰色 (7.5Y4/1) 粘質微砂
(下方砂質強、植物遺体・木片多含、土器片含、Fe 染込) | 20 暗緑灰色 (7.5GY4/1) 粘質微砂 (土器片含) |
| 10 灰色 (7.5Y4/1) 粘質微砂
(第9層より砂質強、植物遺体・大きめの木片・木器・土器片含) | 21 灰オリーブ色 (5Y4/2) 砂 (青灰 (10BG5/1) 土ブロック混) |
| 11 灰色 (7.5Y4/1) 粘質微砂
(第10層と同砂質、植物遺体含、焼土粒少含) | 22 暗緑灰色 (7.5GY4/1) 砂 |
| | 23 暗オリーブ灰色 (2.5GY3/1) 粘質微砂
(灰色 (N4/) 砂層含、植物遺体多含) |
| | 24 暗オリーブ灰色 (2.5GY4/1) 粘質微砂 |
| | 25 暗オリーブ灰色 (2.5GY4/1) 砂 (植物遺体混) |
| | 26 灰色 (10Y4/1) 粘質微砂 (第24層より粘質強) |
| | 27 暗青色 (10BG4/1) 砂 (植物遺体含) |



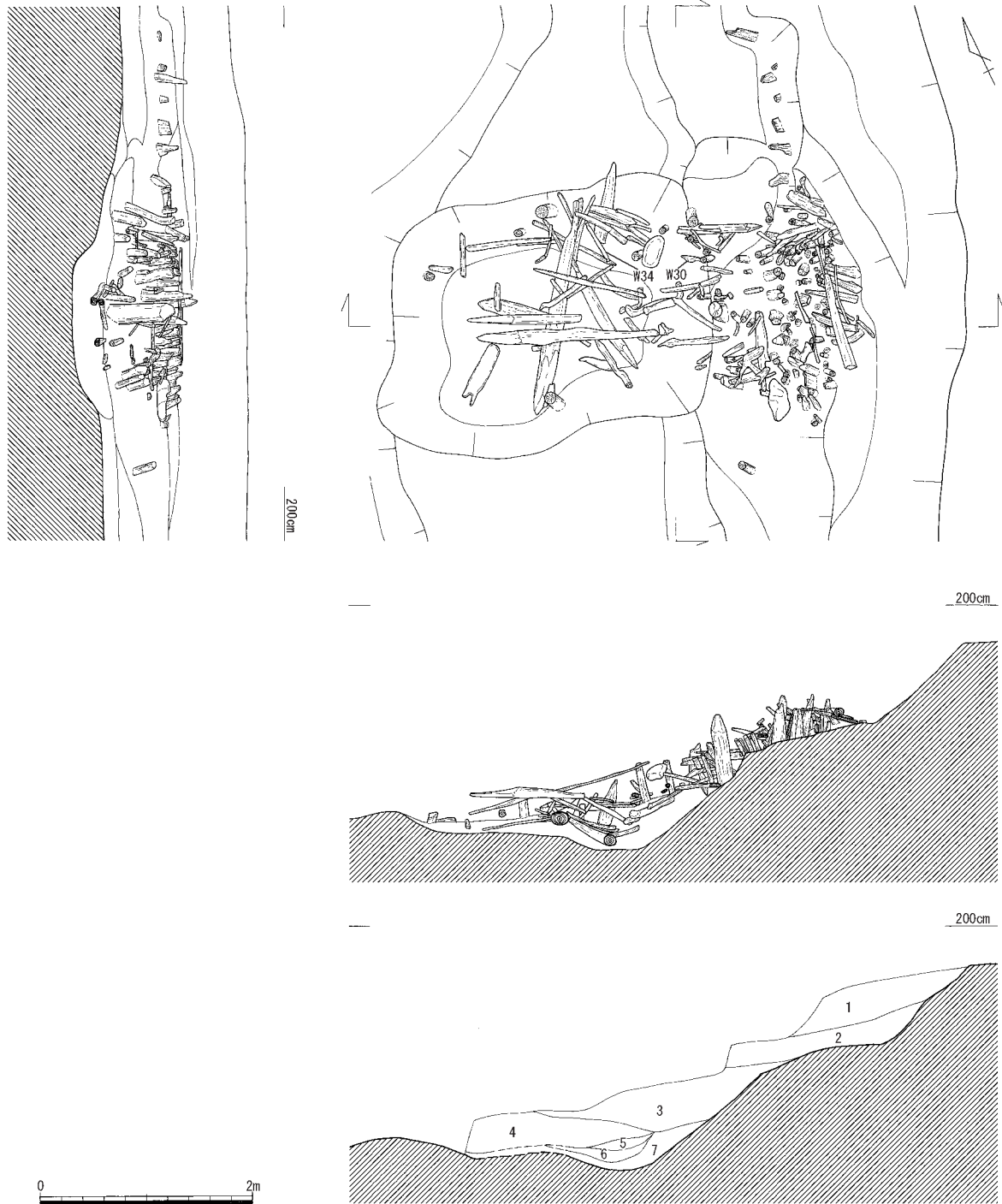
- | |
|---|
| 1 暗黄灰色 (2.5Y5/2) 粘質微砂 (炭・焼土粒含) |
| 2 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質微砂 (黄灰色 (2.5Y4/1) 上まだら状、炭粒含) |
| 3 暗黄灰色 (2.5Y5/2) 粘質微砂 (第1層より粘質強、灰色 (7.5Y4/1) 土ブロック・炭粒・草木片・土器片含) |
| 4 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質微砂 (炭・焼土粒・草木片・土器片含) |
| 5 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質微砂 (第3層より粘質強、灰色 (7.5Y4/1) 土ブロック・炭粒・草木片混含) |
| 6 灰色 (7.5Y4/1) 粘質微砂 (第5層より細砂で粘度強、炭粒・草木片含) |
| 7 灰色 (7.5Y4/1) 砂 (炭片・草木片多含) |
| 8 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質微砂 (第3層と同粘質、土器片含) |
| 9 暗灰色 (N3/) 粘質微砂 (第6層と同粘質、炭粒含) |
| 10 灰色 (7.5Y4/1) 粘質微砂 (第6層より砂質強、第7層に近い、炭粒・草木片含) |
| 11 灰色 (10Y4/1) 粘質微砂 (砂・草木片・炭粒多含) |
| 12 灰色 (7.5Y4/1) 砂 (第7層より粘質、炭粒・草木片多含) |



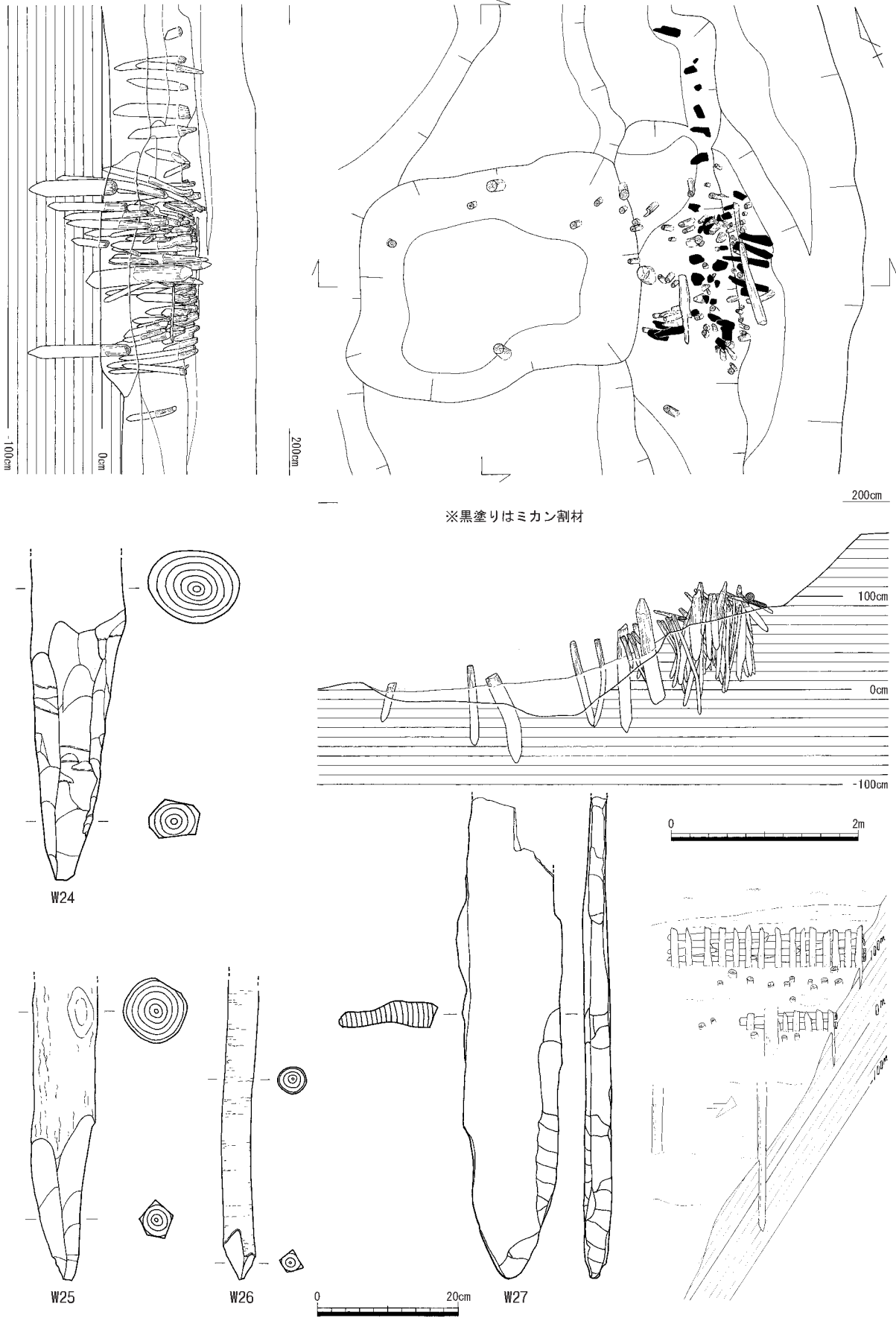
第237図 溝32 (1/100)

た状況を呈し、北から南へ約10m流走した後、南西へ約45度方向を変え、現百間川の低水路内で南南東に屈曲していると想定される。溝西肩部、特に溝34との合流部から南側は緩やかに下がっており、検出面での最大幅は約20mを測るが、急角度の下がりとなる屈曲点を溝両肩部とすると、900cm前後の幅である。検出面からの深さは140cmを測り、溝底面の標高は、一部流水によって溝状もしくは土壙状に窪んで深くなっている箇所もあるが、おおよそ-27~0cm付近で一定している。

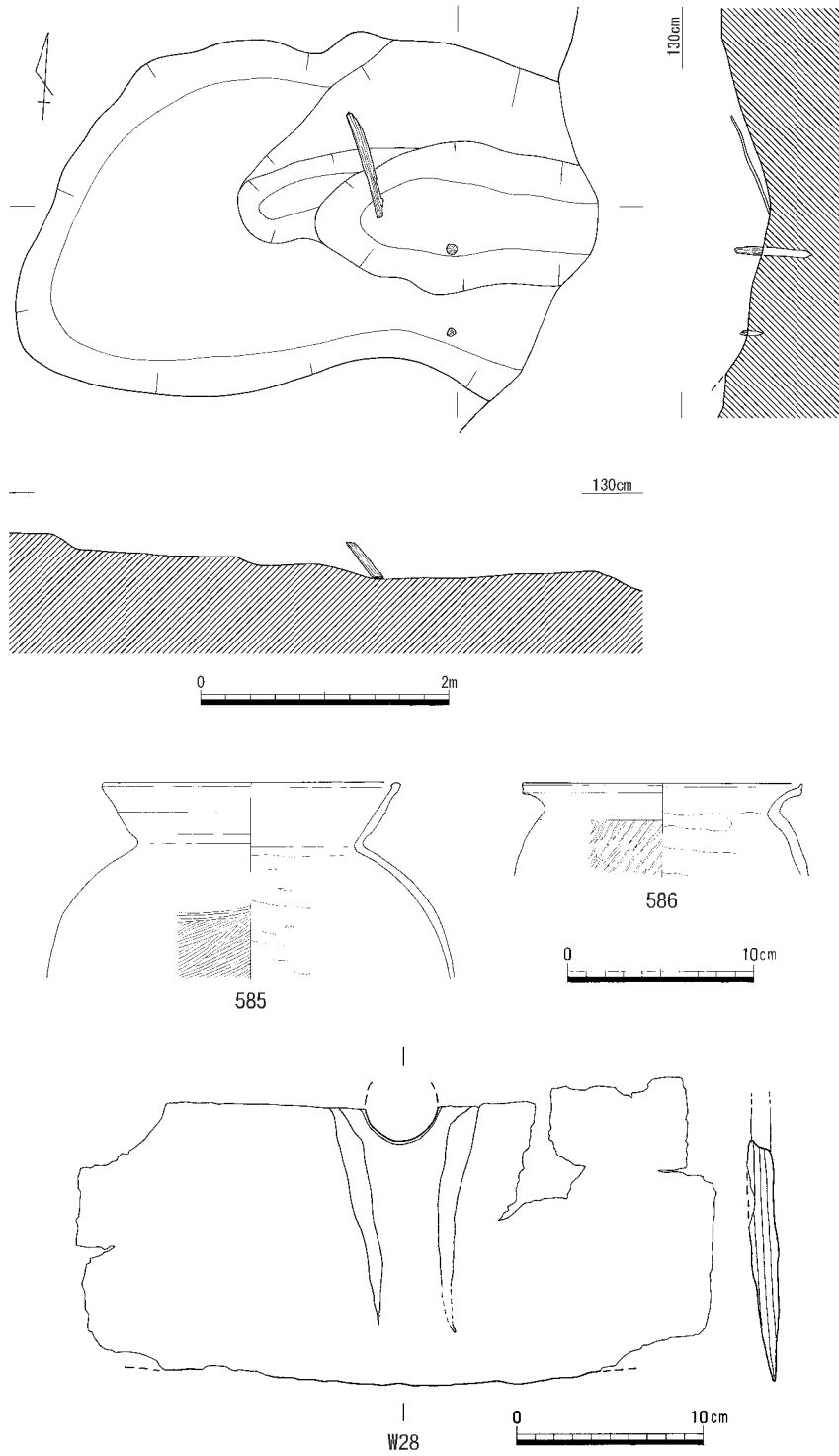
第237図の北断面図における第6~14層までが新段階、それより下層が古段階であり、掘り直しされているような状況が観察される。ただし、調査中には新・古段階を平面的に捉えられなかったため、



第238図 溝32杭群① (1/60)



第239図 溝32杭群② (1/60)、杭 (1/8)、推定復元図

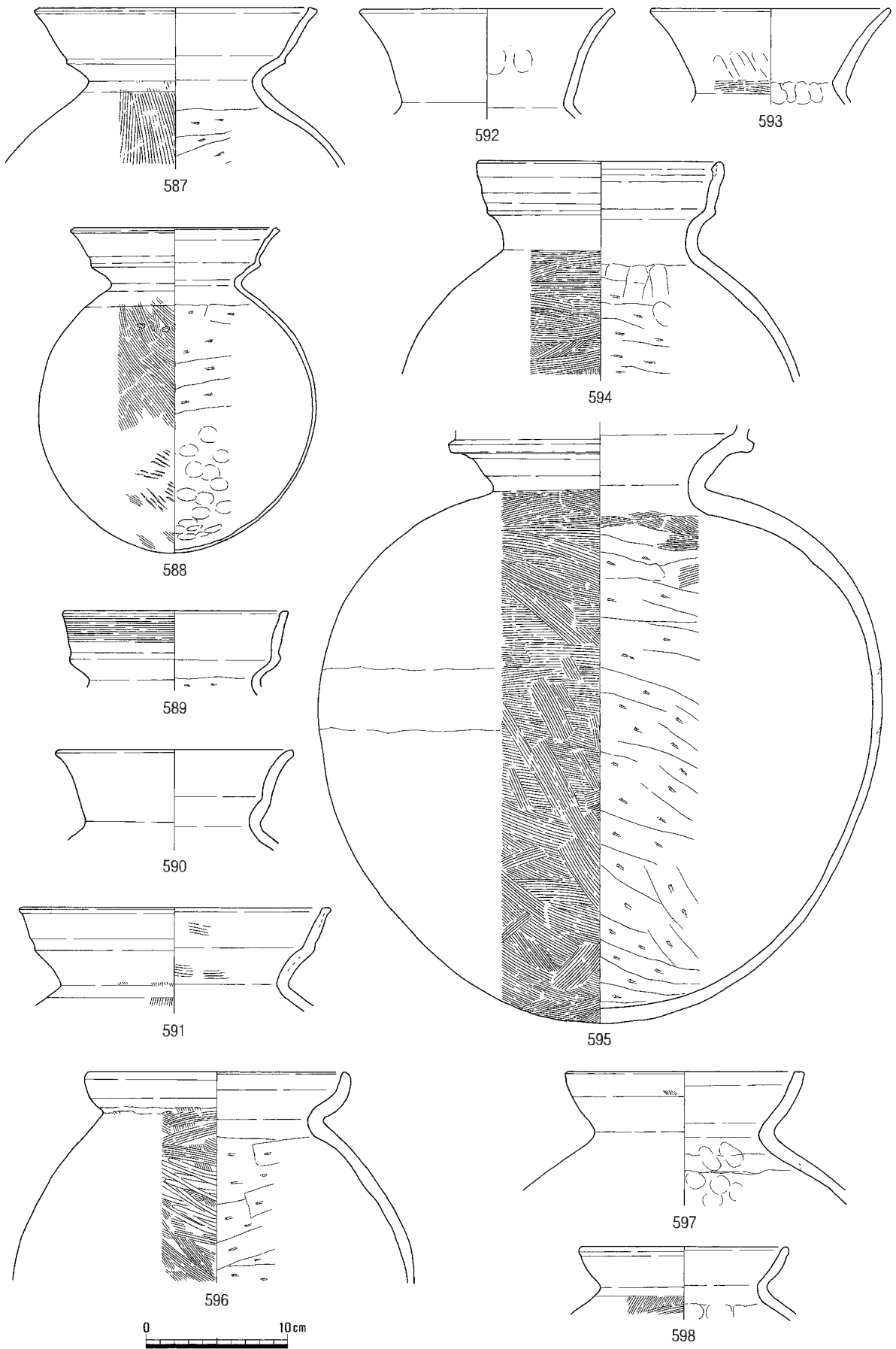


第240図 溝32落ち (1/60)・出土遺物 (1/4)

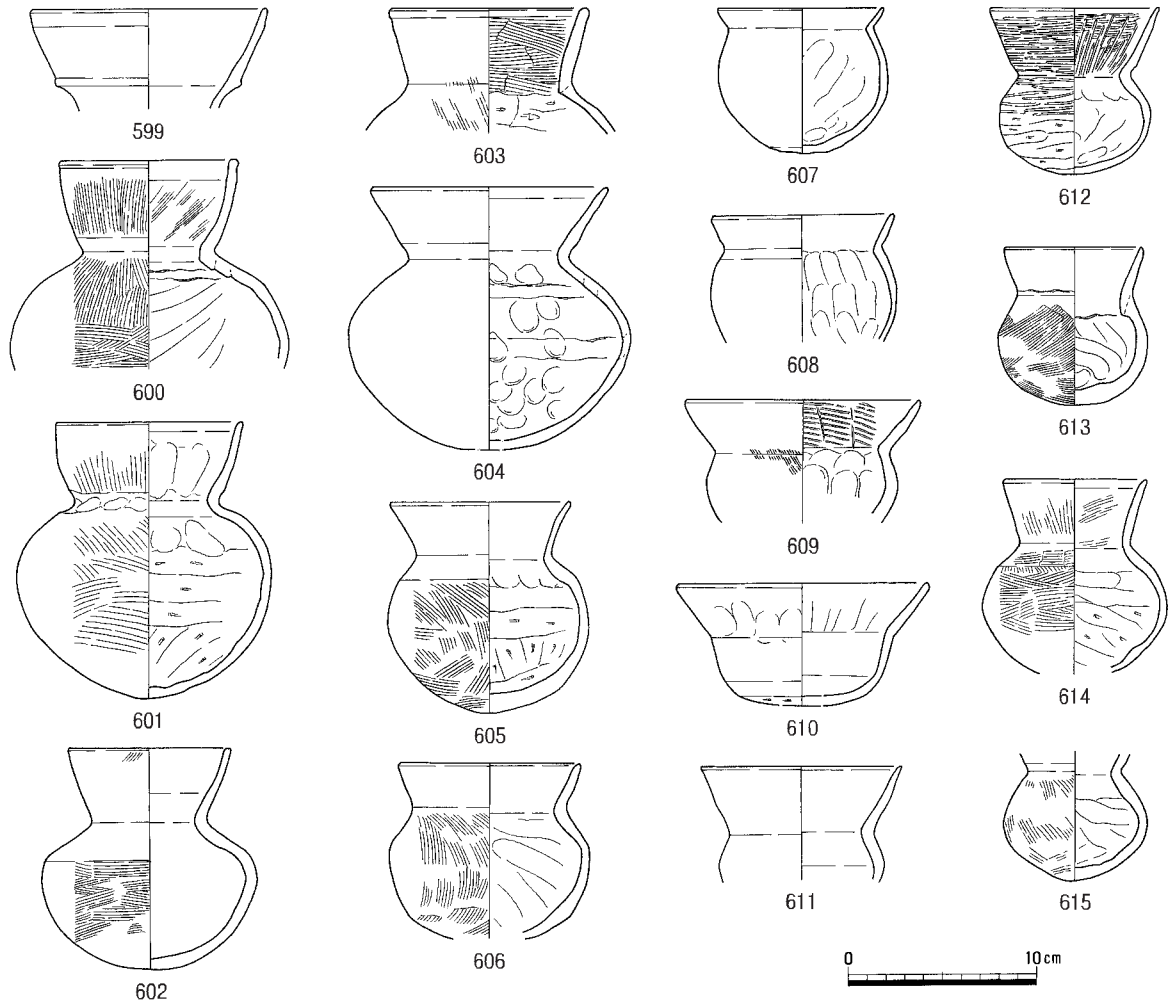
ような状況を呈していた。これは、杭が打ち込まれている層が、砂を主体とする層であり、土圧等で斜めに傾いてしまったことも考えられる。杭は、溝の東側肩部と平行および直交するように「卍」字状に打ち込まれており、特に「卍」字の接している場所では密集している。溝肩と並行している杭列は2列認められ、東側の杭列には横木が残存していた。溝肩と直交している杭列も2列確認されたが、北側は10本程度から構成されるのに対し、南側は2～3本であり、粗密の差が激しい。南側については、廃棄時に抜き取られた可能性もあるが、基盤層が砂であったため、抜き取り痕は確認できなかった。

土器等を分別して取り上げてはいない。新段階の溝は、調査区北壁で幅約13.5m、深さ約1mを測る。溝底面付近では、砂質土が堆積しており、その中から土器や植物遺体が多く出土している。古段階の溝底面は、砂と粘質土の互層堆積状を呈し、同じく溝底面付近から土器や植物遺体が多く出土している。

この溝の東肩部中央、溝34合流部の対岸のやや南側から、杭群が検出された。杭群の検出状況は第238図である。やや土壌状にたわんだ場所に、杭群もしくは建物等で使用されたと想定される杭（材木）と、流木が絡み合って横たわっていた。これらの流木からは、W30とW34の木製品が出土している。これらの流木等を取り除き、検出段階で打ち込まれていた杭のみの図が第239図である。黒塗りの杭は、検出段階で垂直ではなく、斜めに打ち込まれているよ



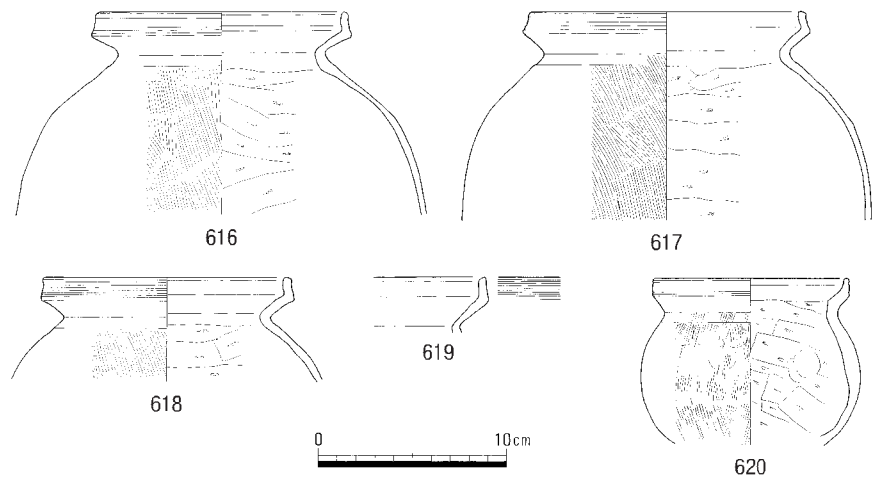
第241図 溝32出土遺物① (1/4)



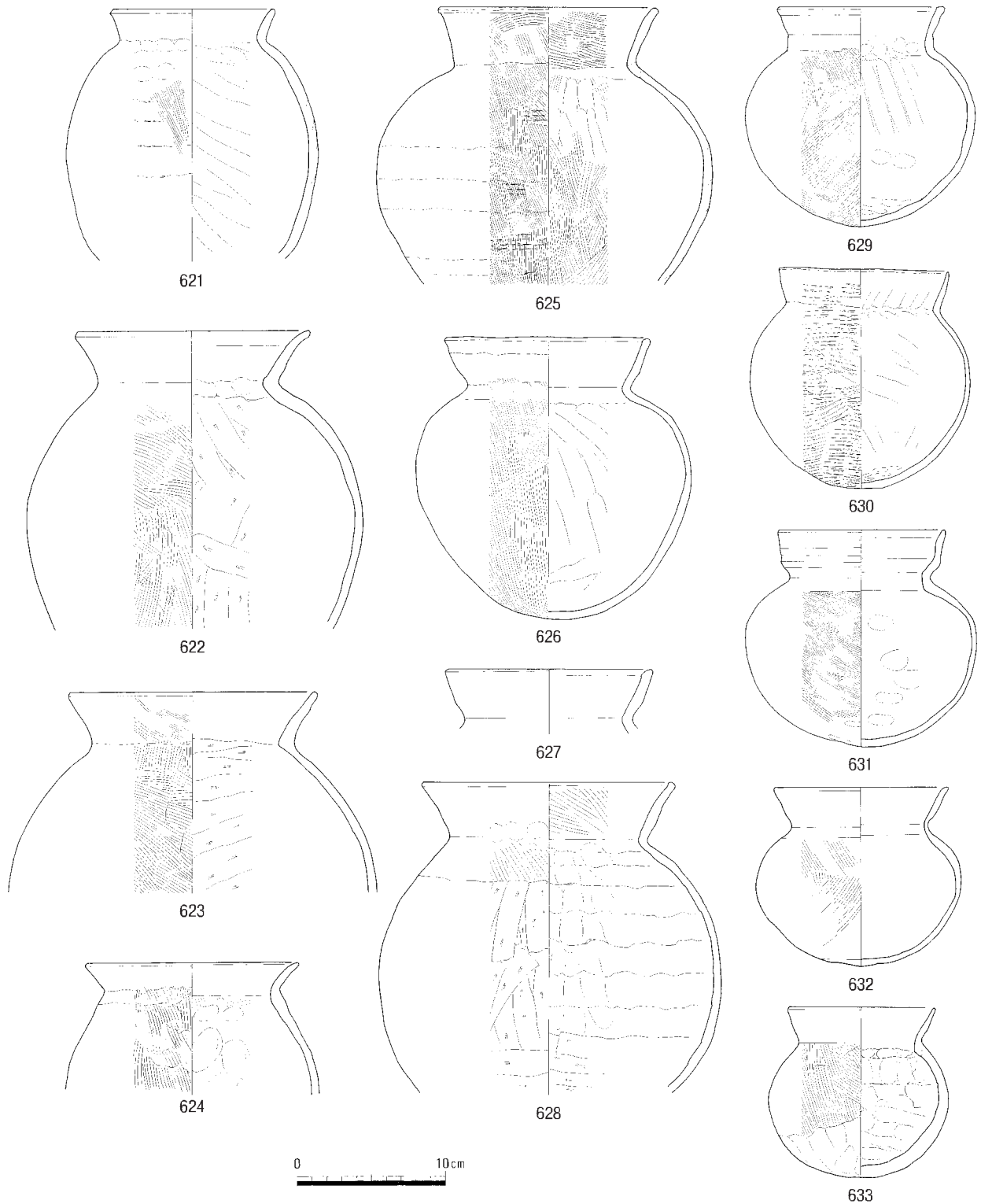
第242図 溝32出土遺物② (1/4)

た。仮に、南側の杭列より北側の杭列の方が杭の本数が多いとした場合、溝34との合流部対岸にあたるため、水勢を弱める機能をもっていたと想定される。両列とも溝肩から西へ約4mの位置には、杭群を構成している杭の中では一番太い、径15cm前後の丸太材が打ち込まれている。また、「卍」字の接している場所においても、径15cmの丸太材が打ち込まれていた。

この杭群は、溝34合流部の対岸に位置していることから、護岸の可能性も否定できないものの、第239図に示しているような階段状の構造物が復元可能であり、さらに想像を働かせることが許されるならば、土留めの役割をもった横木を



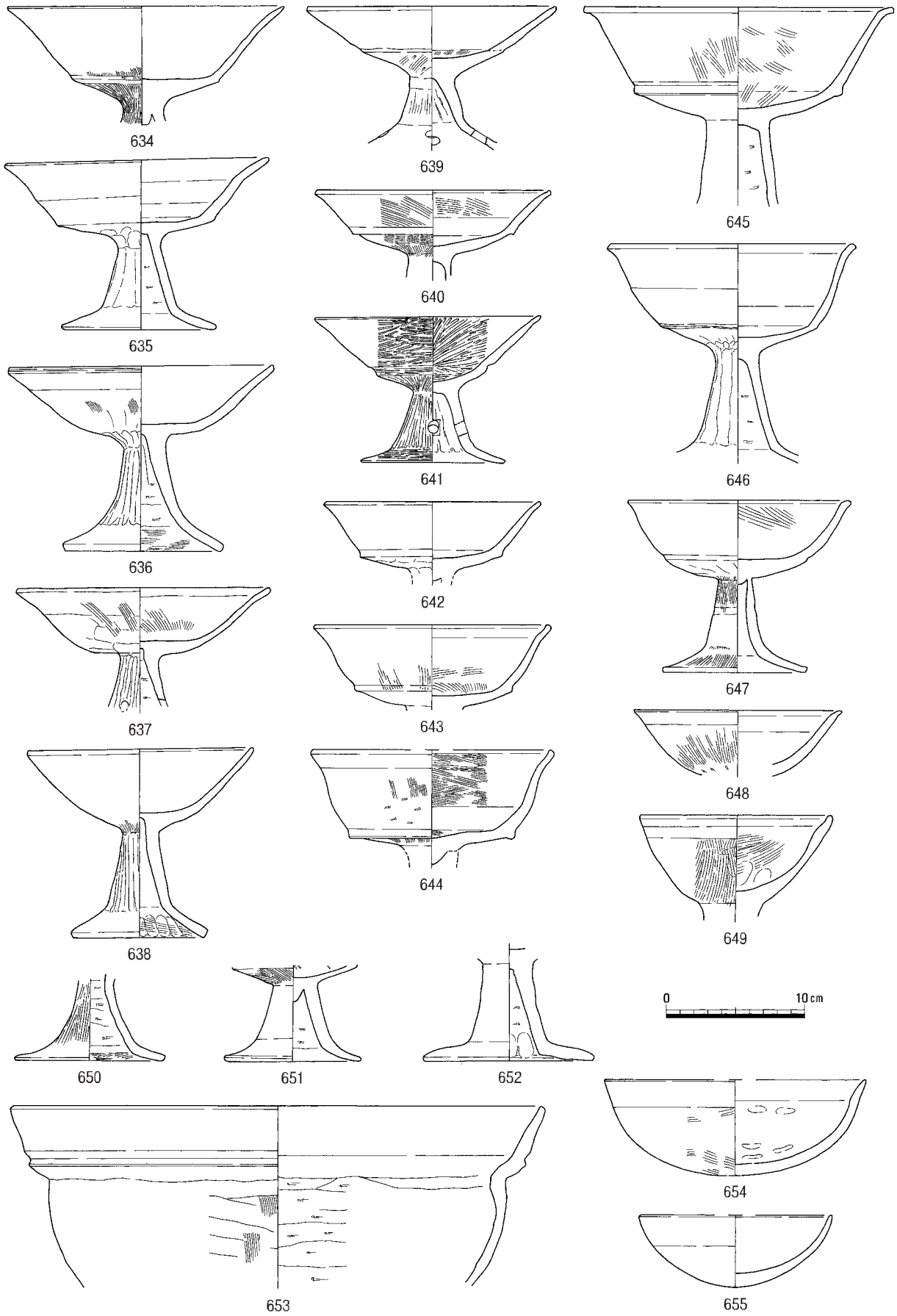
第243図 溝32出土遺物③ (1/4)



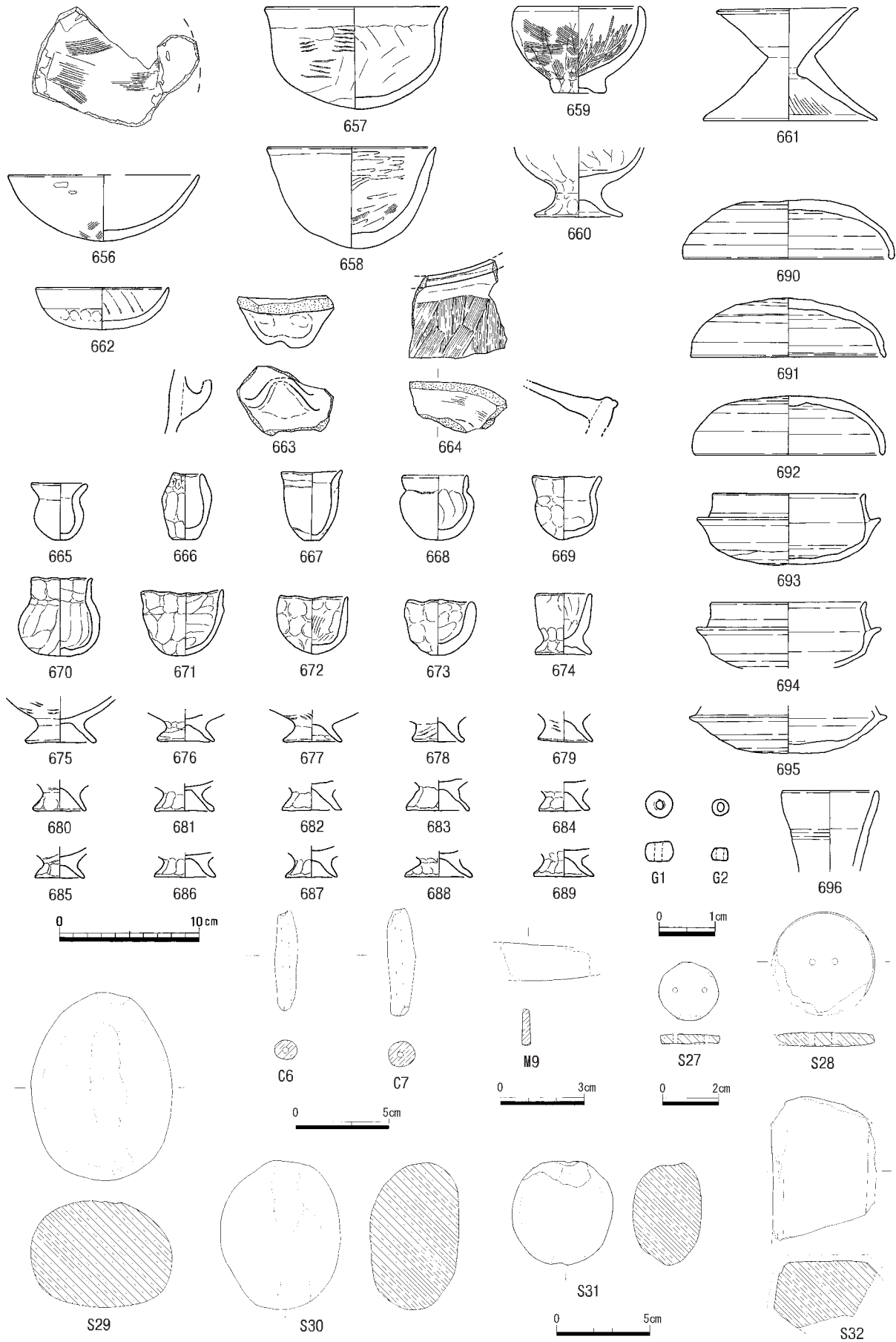
第244図 溝32出土遺物④ (1/4)

固定するために、杭を溝肩と並行に打ち込んで階段状の構造物を築造し、そこから太い丸太杭へ板を架けた波止場的な構造物であったかもしれない。

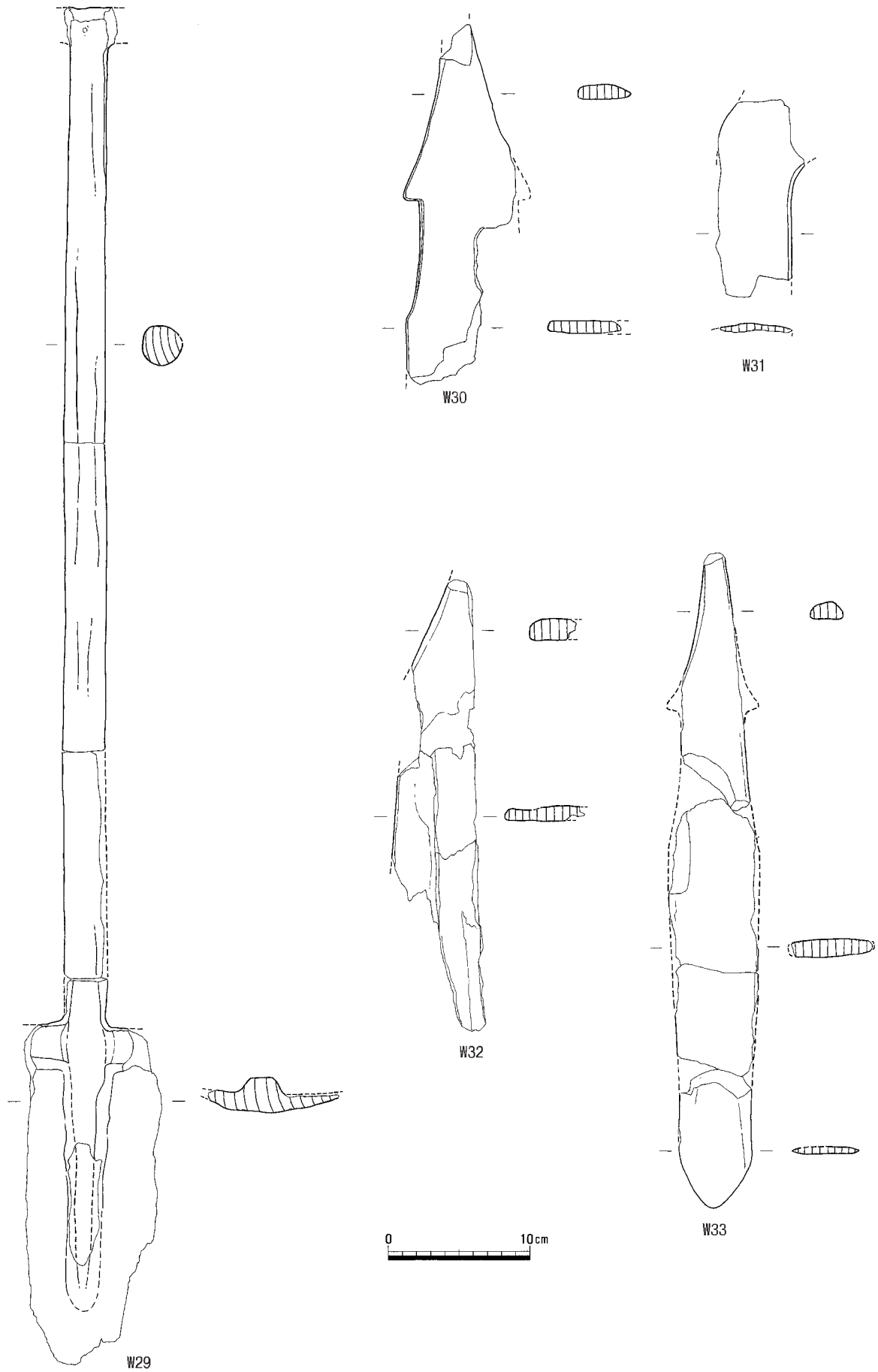
さて、杭は総計100本確認され、それらについて、樹皮の有無、使用材別、先端部の加工状況について統計をとった。まず、樹皮の有無については有りが60本、なしが40本、使用材は丸太材75本、ミカン割りもしくは板材24本、半割り材1本、先端部の加工は全周が加工されているものが91本、1～



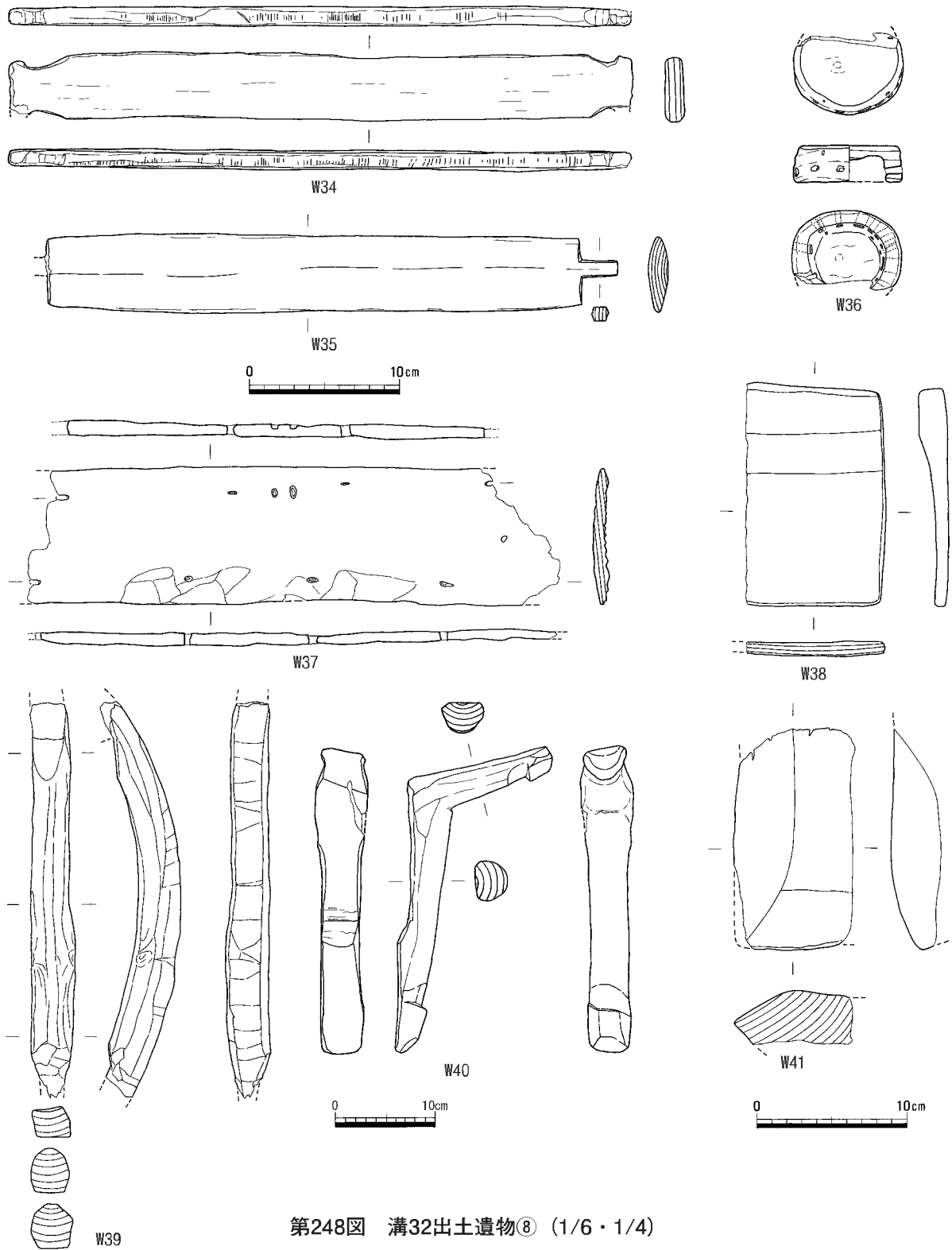
第245図 溝32出土遺物⑤ (1/4)



第246図 溝32出土遺物⑥ (1/4・1/3・1/2・1/1)



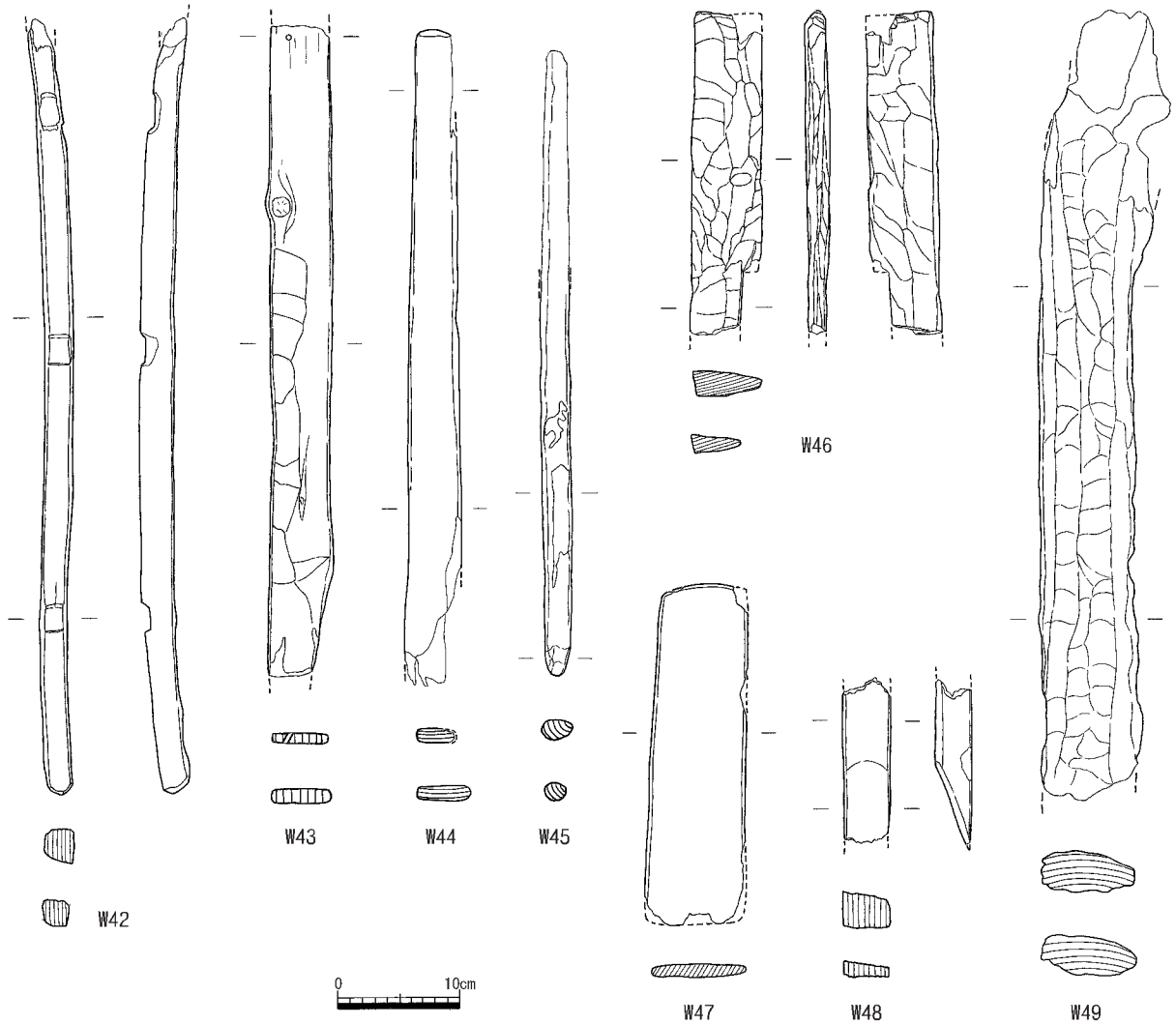
第247図 溝32出土遺物⑦ (1/4)



第248図 溝32出土遺物⑧ (1/6・1/4)

2回の加工が9本である。丸太材は径10cm前後の大きさが大多数を占めるが、中には径15cmを測るものも確認されている。

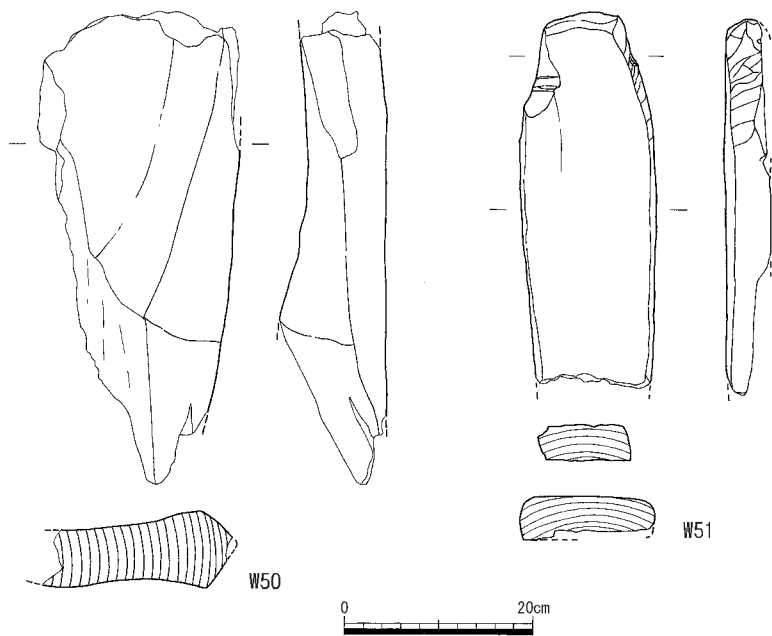
溝西肩の北側には、長さ約4m、幅約3mの落ちが確認された。上流部である西側が不明なもの、ある時期に溝32に流れ込む溝であった可能性が高い。深さは、溝との合流部で約50cmを測る。合流部付近において、現存で2本のみであるが、杭列と想定される遺構を検出した。この杭列が流走方向と



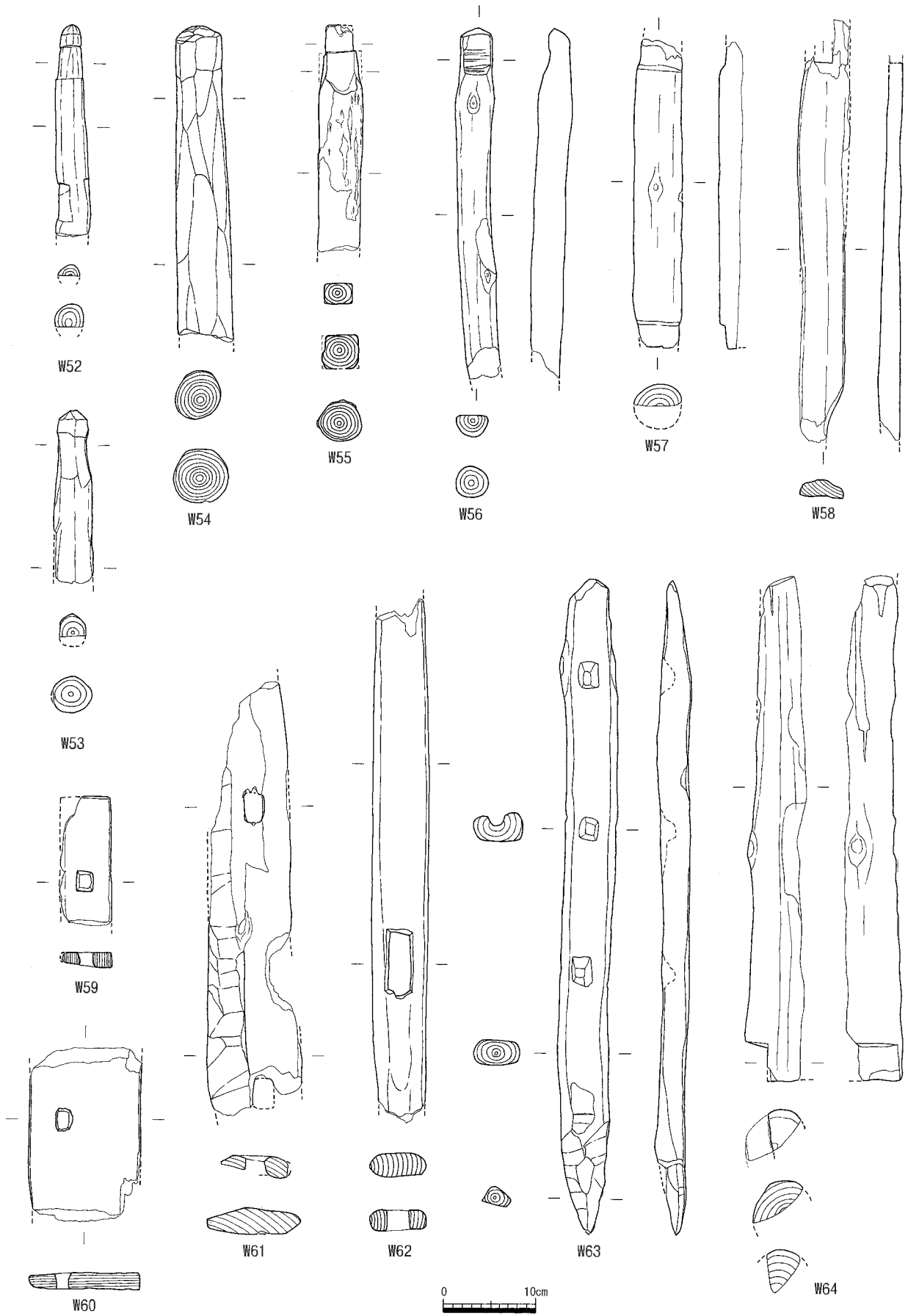
直交していることから、井堰の可能性を指摘できよう。

遺物は、土器・石製品・鉄製品・土製品・木製品などが、溝底部付近の砂層およびピート層から大量に出土している。

土器は、土師器壺・甕・高杯・鉢・器台や須恵器杯身・杯蓋・平瓶、さらに手捏ね土器や製塩土器も出土している。これらの中には、内面に漆が付着している土師器鉢656や、杭群中から出土した内面に暗文が施されている土師器杯身662が認められる。木製品には、農耕具・機織



第249図 溝32出土遺物⑨ (1/8・1/6)



第250図 溝32出土遺物⑩ (1/6)

具・建築部材などがある。農耕具は、一木造りの鋤W29、鍬W30・33、又鍬W31などが出土している。W34・35は緯打具であり、W34の側面には、糸の圧痕が認められた。W36は側面に穴が開けられている容器であり、鳥取県青谷上寺地遺跡から同様の形態の容器が出土している。また、動物・植物遺体も多数出土し、第236図の「×」印と、北端のトレンチ（網掛け部）から出土した獣骨を岡山理科大学の富岡直人氏に鑑定を依頼した結果、「ウマ」と認定され、さらに、AMSによる放射性炭素年代測定を行った結果、1580±40年BPの年代が得られた。

遺構の時期は、掘削当初の時期は不明なものの、最終埋没時期は古墳時代後期であり、以前の調査と矛盾していない。 (小嶋)

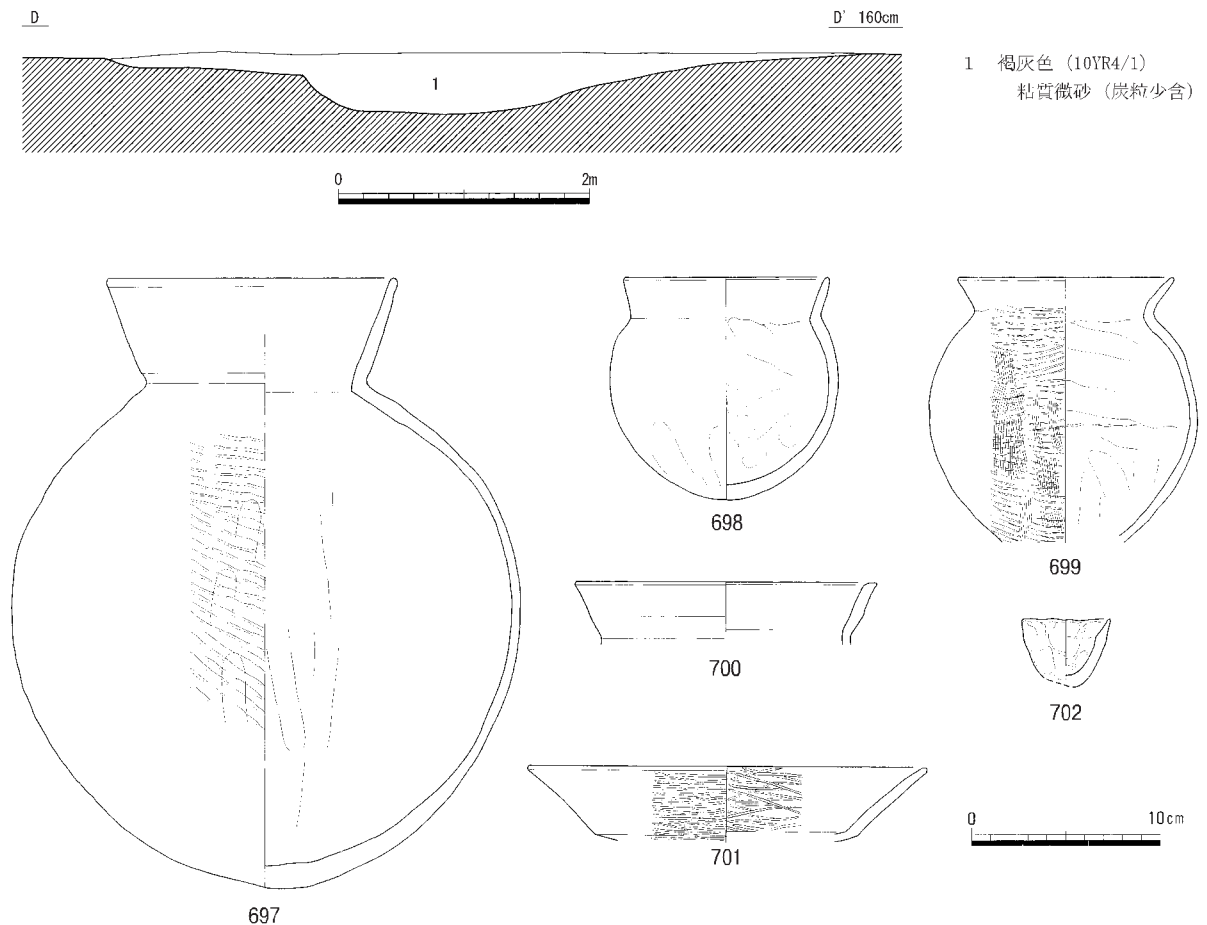
溝33 (第199・236・251図)

溝としているが、弥生時代後期の溝15廃絶後のたわみ状となっているところに、褐灰色土が堆積したものであり、古墳時代には溝としての機能をもっていなかったと思われる。

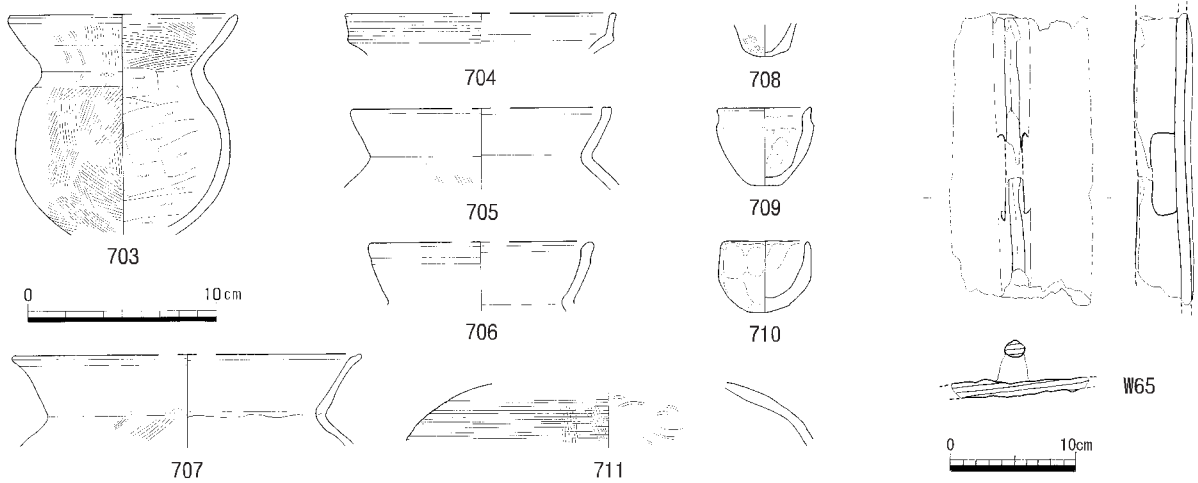
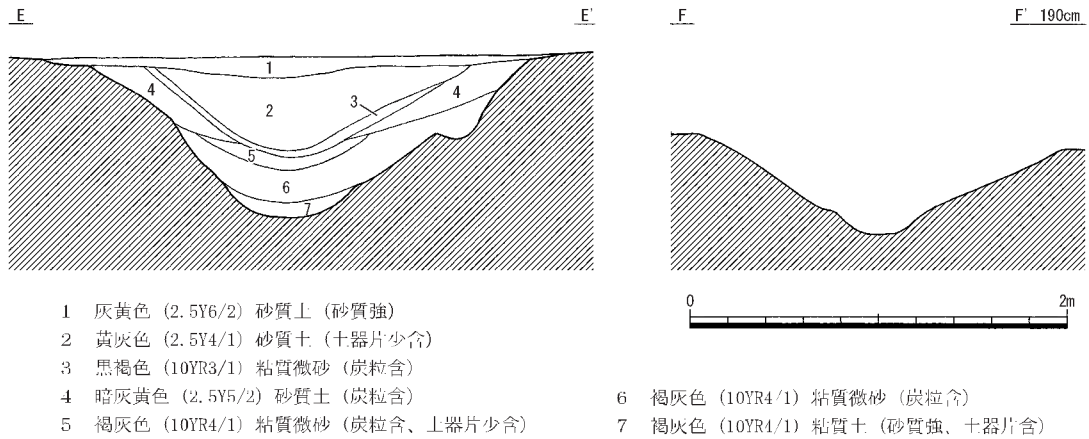
土器は、土師器甕697～700・高杯701・手捏土器702などが出土しており、これらの諸特徴から、遺構の時期は、古墳時代前半に比定される。 (小嶋)

溝34 (第199・236・252図、図版16-8・38)

流走方向や底面海拔高等から、「百今谷1溝27」と同一の溝と想定しており、溝32に合流している。検出された長さは、以前の調査のものを含めると、100mを越える。直線的に掘削されており、検出幅は230cm前後で一定している。断面形は椀形を呈し、深さ83cmである。

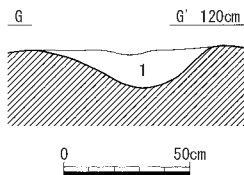


第251図 溝33 (1/60)・出土遺物 (1/4)



第252図 溝34 (1/40)・出土遺物 (1/6・1/4)

溝32との合流部では、杭が散在して打ち込まれ、さらに、杭と絡み合う横木も検出されている。遺物は、土師器壺・甕、須恵器甕、木製品などが出土している。出土遺物の時期や検出時の状況等から、溝32と同時期に機能していたと考えられる。(小嶋)



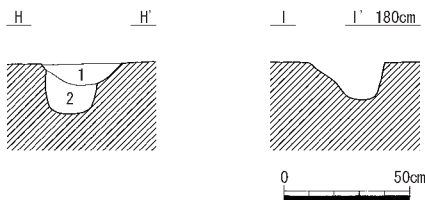
1 灰色 (5Y5/1) 粘質土

溝35 (第199・236・253図)

溝32と溝33に挟まれた場所から検出された、検出長約6mの溝である。溝32の第15・16層を除去後に確認された。規模は、幅70~30cm、深さ15~3cmを測り、一定していない。

第253図 溝35 (1/30)

時期を特定できる遺物は出土していないが、検出状況から、古墳時代に比定される。(小嶋)



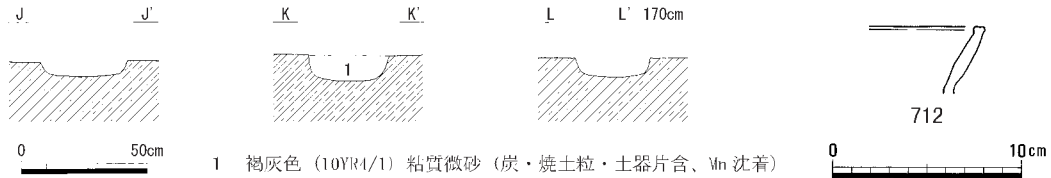
1 灰褐色 (7.5YR6/2) 砂質土 (炭粒含、Mn沈着)
 2 褐灰色 (7.5YR5/1) 砂質土

溝36 (第199・236・254図)

溝32の東側に位置し、後述する溝37と平行した流走方向を呈する。検出長は約10mであり、北端部は溝32により、南端部は現百間川低水路により削平されている。規模は、幅30cm、深さ20cm前後を測る。

時期を特定できる遺物は出土していないが、検出状況から、古墳時代に比定される。(小嶋)

第254図 溝36 (1/30)



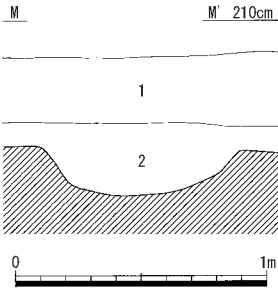
1 褐灰色 (10YR4/1) 粘質微砂 (炭・焼土粒・土器片含、Mn 沈着)

第255図 溝37 (1/30)・出土遺物 (1/4)

溝37 (第199・255図)

302・303X区に位置し、検出長約20mを測る。その検出位置から溝38と同一の溝の可能性も考えられるが、確証はない。溝断面は皿形を呈し、その深さは10cmと浅い。

図示可能な遺物は、土師器甕712のみであり、その特徴から、百・前・Ⅲの時期が与えられる。(小嶋)

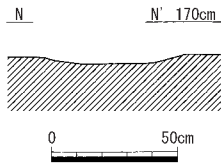


1 オリーブ灰色 (10YR6/2) 粘質微砂
2 緑灰色 (5G5/1) 粘質微砂～粘土

溝38 (第199・256図)

301X区の調査区端に位置する溝で、北側は調査区外に延びる。溝39、柵列状遺構1・2とともに弥生時代後期末の洪水砂上面で検出した。検出時の規模は、上幅78cm、底面幅48cm、深さ19cmを測り、断面形は椀形を呈する。溝の時期は、検出状況から後期と考えられる。(高田)

第256図 溝38 (1/30)



第257図 溝39 (1/30)

溝39 (第199・257図)

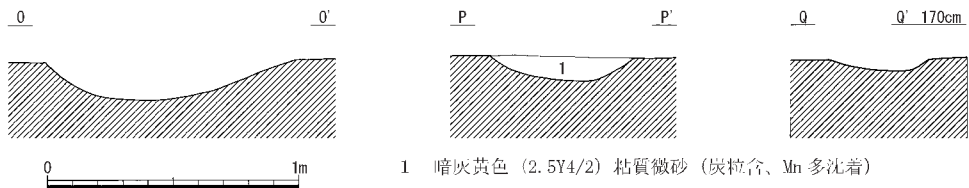
溝38の東側1～2mに位置する浅い溝で、北側は調査区外に延びる。検出時の規模は、上幅55cm、底面幅30cm、深さ3cmを測るもので、断面形は皿形を呈する。埋土は溝38と酷似する緑灰色粘土である。図示し得る出土遺物はない。溝の時期は、検出状況から後期と考えられる。(高田)

溝40 (第199・258図)

301・302X・Y区に位置する溝である。北側は調査区外に延び、東端は井戸9の西側で途切れる。検出時の規模は、上幅39～100cm、底面幅20～40cm、深さ4～15cmを測り、北側に向かって徐々に深くなる。断面形は皿形を呈する。溝の時期は、検出状況から古墳時代と考えられる。(高田)

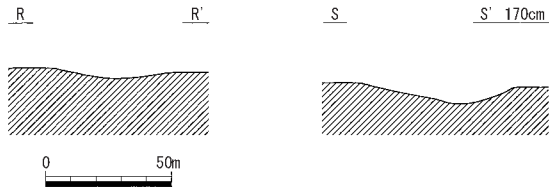
溝41 (第199・259図)

301Y・Z区に位置する東西溝で、弥生時代後期末の洪水砂上面で検出した。両端は浅くなって途切れるもので、検出時の規模は、長さ11m、上幅45～60cm、底面幅11～21cm、深さ3～6cmを測る。断面形は皿形を呈する。溝の時期は、検出状況から古墳時代と考えられる。(高田)

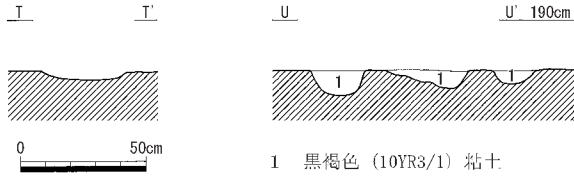


1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質微砂 (炭粒含、Mn 多沈着)

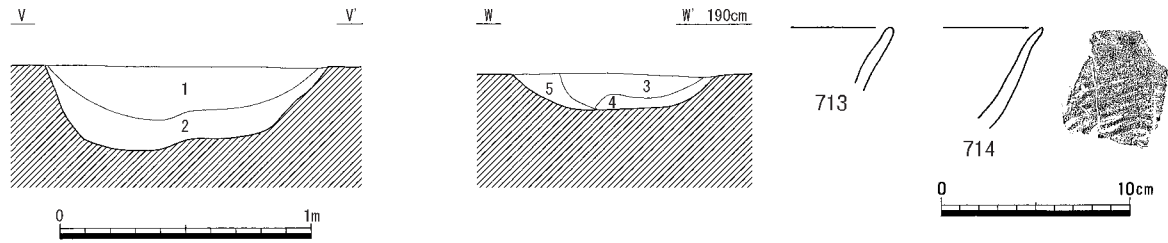
第258図 溝40 (1/30)



第259図 溝41 (1/30)

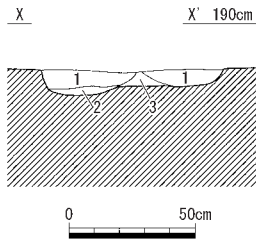


第260図 溝42 (1/30)



- 1 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質微砂 (砂質強、浅黄色 (2.5Y7/3) 土ブロック・土器粒含、Fe 染込、Mn 沈着)
- 2 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質微砂 (浅黄色 (2.5Y7/3) 土ブロック・炭・焼土粒含、Fe 染込)
- 3 にぶい褐色 (7.5YR5/3) 粘質微砂
- 4 褐灰色 (10YR4/1) 粘質微砂
- 5 褐灰色 (5YR5/1) 粘質微砂 (Mn 沈着)

第261図 溝43 (1/30)・出土遺物 (1/4)



- 1 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質微砂
- 2 黄褐色 (2.5Y5/4) 粘質微砂
- 3 明黄褐色 (2.5Y6/8) 粘質微砂

第262図 溝44 (1/30)

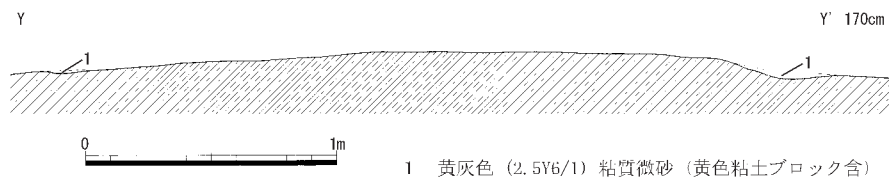
14~33cmを測り、西側に向かって深くなる。溝の時期は、検出状況から古墳時代と考えられる。(高田)

溝44 (第199・262図)

302 Z 区に位置する溝で、竪穴住居11上において溝43から北側に分岐するものである。北端は浅くなり、住居の先で途切れる。検出時の規模は、上幅71cm、深さ10cmを測る。断面形は皿形を呈する。溝の時期は、検出状況から古墳時代と考えられる。(高田)

溝45 (第199・263図)

調査区301・302 II A 区から II B 区にかけて位置する。この段階で



第263図 溝45 (1/30)

溝42 (第199・260図)

302 Z 区の微高地上に位置する東西溝で、竪穴住居9を切る。両端は浅くなって途切れる。検出時の規模は、長さ7m、上幅34~90cm、底面幅25~40cm、深さ3~10cmを測る。底面は凹凸が激しい。時期は、古墳時代と考えられる。(高田)

溝43 (第199・261図)

302 Y・Z 区の微高地上に位置する溝で、微高地の肩に沿うように弧を描いて走流する。竪穴住居9~11を切り、その先で浅くなり途切れる。検出時の規模は、上幅82~112cm、深さは

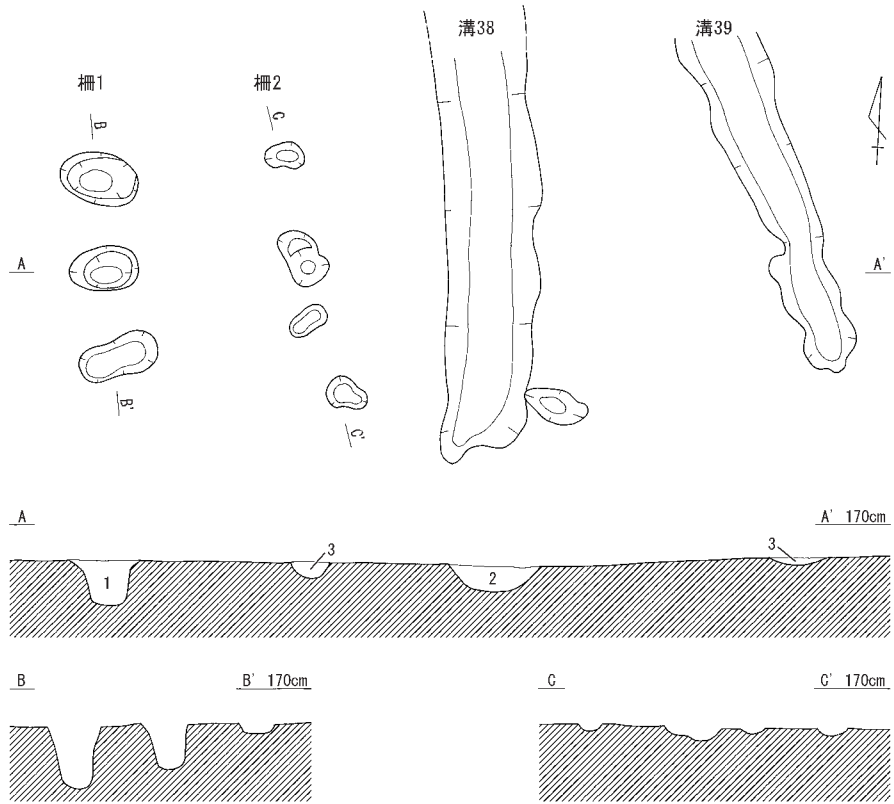
一部検出されつつあった島状高まり4の縁辺に沿うような状況で検出した。平面形状はいびつで、流路の方向は判然としない。断面形状は椀ないしは皿形で、深さは10cmと浅い。この溝の時期は、埋土の特徴や検出面などから判断して古墳時代と考えられる。(和田)

8 柵列状遺構

柵列状遺構 1

(第199・264図)

301X区の調査区端に位置し、溝32の東岸に近接して平行する。本地点では、3個の楕円形の落ち込みを確認したが、さらに北側の調査区外へと延びる可能性がある。落ち込みの長径は50~60cmを測る。深さは5~50cmと差がある。(高田)



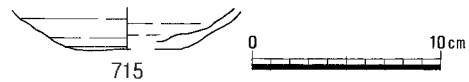
柵列状遺構 2

(第199・264図)

301X区に位置し、柵列状遺構 1 と溝38の間であって、それぞれに平行する。本

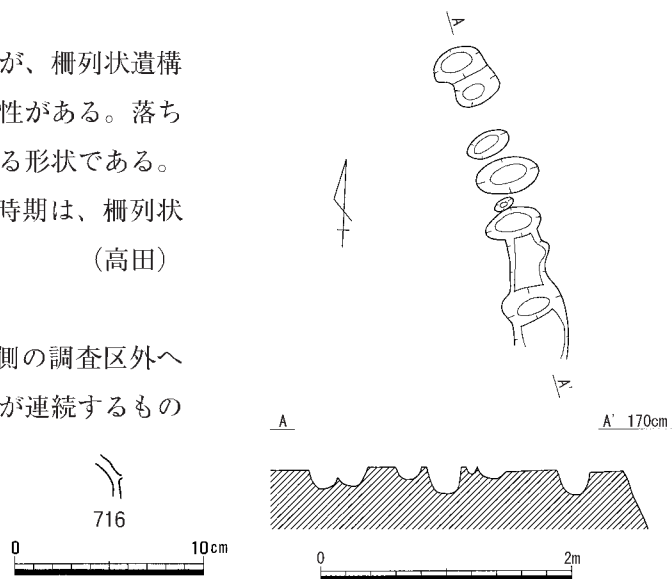
地点で4個の楕円形の落ち込みを確認したが、柵列状遺構 1と同様に北側の調査区外へと延びる可能性がある。落ち込みは瓢箪形を呈し、二対の小穴がつながる形状である。出土遺物は、須恵器壺の底部715がある。時期は、柵列状遺構 1とともに、後期と考えられる。(高田)

第264図 柵列状遺構 1・2 (1/60)・出土遺物 (1/4)



柵列状遺構 3 (第199・265図)

303X区の調査区端に位置し、さらに南側の調査区外へと延びていた可能性がある。楕円形の小穴が連続するもので、それらの深さは一定しない。本来は、柵列状遺構 1・2の続きとともに微高地上に展開したものが、後世の削平等で失われた可能性がある。出土遺物には、須恵器杯蓋片716がある。(高田)



第265図 柵列状遺構 3 (1/60)・出土遺物 (1/4)

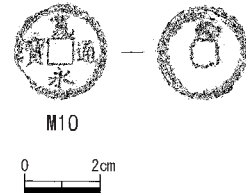
第5節 古代以降の遺構・遺物

1 概要

古代以降の遺構と遺物は非常に少ない。土壇が4基、溝が5条、その他に鉄分の沈着した筋や、「寛永通寶」M10が出土した肥溜めと考えられる小さな土壇が検出された。土壇のなかには長軸10m、深さ2mを越えるような大規模のものがあり、「溜め井」と推定される。溝のなかには現存する条理地割の方向に沿っているものがあるが、それらの大半は時期が近世まで下るもので、出土遺物などから確実に古代や中世に比定できるものはない。百間川兼基・今谷遺跡全体で見ると、奈良時代では、東部に坪境の溝の可能性が指摘されている溝とその溝に附設された特異な下部構造を持つ石積み「百今谷2溝70」がある。平安時代末頃から中世にかけては、西半部に「百兼基1～4畝状遺構」、南方に「百今谷2畝状遺構」が確認され、畑や水田として広く利用されていたことが分かる。これらの畝状遺構は部分的に、現存する条理地割の方向に沿わない場所が確認されており、条理地割の変遷を追う上で課題となっている。また、動物の飼育の可能性が指摘されている「百兼基1柵状遺構」は注目される。掘立柱建物は遺跡全体に点在する状況が見られ、百間川原尾島遺跡や百間川米田遺跡のような大規模な集落は調査地には存在しない。(物部)



写真33 溝46と土壇（北西から）



第266図 土壇出土遺物（1/2）



写真34 土壇50（北西から）



写真35 土壇52（西から）



第267図 百間川兼基・今谷遺跡 古代以降の遺構全体図 (1/1,000)

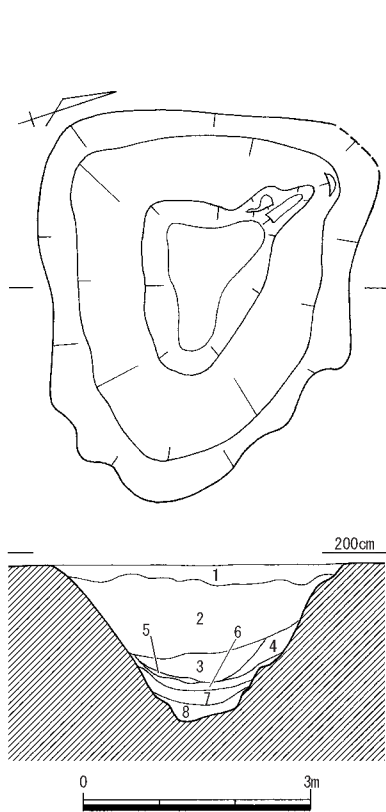


第268図 古代以降の遺構全体図 (1/400)

2 土壌

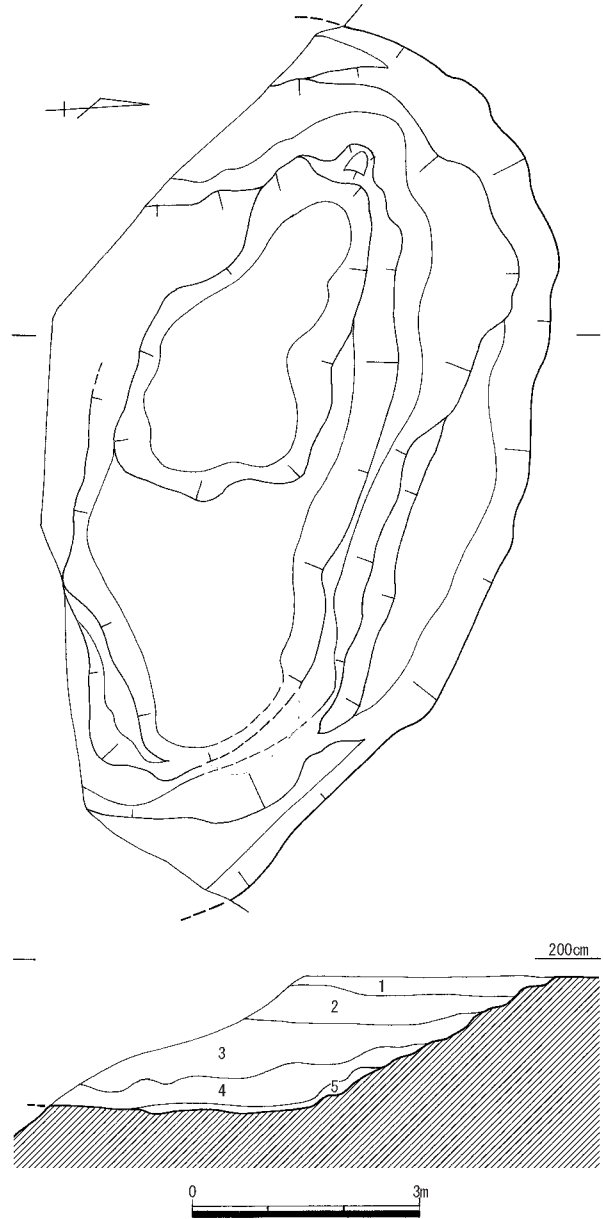
土壌50 (第268・269図、写真34)

調査区の西端、303Q・R区から検出された。平面形はやや不整形な隅丸三角形を呈する。規模は、長軸520cm、短軸395cmを測り、検出面からの深さは208cmである。埋土中には、ブロック土が含まれており、人為的に埋め戻されたことがうかがえる。埋土の特徴等から、近世以降に比定され、西側に隣接している土壌状のものも同じ時期であろう。(小嶋)



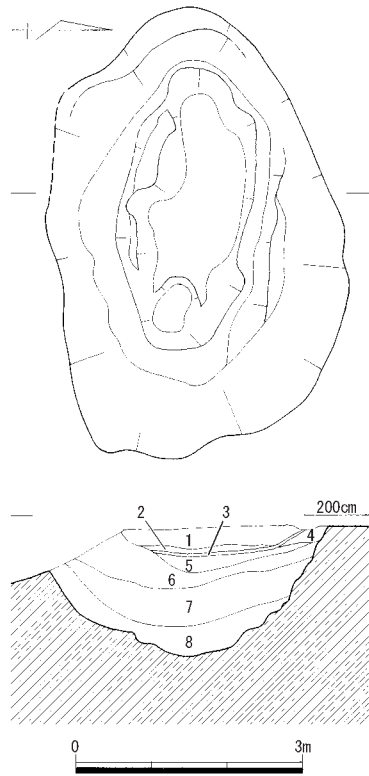
- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粘質土
(灰白粘質土・灰黄褐色粘質土ブロック混)
<埋め土>
- 2 青灰色 (5B6/1) 粘質土
(灰白粘土ブロック含) <埋め土>
- 3 緑灰色 (7.5GY6/1) 粘土
(砂含) <埋め土>
- 4 黄褐色 (2.5Y4/1) 粘質土
(砂小ブロック含) <埋め土>
- 5 オリーブ灰色 (10Y6/2) 粘質土
(微砂含) <埋め土>
- 6 灰色 (10Y5/1) 粘土
- 7 オリーブ黒色 (7.5Y3/1) 粘質土
(灰白色砂互層 6~7層)
- 8 灰色 (10Y6/1) 粗砂
(灰色粘土ブロック含)

第269図 土壌50 (1/100)



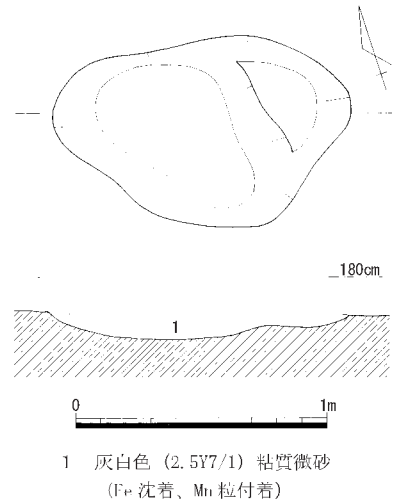
- 1 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 砂質土 (下部Fe沈着) <埋め土>
- 2 灰色 (5Y5/1) 粘質土 <埋め土>
- 3 黄褐色 (2.5Y5/3) 弱粘質土 <埋め土>
- 4 灰色 (7.5Y5/1) 砂質土 (Fe粒多含)
- 5 灰色 (10Y4/1) 粘土

第270図 土壌51 (1/100)



第271図 土壌52 (1/100)

- 1 灰黄褐色粘質土 (炭粒少含, Mn 粒含)
- 2 黄褐色 (2.5Y5/2) 砂質土
- 3 オリーブ灰色 (2.5GY6/1) 粘質微砂
- 4 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土
(浅黄色 (2.5Y7/3) 粘質土粒
・Mn 粒含)
- 5 オリーブ灰色 (2.5GY6/1) 粘質微砂
(Mn 粒少含)
- 6 灰オリーブ色 (7.5Y6/2) 粘質微砂
・オリーブ灰色 (5GY6/1) 粘土
・緑灰色 (7.5GY5/1) 粘質微砂
ブロックの混介
(炭・焼土含) <埋め土>
- 7 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質微砂
・灰オリーブ色 (7.5Y6/2) 粘質微砂
・緑灰色 (2.5GY5/1) 粘質微砂
ブロックの混介
(炭・焼土含) <埋め土>
- 8 緑灰色 (5G5/1) 粘土
・暗オリーブ灰色 (2.5GY4/1)
粘質微砂
・暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質微砂
ブロックの混介
(炭・焼土含) <埋め土>



第272図 土壌53 (1/30)

土壌51 (第268・270図)

303U・V区に位置している。南側が百間川低水路によって削平を受けているため、不確定要素が多いが、平面形は不整形な楕円形を呈すると想定される。規模は、

現存長軸1190cm、短軸640cmである。深さは検出面から180cmを測り、土壌底面の海拔高は0mである。埋土には、人為的に埋められた痕跡が認められる。

遺構の時期は、埋土の特徴等から、近世以降に比定される。 (小嶋)

土壌52 (第268・271図、写真35)

303W・X区で検出された。平面形は不整楕円形を呈し、その規模は長軸600cm、短軸395cmを測り、検出面からの深さは170cmである。百間川低水路に近いので、埋土下層はグライ化が進んでいた。時期の特定が可能な遺物は出土していないが、検出面や埋土の特徴等から、土壌50・51と同様に、近世以降に比定される。 (小嶋)

土壌53 (第268・272図)

土壌53は302ⅡA区に位置する。調査区南端で検出した不整形な土壌で、遺物は出土しなかった。埋土は、灰白色を呈し、この遺跡において古代～中世に比定される土層と類似する。 (物部)

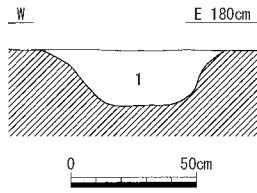
3 溝

溝46 (第268・273図、写真33)

302・303W区を南北方向に直線的に延びた後、南側は直角に折れ曲がり、北側は調査区外に延びるものと推定される溝である。検出時の上幅は72cm、底面幅28cm、深さ21cmを測り、断面形は逆台形を呈する。近接して並ぶ土壌は「のつぼ」と推定され、本溝は近世用水路と考えられる。 (高田)

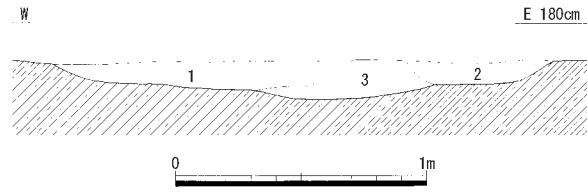
溝47 (第268・274図)

溝47は、調査区東端の301～302ⅡB区で検出した南北方向に直線的に延びる溝である。断面土層が



1 灰色 (5Y4/1) 粘質微砂

第273図 溝46 (1/30)



1 灰オリーブ色 (5Y6/2) 粘質微砂
2 灰色 (5Y6/1) 粘質微砂
3 灰白色 (5Y7/1) 粘質微砂

第274図 溝47 (1/30)

ら少なくとも3条の溝が重複しており、底面は凸凹が著しいので、耕作痕跡と推定される。溝47の時期は、羽釜や上薬のかかった土器細片が見られることから近世まで下ると考えられる。(物部)

溝48 (第268・275図)

302Y・Z区を東西方向に延びる溝で、両端は後世の攪乱等で失う。検出時の規模は中央付近が最大で、上幅200cm、底面幅180cm、深さ10cmを測る。断面形は皿形を呈し、北側が一段浅くなる。

図示し得る出土遺物はないが、検出状況から溝の時期は、中世以降と考えられる。(高田)

溝49 (第268・276図)

302Y・Z区を東西方向に延びる溝で、前述の溝48の南側約2.5mに平行する。両端は浅くなって途切れ、検出時の規模は長さ5m、上幅60cm、底面幅47cm、深さ8cmを測る。断面形は皿形を呈し、南側が一段浅くなる。埋土が溝48と酷似することから溝の時期も近いものと考えられる。(高田)

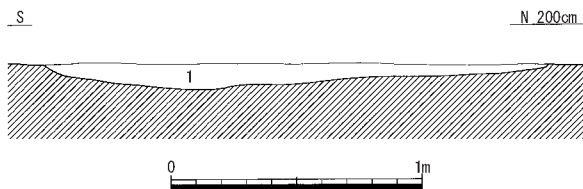
溝50 (第268・277図)

溝50は、302ⅡA区に位置し、土壌53に近接して検出された。東西方向に延びているが、現存する条理の方向とは異なる。断面形は碗形、埋土は灰色を呈する。溝50の時期は検出層位や埋土の特徴から古代以降と推定される。(物部)

4 その他の遺構

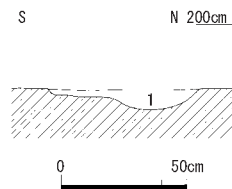
鉄分の沈着 (第268図)

301~302Z~ⅡB区にかけて、鉄分が沈着した黄色を呈する筋を5条検出した。軸線は溝47に並行あるいは直交する。これらは上位にある水田の畦あるいは畑の畝間の溝を反映していると推定される。検出面は古墳時代後期に比定される褐灰色土上面であったが、時期は不明である。(物部)



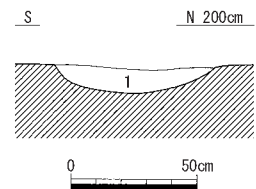
1 灰オリーブ色 (5Y6/2) 粘質微砂
(砂質強、炭・焼土粒少含、Mn沈着)

第275図 溝48 (1/30)



1 灰黄色 (2.5Y7/2) 微砂
(炭・焼土粒含、Mn沈着)

第276図 溝49 (1/30)

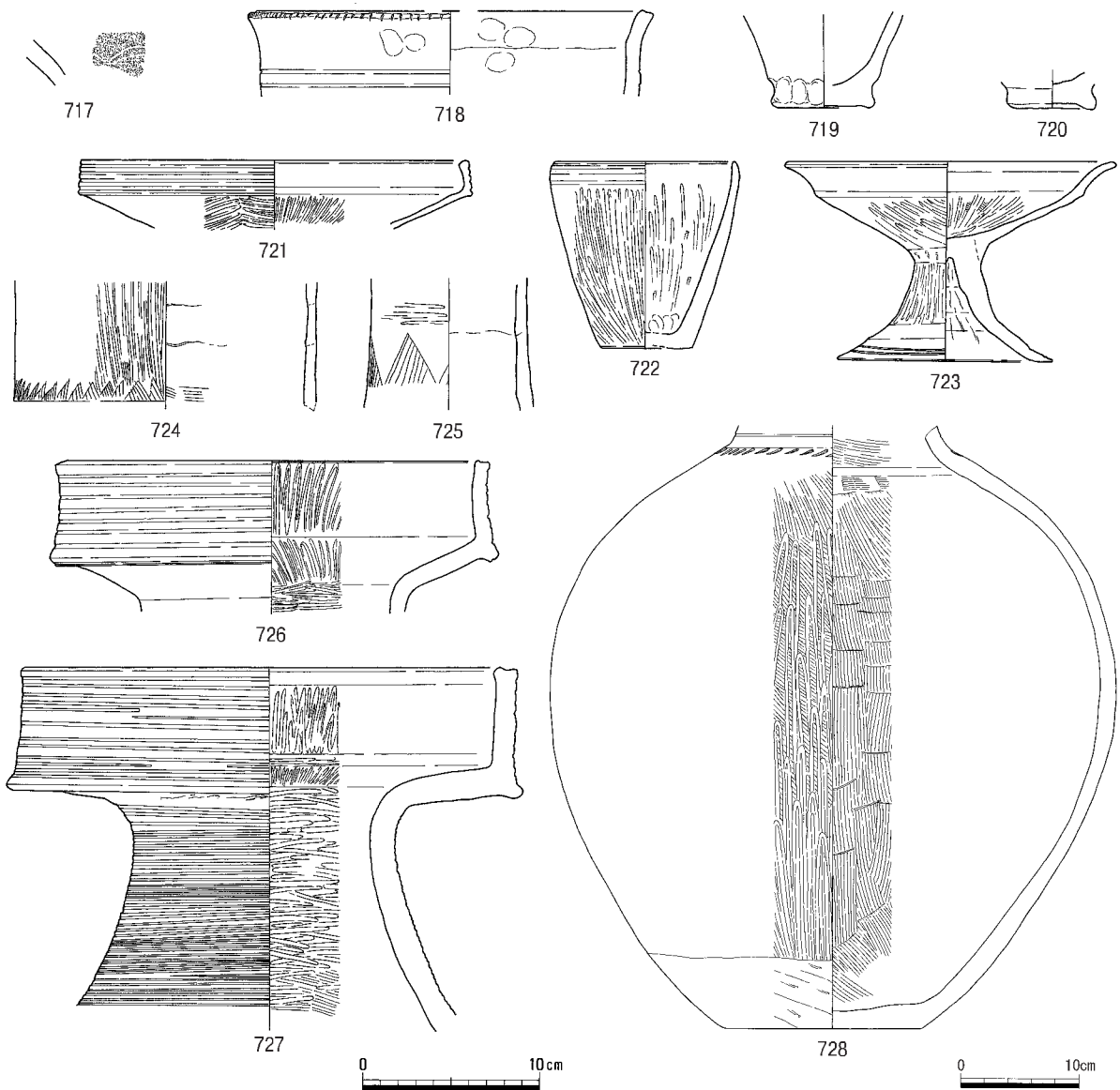


1 灰色 (5Y6/1) 粘質微砂

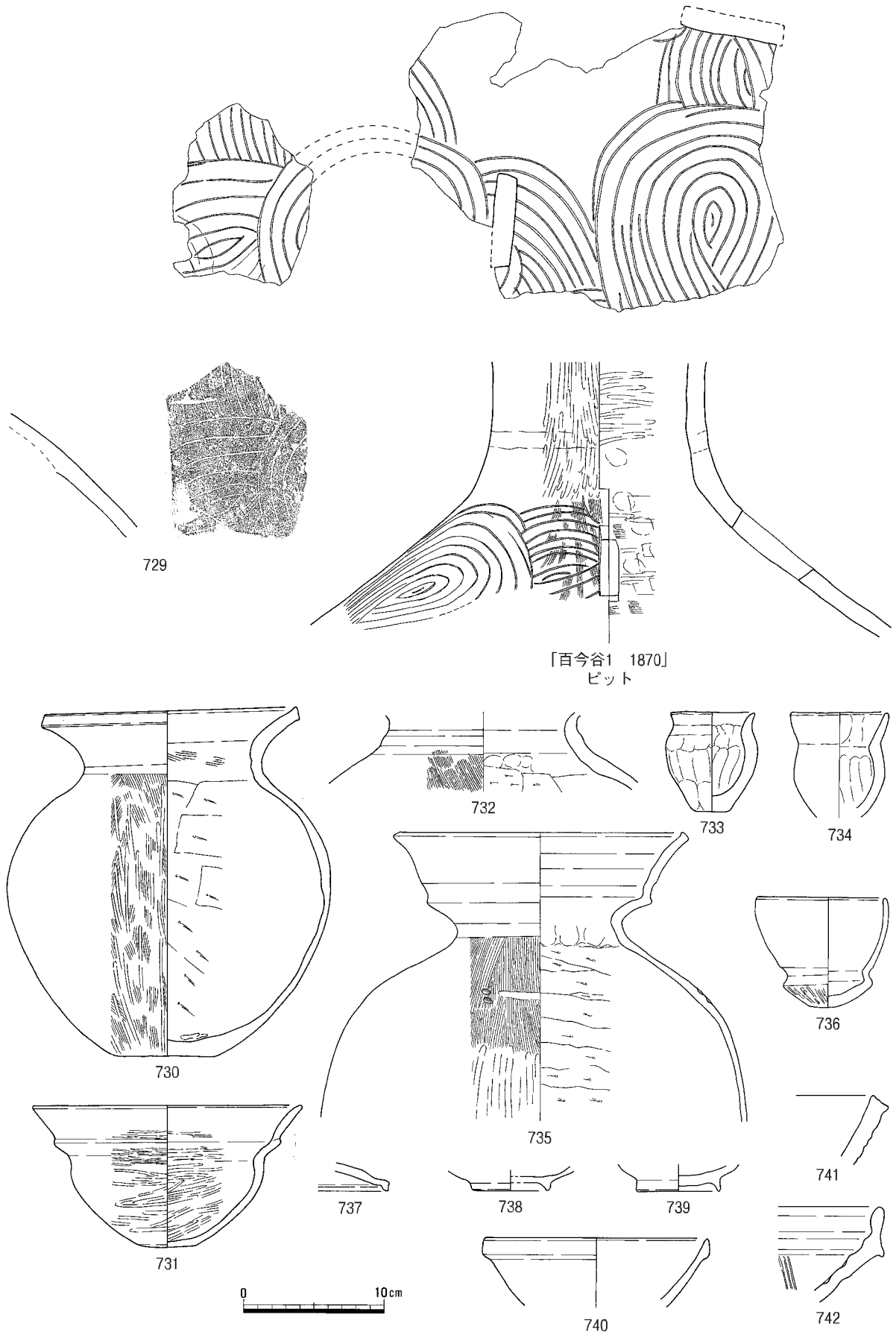
第277図 溝50 (1/30)

第6節 包含層出土遺物

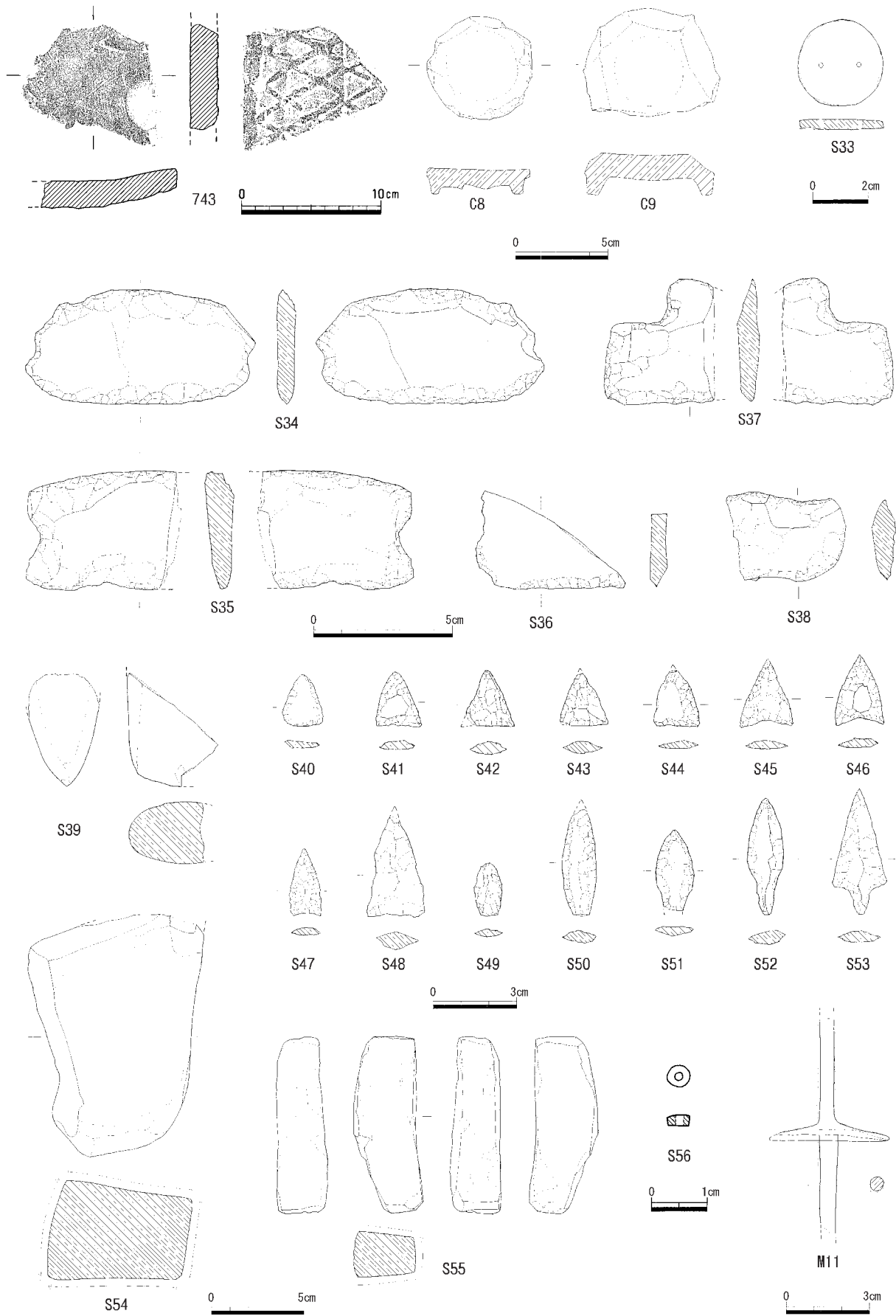
弥生時代前期から近世の遺物が出土している。717～720は弥生時代前期の土器である。722は播磨系の鉢で、時期は弥生時代中期中葉。724は樽形土器の体部で、今回の調査で複数個体出土している。726・727は口縁部が特殊壺と似るが、胎土は一般的なものと変わらない。728は大形の壺で、口縁部をわざと打ち欠いた可能性がある。729は器台で既報告「百間川今谷遺跡1」に掲載の1870と同一個体であると考えられ、表面に弧帯文が描かれる。古墳時代の土器は、最も量が出土している。737は8世紀代の須恵器の杯蓋で、黒色土器など古代の土器も少量出土している。中近世の遺物も少量で、早島式土器や白磁碗、東播系須恵器の捏ね鉢、備前焼などの他、743の瓦や土製円板C8・C9がある。石製品としては滑石製の有孔円板S33や白玉S56のほか、サヌカイト製の打製石包丁やスクレイパー、石匙、楔、石鏃などがある。金属製品では、鉄製の紡錘車M11が出土している。 (團)



第278図 包含層出土遺物① (1/6・1/4)



第279図 包含層出土遺物② (1/4)



第280図 包含層出土遺物③ (1/4・1/3・1/2・1/1)

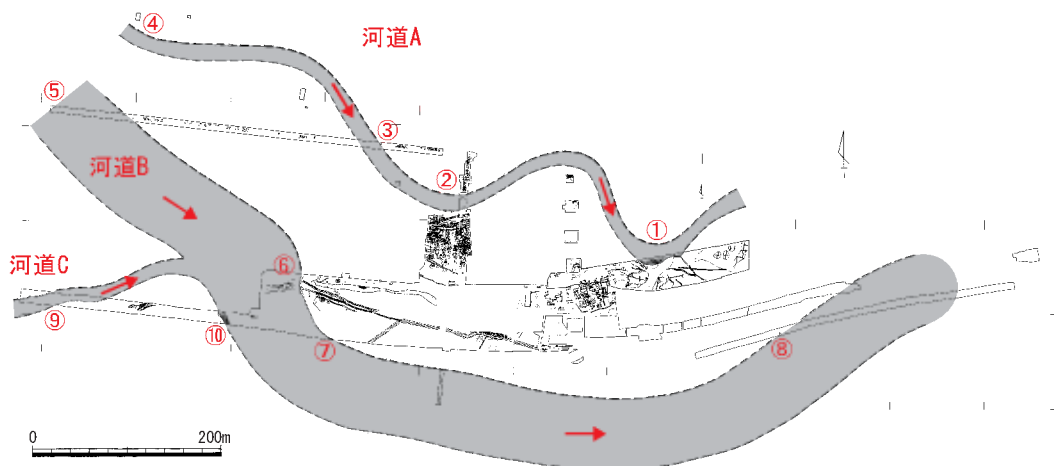
第4章 まとめ

第1節 遺構について

1 弥生時代以前の河道の復元

本書で報告した弥生時代後期の水田3・5は、その下部に弥生時代中期の溝8が位置していることから、溝8が埋没した後、その流路を利用して水田をつくっていると考えられる。では、この溝8はどのような流路をたどるのか、以前の調査成果から復元してみたい。あわせて、百間川兼基・今谷遺跡の所在する微高地を取り巻く弥生時代以前の河道の状況についても考えてみたい（第281図参照）。

①地点で検出した溝8は大きく蛇行しており、自然河道と考えられる。幅6m以上、底面標高-15cm、埋土は植物遺体を多く含む灰色の粘質土と砂質土であった。埋土上部には水平な後期の水田層が2層あり、その上面を洪水砂が覆っている。溝8出土土器から百・中・Ⅱの時期に埋まりつつあり、百・中・Ⅲには湿地状を呈していたと考えられる。これと同じ状況が確認されたのは、②地点に所在する「百兼基4下がり」と、これに隣接する「百兼基1溝30」である。「溝30」では両岸が確認され、幅約10m、底面標高-24cmを測る。③地点には「百兼基2溝19」が所在する。この溝は後期水田層除去後に検出された百・中・Ⅲ期の浅い溝であるが、西側の上場が不明となっている。調査区南壁の断面図（原図）で確認すると、埋土は灰色粘土で、標高約50cmまで下がり確認されている。その傾斜から推定すると底面は標高0cm近くまで下がり、幅も広くなりそうで、「溝19」は大きな溝の上層と推定できる。③地点から北は、④地点で岡山市教委の調査があり、微高地の南端と推定されている。これらのことから、地形から判断して④→③→②→①と流れる流路が考えられる。②から①へは「百今谷1今谷橋脚調査区」のすべてが微高地部であったことから、北側へ大きく迂回していると推定したい。この河道を以下、「河道A」と仮称する。河道Aは、百間川兼基・今谷遺跡が所在する微高地を北西から南東へ分断するように延びていると考えられる。



第281図 弥生時代以前の河道復元 (1/8,000)

次に、⑤地点では、「百兼基2黒中調査区第5図」にあるように西に下降する下がりが確認されている。その埋土中には標高20cm前後で弥生時代中期の土器が出土している。深さは標高-10cmまで確認され、さらに深い。幅は調査区を越えて広がり、80mを越えると推定される。⑥地点で、西に下がる中期以前の下がりを出している「百兼基1大上田調査区」。ここからは百・中・I期の土器が出土している。⑦地点でも同様に南西に向かう下がりを確認している（原図）。⑧地点では東へ傾斜する下がり認められるが、ここより東約250m間には対になる肩は検出されていない（原図）。以上のことから⑤→⑥→⑦→⑧と流れる大きな河道を想定できる。この河道を以下「河道B」と仮称する。

さらに⑨地点で検出された「百兼基3旧河道」がある。幅約12m、底面の標高-100cm以下の中期の流路と、前期と推定される流路が重なっている。この旧河道を踏襲する後期以前の「百兼基3溝1」が、南西から北東への流れを推定できることから、旧河道の流れる方向も同様と考えられる。出土遺物から時期は百・前・Ⅱ～Ⅲから百・中・Ⅱと推定されている。⑩地点でも底面が0cmより低い前期から中期にかけての溝が確認されている（原図）ことから、⑨から蛇行して⑩へと流れる流路が想定される。ただ、⑩地点の溝幅は約6mと狭いので、分流して河道Bへ合流している可能性が高い。⑨→⑩・河道Bの流路を以下「河道C」と仮称する。

河道Cは前期まで遡ると推定される流路であり、河道Bもその大きさから前期にも流路であった可能性がある。河道Aについては現在のところ前期に遡る所見は見られない。埋没時期は出土遺物から、河道Bが百・中・I、河道Cが百・中・Ⅱ、河道Aが百・中・Ⅲと考えられ、その後はいずれも湿地状を呈したものと考えられる。

その他に、本書で報告した水田2の下に北に向かう下がり確認されている。その埋土上層から縄文時代晩期の土器片が出土しており、古い時期の大きな河道の存在が予想される。

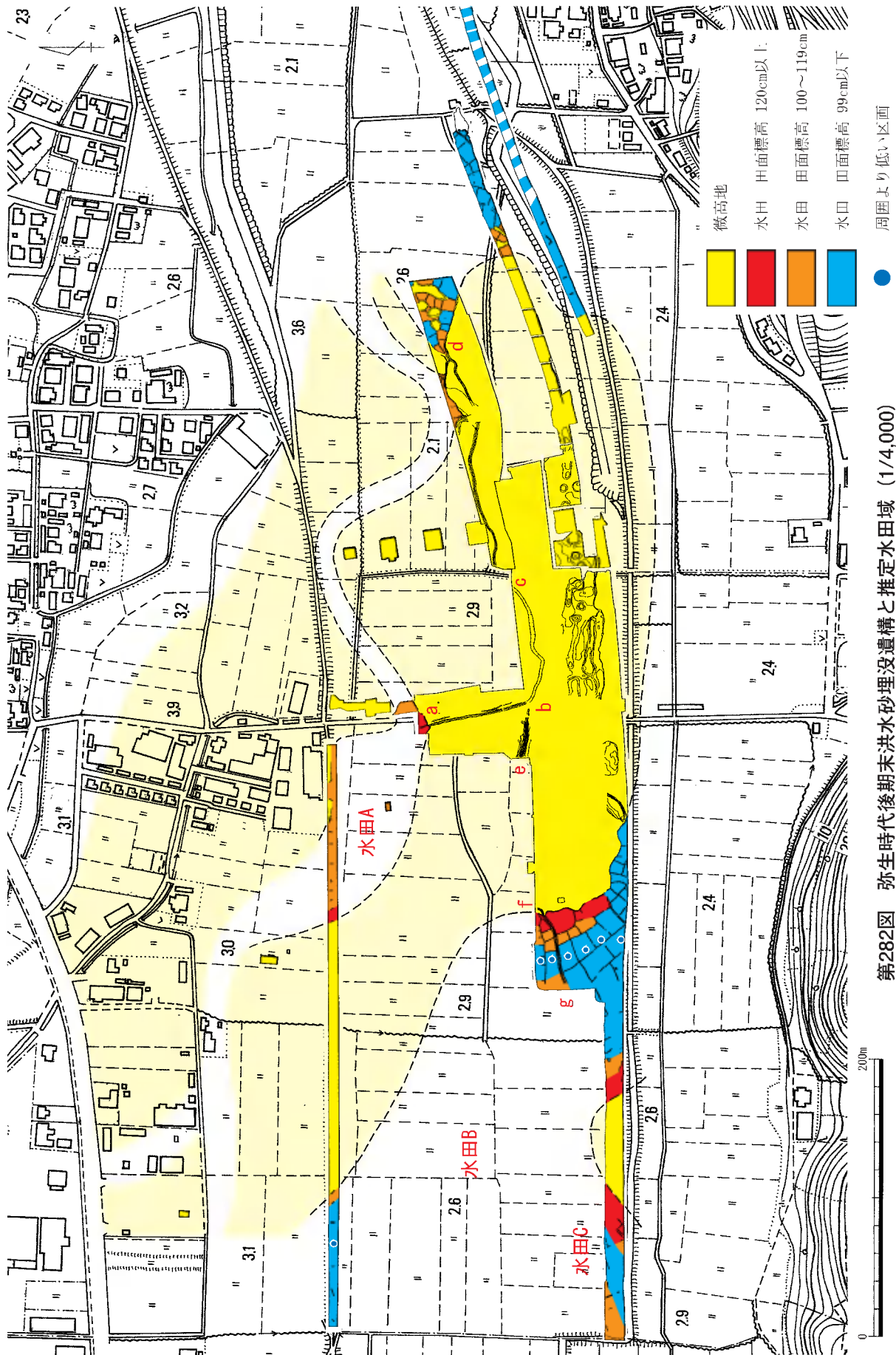
なお、百間川兼基・今谷遺跡の北側から東側にかけて、現代の田んぼの形や高低差、用水路などから、旧河道の痕跡が以前から知られている。この旧河道の一部は、百間川米田遺跡や米田遺跡で調査され、古代から近世にかけての河道と確認されているが、それを遡る古墳時代や弥生時代の河道は見つかっていないので、その存在は大いにあると思われるが、何とも言えないのが現状である。（物部）

2 洪水砂埋没水田と水路の状況

第282図は、弥生時代後期末と推定される洪水砂によって埋没した水田と水路の状況である。微高地を黄色、水田を田面の高さによって3段階に色分けした。

洪水砂埋没水田は、基本的に前項で推定復元を試みた河道A～Cの跡地に広がっていると想定される。田面の高さは、河道A跡地を利用した水田（以後、水田A）の方が、河道B跡地を利用した水田（以後、水田B）よりも高いことがわかる。また、水田Bの個々の区画をみると、青丸印を付した区画は左右の区画より田面が低く、河道Bの最深部であることを反映していると推定される。河道C跡地にも水田（以後、水田C）が広がっている。

水路については、幹線水路と考えられてきた「百兼基1溝42」（b～c）は、北へ屈曲して「百兼基4水路1」（a～b）と繋がり、その北端は河道ではなく、「百兼基4水田2」つまり水田Aに取り付くことが判明した。また、溝42の東側は「本書今谷4水路1」（c～d）となって東端で「本書今谷4水田6」に口を開けていた。その全長は約300mで、底面の標高は北端部で128cm、中央付近で116cm、東端部で109cmを測り、水は北から東へ流れる。北端部（a地点）での水の取り入れは、水田Aを流



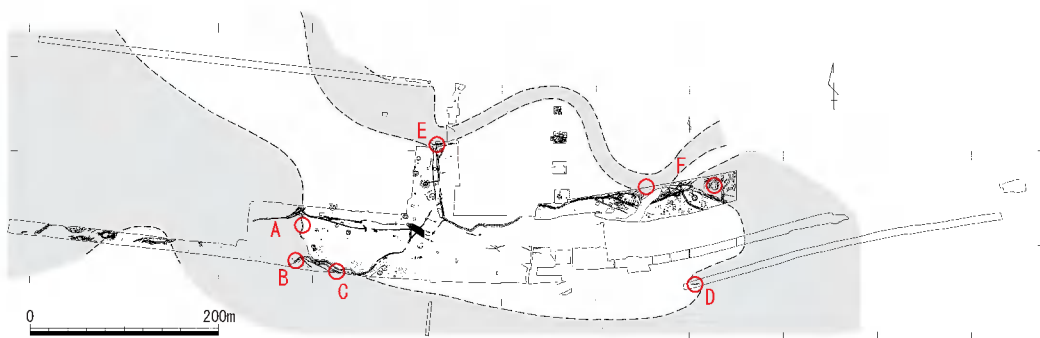
第282図 弥生時代後期末洪水砂埋遺構と推定水田域 (1/4,000)

れてきた水を北に延びる大畦である程度堰き止めて水路の方へ引き入れたと考えられる。b地点から西へ延びる「百兼基4水路2」(b～e)は、底面標高100cm前後で、東西のどちらへ水が流れるのか判断できない。ただし、a～d間の水路の断面が碗形を呈するのに対し、b～e間は箱形を呈していることから、掘削された時期が異なる可能性がある。「百兼基1畝」(f～g)の底面標高はf地点で128cm、g地点で111cmであるから、水は東の微高地方面から西の水田部へ向かって流れると推定される。水をどこから取り入れているのかというと、北方の水田Aから引っ張っている可能性が考えられる。また、「畝」の延長線方向には水田Cの南に位置する微高地がある。この微高地は中州状を呈するのか、それとも南の山裾が張り出すのか容易に判断できないが、「畝」は水田Bを横断し、この微高地に入り、微高地縁辺の高位の水田へ水を配っていた可能性が考えられる。「畝」の畝部分の標高は最低で120cmを測ることから、計算上では田面が120cmより低ければ水を配ることができる。(物部)

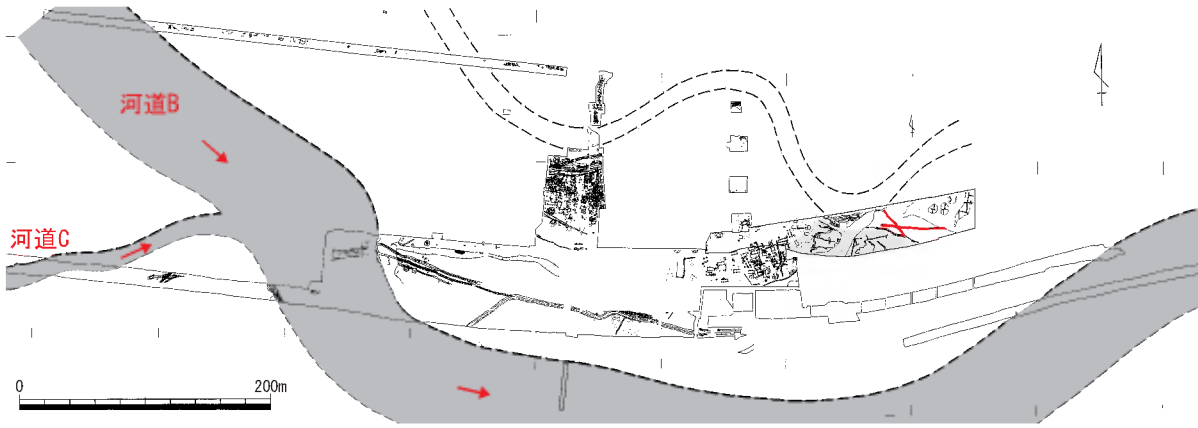
3 弥生時代後期水田の開田の時期とその広がり

洪水砂で埋没した水田層の直下に、さらに古い弥生時代後期の水田層があることは、当初から知られている。第283図A地点では、「百兼基1大上田調査区水田」において、「百・後・Ⅳに先行する2枚の水田層」と「水田の東端が西に移動した土層」が確認されている。B地点では、「大畦をつくる際の耕作痕跡」と考えられる「百兼基3溝15・16」を検出し、出土遺物からその時期は百・後・Ⅱと推定されている。また、C地点で検出された「百兼基3溝17～19」は、「洪水砂より古い段階での微高地端部における水田開墾作業に係わった痕跡」と推定され、その時期は百・後・Ⅱと考えられている。D地点では「百今谷3水田」部分で、A地点と同様に水田の西端が東へ移動した土層が見て取れる。E地点では「百兼基4水田2・溝21～23」の周辺で、「百・後・Ⅱから百・後・Ⅳにかけて、少しずつ微高地を削りながら水田を南に拡張していった状況」が観察された。F地点では、洪水砂埋没水田層に先行する水田層「本書百今谷4水田3・4」とその下部に開墾あるいは耕作を行った時の痕跡「本書百今谷4水田4溝状遺構」だけでなく、島状高まりがひとまわり太った状況も確認された。

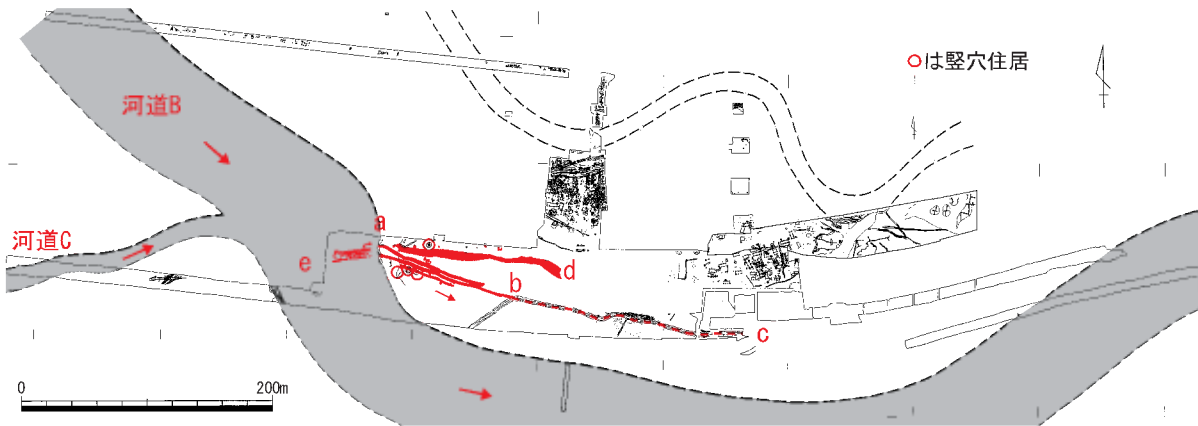
以上のことから、微高地を取り巻く水田各所で洪水砂埋没水田に先行する水田の存在が想定され、その水田の広がり、洪水砂埋没水田とほぼ同じ範囲であったことが推定される。後期水田の開田時期は、百・後・Ⅱの段階に置きたい。微高地上で検出された水路と考えられる溝も百・後・Ⅱ～Ⅳの時期であるので、齟齬はないと思われる。(物部)



第283図 洪水砂埋没水田に先行する水田の確認地点 (1/8,000)



第284図 百・前・I～Ⅲ期の遺構 (1/6,000)



第285図 百・中・I期の遺構 (1/6,000)

4 弥生時代の遺構の変遷（水田・水路を中心に）

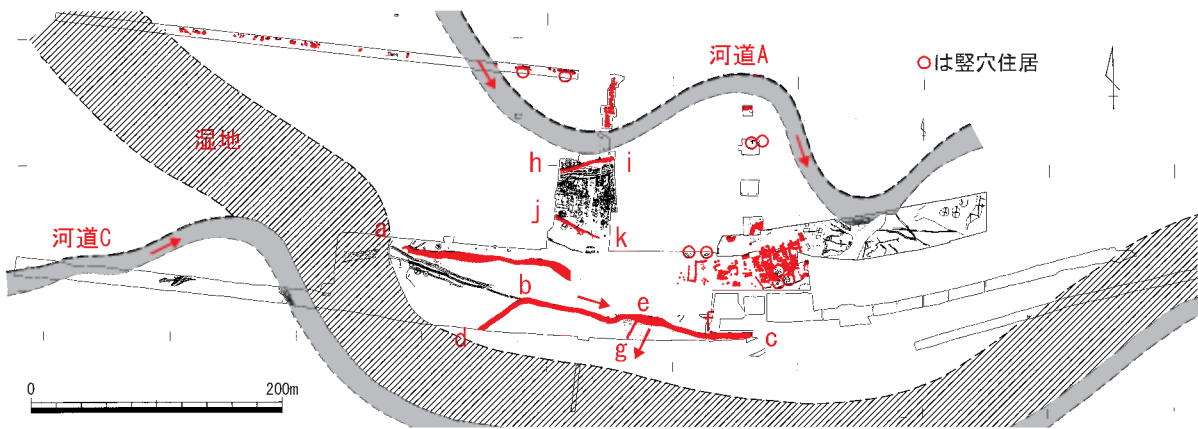
百間川兼基・今谷遺跡における水田・水路を中心に弥生時代の遺構の変遷を追ってみたい。

百・前・I～Ⅲ期（第284図）

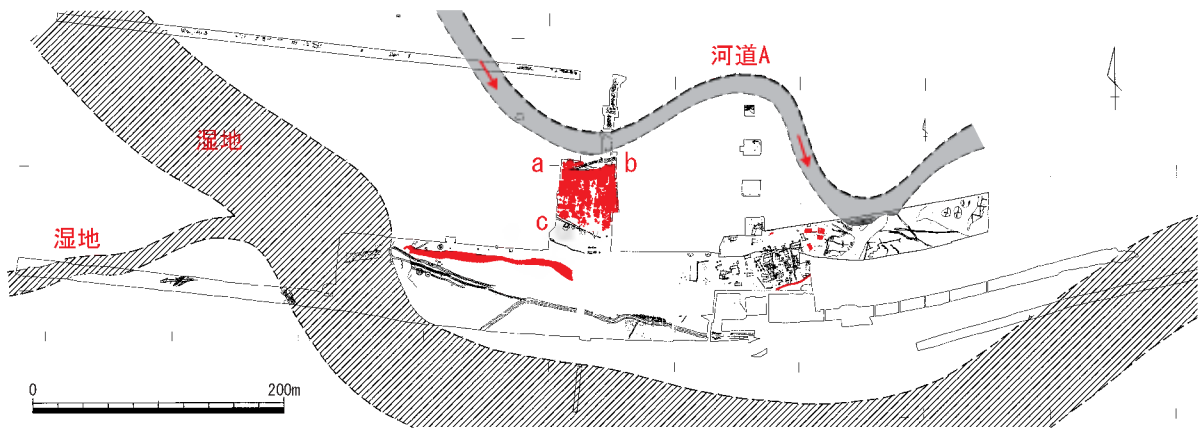
微高地の西には河道B・Cが流れていたと推定される。微高地東部には百・前・I期の「本書百今谷4水田1」と、水路と考えられる「本書百今谷4溝1・2」がある。「溝2」は「水田1」の用排水路と考えられる。その用水の取り入れは微高地北方にあると推定されるが、その状況は不明である。その他に遺構は検出されていないが、「百兼基1東苗代調査区」で百・前・Ⅲ期、「百今谷4」で百・前・Ⅱ期の土器が出土している。

百・中・I期（第285図）

微高地の西の河道B・Cは埋まりつつある状態で浅くなっているが、まだ水流があったと思われる。河道Bはこの時期にほぼ埋没する。水路と推定される溝は、a～b間で検出された「百兼基1溝2～4」の3条で、東へ流れていたと推測されている。b地点から東へは次段階の溝と同一流路をたどっていたと考えられ、c地点を通過して微高地東側の水田へ水を流す役割が想定される。ただし、底面に凹凸が認められることから、ある程度の水圧があったと想定している。a～d間で検出された「百兼基1溝1」は、埋土下層から百・中・I、中層から百・中・Ⅱ～Ⅲ、上層から百・後・Iの土器片が出土していることから、比較的長い時期幅が推定されるので、「溝2～4」とは別の機能を考えたい。また、これらの溝の西側a～e間には、河道B部分に立地する「百兼基1杭列」が検出されているが、この機能については別項で検討する。



第286図 百・中・Ⅱ期の遺構 (1/6,000)



第287図 百・中・Ⅲ期の遺構 (1/6,000)

百・中・Ⅱ期 (第286図)

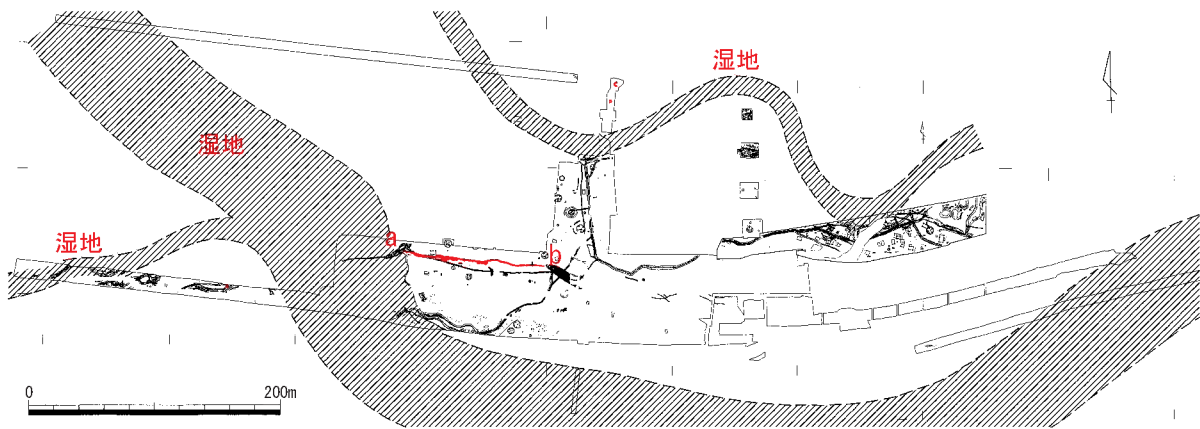
微高地の西の河道Bはほとんど埋まり、湿地状を呈していたと考えられる。河道Cには水流が残っているが、この時期の期間内で埋没する。北方には河道Aが流れている。前段階の水路のうち、a～b間は機能を停止し、代わってd地点からb地点へ「百兼基3溝22」が掘削される。これは西方からの給水が困難になったから、南西方向から水を取り入れようとしたのではなかろうか。b地点から東方のc地点へは「百兼基2溝25・26」「百兼基3溝22」「百今谷2溝56」と繋がり、この間にはeとfの2か所に突起状の張り出しを設けている。e地点からは南のg地点に向かって延びる「百兼基3溝24」が検出されたことから、張り出し部に堰を設けて「溝24」に水を分流させていたと推定されており、微高地南縁部にはこの時期の水田が存在したと考えてよい。

他に水路と考えられるのは「百兼基4溝2」(h～i)と「百兼基4溝15」(j～k)であるが、これらの水路の機能については未だ不明と言わざるを得ない。

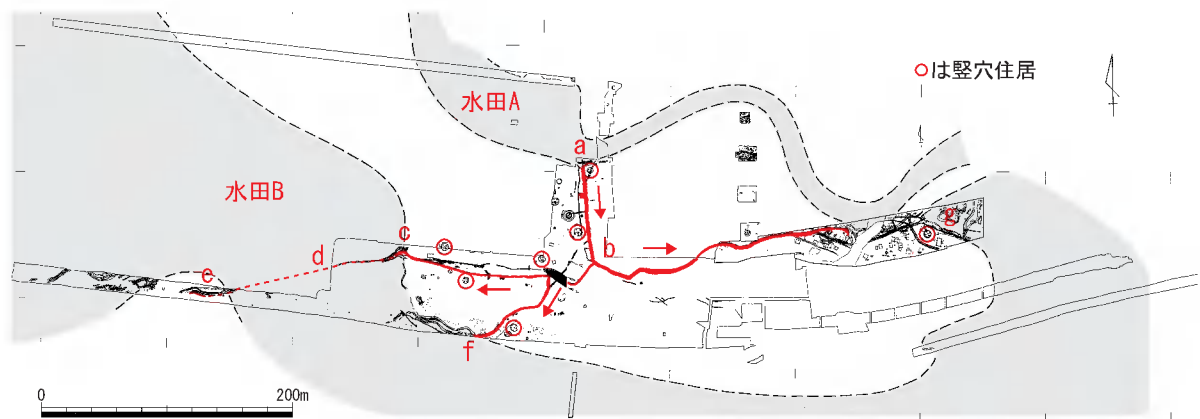
河道A南側の微高地には、南東部にガラス滓の出土した掘立柱建物群(「百今谷1・4」)があり、北西部に掘立柱建物や土壌が集中する「百兼基2黒中調査区」が見られる。竪穴住居は、現時点では掘立柱建物群の内部や西と北に計7軒が確認されている。河道A北側の微高地にも、竪穴住居と土壌が集中する「百兼基1東苗代調査区・百兼基2和佐田調査区」があり、ここからもガラス滓が出土している。

百・中・Ⅲ期 (第287図)

この時期になると、河道B・Cに次いで河道Aも埋没が進み、湿地化していったと考えられる。前段階で微高地南方に給水していた水路も埋没している。この時期に機能している水路は、「百兼基4



第288図 百・後・I期の遺構 (1/6,000)



第289図 百・後・II期の遺構 (1/6,000)

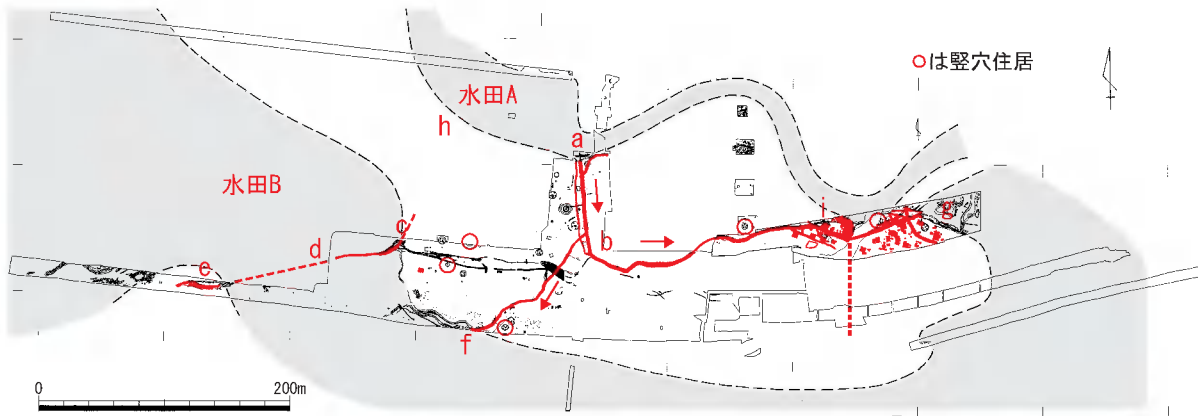
溝4～6・9」(a～b)である。水流の方向や役割も現段階では想定できないが、河道Aの埋没と関係があるのかもしれない。この時期の水田と推定されるのは、c地点に位置する「百兼基4水田1」である。この水田は微高地中央部の鞍部に立地しており、水田面の標高が140～150cmを測る高位の水田である。その他、微高地周囲の水田は確認されていない。竪穴住居や掘立柱建物などの遺構は、1か所に集中する。しかし、今回、微高地東部でも数棟の掘立柱建物が確認された。

百・後・I期 (第288図)

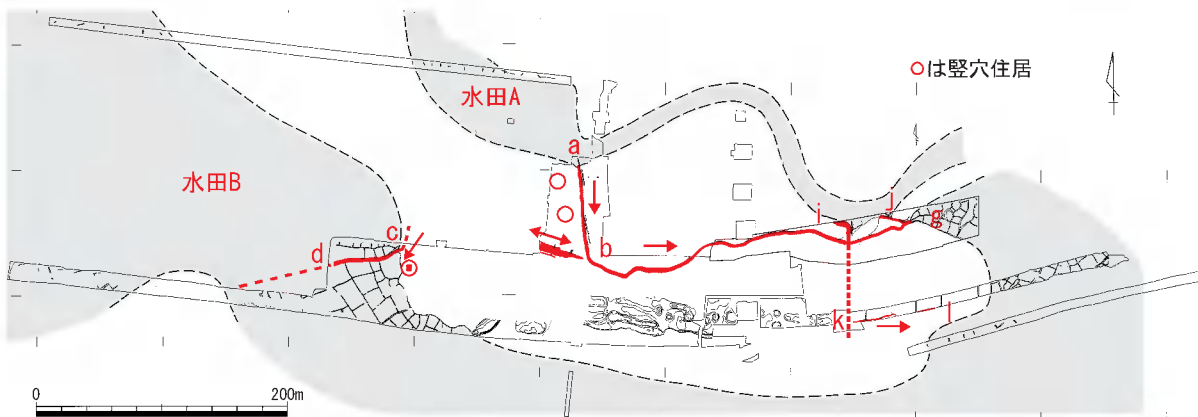
遺構・遺物とも極端に少ない時期である。「百兼基1溝6」(a～b)は、百・中・Iが初現である「百兼基1溝1」の流路を踏襲して掘削された溝である。この溝は、居住地の排水機能や畑地に関する機能が推定されており、水田への用水路とは考えにくい。

百・後・II期 (第289図)

第3項で検討したように、この時期にはすでに河道A・B・C跡地が水田化され、百・後・IV期に洪水で埋没した水田と同じ広がりをもっていたと考えられる。微高地上には「十」字状に走る水路が見られる。北のa地点から南方のb地点へ「百兼基4溝27」が直線状に約80m伸び、b地点から西方へ「百兼基1溝9」から「百兼基1溝7」へと繋がって、c地点から水田域へ入っていく。その先は、d地点を経てe地点の「百兼基3溝13」に続いていると考えられる。この水田部分の水路は、畝畝であった可能性が大きい。b地点から南方へは、「百兼基1溝9」から「百兼基2溝27下層」、そして「百兼基3溝21」と繋がり、f地点で水田へ口を開けている。b地点から東方へは、「百兼基1溝41」、「本書百今谷4溝10」と続き、「水田3」南端部に沿って流れ、「本書百今谷4溝16」を経てg地点の「水田4」へ開口していると推定される。これら水路の底面標高を調べると、取水口はa地点の1か所で、



第290図 百・後・Ⅲ期の遺構 (1/6,000)



第291図 百・後・Ⅳ期の遺構 (1/6,000)

河道A跡地の水田Aを流れてきた水を大畦で受けて取り入れ、b地点で3方向に分流させ、河道B跡地にある水田Bへ水を配っている状況が窺われる。

未調査部分もあって断定はできないが、この時期の竪穴住居の配置は散在的であり、これについても別項で述べたい。

百・後・Ⅲ期 (第290図)

この時期の水田も、百・後・Ⅳ期に洪水で埋没した水田と同じ広がりをもっていたと考えられる。前段階の水路をほぼ踏襲している水路は、取水口である北のa地点からb地点にかけて「百兼基4溝26・27」とバイパス状に掘られた「百兼基4溝25」、b地点から南方のf地点へ向かう「百兼基4溝31」→「百兼基1溝8」→「百兼基2溝27」→「百兼基3溝21」、b地点から東方のg地点へ延びる「百兼基1溝41」→「本書百今谷4溝11・12」である。反対に消失してしまうのは、b地点から西方へ向かう水路であるが、吠畝と推定される「百兼基1溝13」(c～d)とその延長の「百兼基3溝11・12・14」(e地点)は存在し、この溝はc地点で北方へ曲がっているため、h地点あたりで水田Aへ繋げ、新たな取入口をつくった可能性が高い。その他、i地点の水路(河道?)「本書百今谷4溝15」は、上記の幹線水路と交差する部分をどのように考え、どこからどこへ流すのか、不明な点が多い。

この時期の竪穴住居の配置も、散在的な在り方を示し、掘立柱建物は微高地東部に集中する。

百・後・Ⅳ期 (第291図)

この時期に大洪水が発生したと考えられており、洪水砂で埋没した遺構には、水田・水路・竪穴住居が確認されている。水田・水路については第2項で説明した。前段階と比べると、a→b→gの東へ水を流す水路と、c～d間の「百兼基1吠畝」は引き続き踏襲されているが、b地点から微高地南

方に流す水路はほとんど埋没し、機能を停止している。また、b地点から西に延びる水路「百兼基4水路2」が、新たに掘削される。その他に、3本の水路が検出されている。「本書百今谷4水路2」(i地点)は、前段階の「本書百今谷4溝15」を踏襲して掘削された水路で、「本書百今谷4水田5」の南西沿いから南へ延び、「本書百今谷4水路1」と交差する。底面標高は約60cmで、周囲の水路に比べて格段に深い。南方へはどこまで延びていくのか、北方はどこに繋がっているのか、水田Aや「水路1」との関係など、推定しがたい状況である。「本書百今谷4水路3」(j～g)は、「本書百今谷4水田5」と「本書百今谷4水田6」を連結している。底面の標高は130～140cmで、田面より高いから、「水田5」の水量が増え過ぎた時に「水田6」へ水を逃がす役目が考えられる。「百今谷2溝53」(k～l)は、微高地南東部に位置して東西に延びており、底面の高低差から微高地東側の水田へ給水する機能が推定される。取水については、「本書百今谷4水路2」からの可能性がある。

洪水砂で完全に埋没している竪穴住居は、現在のところ「百兼基1竪穴住居11」ただ1軒だけである。「百兼基4竪穴住居13・16」の2軒の竪穴住居は、埋土上半部に洪水砂の堆積が見られることから、洪水が発生した時よりもいくらか前に廃棄されている。

以上のように弥生時代の水路と水田の変遷を概観すると、百間川兼基・今谷遺跡が所在する微高地周辺では、新田開発を行った時期が3つあることに気づく。1つめは百・前・I期、2つめは百・中・I期、3つめは百・後・II期である。

百・前・I期の新田開発は微高地東部で行われ、同時期のうちに洪水によって埋没している。この期の水田は、微高地上でもやや低い鞍部を開墾したもので、微高地北部から微高地を掘削した水路を伴う。

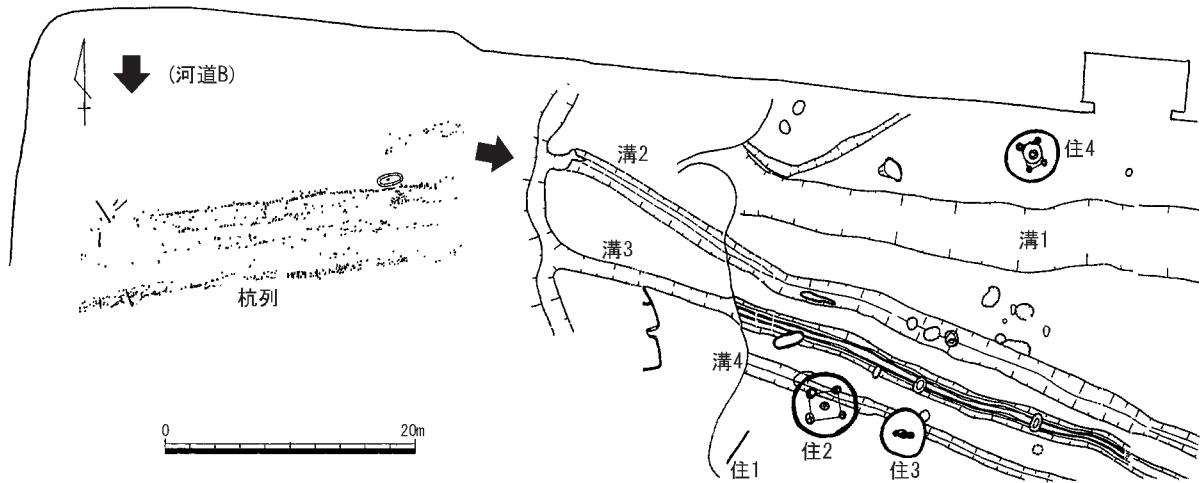
百・中・I期の新田開発は、主に微高地南側から東側にかけて行われ、その水田の経営は百・中・II期まで継続している。次時期の百・中・III期に水田に給水していた水路がなくなることは、水田経営を放棄したと考えられ、その原因として、百・中・II期に取水する河道の埋没や大きな洪水の発生が想定される。時期を限定できなかった「本書今谷4水田2」も、現段階ではこの百・中・I～IIの時期に置いておきたい。

百・後・II期の新田開発は、東方の百間川原尾島遺跡まで含めたさらに広い範囲に及ぶと推定される大規模なもので、河道跡の湿地を中心に行われたと考えられる。開田後、何度か洪水被害が想定されるが、復旧しながら百・後・IV期まで水田経営を続け、最終的には弥生時代後期末の大洪水によって放棄される。なお、この時期の水路には、その機能をはっきりと把握できていなものもあり、課題として残る。

(物部)

5 「百間川兼基遺跡1杭列」の再検討

昭和55年度に調査された百・中・I期「百兼基1杭列」の機能について再検討したい。「百兼基1杭列」は微高地西側の低湿地部に存在し、東西約30m、南北約6～7mにわたって板材と自然木による杭列群が検出されたもので、微高地に所在する百・中・I期の「百兼基1溝2～4」の延長線上に位置することから、「軟弱な低湿地に営まれた用水路の基礎杭」と推定されている。今回時期別に水路の機能を検討したところ、この「杭列」に別の可能性が考えられたので指摘しておきたい。それは、この「杭列」が、河道の流水を集めて水路へ導入するために造られた突堤ではないだろうか、という



第292図 百・中・I期の遺構〈微高地西部〉(1/600) ※「百兼基1」より

可能性である。つまり、微高地に所在する水路の取水口を河道B跡地の湿地部を横断してさらに西方に求めるか、微高地と河道B跡地の境に求めるか、前者に立てば「用水路の基礎」であり、後者に立てば「取水用の突堤」となるであろう。杭列自体をみると、板材を使用した杭列が3列に並行して東西に延びており、河道上流側にあたる北側2列は北に頭を傾け、河道下流側にあたる南の1列は不揃いながら南に頭を倒している。これは杭列の間に盛り土をして、その土圧で板材が外側へ傾いたとも考えられる。いずれにしても、百・中・I期に施行された水田開発に伴う大規模な遺構として注目される。また、このような構造物を河道B跡地につくった場合、大水の折には水流の障害となって微高地上に水が溢れることが十分予想される。百・中・I期の水路の北側に位置する「百兼基1溝1」は、幅約2～6mを測る大きなもので、百・中・I～百・後・Iまでの長い時期幅が考えられていることから、微高地上に溢れる水を集めて微高地の南東部へ誘導する放水路的な溝であった可能性を考えたい。「百兼基1溝1」を踏襲して掘削された百・後・I期の「百兼基1溝6」も同様と推定される。「杭列」の機能は百・中・I期の期間で停止しているが、その後も河道B跡地を遮るような高まりとして残り、百・後・II期にこの高まりを利用して畝畝がつくられたのではなかろうか。(物部)

6 弥生時代の竪穴住居の位置について

百・後・II～IIIの時期には、竪穴住居が微高地上に散在的に見られることは以前から指摘されている。もっとも、百間川兼基・今谷遺跡の所在する微高地は広大で、未調査部分も多く、特に微高地北西部と北東部の状況は不明と言わざるを得ない。しかし、それでもなお、第289・290図a地点の「百兼基4竪穴住居12」f地点の「百兼基3竪穴住居1・2」、g地点の「本書百今谷4竪穴住居1・2」、は、周囲に竪穴住居が見られないと推定できる。a地点は水田Aから水路へ水を取り入れる取水口近く、f・g地点は水路が水田へ取り付く地点である。弥生時代後期水田の開田時期である百・後・II期には、a・f・gの3地点にそれぞれ1軒、百・後・III期には、f・g地点にそれぞれ1軒が確認されている。このような状況から、これらの竪穴住居の住人は、水田と水路の維持・管理を分担して行っていたと推定される。その他の竪穴住居も現段階では水路近くに立地しているように見えるが、冒頭に述べたように未調査部分が大きく、この微高地に所在するすべての竪穴住居がそうであるか、あるいは未調査部分に竪穴住居の集中が見られるのか判断できない。いずれにしても、水田経営に重

きを置いた竪穴住居の配置をとる集落と位置づけてもよいように思う。今後、この時期の竪穴住居を調査する場合、その立地に注目する必要があるだろう。

そういう目で百・中・Ⅰ期の「百兼基1竪穴住居1～4」（第285・292図参照）の立地を見ると、「百兼基1溝2～4」の西端部が取水口であり、「百兼基1溝2～4」と「百兼基1竪穴住居1～4」が同時に存在したと仮定するならば、単に微高地高所だから居を構えたというだけでなく、水路の取水口の維持管理をするためにこの地点を選んだ、ということもできよう。（物部）

7 植物珪酸体分析結果から

植物珪酸体分析をバリノ・サーヴェイ株式会社に依頼した。紙面の都合上、すべてを掲載できないが、イネ科イネ属の珪酸体分析結果を抽出し、表4に示す。

弥生時代前期の水田1以外は、稲作を肯定できる結果となっている。水田1は畦畔や水路も検出されており、水田と考えてまず間違いはない。期間的な問題を考慮する必要があるのだろうか。溝8は百・中・Ⅲ期に埋没する溝であり、珪酸体の少なさから「他の場所から堆積物とともに流れ込んできた可能性が高い」と考察している。この時期の水田が、溝8（河道A）付近に存在した可能性を示していると考えられる。（物部）

表4 イネ科イネ属珪酸体分析結果（土壌1gあたりの個数）

	水田1										水田2				水田3	水田5			溝8 上層
	1地点		2地点			3地点		4地点			1	2	3	4	1 地点	1 地点	2 地点	3 地点	1 地点
	3	5	3	5	7	1	2	3	5-1	5-2					5	3			6
イネ科葉部短細胞珪酸体 イネ科イネ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,100	900	900	300	74	59	133	47	29
イネ科葉身機動細胞珪酸体 イネ科イネ属	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	3,800	3,900	3,700	300	629	1,147	1,809	1,419	87
イネ属類珪酸体														74	88	0	0	0	0

*バリノ・サーヴェイ株式会社による分析結果から一部抽出

参考文献

- 神谷正義ほか「兼基遺跡」『岡山市埋蔵文化財調査の概要』1997（平成9）年度 岡山市教育委員会 1997
- 安川満ほか「兼基遺跡」『岡山市埋蔵文化財調査の概要』2004（平成16）年度 岡山市教育委員会 2006
- 高畑知功ほか「百間川兼基遺跡1・百間川今谷遺跡1」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』51 建設省岡山河川工事事務所・岡山県教育委員会 1982
- 平井勝ほか「百間川兼基遺跡2・百間川今谷遺跡2」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』114 建設省岡山河川工事事務所・岡山県教育委員会 1996
- 柳瀬昭彦ほか「百間川兼基遺跡3・百間川今谷遺跡3ほか」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』119 建設省岡山河川工事事務所・岡山県教育委員会 1997
- 高田恭一郎ほか「百間川兼基遺跡4ほか」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』208 国土交通省岡山河川事務所・岡山県教育委員会 2007

第2節 遺物について

特殊壺・特殊器台と同じ胎土を持つ長頸壺 今回の調査で検出した、弥生時代後期後半のものと考えられる井戸4から、口縁部や体部が一部欠損するものの、完形に近い状況で出土した長頸壺139(以下、今谷4長頸壺)は、一般的な長頸壺とは口縁部の形態を異にしており、口縁部が上部に直立して拡張し、口縁部外面に複数の沈線を巡らしているもので、特殊壺の口縁部に似たものである。外面には赤色顔料が塗布されており、また、肉眼観察において胎土が茶褐色で角閃石を多く含み、いわゆる特殊器台・特殊壺の胎土と非常に似ており、理化学的な分析において、向木見型の特殊器台・特殊壺の胎土に類似するという分析結果がでている⁽¹⁾。時期は、共伴の遺物から百・後・Ⅲの新相と考えられる。

このような今谷4長頸壺と同様の特徴、すなわち口縁部が特殊壺と類似し、赤色顔料が塗布され、胎土が特殊器台・特殊壺と同じである長頸壺の類例は、3遺跡でみられる。まず、岡山市の足守川加茂B遺跡⁽²⁾土壙33出土の長頸壺(以下、加茂B長頸壺)が挙げられる。共伴遺物に時期幅があるために、詳細な時期は不明だが、今谷4長頸壺よりも体部最大径の位置が高く、外面の調整にミガキが見られること、胎土分析で立坂型の特殊器台・特殊壺の胎土に類似するとの結果⁽¹⁾などから、今谷4長頸壺より時期は先行するものの、百・後・Ⅲに併行する時期のものと考えられる。

また、楯築弥生墳丘墓⁽³⁾の北東突出部から出土した長頸壺(以下、楯築長頸壺)に類似したものがある。胎土については清水芳裕氏が分析をされており、楯築弥生墳丘墓出土の特殊器台・特殊壺と長頸壺の胎土が類似していると報告されている⁽⁴⁾。底部に焼成後の穿孔がみられることが今谷4長頸壺と異なっているが、これは楯築弥生墳丘墓に共献された特殊壺が穿孔されて仮器化していることと同様に仮器化しているためであろう。

同じく弥生墳丘墓からの出土として、みそのお遺跡⁽⁵⁾42墳墓第1主体部に供献された土器の一群に、類似した長頸壺(以下、みそのお長頸壺)が出土しており、突帯のない特殊壺と報告されている。時期は百・後・Ⅳに平行すると思われる。

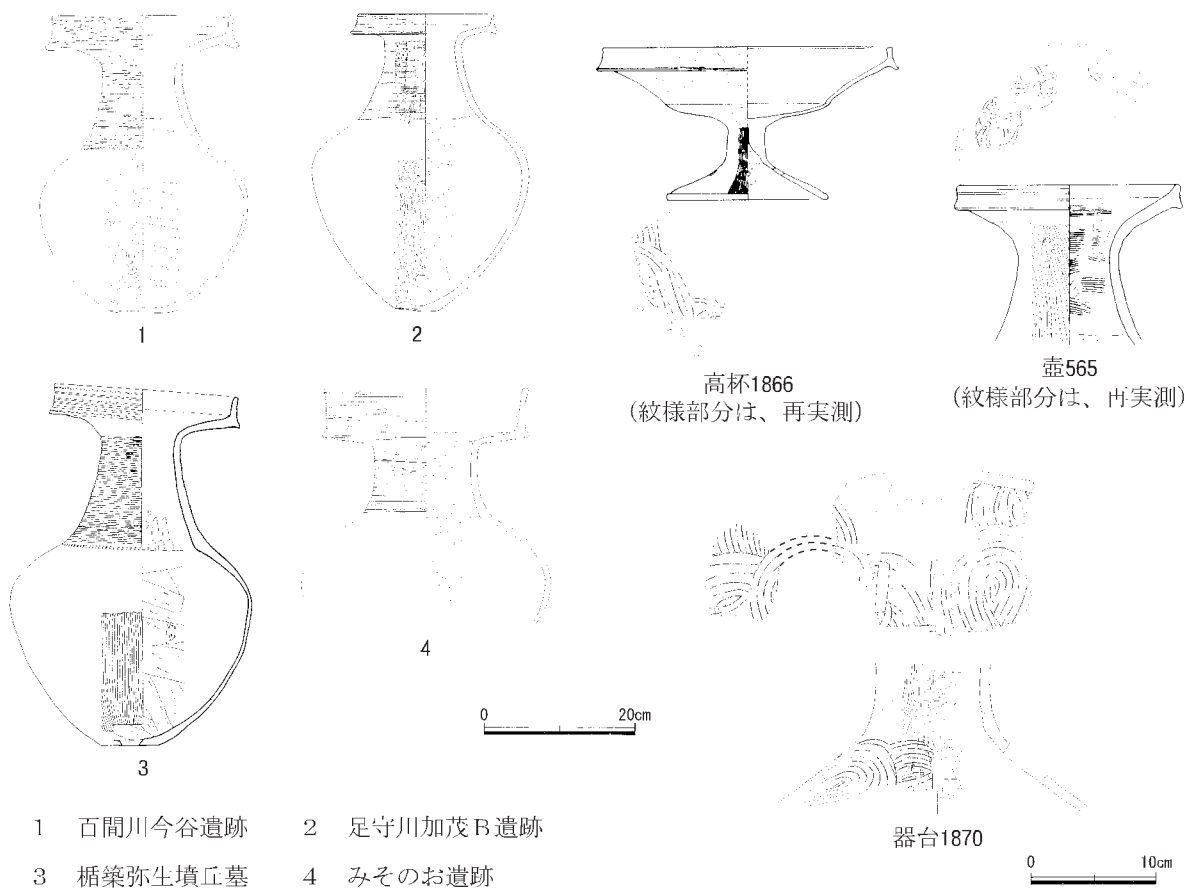
これらの長頸壺のうち、楯築長頸壺がこの特異な長頸壺の性格を考える上で重要な存在である。口縁部が欠損しているが、楯築長頸壺と同様のものと考えられる長頸壺が楯築弥生墳丘墓の南西突出部でも出土しており、南西突出部に埋葬された人物の祭祀には「特殊器台と特殊壺」という組み合わせではなく、「装飾器台と、特殊壺または長頸壺」が用いられていたという。近藤義郎氏はこのような出土状況から、装飾器台は特殊器台の格下の代用品と位置づけ、また、装飾器台や長頸壺が特殊器台や特殊壺を補っているとしている⁽³⁾。このことから、一般的とは異なるこの長頸壺は、特殊壺よりも格下の壺でありながらも、特殊壺の口縁部を写したその器形と、その胎土が「特殊」であることから、一般的な長頸壺とは隔絶されるもので、特殊器台・特殊壺と同様に、楯築弥生墳丘墓における葬送儀礼に伴って特別に作られた壺であることが考えられる。

みそのお長頸壺が供献された、42号墳墓第1主体と同時期のものとして報告されている41号墓第1主体部からは特殊壺が出土しており、報告の中ではみそのお長頸壺と特殊壺の突帯の有無は同時期の中の細かい時期差をあらわしているとされている。しかし、これは特殊壺と長頸壺という器種の違いであり、楯築弥生墳丘墓の特殊壺と長頸壺の関係のように、葬送儀礼に伴う祭祀の格の差であると考えたい。通常、後Ⅳ期には長頸壺は出土しなくなるが、葬送儀礼のための土器として残ったものであると

考えられるのではないだろうか。

では、集落遺跡から出土したこれらの特異な長頸壺はどのような存在であったのか。出土状況をみると、加茂B長頸壺の出土状況は、共伴遺物が後期前半～末までのものを含んでおり、どのような状況で捨てられたものかは判然としない。加茂B長頸壺が出土した足守川中～下流域の地域には、立坂型の特殊器台が集中して出土している点や、足守川加茂B遺跡が楯築弥生墳丘墓の北側に位置していることなどから、このような長頸壺が集落内に廃棄されていることには、不自然さを感じない。今谷4長頸壺の出土状況は、井戸4の上層、主に第3層までにかたまって土器を検出しており、今谷4長頸壺の他、掲載番号137～151の14点を図化しているが、このなかで完形に近い状態のものは、5点あった（掲載番号138・140・146・147・151）。時期は、百・後・Ⅲの新相とまとまっている。これらの土器は井戸が廃絶したのちに窪地となった部分を利用して、廃棄されたと考えられる。この状況は、何らかの集落内での祭祀において、今谷4長頸壺が使用された可能性が考えられる。そして、その祭祀が葬送儀礼に伴うものではないことは明らかであり、このことは、楯築長頸壺やみそのお長頸壺が持つ、葬送儀礼用の土器という性格が変容していると理解されるのである。

今谷遺跡出土の特殊器台関連遺物について 百間川今谷遺跡が所在する旭東平野では、弥生墳丘墓の存在自体が稀薄であり、唐人塚東弥生墳丘墓⁽⁶⁾の存在が、分布調査によってわずか1基のみ知られている状況や、特殊器台・特殊壺自体の出土例自体も包含層出土の百間川米田遺跡⁽⁷⁾や、備前国府推定地（南国長）遺跡⁽⁸⁾の土壇（墓？）から出土している例が知られているのみである。だが、少数ながらも出土している事実から、特殊器台・特殊壺をもちいた葬送儀礼に伴う祭祀を行っていた地



- 1 百間川今谷遺跡
- 2 足守川加茂B遺跡
- 3 楯築弥生墳丘墓
- 4 みそのお遺跡

第293図 類例と関連遺物 (1/10・1/6)

域であることが理解できる。そのような地域のなかで、百間川今谷遺跡では今谷4長頸壺以外にも、特殊器台・特殊壺と関連する遺物が出土している。いわゆる弧帯文を施した土器である。大地調査区で検出された土器溜まり-1⁽⁹⁾出土の高杯1866と器台1870⁽¹⁰⁾、包含層出土の壺565⁽¹¹⁾の3点で、これらの文様についてはその特殊性からいくつかの考察がなされている⁽¹²⁾。それら考察のなかで、特殊器台・特殊壺を用いた祭祀との強い関連性が示唆されており、このことから百間川今谷遺跡の弥生時代後期後半の集落が、吉備中枢部ともいえる足守川中～下流域との強い結びつきがみられる地域であることをうかがわせる資料である。

特殊器台・特殊壺と関連性の強い遺物が、旭東平野のなかで百間川今谷遺跡に集中的に出土していることは、この遺跡が旭東平野に存在した集落の中でも特に吉備中枢域との強い結びつきを保っていたと考えられる。その強い関連性を持つ集落において見られる今谷4長頸壺の出土状況には、吉備中枢部で葬送儀礼のための特別な土器を変容して独自性の高い集落内祭祀を行うという、百間川今谷遺跡の特異性がうかがえるのである。(團)

註

- (1) 白石純 「百間川今谷遺跡出土土器の胎土分析」 本報告書に掲載
- (2) 島崎東ほか 「足守川加茂A遺跡 足守川加茂B遺跡 足守川矢部南向遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』94 岡山県教育委員会 1995
- (3) 近藤義郎『楯築弥生墳丘墓の研究』楯築刊行会 1992年
- (4) 清水芳裕 「楯築弥生墳丘墓出土の特殊壺・特殊器台等の胎土分析」『楯築弥生墳丘墓の研究』楯築刊行会 1992年
- (5) 椿真治ほか 「みそのお遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』87 岡山県教育委員会 1993
- (6) 宇垣匡雅 「特殊器台・特殊壺」『吉備の考古学的研究』(下) 山陽新聞社 1992
ただし、2003年に発行された『改訂岡山県遺跡地図』岡山県教育委員会 には、古墳と記述されている。
- (7) 物部茂樹ほか 「百間川米田遺跡4」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』164 岡山県教育委員会 2002
- (8) 河田健司 「備前国府推定地(南国長)遺跡」『岡山市埋蔵文化財発掘調査の概要1996(平成8)年度』岡山市教育委員会 1998
- (9) 高畑知功 「百間川兼基遺跡1・今谷遺跡1」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』51 岡山県教育委員会 1982
- (10) 本報告書「遺構に伴わない遺物」に、再実測図を掲載
- (11) 平井勝ほか 「百間川兼基遺跡2 百間川今谷遺跡2」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』114 岡山県教育委員会 1996
- (12) 宇垣匡雅 「特殊器台形土器・特殊壺形土器に関する型式学的研究」『考古学研究』第27巻第4号 考古学研究会 1981
渡邊恵里子 「弧帯文土器について」 「下庄遺跡 上東遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』157 岡山県教育委員会 2001
草原孝典 「立坂型紋様と向木見型紋様」『長坂古墳群』岡山市教育委員会 1999

付載1 百間川今谷遺跡出土ガラス滓

(株) ニコン 木戸 一博

1 資料及び実体顕微鏡観察結果

資料は岡山県岡山市百間川今谷遺跡の土壌5から出土したガラス滓である。出土した資料総数は234点、合計で59gのガラス滓が出土している。同時に出土した土器の特徴より、埋入時期は弥生時代中期中葉と推定される。

資料1の外観は、光沢のある灰色、薄茶色の多孔質焼結体に見える。局所的に光沢のある黒色部分、ガラス状の白色部分も認められる。破断すると、断面には緑色部分が認められる。

資料2の外観は、光沢のある灰色、茶色の多孔質焼結体に見える。局所的に赤色部分もある。破断すると、断面には緑色、白色、赤色部分が認められる。

資料3の外観は、光沢のある灰色、茶色の多孔質焼結体に見える。局所的に白色部分もある。破断すると、断面には緑色のガラス状部分が認められる。

資料4の外観は、光沢のある灰色、茶色の多孔質焼結体に見える。局所的に緑色、白色部分及び金属光沢のある赤色部分も認められる。破断すると、断面には緑色、茶色のガラス状部分が認められる。

資料1～4は全て茶色系の多孔質焼結体であり、過去に出土している百間川兼基遺跡、百間川原尾島遺跡、百間川今谷遺跡、鹿田遺跡、津寺遺跡、津島遺跡(W区、No41井戸)、津島遺跡(3区10Q、土壌10)、津島遺跡(O区南部、土壌7)及び伊福定国前遺跡出土のガラス滓における焼結体部位と同類と思われる^{1)~10)}。

2 分析結果

資料をエネルギー分散型X線分析装置(日立製作所/堀場製作所 SEMEDX TypeN)により分析した。分析は二階堂秀夫及び岩谷博士氏(株式会社ニコン ビジネススタッフセンター 品質・環境管理部 商品技術試験所 分析試験室)に依頼した。

分析結果を表1に示す。本分析法では、資料表面下数 μm までの組成を半定量分析する。しかし、試料が埋蔵中に水と接触してアルカリ金属元素等の可溶成分が溶出し、表面組成は内部組成とは異なっている可能性がある。そこで、資料全体の組成を把握するため、資料を粉碎してペレット状の分析試料を調整し、平均化した全体組成の分析を実施した。

また、実体顕微鏡観察で認められた特異部分については、粉碎前に局所的な組成分析を実施している。観察、分析の結果は、添付資料に記載した。

全ての分析は近接した3部位を分析し、その平均値と標準偏差を示した。

3 考察

まず、各資料の特異部分について確認する。添付資料に示したように、資料1～4の黒色、緑色、白色の組成は、 SiO_2 、 Na_2O 、 Al_2O_3 の含有量に差が認められるものの、各資料の全体組成に近いことがわかる。白色部分には Al_2O_3 の含有量が少なく、 SiO_2 を多く含む傾向が認められている。しかし、資料2と資料4に認められる赤色部分は明らかに Fe_2O_3 の含有量が高く、これが発色の原因と推測される。確認のため、資料4の赤色部分についてX線光電子分光分析(KRATOS AXIS-NOVA)を実施したところ、Feの殆どは3価で存在していた。ただし、これらの特異部分は体積的に少なく、ペレット化して分析した全体組成に影響を与える影響は小さいと考えられる。

今回分析した資料の全体組成(資料1～4の平均)と、既に分析されている百間川兼基遺跡、百間川原尾島遺跡、百間川今谷遺跡、鹿田遺跡、津寺遺跡、津島遺跡(W区、No41井戸)、津島遺跡(3区10Q、土壙10)、津島遺跡(O区南部、土壙7)及び伊福定国前遺跡出土のガラス滓組成を比較し、表2に示す。ガラス滓毎及び部位毎の組成バラツキを考慮すると、他の遺跡出土のガラス滓と顕著な差は認められない。

参考

- 1) 三浦定俊、荻谷道郎 岡山大学構内遺跡発掘報告第3冊 鹿田遺跡 I、p463
- 2) 荻谷道郎 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 104 津寺遺跡 3、p301 (1996)
- 3) 荻谷道郎 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 88 百間川原尾島遺跡 3、p316 (1994)
- 4) 荻谷道郎 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 97 百間川原尾島遺跡 4、p283 (1995)
- 5) 荻谷道郎 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 106 百間川原尾島遺跡 5、p238 (1996)
- 6) 荻谷道郎 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 145 津島遺跡、p19 (1999)
- 7) 木戸一博 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 173 津島遺跡 4、p637 (2003)
- 8) 木戸一博 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 188 伊福定国前遺跡 2、p219 (2005)
- 9) 木戸一博 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 190 津島遺跡 6、p174 (2005)
- 10) 木戸一博 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 208 百間川兼基遺跡 4、p290 (2007)





表1 百間川今谷遺跡出土ガラス滓の組成分析結果

試料		ガラス滓1	ガラス滓2	ガラス滓3	ガラス滓4
重量 (mg)		53	1009	820	604
成分 (重量%)	SiO ₂	61.5±0.2	62.1±0.1	63.5±1.2	63.2±0.9
	Na ₂ O	13.5±0.3	13.4±0.1	13.5±0.2	11.9±0.4
	K ₂ O	1.1±0.0	1.0±0.0	1.1±0.1	1.1±0.1
	MgO	3.9±0.1	4.4±0.1	4.1±0.3	4.5±0.1
	CaO	2.0±0.1	2.4±0.1	2.4±0.4	2.1±0.2
	Al ₂ O ₃	11.9±0.2	10.9±0.3	9.7±0.7	11.3±0.5
	TiO ₂	0.6±0.1	0.6±0.1	0.5±0.1	0.4±0.1
	Fe ₂ O ₃	4.5±0.3	4.4±0.1	3.7±0.2	4.8±0.6
	Cl	1.0±0.1	0.8±0.0	1.5±0.1	0.7±0.1

表2 百間川今谷遺跡出土ガラス滓の組成分析結果と他の遺跡出土ガラス滓平均組成¹⁰⁾の比較

試料	ガラス滓 1～4平均	百間川 兼基 遺跡	百間川 原尾島 遺跡	百間川 今谷 遺跡	鹿田 遺跡	津寺 遺跡	伊福 定国前 遺跡	津島遺跡 (W区 No41 井戸)	津島遺跡 (3区 10Q 土壙10)	津島遺跡 (O区 南部 土壙7)
	成分 (重量%)									
SiO ₂	62.6	58.0	50.6	62.6	60.7	54.1	62.4	60.0	58.3	58.0
Na ₂ O	13.1	5.0	2.5	11.5	9.4	1.9	6.6	7.7	6.3	1.8
K ₂ O	1.1	1.6	1.5	1.3	2.0	1.9	1.7	2.3	1.5	1.5
MgO	4.2	2.6	3.3	4.9	5.7	5.2	3.6	3.9	3.3	0.8
CaO	2.2	2.4	2.3	2.6	3.6	5.3	2.4	2.2	3.0	4.5
Al ₂ O ₃	11.0	12.4	20.8	9.5	9.7	27.1	14.3	12.1	18.9	25.6
TiO ₂	0.5	0.6					0.5	0.8	0.8	1.1
Fe ₂ O ₃	4.4	15.1	14.7	4.2	5.1	5.9	6.7	9.7	7.8	6.7
P ₂ O ₅		0.8					1.2	0.8	0.2	
S								0.5		
Cl	1.0	0.3					0.3	1.3		
MnO		1.2					0.3	0.5		

添付資料 百間川今谷遺跡 (土壙5) ガラス滓 (1)

ガラス番号		1			2										
全体写真															
時期	弥生時代中期中葉														
重量	53mg														
備考	外観は、光沢のある灰色、薄茶色の多孔質母体に見える。断片的に光沢のある黒色部分、ガラス状の白色部分が認められる。破断すると、断面には緑色、白色、赤色部分が認められる。														
顕微鏡写真 (○は分析部位)															
分析部位 (各3部測定)	全体組成 (ppm, ベットト化)			全体組成 (ppm, ベットト化)			表面白色部分			表面白色部分					
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3			
SiO ₂	61.3	61.7	61.4	66.4	70.7	69.4	62.2	62.0	62.0	64.2	68.9	64.0	72.6	76.4	89.2
Na ₂ O	13.4	13.8	13.3	11.1	10.6	11.5	13.4	13.3	13.5	15.6	13.3	11.3	11.3	8.5	4.4
K ₂ O	1.1	1.1	1.1	1.8	1.6	1.7	1.0	1.0	1.0	0.8	0.7	1.1	0.8	0.6	0.2
MgO	3.9	3.9	3.8	2.7	4.2	3.4	4.5	4.3	4.3	5.1	4.0	2.9	6.3	1.7	1.8
CaO	2.1	1.9	2.1	0.4	0.6	0.4	2.5	2.5	2.3	1.3	1.3	1.3	2.3	2.5	0.8
Al ₂ O ₃	12.1	11.9	11.8	10.0	5.1	7.2	10.6	10.9	11.1	10.9	9.4	15.7	2.6	4.4	1.6
TiO ₂	0.6	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.7	0.6	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7
Fe ₂ O ₃	4.5	4.2	4.8	4.9	6.9	5.9	4.4	4.5	4.4	1.5	1.9	2.1	3.1	5.1	1.8
P ₂ O ₅	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Cl	1.0	1.0	1.1	0.4	0.5	0.6	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.8	1.0	0.9	0.3
	平均	標準偏差		平均	標準偏差		平均	標準偏差		平均	標準偏差		平均	標準偏差	
SiO ₂	61.5	0.2		69.6	1.0		62.1	0.1		65.7	2.7		79.4	8.7	
Na ₂ O	13.5	0.3		11.1	0.4		13.4	0.1		13.4	2.1		8.1	3.5	
K ₂ O	1.1	0.0		1.7	0.1		1.0	0.0		0.8	0.2		0.5	0.3	
MgO	3.9	0.1		3.4	0.7		4.4	0.1		4.0	1.1		3.2	2.7	
CaO	2.0	0.1		0.5	0.1		2.4	0.1		1.3	0.0		1.9	0.9	
Al ₂ O ₃	11.9	0.2		7.4	2.5		10.9	0.3		12.0	3.3		2.9	1.4	
TiO ₂	0.6	0.1		0.0	0.0		0.6	0.1		0.2	0.4		0.0	0.0	
Fe ₂ O ₃	4.5	0.3		5.9	1.0		4.4	0.1		1.8	0.3		3.3	1.7	
P ₂ O ₅	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
Cl	1.0	0.1		0.5	0.1		0.8	0.0		0.7	0.1		0.7	0.4	
	平均	標準偏差		平均	標準偏差		平均	標準偏差		平均	標準偏差		平均	標準偏差	
SiO ₂	61.5	0.2		70.0	3.2		62.1	0.1		65.7	2.7		79.4	8.7	
Na ₂ O	13.5	0.3		6.9	1.5		13.4	0.1		13.4	2.1		8.1	3.5	
K ₂ O	1.1	0.0		1.5	0.3		1.0	0.0		0.8	0.2		0.5	0.3	
MgO	3.9	0.1		7.3	2.9		4.4	0.1		4.0	1.1		3.2	2.7	
CaO	2.0	0.1		2.7	2.9		2.4	0.1		1.3	0.0		1.9	0.9	
Al ₂ O ₃	11.9	0.2		3.8	3.4		10.9	0.3		12.0	3.3		2.9	1.4	
TiO ₂	0.6	0.1		0.0	0.0		0.6	0.1		0.2	0.4		0.0	0.0	
Fe ₂ O ₃	4.5	0.3		7.1	2.2		4.4	0.1		1.8	0.3		3.3	1.7	
P ₂ O ₅	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
Cl	1.0	0.1		0.6	0.2		0.8	0.0		0.7	0.1		0.7	0.4	

添付資料 百間川今谷遺跡 (土壌5) ガラス滓 (2)

ガラス滓番号	3	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
全体写真																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
時期	弥生時代中期中葉	弥生時代中期中葉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
重量	820mg	604mg																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
備考	外観は、光沢のある灰色、茶色の多孔質結晶体に見える。局所的に白色部分もある。破断すると、断面には緑色のガラス状部分が認められる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
顕微鏡写真 (○は分析部位)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
分析部位 (各3部測定)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">全体組成 (物種、ベレット化)</th> <th colspan="3">断面白色部分</th> <th colspan="3">断面緑色部分</th> </tr> <tr> <th>1</th><th>2</th><th>3</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SiO₂</td> <td>62.2</td><td>63.8</td><td>64.5</td> <td>66.6</td><td>66.6</td><td>67.3</td> <td>59.2</td><td>65.8</td><td>63.7</td> </tr> <tr> <td>Na₂O</td> <td>13.5</td><td>13.3</td><td>13.7</td> <td>10.2</td><td>14.5</td><td>13.1</td> <td>1.4</td><td>1.0</td><td>1.3</td> </tr> <tr> <td>K₂O</td> <td>1.1</td><td>1.2</td><td>1.1</td> <td>1.4</td><td>1.0</td><td>1.3</td> <td>0.9</td><td>1.0</td><td>1.0</td> </tr> <tr> <td>MgO</td> <td>4.4</td><td>3.9</td><td>4.1</td> <td>2.6</td><td>2.0</td><td>1.7</td> <td>2.5</td><td>3.3</td><td>3.9</td> </tr> <tr> <td>CaO</td> <td>2.8</td><td>2.1</td><td>2.2</td> <td>1.4</td><td>1.0</td><td>0.8</td> <td>1.6</td><td>1.6</td><td>1.7</td> </tr> <tr> <td>Al₂O₃</td> <td>10.2</td><td>10.0</td><td>8.9</td> <td>10.9</td><td>18.8</td><td>20.6</td> <td>4.7</td><td>6.7</td><td>8.9</td> </tr> <tr> <td>TiO₂</td> <td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.5</td> <td>0.0</td><td>0.6</td><td>0.0</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.4</td> </tr> <tr> <td>Fe₂O₃</td> <td>3.8</td><td>3.8</td><td>3.5</td> <td>5.6</td><td>3.5</td><td>2.3</td> <td>4.9</td><td>5.4</td><td>4.3</td> </tr> <tr> <td>P₂O₅</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td> </tr> <tr> <td>Cl</td> <td>1.6</td><td>1.4</td><td>1.5</td> <td>1.2</td><td>1.3</td><td>1.0</td> <td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> </tr> <tr> <td></td> <td>63.5</td> <td>1.2</td> <td>61.0</td> <td>5.0</td> <td>67.2</td> <td>2.2</td> <td>63.2</td> <td>0.9</td> <td>65.9</td> </tr> <tr> <td>SiO₂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>62.2</td> <td>63.8</td> <td>62.7</td> </tr> <tr> <td>Na₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.9</td> <td>11.5</td> <td>12.2</td> </tr> <tr> <td>K₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>MgO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.4</td> <td>4.4</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>CaO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.9</td> <td>2.2</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>Al₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.9</td> <td>10.9</td> <td>11.1</td> </tr> <tr> <td>TiO₂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>Fe₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5.2</td> <td>5.1</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>P₂O₅</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>Cl</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13.5</td> <td>0.2</td> <td>12.6</td> <td>2.2</td> <td>12.1</td> <td>0.6</td> <td>11.9</td> <td>0.4</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>Na₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>0.1</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>K₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>MgO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.8</td> <td>4.5</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>CaO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>Al₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>16.8</td> <td>5.2</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>TiO₂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>Fe₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.9</td> <td>4.8</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>P₂O₅</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>Cl</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.5</td> <td>0.1</td> <td>1.2</td> <td>0.1</td> <td>0.6</td> <td>0.0</td> <td>0.7</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table>	全体組成 (物種、ベレット化)			断面白色部分			断面緑色部分			1	2	3	1	2	3	1	2	3	SiO ₂	62.2	63.8	64.5	66.6	66.6	67.3	59.2	65.8	63.7	Na ₂ O	13.5	13.3	13.7	10.2	14.5	13.1	1.4	1.0	1.3	K ₂ O	1.1	1.2	1.1	1.4	1.0	1.3	0.9	1.0	1.0	MgO	4.4	3.9	4.1	2.6	2.0	1.7	2.5	3.3	3.9	CaO	2.8	2.1	2.2	1.4	1.0	0.8	1.6	1.6	1.7	Al ₂ O ₃	10.2	10.0	8.9	10.9	18.8	20.6	4.7	6.7	8.9	TiO ₂	0.4	0.5	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	Fe ₂ O ₃	3.8	3.8	3.5	5.6	3.5	2.3	4.9	5.4	4.3	P ₂ O ₅	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	Cl	1.6	1.4	1.5	1.2	1.3	1.0	0.6	0.6	0.7		平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差		63.5	1.2	61.0	5.0	67.2	2.2	63.2	0.9	65.9	SiO ₂							62.2	63.8	62.7	Na ₂ O							11.9	11.5	12.2	K ₂ O							1.0	1.0	1.0	MgO							4.4	4.4	4.6	CaO							1.9	2.2	2.1	Al ₂ O ₃							10.9	10.9	11.1	TiO ₂							0.5	0.4	0.4	Fe ₂ O ₃							5.2	5.1	4.2	P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0	Cl							0.8	0.7	0.7		平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差		13.5	0.2	12.6	2.2	12.1	0.6	11.9	0.4	11.5	Na ₂ O							1.0	0.1	1.0	K ₂ O							0.1	0.1	0.1	MgO							2.8	4.5	4.4	CaO							0.0	0.2	0.2	Al ₂ O ₃							16.8	5.2	2.1	TiO ₂							0.0	0.4	0.1	Fe ₂ O ₃							4.9	4.8	0.6	P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0	Cl							0.6	0.7	0.6		1.5	0.1	1.2	0.1	0.6	0.0	0.7	0.1	0.1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">全体組成 (物種、ベレット化)</th> <th colspan="3">断面白色部分</th> <th colspan="3">断面緑色部分</th> </tr> <tr> <th>1</th><th>2</th><th>3</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SiO₂</td> <td>62.2</td><td>63.8</td><td>64.5</td> <td>66.0</td><td>69.6</td><td>65.8</td> <td>65.3</td><td>65.8</td><td>63.7</td> </tr> <tr> <td>Na₂O</td> <td>13.5</td><td>13.3</td><td>13.7</td> <td>11.8</td><td>11.6</td><td>12.8</td> <td>9.3</td><td>8.7</td><td>9.3</td> </tr> <tr> <td>K₂O</td> <td>1.1</td><td>1.2</td><td>1.1</td> <td>0.9</td><td>1.0</td><td>1.0</td> <td>1.6</td><td>1.8</td><td>1.7</td> </tr> <tr> <td>MgO</td> <td>4.4</td><td>3.9</td><td>4.1</td> <td>3.3</td><td>3.9</td><td>4.4</td> <td>3.7</td><td>4.2</td><td>3.7</td> </tr> <tr> <td>CaO</td> <td>2.8</td><td>2.1</td><td>2.2</td> <td>1.6</td><td>1.6</td><td>1.7</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.6</td> </tr> <tr> <td>Al₂O₃</td> <td>10.2</td><td>10.0</td><td>8.9</td> <td>10.9</td><td>18.8</td><td>20.6</td> <td>4.7</td><td>6.7</td><td>8.9</td> </tr> <tr> <td>TiO₂</td> <td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.5</td> <td>0.0</td><td>0.6</td><td>0.0</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.4</td> </tr> <tr> <td>Fe₂O₃</td> <td>3.8</td><td>3.8</td><td>3.5</td> <td>5.6</td><td>3.5</td><td>2.3</td> <td>4.9</td><td>5.4</td><td>4.3</td> </tr> <tr> <td>P₂O₅</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td> </tr> <tr> <td>Cl</td> <td>1.6</td><td>1.4</td><td>1.5</td> <td>1.2</td><td>1.3</td><td>1.0</td> <td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> </tr> <tr> <td></td> <td>63.5</td> <td>1.2</td> <td>61.0</td> <td>5.0</td> <td>67.2</td> <td>2.2</td> <td>63.2</td> <td>0.9</td> <td>65.9</td> </tr> <tr> <td>SiO₂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>62.2</td> <td>63.8</td> <td>62.7</td> </tr> <tr> <td>Na₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.9</td> <td>11.5</td> <td>12.2</td> </tr> <tr> <td>K₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>MgO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.4</td> <td>4.4</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>CaO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.9</td> <td>2.2</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>Al₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.9</td> <td>10.9</td> <td>11.1</td> </tr> <tr> <td>TiO₂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>Fe₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5.2</td> <td>5.1</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>P₂O₅</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>Cl</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13.5</td> <td>0.2</td> <td>12.6</td> <td>2.2</td> <td>12.1</td> <td>0.6</td> <td>11.9</td> <td>0.4</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>Na₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>0.1</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>K₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>MgO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.8</td> <td>4.5</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>CaO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>Al₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>16.8</td> <td>5.2</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>TiO₂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>Fe₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.9</td> <td>4.8</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>P₂O₅</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>Cl</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.5</td> <td>0.1</td> <td>1.2</td> <td>0.1</td> <td>0.6</td> <td>0.0</td> <td>0.7</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table>	全体組成 (物種、ベレット化)			断面白色部分			断面緑色部分			1	2	3	1	2	3	1	2	3	SiO ₂	62.2	63.8	64.5	66.0	69.6	65.8	65.3	65.8	63.7	Na ₂ O	13.5	13.3	13.7	11.8	11.6	12.8	9.3	8.7	9.3	K ₂ O	1.1	1.2	1.1	0.9	1.0	1.0	1.6	1.8	1.7	MgO	4.4	3.9	4.1	3.3	3.9	4.4	3.7	4.2	3.7	CaO	2.8	2.1	2.2	1.6	1.6	1.7	1.0	1.0	1.6	Al ₂ O ₃	10.2	10.0	8.9	10.9	18.8	20.6	4.7	6.7	8.9	TiO ₂	0.4	0.5	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	Fe ₂ O ₃	3.8	3.8	3.5	5.6	3.5	2.3	4.9	5.4	4.3	P ₂ O ₅	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	Cl	1.6	1.4	1.5	1.2	1.3	1.0	0.6	0.6	0.7		平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差		63.5	1.2	61.0	5.0	67.2	2.2	63.2	0.9	65.9	SiO ₂							62.2	63.8	62.7	Na ₂ O							11.9	11.5	12.2	K ₂ O							1.0	1.0	1.0	MgO							4.4	4.4	4.6	CaO							1.9	2.2	2.1	Al ₂ O ₃							10.9	10.9	11.1	TiO ₂							0.5	0.4	0.4	Fe ₂ O ₃							5.2	5.1	4.2	P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0	Cl							0.8	0.7	0.7		平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差		13.5	0.2	12.6	2.2	12.1	0.6	11.9	0.4	11.5	Na ₂ O							1.0	0.1	1.0	K ₂ O							0.1	0.1	0.1	MgO							2.8	4.5	4.4	CaO							0.0	0.2	0.2	Al ₂ O ₃							16.8	5.2	2.1	TiO ₂							0.0	0.4	0.1	Fe ₂ O ₃							4.9	4.8	0.6	P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0	Cl							0.6	0.7	0.6		1.5	0.1	1.2	0.1	0.6	0.0	0.7	0.1	0.1
	全体組成 (物種、ベレット化)			断面白色部分			断面緑色部分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1	2	3	1	2	3	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
SiO ₂	62.2	63.8	64.5	66.6	66.6	67.3	59.2	65.8	63.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Na ₂ O	13.5	13.3	13.7	10.2	14.5	13.1	1.4	1.0	1.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
K ₂ O	1.1	1.2	1.1	1.4	1.0	1.3	0.9	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
MgO	4.4	3.9	4.1	2.6	2.0	1.7	2.5	3.3	3.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
CaO	2.8	2.1	2.2	1.4	1.0	0.8	1.6	1.6	1.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Al ₂ O ₃	10.2	10.0	8.9	10.9	18.8	20.6	4.7	6.7	8.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
TiO ₂	0.4	0.5	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Fe ₂ O ₃	3.8	3.8	3.5	5.6	3.5	2.3	4.9	5.4	4.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
P ₂ O ₅	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Cl	1.6	1.4	1.5	1.2	1.3	1.0	0.6	0.6	0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	63.5	1.2	61.0	5.0	67.2	2.2	63.2	0.9	65.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
SiO ₂							62.2	63.8	62.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Na ₂ O							11.9	11.5	12.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
K ₂ O							1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
MgO							4.4	4.4	4.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
CaO							1.9	2.2	2.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Al ₂ O ₃							10.9	10.9	11.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
TiO ₂							0.5	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Fe ₂ O ₃							5.2	5.1	4.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Cl							0.8	0.7	0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	13.5	0.2	12.6	2.2	12.1	0.6	11.9	0.4	11.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Na ₂ O							1.0	0.1	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
K ₂ O							0.1	0.1	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
MgO							2.8	4.5	4.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
CaO							0.0	0.2	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Al ₂ O ₃							16.8	5.2	2.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
TiO ₂							0.0	0.4	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Fe ₂ O ₃							4.9	4.8	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Cl							0.6	0.7	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	1.5	0.1	1.2	0.1	0.6	0.0	0.7	0.1	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
全体組成 (物種、ベレット化)			断面白色部分			断面緑色部分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1	2	3	1	2	3	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
SiO ₂	62.2	63.8	64.5	66.0	69.6	65.8	65.3	65.8	63.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Na ₂ O	13.5	13.3	13.7	11.8	11.6	12.8	9.3	8.7	9.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
K ₂ O	1.1	1.2	1.1	0.9	1.0	1.0	1.6	1.8	1.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
MgO	4.4	3.9	4.1	3.3	3.9	4.4	3.7	4.2	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
CaO	2.8	2.1	2.2	1.6	1.6	1.7	1.0	1.0	1.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Al ₂ O ₃	10.2	10.0	8.9	10.9	18.8	20.6	4.7	6.7	8.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
TiO ₂	0.4	0.5	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Fe ₂ O ₃	3.8	3.8	3.5	5.6	3.5	2.3	4.9	5.4	4.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
P ₂ O ₅	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Cl	1.6	1.4	1.5	1.2	1.3	1.0	0.6	0.6	0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	63.5	1.2	61.0	5.0	67.2	2.2	63.2	0.9	65.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
SiO ₂							62.2	63.8	62.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Na ₂ O							11.9	11.5	12.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
K ₂ O							1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
MgO							4.4	4.4	4.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
CaO							1.9	2.2	2.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Al ₂ O ₃							10.9	10.9	11.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
TiO ₂							0.5	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Fe ₂ O ₃							5.2	5.1	4.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Cl							0.8	0.7	0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	13.5	0.2	12.6	2.2	12.1	0.6	11.9	0.4	11.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Na ₂ O							1.0	0.1	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
K ₂ O							0.1	0.1	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
MgO							2.8	4.5	4.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
CaO							0.0	0.2	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Al ₂ O ₃							16.8	5.2	2.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
TiO ₂							0.0	0.4	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Fe ₂ O ₃							4.9	4.8	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Cl							0.6	0.7	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	1.5	0.1	1.2	0.1	0.6	0.0	0.7	0.1	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
分析部位	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">全体組成 (物種、ベレット化)</th> <th colspan="3">断面白色部分</th> <th colspan="3">断面緑色部分</th> </tr> <tr> <th>1</th><th>2</th><th>3</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SiO₂</td> <td>62.2</td><td>63.8</td><td>64.5</td> <td>66.0</td><td>69.6</td><td>65.8</td> <td>65.3</td><td>65.8</td><td>63.7</td> </tr> <tr> <td>Na₂O</td> <td>13.5</td><td>13.3</td><td>13.7</td> <td>11.8</td><td>11.6</td><td>12.8</td> <td>9.3</td><td>8.7</td><td>9.3</td> </tr> <tr> <td>K₂O</td> <td>1.1</td><td>1.2</td><td>1.1</td> <td>0.9</td><td>1.0</td><td>1.0</td> <td>1.6</td><td>1.8</td><td>1.7</td> </tr> <tr> <td>MgO</td> <td>4.4</td><td>3.9</td><td>4.1</td> <td>3.3</td><td>3.9</td><td>4.4</td> <td>3.7</td><td>4.2</td><td>3.7</td> </tr> <tr> <td>CaO</td> <td>2.8</td><td>2.1</td><td>2.2</td> <td>1.6</td><td>1.6</td><td>1.7</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.6</td> </tr> <tr> <td>Al₂O₃</td> <td>10.2</td><td>10.0</td><td>8.9</td> <td>10.9</td><td>18.8</td><td>20.6</td> <td>4.7</td><td>6.7</td><td>8.9</td> </tr> <tr> <td>TiO₂</td> <td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.5</td> <td>0.0</td><td>0.6</td><td>0.0</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.4</td> </tr> <tr> <td>Fe₂O₃</td> <td>3.8</td><td>3.8</td><td>3.5</td> <td>5.6</td><td>3.5</td><td>2.3</td> <td>4.9</td><td>5.4</td><td>4.3</td> </tr> <tr> <td>P₂O₅</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td> </tr> <tr> <td>Cl</td> <td>1.6</td><td>1.4</td><td>1.5</td> <td>1.2</td><td>1.3</td><td>1.0</td> <td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> </tr> <tr> <td></td> <td>63.5</td> <td>1.2</td> <td>61.0</td> <td>5.0</td> <td>67.2</td> <td>2.2</td> <td>63.2</td> <td>0.9</td> <td>65.9</td> </tr> <tr> <td>SiO₂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>62.2</td> <td>63.8</td> <td>62.7</td> </tr> <tr> <td>Na₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.9</td> <td>11.5</td> <td>12.2</td> </tr> <tr> <td>K₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>MgO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.4</td> <td>4.4</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>CaO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.9</td> <td>2.2</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>Al₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.9</td> <td>10.9</td> <td>11.1</td> </tr> <tr> <td>TiO₂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>Fe₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5.2</td> <td>5.1</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>P₂O₅</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>Cl</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13.5</td> <td>0.2</td> <td>12.6</td> <td>2.2</td> <td>12.1</td> <td>0.6</td> <td>11.9</td> <td>0.4</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>Na₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>0.1</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>K₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>MgO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.8</td> <td>4.5</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>CaO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>Al₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>16.8</td> <td>5.2</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>TiO₂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>Fe₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.9</td> <td>4.8</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>P₂O₅</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>Cl</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.5</td> <td>0.1</td> <td>1.2</td> <td>0.1</td> <td>0.6</td> <td>0.0</td> <td>0.7</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table>	全体組成 (物種、ベレット化)			断面白色部分			断面緑色部分			1	2	3	1	2	3	1	2	3	SiO ₂	62.2	63.8	64.5	66.0	69.6	65.8	65.3	65.8	63.7	Na ₂ O	13.5	13.3	13.7	11.8	11.6	12.8	9.3	8.7	9.3	K ₂ O	1.1	1.2	1.1	0.9	1.0	1.0	1.6	1.8	1.7	MgO	4.4	3.9	4.1	3.3	3.9	4.4	3.7	4.2	3.7	CaO	2.8	2.1	2.2	1.6	1.6	1.7	1.0	1.0	1.6	Al ₂ O ₃	10.2	10.0	8.9	10.9	18.8	20.6	4.7	6.7	8.9	TiO ₂	0.4	0.5	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	Fe ₂ O ₃	3.8	3.8	3.5	5.6	3.5	2.3	4.9	5.4	4.3	P ₂ O ₅	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	Cl	1.6	1.4	1.5	1.2	1.3	1.0	0.6	0.6	0.7		平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差		63.5	1.2	61.0	5.0	67.2	2.2	63.2	0.9	65.9	SiO ₂							62.2	63.8	62.7	Na ₂ O							11.9	11.5	12.2	K ₂ O							1.0	1.0	1.0	MgO							4.4	4.4	4.6	CaO							1.9	2.2	2.1	Al ₂ O ₃							10.9	10.9	11.1	TiO ₂							0.5	0.4	0.4	Fe ₂ O ₃							5.2	5.1	4.2	P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0	Cl							0.8	0.7	0.7		平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差		13.5	0.2	12.6	2.2	12.1	0.6	11.9	0.4	11.5	Na ₂ O							1.0	0.1	1.0	K ₂ O							0.1	0.1	0.1	MgO							2.8	4.5	4.4	CaO							0.0	0.2	0.2	Al ₂ O ₃							16.8	5.2	2.1	TiO ₂							0.0	0.4	0.1	Fe ₂ O ₃							4.9	4.8	0.6	P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0	Cl							0.6	0.7	0.6		1.5	0.1	1.2	0.1	0.6	0.0	0.7	0.1	0.1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">全体組成 (物種、ベレット化)</th> <th colspan="3">断面白色部分</th> <th colspan="3">断面緑色部分</th> </tr> <tr> <th>1</th><th>2</th><th>3</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SiO₂</td> <td>62.2</td><td>63.8</td><td>64.5</td> <td>66.0</td><td>69.6</td><td>65.8</td> <td>65.3</td><td>65.8</td><td>63.7</td> </tr> <tr> <td>Na₂O</td> <td>13.5</td><td>13.3</td><td>13.7</td> <td>11.8</td><td>11.6</td><td>12.8</td> <td>9.3</td><td>8.7</td><td>9.3</td> </tr> <tr> <td>K₂O</td> <td>1.1</td><td>1.2</td><td>1.1</td> <td>0.9</td><td>1.0</td><td>1.0</td> <td>1.6</td><td>1.8</td><td>1.7</td> </tr> <tr> <td>MgO</td> <td>4.4</td><td>3.9</td><td>4.1</td> <td>3.3</td><td>3.9</td><td>4.4</td> <td>3.7</td><td>4.2</td><td>3.7</td> </tr> <tr> <td>CaO</td> <td>2.8</td><td>2.1</td><td>2.2</td> <td>1.6</td><td>1.6</td><td>1.7</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.6</td> </tr> <tr> <td>Al₂O₃</td> <td>10.2</td><td>10.0</td><td>8.9</td> <td>10.9</td><td>18.8</td><td>20.6</td> <td>4.7</td><td>6.7</td><td>8.9</td> </tr> <tr> <td>TiO₂</td> <td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.5</td> <td>0.0</td><td>0.6</td><td>0.0</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.4</td> </tr> <tr> <td>Fe₂O₃</td> <td>3.8</td><td>3.8</td><td>3.5</td> <td>5.6</td><td>3.5</td><td>2.3</td> <td>4.9</td><td>5.4</td><td>4.3</td> </tr> <tr> <td>P₂O₅</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td> </tr> <tr> <td>Cl</td> <td>1.6</td><td>1.4</td><td>1.5</td> <td>1.2</td><td>1.3</td><td>1.0</td> <td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> </tr> <tr> <td></td> <td>63.5</td> <td>1.2</td> <td>61.0</td> <td>5.0</td> <td>67.2</td> <td>2.2</td> <td>63.2</td> <td>0.9</td> <td>65.9</td> </tr> <tr> <td>SiO₂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>62.2</td> <td>63.8</td> <td>62.7</td> </tr> <tr> <td>Na₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.9</td> <td>11.5</td> <td>12.2</td> </tr> <tr> <td>K₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>MgO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.4</td> <td>4.4</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>CaO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.9</td> <td>2.2</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>Al₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.9</td> <td>10.9</td> <td>11.1</td> </tr> <tr> <td>TiO₂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>Fe₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5.2</td> <td>5.1</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>P₂O₅</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>Cl</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> <td>平均</td> <td>標準偏差</td> <td>標準偏差</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13.5</td> <td>0.2</td> <td>12.6</td> <td>2.2</td> <td>12.1</td> <td>0.6</td> <td>11.9</td> <td>0.4</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>Na₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>0.1</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>K₂O</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>MgO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.8</td> <td>4.5</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>CaO</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>Al₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>16.8</td> <td>5.2</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>TiO₂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>Fe₂O₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.9</td> <td>4.</td></tr></tbody></table>	全体組成 (物種、ベレット化)			断面白色部分			断面緑色部分			1	2	3	1	2	3	1	2	3	SiO ₂	62.2	63.8	64.5	66.0	69.6	65.8	65.3	65.8	63.7	Na ₂ O	13.5	13.3	13.7	11.8	11.6	12.8	9.3	8.7	9.3	K ₂ O	1.1	1.2	1.1	0.9	1.0	1.0	1.6	1.8	1.7	MgO	4.4	3.9	4.1	3.3	3.9	4.4	3.7	4.2	3.7	CaO	2.8	2.1	2.2	1.6	1.6	1.7	1.0	1.0	1.6	Al ₂ O ₃	10.2	10.0	8.9	10.9	18.8	20.6	4.7	6.7	8.9	TiO ₂	0.4	0.5	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	Fe ₂ O ₃	3.8	3.8	3.5	5.6	3.5	2.3	4.9	5.4	4.3	P ₂ O ₅	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	Cl	1.6	1.4	1.5	1.2	1.3	1.0	0.6	0.6	0.7		平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差		63.5	1.2	61.0	5.0	67.2	2.2	63.2	0.9	65.9	SiO ₂							62.2	63.8	62.7	Na ₂ O							11.9	11.5	12.2	K ₂ O							1.0	1.0	1.0	MgO							4.4	4.4	4.6	CaO							1.9	2.2	2.1	Al ₂ O ₃							10.9	10.9	11.1	TiO ₂							0.5	0.4	0.4	Fe ₂ O ₃							5.2	5.1	4.2	P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0	Cl							0.8	0.7	0.7		平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差		13.5	0.2	12.6	2.2	12.1	0.6	11.9	0.4	11.5	Na ₂ O							1.0	0.1	1.0	K ₂ O							0.1	0.1	0.1	MgO							2.8	4.5	4.4	CaO							0.0	0.2	0.2	Al ₂ O ₃							16.8	5.2	2.1	TiO ₂							0.0	0.4	0.1	Fe ₂ O ₃							4.9	4.																															
全体組成 (物種、ベレット化)			断面白色部分			断面緑色部分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1	2	3	1	2	3	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
SiO ₂	62.2	63.8	64.5	66.0	69.6	65.8	65.3	65.8	63.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Na ₂ O	13.5	13.3	13.7	11.8	11.6	12.8	9.3	8.7	9.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
K ₂ O	1.1	1.2	1.1	0.9	1.0	1.0	1.6	1.8	1.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
MgO	4.4	3.9	4.1	3.3	3.9	4.4	3.7	4.2	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
CaO	2.8	2.1	2.2	1.6	1.6	1.7	1.0	1.0	1.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Al ₂ O ₃	10.2	10.0	8.9	10.9	18.8	20.6	4.7	6.7	8.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
TiO ₂	0.4	0.5	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Fe ₂ O ₃	3.8	3.8	3.5	5.6	3.5	2.3	4.9	5.4	4.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
P ₂ O ₅	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Cl	1.6	1.4	1.5	1.2	1.3	1.0	0.6	0.6	0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	63.5	1.2	61.0	5.0	67.2	2.2	63.2	0.9	65.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
SiO ₂							62.2	63.8	62.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Na ₂ O							11.9	11.5	12.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
K ₂ O							1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
MgO							4.4	4.4	4.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
CaO							1.9	2.2	2.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Al ₂ O ₃							10.9	10.9	11.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
TiO ₂							0.5	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Fe ₂ O ₃							5.2	5.1	4.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Cl							0.8	0.7	0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	13.5	0.2	12.6	2.2	12.1	0.6	11.9	0.4	11.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Na ₂ O							1.0	0.1	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
K ₂ O							0.1	0.1	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
MgO							2.8	4.5	4.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
CaO							0.0	0.2	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Al ₂ O ₃							16.8	5.2	2.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
TiO ₂							0.0	0.4	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Fe ₂ O ₃							4.9	4.8	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Cl							0.6	0.7	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	1.5	0.1	1.2	0.1	0.6	0.0	0.7	0.1	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
全体組成 (物種、ベレット化)			断面白色部分			断面緑色部分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1	2	3	1	2	3	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
SiO ₂	62.2	63.8	64.5	66.0	69.6	65.8	65.3	65.8	63.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Na ₂ O	13.5	13.3	13.7	11.8	11.6	12.8	9.3	8.7	9.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
K ₂ O	1.1	1.2	1.1	0.9	1.0	1.0	1.6	1.8	1.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
MgO	4.4	3.9	4.1	3.3	3.9	4.4	3.7	4.2	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
CaO	2.8	2.1	2.2	1.6	1.6	1.7	1.0	1.0	1.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Al ₂ O ₃	10.2	10.0	8.9	10.9	18.8	20.6	4.7	6.7	8.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
TiO ₂	0.4	0.5	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Fe ₂ O ₃	3.8	3.8	3.5	5.6	3.5	2.3	4.9	5.4	4.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
P ₂ O ₅	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Cl	1.6	1.4	1.5	1.2	1.3	1.0	0.6	0.6	0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	63.5	1.2	61.0	5.0	67.2	2.2	63.2	0.9	65.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
SiO ₂							62.2	63.8	62.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Na ₂ O							11.9	11.5	12.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
K ₂ O							1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
MgO							4.4	4.4	4.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
CaO							1.9	2.2	2.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Al ₂ O ₃							10.9	10.9	11.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
TiO ₂							0.5	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Fe ₂ O ₃							5.2	5.1	4.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
P ₂ O ₅							0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Cl							0.8	0.7	0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差	平均	標準偏差	標準偏差																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	13.5	0.2	12.6	2.2	12.1	0.6	11.9	0.4	11.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Na ₂ O							1.0	0.1	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
K ₂ O							0.1	0.1	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
MgO							2.8	4.5	4.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
CaO							0.0	0.2	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Al ₂ O ₃							16.8	5.2	2.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
TiO ₂							0.0	0.4	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Fe ₂ O ₃							4.9	4.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

付載2 百間川今谷遺跡出土土器の胎土分析

岡山理科大学 白石 純

1. 分析目的

百間川今谷遺跡の弥生時代後期後半の井戸4からは、一括で廃棄された土器が出土している。この廃棄された土器のなかには、肉眼観察で特殊器台・壺に使用されている粘土で焼成された長頸壺（試料番号3、掲載番号139）がある⁽¹⁾。またこの壺と形態的に類似しているものが足守川加茂B遺跡、楯築弥生墳丘墓、などから出土している⁽¹⁾。

この自然科学的な胎土分析では、以下の3点について検討した。

- (1)長頸壺と他の同遺跡でみられる日常的な土器のあいだで胎土に違いがみられるか。
- (2)足守川加茂B遺跡（長頸壺）、百間川原尾島遺跡（日常的に使用されている胎土の土器）出土土器と比較し、胎土に類似や相違点があるかどうか。
- (3)百間川今谷遺跡および足守川加茂B遺跡出土の長頸壺が吉備地方の特殊器台・壺の胎土と比較し類似しているかどうか。

2. 分析方法と試料

分析方法は、蛍光X線分析と実体顕微鏡による胎土観察の2つの方法で胎土を検討した。

蛍光X線分析法では、胎土の成分(元素)量を測定し、その成分量から分析試料の違いについて調べた。測定した成分(元素)は、Si、Ti、Al、Fe、Mn、Mg、Ca、Na、K、Pの10成分である。測定装置はエネルギー分散型蛍光X線分析計(セイコーインスツルメンツ社製 SEA2010L)を使用した。分析試料は、乳鉢で粉末にしたものを加圧成型機で約15MPaの圧力をかけ、コイン状に成形したものを測定試料とした。従って、一部破壊分析である。

実体顕微鏡による胎土観察では、土器の胎土中に含まれる砂粒(岩石・鉱物)の種類、大きさ、含有量について調べた。なお、砂粒の含有量は、やや曖昧な表現であるが、非常に多い・多い・少ない・まれに、の4段階で表した。

分析試料は、第1表に示した16点である。内訳は壺4点、甕3点、鉢3点、高杯4点、直口壺2点である。

3. 分析結果

(1)蛍光X線分析結果について

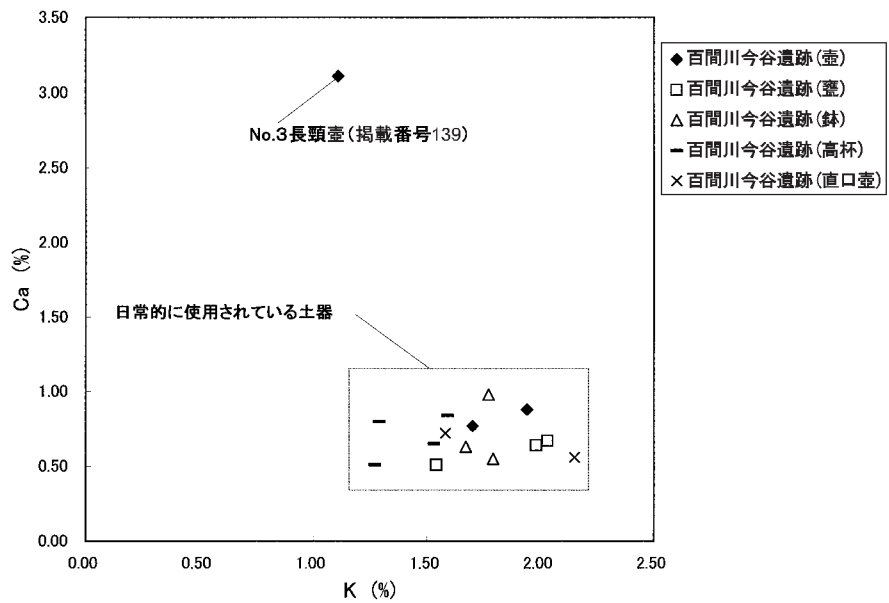
この分析では測定した10成分のうち、分析試料に顕著な差がみられたのは、Ca、Kの2成分であった。この2成分を用いて散布図を作成し、胎土の違いを検討した。

第1図K-Ca散布図では、百間川今谷遺跡の井戸4出土土器のあいだで胎土に違いがあるかどうか検討した。その結果、試料番号3(掲載番号139)はCa量が他の土器に比べ非常に多く含まれ、胎土が異なっていた。また、他の土器(壺・甕・鉢・高杯・直口壺)はほぼ1つにまとまり胎土差はみられなかった。

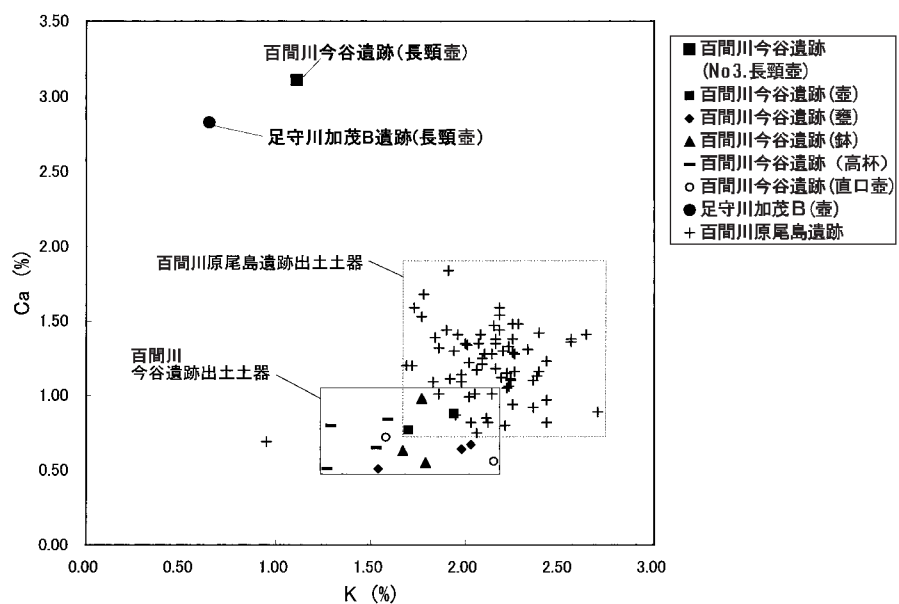
第2図K-Ca散布図では、百間川今谷遺跡のNo.3の長頸壺と非常に類似している足守川加茂B遺跡出土の長頸壺(土壙33)および百間川原尾島遺跡出土の日常的に使用されている土器と比較した散布図である。この散布図から足守川加茂B遺跡出土の長頸壺(土壙33)と、

百間川今谷遺跡出土の長頸壺(No.3)はCa量が多いところに分布し、百間川原尾島遺跡出土土器(日常的に使用されている)は百間川今谷遺跡の他の土器と胎土が類似していた。ただ、百間川原尾島遺跡と百間川今谷遺跡の日常的に使用されている土器はK量の違いで胎土が異なるようである。

第3図K-Ca散布図では、吉備地方の特殊器台・壺と比較した。その結果、百間川今谷遺跡の長頸壺No.3は、向木見型の分布域に、また足守川加茂B遺跡の長頸壺は立坂型の分布域に分布した。



第1図 百間川今谷遺跡井戸4出土土器の比較 (K-Ca散布図)



第2図 百間川今谷遺跡とその他出土土器の比較 (K-Ca散布図)

(2)実体顕微鏡観察結果について

果について

百間川今谷遺跡、足守川加茂B遺跡出土土器および特殊器台の表面の胎土観察を実施したところ以下のような結果となった。

- ・百間川今谷遺跡出土の壺・甕・鉢（第4図、写真1・2）
2mm以下の石英を多く含み、1mm以下の長石、黒雲母を少し含む。まれに花崗岩の岩石片を含む。

- ・百間川今谷遺跡出土の高杯・直口壺（第4図、写真3）

1mm以下の石英を少し含むが、非常に精製された粘土を使用しているため砂粒をほとんど含まない。また精製粘土のなかには0.3mm以下の火山ガラスが含まれている。

- ・百間川今谷遺跡出土の長頸壺、足守川矢部南向遺跡の特殊器台（第4図、写真4・6）

1mm以下の石英・長石・角閃石・黒雲母を含み、まれに花崗閃緑岩らしき岩石片もみられる。

- ・足守川加茂B遺跡出土長頸壺（第4図、写真5）

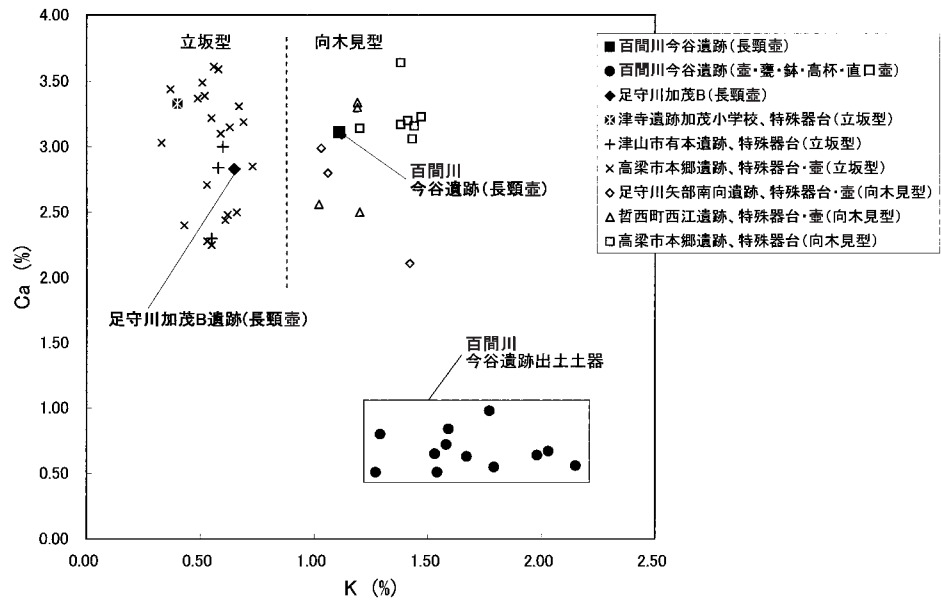
2mm以下の石英・長石・角閃石・黒雲母を多く含み、まれに花崗閃緑岩らしき岩石片もみられる。

以上の観察結果をまとめると、百間川今谷遺跡出土の日常的に使用されている土器には、花崗岩起源の砂粒が含まれている（第4図、写真1・2・3）。また百間川今谷遺跡No.3の長頸壺は足守川加茂B遺跡の長頸壺とは砂粒構成がよく類似していたが、砂粒（長石・角閃石・黒雲母）の大きさが異なっていた。そして百間川今谷遺跡の長頸壺は足守川矢部南向遺跡（特殊器台・壺）の胎土とよく類似していた。

4. まとめ

蛍光X線分析と実体顕微鏡観察による百間川今谷遺跡出土土器の胎土分析では、以下のことが推定された。

蛍光X線分析および実体顕微鏡観察の両結果とも百間川今谷遺跡出土のNo.3長頸壺は、他の土器と胎土が異なり特殊器台・壺の胎土と類似していた。この特殊器台・壺の胎土は、これまでの蛍光X線分析で立坂型と向木見型で胎土が異なっていることがわかっている⁽²⁾。そして、今回の分析では百



第3図 百間川今谷遺跡出土土器と県内出土特殊器台・壺の胎土比較 (K-Ca散布図)

間川今谷遺跡出土の長頸壺は向木見型に、足守川加茂B遺跡の長頸壺は立坂型に胎土が類似していることが推定された。

また実体顕微鏡による砂粒観察でも、百間川今谷遺跡出土（長頸壺）と足守川加茂B遺跡（長頸壺）のあいだで角閃石・黒雲母の大きさ、長石の混入量が異なっていた。これは立坂型と向木見型の特殊器台・壺の胎土観察では立坂型は向木見型に比べ、角閃石・黒雲母が大きく、不揃いで、長石の含有量が少ないことと齟齬はない⁽³⁾。

今回の胎土分析では百間川今谷遺跡出土長頸壺が、特殊器台・壺と胎土が類似していることが指摘できた。

この分析の機会を与えていただいた團 奈歩氏をはじめ、岡山県古代吉備文化財センターの職員の方々には、いろいろとお世話になった。末筆ではありますが記して感謝いたします。

註

- (1)分析試料の提供者による分類である。
 (2)本郷遺跡の特殊器台を分析したところ、立坂型と向木見型で胎土が異なることがわかっている(白石、森 1999)。
 (3)西谷2号墓・4号墓出土土器の実体顕微鏡による砂粒観察分析でも、立坂型は向木見型に比べ、角閃石・黒雲母が大きく、不揃いで、長石の含有量が少ないことが確認されている。

参考文献

- 白石純、森宏之 1999「陣山遺跡、本郷遺跡」『高梁市埋蔵文化財発掘調査報告第2集』岡山県高梁市教育委員会
 白石純 2006「西谷2号墓・4号墓出土土器の胎土分析」『西谷墳墓群 -平成14年～16年度発掘調査報告書-』島根県出雲市教育委員会

第1表 百間川今谷遺跡出土土器胎土分析試料一覧

単位：SiO₂～P₂O₅ (%)

試料番号	掲載番号	種類	出土遺構	時期	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	Fe ₂ O ₃	MnO	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	P ₂ O ₅
1	137	壺	井戸4	弥生後期後半	72.23	0.82	18.55	3.33	0.13	0.96	0.88	0.52	1.94	0.46
2	138	壺	井戸4	弥生後期後半	69.45	0.55	18.89	4.64	0.07	1.17	0.77	2.33	1.70	0.21
3	139	長頸壺	井戸4	弥生後期後半	56.99	1.03	22.06	10.64	0.25	1.92	3.11	1.38	1.11	1.19
4	140	甕	井戸4	弥生後期後半	68.40	0.71	19.88	5.22	0.08	1.28	0.67	1.10	2.03	0.33
5	142	甕	井戸4	弥生後期後半	68.72	0.68	18.64	3.12	0.05	1.49	0.64	2.36	1.98	1.81
6	141	甕	井戸4	弥生後期後半	64.46	0.69	19.23	2.87	0.08	2.55	0.51	6.65	1.54	1.22
7	147	鉢	井戸4	弥生後期後半	66.63	0.96	18.01	7.23	0.12	1.49	0.98	2.24	1.77	0.25
8	148	鉢	井戸4	弥生後期後半	68.95	0.61	18.57	4.73	0.15	1.35	0.63	2.47	1.67	0.64
9	149	鉢	井戸4	弥生後期後半	69.57	0.75	19.16	4.65	0.07	1.29	0.55	1.25	1.79	0.59
10	143	高杯	井戸4	弥生後期後半	58.56	0.76	19.61	9.06	0.09	2.45	0.51	6.77	1.27	0.63
11	144	高杯	井戸4	弥生後期後半	61.82	0.91	19.45	7.29	0.11	1.36	0.84	3.07	1.59	2.82
12	146	高杯	井戸4	弥生後期後半	62.00	0.99	19.48	10.72	0.13	1.46	0.65	2.30	1.53	0.53
13	151	直口壺	井戸4	弥生後期後半	64.58	0.75	20.54	7.87	0.10	1.23	0.56	1.72	2.15	0.22
14	150	直口壺	井戸4	弥生後期後半	62.84	0.97	19.62	10.52	0.12	1.30	0.72	1.85	1.58	0.32
15	145	高杯	井戸4	弥生後期後半	63.56	0.97	18.85	8.29	0.12	1.85	0.80	3.87	1.29	0.15
16	足守川加茂B 357	長頸壺	土壇33	弥生後期後半	52.60	1.21	22.24	12.84	0.32	2.19	2.83	2.77	0.65	1.95



写真 1. 百間川今谷遺跡 No2 (壺)



写真 2. 百間川今谷遺跡 No8 (甕)



写真 3. 百間川今谷遺跡 No11 (高杯)

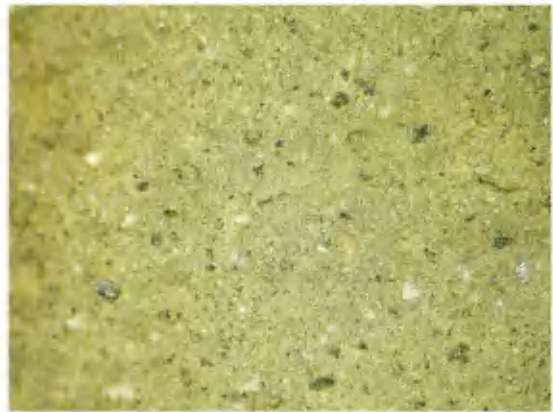


写真 4. 百間川今谷遺跡 No3 (長頸壺)



写真 5. 足守川加茂 B 遺跡 No16 (長頸壺)

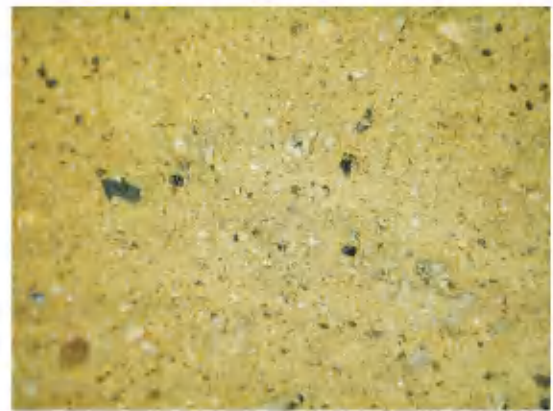
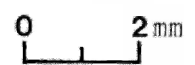


写真 6. 足守川矢部南向遺跡 (特殊器台)



第 4 図 今谷遺跡出土土器の実体顕微鏡写真

付載3 百間川今谷遺跡出土動物遺存体の分析

岡山理科大学 富岡直人

分析の経緯

旭川放水路（百間川）の改修に伴い、岡山県古代吉備文化財センターによって百間川今谷遺跡の調査が実施され、古墳時代前期～後期と近世に属する動物遺存体資料が出土した。これらは岡山県古代吉備文化財センターによって選別と保存処理が実施され、岡山理科大学富岡研究室に同定を含めた分析が依頼された。

動物遺存体の特徴

出土した動物遺存体27点全ては哺乳綱に属すると推定され、種が特定されたものも全て哺乳綱であった。第1表に本遺跡出土動物遺存体の種名リストを掲げる。多くが藍鉄鉱（ピビアナイト）を析出し脆弱になっていた。

古墳時代前～後期に属すると推定された資料の中に、当該期の例としては全国的にも貴重なウマが含まれていた。この時期のウマ資料は極めて重要であることから、混入の可能性を検証するために、同定された骨格の一部（動物遺存体番号9、遺物番号145）を岡山県古代吉備文化財センターへ返還し、放射性炭素年代測定法の実施を図り、Beta Analytic Incへ送付して頂いた。その結果、 $1480 \pm 40\text{BP}$, cal AD 440, 490, 520という数値が得られ、較正年代で5世紀中葉～6世紀前葉に属すると推定されることとなり、誤差を考慮しても古墳時代中期に属すると考えられよう。この様相は、共存遺物の状況と調和的である。

第1表 百間川今谷遺跡出土動物遺存体リスト

哺乳綱	Mammalia
ウマ目	Perissodactyla
ウマ科	Equidae
ウマ	<i>Equus caballus</i> Linnaeus
ウシ目（偶蹄目）	Artiodactyla
ウシ科	Bovidae
ウシ	<i>Bos taurus domesticus</i> Gmelin

古墳時代の動物遺存体

溝32の302W地区よりウマ遺存体出土した。出土地点は、第236図中に示した場所と考えられる。出土した溝は多量の土器と木製品も共存し、最も古いものとしては弥生時代後期の資料もみられる。調査者は、この遺構が掘削された時期を古墳時代前期と考えており、遺構内にそれ以降の遺物である古墳時代中～後期の資料が多量に含まれたものと推定されている。

先述の通り、このウマ資料は、層位と共存遺物から古墳時代前～後期に属すると推定され、放射性

炭素年代測定法より5世紀中葉～6世紀前葉（較正年代）に属すると考えられることとなった。考古学的時期区分では、古墳時代中期の所産といえる。

松井章（1991）は、大阪府・和歌山県・奈良県などの畿内とともに岡山県も含め、これらで他の地域に先駆けて4世紀末から5世紀にかけて普及したとみている。本出土例はこの説を補強する資料の一つといえる。

発掘時に一括して採集された動物遺存体番号1～9の資料で、動物「種」まで同定されたものは全てウマであり、左右上顎臼歯と右上腕骨、右橈骨、右中手骨から構成されており、同一部位の複数出土がないことから、同一個体の可能性が高い。

西中川（1989）の成果を用い、動物遺存体番号1（中手骨全長）、9（上腕骨遠位端最大幅）から算出された復元体高は、それぞれ130cmと127cmと極めて近く、これらが同一個体であった可能性を示唆している。

この体高は、第3表で示した通り、在来ウマのなかではやや大きく、中型馬に分類されることのある御崎馬のオスあるいはメスのやや小さい体格のものと同じ程度の大きさである。ちなみに、小型ウマとして知られるトカラ馬の推定体高（西中川1989）よりも3～5cm程度大きかった。このことから在来中型馬のやや小型に位置づけられる。特に中世馬と比較すると体格が大きい方であり、古墳時代の岡山のウマが良好な体格を有していたことが判明した。

このように古墳時代と古代のウマ遺存体がやや大きな体格であることは、第3表で示した通り、上東遺跡（岡山県）や日下貝塚（大阪府）、豊田本郷遺跡（神奈川県）、上野国国分僧寺・尼寺中間地域遺跡（群馬県）など、いくつかの遺跡で指摘されている。

ウマの移入は、馬具の出土から3～4世紀代を考えることも可能であるかもしれないが、裏付ける資料が少ないのが現状である。文献資料上も、小林行雄（1961）の指摘する通り、『日本書紀』における5世紀前後のウマに関する記述が史実を反映させた記載として古いものに当たるであろう。これは、応神天皇15年8月の記のことで、百濟王が阿直岐を遣わせ良馬2頭を献上し、ウマの飼育を官奉させたという内容である。

本出土例はこの記載の前後の資料にあたる。このように体格が良好な個体が岡山でみられることは、かなり世代が近い時点で韓半島からこれらの遺存体の祖先－あるいはこの個体自体－が運ばれてきた可能性をうかがわせる。これらを検証するには、同時期の韓半島でのウマ遺存体との形態分析や微量元素分析などの比較分析が欠かせないと考えられる。

近世の動物遺存体

土壙50、51からウシ、土壙52から哺乳綱目不明、溝48からウマが出土した。土壙51から出土したウシ遺存体は、後肢の左右脛骨と左右中足骨であることから、一括性があり、さらにそれぞれから計算された体高は114cm、112cm、109～112cmであることから同一個体に由来する可能性が高い。

第4表で示した通り、体高が109～114cmというウシの体格は、県内の古代～中・近世の遺跡から出土するウシの中でも小型の位置にあり、平安時代の鹿田遺跡（岡山県）、古代の新邸遺跡（岡山県）、中世の井手天原遺跡（岡山県）、新邸遺跡（岡山県）の小型のもの、近世の天瀬遺跡（岡山県）、岡山城二の丸（岡山県）、千町遺跡（香川県）の資料から復元された体高に近い。このような体格のウシは、近世初頭～中葉にみられる例が多く、その中でも雌であった可能性が考えられる。

本例のウシの「後肢だけ」といったウシの体躯の一部が土壙・ピットや井戸に廃棄・埋納されることは、中世以来広くみられる行為であり、何らかの儀礼的な行為に伴う可能性も指摘されているが、本例の場合明確な判断は困難である。

溝48から出土したウマ上顎臼歯は歯冠部の破片であり、後臼歯か前臼歯か等、部位の特定は困難であった。

参考文献

- 大江正直、木津博明、桜岡正信、友廣哲也 1990 「上野国分僧寺・尼寺中間地域出土の動物遺存体」『上野国分僧寺・尼寺中間地域(4) 関越自動車道新潟線地域埋蔵文化財発掘調査報告書第33集』群馬県教育委員会・群馬県埋蔵文化財事業団
- 金子浩昌 1995 「津寺遺跡出土の動物遺体」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告98津寺遺跡2 山陽自動車道建設に伴う発掘調査』:pp.597-604
- 金子浩昌 1996 「津寺遺跡中屋調査区出土のウマ遺骸」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告104 津寺遺跡3 山陽自動車道建設に伴う発掘調査12』:pp.282-285
- 富岡直人 1995 「北目城跡出土動物遺存体」『仙台市文化財調査報告書197 北目城跡発掘調査報告書』:pp.193-198
- 富岡直人 1999 「岡山県加茂政所遺跡出土ウマ遺存体」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告138、加茂政所遺跡・高松原古才遺跡、立田遺跡 第3分冊』:pp.1111-1123
- 富岡直人 2000 「新蔵町3丁目遺跡出土動物遺存体」『徳島県埋蔵文化財センター調査報告書31 新蔵町3丁目遺跡徳島保健所地点』:pp.427-438
- 富岡直人 2000 「井手天原遺跡出土動物遺存体」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告156 岡谷大溝散布地、三須今溝遺跡、三須河原遺跡、三須畠田遺跡、井手見延遺跡、井手天原遺跡 - 国道429号線改良に伴う発掘調査-』(岡山県教育委員会):pp.224-237
- 富岡直人 2001 「上東遺跡出土の動物遺存体と骨角製品」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告書157、下庄遺跡・上東遺跡』(岡山県教育委員会):pp.24-39
- 富岡直人 2001 「岡山県天瀬遺跡出土動物遺存体の分析」『岡山県埋蔵文化財調査報告書154、天瀬遺跡・岡山城外堀跡』(岡山県教育委員会):pp.89-121
- 富岡直人 2002 「中半入遺跡出土ウマ遺存体分析」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第380集中半入遺跡・蝦夷塚古墳発掘調査報告書第1分冊』(岩手県文化振興事業団):pp.296-301
- 富岡直人 2002 「百問川米田遺跡出土動物遺存体の分析」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告164、百問川米田遺跡4』:pp.327-353
- 富岡直人 2003 「岡山県津島遺跡出土の動物遺存体の研究」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 173、津島遺跡4』:pp.581-596
- 富岡直人 2004 「新邸・中撫川遺跡出土動物遺存体の分析」『岡山県埋蔵文化財調査報告書182、新邸遺跡・郷ノ溝遺跡・仏生田遺跡・掛無堂遺跡・川入遺跡・中撫川遺跡』(岡山県教育委員会):pp.375-389
- 富岡直人 2005 「仙台市洞ノ口遺跡出土の動物遺存体の分析」『仙台市文化財調査報告書281、洞ノ口遺跡 - 第1次・2次・4次・5次・7次10次発掘調査報告書 - 第4分冊 自然科学分析編』:pp.72-78
- 西中川 駿 1989 『古代遺跡出土骨からみたわが国の牛・馬の起源、系統に関する研究 - 特に日本在来種との比較』(昭和63年文部省科学研究費補助金研究成果報告書)
- 西中川 駿 1988 「博多遺跡群第33次調査出土の馬骨について」『福岡市埋蔵文化財調査報告書176、博多』:pp.35-38
- 林田重幸、山内忠平 1954 「日本石器時代馬について」『日本畜産会報』2(2-4):pp.122-126
- 林田重幸、山内忠平 1957 「馬における骨長より体高の推定法」『鹿児島大学農学部学術報告』6:146-156
- 林田重幸 1957 「中世日本の馬について」『日本畜産会報』28(5):pp.301-306
- 松井 章 1991 「家畜と牧 - 馬の生産」『古墳時代の研究』4:pp.105-119
- 松井 章 1995 「古代・中世の村落における動物祭祀」『国立歴史民俗博物館研究報告』61:pp.55-71
- Angela von den Driesch 1976 "A Guide to the Measurement of Animal Bones from Archaeological Sites" Peabody Museum Bulletin 1, Museum of Archaeology, Harvard University

第2表 百間川今谷遺跡出土動物遺存体属性表

動物遺存体番号	遺構	時代	大分類	小分類	部位名	左右	部分	成長度	破損	風化	色調	計測値 (単位はmm、傾は°で示す)	重量 (g)	備考
1	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	ウマ	中手骨	R	近位端 (一部欠損) + 遠位端 + 骨幹部	d,prf	不明	viv, 表面が激しく風化	茶褐色	GL:212.05 Bp:45.35	105.14	復元体高: 130cm,
2	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	日不明	歯牙	?	歯冠部	?	なし?	viv	茶褐色	-	1.79	
3	溝32	古墳中期	哺乳綱	ウマ	橈骨	R	骨幹部	?	不明	viv	茶褐色	-	147.72	
4	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	ウマ	上顎第2前臼歯	R	完形歯根一部欠損	小窩独立平坦化未了	なし?	viv	茶褐色	L:39.15 B:26.75, 歯冠高 (46.40)	30.64	No.4~8は同一個体と考えられる。
5	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	ウマ	上顎第2後臼歯	R	完形歯根一部欠損	小窩独立平坦化未了	なし?	viv	茶褐色	L:29.05 B:25.50, 歯冠高 (67.85)	50.09	
6	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	ウマ	上顎第3後臼歯	R	完形歯根一部欠損	小窩独立平坦化未了	なし?	viv	茶褐色	L:27.95 B:27.95, 歯冠高 (75.20)	54.69	
7	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	ウマ	上顎第2前臼歯	L	完形歯根一部欠損	小窩独立平坦化未了	なし?	viv	茶褐色	L:38.30 B:28.15, 歯冠高 (52.95)	37.35	
8	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	ウマ	上顎第3後臼歯	L	完形歯根一部欠損	小窩独立平坦化未了	なし?	viv	茶褐色	L:30.70 B:27.55, 歯冠高	48.67	
9	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	ウマ	上腕骨	L	骨幹部 + 遠位端	df	なし?	viv	茶褐色	Bd:74.00	122.76	放射性炭素測定用: 1480 ± 40BP, cal AD440, 490, 520 Beta Analytic Inc. 復元体高: 127cm,
10	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	ウマ	上顎第3切歯	L	歯冠部	小窩独立: 10歳程度	なし?	viv	茶褐色	L:18.00, B:11.16	5.58	
11	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	ウマ	上顎第3切歯	R	歯冠部破片	小窩独立: 10歳程度	なし?	viv	茶褐色	-	5.50	
12	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	ウマ	中足骨	R	遠位端 + 遠位部	df	不明	viv	茶褐色	Bd: (40.75)	15.49	
13	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	日不明	不明	?	不明	?	不明	viv	茶褐色	-	2.30	
14	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	日不明	不明	?	骨幹部	?	不明	viv	茶褐色	-	11.33	
15	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	日不明	不明	?	骨幹部	?	不明	viv	茶褐色	-	3.32	
16	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	日不明	不明	?	骨幹部	?	不明	viv	茶褐色	-	3.90	
17	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	日不明	不明	?	骨幹部	?	不明	viv	白色	-	0.30	
18	土葬51	近世	哺乳綱	ウシ	脛骨	L	骨幹部 + 遠位部 + 近位部	?	偽切断左外側	viv	茶褐色	-	143.82	小型在来牛
19	土葬51	近世	哺乳綱	ウシ	脛骨	R	骨幹部 + 遠位部	df	なし?	viv	茶褐色	Bd:55.35	207.58	小型在来牛, 復元体高: 114cm
20	土葬51	近世	哺乳綱	ウシ	中足骨	L	完形	d,prf	なし?	viv	茶褐色	GL: (201.00)	122.80	小型在来牛, 復元体高: 112cm
21	土葬51	近世	哺乳綱	ウシ	中足骨	R	完形 遠位端一部欠損	d,prf	なし?	viv	茶褐色	Bp:43.10 GL: (201.00)	118.89	小型在来牛, 復元体高: 109~112cm
22	土葬50	近世	哺乳綱	ウシ	頸椎	M	左外側	?	cm (Dlaタイプ 左外側2条)	viv	茶褐色	-	21.93	
23	土葬52	近世	哺乳綱	日不明	股骨	-	股質	?	なし?	viv	normal	-	0.53	真珠光沢きもつ。
24	溝48	近世	哺乳綱	ウマ	上顎臼歯	L	歯冠部破片	小窩独立	なし?	viv	茶褐色	-	14.57	
25	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	日不明	不明	?	骨幹部	?	偽切断 (Aaタイプ 骨幹部)	viv	茶褐色	-	50.19	
26	溝32トレンチ	古墳中期	哺乳綱	日不明	不明	?	骨幹部	?	不明	viv	茶褐色	-	21.26	

第3表 ウマ遺存体から復元された推定体高

遺跡名	登録番号	遺構名	所在地	時代(世紀を示す、c: century)	測定対象	推定年齢	測定ポイント(数字はDriesch 1976に依拠)	測定値(mm)	復元体高(cm)	参照データ
高倉貝塚熱田			愛知県	弥生後期?	中手骨	若齢以上	GL	228.00	136.40	金子1985、復元体高値は西中川の計算を適用
百間川今谷	1	溝32	岡山県	5~6c	中足骨	若齢以上	GL	212.05	130.00	富岡の計測による
宇土城三ノ丸跡			熊本県	5c	中手骨		GL	206.50	125.90	西中川1989
上東遺跡	167	下がり	岡山県	古墳時代	橈骨	若齢以上	Bd	73.90	約136	富岡1991
豊田本郷			神奈川県	古墳時代	橈骨	若齢以上	GL	303.50	120.66	金子1985、復元体高値は西中川の計算を適用
上能野貝塚			鹿児島	古墳時代?	中足骨		GL	230.80	116.00	西中川1989
口高遺跡	5~7	154号溝	群馬県	9c	上顎臼歯	18.3~24.2歳			115.50	大江他1990
日高遺跡	20~23	154号溝	群馬県	9c	上腕骨他	3~4歳			143~145	大江他1990
西ノ庄遺跡	2065	587-SK	和歌山県	古墳~奈良時代	中足骨	若齢以上	GL	261.70	130.78	富岡2003
藤原京			奈良県	奈良時代	橈骨他				114~137	西中川1989
長岡京			京都府	奈良時代	頭蓋・四肢骨				131.37±8.13	西中川1989
須和田遺跡			千葉県	奈良時代	上腕骨他				124.53±4.65	西中川1989
下東西遺跡	1~8	I区237土坑	群馬県	平安前期	上顎切歯・臼歯	6~9歳			121 (115.5~128.5)	大江他1990
上野国分僧寺・尼寺中間地域	35~47	A区29号住居	群馬県	10c前半	上顎骨・下顎骨	4歳			140.50	大江他1990
上野国分僧寺・尼寺中間地域	808~818	I区4号井戸	群馬県	10c前半	上顎臼歯・下顎臼歯	16.1歳			116.00	大江他1990
鎌倉材木座			神奈川県	14c前葉	上腕骨他				127.72~137.08	
洞ノ口遺跡			宮城県	12~16c	下顎骨		6	159.96		富岡
上野国分僧寺・尼寺中間地域	108~120	B区1号溝-1	群馬県	中世(14c後半~16c前半)	左後肢	壮齢または老齢			109.50	大江他1990
新郷遺跡	1	河道	岡山県	中世	脛骨	若齢以上	最大長	31.48	123.31	富岡2004
新郷遺跡	37	河道	岡山県	中世	脛骨	若齢以上	最大長	31.57	123.66	富岡2004
新郷遺跡	61	河道	岡山県	中世	中足骨	若齢以上	最大長	23.91	118.16	富岡2004
新郷遺跡	40	河道	岡山県	中世	中足骨	若齢以上	最大長	23.50	116.14	富岡2004
西ノ辻遺跡			大阪府	中世	四肢骨				126.12±4.61	西中川1989
公文遺跡			愛知県	中世	橈骨他				124.88±6.63	西中川1989
千葉地東遺跡			神奈川県	中世	中手骨他				130前後	西中川1989
鬼虎川遺跡			大阪府	中世(14~16c)	橈骨他				129.97±6.23	西中川1989
博多遺跡33次		大溝	福岡県	中世(16c)	中手骨	若齢以上	最大長	214.10	130.95	西中川1989
下東西遺跡	9~32, 42	G区9号井戸	群馬県	室町後期(16c)	上顎切歯・臼歯、側頭骨、前肢	10.5歳			130.00	大江他1990
北日城	78	SD21	宮城県	17c初頭	中手骨	若齢以上	最大長	201.00	121.99	富岡1995
北日城	78	SD21	宮城県	17c初頭	中手骨	若齢以上	最大長	199.20	121.03	富岡1995
津寺・三本木	16-2	2区溝-5	岡山県	中・近世	左中手骨	若齢以上	GL	195.80	117.52	富岡1999
三ツ寺Ⅲ遺跡	1~43	2号土坑	群馬県	中世以降	頭蓋	18.2~19.2歳			115.00	大江
大瀬遺跡	209	溝15	岡山県	17c	脛骨	若齢以上	GL	334.50	126.55	富岡2001
天瀬遺跡	555	溝8	岡山県	17c	中足骨	若齢以上	GL	253.50	126.73	富岡2001
上野国分僧寺・尼寺中間地域	604~619	F区26号土坑	群馬県	近世	下顎骨	15.9歳			133.80	大江他1990
古館Ⅱ遺跡			岩手県	近世	橈骨			331.00	135.30	西中川1989
岡山城二の丸 県立図書館地点	163	内堀東区	岡山県	近世	脛骨	若齢以上	GL	273.30	102.48	富岡2003

第4表 ウシ遺存体から復元された推定体高

遺跡名	所在地	時代	起算部位	推定体高(cm)	文献
上東遺跡	岡山県	古墳	上腕骨	115	富岡
鹿田遺跡	岡山県	平安	下顎骨	110.00	富岡2007
鹿田遺跡	岡山県	平安	中足骨	114.50	富岡2007
鹿田遺跡	岡山県	平安	中手骨	106.50	富岡2007
新郷遺跡	岡山県	古代	中手骨	114.90	富岡2004
津島遺跡	岡山県	中世(13c)	上腕骨	120	富岡2003
米田98-39-86	岡山県	中世	頭蓋	118.39	富岡2002
井手大原12付近2	岡山県	中世	中足骨	113.96	富岡2000
井手大原12付近1	岡山県	中世	中足骨	109.62	富岡2000
新郷遺跡	岡山県	中世	下顎骨	123.49	富岡2004
新郷遺跡	岡山県	中世	橈骨	116.39	富岡2004
新郷遺跡	岡山県	中世	中手骨	114.39	富岡2004
新郷遺跡	岡山県	中世	中足骨	124.94	富岡2004
新郷遺跡	岡山県	中世	中手骨	112.96	富岡2004
洞ノ口遺跡	宮城県	中世	中足骨	116.80	富岡2005
天瀬遺跡	岡山県	近世(17c)	脛骨	112	富岡2001
岡山城二の丸	岡山県	近世	下顎骨	110	富岡1998
岡山城二の丸(県立図書館地点)	岡山県	近世	脛骨	117	富岡2003
千町遺跡	香川県	近世		109.60	富岡
千町遺跡	香川県	近世		118.00	富岡



図版 百間川今谷遺跡出土動物遺存体

1～12. ウマ

1, 2. 上顎切歯 (1, I. (BNo. 10) 2, R. (BNo. 11)) 3～8. 上顎臼歯 (3. 第2前臼歯 I. (BNo. 7) 4. 第3後臼歯 I. (BNo. 8)、5. 第3後臼歯 R. (BNo. 6) 6. 第2後臼歯 R. (BNo. 5) 7. 第2前臼歯 (BNo. 4) 8. 破片 (BNo. 24)) 9. 上腕骨 L 骨幹部+遠位端 (BNo. 9) 10. 橈骨 R 骨幹部 (BNo. 3) 11. 中手骨 R 完形 (BNo. 1) 12. 中足骨 R 遠位端 (BNo. 12)

13～17. ウシ

13. 頸椎 M 左外側 (BNo. 22)

14, 15. 脛骨 (L 骨幹部+遠位部+近位部 (BNo. 18) 15. R 骨幹部+遠位端 (BNo. 19))

16, 17. 中足骨 (L 完形 部欠損 (BNo. 20) 17. R 完形 遠位端 部欠損 (BNo. 21))

遺構一覽表

表5 竪穴住居

地区	遺構名	平面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	床面積 (㎡)	柱穴	中央穴 (cm)			方形土塋 (cm)			焼土 面	壁溝	高床 部	時期
							平面形	長×短	深さ	位置	長×短	深さ				
302X	竪穴住居1	円	604		(19)	4	円	(70)×(60)	(40)	-	-	-	-	全周?	×	百・後・Ⅲ~Ⅳ
302Z	竪穴住居2	円	-	-	-	4	-	-	-	×	×	×	-	全周	×	~百・後・Ⅱ
	竪穴住居2	円	-	-	-	5	-	-	-	×	×	×	-	全周?	×	~百・後・Ⅱ
	竪穴住居2	円	633	612	26.75	5	円	74×64	48	×	×	×	×	全周?	×	百・後・Ⅱ
302S	竪穴住居3(古)	台	350~290	312	8.45	2	楕円	137×94	10	×	×	×	○	全周	×	~古・前・Ⅲ
	竪穴住居3(新)	長方	373	310	9.66	2	×	×	×	×	×	×	-	全周	×	古・前・Ⅲ
302U・V	竪穴住居4	方?	(560)	-	(30)	4	楕円	(160)×101	14	-	-	-	-	-	×	古・前・Ⅱ
302V	竪穴住居5(古)	長方	566	500	23.40		-	-	-	-	-	-	-	部分	×	~古・前・Ⅲ
	竪穴住居5(新)	方	583	577	29.90	2/(4)	-	-	-	南東辺	108~×72	30	-	部分	×	古・前・Ⅲ?
302X	竪穴住居6	方	400	370	13.40	2	円	21×20	4	東辺	(90)×50	15	○	全周	○	古・前・Ⅲ
303W・X	竪穴住居7(古)	長方	460	346	13.97	2	円	57×48	6	東辺	69×53	25	-	全周?	-	古・前・Ⅱ
	竪穴住居7(新)	台	520~488	460	20.37	2	×	×	×	×	×	×	×	全周	○	古・前・Ⅱ
303X	竪穴住居8	方?	526		(27)	2/(4)	-	-	-	-	-	-	-	全周?	-	古・前・Ⅲ
302Z	竪穴住居9	方	558	(530)	26.12	4	×	×	×	-	-	-	×	×	○	古・前・Ⅲ
302Z	竪穴住居10	方	339	330~315	9.67	2	楕円	22×18	7	×	×	×	×	全周	×	古・前・Ⅲ
302Z	竪穴住居11	方	500~491	467	20.90	2	×	×	×	(円形)	(55)	16	×	全周	×	古・前・Ⅲ

表6 掘立柱建物

地区	遺構名	規模	柱間距離 (cm)		桁行 (cm)	梁間 (cm)	面積 (㎡)	棟方向	柱穴 平面形	時期	備考
			桁	梁							
302R	掘立柱建物1	2×1	210~197	240	407	240	9.77	N-72°-E	円	百・中	
302・303R	掘立柱建物2	3×1	183~143	224	490	224	10.98	N-79°-W	円	百・中・Ⅱ	
302・303S	掘立柱建物3	2×1?	146~135	274	281	274	7.70	N-89°-W	円	百・中・Ⅱ	
302S	掘立柱建物4	3×(1)	152~134	-	420	-	-	N-81°-W	円	百・中	
303S	掘立柱建物5	2×1	331~140	242~230	平均471.5	平均236	11.13	N-73°-W	円	百・中・Ⅱ	「百今1建15」と同一
303S・T	掘立柱建物6	2×1	217~172	241~220	平均386.5	平均230.5	8.91	N-66°-W	円・楕円	百・中・Ⅱ	「百今1建23」と同一
303T	掘立柱建物7	3×1	210~168	280~266	平均553	平均273	15.10	N-20°-E	円	百・中・Ⅱ	「百今1建25」と同一
303T・U	掘立柱建物8	5×1?	180~115	220	平均705.5	220	15.52	N-77°-W	円・楕円	百・中・Ⅱ	
302U	掘立柱建物9	2~×1	149~140	262	149~	262	-	N-1°-E	円	百・中	
302U	掘立柱建物10	2×1	239~235	247	474	247	11.70	N-85°-E	円	百・中	
302U	掘立柱建物11	2×1	297~146	212~206	平均559	平均209	11.68	N-18°-E	円・楕円	百・中・Ⅱ	
303U	掘立柱建物12	2×1	228~206	184~175	424	平均179.5	7.61	N-28°-E	円	百・中	
302U	掘立柱建物13	2×1	182~160	230	327	230	7.52	N-14°-W	円	百・中・Ⅲ	
302U	掘立柱建物14	3×1	135~110	252	361	252	9.10	N-81°-E	円	百・中	
302T・U	掘立柱建物15	2×1	171~161	268~258	332	平均263	8.73	N-71°-E	円・楕円	百・後・Ⅱ?	
302U	掘立柱建物16	2×1	177~169	223~211	平均344	平均217	7.46	N-63°-E	円	百・後	
302U・V	掘立柱建物17	2×1	178~174	286	312	286	8.92	N-73°-E	円	百・後	
302・303V	掘立柱建物18	2×1	164~156	254~250	平均317.5	平均252	8.00	N-73°-E	円	百・後	
303V	掘立柱建物19	1×1	231~212	202~187	平均221.5	平均194.5	4.31	N-23°-W	円	百・後・Ⅲ	
302V	掘立柱建物20	2×1	162~148	230	平均307.5	230	7.07	N-57°-E	円・楕円	百・後	
302V	掘立柱建物21	2×1	192~177	211	366	211	7.72	N-52°-E	円・楕円	百・後	
301Y	掘立柱建物22	2×1	164~147	237	311	237	7.37	N-71°-E	円	百・後	
302X	掘立柱建物23	2×1	195~162	262~255	平均359.5	平均258.5	9.29	N-73°-W	円・楕円	百・後	
303W	掘立柱建物24	2×1	166~150	291~290	平均315	平均290.5	9.15	N-72°-E	円・楕円	百・後	
302・303X	掘立柱建物25	2×1	140~128	158~151	平均263	平均154.5	4.06	N-7°-E	円・楕円	百・後	
302・303X	掘立柱建物26	2×1	173~165	208~204	平均335.5	平均206	6.91	N-10°-E	円・楕円	百・後	
302・303X	掘立柱建物27	2×1	173~158	211~200	平均333.5	平均205.5	6.85	N-6°-E	円	百・後	
302X・Y	掘立柱建物28	3×1	170~152	336~335	平均471.5	平均335.5	15.82	N-81°-E	円・楕円	百・後	
302X・Y	掘立柱建物29	2×1	249~194	275~238	平均434	平均256.5	11.13	N-87°-E	円	百・後	
302Y	掘立柱建物30	2×1	204~188	300~281	平均393	平均290.5	11.42	N-73°-W	円	百・後・Ⅲ	
302・303Y	掘立柱建物31	2×2	219~149	145~138	平均358	平均286.5	10.26	N-12°-E	円	百・後	
303Y	掘立柱建物32	1×1	232~231	203	平均231.5	203	4.70	N-67°-E	円・楕円	百・後・Ⅲ	
302Y	掘立柱建物33	1×1	166~163	125~115	平均164.5	平均120	1.97	N-1°-E	円・楕円	百・後・Ⅲ	
303Y	掘立柱建物34	1×1	164~160	155~153	平均162	平均154	2.49	N-86°-W	円	百・後	
303Y	掘立柱建物35	2×1?	183~182	313~291	平均360	平均302	10.87	N-79°-E	円	百・後	
302Y・Z	掘立柱建物36	2×1	225~215	268~260	平均439.5	平均264	11.60	N-67°-E	円	百・後・Ⅲ	
302Z	掘立柱建物37	1×1	163~160	110~90	平均161.5	平均100	1.62	N-14°-W	円・楕円	百・後	
302Z	掘立柱建物38	1×1	130~122	120~115	平均126	平均117.5	1.48	N-17°-W	円	百・後	
302Z	掘立柱建物39	3×1	211~175	352~321	平均597.5	平均336.5	20.11	N-9°-W	円・楕円	百・後・Ⅲ~Ⅳ	
303R・S	掘立柱建物40	2×2	183~166	182~165	平均347.5	平均344.5	11.97	N-79°-E	円	古・前	

表7 柱穴列

地区	遺構名	柱穴の数	柱間距離 (cm)	主軸	柱穴平面形	時期	備考
303Q	柱穴列 1	2	217	N-1° -E	円	百・中	
302S	柱穴列 2	2	144	N-79° -W	円	百・中・Ⅲ	
302U	柱穴列 3	3	186~138	N-7° -W	円	百・中・Ⅲ	
302U	柱穴列 4	2	193	N-58° -E	円	百・後	
303Y	柱穴列 5	2	178	N-14° -W	円	百・後・Ⅱ	
302・303S	柱穴列 6	5	502~171	N-43° -E	円・楕円	古・前・Ⅲ	「百今Ⅰ棚列」の続き

表8 井戸

地区	遺構名	構造	平面形	断面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	底面海拔高 (cm)	時期
303U・V	井戸 1	素掘り	楕円	「U」字形	162	(122)	(140)	-30	百・中
303X	井戸 2	素掘り	楕円	「U」字形	238	202	138	16	百・後・Ⅲ
301Y	井戸 3	素掘り	円	逆「ハ」字+「U」字形	126	117	(123)	(48)	百・後・Ⅲ
302・303Z	井戸 4	素掘り	円	「U」字形	99	96	113	47	百・後・Ⅲ
302V	井戸 5	素掘り	円	逆「ハ」字+「V」字形	120	109	105	31	古・前・Ⅲ
302・303W	井戸 6	素掘り	円	「U」字形	76	65	99	56	古・前
301X	井戸 7	素掘り	円	逆「ハ」字+「U」字形	99	97	100	41	古・前
303W	井戸 8	素掘り	不整楕円	「U」字+「U」字形	125	112	148	7	古・前・Ⅱ
302Y	井戸 9	素掘り	楕円	逆「ハ」字+「U」字形	83	63	93	50	古・前・Ⅲ?
302Z	井戸 10	素掘り	円	逆「ハ」字+「U」字形	132	122	123	41	古・前・Ⅲ

表9 土壇

地区	遺構名	平面形	断面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	底面海拔高 (cm)	時期
303S	土壇 1	隅丸長方	皿+逆台	142	97	22	120	百・中・Ⅱ
303S	土壇 2	楕円	皿	221	188	24	88	百・中・Ⅱ
303S	土壇 3	(楕円)	(皿)	210~	54~	4	137	百・中・Ⅱ
303S	土壇 4	不整円	箱	109	80	38	104	百・中・Ⅱ
303S	土壇 5	隅丸長方	「U」字	(256)	71	81	52	百・中・Ⅱ
303S・T	土壇 6	長楕円	皿	153	64	17	123	百・中・Ⅱ
303T	土壇 7	円	皿	69	66	4	123	百・中・Ⅱ
303T	土壇 8	不整長方	皿、東部に凹	261	143	20	112	百・中・Ⅱ
302・303T	土壇 9	不整円	碗	125	116	19	106	百・中・Ⅱ
302T	土壇 10	楕円	皿	167	(95)	15	122	百・中・Ⅱ
302・303T・U	土壇 11	隅丸三角	碗、中央に凹	182	113	38	98	百・中・Ⅱ
302U	土壇 12	隅丸長方	皿	153	89	11	112	百・中
302U	土壇 13	楕円	逆台	63	50	23	116	百・中・Ⅲ
302U	土壇 14	(隅丸長方)	逆台、北部に段	56~	(77)	22	128	百・中
302U	土壇 15	不整	逆台、南東部に段	(177)	(107)	22	129	百・中・Ⅲ
302U	土壇 16	不整円	逆台	132	(124)	25	140	百・中・Ⅲ
303X	土壇 17	楕円	碗+下箱	89	78	49	72	百・中~後
301ⅡB	土壇 18	隅丸長方	逆台、西部に段	86	(61)	17	64	百・中~後
302V	土壇 19	円	碗	71	66	19	136	百・後・Ⅲ
302V	土壇 20	隅丸長方	逆台	143	66	45	107	百・後・Ⅲ
302U	土壇 21	不整楕円	碗	181	87	31	120	百・後・Ⅲ
302U・V	土壇 22	隅丸方	逆台、南西部に凹	94	68	25	133	百・後・Ⅲ
302V	土壇 23	隅丸長方	逆台	143	87	42	115	百・後・Ⅲ
302V	土壇 24	隅丸長方	碗	166	61	18	139	百・後・Ⅲ
302V	土壇 25	長隅丸長方	逆台、北部に段	289	38	33	129	百・後・Ⅲ
302V	土壇 26	長隅丸長方	逆台	256	44	35	119	百・後・Ⅲ
302V	土壇 27	隅丸長方	逆台	177	69	42	113	百・後・Ⅲ
302U	土壇 28	隅丸長方	逆台	291	88	21	139	百・後・Ⅲ
302V	土壇 29	円	逆台	93	85	30	117	百・後・Ⅲ
302U	土壇 30	隅丸長方	逆台、三方に段	122	71	17	128	百・後・Ⅲ
303V	土壇 31	隅丸長方	逆台	(115)	80	35	128	百・後・Ⅲ
302X	土壇 32	(円)	逆台	166~	174	26	118	百・後・Ⅲ
302X	土壇 33	不整方	碗	193	182	28	135	百・後
302X	土壇 34	不整楕円	皿	195	132	6	139	百・後・Ⅲ
302Y	土壇 35	隅丸長方	逆台	131	54	17	137	百・後・Ⅲ
303X	土壇 36	隅丸方	碗	96	84	41	113	百・後・Ⅲ
303X	土壇 37	隅丸長方	逆台	177	52	28	126	百・後
303Y	土壇 38	不整長方	逆台、東西に段	260	113	37	115	百・後
302Z	土壇 39	楕円	箱	85	63	29	136	百・後
302S・T	土壇 40	不整長方	皿、南部に凹	(530)	(150)	15	172	古・前・Ⅲ
302T	土壇 41	隅丸方	皿	254	170	20	165	古・前・Ⅲ
302T	土壇 42	隅丸長方	碗	48~	70	20	163	古
303S	土壇 43	楕円	逆台	101	92	72	98	古
302V	土壇 44	長楕円	碗、南西部に段	93	31	10	147	古・前・Ⅱ
303V	土壇 45	不整楕円	逆台	109	74	47	107	古
302・303X	土壇 46	円	「U」字	79	72	82	72	古・前・Ⅲ~中

地区	遺構名	平面形	断面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	底面海拔高 (cm)	時期
301Y	土塙47	凹	椀+底逆台	132	124	67	94	古・前・Ⅱ
302Z	土塙48	(楕円)	(皿)	117	63~	8	163	古・前
302Z	土塙49	隅丸長方	逆台	210	118	39	126	古
303Q・R	土塙50	隅丸三角	逆台	520	395	208	-20	近世~
303U・V	土塙51	(不整楕円)	(逆台)	(1190)	640~	180	0	近世~
303W・X	土塙52	不整楕円	椀	600	395	170	12	近世~
302Ⅱ A	土塙53	不整	皿、東部に段	117	75	10	155	中世~

表10 溝・水路

地区	遺構名	断面形	上端幅 (cm)	底面幅 (cm)	深さ (cm)	底面標高 (cm)	時期	備考
302X ~ Ⅱ A	溝1	椀+底逆台~椀	63~120	15~26	32	111~127	百・前・Ⅰ	
301・302X・Y	溝2	逆台~椀	68~77	30~34	46	104~108	百・前・Ⅰ	
303S	溝3	皿	84	40	15	118	百・中・Ⅱ	「百今1溝6」と同一
303・304T	溝4	皿	70	29	17	112	百・中・Ⅱ	「百今1溝12」と同一
303U	溝5	逆台	76	30	25	112	百・中・Ⅱ	「百今1土塙51」と関連か
302C	溝6	皿	72	45	9	122	百・中	
303T・U	溝7	皿	89	76	11	108	百・中・Ⅱ	「百今1溝11」と関連か
301・302V ~ X	溝8	椀	600以上	220	100	-15	~百・中・Ⅲ	
303W	溝9	椀	46	12	36	90~102	百・中・Ⅱ	
302・303Q ~ Z	溝10	椀+底「U」字	130	18	59	83~96	~百・後・Ⅲ	
301~303Q ~ Z	溝11	底「U」字	17~35	13~18	20~28	72~79	百・後・Ⅲ	
302・303Q ~ Z	溝12	椀	276	40	92	81~100	百・後・Ⅲ	
302Y	溝13	椀	215	70	53	90	百・後・Ⅲ	
302Y	溝14	逆台~椀	135~348	20~165	39	95~99	百・後	
302Y・W	溝15	椀	400~600	100~180	81	49	百・後・Ⅲ	
301X・Y	溝16	「U」字	41~53	18	11~49	85~97	百・後	
301・302X・Y	溝17	皿+底逆台	71~74	13	24	123~133	百・後	
301・302X	溝18	逆台~椀	98	17~30	46~50	88~99	百・後・Ⅲ	
302C・V	溝19	皿	98	63	9	131	~百・後・Ⅲ	
302・303T ~ V	溝20	椀~皿	51~120	30~60	7~25	130~152	百・後・Ⅲ	
301・302X・Y	溝21	椀	200	105	38	106	~百・後・Ⅲ	
301~303Y・Z	溝22	逆台	212	76	73	73~77	~百・後・Ⅲ	
301Y	溝23	椀	78	40	37	97	~百・後	
302C	溝24	「U」字	33	14	25	126	百・後・Ⅲ	
302V	溝25	逆台	18	10	7	150	百・後	
302V・W	溝26	椀	38	15	11	119	百・後	
302W	溝27	皿	50	34	5	80	百・後	
303T・U	溝28	皿	136	119	5	125	百・後	
303W	溝29	皿	51	20	10	143	百・後	
303W・X	溝30	皿	51	40	6	159	百・後・Ⅲ~Ⅳ	
303X	溝31	皿	30	15	4	129	百・後	
301~303V ~ X	溝32	椀	880~920	420~570	140	-27~0	古・前~後	「百今2溝59」と同一
302V・W	溝33	椀~皿	600	150	48	92	古・前	
303V・W	溝34	椀	232	35	83	80~89	古・前~後	「百今1溝27」と同一
302W	溝35	椀~皿	30~70	17	3~15	95	古	
303W	溝36	椀+底「U」字	30	12	20	145~150	古	
302・303X	溝37	皿	32	25	10	148	~古・前・Ⅲ	
301X	溝38	椀	78	48	19	141	古	
301X	溝39	皿	55	30	3	153	古	
301・302X・Y	溝40	椀~皿	39~100	20~40	4~15	140~151	古	
302Y・Z	溝41	皿	45~60	11~21	3~6	138~148	古	
302Z	溝42	皿	34~90	25~85	3~10	160~166	古	
302Y・Z	溝43	椀・皿	82~112	36~72	14~33	140~157	古・前~中	
302Z	溝44	皿	71	60	10	162	古	
301・302Ⅱ A・Ⅱ B	溝45	椀~皿	46	10	3	149~152	古	
302・303W	溝46	逆台	72	28	21	147	近世~	
301・302Ⅱ B	溝47	皿	198	165	15	150	近世~	2回以上の掘り直し
302Y・Z	溝48	皿	200	180	10	174	中世以降	
302Y・Z	溝49	皿	60	47	8	167	小世以降	
302Ⅱ A	溝50	椀	63	30	10	174	中世以降	
301~303Q ~ Y	水路1	椀	164	54	74	100~116	百・後・Ⅳ	洪水砂による埋没
302V・W	水路2	椀	302	102	62	61	百・後・Ⅳ	洪水砂による埋没
301・302X・Y	水路3	皿	180	50	18	140	百・後・Ⅳ	洪水砂による埋没

遺物観察表

表11 土器

掲載 番号	遺構名・層位		種別	器種	計測値 (cm)				残存状況	備考	実測 番号
					口径	器高	最大径	底径			
1	ト地点		縄文土器	浅鉢							659
2	掘立柱建物 2	P-5	弥生土器	甕							162
3	掘立柱建物 3	P-4	弥生土器	壺	12.2						149
4	掘立柱建物 6	P-3	弥生土器	壺	21.0						180
5	掘立柱建物 6	P-3	弥生土器	甕	14.8						172
6	掘立柱建物 6	P-3	弥生土器	高杯	(24.0)						164
7	掘立柱建物 6	P-3	弥生土器	高杯	24.8	16.0		12.0			177
8	掘立柱建物 6	P-3	弥生土器	高杯				8.6			163
9	掘立柱建物 7	P-1 か P-8	弥生土器	甕	(14.0)						146
10	掘立柱建物 8	P-1 5	弥生土器	高杯				10.1			144
11	掘立柱建物 8	どの柱穴か不明	弥生土器	高杯				9.4			135
12	掘立柱建物 11	P-1	弥生土器	甕	16.4						153
13	掘立柱建物 11	P-3	弥生土器	高杯				8.6			154
14	柱穴列 2	どの柱穴か不明	弥生土器	高杯				12.5		混入を、抽出	114
15	柱穴列 3	P-2	弥生土器	甕							159
16	土壇 1	第 1 層	弥生土器	甕	25.3						227
17	土壇 1		弥生土器	甕	12.5		17.3				224
18	土壇 2		弥生土器	甕			43.0	11.0			366
19	土壇 3		弥生土器	甕	(24.4)						225
20	土壇 3		弥生土器	甕	15.8	27.8	20.5	6.3			374
21	土壇 4		弥生土器	甕				11.5			365
22	土壇 4		弥生土器	高杯	(24.0)						221
23	土壇 5		弥生土器	壺	15.0		25.1				397
24	土壇 5		弥生土器	甕	(39.0)						34
25	土壇 5		弥生土器	甕	14.4						59
26	土壇 5		弥生土器	高杯				9.7			33
27	土壇 5		弥生土器	鉢	10.9	12.8	15.3	5.8	ほぼ完形	2 個一対の穿孔が 2 か所	60
28	土壇 5		弥生土器	水差し形土器			16.4	7.8			32
29	土壇 6		弥生土器	壺	15.6						222
30	土壇 8		弥生土器	甕	(14.2)		22.0				380
31	土壇 9		弥生土器	甕	15.4						220
32	土壇 10		弥生土器	器台	19.4						360
33	土壇 11		弥生土器	甕	15.0		19.2			外面煤付着	381
34	土壇 11		弥生土器	甕				12.4			400
35	土壇 11		弥生土器	高杯	10.5						398
36	土壇 11		弥生土器	高杯	19.6	11.6		8.6			399
37	土壇 13		弥生土器	壺	10.0		17.0				371
38	土壇 13		弥生土器	甕	12.1						358
39	土壇 13		弥生土器	甕	(13.4)						370
40	土壇 13		弥生土器	高杯	(18.9)						359
41	土壇 14		弥生土器	甕							391
42	土壇 15		弥生土器	壺			15.3	6.6			368
43	土壇 15		弥生土器	高杯	15.3						350
44	土壇 16	上層	弥生土器	甕	13.3						353
45	土壇 16	下層	弥生土器	甕	(16.0)						354
46	溝 1		弥生土器	甕			20.1				260
47	溝 2		弥生土器	甕	(19.0)						261
48	溝 2		弥生土器	甕				6.9			262
49	溝 3		弥生土器	壺							35
50	溝 3		弥生土器	甕	17.0						422
51	溝 3		弥生土器	甕	15.4	23.7	18.2	5.8			367
52	溝 3		弥生土器	高杯				9.4			423
53	溝 4		弥生土器	壺	18.3						421
54	溝 4	上層	弥生土器	甕	15.6						448
55	溝 5		弥生土器	壺	14.2						195
56	溝 5		弥生土器	甕	16.4						194
57	溝 5		弥生土器	甕	14.0	27.9	18.2	5.3			294
58	溝 5		弥生土器	高杯	26.0						292
59	溝 5		弥生土器	高杯	25.0						293
60	溝 5		弥生土器	高杯				9.8			193
61	溝 5		弥生土器	鉢	11.4		16.4				206
62	溝 5		弥生土器	鉢				10.0			200
63	溝 7		弥生土器	壺	15.8						432
64	溝 7		弥生土器	高杯				11.0			454
65	溝 8		弥生土器	壺	21.6						296
66	溝 8		弥生土器	壺	18.2						298
67	溝 8		弥生土器	壺	18.4						318
68	溝 8		弥生土器	壺	16.2						303
69	溝 8		弥生土器	壺	18.0						304
70	溝 8		弥生土器	壺			16.0				313
71	溝 8		弥生土器	甕	37.2		40.4				312
72	溝 8		弥生土器	甕	(33.7)						307
73	溝 8		弥生土器	甕	15.8						308

掲載 番号	遺構名・層位		種別	器種	計測値 (cm)				残存状況	備考	実測 番号
					口径	器高	最大径	底径			
74	溝 8		弥生土器	壺	16.2						306
75	溝 8		弥生土器	高杯	32.8						316
76	溝 8		弥生土器	壺	10.1	15.8	19.9	8.3			315
77	溝 8		弥生土器	鉢	(23.2)		(31.2)				314
78	溝 8		弥生土器	鉢				10.6			302
79	溝 8		弥生土器	鉢				11.2			300
80	溝 8		弥生土器	鉢				7.4			311
81	溝 8		弥生土器	器台				17.8			305
82	溝 8		弥生土器	水差形土器	7.9	19.4	17.7	8.5	ほぼ完形		317
83	溝 8		弥生土器	ミニチュア土器	2.8	5.2	3.2	1.5			310
84	溝 8		弥生土器	ミニチュア土器	6.3	7.9	7.0	3.8			309
85	溝 9		弥生土器	鉢				(10.0)			462
86	水田 2		弥生土器	壺							652
87	水田 2		弥生土器	甕				6.9			653
88	窪み		弥生土器	高杯				12.0			414
89	窪み		弥生土器	高杯				7.4			415
90	竪穴住居 1	壁体溝	弥生土器	壺	16.0						205
91	竪穴住居 1	覆土中	弥生土器	ミニチュア土器				2.7			211
92	竪穴住居 1	覆土中	弥生土器	高杯							212
93	竪穴住居 1	P-1	弥生土器	高杯							213
94	竪穴住居 2	床面	弥生土器	壺	10.8						106
95	竪穴住居 2	床面	弥生土器	壺			21.2	5.0			132
96	竪穴住居 2	床面	弥生土器	壺				6.6			97
97	竪穴住居 2		弥生土器	壺	8.9						31
98	竪穴住居 2	P-10とP-5	弥生土器	甕	12.2		13.4			外面煤付着	101
99	竪穴住居 2	土器 2	弥生土器	甕	15.5	27.6	20.6	5.1	ほぼ完形	外面煤付着	131
100	竪穴住居 2	P-6	弥生土器	甕	16.2						96
101	竪穴住居 2		弥生土器	高杯	24.5						98
102	竪穴住居 2		弥生土器	高杯				15.5			91
103	竪穴住居 2		弥生土器	鉢	(48.0)						105
104	竪穴住居 2	土器 1	弥生土器	鉢	28.0	13.3		7.1			123
105	竪穴住居 2		弥生土器	鉢	14.2	8.5		7.2	ほぼ完形		26
106	竪穴住居 2		弥生土器	鉢				3.0			30
107	竪穴住居 2	土器 3	弥生土器	鉢	17.2	7.2		5.3	完形		27
108	竪穴住居 2		弥生土器	鉢	13.2	7.7		5.0	ほぼ完形		29
109	竪穴住居 2		弥生土器	鉢	10.0						95
110	竪穴住居 2		弥生土器	ミニチュア土器	6.9	6.2	6.9	2.0	完形	外面煤付着	92
111	竪穴住居 2		弥生土器	器台	19.0						93
112	竪穴住居 2	排水溝	弥生土器	壺							90
113	竪穴住居 2	排水溝	弥生土器	高杯	12.1						119
114	竪穴住居 2	排水溝	弥生土器	鉢	9.8	10.5	10.4	3.8			94
115	竪穴住居 2	排水溝	弥生土器	鉢				3.6			89
116	竪穴住居 2	排水溝	弥生土器	ミニチュア土器	5.9	8.2	7.6	4.7	完形	外面赤色顔料付着	28
117	掘立柱建物15	P-4	弥生土器	甕	(13.8)						147
118	掘立柱建物16	P-3	弥生土器	高杯							145
119	掘立柱建物18	P-2	弥生土器	甕				5.1			139
120	掘立柱建物19	P-1	弥生土器	甕	16.0						143
121	掘立柱建物30	P-1	弥生土器	甕	17.0						134
122	掘立柱建物30	P-4	弥生土器	高杯	15.7						140
123	掘立柱建物30	P-1	弥生土器	鉢	(24.0)						156
124	掘立柱建物32	P-4	弥生土器	甕							363
125	掘立柱建物33	P-3	弥生土器	高杯							362
126	掘立柱建物36	P-2	弥生土器	甕	(18.0)						243
127	掘立柱建物36	P-2	弥生土器	甕				5.4			242
128	掘立柱建物39	P-1	弥生土器	甕	(15.5)					外面煤付着	255
129	掘立柱建物39	P-4	弥生土器	甕	(15.6)					外面煤付着	256
130	掘立柱建物39	P-2	弥生土器	甕	(13.8)						254
131	柱穴列 4	P-2	弥生土器	壺	14.7						352
132	柱穴列 5	P-2	弥生土器	甕	13.9	26.1	18.0	5.1		外面煤付着	187
133	井戸 2	第 2 層	弥生土器	甕	18.7						46
134	井戸 2		弥生土器	高杯							47
135	井戸 3	検出中	弥生土器	壺				3.6			246
136	井戸 3		弥生土器	高杯							247
137	井戸 4	上層	弥生土器	壺	17.5					外面赤色顔料	111
138	井戸 4	上層	弥生土器	壺	22.0	41.1	28.2	10.5	ほぼ完形		133
139	井戸 4	上層	弥生土器	壺	23.8	39.2	27.7	8.6	ほぼ完形		120
140	井戸 4	上層	弥生土器	甕	11.6	19.8	14.6	5.0	ほぼ完形	外面煤付着	184
141	井戸 4	上層	弥生土器	甕	(14.0)					外面煤付着	179
142	井戸 4	上層	弥生土器	甕	16.2			5.2			183
143	井戸 4	上層	弥生土器	高杯	18.0	8.9		9.0			122
144	井戸 4	上層	弥生土器	高杯	18.6						124
145	井戸 4	上層	弥生土器	高杯				11.4			127
146	井戸 4	上層	弥生土器	高杯	10.3	7.0		9.5	ほぼ完形		116
147	井戸 4	上層	弥生土器	甕	10.5	9.8	10.8	3.9	完形		115
148	井戸 4	上層	弥生土器	鉢	(36.0)						130
149	井戸 4	上層	弥生土器	鉢	23.8		29.5				167
150	井戸 4	上層	弥生土器	壺	8.8		12.8				128
151	井戸 4	上層	弥生土器	壺	7.7	16.5	13.7	12.2	ほぼ完形		129
152	土壇19		弥生土器	高杯	18.2						389
153	土壇19		弥生土器	高杯	22.4						390
154	土壇20		弥生土器	甕	(19.0)					外面煤付着	393
155	土壇21		弥生土器	高杯	20.0						351

掲載 番号	遺構名・層位		種別	器種	計測値 (cm)				残存状況	備考	実測 番号
					口径	器高	最大径	底径			
156	土壇22		弥生土器	甕	15.1	25.0	19.9	6.7		外面煤付着	376
157	土壇22		弥生土器	高杯	15.3	9.4		10.3			373
158	土壇22		弥生土器	高杯	20.9	11.9		16.0			375
159	土壇22		弥生土器	壺	9.7		14.8				372
160	土壇23		弥生土器	甕	14.8		21.2	6.6		外面煤付着	217
161	土壇23		弥生土器	甕	15.1	24.9	18.8	4.9	ほぼ完形		216
162	土壇23		弥生土器	高杯	18.0	9.2		10.0			202
163	土壇23		弥生土器	高杯	14.3						210
164	土壇23		弥生土器	鉢	21.5						218
165	土壇24		弥生土器	甕	14.6						383
166	土壇25		弥生土器	甕							382
167	土壇26		弥生土器	鉢	13.1						392
168	土壇27		弥生土器	甕	14.1						395
169	土壇27		弥生土器	甕	11.3		10.8				394
170	土壇28		弥生土器	甕	17.0						348
171	土壇28		弥生土器	甕	15.1						346
172	土壇28		弥生土器	高杯	10.1						345
173	土壇28		弥生土器	高杯				8.4			347
174	土壇28		弥生土器	ミニチュア土器	4.2	2.7		1.4	完形		344
175	土壇29		弥生土器	甕	13.8		16.0			外面煤付着	192
176	土壇29		弥生土器	甕	15.1	20.0	17.0	5.3	ほぼ完形		186
177	土壇29		弥生土器	甕	14.4						191
178	土壇29		弥生土器	甕	13.8						188
179	土壇29		弥生土器	甕				5.4			185
180	土壇29		弥生土器	高杯	(22.0)						165
181	土壇29		弥生土器	高杯	14.9						168
182	土壇29		弥生土器	高杯				13.0			171
183	土壇29		弥生土器	高杯				10.5			37
184	土壇29		弥生土器	高杯							176
185	土壇29		弥生土器	鉢	10.0	7.2		4.4	ほぼ完形		36
186	土壇29		弥生土器	器台				(42.0)			113
187	土壇30		弥生土器	壺	17.8						357
188	土壇30		弥生土器	壺	15.5						369
189	土壇30		弥生土器	甕	8.8						356
190	土壇31		弥生土器	甕	17.1						387
191	土壇31		弥生土器	高杯	(11.2)						388
192	土壇32		弥生土器	甕							413
193	土壇32		弥生土器	高杯				(12.0)			445
194	土壇34		弥生土器	高杯				12.0			427
195	土壇34		弥生土器	鉢							412
196	土壇35		弥生土器	甕	17.8						407
197	土壇36		弥生土器	甕	13.2		21.4				437
198	土壇36		弥生土器	甕	14.2						410
199	土壇36		弥生土器	高杯	18.6						408
200	土壇36		弥生土器	高杯				(9.2)			409
201	土壇38		弥生土器	壺	18.5						283
202	土壇38		弥生土器	甕	17.2						287
203	土壇38		弥生土器	甕	14.5		22.3				378
204	土壇38		弥生土器	甕	14.1		25.0			外面煤付着	379
205	土壇38		弥生土器	高杯	18.7						289
206	土壇38		弥生土器	高杯				7.1			291
207	土壇38		弥生土器	高杯				11.8			290
208	土壇39		弥生土器	甕	(14.0)						250
209	土壇39		弥生土器	高杯	17.1	8.6		9.8			248
210	土壇39		弥生土器	高杯				10.0			249
211	溝10	上層	弥生土器	高杯	(23.6)					59溝の間違いか?	450
212	溝10	上層	弥生土器	高杯				11.6			453
213	溝11		弥生土器	壺	27.8						577
214	溝11		弥生土器	壺	19.8						576
215	溝11		弥生土器	壺	(25.4)						466
216	溝11		弥生土器	壺	20.0						457
217	溝11		弥生土器	甕	15.4					外面煤付着	579
218	溝11		弥生土器	甕	16.0					外面赤色顔料	578
219	溝11		弥生土器	甕	17.7					外面煤付着	580
220	溝11		弥生土器	甕	12.0		13.0				581
221	溝11		弥生土器	高杯	13.8						458
222	溝11		弥生土器	鉢	(31.7)						614
223	溝11		弥生土器	鉢	24.9		25.6			外面煤付着	569
224	溝11		弥生土器	鉢							459
225	溝11		弥生土器	高杯				28.2			460
226	溝12		弥生土器	壺	14.8	30.9	32.6	8.9			861
227	溝12	下層	弥生土器	壺	26.7						824
228	溝12		弥生土器	壺	15.0						857
229	溝12		弥生土器	甕	13.0					外面煤付着	844
230	溝12		弥生土器	甕	16.2					外面煤付着	574
231	溝12		弥生土器	甕	14.0		17.3				567
232	溝12	最下層	弥生土器	甕	13.9						840
233	溝12		弥生土器	甕	16.1						638
234	溝12		弥生土器	甕	15.0						568
235	溝12	北側肩口	弥生土器	甕	(13.0)						837
236	溝12	北側肩口	弥生土器	甕	15.4						835
237	溝12		弥生土器	甕	16.3					外面煤付着	572

掲載 番号	遺構名・層位		種別	器種	計測値 (cm)				残存状況	備考	実測 番号
					口径	器高	最大径	底径			
238	溝12		弥生土器	甕	20.3						827
239	溝12	北側肩口	弥生土器	甕	19.6						842
240	溝12		弥生土器	甕	14.0	24.7	17.0	4.4		底部穿孔・外面煤付着	853
241	溝12		弥生土器	甕	13.0	22.8	18.0	5.4	ほぼ完形	外面煤付着	633
242	溝12	北側肩口	弥生土器	甕	15.0						858
243	溝12		弥生土器	甕	16.0		21.8			外面煤付着	669
244	溝12	北側肩口	弥生土器	甕	(12.9)						838
245	溝12		弥生土器	甕	14.9		18.8			外面煤付着	859
246	溝12		弥生土器	甕	15.8	20.6	16.4	3.9		底部穿孔	900
247	溝12		弥生土器	甕	11.7	17.9	14.2	4.9		外面煤付着	862
248	溝12		弥生土器	高杯	22.1						573
249	溝12	北側肩口	弥生土器	高杯	18.8						829
250	溝12		弥生土器	高杯	17.1						845
251	溝12		弥生土器	高杯	15.2	7.7		9.4			863
252	溝12	上層	弥生土器	高杯	13.9						914
253	溝12		弥生土器	高杯	11.3						851
254	溝12		弥生土器	高杯							631
255	溝12		弥生土器	高杯				14.2			630
256	溝12	北側肩口	弥生土器	高杯				11.2			821
257	溝12	最下層	弥生土器	高杯				10.8			850
258	溝12	北側肩口	弥生土器	高杯				10.8			820
259	溝12		弥生土器	高杯				9.6			819
260	溝12		弥生土器	鉢	43.0		40.8				860
261	溝12		弥生土器	鉢	15.6	10.1	14.5	5.4			912
262	溝12		弥生土器	鉢	22.2	19.0	24.6	8.2		外面煤付着	637
263	溝12	北側肩口	弥生土器	鉢	19.4		20.0				607
264	溝12		弥生土器	鉢	15.4	7.0	14.8	(5.6)			834
265	溝12		弥生土器	鉢	11.4	9.4	12.8	4.0			847
266	溝12	北側肩口	弥生土器	鉢	10.0	9.3		3.0	ほぼ完形		823
267	溝12		弥生土器	鉢	15.1	5.8		3.9			822
268	溝12	下層	弥生土器	鉢	13.8	4.7		(2.6)			830
269	溝12	北側肩口	弥生土器	鉢	(15.2)	5.2		3.2			825
270	溝12		弥生土器	鉢	10.6	7.2		4.8			622
271	溝12		弥生土器	鉢	(13.0)	5.7		(3.6)			635
272	溝12		弥生土器	鉢	10.4	5.9		3.2	ほぼ完形		826
273	溝12		弥生土器	器台	45.2			48.6			917
274	溝12	下層	弥生土器	壺	8.0		14.2				843
275	溝12		弥生土器	壺	5.0		10.7				841
276	溝12		弥生土器	高杯	28.8						909
277	溝12		弥生土器	ミニチュア土器	(9.0)		9.0				629
278	溝12		弥生土器	ミニチュア土器	6.0		6.5				836
279	溝12		弥生土器	ミニチュア土器	7.4	(7.2)	6.7	(2.6)			628
280	溝12	北側肩口	弥生土器	ミニチュア土器	7.9	7.1	6.6	4.3			833
281	溝12	上層	弥生土器	ミニチュア土器	7.4	4.7		1.0			848
282	溝12	東部	弥生土器	壺	17.3						589
283	溝12	東部	弥生土器	壺	10.4						587
284	溝12	東部	弥生土器	壺	17.6						584
285	溝12	東部	弥生土器	甕	15.3						585
286	溝12	東部	弥生土器	壺	14.8						582
287	溝12	東部	弥生土器	甕	(17.8)						590
288	溝12	東部	弥生土器	高杯	19.8						583
289	溝12	東部	弥生土器	高杯				12.4			591
290	溝12	東部	弥生土器	鉢	(31.8)		29.1				566
291	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	18.0						612
292	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	19.4						615
293	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	17.9						603
294	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	16.1	33.0	20.9	5.8			665
295	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	20.4	33.3	21.9	7.1	ほぼ完形		852
296	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	19.3		21.8				617
297	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	18.6	34.2	22.1	7.4	完形		854
298	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	18.4	32.0	21.2	8.4			611
299	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	25.8		27.0				660
300	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	18.5	31.4	28.8	9.3			910
301	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	17.1	30.7	29.8	9.3	ほぼ完形		662
302	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	甕	12.8	21.4	18.1	5.1		外面煤付着	616
303	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	甕	12.8	25.6	19.2	5.3		底部穿孔	856
304	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	甕	12.2	23.6	18.8	6.4		外面煤付着	619
305	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	甕	15.2	20.1	16.2	5.5	完形		639
306	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	甕	(11.4)	16.7	13.6	(3.7)			626
307	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	甕	11.8	16.1	13.7	4.8			640
308	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	甕	16.7	29.8	25.6	6.4			634
309	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	甕	13.5	26.3	20.0	5.1		外面煤付着	661
310	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	高杯	18.5						619
311	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	高杯	17.3	8.1		10.5			664
312	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	高杯	13.8	7.7		9.8			643
313	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	高杯	19.6	10.9		12.6			642
314	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	14.4	12.7	16.5	6.7		外面煤付着	646
315	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	14.1		16.3				670
316	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	18.6		23.0				786
317	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	17.0		16.5				647
318	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	17.1	14.3	18.4				61
319	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	13.0	9.0	14.3	5.5	完形	内外面赤色顔料	620

掲載 番号	遺構名・層位		種別	器種	計測値 (cm)				残存状況	備考	実測 番号
					口径	器高	最大径	底径			
320	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	18.1	20.2	20.3	7.5			632
321	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	14.0	7.5		6.1	ほぼ完形		785
322	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	11.7	7.9		4.4		内外面赤色顔料	645
323	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	(15.8)	5.7		3.9			911
324	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	16.2	5.2		3.2			625
325	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	18.1	7.7		5.3			668
326	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	13.8						913
327	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	10.3	4.5		6.1			787
328	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	9.0	10.4		3.6			623
329	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	鉢	10.3		10.1				636
330	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	6.5		13.4				621
331	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	壺	8.8		14.6				609
332	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	手焙形土器							151
333	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	ミニチュア土器			4.9	2.0			790
334	溝12	南岸土器集中部	弥生土器	ミニチュア土器			3.8	(2.8)			627
335	溝13	下層	弥生土器	壺	19.6	33.6	22.0	7.6		外面煤付着	562
336	溝13	下層	弥生土器	壺	19.4	34.8	22.7	8.2	ほぼ完形		548
337	溝13	下層	弥生土器	壺	9.8	16.6	12.8	4.6		外面煤付着	537
338	溝13	下層	弥生土器	壺	22.2						519
339	溝13	下層	弥生土器	壺	8.3	17.0	21.7	6.8		外面煤付着	527
340	溝13	中層	弥生土器	壺	15.5	32.5	28.9	9.0			547
341	溝13	中層	弥生土器	壺	19.4		31.6	9.7			561
342	溝13	中層	弥生土器	壺	19.9	30.0	29.6	6.6	ほぼ完形		546
343	溝13	中層	弥生土器	壺	18.8	31.1	25.8	6.8			543
344	溝13	中層	弥生土器	甕	15.2	22.0	19.6	5.5		外面煤付着	533
345	溝13	中層	弥生土器	甕	14.2	22.6	19.0	5.9		外面煤付着	538
346	溝13	中層	弥生土器	甕	11.8	16.9	14.3	3.6	ほぼ完形	外面煤付着	516
347	溝13	下層	弥生土器	甕	14.2		20.1			外面煤付着	570
348	溝13	下層	弥生土器	甕	12.7					外面煤付着	534
349	溝13	中層	弥生土器	甕				4.5		外面煤付着	518
350	溝13	下層	弥生土器	甕				5.7			535
351	溝13	中層	弥生土器	甕				5.5			511
352	溝13	中層	弥生土器	甕	(14.4)	28.3	20.6	5.6		外面煤付着	540
353	溝13	下層	弥生土器	甕	15.8	26.0	22.2	6.3		外面煤付着・底部穿孔	571
354	溝13	下層	弥生土器	甕	15.4		21.3			外面煤付着	545
355	溝13	中層	弥生土器	甕	14.0		20.2			外面煤付着	539
356	溝13	下層	弥生土器	甕	16.6		22.2			外面煤付着	565
357	溝13	上層	弥生土器	甕	14.5		19.5				541
358	溝13	中層	弥生土器	甕	14.5	24.7	20.9	4.8		外面煤付着	530
359	溝13	中層	弥生土器	甕	14.1		20.9			外面煤付着	529
360	溝13	下層	弥生土器	甕	14.0	24.5	19.7	5.3		外面煤付着	564
361	溝13	中層	弥生土器	高杯	22.5	10.0		12.7			526
362	溝13	上層	弥生土器	高杯	19.2	9.9		11.8	ほぼ完形		523
363	溝13	下層	弥生土器	高杯	17.3	11.4		10.5			522
364	溝13	下層	弥生土器	高杯	16.0	9.2		11.0			521
365	溝13	中層	弥生土器	高杯	17.4	8.6		11.5			536
366	溝13	下層	弥生土器	高杯	10.3	8.3		9.4	完形		525
367	溝13	中層	弥生土器	鉢	45.8		42.2				542
368	溝13	下層	弥生土器	鉢	(38.2)						544
369	溝13	下層	弥生土器	鉢	37.8	21.3	35.0	9.3	ほぼ完形		563
370	溝13	下層	弥生土器	鉢							512
371	溝13	中層	弥生土器	鉢	14.6	14.3	14.2	3.8			517
372	溝13	中層	弥生土器	鉢	15.7	6.5		3.5	完形	外面煤付着	503
373	溝13	下層	弥生土器	鉢	14.5	5.6			ほぼ完形		510
374	溝13	中層	弥生土器	鉢	11.8	4.6		2.6			531
375	溝13	下層	弥生土器	鉢	11.2	5.3		3.0			506
376	溝13	上層	弥生土器	鉢	10.2	6.9		6.0		穿孔していない・脚孔が3ヶ所	502
377	溝13	下層	弥生土器	鉢	8.8	5.3		2.2			507
378	溝13	下層	弥生土器	鉢	8.2		9.8				528
379	溝13	下層	弥生土器	壺	7.4		14.2			外面煤付着	520
380	溝13	中層	弥生土器	壺	7.6		12.3				514
381	溝13	下層	弥生土器	壺	(34.0)						508
382	溝13	下層	弥生土器	ミニチュア土器	8.5	9.8	9.3	2.2	完形		509
383	溝13	下層	弥生土器	ミニチュア土器	7.0		7.3				505
384	溝13	下層	弥生土器	ミニチュア土器				1.3			504
385	溝13	下層	弥生土器	ミニチュア土器	5.4		8.9				515
386	溝15	下層	弥生土器	壺	19.7						904
387	溝15	下層	弥生土器	壺							883
388	溝15	下層	弥生土器	壺	23.0						866
389	溝15	下層	弥生土器	壺	26.2						886
390	溝15	下層	弥生土器	壺	21.0						916
391	溝15	下層	弥生土器	壺	22.0						875
392	溝15	下層	弥生土器	壺	23.3					赤褐色の精良な胎土	876
393	溝15	下層	弥生土器	壺	17.2						879
394	溝15	下層	弥生土器	甕	14.9		22.4				872
395	溝15	下層	弥生土器	甕	13.2					外面煤付着	868
396	溝15	下層	弥生土器	甕	12.4		12.4				878
397	溝15	下層	弥生土器	甕	10.7	10.6	10.2	2.0			893
398	溝15	下層	弥生土器	高杯	21.6						885
399	溝15	下層	弥生土器	高杯	19.9					外面煤付着	880
400	溝15	下層	弥生土器	高杯	18.1						899
401	溝15	下層	弥生土器	高杯							892

掲載 番号	遺構名・層位		種別	器種	計測値 (cm)				残存状況	備考	実測 番号
					口径	器高	最大径	底径			
402	溝15	下層	弥生土器	高杯				8.0		脚部穿孔2ヶ所	891
403	溝15	下層	弥生土器	高杯				6.9			907
404	溝15	下層	弥生土器	高杯				6.7			908
405	溝15	下層	弥生土器	鉢	(42.2)						887
406	溝15	下層	弥生土器	鉢	35.9						864
407	溝15	下層	弥生土器	鉢	(14.6)	9.0	13.6	3.5		外面煤付着	877
408	溝15	下層	弥生土器	鉢	9.2	7.3	8.8	3.5		外面煤付着	869
409	溝15		弥生土器	鉢	15.0	8.0	15.0	5.2	ほぼ完形	外面全体に煤付着	898
410	溝15	下層	弥生土器	鉢	14.2	6.2		4.9			873
411	溝15	下層	弥生土器	鉢	18.9						867
412	溝15	下層	弥生土器	高杯	21.0						888
413	溝15		弥生土器	鉢	11.4	5.9		3.7	ほぼ完形		54
414	溝15	下層	弥生土器	鉢	10.1	6.4		4.5			902
415	溝15	下層	弥生土器	鉢	10.5						894
416	溝15	下層	弥生土器	壺	8.3		15.7				889
417	溝15	下層	弥生土器	壺	6.0		9.5				895
418	溝15	下層	弥生土器	高杯	29.8						874
419	溝15	下層	弥生土器	高杯	24.5						915
420	溝15		弥生土器	ミニチュア土器	6.9	7.0	5.8	2.7	完形		55
421	溝15	下層	弥生土器	ミニチュア土器	5.0		7.4				896
422	溝15	下層	弥生土器	ミニチュア土器	7.6		7.4				901
423	溝15	下層	弥生土器	ミニチュア土器	8.7						890
424	溝15	下層	弥生土器	ミニチュア土器	6.1	4.2		2.5	完形		897
425	溝15		弥生土器	ミニチュア土器	4.2	3.9	4.7	1.9	完形		53
426	溝18	下層	弥生土器	壺	18.4						446
427	溝18	上層 下層	弥生土器	甕	13.5	22.0	16.6	5.2	ほぼ完形	外面煤付着	447
428	溝18	上層	弥生土器	甕	12.4	16.9	13.5	4.1	ほぼ完形		439
429	溝18	上層 下層	弥生土器	甕	15.1	21.0	16.7	5.8	ほぼ完形	外面煤付着	440
430	溝18	上層 下層	弥生土器	甕	14.9		17.2			外面煤付着	432
431	溝18		弥生土器	甕	(12.8)		18.2	4.7			465
432	溝18	下層	弥生土器	甕	13.0		18.0			外面煤付着	461
433	溝18	上層	弥生土器	甕				5.7		外面煤付着・底部穿孔	430
434	溝18	上層	弥生土器	高杯	17.5						435
435	溝18	下層	弥生土器	高杯	17.6						463
436	溝18	下層	弥生土器	高杯				10.0			464
437	溝18	上層	弥生土器	鉢	(45.6)						442
438	溝18	下層	弥生土器	鉢	15.9	15.8	15.7	3.8	ほぼ完形		434
439	溝18	上層 下層	弥生土器	鉢	14.7	13.0	14.0	4.9	ほぼ完形	外面煤付着	441
440	溝18	上層	弥生土器	鉢	10.7	6.1		5.1	完形		429
441	溝18	上層	弥生土器	鉢	14.0	4.4					428
442	溝18	上層	弥生土器	鉢	15.6	6.4			ほぼ完形		431
443	溝18	上層	弥生土器	鉢	(17.0)		16.5				436
444	溝19		弥生土器	甕	10.8						435
445	溝20		弥生土器	甕	21.6						473
446	溝20		弥生土器	甕	22.8		31.2				497
447	溝20		弥生土器	甕	17.1						469
448	溝20		弥生土器	甕	15.8						495
449	溝20		弥生土器	甕	14.3						468
450	溝20		弥生土器	高杯	13.0						467
451	溝20		弥生土器	高杯				13.0			472
452	溝21		弥生土器	甕	11.8		14.8			外面煤付着	436
453	溝22		弥生土器	製塩土器				4.1			253
454	溝24		弥生土器	甕	12.2						451
455	溝24		弥生土器	甕	13.8						424
456	溝24		弥生土器	鉢	15.0		13.5				425
457	水田3		弥生土器	壺	(20.4)						500
458	水田3		弥生土器	壺	21.6						491
459	水田3	中層	弥生土器	甕							490
460	水田3	中層	弥生土器	甕	11.3					外面煤付着	489
461	水田3	中層	弥生土器	甕				5.6			493
462	水田3	中層	弥生土器	鉢	16.5						491
463	水田4		弥生土器	甕	12.7					外面煤付着	15
464	水田4		弥生土器	甕	(13.9)						13
465	水田4		弥生土器	甕	(13.8)						12
466	水田4		弥生土器	甕	14.6					外面煤付着	16
467	水田4		弥生土器	甕	15.0						17
468	水田4		弥生土器	甕	12.9						18
469	水田4		弥生土器	甕	14.6					外面煤付着	271
470	水田4		弥生土器	高杯	19.7						8
471	水田4		弥生土器	高杯				9.4			20
472	水田4		弥生土器	器台	(18.2)						7
473	水田4		弥生土器	鉢	(15.0)	6.7					6
474	水田4		弥生土器	ミニチュア土器			4.2	1.4			2
475	水田4		弥生土器	ミニチュア土器	1.1	2.1	2.8	1.4	完形		3
476	水田4		弥生土器	手捏土器	(6.2)	3.7		2.2	ほぼ完形		5
477	水田4	下部溝状遺構	弥生土器	甕							658
478	水田4	下部溝状遺構	弥生土器	甕							657
479	水田4	下部溝状遺構	弥生土器	甕							655
480	水田4	下部溝状遺構	弥生土器	甕							654
481	水田4	下部溝状遺構	弥生土器	高杯	(25.0)						10
482	水田4	下部溝状遺構	弥生土器	高杯							23
483	水田4	下部溝状遺構	弥生土器	鉢	(23.8)						11

掲載 番号	遺構名・層位		種別	器種	計測値 (cm)				残存状況	備考	実測 番号
					口径	器高	最大径	底径			
484	水田4	下部溝状遺構	弥生土器	高杯	16.8						9
485	水田4	高まり盛り土部分	弥生土器	甕	14.5						650
486	水路1		弥生土器	壺	8.0						486
487	水路1		弥生土器	甕			39.5	5.8			499
488	水路1		弥生土器	甕	14.6	20.8	17.6	3.5			602
489	水路3		弥生土器	甕	(11.0)						488
490	焼上集中部		弥生土器	甕	(19.8)						342
491	土器溜まり		弥生土器	甕	15.0	21.2	18.0	5.0	ほぼ完形	外面煤付着	230
492	土器溜まり		弥生土器	甕	15.1	23.3	20.0	5.7		外面煤付着	233
493	土器溜まり		弥生土器	甕	14.4		18.1				231
494	土器溜まり		弥生土器	高杯	20.6	11.3		11.8			232
495	竪穴住居3	壁体溝	土師器	甕	(14.6)						71
496	竪穴住居3	壁体溝	土師器	甕	15.1						99
497	竪穴住居3	貼床2	土師器	高杯							70
498	竪穴住居3	床面掘り下げ	土師器	鉢	14.3	6.2		7.2			100
499	竪穴住居4		土師器	高杯							207
500	竪穴住居4		土師器	高杯							208
501	竪穴住居4		土師器	高杯				(12.0)			209
502	竪穴住居5		土師器	甕							74
503	竪穴住居5	方形土壇	土師器	甕	12.8						73
504	竪穴住居5	方形土壇	土師器	鉢							72
505	竪穴住居6	土器No1	土師器	高杯	14.8	14.4		11.8			65
506	竪穴住居6	土器No3	土師器	高杯	15.0						64
507	竪穴住居6	覆土	土師器	高杯	(16.4)						104
508	竪穴住居6	土器No2	土師器	高杯	14.2					外面煤付着	203
509	竪穴住居6	方形土壇	土師器	ミニチュア土器	7.6		7.2				40
510	竪穴住居6	覆土	土師器	製塩土器				3.0			66
511	竪穴住居7(古)	方形土壇	土師器	甕	12.3						102
512	竪穴住居7(古)	方形土壇	土師器	甕	12.1						103
513	竪穴住居7(古)	方形土壇	土師器	鉢	11.8		13.2				80
514	竪穴住居7(古)	方形土壇	土師器	高杯	15.3	14.6		11.2	ほぼ完形		81
515	竪穴住居7(古)	方形土壇	土師器	鉢						内外面赤色顔料	79
516	竪穴住居7(古)	方形土壇	土師器	鉢	14.3	8.1		8.3	ほぼ完形		78
517	竪穴住居7(新)	覆土(主に第2層中)	土師器	甕	9.8		13.0				75
518	竪穴住居7(新)	覆土(第2層中)	土師器	甕							416
519	竪穴住居7(新)	覆土(第2層中)	土師器	高杯	(18.4)						417
520	竪穴住居7(新)	覆土(主に第2層中)	土師器	製塩土器				3.7			76
521	竪穴住居7(新)	覆土(主に第2層中)	土師器	製塩土器				3.5			77
522	竪穴住居8		土師器	甕	(14.0)						45
523	竪穴住居8		土師器	甕	(15.0)						44
524	竪穴住居8		土師器	高杯							42
525	竪穴住居8		土師器	鉢	(11.8)						43
526	竪穴住居9	P-7	土師器	甕	14.2						87
527	竪穴住居9	上層	土師器	鉢	41.8		34.1				126
528	竪穴住居9	下層貼り床まで	土師器	ミニチュア土器				2.4			85
529	竪穴住居9	下層貼り床まで	土師器	製塩土器				3.6			86
530	竪穴住居10	中央穴	土師器	高杯	14.8						84
531	竪穴住居11	土器No2	土師器	壺	9.6						83
532	竪穴住居11	土器No1	土師器	甕	16.6						125
533	竪穴住居11	土器No2	土師器	甕	15.6						82
534	竪穴住居11		土師器	甕	15.7						117
535	井戸5	第1層	土師器	甕	15.2						190
536	井戸5		土師器	高杯							39
537	井戸5		土師器	鉢							38
538	井戸8	第1層	土師器	製塩土器							337
539	井戸8	第1層	土師器	製塩土器							338
540	井戸8	第1層	土師器	製塩土器							336
541	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				3.8			328
542	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				3.4			323
543	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				4.0			319
544	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				3.6			327
545	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				3.7			330
546	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				2.5			326
547	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				3.4			331
548	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				3.6			324
549	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				3.4			329
550	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				3.3			325
551	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				3.5			322
552	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				4.0			321
553	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				3.7			320
554	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				2.8			333
555	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				3.4			332
556	井戸8	第1層	土師器	製塩土器				3.0			433
557	井戸8	第1層	土師器	壺			10.1				334
558	井戸8	第1層	土師器	甕	9.1		10.2				335
559	井戸8	第1層	土師器	高杯							339
560	井戸8	下層	土師器	甕	11.2					外面煤付着	112
561	井戸8	第6層	土師器	甕	14.5	22.2	20.7		完形		58
562	井戸9		土師器	手捏土器	8.0	7.1	7.0				63
563	井戸9		土師器	手捏土器	5.8	5.3	5.7		完形		49
564	井戸10	上層	土師器	壺	13.2						121
565	井戸10	第5層	土師器	甕	15.0					外面煤付着	109

掲載 番号	遺構名・層位		種別	器種	計測値 (cm)				残存状況	備考	実測 番号
					口径	器高	最大径	底径			
566	井戸10	第5層	土師器	甕	15.1						107
567	井戸10		土師器	甕	12.5	18.0	17.5		完形	外面煤付着	24
568	井戸10	第5層	土師器	甕	16.0					外面煤付着	108
569	井戸10	第5層	土師器	壺			9.0				110
570	土壇40		土師器	甕	12.5						340
571	土壇40		土師器	高杯	(16.6)						223
572	土壇40		土師器	鉢	10.0		10.4				341
573	土壇41		土師器	甕	(17.0)		23.0				219
574	土壇41		土師器	甕	14.2		21.2				204
575	土壇41		土師器	高杯	16.0						198
576	土壇41		土師器	高杯	11.3						196
577	土壇44		土師器	壺	22.3						384
578	土壇44		土師器	鉢	15.1						386
579	土壇44		土師器	鉢				7.3			385
580	土壇45		土師器	甕	(13.2)						401
581	土壇46		土師器	高杯							41
582	土壇47		土師器	甕							244
583	土壇47		土師器	壺							245
584	土壇48		土師器	壺	9.0						239
585	溝32		土師器	甕	16.1						498
586	溝32		土師器	甕	15.1					外面煤付着	483
587	溝32	砂層	土師器	壺	19.2						700
588	溝32	ビート層 砂層	土師器	壺	14.2	22.8	19.6		ほぼ完形		783
589	溝32	砂層	土師器	壺	15.9						713
590	溝32	砂層	土師器	壺	16.9						761
591	溝32	砂層	土師器	壺	21.8						675
592	溝32	砂層	土師器	壺	17.6						676
593	溝32	砂層	土師器	壺	16.6						679
594	溝32	ビート層 砂層	土師器	壺	17.0						780
595	溝32	ビート層 砂層	土師器	壺			39.9				667
596	溝32		土師器	壺	18.0						810
597	溝32	ビート層 砂層	土師器	壺	16.0						772
598	溝32	ビート層 砂層	土師器	壺	14.6						756
599	溝32	砂層	土師器	壺	12.4						674
600	溝32	砂層	土師器	壺	9.2		14.8				714
601	溝32	黒の層	土師器	壺	9.8	14.6	13.5				803
602	溝32	ビート層 砂層	土師器	壺	8.5	11.8	11.4				735
603	溝32	ビート層 砂層	土師器	壺	10.3					外面煤付着	739
604	溝32	ビート層	土師器	壺	12.4	13.8	14.9				773
605	溝32	砂層	土師器	壺	9.5	11.2	10.6				672
606	溝32	ビート層	土師器	壺	9.5		10.5			外面煤付着	766
607	溝32	砂層	土師器	壺	8.7	7.7	9.0	4.0		内外面煤付着	765
608	溝32	東壁 杭列付近	土師器	壺	9.5		9.8				812
609	溝32	砂層	土師器	壺	12.6		10.2				712
610	溝32	ビート層 砂層	土師器	壺	13.0	6.4		(3.4)			702
611	溝32	砂層	土師器	壺	10.6		8.8			外面煤付着	718
612	溝32	砂層	土師器	壺	8.9	8.8	8.0				673
613	溝32	ビート層 砂層	土師器	壺	7.4	8.3	8.0				694
614	溝32	ビート層 砂層	土師器	壺	7.5		9.8				776
615	溝32	砂層	土師器	壺			7.6				764
616	溝32	砂層	土師器	甕	12.9					外面煤付着	717
617	溝32	砂層	土師器	甕	14.4					外面煤付着	769
618	溝32	砂層	土師器	甕	(13.2)						719
619	溝32		土師器	甕							720
620	溝32	砂層	土師器	甕	10.2		11.6				704
621	溝32	ビート層 砂層	土師器	甕	11.1		17.0				774
622	溝32	ビート層 砂層	土師器	甕	15.5		22.7			外面煤付着	781
623	溝32	ビート層	土師器	甕	16.4					外面煤付着	745
624	溝32	ビート層 砂層	土師器	甕	14.0						701
625	溝32	ビート層 砂層	土師器	甕	14.4		22.6				784
626	溝32	砂層	土師器	甕	13.6	19.0	18.6			外面煤付着	727
627	溝32	砂層	土師器	甕	13.7						708
628	溝32	黒の層	土師器	甕	16.7		23.1			外面煤付着	807
629	溝32	砂層	土師器	甕	(11.0)	14.8	15.6				743
630	溝32	ビート層 砂層	土師器	甕	11.3	14.8	14.8				734
631	溝32	ビート層 砂層	土師器	甕	11.0	14.5	15.5				732
632	溝32	黒の層	土師器	甕	11.8	12.0	14.0		ほぼ完形		809
633	溝32	ビート層	土師器	甕	9.8	11.5	12.2				740
634	溝32	ビート層	土師器	高杯	20.0						693
635	溝32	ビート層 砂層	土師器	高杯	18.8	12.4	10.7				782
636	溝32	ビート層	土師器	高杯	18.9	13.5	11.2				725
637	溝32	砂層	土師器	高杯	18.2						768
638	溝32	ビート層 砂層	土師器	高杯	16.1	13.6	9.3	ほぼ完形			779
639	溝32	ビート層 砂層	土師器	高杯	17.8						746
640	溝32	ビート層 砂層	土師器	高杯	16.8					外面煤付着	762
641	溝32	砂層	土師器	高杯	16.2	10.6	10.3	完形		脚部穿孔2ヶ所	691
642	溝32	砂層	土師器	高杯	15.4						709
643	溝32	ビート層 砂層	土師器	高杯	16.6						737
644	溝32	砂層	土師器	高杯	(17.0)						733
645	溝32	ビート層 砂層	土師器	高杯	22.2					杯部外面煤付着	775
646	溝32	ビート層 砂層	土師器	高杯	17.3					杯部内外面煤付着	767
647	溝32	ビート層 砂層	土師器	高杯	15.9	12.3	10.3				698

掲載 番号	遺構名・層位		種別	器種	計測値 (cm)				残存状況	備考	実測 番号
					口径	器高	最大径	底径			
648	溝32	砂層	土師器	高杯	14.8						723
649	溝32	ビート層 砂層	土師器	高杯	13.9						770
650	溝32	ビート層 砂層	土師器	高杯				10.5			730
651	溝32	ビート層 砂層	土師器	高杯				9.5			744
652	溝32	ビート層 砂層	土師器	高杯				12.0			752
653	溝32	ビート層 砂層	土師器	鉢	38.0		33.0				742
654	溝32	砂層	土師器	鉢	(18.8)	6.9					721
655	溝32	ビート層 砂層	土師器	鉢	(13.8)	5.2					722
656	溝32	ビート層 砂層	土師器	鉢	(13.6)	4.7				内面に漆	777
657	溝32	ビート層 砂層	土師器	鉢	12.8	7.4					699
658	溝32	砂層	土師器	鉢	12.2	7.2				外面煤付着	671
659	溝32		土師器	鉢	8.6	6.3	9.6	3.7		外面煤付着	795
660	溝32	東壁 杭列付近	土師器	鉢				6.2			804
661	溝32	ビート層	土師器	器台	9.6	8.1		12.4			771
662	溝32	東壁 杭列中	土師器	杯身	9.4	3.0				内面に暗文	794
663	溝32	黒の層	土師器	甕							792
664	溝32	褐灰色砂質土	土師器	甕							791-1
664	溝32	褐灰色砂質土	土師器	甕							791-2
665	溝32		土師器	手捏土器	4.0	4.0	3.5	0.9			789
666	溝32		土師器	手捏土器	2.0	4.6	3.5	1.4			788
667	溝32	ビート層 砂層	土師器	手捏土器	4.3	5.0	3.9	1.1	ほぼ完形		750
668	溝32	ビート層	土師器	手捏土器	4.8	4.6	5.2				695
669	溝32	褐灰色砂質土	土師器	手捏土器	5.0	4.5	4.5		完形		815
670	溝32	ビート層 砂層	土師器	手捏土器	4.2	5.6	5.8	1.8			748
671	溝32	ビート層	土師器	手捏土器	5.8	4.8	5.8		完形		749
672	溝32	ビート層 砂層	土師器	手捏土器	4.8	4.2	5.1		ほぼ完形		733
673	溝32	黒の層	土師器	手捏土器	4.8	3.9		1.1	完形		814
674	溝32	砂層	土師器	手捏土器	3.8	4.4		3.9			707
675	溝32	黒の層	土師器	製塩土器				4.8			801
676	溝32	黒の層	土師器	製塩土器				3.9			799
677	溝32	黒の層	土師器	製塩土器				4.0			800
678	溝32	黒の層	土師器	製塩土器				3.3			798
679	溝32	黒の層	土師器	製塩土器				3.7			797
680	溝32	黒の層	土師器	製塩土器				3.5			796
681	溝32	ビート層 砂層	土師器	製塩土器				4.2			690
682	溝32	砂層	土師器	製塩土器				4.2			689
683	溝32	砂層	土師器	製塩土器				4.4			688
684	溝32	砂層	土師器	製塩土器				3.6			687
685	溝32	砂層	土師器	製塩土器				3.6			684
686	溝32	砂層	土師器	製塩土器				4.4			686
687	溝32	砂層	土師器	製塩土器				3.8			685
688	溝32	砂層	土師器	製塩土器				4.8			683
689	溝32	砂層	土師器	製塩土器				4.4			682
690	溝32	ビート層 砂層	須恵器	杯蓋	15.0	4.2					757
691	溝32	ビート層	須恵器	杯蓋	13.8	4.3			ほぼ完形		696
692	溝32	ビート層 砂層	須恵器	杯蓋	13.5	4.2			完形		738
693	溝32		須恵器	杯身	10.8	5.1					793
694	溝32	ビート層	須恵器	杯身	11.0						759
695	溝32	ビート層 砂層	須恵器	杯身							758
696	溝32	砂層	須恵器	平瓶	6.8						706
697	溝33		土師器	甕	15.2	32.2	27.0				920
698	溝33	下層	土師器	小形甕	10.7	11.7	12.1		完形	外面煤付着	871
699	溝33		土師器	甕	11.3		14.2			外面煤付着	881
700	溝33		土師器	甕	16.0						919
701	溝33		土師器	高杯	21.0						905
702	溝33		土師器	手捏土器	4.6	3.6					918
703	溝34	最下層	土師器	壺	(12.0)		11.4				496
704	溝34	下層	土師器	甕	(14.4)						475
705	溝34	最下層	土師器	甕	(13.6)						476
706	溝34	下層	土師器	甕	(11.6)						477
707	溝34	最下層	土師器	甕	(18.4)						474
708	溝34	最下層	土師器	手捏土器				2.3			480
709	溝34	下層	土師器	手捏土器	4.8	4.1		1.8			481
710	溝34	下層	土師器	手捏土器	4.7	3.9			完形		482
711	溝34	上層	須恵器	甕							478
712	溝37		土師器	甕							426
713	溝43	上層	土師器	甕							234
714	溝43		土師器	鉢							235
715	欄列状遺構 2		須恵器	壺				5.8			155
716	欄列状遺構 3		須恵器	杯蓋							160
717	包含層		弥生土器	壺							870
718	包含層		弥生土器	甕	(21.6)						724
719	包含層		弥生土器	甕				4.2			492
720	包含層		弥生土器	甕				5.0			903
721	包含層		弥生土器	高杯	21.9						136
722	包含層		弥生土器	鉢	10.4	10.5		5.1			751
723	包含層		弥生土器	高杯	18.3	11.3		11.9			237
724	包含層		弥生土器	樽形土器							288
725	包含層		弥生土器	樽形土器							349
726	包含層		弥生土器	壺	23.1						816
727	包含層		弥生土器	壺	26.9						921
728	包含層		弥生土器	壺			48.0	16.6			922

掲載 番号	遺構名・層位		種別	器種	計測値 (cm)				残存状況	備考	実測 番号
					口径	器高	最大径	底径			
729	包含層		弥生土器	器台						線刻あり	150
730	包含層		弥生土器	甕	17.9	24.8	23.0	6.8			229
731	包含層		弥生土器	鉢	19.1	10.2	13.7	4.2			197
732	包含層		土師器	壺							487
733	包含層		弥生土器	ミニチュア土器	6.0	7.0	6.7	2.5			747
734	包含層		弥生土器	ミニチュア土器	6.8		6.5				705
735	包含層		土師器	壺	20.1		30.3				605
736	包含層		土師器	壺	9.2	7.8	9.4	1.5			598
737	包含層		須恵器	杯蓋							802
738	包含層		早島式土器	椀				5.4			557
739	包含層		早島式土器	椀				5.4			558
740	包含層		白磁	椀	15.9						137
741	包含層		備前焼	指鉢							405
742	包含層		備前焼	指鉢							406
743	包含層		瓦	平瓦						厚さ 1.95cm	731

表12 石器

掲載 番号	遺構名・層位		器種	計測値 (mm)			重量 (g)	石材	残存状況	備考	実測 番号
				最大長	最大幅	最大厚					
S1	土境 8		砥石	174.0	95.0	50.0	965.98	ホルンフェルス	欠損		63
S2	溝 2		石鏃	24.5	12.5	4.0	0.98	サヌカイト	完品		15
S3	溝 5		蛤刃石斧	148.0	72.0	48.5	778.82	安山岩	欠損		48
S4	溝 5		スクレイパー	65.0	39.0	7.0	18.33	サヌカイト	完品		35
S5	水川 2		石鏃	20.0	13.5	3.5	0.95	サヌカイト	わずかに欠損		74
S6	竪穴住居 2	P-8	砥石	63.0	45.5	17.5	75.62	ホルンフェルス	完品		54
S7	溝 11		石鏃	15.0	12.5	2.8	0.57	サヌカイト	欠損		64
S8	溝 12		石鏃	29.0	18.0	4.0	1.55	サヌカイト	完品		3
S9	溝 12		石鏃	23.5	18.0	3.2	0.95	サヌカイト	欠損		2
S10	溝 12		石鏃	22.5	12.5	3.0	0.57	サヌカイト	完品		1
S11	溝 12		石鏃	49.0	13.5	6.2	3.33	サヌカイト	欠損		26
S12	溝 12		磨石	114.0	50.0	44.0	365.82	石英内緑岩	完品		61
S13	溝 12	南岸土器集中部	石鏃	20.5	17.0	5.0	1.41	サヌカイト	欠損		4
S14	溝 12	南岸土器集中部	石鏃	18.0	17.5	3.5	0.95	サヌカイト	欠損		5
S15	溝 13	下層	不明石製品	49.0	39.0	25.0	78.30	輝緑岩	欠損		56
S16	溝 15	下層	打製石包丁	47.5	37.5	9.5	20.76	サヌカイト	欠損	ケイ酸付着	69
S17	溝 15	下層	スクレイパー	58.0	38.0	5.6	14.10	サヌカイト	完品		36
S18	溝 15	下層	石鏃	18.0	17.5	3.0	0.87	サヌカイト	わずかに欠損		13
S19	溝 15	下層	石鏃	46.0	17.0	4.8	4.12	サヌカイト	完品		12
S20	溝 15	下層	石鏃	43.0	12.5	4.7	3.26	サヌカイト	完品	ケイ酸付着、石包丁転用か	11
S21	溝 19		砥石?	46.0	35.0	23.0	40.91	サヌカイト	欠損		71
S22	水路 1		楔	79.0	33.5	7.0	21.15	サヌカイト	わずかに欠損		72
S23	竪穴住居 3		管玉	26.0	4.3	2.0	0.51	緑色岩	完品		50
S24	竪穴住居 3	貼床	管玉	25.5	4.3	2.0	0.72	安山岩	わずかに欠損		49
S25	竪穴住居 3		敲石	112.0	73.0	54.0	653.11	流紋岩	わずかに欠損		47
S26	竪穴住居 5	P-1 下層	磨石	81.0	55.0	46.0	283.20	流紋岩	完品		55
S27	溝 32	黒の層	有孔円板	21.5	1.5	3.5	2.48	滑石	わずかに欠損		31
S28	溝 32	黒の層	有孔円板	37.0	2.0	4.8	8.82	安山岩	欠損		33
S29	溝 32	黒の層	石鏃	101.0	76.0	56.0	640.00	安山岩	完品		46
S30	溝 32	ビート層砂層	石鏃	80.0	63.0	50.0	351.46	流紋岩	完品		45
S31	溝 32	ビート層砂層	石鏃	56.0	54.0	37.5	148.25	花崗岩	完品		57
S32	溝 32	砂層	砥石	77.0	57.0	39.5	194.15	流紋岩	欠損		58
S33	包含層		有孔円板	30.5	1.5	4.0	6.55	滑石	わずかに欠損		32
S34	包含層		打製石包丁	82.0	41.5	8.0	30.23	サヌカイト	完品		41
S35	包含層		打製石包丁	56.0	43.0	10.5	33.92	サヌカイト	欠損	ケイ酸付着	40
S36	包含層		スクレイパー	53.5	36.0	8.5	11.74	サヌカイト	完品		34
S37	包含層		石鏃	40.0	45.3	9.0	17.00	サヌカイト	欠損		37
S38	包含層		楔	43.0	32.5	8.0	13.98	サヌカイト	完品		67
S39	包含層		蛤刃石斧	61.0	49.0	38.0	104.46	安山岩	欠損		42
S40	包含層		石鏃	18.5	14.5	2.7	0.72	サヌカイト	わずかに欠損	ケイ酸付着、石包丁転用か	17
S41	包含層		石鏃	20.0	16.5	3.0	0.98	サヌカイト	完品		6
S42	包含層		石鏃	20.0	17.0	4.7	1.28	サヌカイト	欠損		16
S43	包含層		石鏃	19.0	17.5	4.8	1.10	サヌカイト	わずかに欠損		18
S44	包含層		石鏃	20.0	16.5	3.0	1.07	サヌカイト	わずかに欠損		23
S45	包含層		石鏃	24.5	19.0	3.0	1.09	サヌカイト	完品		9
S46	包含層		石鏃	25.0	17.5	4.0	1.34	サヌカイト	完品		19
S47	包含層		石鏃	24.0	11.5	3.0	0.82	サヌカイト	完品		8
S48	包含層		石鏃	36.0	21.0	7.0	4.04	サヌカイト	わずかに欠損		21
S49	包含層		石鏃	19.0	10.0	3.0	0.64	サヌカイト	完品		20
S50	包含層		石鏃	38.5	12.5	5.0	2.53	サヌカイト	わずかに欠損		25
S51	包含層		石鏃	29.0	13.5	3.8	1.60	サヌカイト	欠損		75
S52	包含層		石鏃	42.0	13.0	5.5	2.68	サヌカイト	完品		24
S53	包含層		石鏃	45.0	19.8	4.0	2.59	サヌカイト	完品		10
S54	包含層		砥石	130.0	95.0	54.0	964.85	流紋岩	わずかに欠損		60
S55	包含層		砥石	95.0	37.0	27.0	118.51	流紋岩	完品		44
S56	包含層		白玉	4.0	1.2	2.0	0.05	滑石	わずかに欠損		51

表13 金属器

掲載番号	遺構名・層位		器種	計測値 (mm)			重量 (g)	材質	残存状況	備考	実測番号
				最大長	最大幅	最大厚					
M1	竪穴住居2	床面直上	ヤリガンナ?	49.5	18.8	3.7	7.71	鉄器	欠損		5
M2	土塙23		鉄鏃?	57.8	9.5	3.5	5.00	鉄器	欠損		7
M3	溝12		不明	50.2	29.6	(6.3)	16.26	鉄器	欠損		2
M4	溝12		刀子?	53.8	11.2	3.2	6.26	鉄器	欠損		3
M5	溝15	下層	銅鏃	43.0	21.2	4.0	9.40	銅鏃	茎、欠損		9
M6	水路1		刀子?	39.7	12.6	4.5	6.34	鉄器	欠損		1
M7	竪穴住居7	壁体溝	刀子	5.4	8.0	1.7	2.73	鉄器	欠損		10
M8	竪穴住居9	床面直上	ヤリガンナ?	72.0	11.5	5.8	18.50	鉄器	欠損		4
M9	溝32		刀子	32.2	13.8	2.7	2.35	鉄器	欠損		6
M10	土塙(のつぼ?)		銅銭	25.6	-	-	3.32	銅銭	ほぼ完品	寛永通寶(文)	8
M11	包含層		紡錘車	77.3	6.6	7.2	12.60	鉄器	欠損	等最大径43.45mm 最大厚4.40mm	11

表14 土製品

掲載番号	遺構名・層位		器種	計測値 (cm)			重量 (g)	色調	残存状況	備考	実測番号
				最大長	最大幅	最大厚					
C1	溝12	南岸土器集中部	土玉	2.1	2.3	-	9.17	褐色(10YR5/1)	欠損	内孔径0.3cm	C10
C2	溝15	下層	紡錘車	4.1	4.3	0.5	9.59	黄灰色(2.5Y6/1)	欠損		C13
C3	溝15	下層	紡錘車	3.9	3.9	0.7	11.79	灰黄褐色(10YR6/2)	欠損		C11
C4	溝15	下層	土鏃	3.7	3.0	3.1	31.30	黄灰色(2.5Y6/1)	完形		C5
C5	溝15	下層	土鏃	8.7	3.4	3.1	96.23	灰黄色(2.5Y6/2)	完形		C1
C6	溝32	砂層	土鏃	5.4	1.2	1.0	5.89	灰黄色(2.5Y7/2)	ほぼ完形		C2
C7	溝32	砂層	土鏃	5.8	1.5	1.3	9.50	灰黄色(2.5Y7/2)	ほぼ完形		C3
C8	包含層		円板形土製品	5.6	5.5	1.4	54.89	灰オリーブ色(5Y6/2)	完形	白磁碗	C8
C9	包含層		円板形土製品	7.4	5.7	2.2	90.76	灰白色(5Y7/1)	欠損	青磁碗?	C7

表15 木器

掲載番号	遺構名		器種	計測値 (cm)			樹種	木取り	残存状況	備考	実測番号
				最大長	最大幅	最大厚					
W1	溝8		広鋸	26.0	16.4	1.2	-	榎目材	欠損		W3
W2	溝8		鋤状木製品	(24.6)	11.5	1.1	サクラ属	榎目材	欠損		W16
W3	溝8		部材	(24.1)	6.4	4.1	ツガ属	板目材	欠損		W57
W4	溝8		不明木製品	67.2	7.2	3.1	ミクロジ	榎目材	完形		W61
W5	溝8		部材	(55.8)	3.0	3.0	-	丸太材	欠損		W2
W6	溝8		部材	22.4	6.7	1.3	コナラ属アカガシ亜属	榎目材	欠損		W31
W7	溝8		柱	(24.6)	10.8	9.9	コナラ属コナラ亜属	丸太材	欠損		W62
W8	溝8		容器	21	16.2	11.5	-	半裁材	完形	表面に漆を塗布	W80
W9	溝15		盾	(9.0)	(3.3)	0.5	モミ属	板目材	欠損		W35
W10	溝15		盾	(13.2)	(2.3)	0.7	モミ属	板目材	欠損		W36
W11	溝15		盾	(18.6)	(4.8)	0.7	モミ属	板目材	欠損		W37
W12	溝15		不明木製品	(22.2)	1.2	0.6	-	板目材	欠損		W50
W13	溝15		部材	(23.6)	4.8	1.4	ヤマグワ	榎目材	欠損		W34
W14	溝15		又鋸	(37.5)	6.1	0.9	コナラ属アカガシ亜属	榎目材	欠損		W33
W15	溝15		又鋸	(13.1)	5.6	1.4	-	榎目材	欠損	未製品か	W48
W16	竪穴住居4	P-1	柱	55.5	13.0	(10.7)	コナラ属コナラ節	丸太材	欠損		W68
W17	竪穴住居4	P-2	柱	55.8	9.7	8.3	コナラ属コナラ節	丸太材	欠損		W66
W18	竪穴住居5	P-2	柱	46.2	10.9	(12.1)	コナラ属コナラ節	丸太材	欠損		W65
W19	竪穴住居7(古)	P-1	柱	(19.2)	11.9	11.6	コナラ属コナラ節	丸太材	欠損		W64
W20	竪穴住居11		壁備	(1.8)	1.7	-	-	-	欠損	表面の漆膜のみ残存	W71
W21	井戸8	第6層	又鋸	(40.7)	5.6	0.8	コナラ属アカガシ亜属	榎目材	欠損		W45
W22	井戸8	下層	杭	(24.9)	4.0	3.8	-	丸太材	欠損		W46
W23	井戸10	下層	木鏃	7.4	4.5	-	-	丸太材	欠損		W17
W24	溝32	東壁杭列	杭	(46.4)	12	-	サクラ属	丸太材	欠損		W79
W25	溝32	東壁杭列	杭	(42.5)	9	-	コナラ属クスギ節	丸太材	欠損		W78
W26	溝32	東壁杭列	杭	(43.2)	4	-	コナラ属コナラ節	丸太材	欠損		W73
W27	溝32	東壁杭列	部材	(68.1)	(15.0)	(4.0)	コナラ属アカガシ亜属	榎目材	欠損		W69
W28	溝32		広鋸	15.55	34.25	1.5	-	榎目材	欠損		W13
W29	溝32	砂層上面	一木鋸	(95.6)	柄(2.9) 刃(9.7)	2.45	-	榎目材	欠損		W15
W30	溝32	東側杭列	鋸	(25.25)	(7.9)	1.25	-	榎目材	欠損		W5
W31	溝32	ビート層 砂層	又鋸	(13.9)	6.0	0.6	-	榎目材	欠損		W25
W32	溝32	褐色粘質土	鋸	(31.7)	(6.1)	1.6	-	榎目材	欠損		W14
W33	溝32	褐色粘質土	鋸	(46.0)	(6.2)	1.2	-	榎目材	欠損		W8
W34	溝32	東壁杭列	締打具	41.7	4.5	1.3	-	板目材	ほぼ完形	側面に糸の圧痕	W6
W35	溝32	砂層上面	締打具	38.1	5.3	1.3	-	板目材	欠損		W11
W36	溝32	東岸護岸	容器	7.2	2.4	1.2	-	板目材	欠損		W7
W37	溝32	ビート層 砂層	部材	(52.6)	13.7	1.2	スギ	板目材	欠損		W38
W38	溝32	ビート層 砂層	部材	(14.9)	9.2	1.9	-	板目材	欠損		W23
W39	溝32	ビート層 砂層	納	(39.2)	4.8	4.4	マツ属複雑維管束亜属	芯去材	欠損		W47
W40	溝32	砂層上面	納	30.7	14.6	5.4	-	芯去材	完形	枝部分を利用	W12
W41	溝32	ビート層 砂層	部材	14.8	8.0	3.3	-	板目材	欠損		W43
W42	溝32	砂層上面	部材	(62.4)	2.3	2.8	スギ	榎目材	欠損		W54

掲載 番号	遺構名		器種	計測値 (cm)			樹種	木取り	残存状況	備考	実測 番号
				最大長	最大幅	最大厚					
W43	溝32	ビート層	部材	(52.3)	5.3	1.9	ヒノキ	桎目材	欠損		W39
W44	溝32	ビート層 砂層	部材	(53.4)	(4.5)	1.2	-	板目材	欠損		W52
W45	溝32	ビート層	部材	51.1	2.5	1.7	-	芯去材	ほぼ完形		W44
W46	溝32	ビート層 砂層	部材	(25.9)	5.7	2.0	-	板目材	欠損		W51
W47	溝32	ビート層 砂層	部材	27.4	7.8	1.1	スギ	桎目材	欠損		W27
W48	溝32	ビート層 砂層	部材	(13.0)	3.8	2.8	-	桎目材	欠損		W24
W49	溝32	ビート層 砂層	部材	64.6	9.3	3.3	-	板目材	欠損		W41
W50	溝32	ビート層 砂層	部材	(49.9)	(21.0)	(11.3)	-	桎目材	欠損		W67
W51	溝32	東壁杭列	部材	(40.0)	14.4	4.8	ニガキ	板目材	欠損		W63
W52	溝32	ビート層 砂層	建築部材	(22.4)	3.6	2.5	タイミンタチバナ	丸太材	欠損		W21
W53	溝32	東壁杭列	建築部材	(18.4)	4.2	3.8	ツブラジイ	丸太材	欠損		W22
W54	溝32	東壁杭列	建築部材	(33.5)	5.8	6.0	サカキ	丸太材	欠損		W32
W55	溝32	東壁杭列	建築部材	(24.7)	4.9	4.5	コナラ属コナラ節	丸太材	欠損	杭に転用?	W26
W56	溝32	東壁杭列	建築部材	(37.2)	4.1	3.8	コナラ属アカガシ亜属	丸太材	欠損		W28
W57	溝32	ビート層	建築部材	(32.4)	5.1	(2.4)	サカキ	丸太材	欠損		W40
W58	溝32	ビート層 砂層	建築部材	(45.0)	(5.5)	(2.4)	-	板目材	欠損		W42
W59	溝32	ビート層	建築部材	(13.8)	(5.5)	1.6	-	桎目材	欠損		W19
W60	溝32	ビート層	建築部材	(18.5)	12.0	1.8	-	板目材	欠損		W18
W61	溝32		建築部材	(45.9)	10.0	2.8	ヒノキ	桎目材	欠損		W56
W62	溝32		建築部材	(57.0)	6.3	2.5	-	桎目材	欠損		W1
W63	溝32	東壁杭列付近	建築部材	69.1	5.9	3.3	コナラ属アカガシ亜属	芯持材	ほぼ完形		W58
W64	溝32		建築部材	(53.5)	6.0	5.7	-	丸太材	欠損		W55
W65	溝34	下層	部材	22.8	11.25	4.6	-	板目材	欠損		W4

表16 ガラス製品

掲載 番号	遺構名	器種	計測値 (mm)			重量 (g)	色調	残存状況	備考	実測 番号
			最大径	最大厚	孔径					
G1	溝32	小玉	4.8	3.5	1.2	0.02	浅葱色	完形		52
G2	溝32	小玉	3.0	2.5	1.2	0.09	亜麻色	完形		53

新旧遺構対照表

報告書遺構名	調査年度	調査時No
竪穴住居1	H13	136
竪穴住居2	H14	29
竪穴住居3	H13	19
竪穴住居4	H13	50・55
竪穴住居5	H13	104
竪穴住居6	H13	135
竪穴住居7	H13	131
竪穴住居8	H13	152
竪穴住居9	H13	8
竪穴住居10	H14	16
竪穴住居11	H13	5
掘立柱建物1	H13	15
掘立柱建物2	H13	16
掘立柱建物3	H13	18
掘立柱建物4	H13	43
掘立柱建物5	H13	41
掘立柱建物6	H13	33
掘立柱建物7	H13	37
掘立柱建物8	H13	35
掘立柱建物9	II13	80
掘立柱建物10	II13	74
掘立柱建物11	II13	73
掘立柱建物12	II13	77
掘立柱建物13	II13	79
掘立柱建物14	II13	75・77
掘立柱建物15	H13	52
掘立柱建物16	H13	64
掘立柱建物17	H13	107・P30・P40
掘立柱建物18	H13	106
掘立柱建物19	H13	P22・P27・P28
掘立柱建物20	H13	117
掘立柱建物21	H13	P37・P38・P41・P43・P44
掘立柱建物22	H13	191
掘立柱建物23	H13	187
掘立柱建物24	H13	141

報告書遺構名	調査年度	調査時No
掘立柱建物25	H13	176
掘立柱建物26	H13	177
掘立柱建物27	II13	178
掘立柱建物28	II13	P85・P86・P90
掘立柱建物29	II13	P80
掘立柱建物30	II13	186
掘立柱建物31	II13	-
掘立柱建物32	II13	P89
掘立柱建物33	H13	P57・P58
掘立柱建物34	H13	-
掘立柱建物35	H13	188・P83
掘立柱建物36	H14	10
掘立柱建物37	H13	P5
掘立柱建物38	H13	-
掘立柱建物39	H14	27
掘立柱建物40	H13	10・11
井戸1	H13	51
井戸2	H13	153
井戸3	H14	14
井戸4	H14	33
井戸5	H13	115
井戸6	H13	143
井戸7	H13	170
井戸8	H13	140
井戸9	H13	154
井戸10	H14	12
土塚1	H13	17
土塚2	H13	29
土塚3	H13	28
土塚4	H13	30
土塚5	H13	34
土塚6	H13	32
土塚7	H13	39
土塚8	H13	47
土塚9	H13	38

報告書遺構名	調査年度	調査時No
土壇10	H13	82
土壇11	H13	65
土壇12	H13	71
土壇13	H13	69
土壇14	H13	98
土壇15	H13	56
土壇16	H13	63
土壇17	H13	185
土壇18	H16	29
土壇19	H13	97
土壇20	H13	102
土壇21	H13	57
土壇22	H13	87
土壇23	H13	99
土壇24	H13	90
土壇25	H13	89
土壇26	H13	100
土壇27	H13	103
土壇28	H13	54
土壇29	H13	108
土壇30	H13	67
土壇31	H13	96
土壇32	H13	179
土壇33	H13	147
土壇34	H13	173
土壇35	H13	148
土壇36	H13	151
土壇37	H13	150
土壇38	H14	20
土壇39	H14	17
土壇40	H13	22
土壇41	H13	20
土壇42	H13	21
土壇43	H13	12
土壇44	H13	94
土壇45	H13	105
土壇46	H13	139
土壇47	H14	13
土壇48	H14	9
土壇49	H14	31
土壇50	H13	2
土壇51	H13	49
土壇52	H13	127
土壇53	H16	3
柱穴列1	H13	13・14
柱穴列2	H13	44
柱穴列3	H13	81
柱穴列4	H13	58・66
柱穴列5	H13	189・P65
柱穴列6	H13	9
溝1	H14	24
溝2	H16	9
溝3	H13	175
溝4	H13	46
溝5	H13	36

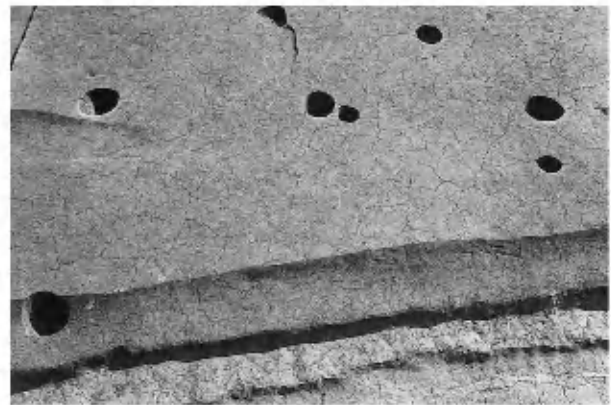
報告書遺構名	調査年度	調査時No
溝5	H13	70
溝6	H13	72
溝7	H13	78
溝8	H13	129
溝9	H13	172
溝10	H13	31・59・161
溝11	H13	5・161・184
溝12	H13	4・160
溝13	H13	190
溝14	H13	-
溝15	H13	128
溝16	H13	192
溝17	H13	158
溝18	H13	174
溝19	H13	114
溝20	H13	61
溝21	H13	159
溝22	H13	195
溝23	H14	21
溝24	H13	194
溝25	H13	60
溝26	H13	88
溝27	H13	144
溝28	H13	142
溝29	H13	62
溝30	H13	145
溝31	H13	138
溝32	H13	182
溝33	H13	86
溝34	H13	128上層
溝35	H13	83
溝36	H13	133
溝37	H13	130
溝38	H13	12
溝39	H13	137
溝40	H13	164
溝41	H13	163
溝42	H14	155
溝43	H14	11
溝44	H14	7
溝45	H14	3
溝46	H14	2
溝47	H16	4
溝48	H13	124
溝49	H16	1
溝50	H14	1
溝51	H14	6
溝52	H16	3
土器溜まり	H13	23
焼土集中部	H13	53
欄列状遺構1	H13	166
欄列状遺構2	H13	165
欄列状遺構3	H13	171
窪み	H13	119
水路1	H13	3・146
水路2	H13	128中層
水路3	H13	157



1 弥生時代中期掘立柱建物群（東から）



2 掘立柱建物8（東から）



3 掘立柱建物10（北から）



4 掘立柱建物11（北東から）

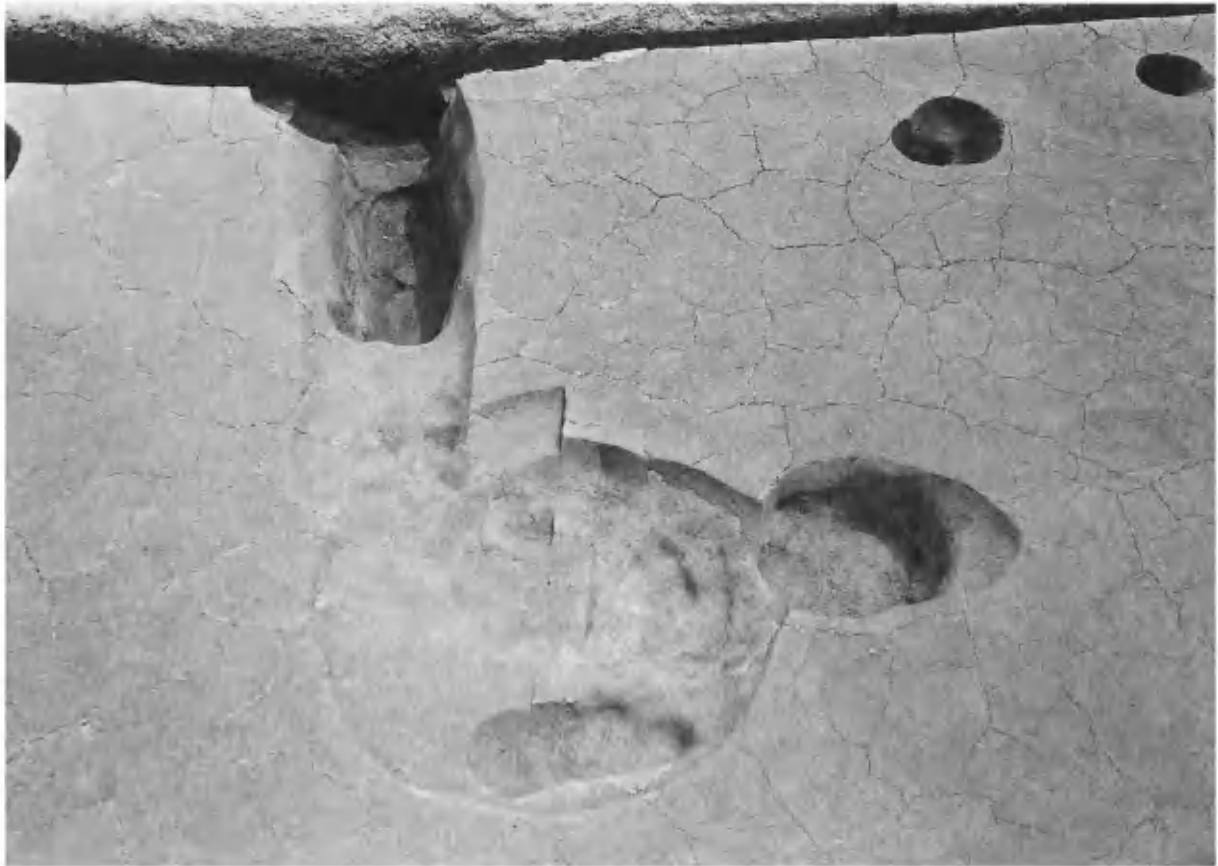
図版 2



1 土壇 1 (北から)



2 土壇 5 断面 (南から)



3 土壇 4・土壇 5・溝 3 (北から)



4 土壇 11 (東から)



5 土壇 15 (北から)



1 溝2 断面 (南東から)



2 溝5 (北東から)



3 溝8 木製品 (W8) 出土状況 (南西から)



4 溝8 (東から)

図版 4



1 水田1 (東から)



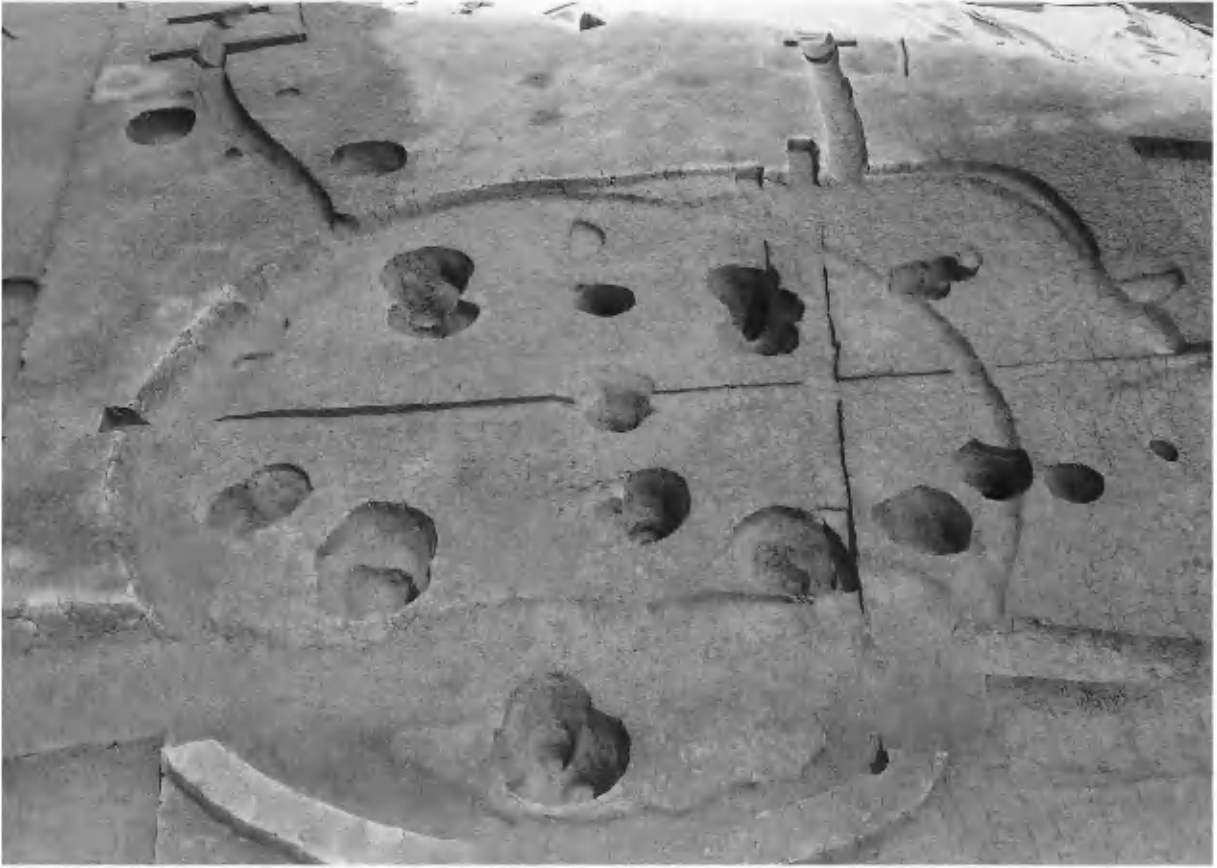
2 水田1 調査風景 (北東から)



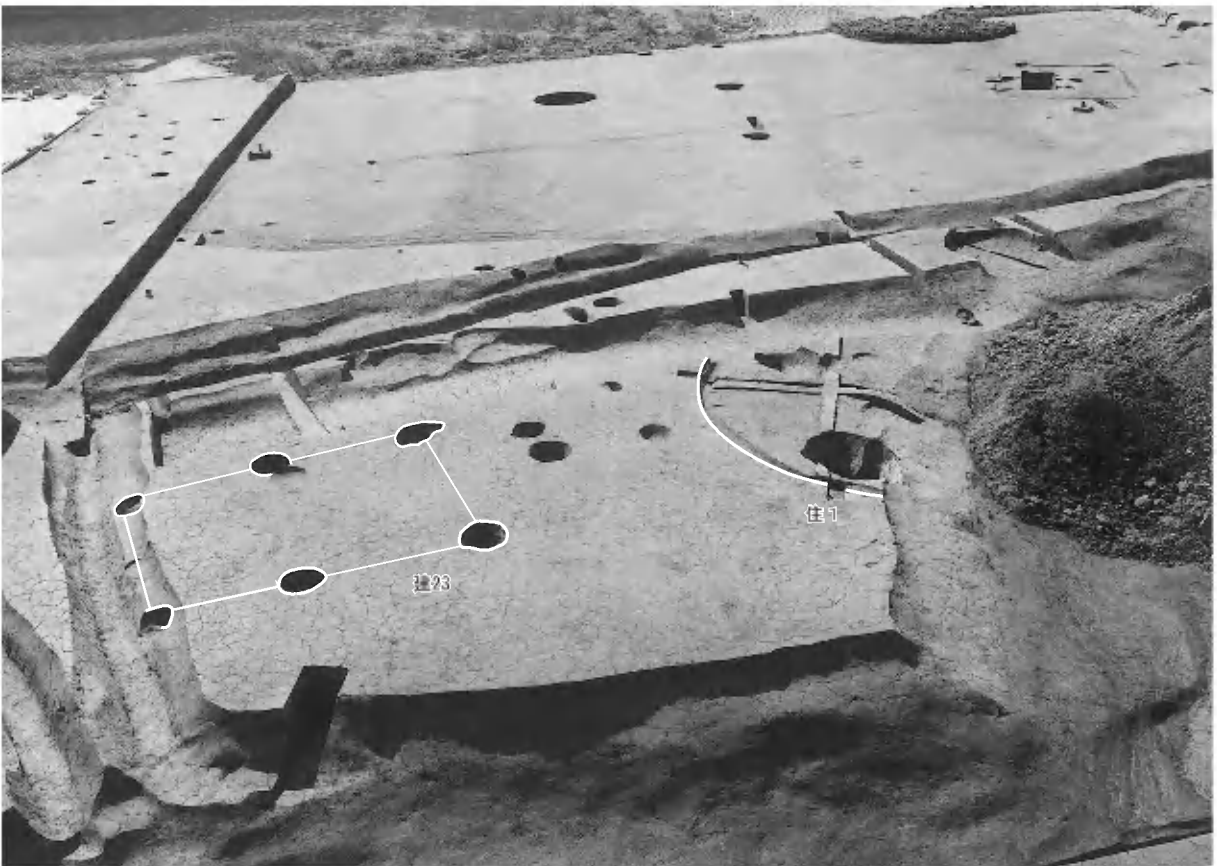
3 水田2 蛙畔検出状況 (南東から)



4 水田2 (北から)

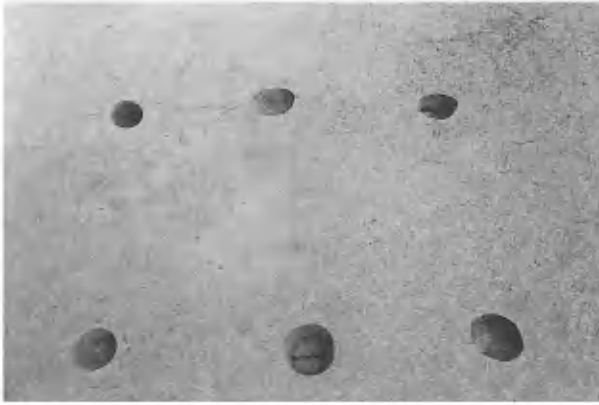


1 竪穴住居 2 (南から)

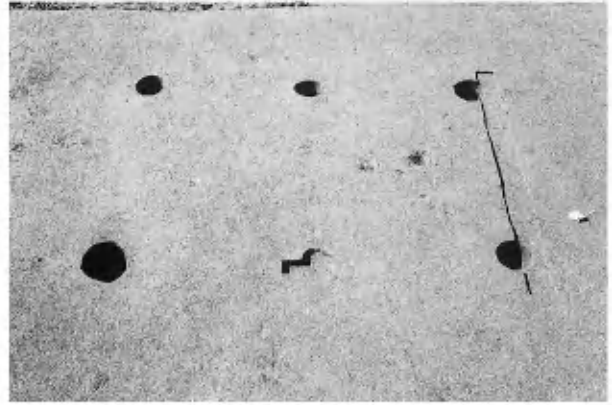


2 竪穴住居 1・掘立柱建物23 (北から)

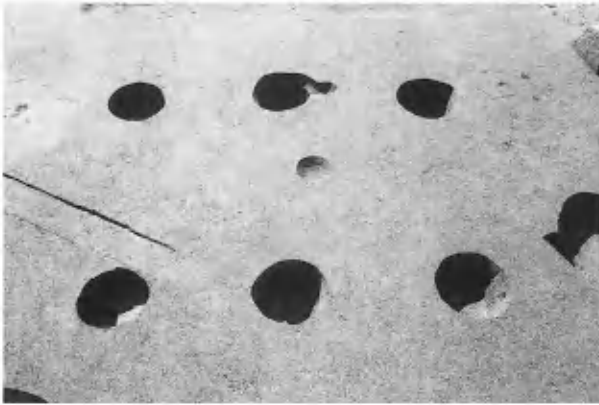
図版 6



1 掘立柱建物15 (南西から)



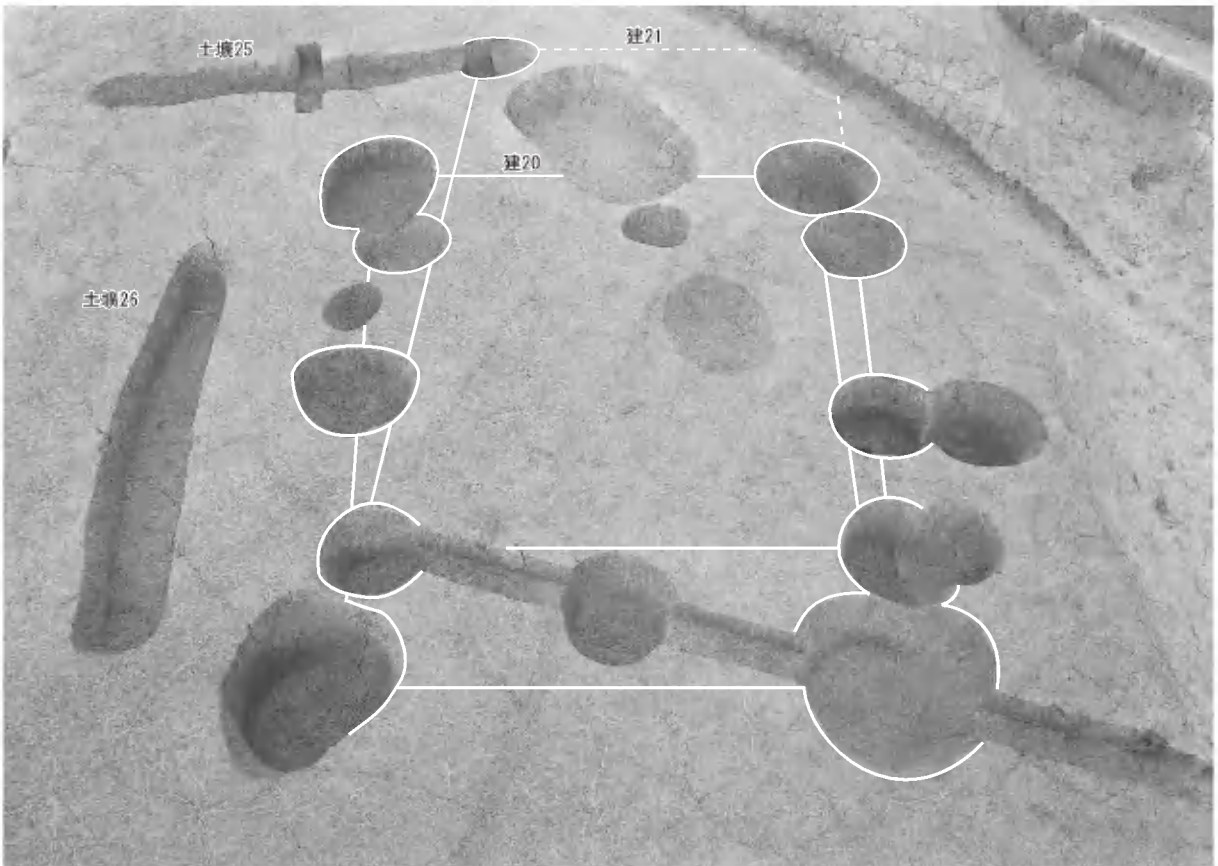
2 掘立柱建物16 (北東から)



3 掘立柱建物18 (北東から)



4 掘立柱建物22 (南西から)



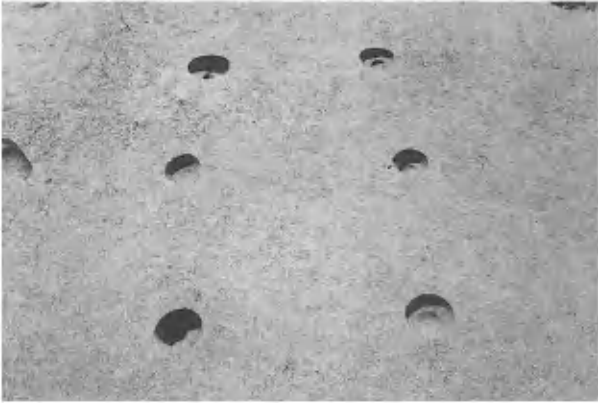
5 掘立柱建物20・21、土坑25・26 (南東から)



1 掘立柱建物24 (北東から)



2 掘立柱建物25・26 (西から)



3 掘立柱建物27 (北から)

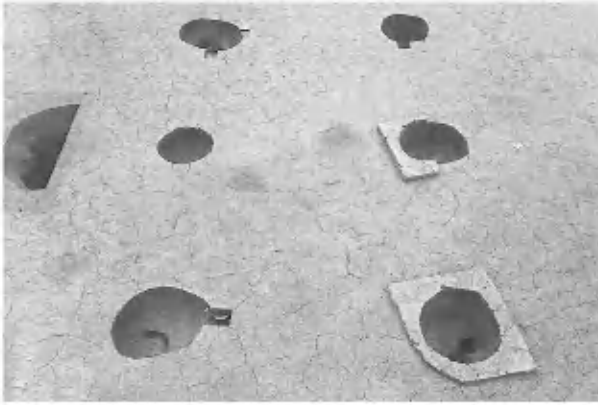


4 掘立柱建物30 (北東から)



5 掘立柱建物39 (北から)

図版 8



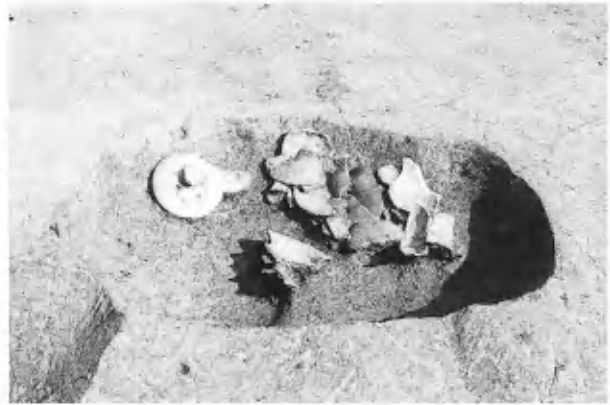
1 掘立柱建物36 (南東から)



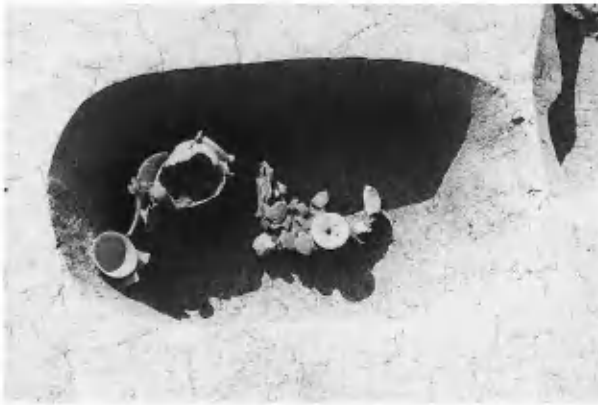
2 井戸2 (南から)



3 井戸4 土器出土状況 (東から)



4 土壌22 (南から)



5 土壌23 (南から)



6 土壌28 (東から)



7 土壌32 (東から)



8 土壌38 (北から)



1 溝10・11・12 -西部- (東から)

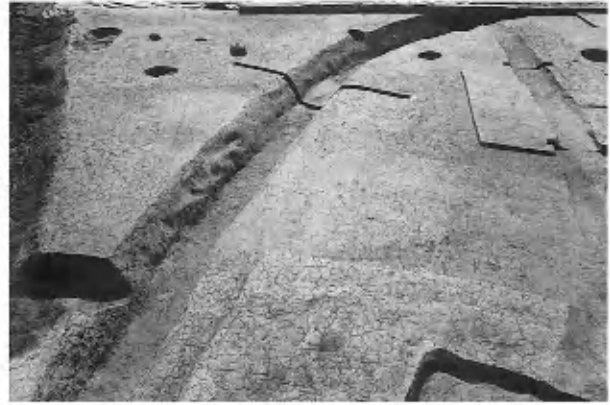


2 溝10・11・12 -中央部- (東から)

図版10



1 溝11・12 -東部- (北東から)



2 溝22 (東から)



3 溝15 (北西から)



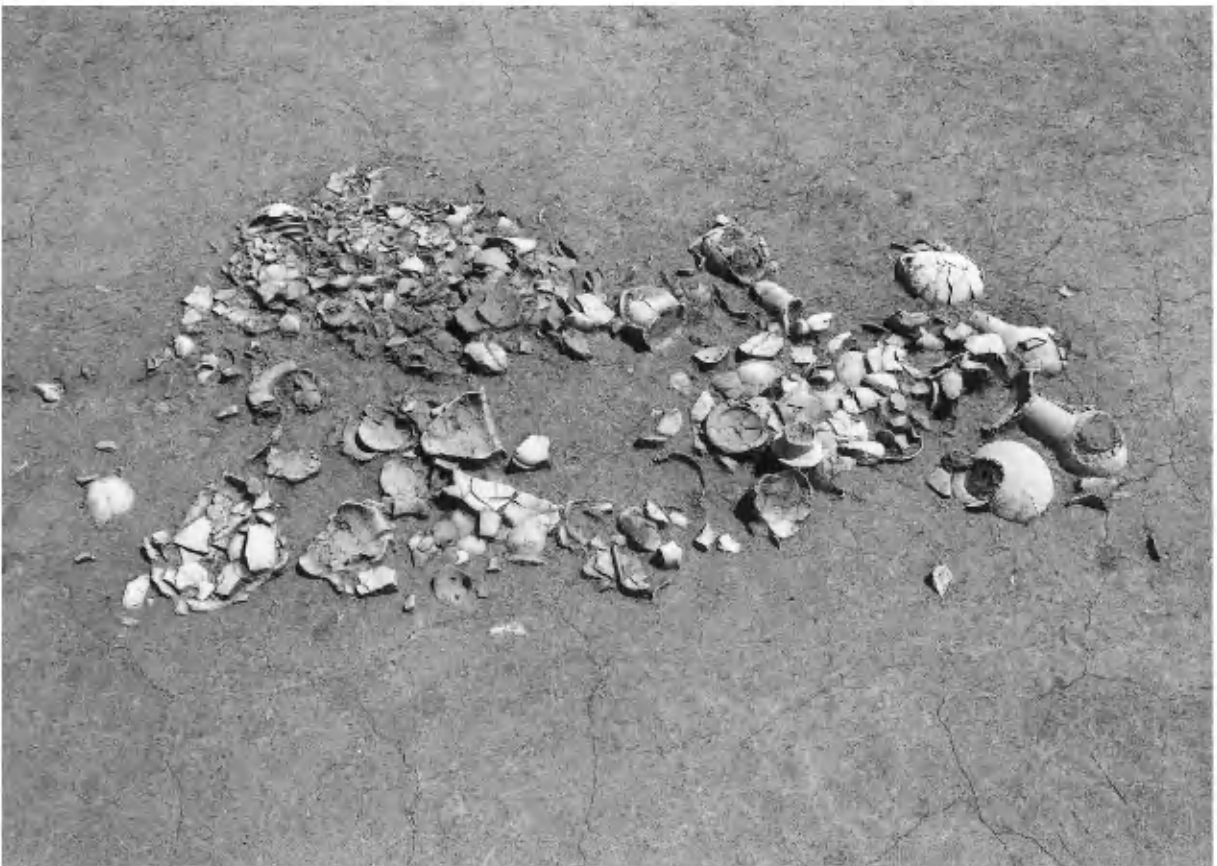
4 水路1 (南西から)



5 水路1・3 合流部 (北西から)



1 溝12 南岸土器集中部 (北から)



2 溝13 土器出土状況 (北から)

図版12



1 水田4 調査風景



2 水田4 溝状遺構 (東から)



3 水田4 島状高まり盛土部分 (南から)

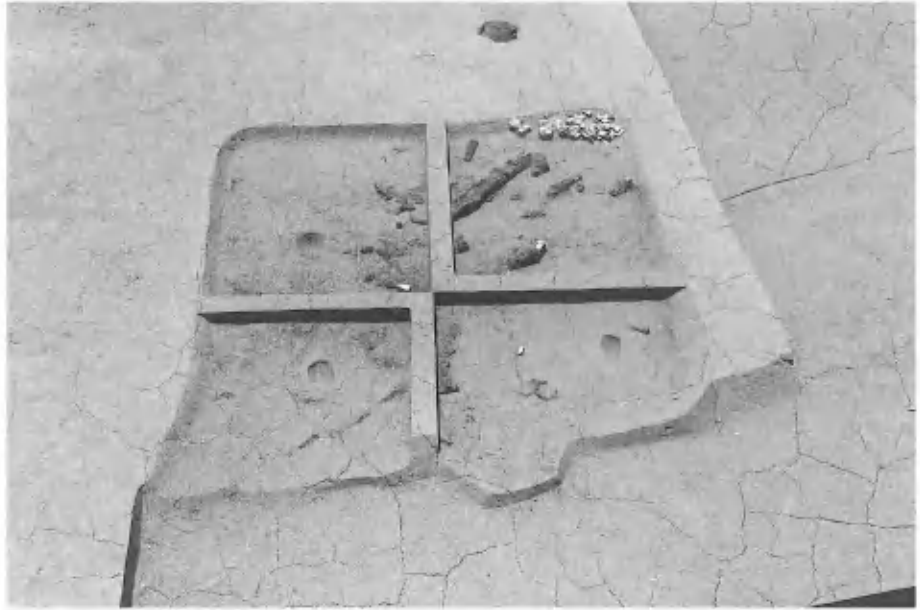


4 水田6 -西半- (南東から)

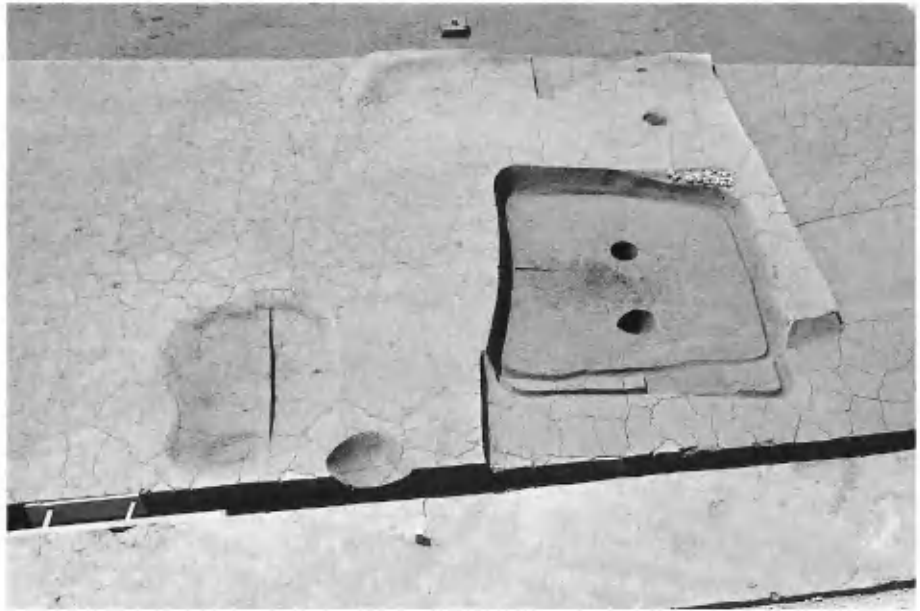


5 水田6 -東半- (北東から)

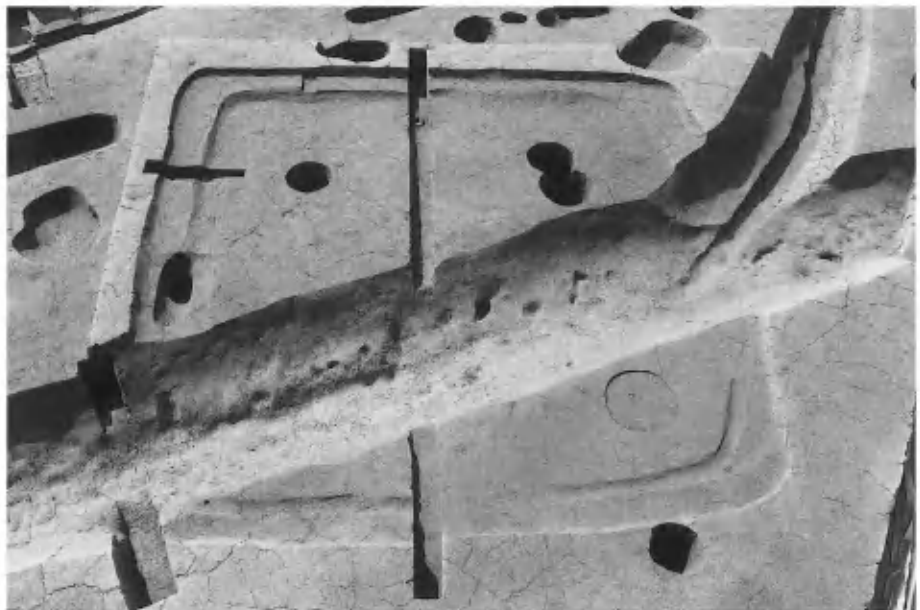
1 竪穴住居3
炭化材検出状況
(北から)



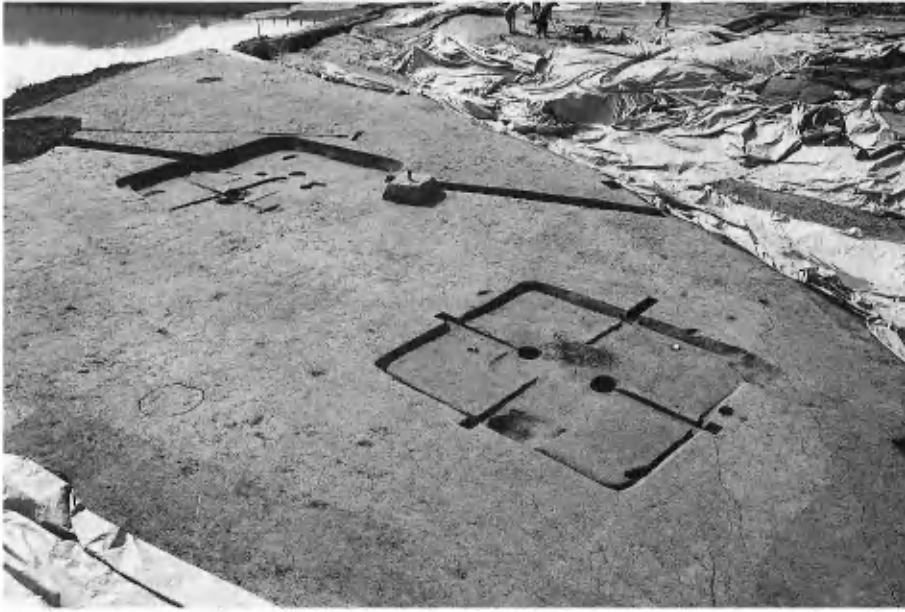
2 竪穴住居3
土壌40・41
(北から)



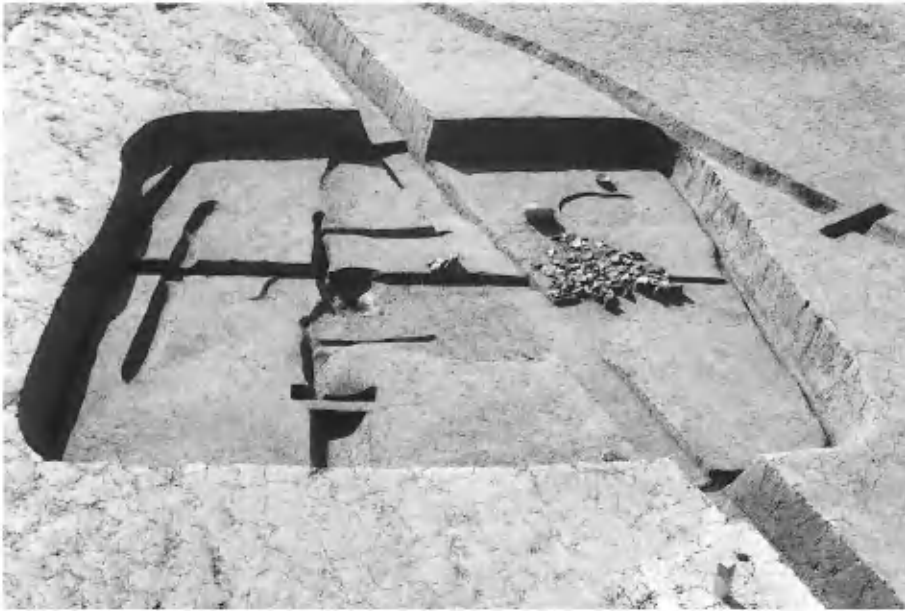
3 竪穴住居5
(北東から)



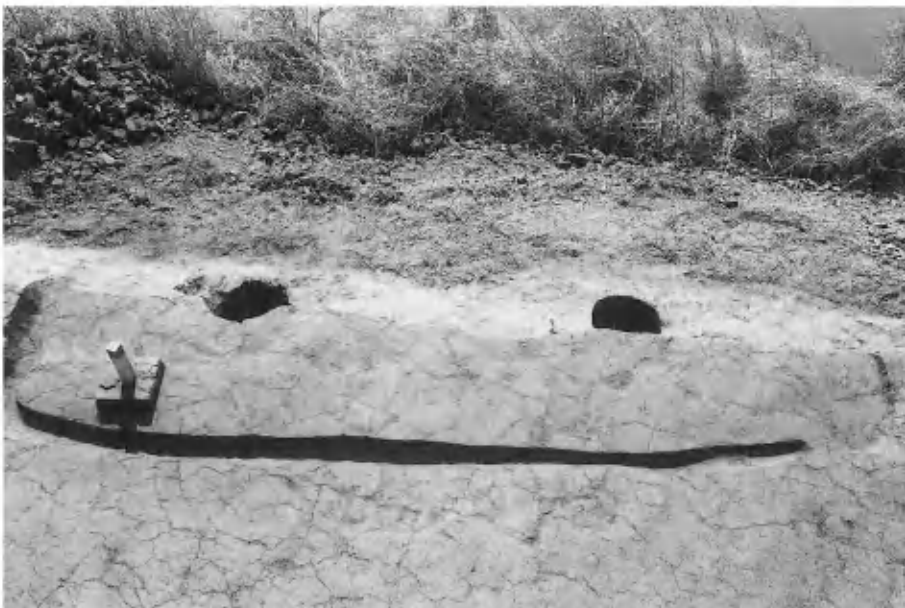
図版14



1 竪穴住居6：前
竪穴住居7：奥
(北東から)



2 竪穴住居7
(北東から)

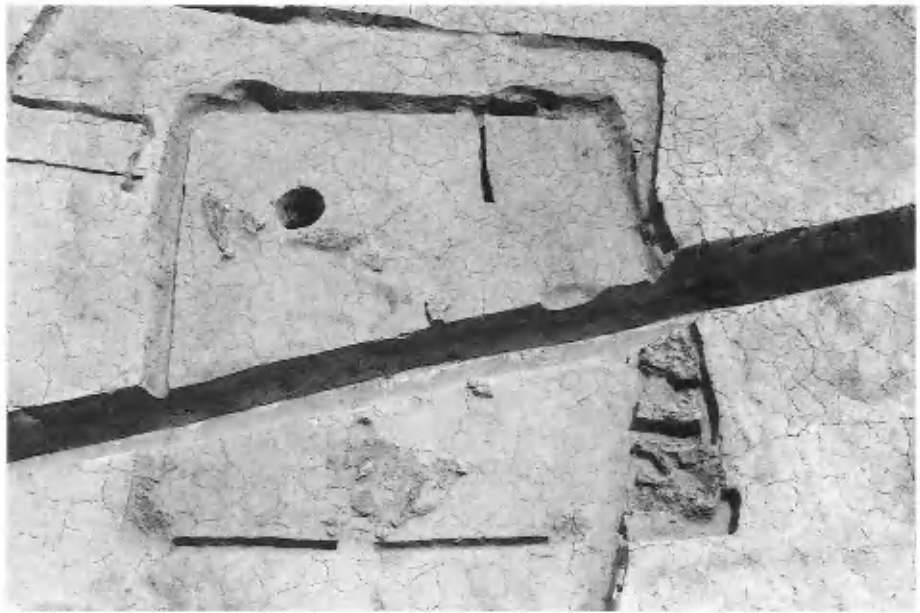


3 竪穴住居8
(北西から)

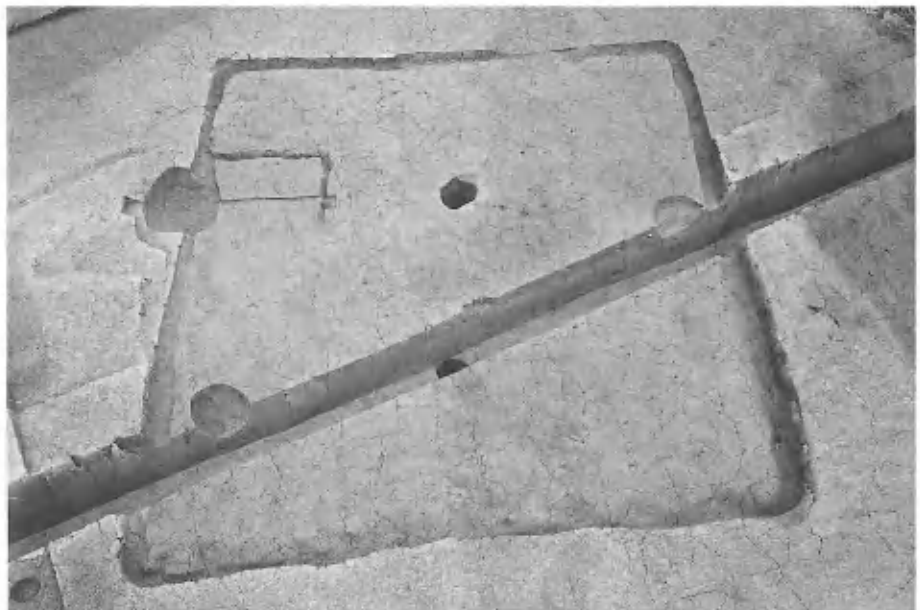
1 竪穴住居9
(南から)



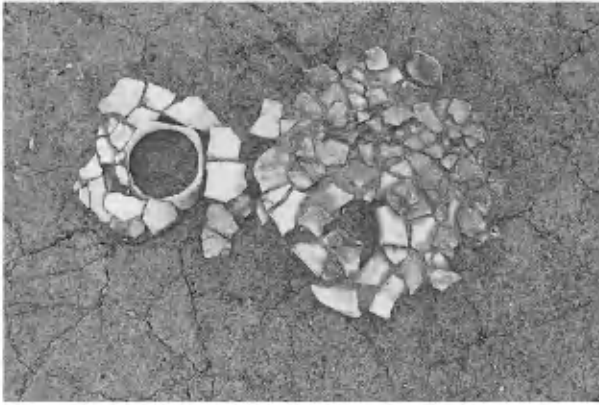
2 竪穴住居10
(北西から)



3 竪穴住居11
(北西から)



図版16



1 竪穴住居11 土器出土状況 (東から)



2 井戸6 (北から)



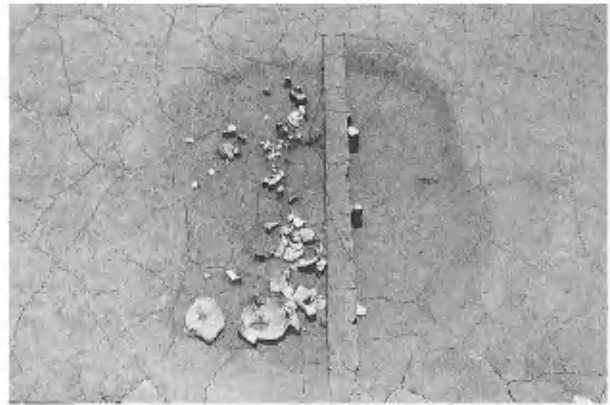
3 井戸7 (西から)



4 井戸8 (南から)



5 井戸10 (南から)



6 土壌41 (北から)



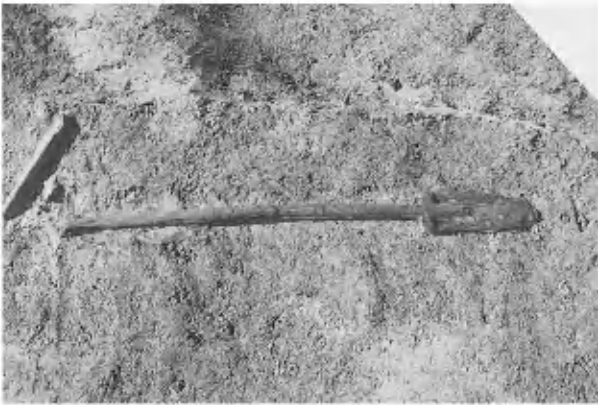
7 土壌49 (北から)



8 溝34 断面 (南西から)



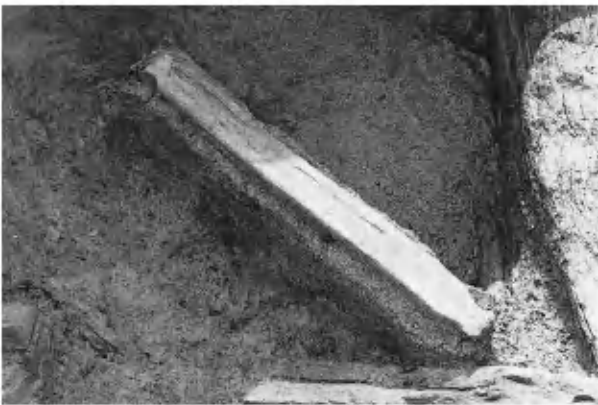
1 溝32 (北から)



2 溝32 木製品W29出土状況 (北東から)



3 溝32 木製品W30出土状況 (北東から)



4 溝32 木製品W34出土状況 (北から)



5 溝32 木製品W35出土状況 (東から)

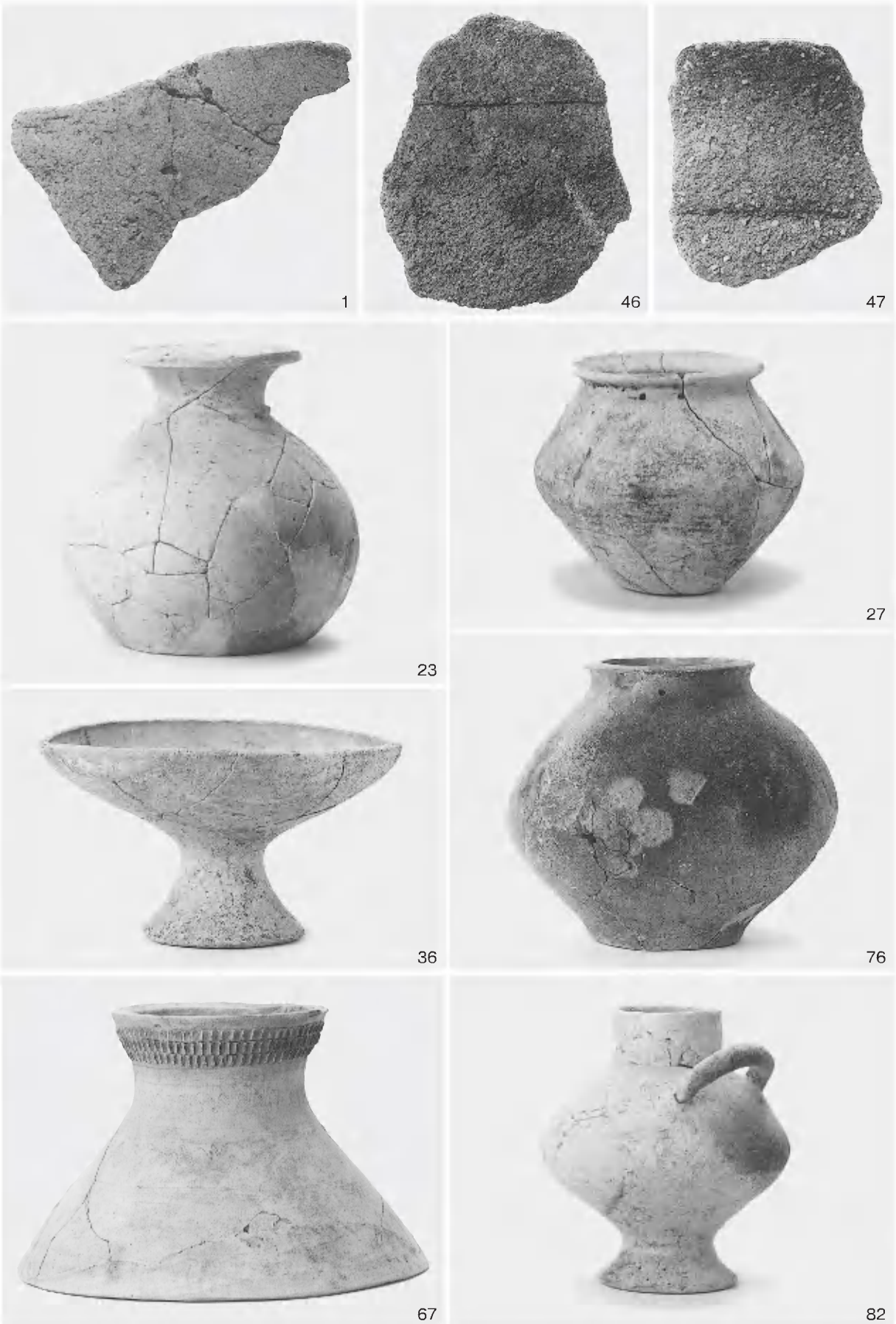
図版18



1 溝32 杭群 (西から)

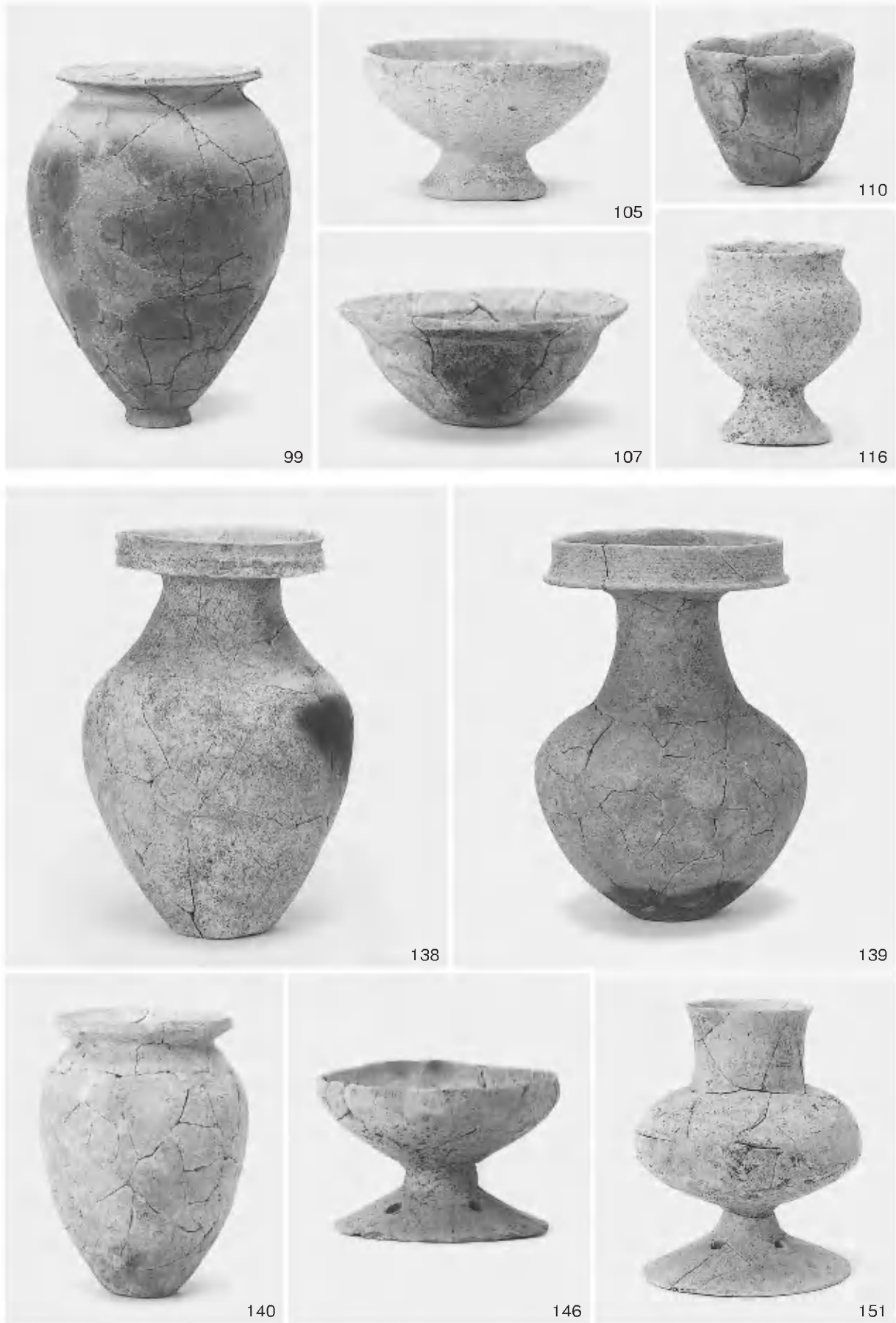


2 溝32 杭群 断面 (西から)



弥生時代中期以前の土器

图版20



竖穴住居2・井戸4 出土土器



156



158



241



247



246



251



246



262



270

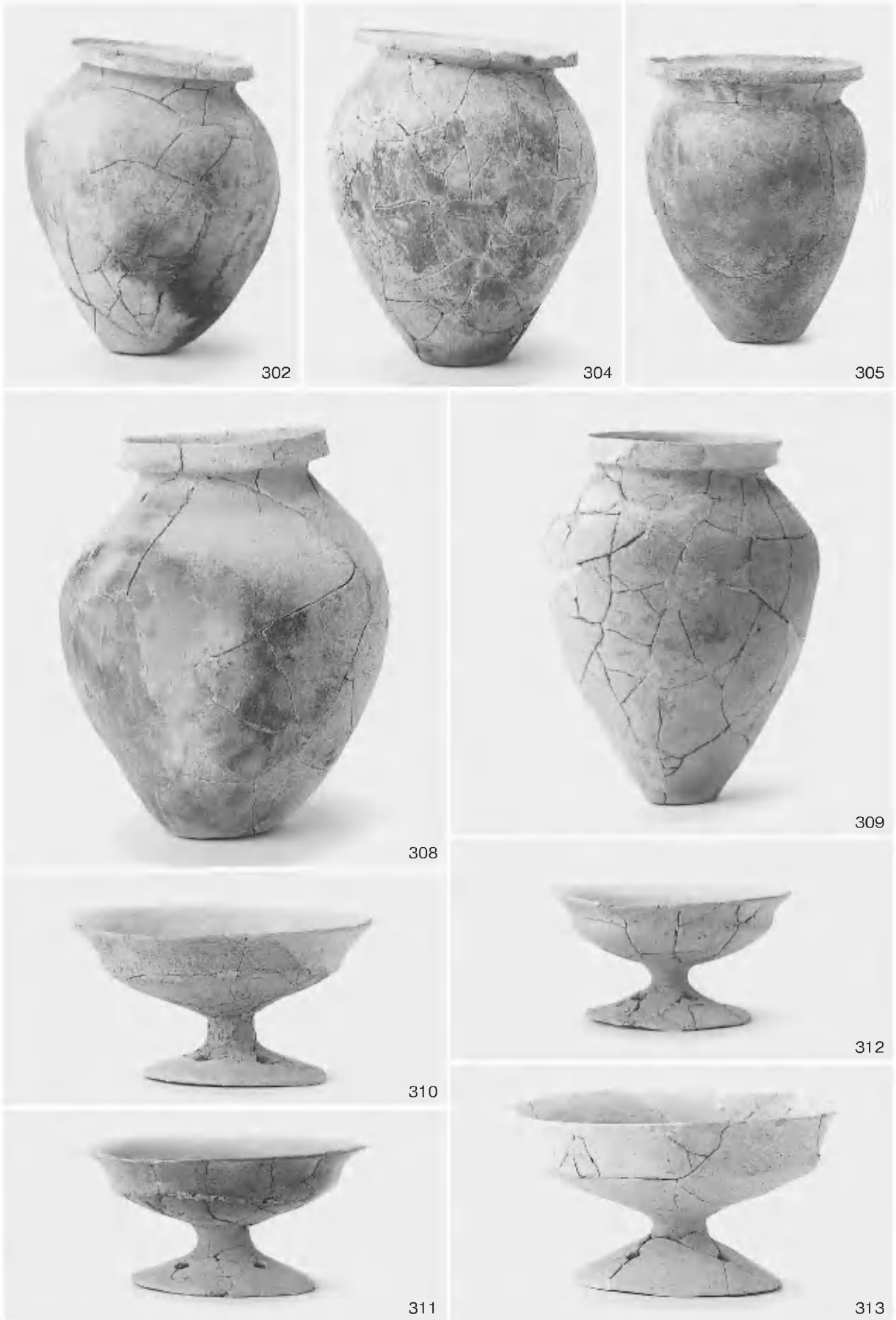


279

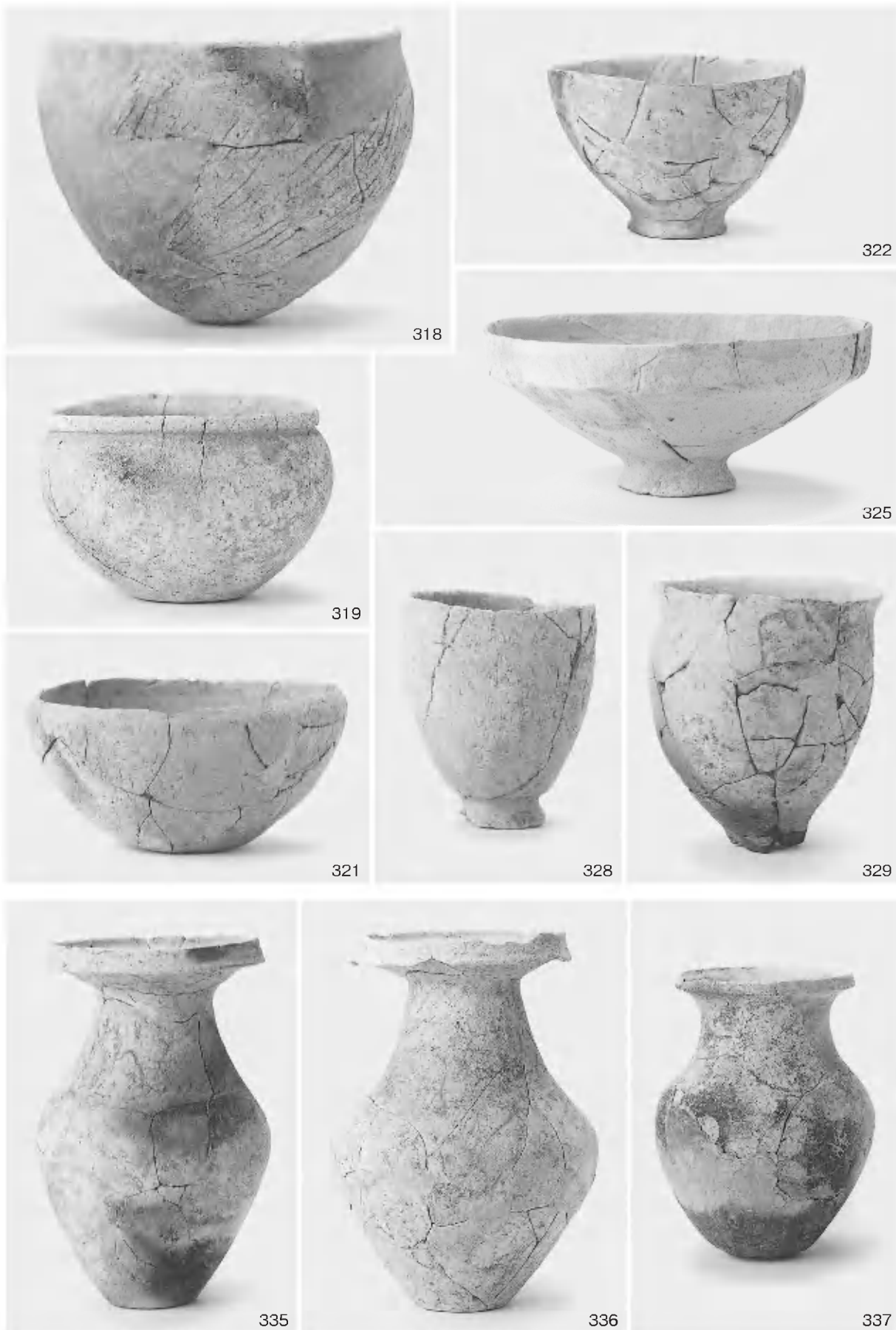
土壙22·溝12 出土土器



溝12 南岸土器集中部出土土器①



溝12 南岸土器集中部出土土器②



溝12 南岸土器集中部出土土器③、溝13 出土土器①





358



360



361



362



363



364



365



366



溝13 出土土器④、溝15 出土土器、溝18 出土土器①

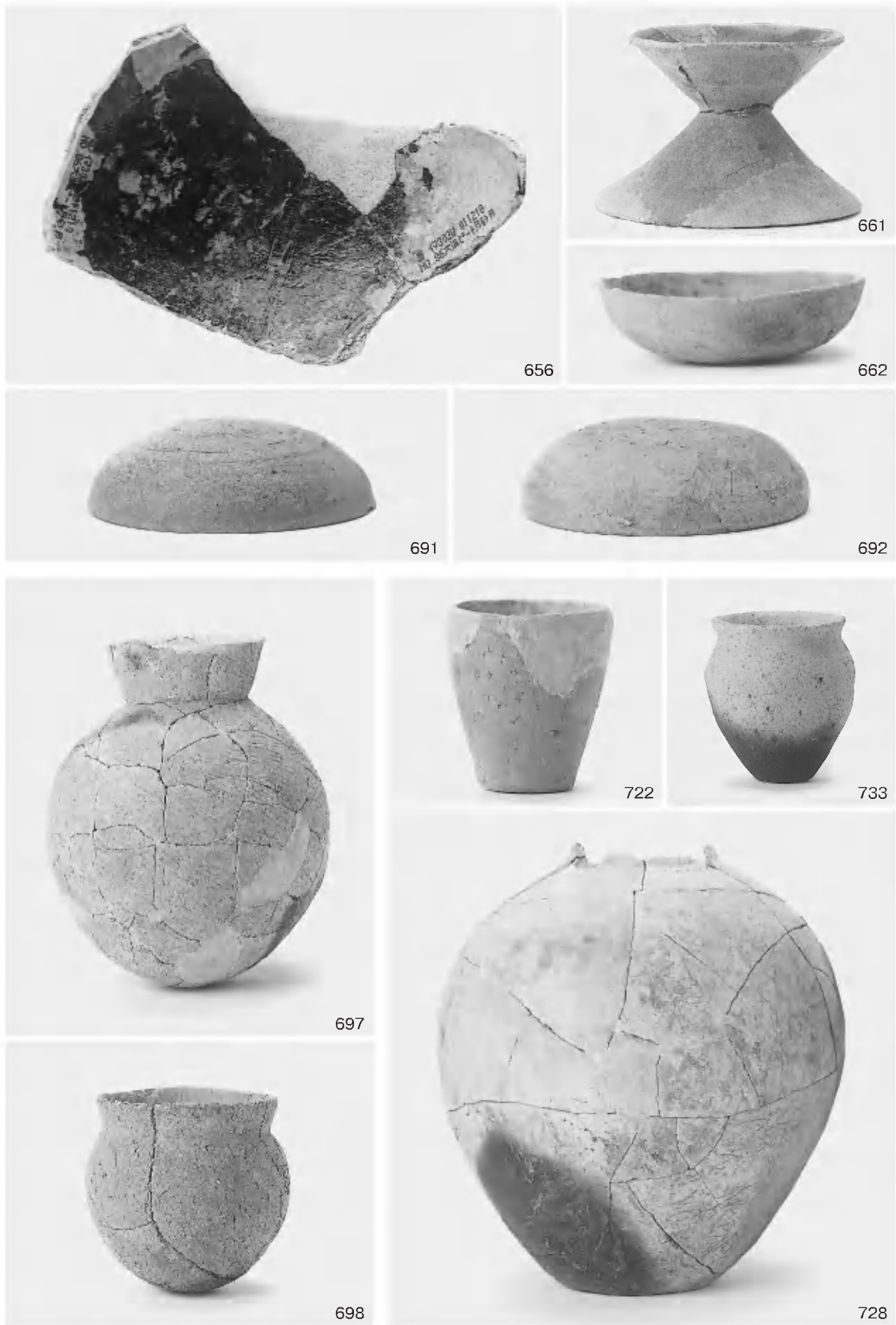
図版28



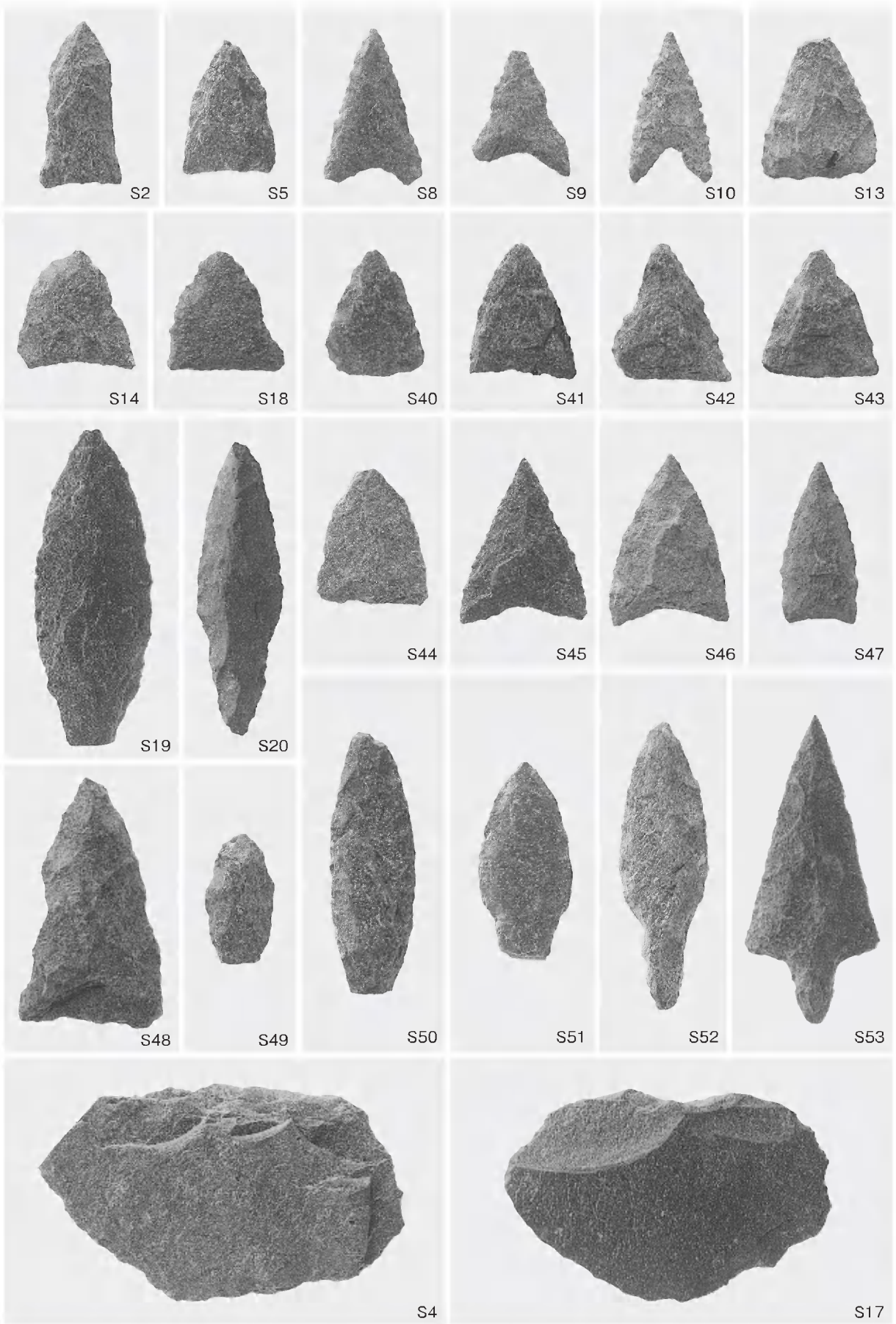
溝18 出土土器②、水路1・土器溜まり・竪穴住居7・井戸8・井戸10 出土土器



溝32 出土土器①

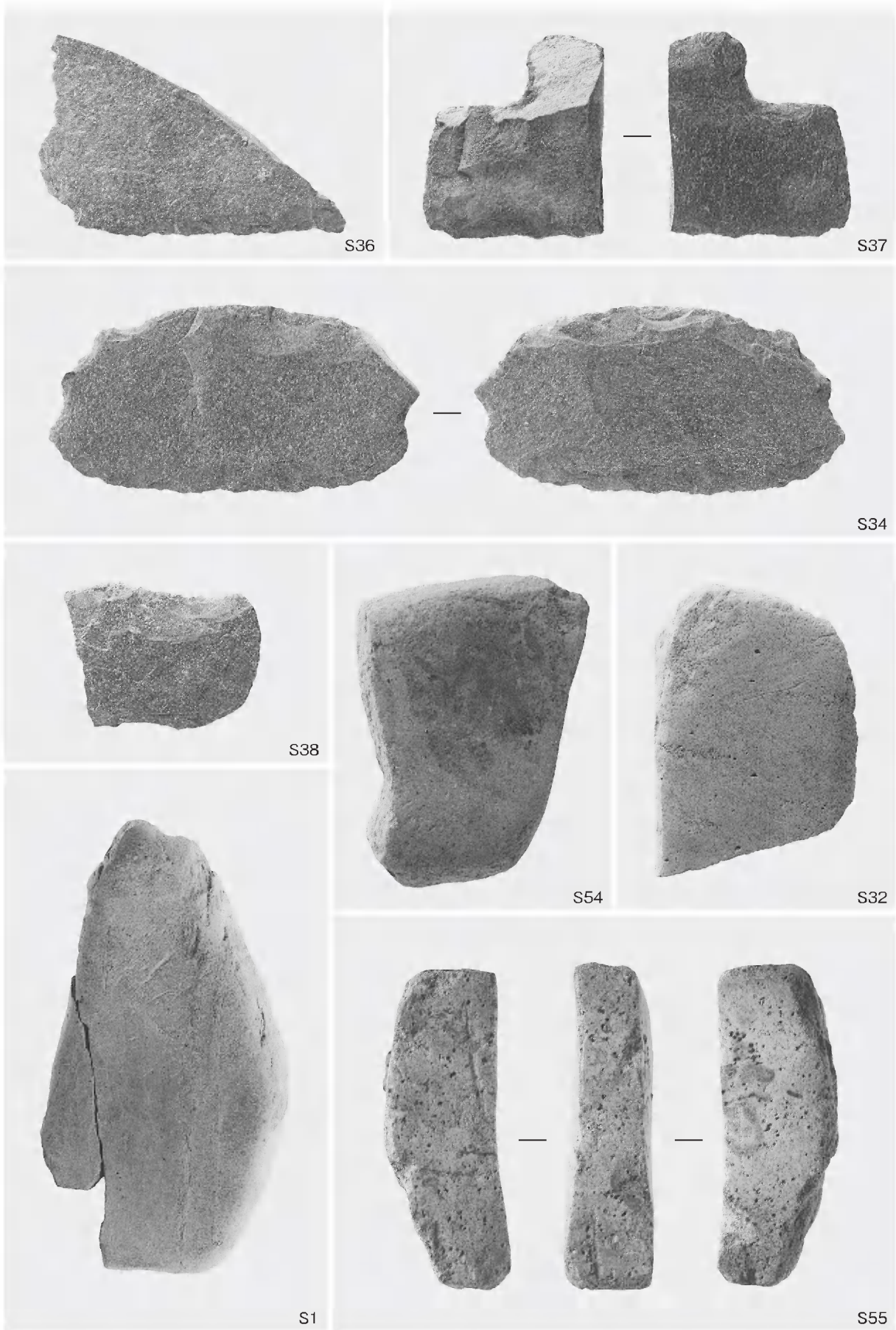


溝32 出土土器②、包含層 出土土器

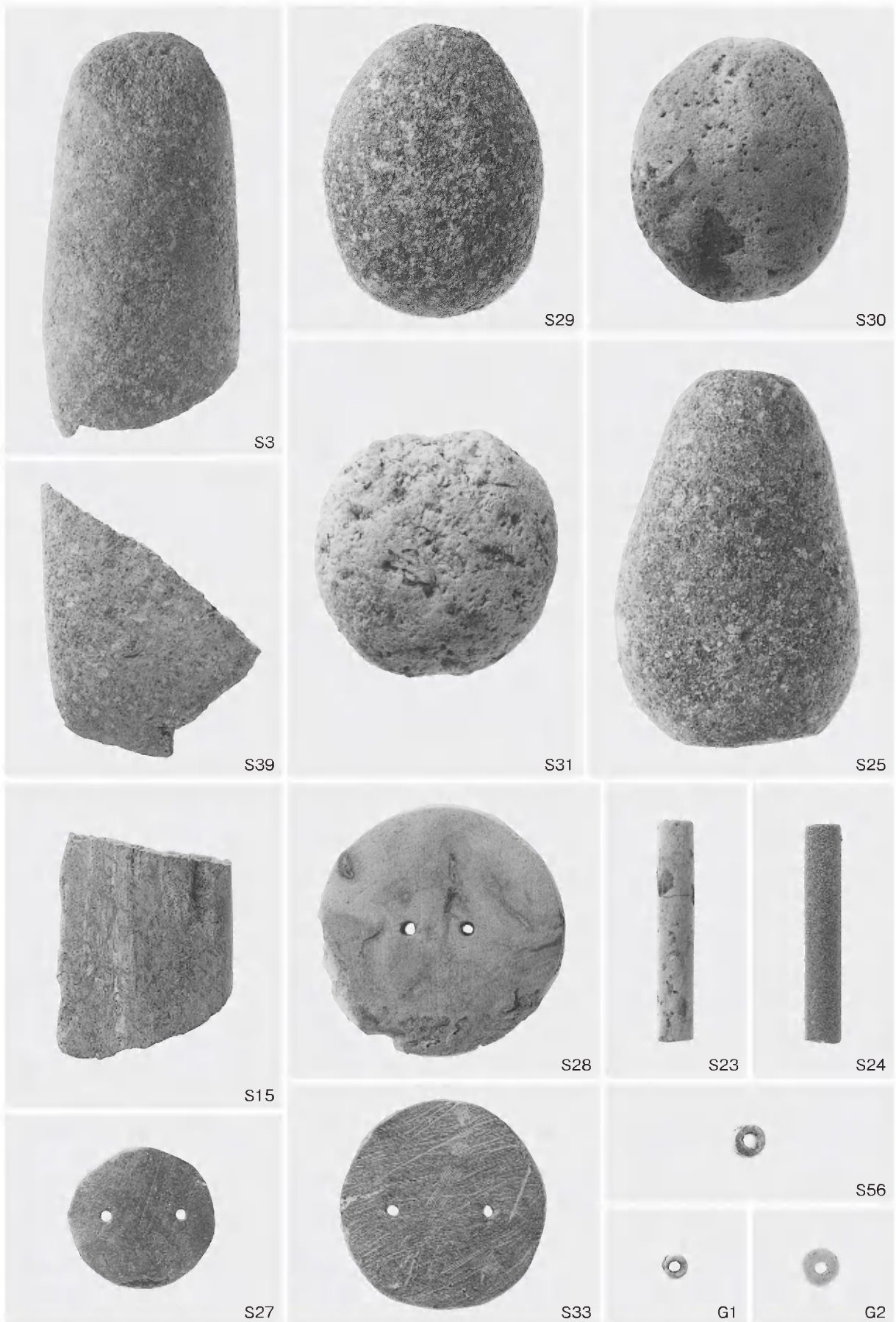


石器①

图版32

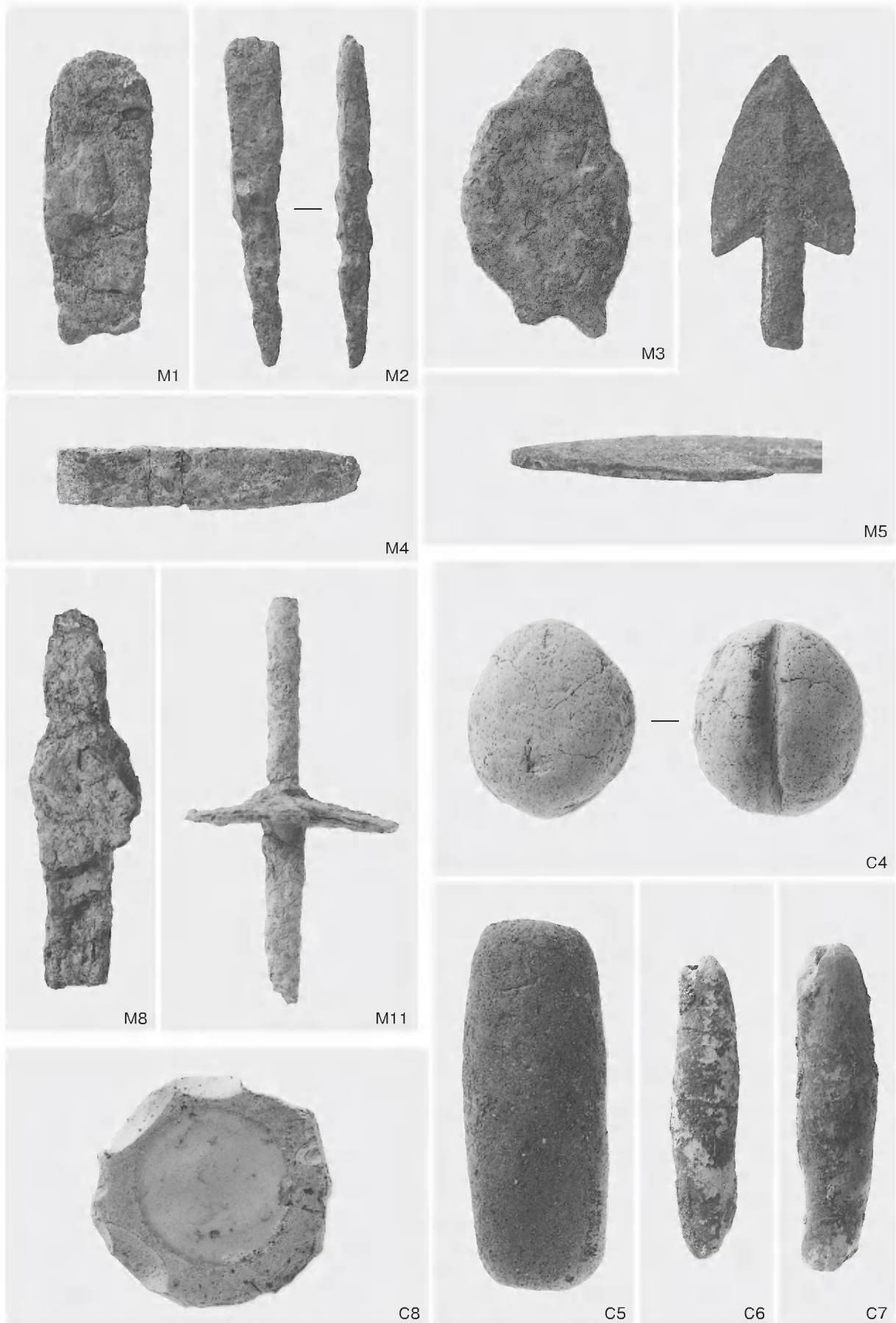


石器②



石器③、ガラス製品

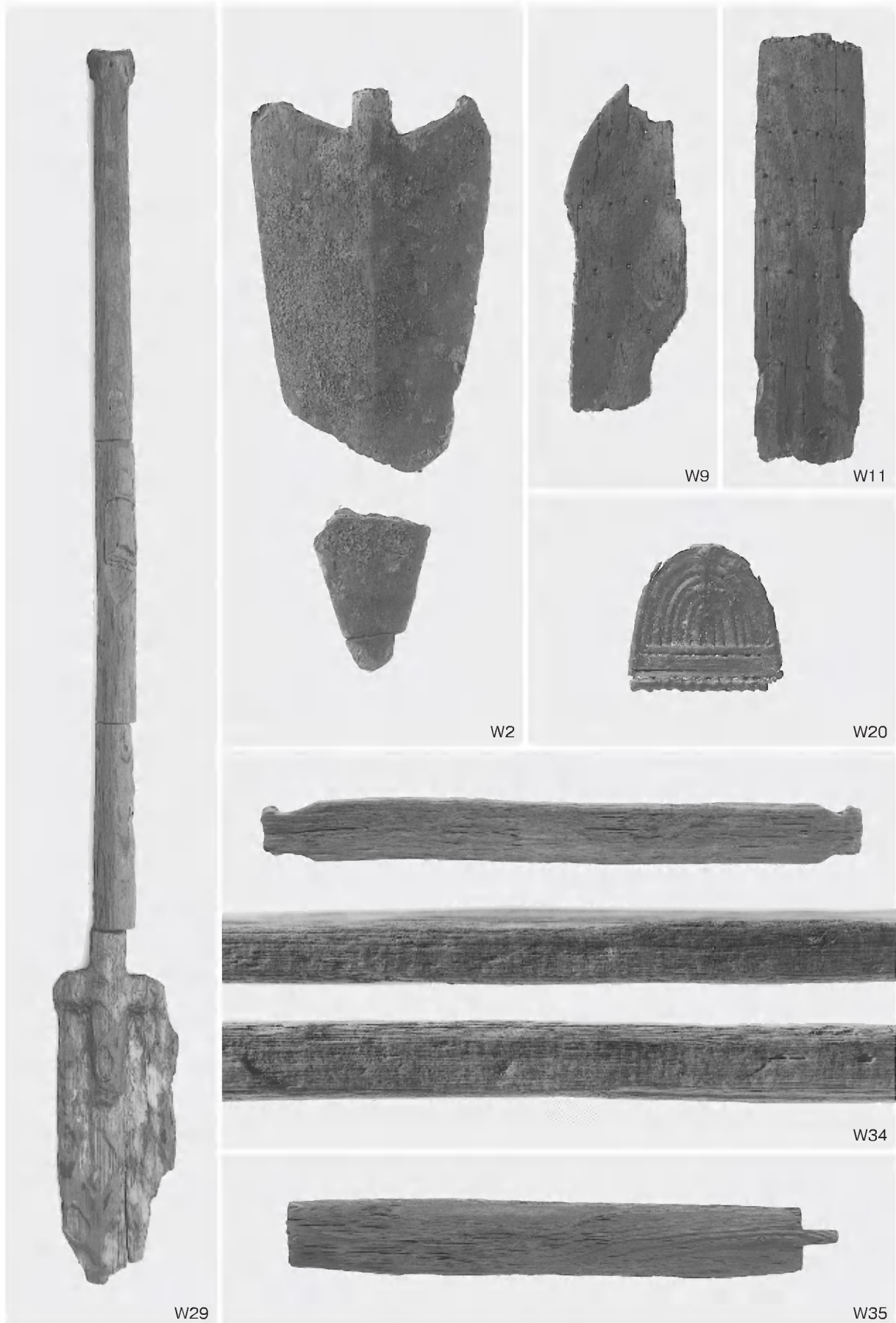
图版34



金属器、土製品



木器①



木器②



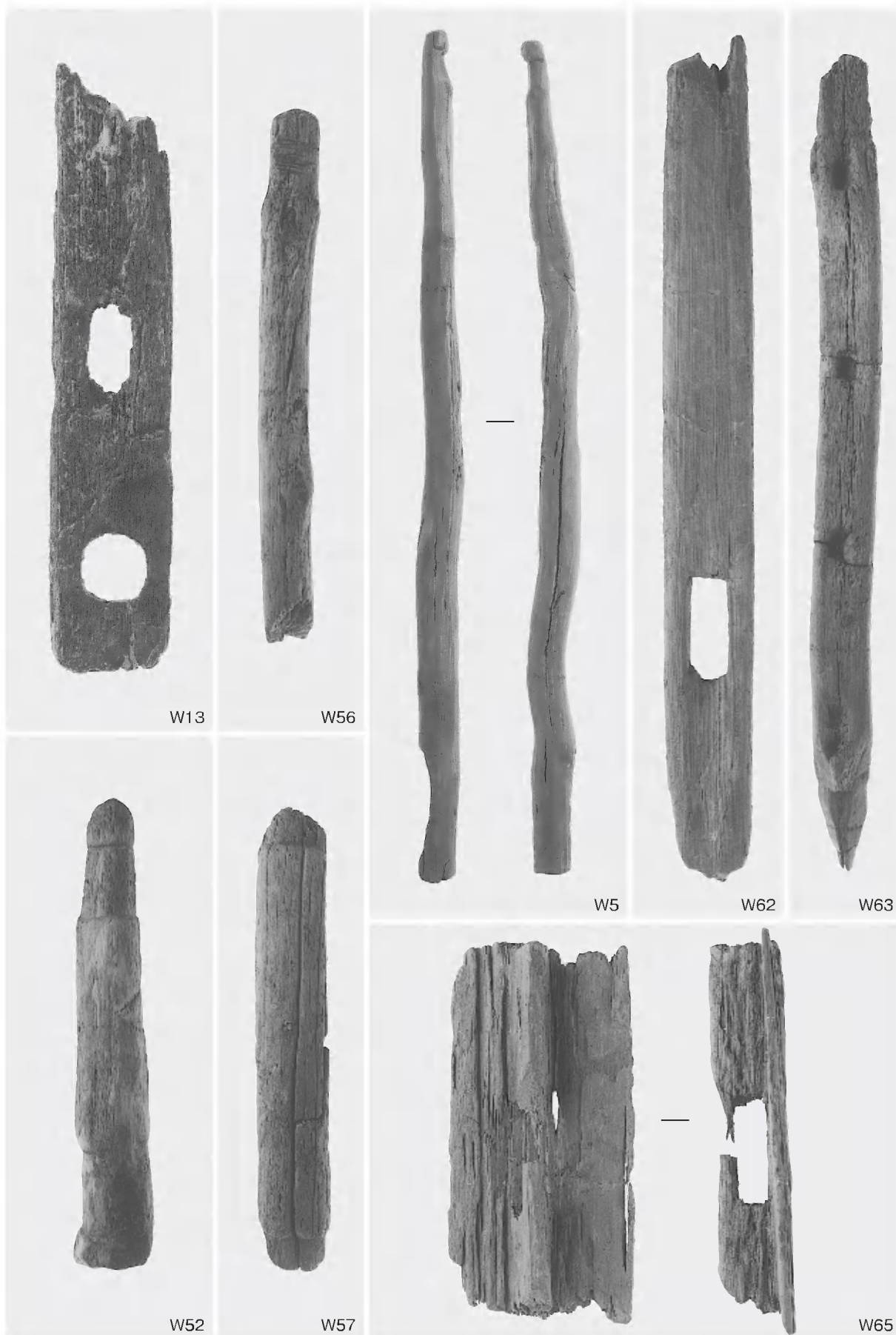
W8



W36



W40



木器④

報告書抄録

ふりがな	ひゃっけんがわいまだにいせき							
書名	百間川今谷遺跡4							
副書名	旭川放水路（百間川）改修工事に伴う発掘調査							
巻次	XⅧ							
シリーズ名	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告							
シリーズ番号	217							
著者名	物部茂樹・高田恭一郎・小嶋善邦・團奈歩・和田剛・木戸一博・白石純・富岡直人							
編集機関	岡山県古代吉備文化財センター							
所在地	〒701-0136 岡山県岡山市西花尻1325-3 http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kodai/kodaik.htm					TEL 086-293-3211		
発行機関	国土交通省岡山河川事務所・岡山県教育委員会							
所在地	〒700-0914 岡山県岡山市鹿田町2-4-36 〒700-8570 岡山県岡山市内山下2-4-6					TEL 086-223-5101 TEL 086-224-2111		
発行年月日	西暦2009年3月19日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	°′″	°′″			
ひゃっけんがわ いまだにいせき 今谷遺跡	おかやまけん 岡山県 おかやまし 岡山市 いまだにい 今谷	33201	332011728	34° 40′ 08″	133° 58′ 37″	2001.5.1～ 2002.3.31 2002.4.1～7.8 2005.1.1～3.31	5,975.02	旭川放水路 (百間川) 改修工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
百間川 今谷遺跡	集落 生産遺跡	弥生時代	竪穴住居2・掘立柱建物 39・柱穴列5・井戸4・土 壙39・溝31・水路3・水田6・ 焼土集中部1・土器溜まり 1・窪み1		弥生土器・石器・石製品・ 木製品・土製品・金属製 品・玉類・ガラス製品・ ガラス滓		・前期水田と水路 ・中期の 掘立柱建物群 ・後期の 掘立柱建物群 ・後期の水田と水路	
		古墳時代	竪穴住居9・掘立柱建物1・ 柱穴列1・井戸6・土壙 10・溝14・柵列状遺構3		土師器・須恵器・石製品・ 木製品・土製品・金属製 品・玉類・動物遺存体		・前期の集落	
		古代以降	土壙4・溝5		須恵器・土師器・陶磁器・ 金属製品・土製品・瓦			
要約	<p>弥生時代では、前期に遡る可能性のある水田をはじめとして、中期以前の水田や後期水田、さらに後期末の洪水砂埋没水田など、各時期別の水田を検出した。水田と水路を確認するなど、水田と水路の変遷を考えるうえで良好な資料を提供している。弥生時代中期中葉の掘立柱建物を複数棟検出し、これらは「百間川今谷遺跡1」所収のガラス工房とも考えられる建物群の北端であると考えられ、多くのガラス滓が土壙や溝から出土している。また、中期の溝からは多くの木製品が出土し、表面に漆を塗布した容器状の製品が注目される。</p> <p>古墳時代には、「百間川今谷遺跡2」所収の金蔵山古墳の築造との関連性が考えられる大溝の続きを検出し、良好な状態の木製品（農耕具・紡織具など）も多く見つかっている。また、同時期の集落を確認しており、金蔵山古墳との関係を考えるうえで、良好な資料であるといえる。</p>							

岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 217

百間川今谷遺跡 4

旭川放水路（百間川）改修
工事に伴う発掘調査 XⅧ

平成21年3月19日 印刷

平成21年3月19日 発行

編集 岡山県古代吉備文化財センター
岡山県岡山市西花尻1325-3

発行 国土交通省岡山河川事務所
岡山市鹿田町2-4-36

岡山県教育委員会
岡山県岡山市内山下2-4-6

印刷 山陽印刷株式会社
岡山市富吉3098-1